

日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXXV

下新保高田遺跡

2 0 1 0

新 潟 県 教 育 委 員 会

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXXV

しも しん ぼ たか だ
下新保高田遺跡

2 0 1 0

新 潟 県 教 育 委 員 会

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

序

日本海沿岸東北自動車道は新潟市を起点に、日本海側を北上し青森県に至る高規格幹線道路です。新潟県内では平成 21 年に村上市の荒川胎内インターチェンジまでが開通しました。

高速自動車道建設を取り巻く状況は厳しいものがあります。平成 15 年末の国土開発幹線自動車道建設会議において、日本海沿岸東北自動車道の中条－朝日間は日本道路公団が有料道路として建設することとなりました。その後、公団の民営化により、平成 17 年 10 月に設立された東日本高速道路株式会社に引き継がれましたが、平成 18 年 2 月の国土開発幹線自動車道建設会議において、荒川－朝日間については国土交通省が新直轄道路として建設することになりました。

日本海沿岸東北自動車道は地域内外の経済的な交流・連携を促すだけでなく、救急患者の搬送・災害時の緊急輸送等「命の高速道」としての役割を期待されており、早期の開通が望まれています。

本書は、この日本海沿岸東北自動車道建設に先立って発掘調査を実施した「下新保高田遺跡」の調査報告書です。調査によって中世と古墳時代の遺構・遺物が見つかりました。特に古墳時代の遺跡は新潟県北部の村上市域に少なく、集落遺跡としては下新保高田遺跡が初の発掘調査事例となります。古墳時代では多数の堅穴住居を検出しました。中には床面積 71m² を超える、当時としては最大級のものもあることから、中核的な集落であったと考えられます。検出遺構と膨大な出土品は、当該地域の古墳時代の様相を知る上で重要な資料です。

今回の発掘調査成果が、考古学研究者はもとより、地域の歴史を知り、学ぼうとする多くの方々に活用されることを願っています。

最後に、地元の方々や区長並びに村上市教育委員会には、多大なご協力とご援助をいただきました。また、国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所、東日本高速道路株式会社新潟管理局村上工事事務所、三面川沿岸土地改良区には調査に際して格別のご配慮をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

平成 22 年 3 月

新潟県教育委員会

教育長 武藤克己

例 言

- 1 本書は新潟県村上市下新保字高田 1980 ほかに所在する下新保高田遺跡の発掘調査記録である。
- 2 発掘調査は、日本海沿岸東北自動車道（以下、「日沿道」とする）建設に伴い、新潟県教育委員会（以下、「県教委」とする）が国土交通省から受託したものである。調査は県教委が主体となり、財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（以下、「埋文事業団」とする）に委託し、埋文事業団の指導・監督の下加藤建設株式会社が平成 20 年度に行った。発掘調査面積は延べ 10,273m²である。
- 3 整理及び報告書作成に係る作業は、県教委が埋文事業団に委託し、埋文事業団の指導・監督の下加藤建設株式会社が平成 21 年度に行った。
- 4 出土遺物及び調査・整理・自然科学分析に係る各種資料は、県教委が新潟県埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 5 遺物の註記は、下新保高田遺跡の省略記号「下シン」の後に、出土位置や層位を続けて記した。
- 6 本書で示す方位はすべて真北である。また本文中で述べる軸方位は真北に対する東西方向の傾きである。
- 7 遺物番号は通し番号とし、本文及び観察表・実測図版・写真図版の番号は一致している。
- 8 本文中の註は脚註とし、引用文献は筆者及び発行年を文中に [] で示し、巻末に一括して掲載した。
- 9 航空写真撮影は J.T 空撮に、自然科学分析はハリノ・サーヴェイ株式会社に委託して実施した。
- 10 各種図版作成・編集に関しては以下のとおりである。遺構図は Adobe 社 Illustrator を用い、遺構写真はリバーサルフィルムで撮影したものをスキャニングし、遺物写真はデジタルカメラで撮影し、入稿した。また遺物図版に関してもスキャニングし入稿した。
- 11 本書の執筆は、青木 学（加藤建設株式会社主任調査員）、田代雄介（同調査員）、沼田智哉（同調査員）、高橋敦（ハリノ・サーヴェイ株式会社）、鈴木俊成（埋文事業団調査課課長代理）がこれに当たり、編集は青木が行った。執筆分担は以下のとおりである。

I 章 1（鈴木）

I 章 2、3、II 章、III 章、IV 章 1、2A・B・D・E・F、3、V 章 1、2B3）、VI 章（青木）

IV 章 2C（沼田）

V 章 2A、2B1）・2）（田代）

VI 章（高橋 敦）

- 12 発掘調査から本書の作成に至るまで、下記の方々及び機関から多くのご教示とご協力をいただいた。ここに記し、厚く御礼を申し上げる。（敬称略、五十音順）

青木 一男 青山 博樹 岡村 道雄 加藤由美子 金子 拓男 坂井 秀亮 笹澤 正史
塩原 知人 関 雅之 田嶋 明人 田中 耕作 田中 真吾 鶴巻 康志 野田 豊文
松島 悦子 水澤 幸一 横山 勝榮 吉井 雅勇

目 次

第I章 序 章	1
1 調査に至る経緯	1
2 調査経過	3
3 調査・整理体制	4
第II章 遺跡の環境	6
1 地理的環境	6
2 周辺の遺跡	6
A 中世の遺跡	8
B 古墳時代前期の遺跡	8
第III章 調査の概要	11
1 遺跡の概要	11
2 グリッドの設定	11
3 基本層序	11
第IV章 遺 構	13
1 遺構の概要	13
2 中世の遺構	13
A 記述の方法	13
B 掘立柱建物	14
C 井 戸	18
D 土 坑	23
E 溝	27
F その他の遺構	33
3 古墳時代前期の遺構	35
A 遺構の検出状況及び認定	35
B 記述の方法	35
C 竪穴遺構	36
D 掘立柱建物	44
E 円形周溝状遺構	44
F 溝	45
G 土 坑	48
H その他の遺構	63
第V章 遺 物	68
1 中世の遺物	68
A 概 要	68
B 記述の方法	68
C 中世遺物各説	68

2 古墳時代前期の遺物	73
A 概要	73
B 出土遺物各説	85
第Ⅵ章 自然科学分析	97
1 放射性炭素年代測定	97
2 樹種同定	98
第Ⅶ章 まとめ	102
1 中世	102
A 中世集落	102
B 井戸	103
2 古墳時代前期	104
A 出土土器の編年の位置づけ	104
B 集落の変遷	106
C 石器について	107
<要約>	109
<引用文献>	110
<観察表>	113

挿図目次

第1図 本発掘調査の位置	2	第10図 土器分類図(1)	78
第2図 試掘調査位置及び本発掘調査範囲	3	第11図 土器分類図(2)	79
第3図 地形概念図	6	第12図 土器分類図(3)	80
第4図 道路の位置と周辺の中世遺跡	7	第13図 土器分類図(4)	81
第5図 阿賀野川以北の主な古墳時代前期遺跡	10	第14図 裏法量図	83
第6図 グリッド設定図	11	第15図 妻底部分類図	83
第7図 基本層序	12	第16図 木材	101
第8図 古墳時代遺物分布図	75	第17図 掘立柱建物変遷図	103
第9図 古墳時代前期土師器の部位名称	76	第18図 古墳時代前期の砥石・磨石類	108

表目次

第1表 周辺の中世遺跡一覧	8	第4表 器種別種類構成	99
第2表 放射性炭素年代測定結果	98	第5表 編年対応表	106
第3表 暦年校正結果	98		

圖版目次

[圖版]

- 圖版 1 中世遺構全体圖
 圖版 2 中世遺構分割圖 (1)
 圖版 3 中世遺構分割圖 (2)
 圖版 4 中世遺構分割圖 (3)
 圖版 5 中世遺構分割圖 (4)
 圖版 6 中世遺構分割圖 (5)
 圖版 7 中世遺構分割圖 (6)
 圖版 8 中世遺構分割圖 (7)
 圖版 9 中世遺構個別圖 (1) SB1
 圖版 10 中世遺構個別圖 (2) SE2、SD37
 圖版 11 中世遺構個別圖 (3) SE3、SD159
 圖版 12 中世遺構個別圖 (4) SB4・5
 圖版 13 中世遺構個別圖 (5) SE6・7
 圖版 14 中世遺構個別圖 (6) SE6・7・8・9
 圖版 15 中世遺構個別圖 (7) SE8・9・10
 圖版 16 中世遺構個別圖 (8) SB11・13
 圖版 17 中世遺構個別圖 (9) SB12
 圖版 18 中世遺構個別圖 (10) SB14、SE49・99、SD16
 圖版 19 中世遺構個別圖 (11) SE102・186
 圖版 20 中世遺構個別圖 (12) SE216・217
 圖版 21 中世遺構個別圖 (13) SE310・344
 圖版 22 中世遺構個別圖 (14) SE428・439
 圖版 23 中世遺構個別圖 (15) SE563・784
 圖版 24 中世遺構個別圖 (16) SE589
 圖版 25 中世遺構個別圖 (17) SK1・2・5・17・61
 圖版 26 中世遺構個別圖 (18) SK19・41・81、SD14
 圖版 27 中世遺構個別圖 (19) SK45・100・101・137
 圖版 28 中世遺構個別圖 (20) SK139・149・187・193・196・225・305・318・319、P226
 圖版 29 中世遺構個別圖 (21) SK317・321・376・379・429・640・837・838
 圖版 30 中世遺構個別圖 (22) SK815・863、SD8・12・14～16、SB14
 圖版 31 中世遺構個別圖 (23) SD 14カ
 圖版 32 中世遺構個別圖 (24) SD 13カ
 圖版 33 中世遺構個別圖 (25) SA346・678、P220・251・561・885・890・891
 圖版 34 中世遺構個別圖 (26) F94、SX517・518・343、P519
 圖版 35 中世遺構個別圖 (27) SX315、P316・468・504・511
 圖版 36 中世遺構個別圖 (28) SX430・520
 圖版 37 古墳時代遺構全体圖
 圖版 38 古墳時代遺構分割圖 (1)
 圖版 39 古墳時代遺構分割圖 (2)
 圖版 40 古墳時代遺構分割圖 (3)
 圖版 41 古墳時代遺構分割圖 (4)
 圖版 42 古墳時代遺構分割圖 (5)
 圖版 43 古墳時代遺構分割圖 (6)
 圖版 44 古墳時代遺構分割圖 (7)
 圖版 45 古墳時代遺構個別圖 (1) SI1327
 圖版 46 古墳時代遺構個別圖 (2) SI1327
 圖版 47 古墳時代遺構個別圖 (3) SI1327
 圖版 48 古墳時代遺構個別圖 (4) SI1046
 圖版 49 古墳時代遺構個別圖 (5) SI1071
 圖版 50 古墳時代遺構個別圖 (6) SI1195
 圖版 51 古墳時代遺構個別圖 (7) SI1223
 圖版 52 古墳時代遺構個別圖 (8) SI1294
 圖版 53 古墳時代遺構個別圖 (9) SI1307
 圖版 54 古墳時代遺構個別圖 (10) SI1307
 圖版 55 古墳時代遺構個別圖 (11) SI1308・1311
 圖版 56 古墳時代遺構個別圖 (12) SI1309
 圖版 57 古墳時代遺構個別圖 (13) SI1310・1312・SK1414
 圖版 58 古墳時代遺構個別圖 (14) SI1313、SD1369、SK1368、P1289
 圖版 59 古墳時代遺構個別圖 (15) SI1314、SK1364
 圖版 60 古墳時代遺構個別圖 (16) SI1315
 圖版 61 古墳時代遺構個別圖 (17) SI1317、SK1335・1419・1420、P1459
 圖版 62 古墳時代遺構個別圖 (18) SI1381
 圖版 63 古墳時代遺構個別圖 (19) SI1314・1315・1381
 圖版 64 古墳時代遺構個別圖 (20) SI1384、SK1060
 圖版 65 古墳時代遺構個別圖 (21) SI1385、SK1014・1015・1059、P1058
 圖版 66 古墳時代遺構個別圖 (22) SI1386
 圖版 67 古墳時代遺構個別圖 (23) SI1392・1404
 圖版 68 古墳時代遺構個別圖 (24) SI1430、SK1415
 圖版 69 古墳時代遺構個別圖 (25) SB15・16
 圖版 70 古墳時代遺構個別圖 (26) SD1134
 圖版 71 古墳時代遺構個別圖 (27) SD1134・1363
 圖版 72 古墳時代遺構個別圖 (28) SD、SK1281・1224
 圖版 73 古墳時代遺構個別圖 (29) SD
 圖版 74 古墳時代遺構個別圖 (30) SK1002・1004・1009、SD1003
 圖版 75 古墳時代遺構個別圖 (31) SK1010・1012・1050・1051・1018・1020・1021・1025・1026
 圖版 76 古墳時代遺構個別圖 (32) SK1027・1029・1047・1049・1052・1066・1073
 圖版 77 古墳時代遺構個別圖 (33) SK1072・1075・1080・1083・1086・1092
 圖版 78 古墳時代遺構個別圖 (34) SK1094・1113・1126・

1141・1145・1146・1164・1182
 図版 79 古墳時代遺構個別図 (35) SK1185・1186・1192
 ~ 1194・1197 ~ 1199・1203・1204・1210・
 SD1031
 図版 80 古墳時代遺構個別図 (36) SK1211・1212・1220・
 1252・1255・1257・1260・SD1031
 図版 81 古墳時代遺構個別図 (37) SK1264・1275 ~
 1277・1279
 図版 82 古墳時代遺構個別図 (38) SK1280・1282・1286・
 1288・1290 ~ 1293・1306
 図版 83 古墳時代遺構個別図 (39) SK1356・1358・1361・
 1366・1367
 図版 84 古墳時代遺構個別図 (40) SK1362・1370・1391・
 1394・1395・1398 ~ 1400
 図版 85 古墳時代遺構個別図 (41) SK1406・1408・1409・
 1412・1413・1418・1421・1423 ~ 1425
 図版 86 古墳時代遺構個別図 (42) SK1426・1427・1432・
 1433・1436 ~ 1439・1443・1450・1452
 図版 87 古墳時代遺構個別図 (43) SK1444・1447・F1121
 ~ 1124・1133・1137
 図版 88 古墳時代遺構個別図 (44) F1138・1139・1143・
 1144・1217 ~ 1219・1237・1316・1383・1460・
 SX1068
 図版 89 古墳時代遺構個別図 (45) SX1074・1076・1077・
 1112
 図版 90 古墳時代遺構個別図 (46) SX1093・1136・1457・
 SRI
 図版 91 中世遺物実測図 (1)
 図版 92 中世遺物実測図 (2)
 図版 93 中世遺物実測図 (3)
 図版 94 中世遺物実測図 (4)
 図版 95 中世遺物実測図 (5)

図版 96 中世遺物実測図 (6)
 図版 97 中世遺物実測図 (7)
 図版 98 中世遺物実測図 (8)
 図版 99 中世遺物実測図 (9)
 図版 100 中世遺物実測図 (10)
 図版 101 中世遺物実測図 (11)
 図版 102 中世遺物実測図 (12)
 図版 103 中世遺物実測図 (13)
 図版 104 古墳時代遺物実測図 (1)
 図版 105 古墳時代遺物実測図 (2)
 図版 106 古墳時代遺物実測図 (3)
 図版 107 古墳時代遺物実測図 (4)
 図版 108 古墳時代遺物実測図 (5)
 図版 109 古墳時代遺物実測図 (6)
 図版 110 古墳時代遺物実測図 (7)
 図版 111 古墳時代遺物実測図 (8)
 図版 112 古墳時代遺物実測図 (9)
 図版 113 古墳時代遺物実測図 (10)
 図版 114 古墳時代遺物実測図 (11)
 図版 115 古墳時代遺物実測図 (12)
 図版 116 古墳時代遺物実測図 (13)
 図版 117 古墳時代遺物実測図 (14)
 図版 118 古墳時代遺物実測図 (15)
 図版 119 古墳時代遺物実測図 (16)
 図版 120 古墳時代遺物実測図 (17)
 図版 121 古墳時代遺物実測図 (18)
 図版 122 古墳時代遺物実測図 (19)
 図版 123 古墳時代遺物実測図 (20)
 図版 124 古墳時代遺物実測図 (21)
 図版 125 古墳時代遺物実測図 (22)
 図版 126 古墳時代遺物実測図 (23)
 図版 127 古墳時代遺物実測図 (24)

[写 真]

図版 128 中世面全景・遺構集中部
 図版 129 古墳時代面全景・南側調査区
 図版 130 古墳時代面北側調査区・基本層序
 図版 131 中世遺構 (1) SB1 ~ 3
 図版 132 中世遺構 (2) SE3 ~ 5
 図版 133 中世遺構 (3) SE6・7
 図版 134 中世遺構 (4) SD8 ~ 10
 図版 135 中世遺構 (5) SB11 ~ 13
 図版 136 中世遺構 (6) SB13・14・SD16・SE49・99
 図版 137 中世遺構 (7) SE102・186・216・217
 図版 138 中世遺構 (8) SE310・344・428
 図版 139 中世遺構 (9) SE428・439・563
 図版 140 中世遺構 (10) SE589・784・SK1・2
 図版 141 中世遺構 (11) SK5・17・19・41

図版 142 中世遺構 (12) SK45・61・81・100
 図版 143 中世遺構 (13) SK101・137・139
 図版 144 中世遺構 (14) SK149・187・193・196・225・
 305・P226
 図版 145 中世遺構 (15) SK317・318・321・376・379
 図版 146 中世遺構 (16) SK429・640・815・837・838・
 863・893
 図版 147 中世遺構 (17) SD8・12・14 ~ 16・403・SB14
 図版 148 中世遺構 (18) SD76・87・88・108・124・
 SE2・3
 図版 149 中世遺構 (19) SD173・183・210・218・258・
 302
 図版 150 中世遺構 (20) SD333・337・418・173・421・
 422・443・530

- 圖版 151 中世遺構 (21) SD609·638·655·672·825·856·858
- 圖版 152 中世遺構 (22) SD864、SA346·678、P204·251·561·847
- 圖版 153 中世遺構 (23) P885、F94、SX315·343·430·517
- 圖版 154 古墳時代遺構 (1) SI1327
- 圖版 155 古墳時代遺構 (2) SI1327
- 圖版 156 古墳時代遺構 (3) SI1327
- 圖版 157 古墳時代遺構 (4) SI1046
- 圖版 158 古墳時代遺構 (5) SI1071·1195
- 圖版 159 古墳時代遺構 (6) SI1195·1223
- 圖版 160 古墳時代遺構 (7) SI1294·1307
- 圖版 161 古墳時代遺構 (8) SI1307·1308
- 圖版 162 古墳時代遺構 (9) SI1308 ~ 1310·1312
- 圖版 163 古墳時代遺構 (10) SI1310 ~ 1313
- 圖版 164 古墳時代遺構 (11) SI1314·1315
- 圖版 165 古墳時代遺構 (12) SI1317·1381·SI1384 ~ 1386
- 圖版 166 古墳時代遺構 (13) SI1384 ~ 1386
- 圖版 167 古墳時代遺構 (14) SI1392·1404
- 圖版 168 古墳時代遺構 (15) SI1430、SB15·16
- 圖版 169 古墳時代遺構 (16) SB15·16
- 圖版 170 古墳時代遺構 (17) SD1134
- 圖版 171 古墳時代遺構 (18) SD1001·1003·1017·1031·1034、SK1194
- 圖版 172 古墳時代遺構 (19) SD1034·1053·1069·1078·1104·1188
- 圖版 173 古墳時代遺構 (20) SD1208·1222·1283·1287·1363
- 圖版 174 古墳時代遺構 (21) SD1363·1369·1378、SK1002·1004·1368
- 圖版 175 古墳時代遺構 (22) SK1004 ~ 1010
- 圖版 176 古墳時代遺構 (23) SK1010·1011·1012·1014·1015·1050·1051
- 圖版 177 古墳時代遺構 (24) SK1018·1020·1021·1025 ~ 1027
- 圖版 178 古墳時代遺構 (25) SK1028·1029·1047·1048·1052·1059·1060
- 圖版 179 古墳時代遺構 (26) SK1066·1072·1075·1080 ~ 1083
- 圖版 180 古墳時代遺構 (27) SK1086·1092·1113·1126
- 圖版 181 古墳時代遺構 (28) SK1141·1145·1146·1164·1182·1185
- 圖版 182 古墳時代遺構 (29) SK1185·1186·1192 ~ 1194·1197·1198
- 圖版 183 古墳時代遺構 (30) SK1199·1203·1204·1210 ~ 1212·1220·1224
- 圖版 184 古墳時代遺構 (31) SK1252·1255·1257·1260·1264
- 圖版 185 古墳時代遺構 (32) SK1275 ~ 1277·1280 ~ 1282
- 圖版 186 古墳時代遺構 (33) SK1286·1288·1290 ~ 1293·1306·1335
- 圖版 187 古墳時代遺構 (34) SK1356·1358·1362·1366 ~ 1368
- 圖版 188 古墳時代遺構 (35) SK1368·1370·1391·1395·1398 ~ 1400·1408
- 圖版 189 古墳時代遺構 (36) SK1409·1412·1414·1418 ~ 1421·1423·1425
- 圖版 190 古墳時代遺構 (37) SK1426·1427·1432·1433·1436·1437·1439·1443
- 圖版 191 古墳時代遺構 (38) SK1444·1447、F1122·1217 ~ 1219·1316·1383
- 圖版 192 古墳時代遺構 (39) SX1068·1074·1076·1077·1093·1112·1457、P1058
- 圖版 193 古墳時代遺構 (40) P1289·1459、SRI
- 圖版 194 SI1307·1327 出土土器
- 圖版 195 中世遺物 (1)
- 圖版 196 中世遺物 (2)
- 圖版 197 中世遺物 (3)
- 圖版 198 中世遺物 (4)
- 圖版 199 中世遺物 (5)
- 圖版 200 中世遺物 (6)
- 圖版 201 中世遺物 (7)
- 圖版 202 中世遺物 (8)、古墳時代遺物 (1)
- 圖版 203 古墳時代遺物 (2)
- 圖版 204 古墳時代遺物 (3)
- 圖版 205 古墳時代遺物 (4)
- 圖版 206 古墳時代遺物 (5)
- 圖版 207 古墳時代遺物 (6)
- 圖版 208 古墳時代遺物 (7)
- 圖版 209 古墳時代遺物 (8)
- 圖版 210 古墳時代遺物 (9)
- 圖版 211 古墳時代遺物 (10)
- 圖版 212 古墳時代遺物 (11)
- 圖版 213 古墳時代遺物 (12)
- 圖版 214 古墳時代遺物 (13)
- 圖版 215 古墳時代遺物 (14)
- 圖版 216 古墳時代遺物 (15)
- 圖版 217 古墳時代遺物 (16)

第I章 序 章

1 調査に至る経緯

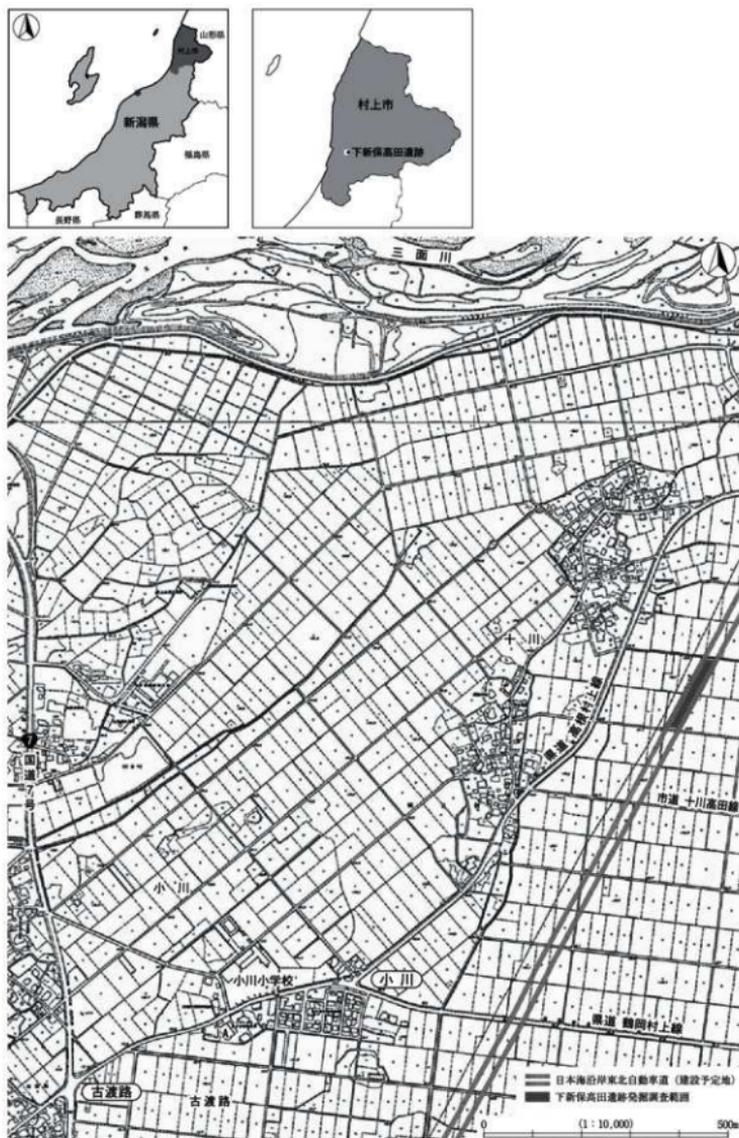
法定路線名「日本海沿岸東北自動車道」(以下、「日沿道」とする)は、新潟市の新潟空港インターチェンジ(以下、「IC」とする)から、日本海に沿って北上し、山形県・秋田県を経て青森市に至る高規格幹線道路である。また、新潟中央ジャンクション(以下、「JCT」とする)から秋田県河辺JCT間は営業路線名「日本海東北自動車道(日東道)」とも呼称される。新潟県内では村上市の荒川胎内ICまでが平成21年に完成している。新潟-朝日IC間は、平成元年及び平成3年に基本計画が決定され、中条-朝日IC間は、平成10年に施工命令が出された。これを受けて、日本道路公団(以下、「道路公団」とする)と新潟県教育委員会(以下、「県教委」とする)との間で、道路法線内の埋蔵文化財の取り扱いに関する協議が本格化した。

中条-朝日IC間の分布調査は、県教委から委託を受けた財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団(以下、「埋文事業団」とする)が平成11年度に実施した。その結果、旧神林村以北では道路法線上に5か所の周知遺跡と15か所の遺跡推定地が存在し、これらについて試掘・確認調査が必要であることを県教委に報告した。

平成15年10月1日の道路公団・県教委及び埋文事業団の協議において、道路公団が示した平成16年度の調査要望は膨大なものであった。しかし、この要望も「民営化」や「事業の見直し」などの諸問題を抱える道路公団にあっては、確定的なものではなかった。同年10月8日、県教委と埋文事業団は平成16年度の受託事業について協議した。そして、日沿道建設が決定し、道路公団が10月1日に要望した調査量が提示された場合、それに対応できるだけの調査体制を持っていないことから、日沿道の調査に限り埋文事業団の直轄指導・監督の下、民間調査組織に全部委託するという方針を決定した。その後、日沿道の事業は、道路公団の分割民営化に伴い東日本高速道路株式会社(以下、「東日本高速道路」とする)に引き継がれ、荒川胎内IC以南は東日本高速道路が「有料道路方式」で、それより北は国土交通省(以下、「国交省」とする)が「新直轄方式」で整備することとなった。

下新保高田遺跡が含まれる遺跡推定地12の試掘調査は、平成19年に31,890m²を対象に実施した。試掘調査によって、3か所で遺構・遺物を検出し、新発見の遺跡(下新保高田遺跡・堂の前遺跡・桂木田遺跡)として登録した。下新保高田遺跡では中世と古墳時代前期の遺構・遺物を検出し、8,800m²について本発掘調査が必要であると判断した。本発掘調査は、国交省・県教委・埋文事業団の協議で平成20年度に実施することとなった。本発掘調査面積については高速自動車道早期供用のため、当面、調査範囲を暫定二車線部分に限定した平成14年の協議(以下、「限定協議」とする)に準じ5,280m²とし、調査体制は平成16年度から実施している埋文事業団職員の指導・監督の下、民間調査機関に全部委託するという方式を行った。

1 調査に至る経緯



第1図 本発掘調査の位置

(原図：朝日村現況図 昭和59年)

2 調査経過

A 試掘調査

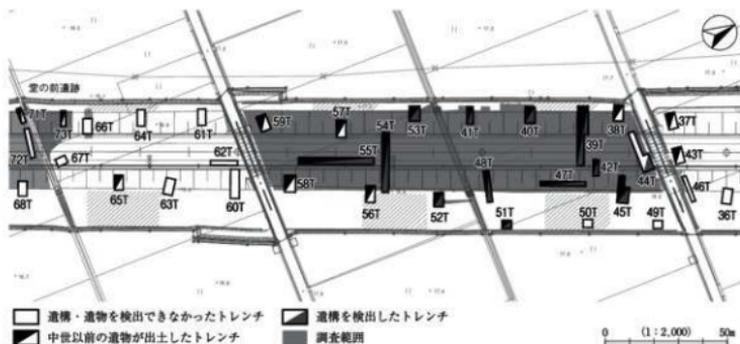
下新保高田遺跡に係る試掘調査は、県教委からの委託を受けた埋文事業団が村上IC～朝日IC間の遺跡推定地12として平成19年5月11日～6月20日に実施した。遺跡推定地12の範囲は、県道鶴岡村上線以北から三面川左岸の間である。試掘トレンチ(以下、「T」とする)は調査対象範囲に計121か所設定した。

試掘調査の結果、3地点から遺構・遺物を検出し、この地点を遺跡登録した。遺跡は北から下新保高田遺跡、堂の前遺跡、桂木田遺跡である。下新保高田遺跡に関わる範囲では、37～59T間において中世と古墳時代の遺構及び遺物を検出した。遺構を検出したトレンチは39～42・44・45・47・48・51～55Tで、竪穴住居、土坑、ピット、溝などを検出した。遺構検出は、Ⅲa層上面で行ったが、遺物出土状況などから検出面が2面存在する可能性もあった。出土した遺物は古墳時代前期と中世のものに大別できるが、古墳時代前期のものが多く、特に39～42・45・47・48Tにおいて多数の遺物が出土した。また、39・47Tで古墳時代前期の残存率の高い土器がまとめて出土した地点は、遺構内の可能性もあった。

調査の結果、上記のように38～59T付近で古墳時代前期と中世の遺跡を発見し、「限定協議」から本発掘調査範囲を暫定2車線部分の5,280m²(第2図)とした。

B 本発掘調査

調査期間は、平成20年4月14日から12月22日までである。4月14日、調査区内に任意のサブトレンチを設定して土層堆積状況の確認を行い、翌15日から作業員を投入し、重機による表土掘削作業を開始した。土層観察の結果、中世と古墳時代前期の遺構で検出面に違いがあることが判明し、遺跡を2面に分けて調査することとなった。表土掘削作業は、5月9日に終了した。5月8日から、人力による中世の遺物包含層掘削・遺構検出作業を開始した。この作業によって、10～12B～E区付近に中世遺構が集中することが判明した。6・7月は中世の遺構掘削を行った。遺構の数が多いことや天候不順から作業は予定より遅れたが、7月25日に中世面を対象とした1回目の空中写真撮影を実施できた。



第2図 試掘調査位置及び本発掘調査範囲

2 調査経過

古墳時代の調査は、6月18日から中世の調査と並行するかたちで行い、遺物包含層の掘削から開始した。遺物包含層の掘削は、中世遺構が存在しない調査区北端から開始した。なお、調査区南側は遺構・遺物の分布が薄いことが想定されたことから、遺構の有無・遺物の出土状況などを確認するためトレンチ調査を先行し、遺物の分布が薄い部分については重機によって遺物包含層を除去することとした。重機による遺物包含層の掘削作業は、9月上旬に行った。遺物包含層の掘削がすべて終了したのは9月中旬である。遺物包含層の掘削が終了した地区から遺構検出を行ったが、遺構覆土と検出面の土壌が類似しており、遺構の検出には難渋した。調査を進める中、遺物包含層掘削直後よりもしばらく時間が経過した段階の方が、風化の違いなどによって遺構の認識は容易であることが判明し、初期に遺構検出を行った地区についても再度検出作業を行うこととした。その結果、新たに複数の遺構を検出した。遺構掘削作業は8月11日から開始し、12月下旬まで続いた。遺構掘削作業途中ではあったが11月9日に現地説明会を行い、およそ160人の参加者があった。説明会後の11月10日には、調査区南側（9B～10E区以南）の古墳時代面を対象にした2回目の空中写真撮影を行い、その後、調査区中央を横断する農業用水路部分の調査を開始した。調査区北側の遺構掘削がほぼ終了した12月11日に3回目の空中写真撮影を行った。撮影後、掘削途中の遺構を完掘し、12月16日に県教委による調査終了確認を得た。17日から重機で遺構検出面を10～20cm掘削して未調査の遺構がないことを確認し、12月22日に現地を国交省へ引き渡した。調査面積は上層の中世面5280m²、下層の古墳時代面4993m²を合わせ、延べ10,273m²となった。

3 調査・整理体制

試掘調査と本発掘調査の体制は以下のとおりである。

【試掘調査】

調査期間 平成19年5月11日～6月20日

調査主体 新潟県教育委員会（教育長 武藤 克己）

調査 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

管理 木村 正昭（財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 事務局長）

斎藤 栄（同 総務課課長）

藤巻 正信（同 調査課課長）

庶務 長谷川 靖（同 総務課主任）

調査指導 田海 義正（同 調査課課長代理）

調査担当 加藤 学（同 調査課班長）

調査職員 齋藤 準（同 調査課嘱託員）

【本発掘調査・整理作業】

本発掘調査 平成20年4月14日～12月22日

整理作業 平成20年12月24日～平成22年3月31日

調査主体 新潟県教育委員会（教育長 武藤 克己）

調査 財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

管理 木村 正昭（財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 事務局長）

斎藤 栄（同 総務課課長）

藤巻 正信（同 調査課課長）

監 督 鈴木 俊成（同 調査課課長代理）

木村 雄司（同 調査課主任調査員、20年度）

庶 務 長谷川 靖（同 総務課班長、20年度）

松原 健二（同 総務課班長、21年度）

調査組織 加藤建設株式会社

現場代理人 横田 太平（加藤建設株式会社新潟支店 主任技師）

調査担当 青木 学（同 主任調査員）

調査員 田代 雄介（同 調査員、21年9月30日まで）

沼田 智哉（同 調査員、21年3月31日まで）

第Ⅱ章 遺跡の環境

1 地理的環境

下新保高田遺跡は、新潟県下越地方の村上市下新保字高田1980ほかに所在する。現在の村上市は、平成20年4月1日に村上市・荒川町・山北町・神林村・朝日村が合併して成立したもので、下新保高田遺跡の合併前の所在地は朝日村である。村上市は、南北方向に羽州浜街道と呼ばれる国道7号線やJR羽越本線が縦断しており、古来より越後と庄内地方を結ぶ重要地点であった。隣接市町村は、北側が山形県鶴岡市、東側は岩船郡関川村・山形県西村山郡西川町・山形県西置賜郡小国町、南側は胎内市、西側は日本海を挟んで岩船郡粟高浦村となる。

遺跡周囲の地形を大きく見ると、北東から南東には朝日山地、北西には葡萄酒山地が聳え、南には村上丘陵とその背後の越後平野、南西には新潟砂丘の北端があり、西側には日本海が広がる。また朝日山地と葡萄酒山地間の低地には、三面川が流れている。朝日山地は標高1,870mの大朝日岳を主峰とし、標高1,000mを超える険しい山々が連なり、南側の飯豊山地とは荒川で分断される。葡萄酒山地は標高852mの新保岳を最高峰とし、北から南に向かい高度を下げながら230～850mの山々が連なる。村上丘陵は標高60～90mを測る。三面川は延長約50kmの河川で、朝日山地の以東岳付近を源とし、河原では朝日山地を構成する粘板岩や花崗岩・閃緑岩などの礫が採取できる。

遺跡は三面川左岸の微高地上に立地し、調査以前の状況は水田であった。地表は東から西に向いわずかに傾斜しており、標高は調査区中央付近の水田面で約17mを測る。遺跡の立地する微高地は、東方向から流れる三面川の支流によって形成された自然堤防と推測される。遺跡周辺にはこのような微高地が複数存在し、その微高地上に堂の前遺跡・桂木田遺跡・古波路遺跡などの諸遺跡が立地する。

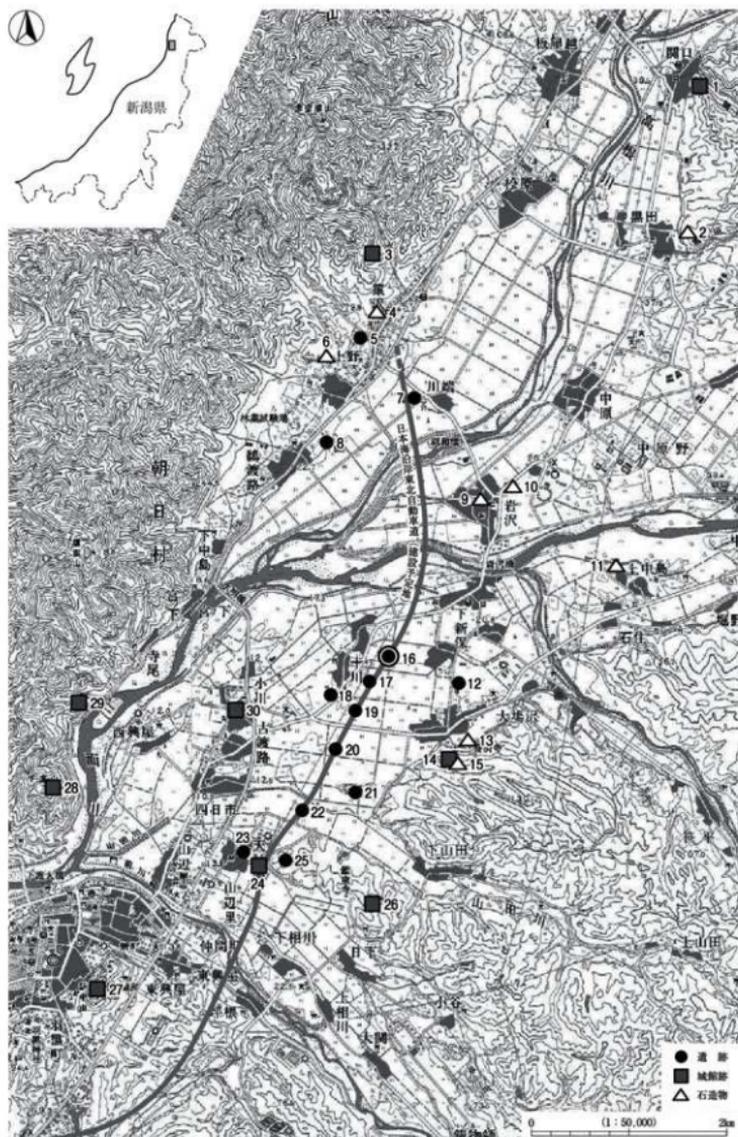
なお、慶長二(1597)年作成の『越後国瀬波郡絵図』(米沢市上杉博物館蔵・重要文化財)では、本遺跡の位置する部分には集落は見られず、水田が描かれている。

2 周辺の遺跡

下新保高田遺跡の時期は、検出した遺構及び遺物から中世と古墳時代前期に大きく分けることができる。そこで、ここではこれらの時期ごとに本遺跡周辺の遺跡について述べる。ただし古墳時代前期については、下新保高田遺跡周辺に遺跡が少ないため阿賀野川以北にまで広げて概観する。



第3図 地形概念図



第4図 遺跡の位置と周辺の中世遺跡 (国土地理院 1/50,000「村上」[中巻] 2002を加筆)

No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代
1	関門城跡	中世	11	上中島伊弉諾神社石仏群	中世	21	坊山	縄文・中世
2	黒田諏音堂石造物群	中世	12	十三塚	不明	22	谷地	縄文・中世
3	猿沢城跡	中世	13	普濟寺板碑・石仏群	中世	23	天神岡前田	中世
4	猿沢神明神社板碑	中世	14	大葉沢城跡	中世	24	大畑跡	縄文・弥生・中世
5	上野遺跡	中世	15	大葉沢神社石造物群	中世	25	坊々山石積群	中世
6	茗荷寺石造物群	中世	16	下新保高田	古墳・中世	26	日下山城跡	中世
7	上野太田	中世	17	堂の前	弥生	27	村上城跡	中世・近世
8	朴木田	中世	18	十川の塚	不明	28	下流山城跡	中世
9	岩沢観音様石物群	中世	19	桂木田	弥生	29	香谷城跡	中世
10	岩沢八幡神社石仏群	中世	20	古渡路	縄文・中世	30	伝小川館跡	中世

第1表 周辺の中世遺跡一覧

A 中世の遺跡

周辺の中世遺跡は城館跡を除くとそれほど多くはないが、近年の日沿道建設によって複数の遺跡が調査された。それらの遺跡を中心に見ていきたい。

本遺跡北方の三面川右岸には、日沿道建設に伴う試掘調査で発見・調査された上野太田遺跡が所在する。調査の結果、微高地上に局所的に存在する集落で、時期は14～15世紀とされる〔加藤 2008b〕。更に北に進んだ地点には猿沢城跡が所在する。猿沢城跡は山麓居館部と山城部からなる根小屋式城郭で、構造から中心時期は16世紀後半とされる〔横山ら 2005〕。東側2kmの近距離には大葉沢城跡が所在する。城主は本地方の有力国人領主である船川氏とされ、戦国期の山城の様相をよく残すことから新潟県指定史跡となっている〔村上 1999〕。西側には下渡山城跡が三面川の右岸に位置する。下渡山城跡は、16世紀後半の本庄繁長の乱時に上杉謙信方の攻撃拠点となった〔村上 1999〕。南方には堂の前遺跡や古渡路遺跡・谷地遺跡が所在する。堂の前遺跡は弥生時代の集落〔石川 2009〕であるが、試掘調査では珠洲焼や青磁・瀬戸美濃焼や天目茶碗が出土している〔加藤 2008a〕。古渡路遺跡は発掘調査の結果、複数地点で居住城が確認され、居住域間は低地となり、その一部は水田として利用していたことが判明した。遺物は、14世紀初頭～15世紀中ごろのものが出土している〔土橋 2009〕。谷地遺跡は縄文時代と中世の集落で、中世の遺構としては井戸・溝・土坑・柱穴などを検出した〔田海 2008〕。更に南に進んだ場所には大館跡や村上（本庄）城跡が所在する。大館跡は一辺約110mを測る方形居館で、日沿道建設に伴い館の東側堀部分を中心に平成19・20年度に発掘調査を行った。調査によって、多量の木製品とともに15世紀代を中心とする珠洲焼や青磁が出土した。館の規模や皆朱漆器・京都産土師質土器といった希少遺物が出土したことから、本地方最有力国人領主の本庄氏に関係する館と推定している〔青木ら 2008・2009〕。村上（本庄）城跡は根小屋式城郭で、本庄氏の16世紀代の本拠とされ〔村上 1999〕、本庄繁長の乱時に激しい戦闘が行われたことでも有名である。またこれらの遺跡以外にも、石塔や石仏といった石造物や館伝承地が遺跡周辺に存在する。

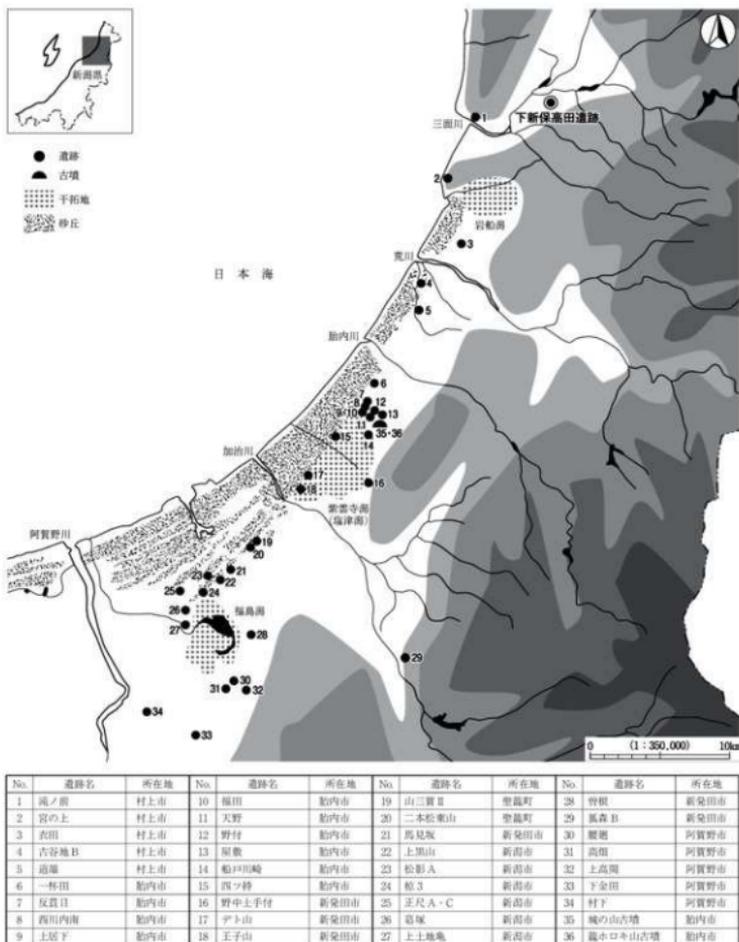
B 古墳時代前期の遺跡

古墳時代前期の荒川以南の地域は、加治川～胎内川間地域のように該期集落が大幅に増加し、沖積地の開発が盛んであったことを物語っている。しかし、下新保高田遺跡の位置する荒川以北の沖積地は、下新保高田遺跡の調査前は村上市衣田遺跡など数少ない遺跡で遺物が確認されている程度であったことから、荒川以南に比べ沖積地への進出がやや遅い地域であることが指摘されている〔滝沢 2009〕。

同時期の遺跡を北から概観する。村上市滝ノ前遺跡は三面川河口の段丘上に所在し、弥生時代後期の集

落であるが、出土土器の中に古墳時代初頭のものが含まれている〔石丸¹⁾2003〕。村上市宮の上遺跡では、竪穴住居1軒が検出されている〔新潟県考古学会編2005〕。この住居は新潟シンボ編年¹⁾で7～8期ころとされ、規模は3.15×2.6mの隅丸不整形を呈しており、本遺跡の竪穴建物の一部と形状が類似する。村上市衣田遺跡は旧神林村の沖積平野の中央に位置し、古墳時代前期（新潟シンボ編年5期以降）の土器が遺物包含層から出土している〔田辺2001a〕。遺跡の立地は小河川の自然堤防上と推測され〔新潟県考古学会編2005〕、下新保高田遺跡と立地が似ており興味深い。荒川～胎内川間には、村上市古谷地B遺跡、胎内市道端遺跡が存在する。古谷地B遺跡は胎内川扇状地の末端に立地し、土坑1基・溝2条を検出した〔古井1994〕。道端遺跡は沖積低地内に位置し、当時の自然流路とともに竪穴建物6軒、円形周溝状遺構2基、掘立柱建物13棟、杭列2条などを検出した。報告者は、遺跡の継続年数や遺構の分布などから、河川に沿って営まれた拠点集落と想定している〔前川¹⁾2005〕。胎内川～加治川間は非常に多くの遺跡が存在し、発掘調査した遺跡も多い。旧紫雲寺湯（塩津湯）の北側高湯端周辺には胎内市城の山古墳〔水澤¹⁾2006〕・龍ホロキ山古墳〔水澤1999b〕が存在し、胎内市反貫日遺跡〔寺崎¹⁾2004〕・西川内南遺跡〔野水¹⁾2005〕・大塚遺跡〔吉村2003・2004〕・天野遺跡〔水澤1999b〕・野付遺跡〔水澤1999b〕・屋敷遺跡〔水澤¹⁾2004〕などの集落が集中する。集落以外には、胎内市土居下遺跡で水田が検出されている〔細井¹⁾2006〕。城の山古墳は平成17年度の発掘調査で、古墳主体部が確認され、現状で日本海側最北の前期古墳と位置付けられた。西川内南遺跡では円形周溝状遺構2基、掘立柱建物3棟などを検出しており、中心時期は新潟シンボ編年6～7期である。出土遺物の中には小型銅鏡があり、鏡を用いた祭祀を行っていたと推測している。加治川～阿賀野川間は砂丘上や自然堤防上、旧福島湯の湯端などに遺跡が立地する。砂丘上には聖龍町山三賀Ⅱ遺跡〔坂井¹⁾1989〕・二本松東山遺跡〔伊藤¹⁾1993〕、新発田市馬見坂遺跡〔土橋¹⁾2006〕、新潟市松影A遺跡〔加藤¹⁾2001〕などの遺跡が存在する。山三賀Ⅱ遺跡では竪穴住居を12軒検出し、新潟シンボ編年8期～中期初頭まで継続した集落とされる。竪穴住居の形状は方形を主体とし、長方形に近いものも認められ、大型・中型・小型に区分できる。柱穴はほとんどの住居で確認できず、炉は一辺に偏るという傾向にある。竪穴住居の柱穴の在り方や炉の位置など下新保高田遺跡と共通する点を確認することができる。二本松東山遺跡では、方形周溝墓4基が検出されている。自然堤防上の遺跡には新潟市正尺A遺跡〔尾崎2001・土橋¹⁾2006〕・正尺C遺跡〔土橋¹⁾2006〕・葛塚遺跡〔関1999〕、阿賀野市村下遺跡〔古澤¹⁾2004〕などがある。正尺A遺跡・正尺C遺跡は同じ自然堤防上に立地し、正尺A遺跡では竪穴住居を、正尺C遺跡では周溝状遺構・竪穴住居・掘立柱建物などが検出されている。また、正尺C遺跡では裝飾器台・結合器台が多量に出土し、注目される。葛塚遺跡では遺構は検出できなかったが、多量の土器が出土している。その中でも蛇紋岩製勾玉や「朱塗り線刻人物画土器」などが注目される。村下遺跡は阿賀野川から約2km離れており、土坑13基、溝14条などが検出された。旧福島湯の湯端に位置する遺跡としては、新発田市曾根遺跡がある。曾根遺跡は古代の遺跡として有名であるが、古墳時代前期の土器も出土している〔新潟県考古学会編2005〕。

1) 『東日本における古墳出現過程の再検討』〔日本考古学協会1993〕及び『新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現』〔新潟県考古学会2005〕で示された編年表を、以下「新潟シンボ編年」と呼ぶ。



第5図 阿賀野川以北の主な古墳時代前期遺跡

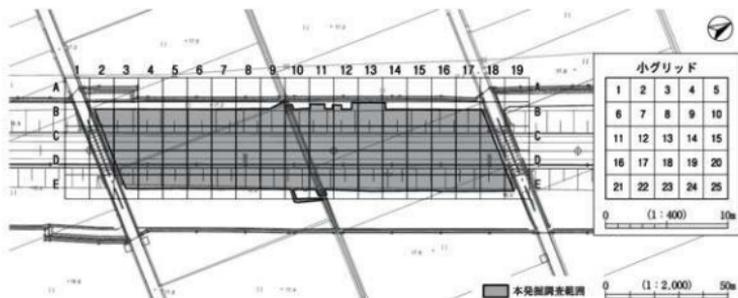
第三章 調査の概要

1 遺跡の概要

下新保高田遺跡は、三面川左岸の標高約17mを測る沖積微高地上に立地する。発掘調査によって、中世と古墳時代前期の集落であることが判明した。中世と古墳時代の遺構は検出面が異なることから、中世面（上層）と古墳時代面（下層）に分けて調査することとした。調査面積は上層が5,280m²、下層が4,993m²であり、延べ調査面積は10,273m²である。

2 グリッドの設定

グリッドは、遺跡の南西部分に任意の基点を作り、グリッドの南北のラインが本線に沿うように設定した。基点(1A)は、X:249868.757、Y:89372.496、19 EはX:250007.443、Y:89494.013である。グリッドの南北方向は真北から61° 18' 10" 東偏している。大グリッドは10m四方であり、名称は南北方向をアラビア数字、東西方向をアルファベットの大文字として、両者の組み合わせで「1A区」などと表した。また小グリッドは大グリッドを2m四方に25等分して1～25のアラビア数字で表し、東西隔を1、北東隅を25とした。表記は大グリッドに続けて小グリッドを表示し、「1A10区」のように呼称した。

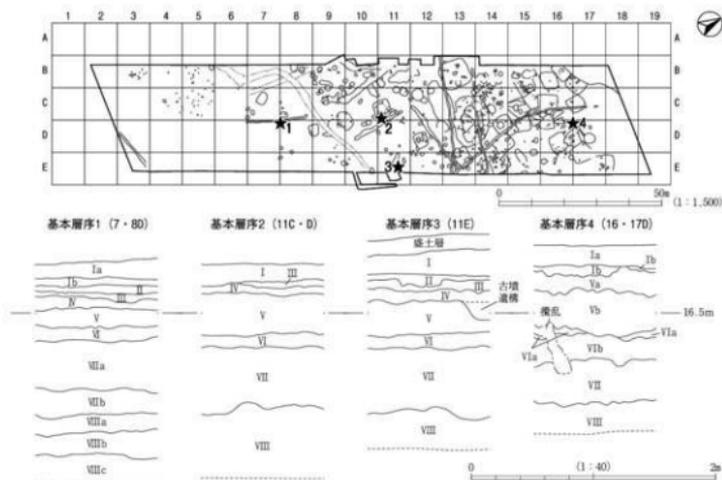


第6図 グリッド設定図

3 基本層序

基本層序の確認作業は、調査区内に任意に設定した4か所の深掘り坑で行った。この作業によって、現代の水田耕作土層を含め、8枚の土層を識別した。なお遺跡は沖積地内に位置しているため、場所によって堆積状況が異なる部分が認められる。Ⅰ・Ⅱ層は、近・現代の水田耕作に伴う土層となる。Ⅱ層には中世の遺物が多く含まれていることから、当初この層を中世遺物包含層と想定したが、Ⅱ層は水田耕作土で、本来の遺物包含層が水田耕作によって攪拌されていることが判明した。この層の下面(Ⅲ層上面)で中世の遺構検出を行った。古墳時代の遺物はⅢ・Ⅳ層に含まれ、遺構の一部はⅣ層上面で検出できたが、大部

3 基本層序



第7図 基本層序

分はV層上面での検出である。以下、基本層序を記していく。

- I層 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性弱い。礫 (3~5mm) を微量含む。水田耕作土。
- II層 灰色土 (5Y5/1) しまり強く、粘性弱い。礫 (3~5mm) を微量含む。水田耕作土。
- III層 黄灰色砂質シルトまたは砂 (25Y5/1) しまり普通、粘性やや強い。中世遺構検出面。古墳時代遺物包含層。調査区北東側では砂層となる。
- IV層 黄褐色シルト (25Y5/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物を少量含む。古墳時代遺構検出面。古墳時代遺物包含層。
- V層 黄褐色シルト (25Y5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒の含有量により、細分できる。古墳時代遺構検出面。
 - V a層 黄褐色シルト (25Y5/4) しまりやや強く、粘性普通。基本層序V層に類似する。
 - V b層 暗灰黄色シルト (25Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。V a層より砂粒少ない。
- VI層 灰色砂 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。
 - VI a層 灰オリーブ色砂質シルト (5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。VI b層より砂粒少ない。
 - VI b層 灰色砂 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。基本層序V層に類似する。
- VII層 暗灰黄色シルト (25Y5/2) しまり普通、粘性やや強い。砂粒の含有量により、細分できる。
 - VII a層 暗灰黄色シルト (25Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。基本層序VII層に類似する。
 - VII b層 暗灰黄色砂質シルト (25Y5/2) しまり普通、粘性やや強い。VII a層より砂粒多い。
- VIII層 灰色砂 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒の含有量により、細分できる。
 - VIII a層 灰色砂 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。基本層序VIII層に類似する。
 - VIII b層 灰オリーブ色砂 (5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。VIII層より砂粒少ない。
 - VIII c層 灰色砂 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。基本層序VIII層に類似する。

第IV章 遺 構

1 遺構の概要

検出した遺構は、中世と古墳時代前期に大別できる。中世の遺構としたものの中には、一部それより新しい時期のものを含んでいる可能性があるが、判別できないことから中世の遺構の中で報告する。検出した中世遺構は掘立柱建物14棟、井戸13基、土坑44基、溝34条、整地範囲2か所のほか、ピット列・道路・水田・性格不明遺構・ピットである。遺構の分布は調査区中央に集中し、東西方向の調査区外に伸びると推測される。掘立柱建物は4面に廂を持つ構造のものが多く、長軸方向の違いから東西棟と南北棟がある。掘立柱建物周辺には、多数のピットが存在することから、検出棟数以上の建物が構築されていたものと推測される。井戸は2～3基まとまって分布する傾向が強く、井戸側を持つものと素掘りのままのものが確認できる。土坑は、径2mを超える大型のものも多数存在する。

古墳時代前期の遺構は堅穴遺構23軒、掘立柱建物2棟、土坑139基、溝21条、焼土17基のほか、性格不明遺構、ピットがある。また当時存在した自然流路も1条検出した。堅穴遺構は、炉と推定する施設を検出できたものを堅穴住居、検出できなかったものを堅穴建物とした。堅穴遺構の内訳は堅穴住居10軒、堅穴建物12軒、中世遺構の攪乱が著しく不明としたもの1軒である。掘立柱建物は現状で2棟であるが、柱穴と考えられるピットが多数存在することから棟数が増える可能性がある。溝には、幅が狭く掘り込みの深いものと幅が広く浅いものがある。幅の狭い溝は、遺構の重複関係や覆土の特徴から古墳時代前期の遺構でも後出のものと考えられる。幅が広く浅い溝には弧を描くものもあり、それらの中には「広溝式住居」[岡本2003]の一部となるものが含まれる可能性がある。土坑は調査区全域から検出したが、配置などに規則性は認められない。焼土遺構は、検出層位や遺構の重複関係から古墳時代前期でも後出の遺構と考えられる。

遺構の記述は中世、古墳時代前期の順とした。遺構番号は上層(中世)と下層(古墳時代前期)に分け、上層の遺構は1から、下層の遺構は1001から始めることとした。整理作業において複数の遺構を同一遺構としたものは、早い遺構番号を採用して後の遺構番号を欠番とした。また、現地調査で遺構名を付し、整理段階で遺構にできなくなったものに関しても欠番とした。

2 中世の遺構

A 記述の方法

中世の遺構には前述したとおり、掘立柱建物・井戸・土坑・溝などがある。これらの遺構の大半はⅢ層上面で検出したが、一部の遺構は古墳時代遺物包含層掘削中に検出した。

遺構種別の略号は、掘立柱建物を「SB」、井戸を「SE」、土坑を「SK」、ピット列を「SA」、整地範囲・道路・水田・性格不明遺構を「SX」、焼土遺構を「F」、ピットを「P」とした。検出した遺構のうち、代表的なものは個別図などで詳細を示したが、それ以外のものに関しては、分割図に掲載するに留めた。

各遺構の計測方法は、以下のようにした。

掘立柱建物

掘立柱建物は柱穴の多い方向（原則として長軸）を「桁行」、少ない方向を「梁行」とし、建物の向きは桁行方向を軸とした真北からの東西南方向への角度で表した。

溝・自然流路・ピット列

全長は確認できる最長の距離とし、屈曲するものは、屈曲間の距離を合計した数値で表した。軸方向は真北からの東西南方向への角度で表した。深さは遺構検出面から遺構最深部までの鉛直距離とした。

井戸・土坑・焼土・水田・整地範囲・性格不明遺構

規模の記述は、円形・楕円形については径（長径・短径）を用い、方形そのほか不整形のものについては長軸・短軸として最大値を表した。深さは遺構検出面から遺構最深部までの鉛直距離とした。

道 路

東西方向を長軸とする浅い楕円形の落ち込みを13E・14D区で複数検出した。落ち込みは連続し、波板状をなす。計測方法は、南端と北端に位置する落ち込みを結んだ距離を検出した全長とし、幅は長軸が最も長い落ち込みを計測した。

B 掘立柱建物

SB1（図版5・9・131）

調査区中央付近の9・10C・D区に位置し、整理段階で建物と認定した。SB4・6・14、SE49、SK815と重複関係にあり、遺構内にSD16などが存在する。遺構の新旧関係はSE49・SK815・SD59に切られ、SB14を切る。P809は位置からSB1またはSB6を構成する柱穴と考えられるが、どちらに所属するかは判別できない。桁行4間（約8.6m）、梁行1間（約3.6m）の個柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に南北方向4間（約10.2m）、東西方向2～5間（約5.5m）の廂（4面廂）が巡るもので、長軸方向はN-5°-Eである。なお身舎内部には、長軸方向に3基の柱穴が存在し、東柱や間仕切り柱の可能性がある。床面積は約30.1m²、廂部を含めた面積は約56.1m²を測る。柱間寸法は梁行で2m前後、廂の南北方向で1.9～3.5m、東西方向で1.0～2.2m、身舎内部梁行方向で1.7～3.0mを測り、梁行以外ではばらつきがある。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.41m、深さ0.75m、廂部で径0.25m、深さ0.45m、身舎内部で径0.24m、深さ0.25mとなり、身舎の柱穴が径・深さともに大きくなる。覆土は身舎・廂部とも灰・灰オリブ色土などが主体で、P364・373・396など柱痕が残るものもある。またSD12A・15・403が本建物と平行して存在し、雨落溝の可能性ある。遺物は古墳時代の土器以外に、P373から金属製品（195）が出土した。遺構の時期は遺構検出面や柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB2・SD37（図版4・10・131・148）

調査区南側8・9C・D区に位置する。SB3と重複し、遺構内にはSD32・87などが、東側にはSK19・41・45といった大型の土坑が存在する。遺構の新旧関係は、SB3に切られ、SD87を切る。桁行5間（約11.0m）、梁行2間（約4.2m）の個柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向5間（約12.6m）、南北方向2間（5.6～6.0m）の廂（4面廂）が巡るもので、長軸方向はN-87°-Eを示す。北側の廂柱穴は乱れた配列となるが、ほかに柱穴が存在しないことから廂とした。なお身舎内部中心の梁行方向に2基の柱穴が存在し、東柱や間仕切り柱の可能性ある。床面積は約46.2m²、廂部を含めた面積は約73.1m²を測る。柱間寸法は桁行・梁行とも2.2m前後、廂部東西方向で1.5～3.6m、南北方向で2.9～3.6mを測り、廂部分にはばらつきがある。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.37m、深さ0.46m、廂部で径0.27m、深

さ 0.41m、身舎内部で径 0.23m、深さ 0.47m となり、径は身舎の柱穴の方が大きい、深さは身舎と廂部ではほぼ同規模である。覆土は身舎・廂部とも褐色・灰色・にぶい黄色土などが主体となり、P29・36・127 など柱痕が残るものもある。建物外の南東に SD37 が平行して存在しており、雨落溝の可能性はある。規模は幅約 0.25m、深さは約 0.05m を測り、覆土は炭化物・焼土が混じる褐色土である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB3・SD159 (図版 4・11・131・132・148)

調査区南側 7C、8・9C・D 区に位置する。SB2・SD87 と重複関係にあり、両者を切る。桁行 3 間 (約 7.0m)、梁行 1～2 間 (約 4.5m) の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向 3 間 (約 9.0m)、南北方向 3 間 (6.0m) の廂 (4 面廂) が巡るもので、長軸方向は N-94°-E を示す。北側の廂付近には柱穴を 6 基検出したが、南側の配列から廂は 3 間と推定した。床面積は約 31.5m²、廂部を含めた面積は約 54.0m² を測る。柱間寸法は桁行・梁行とも 2.2～2.4m、廂部東西方向で 2.4～3.2m、南北方向で 1.3～2.3m を測り、廂部にはばらつきがある。柱穴の規模は、平均すると身舎で径 0.26m、深さ 0.51m、廂部で径 0.25m、深さ 0.47m であり、身舎と廂部の柱穴はほぼ同規模である。なお身舎の柱穴の規模は、ほかの掘立柱建物と比較して小さい。覆土は、身舎・廂部とも灰色・灰オリーブ色土が主体である。P33・399 のように柱痕が残るものもあるが、ほかの建物と比較すると少ない。建物外の北側に SD159 が平行して存在しており、雨落溝の可能性はある。断面形は浅い皿状で、規模は幅約 0.25m、深さは約 0.05m を測る。覆土は、褐色土である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB4 (図版 5・12・132)

調査区南側 9B・C、10C 区に位置する。遺構内に SD80・87 などが存在し、SD87 に切られる。桁行 3 間 (約 6.8m)、梁行 1 間 (約 4.1m) の側柱式掘立柱建物で、長軸方向は N-91°-E を示す。床面積は、約 27.9m² を測る。柱間寸法は桁行 2.1～2.6m を測り、桁行中央の柱間が広い。東側の梁行近くには柱穴 (P47-355) が配置され、間仕切り柱の可能性はある。柱穴の規模は平均すると径 0.24m、深さ 0.52m であり、四隅のものはやや深くなる。覆土は、褐色・灰色・灰オリーブ色土が主体である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB5 (図版 4・12・132)

調査区南側 7・8B・C 区に位置する。遺構内に SD124・F94 などが存在し、F94 を切る。桁行 3 間 (約 7.8m)、梁行 1 間 (6.1m) の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に南北方向 3 間 (約 9.5m)、東西方向 2 間 (6.1m) の廂 (4 面廂) が巡るもので、長軸方向は N-2°-E を示す。床面積は約 31.5m²、廂部を含めた面積は約 58.0m² を測る。柱間寸法は、桁行 2.3～2.9m、廂部南北方向で 3.0～3.3m、東西方向で 2.2～3.7m を測る。廂部東西方向は、両側とも間の柱穴が中央に位置せず、大きく偏っている。柱穴の規模は、平均すると身舎で径 0.30m、深さ 0.38m、廂部で径 0.20m、深さ 0.31m であり、身舎の柱穴が径・深さとも大きい。覆土は、褐色・灰色・灰オリーブ色土が主体で、P97・98・125 には柱痕がある。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB6 (図版 5・13・14・133)

調査区中央付近の 10B・C、11C 区に位置し、建物南側の一部は農業用水路に壊される。本建物は、整理作業段階で認定した。SB1、SK815、SD210・856、SX517 と重複関係にあり、遺構内に SK305、SD882

などが存在する。遺構の新旧関係はSD856・859・SX517を切り、SK815・SD210に切られる。SB1との関係は不明であり、P809はSB1・6のどちらを構成する柱穴か判別できない。桁行4間(約98m)、梁行1間(36m)の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向4間以上(106m以上)、南北方向2間(50m)の廂(4面廂か)が巡るもので、長軸方向は $N-91^{\circ}-E$ を示す。東側廂部は井戸・土坑・溝によって壊されており、柱穴は確認できない。床面積は約35.3m²、廂部を含めた面積は52.0m²以上となる。柱間寸法は、桁行2.1～2.5m、廂部東西方向で1.8～3.6m、南北方向で2.0～3.1mを測り、全体にばらつきがある。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.53m、深さ0.53m、廂部で径0.26m、深さ0.34mであり、身舎の柱穴が径・深さとも大きい。覆土は、褐灰色・灰色・灰オリーブ色土が主体となり、P331・802・888など柱痕が残るものもある。遺物はP331から鉄滓(185)が出土したのみである。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB7 (図版5・13・14・133)

調査区北側10B、11B・C区に位置し、建物西側は調査区外へ伸びる。本建物は、整理作業段階で認定した。SE563・589、SK139・893、SD108・333・337と重複関係にあり、遺構内には多数の柱穴が存在する。遺構の新旧関係はSK893・SD333を切り、SD337に切られる。桁行3間以上(84m以上)、梁行2間(4.5m)の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向4間以上(9.3m以上)、南北方向3間(6.5m)の廂が巡るもので、長軸方向は $N-96^{\circ}-E$ を示す。西側廂部は、調査区外となり確認できない。床面積は38.8m²以上、廂部を含めた面積は60.5m²以上となる。柱間寸法は、桁行1.9～3.6m、梁行1.9～2.6m、廂部東西方向で2.0～3.0m、南北方向で1.9～2.0mを測り、全体にばらつきがある。桁行のP536・680間は柱穴が検出できなかったが、ピット間の距離は大きく、廂部の柱穴配置などから、SD108の位置に柱穴が存在した可能性もある。また建物内のP109は、位置関係から本建物に伴う柱の可能性もある。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.36m、深さは0.58m、廂部で径0.29m、深さは0.34mであり、身舎の柱穴が径・深さとも大きい。覆土は、灰色・灰オリーブ色土が主体で、P442・731には柱痕が見られる。またP117・335・536は開口部が大きく開くことから、柱の抜き取りが行われた可能性がある。遺物は古墳時代土師器のほか、P138からは砥石(177)が出土した。遺構の時期は遺構検出面や重複関係から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB8 (図版6・14・15・134)

調査区北側12B・C、13C・D区に位置し、整理作業段階で建物と認定した。SB9・12、SE428・439、SK429、SX315と重複関係にあり、遺構内にSK684、SD703などが存在する。遺構の新旧関係はSB12・SX315を切り、SE428・439、SK429に切られる。SB9との新旧関係は不明である。桁行5間(124～128m)、梁行1間(約4.0m)の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向7間(約14.75m)、南北方向2または3間(約5.7m)の廂(4面廂)が巡るもので、長軸方向は $N-90^{\circ}-E$ を示す。床面積は約50.3m²、廂部を含めた面積は約83.3m²となり、調査区最大の建物である。柱間寸法は、桁行2.0～3.2m、廂部東西方向で1.4～2.9m、南北方向で1.7～3.0mである。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.30m、深さ0.56m、廂部で径0.29m、深さ0.50mであり、身舎と廂部ではそれほど大きな差は認められない。覆土は、褐灰色・灰色・灰オリーブ色土が主体となり、P279・717・718など柱痕が残るものもある。P284は開口部が大きく開くことから、柱の抜き取りが行われた可能性がある。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB9 (図版14・15・134)

調査区北側12C区に位置し、整理作業段階で建物を認定した。SB8、SK166、SX315と重複関係にあり、遺構内にSK155、SD703などが存在する。遺構の新旧関係はSX315を切り、SK166に切られる。SB8との関係は不明である。桁行3間(6.4～6.5m)、梁行1間(3.0～3.1m)の側柱式掘立柱建物で、長軸方向はN-91°-Eを示す。床面積は約19.8m²を測る。柱間寸法は、桁行1.2～3.2mで、東側が狭い。柱穴の規模は、平均すると径0.28m、深さ0.45mとなる。覆土は、灰色・灰オリーブ色土が主体である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB10 (図版15・134)

調査区中央付近の10・11C区に位置し、整理作業段階で建物を認定した。SE310、SD302、SX315と重複関係にあり、遺構内にSD418などが存在する。遺構の新旧関係はSD302、SX315を切り、SE310に切られる。桁行3間(約6.5m)、梁行1間(約3.5m)の側柱式掘立柱建物で、主軸方向はN-6°-Eを示す。床面積は約21.8m²を測る。柱間寸法は桁行2.0～2.5mで、ややばらつきがある。柱穴の規模は、平均すると径0.31m、深さ0.53mとなる。覆土は、褐灰色・灰色・灰オリーブ色土などである。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB11 (図版16・135)

調査区北側11・12D・E区に位置し、整理作業段階で建物を認定した。SE217・344、SD173、SX315と重複関係にあり、遺構内にSD258などが存在する。遺構の新旧関係はSE217・344、SD173、SX315に切られる。なお北側にはSB12がほぼ同じ長軸方向で隣接する。桁行5間(約7.8m)、梁行1間(約3.8m)の側柱式掘立柱建物で、長軸方向はN-91°-Eを示す。床面積は約28.9m²を測る。廂となる柱穴は検出できなかった。柱間寸法は、桁行2.3～2.8mである。柱穴の規模は、平均すると径0.37m、深さ0.73mとなる。覆土は、灰色・灰オリーブ色土が主体である。またP200・237・297・426・591は開口部が大きく開くことから、柱の抜き取りが行われた可能性がある。遺物はP426から磨石類(155)、P538から珠洲焼壺または甕体部片(1)が出土した。遺構の時期は出土遺物などから中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB12 (図版17・135)

調査区北側11・12B・C区に位置し、整理作業段階で建物を認定した。SB8、SD173・294、SX315などと重複関係にあり、遺構内にSK242などが存在する。遺構の新旧関係はSX315を切り、SB8、SD173・294に切られる。本建物の南北側には長軸方向が同じSB8・9・11が存在し、SX315との関係からSB11より本建物が新しい。桁行5間(約10.8m)、梁行1間(約3.9m)の側柱式掘立柱建物の身舎と、身舎の周囲に東西方向6間(13.0～13.2m)、南北方向3間(5.9～6.0m)の廂(4面廂)が巡るもので、主軸方向はN-92°-Eを示す。床面積は約42.1m²、廂部を含めた面積は約77.9m²を測る。柱間寸法は、桁行1.9～2.3m、廂部東西方向で1.4～2.9m、南北方向で1.3～3.1mを測り、廂部にはばらつきがある。なお、P316・702は身舎北側のライン上に乗り、配置的にはP316が南側の柱穴とほぼ対称となる。しかし、P316はSX315に覆われ、ほかの柱穴と時期が異なる可能性が高く、本建物の柱にはできない。このことから、やや歪な配置になるがP702を本建物に伴う柱と推測した。柱穴の規模は、平均すると身舎で径0.38m、深さ0.51m、廂部で径0.30m、深さ0.51mであり、径は廂部と比較して身舎が大きいが、深さはほぼ同じである。覆土は、褐灰色・灰色・灰オリーブ色土が主体である。またP276・281・295は開口部が大きく開くことから、柱の抜き取りが行われた可能性がある。遺物はP416から砥石(156)、P445から

珠洲焼変または堯体部片(42)、P543から磨石類(179)、P553から白磁皿(2)・珠洲焼変または堯体部片(3)が各1点出土した。白磁皿は、いわゆる「口壳」である。遺構の時期は出土遺物から13世紀中葉～14世紀中葉前後と考えられる。

SB13 (図版2・16・135・136)

ほかの掘立柱建物から大きく離れた調査区南端付近3・4D区に位置する。なお、南東隅の柱穴の位置は、試掘トレンチで深掘りされ、柱穴は検出できなかった。桁行2間(約4.5m)、梁行1間(約3.1m)の側柱式掘立柱建物で、長軸方向はN-91°-Eを示す。床面積は約14.3m²を測る。柱間寸法は、2.3～2.8mである。柱穴の規模は、平均すると径0.37m、深さ0.73mとなる。覆土は、柱痕部分を含めて灰オリーブ色土が主体で、柱痕部分は炭化物をやや多く含む。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面などから中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB14 (図版5・18・135・147)

調査区南側の9・10C・D区に位置し、整理作業段階で建物を認定した。SB1、SK19、SD12・14と重複関係にあり、それらの遺構に切られる。SB4とは上屋部分が接すると推測され、長軸も若干異なることから、併存の可能性は低いと考えられる。桁行3間(約6.6m)、梁行1間(約3.4m)の側柱式掘立柱建物で、長軸方向はN-90°-Eを示す。床面積は約22.1m²を測る。柱間寸法は1.8～2.6mで、ややばらつきが見られる。柱穴の規模は、平均すると径0.26m、深さ0.35mとなる。覆土は、灰・灰オリーブ色土などが主体である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面や重複関係、柱穴覆土から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

C 井 戸

井戸の分類及び構造の名称は〔北陸中世考古学研究会2001〕に拠った。詳細は同書を参照されたい。

A類 井戸側を持たない、素掘りの井戸。本遺跡の場合、水溜を持たないもの(A1類)と水溜の曲物を持つもの(A3類)がある。

B1 V a類 横方向の板材の仕口をほぞ組にして積み上げたのみで、二重側の形態をとらない横板組井戸。本遺跡の場合、すべて底面に水溜の曲物を持つもの(B1 V a3類)である。

B1 VI a類 横方向の板材を四隅に立てた柱で支え、二重側の形態をとらない横板組柱留の井戸。本遺跡の場合、底面に水溜の曲物を持つもの(B1 VI a3類)である。

SE49 (図版5・18・136)

調査区南側10C区に位置するA3類の井戸である。重複関係はSD16に切れ、SB1を切る。平面形は楕円形で、規模は長径約1.69m、短径約1.30m、深さ約1.79mを測る。底面は標高14.85mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。壁面は底面からはほぼ垂直に立ち上がった後、約60°外傾する。検出面から約1.20m以下は、湧水のため、十分な調査ができなかった。確認できた覆土は9層に分層できた。1層はⅡ層が流れ込んだ自然堆積であるが、2層以下は人為的に埋め戻したものでブロック状の堆積土である。出土遺物は曲物1点である。底面の中央やや北西側から出土しており、径0.21m、高さ0.08m(残存値)を測る。出土位置から、後述するSE216などと同様に水溜として使用したと考えられる。

SE99 (図版3・4・18・136)

調査区南側7C区に位置するA1類の井戸である。重複関係は認められないが、SB2・3・5などに近接する。平面形は楕円形で、規模は長径約1.02m、短径約0.88m、深さ約1.49mを測る。底面は標高15.13mであり、礫層まで掘られている。掘形の断面形は漏斗状を呈する。壁面は底面からほぼ垂直もしくはオーバーハングして立ち上り、約0.40m上方で約80°外傾する。覆土は10層に分層でき、おおむねレンズ状堆積である。5層は壁面の崩落土であり、3・6・9層は地山(V~Ⅷ層)のいぶい黄色土をブロック状に少量含む。これらのブロック状の土は壁面の崩落に伴い混入したものと考えられる。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物はない。

SE102 (図版6・19・137)

調査区北側12B区に位置するA1類の井戸である。重複関係はSE186・784を切る。平面形は楕円形で、規模は長径約2.16m、短径約1.98m、深さ約1.67mを測る。底面は標高15.08mであり、Ⅷ層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。壁面は起伏に富み、底部ではややオーバーハングする。開口部付近では外傾ないし内湾して立ち上がる。覆土は10層に分層でき、レンズ状に堆積する。1~3層は灰色土を主体とし、Ⅱ層に類似する。4層は炭化物の混入が目立ち、7層は炭化物が薄く堆積した層である。8・9層はいぶい黄色土ブロックを含み、10層はブロック状の黄色土が主体である。混入物などから4層以下は人為的な埋め戻し土と考えられる。遺構掘削中、湧水はなかった。遺物は底面直上から片端を尖らせた木製品(70)が出土した。

SE186 (図版6・19・137)

調査区北側11B区に位置するA3類の井戸である。重複関係はSE102に切られる。平面形は楕円形で、規模は長径約1.72m、短径は残存値で1.56m、深さ約2.15mを測る。底面は標高14.62mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形はおおむね漏斗状を呈する。底部の平面形は円形を呈し、円形の中心よりやや東側に水溜として利用した曲物が設置されている。曲物は底板がなく、径約0.40m、高さ0.26mを測る。壁面は起伏に富み、東側は壁崩落のためか階段状となっている。壁面は残存状態の良好な部分で見ると、底面からほぼ垂直に立ち上り、0.45m上方で83°外傾する。覆土は7層に分層でき、レンズ状に堆積する。1層はⅡ層の流れ込みである。6層は水溜内の覆土、7層は水溜施設と掘形の間の埋土である。2~5層はいぶい黄色土ブロックが混入しており、人為的な埋め戻し土と考えられる。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物は白磁碗1点、珠洲焼R種壺1個体、片口鉢1点など計5点である。このうち白磁碗・珠洲焼壺は5層上部から出土した。また覆土上部出土の珠洲焼片口鉢はSD314出土のものと同接関係にある。水溜として利用した曲物は腐食によって土壌化が進み、取り上げは不可能であった。遺構の時期は、出土遺物から14世紀代と考えられる。

SE216 (図版5・6・20・137)

調査区北側11D区に位置するA1類の井戸である。重複関係はP586を切り、南側上部は調査のための排水溝により削平されている。平面形は残存状態から楕円形と推測され、規模は長径約1.97m、短径約1.67m、深さ約2.28mを測る。底面標高は14.51mであり、Ⅷ層以下の砂礫層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。壁面は底面からほぼ垂直に立ち上り、約1.20m上方で約70°外傾する。覆土は7層に分層でき、2層以下は人為的な埋め戻し土でブロック状に堆積する。6・7層には炭化物が多量に含まれ、拳大の自然石も混入していた。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物は覆土上部から出土した珠洲焼片口鉢及び砥石2点のみである。

SE217 (図版5・6・20・137)

調査区北側11D区に位置するA3類の井戸である。重複関係はSE344、P495・496・498・505・551を切る。平面形は楕円形で、規模は径約237m、深さ約227mを測る。底面標高は14.56mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。底部は水溜を設置するため、ほぼ中心を円形に掘り込んでいる。水溜は上段に曲物側板、下段に底板を有する曲物が掘えられていた。前者は径約0.55m、高さ約0.19m、後者は径0.17m、高さ0.13mを測る。下段の曲物からは約0.15mの自然石が出土した。壁面は水溜上端に幅0.10～0.20mのテラス状の段を設け、外傾もしくは外反して立ち上がる。覆土は8層に分層でき、レンズ状に堆積する。3・6層は炭化物を中量含み、3層の上面は炭化物が薄く堆積する。これらの炭化物を伴う覆土は井戸廃絶時の人為的な埋め戻し土と推測される。7層は水溜施設を作る際の埋土である。遺構掘削中、湧水はほとんどなかった。出土遺物は瀬戸美濃焼鉢皿1点、珠洲焼壺または蓮体部片・片口鉢各1点、銭貨、鉄滓、水溜の曲物1点である。なお、上段の水溜は腐食し土壌化が進んでいたため、取り上げは不可能であった。曲物を除く陶器類は覆土上部の出土であり、そのうち瀬戸美濃焼鉢皿(8)は1層出土である。片口鉢(10)は、SE344の1・6層、そして遺構外のものと同接関係にある。銭貨は覆土中部からの出土である。遺構の時期は、出土遺物から14世紀後半と考えられる。

SE310 (図版5・21・138)

調査区北側10・11C区に位置するB1 V a3類の井戸である。重複関係はSD302・418、P757・758を切る。平面形は楕円形で、規模は長径約3.27m、短径約2.86m、深さ約2.38mを測る。底面標高は14.35mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。井戸の下部には方形に側板が組まれており、底部には水溜施設として曲物が設置されている。井戸側は両端にL字状もしくは逆L字状に切込みを入れた板材を互い違いに組み上げたもので、下部の2～4段が残存していた。また東側の上から1・2段目の間には板状の材(74～77)を差し込んでいる。井戸側の平面形は方形で、長軸約0.95m、短軸約0.90mを測り、軸方向はほぼ東西・南北に向く。側板は検出状況から本来4段以上で構成されていたものと考えられ、土層断面の観察から廃絶時に一部引き抜かれたものと推測される。水溜施設には二段重ねの曲物側板が使用されており、重ねた状態で径0.59～0.67m、高さ0.34mを測る。水溜付近の掘形は平面形は隅丸方形であるが、中央からやや北西に曲物を設置するための円形の掘り込みがある。壁面は底面から外傾して立ち上がり、約0.95mの所で約55°外反し開口部へと伸びる。覆土は9層に分層でき、レンズ状に堆積する。1層はⅡ層が流れ込んだものである。2～7層は井戸側板を抜き取った後の埋土である。井戸側内の6層は灰オリーブ色土が主体であり、崩れた井戸側の板材が混入していた。8・9層は水溜施設及び側板設置時の埋土であり、にぶい黄色土・灰色砂質土である。出土遺物は井戸側板・水溜の曲物のほかに、珠洲焼片口鉢2点、壺または甕1点、砥石1点、金属製品1点、鉢(木地)1点、円形板1点など計13点である。鉢(木地)は南側下段の井戸側に接するように、砥石と円形板は水溜の底面から出土した。

SE344 (図版6・21・138)

調査区北側11E区に位置するB1 V a3類の井戸である。重複関係はSE217に切られ、P497～499を切る。平面形は円形で、規模は径約3.24m、深さ約2.38mを測る。底面標高は14.42mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は上部が漏斗状、下部が階段状を呈する。井戸の下部には方形に側板が組まれており、底部には水溜施設としての曲物が設置されている。井戸側はSE310同様、両端にL字状もしくは逆L字状の切込みを入れた板材を互い違いに組み上げたもので、下部の1～3段が残存していた。井戸側の平面形は方形を呈し、長軸約0.70m、短軸約0.60mを測り、軸方向はほぼ東西・南北に

向く。側板は検出状況から本来3段以上で構成されていたものと考えられ、土層断面の観察から廃絶時に一部が引き抜かれたものと推測される。水溜には径0.50m前後、高さ0.50m前後の曲物を使用している。井戸の壁面は底面からオーバーハングして立ち上り、上部で約45°外傾する。オーバーハングした壁面は、本来垂直であったものが側板を引き抜く際、壁が崩落したためと推測される。水溜付近の掘形の平面形は隅丸方形を呈し、曲物を設置するために円形の掘り込みがある。底部近くの壁には側板を設置するためのテラス状の段が見られる。覆土は12層に分層でき、井戸本体内はレンズ状に堆積する。1層はII層の流れ込みであり、灰色土が主体である。2～9層は井戸本体内の覆土で、にぶい黄色土ブロックや炭化物を含むことから人為的な埋戻し土と考えられる。7層は炭化物を多量に含み、8層には埋戻し時に崩れたと考えられる井戸側が出土した。また、水溜の曲物内からは約0.45mの自然石が出土した。10～12層は水溜施設及び側板設置時の埋土であり、にぶい黄色土を主体とする。遺構掘削中、湧水はほとんどなかった。出土遺物は井戸側板のほかに、珠洲焼壺・片口鉢、円形板・箸状木製品、台石など13点である。なお、水溜の曲物は腐食し土壌化が進み、取り上げは不可能であった。円形板などの木製品は9層を中心に出土した。また1・6層から出土した珠洲焼片口鉢はSE217出土のもの(10)、1層出土の台石は遺構外出土のものと同接関係にある。遺構の時期は、出土遺物から14世紀後半と考えられる。

SE428 (図版6・22・138・139)

調査区北側12・13D区に位置するB1 V a3類の井戸である。重複関係はSE439に切られ、SB8を切る。また、北東側上部は調査のための排水溝により一部削平されている。平面形は楕円形で、規模は長径約2.96m、短径約2.78m、深さ約2.53mを測る。底面標高は14.31mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は上部が漏斗状、下部が階段状を呈する。井戸側は、両端にL字状もしくは逆L字状の切込みを入れた板材を互い違いに組み上げたもので、下部の2段が残存していた。井戸側の平面形は方形を呈し、長軸約1.10m、短軸約1.00mを測り、軸方向は東西・南北を向く。構造はSE310・344と類似しており、側板は本来3段以上で構成されていたものが一部廃絶時に引き抜かれたものと推測される。水溜には底板のない曲物を二段使用している。上段の曲物は径0.54m、高さ0.44m、下段は径0.38m、高さ0.24mを測る。井戸の壁面はほぼ垂直に立ち上り、開口部付近で約35°外傾する。側板設置部の掘形は四隅が突出した方形を呈し、底部には曲物を設置するための円形の掘り込みが階段状にある。これは事前に用意した井戸側及び曲物を設置するために掘削範囲を徐々に狭めていった結果と言えよう。覆土は23層に分層できた。1～20層が井戸本体内の覆土で、多くは灰色土を主体とするが、8～11層はにぶい黄色土主体もしくはにぶい黄色土ブロックを多量に含む土である。3・12・16層は炭化物を中量含み、18層はヨシなどの腐植層である。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物は井戸側板・水溜の曲物のほかに、珠洲焼片口鉢2点、壺1点、漆器椀1点、箸状木製品10点、曲物1点、円形板1点、付け木4点など35点である。陶磁器類は覆土上部からの出土である。また木製品のうち、漆器椀は18層、曲物は19層下面、箸状木製品は18層及び20層からの出土である。遺構の時期は、出土遺物から14世紀代と考えられる。

SE439 (図版6・22・139)

調査区北側13D区に位置するA3類の井戸である。重複関係はP342に切られ、SB8、SE428を切る。平面形は隅丸長方形で、規模は長軸約2.05m、短軸約1.32m、深さ約2.38mを測る。底面標高は14.45mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。底部は水溜施設を設置するため、ほぼ中心を円形に掘り込んでいる。水溜施設には径0.53m、高さ0.43mの底板のない曲物を使用している。水溜上端の壁にはテラス状の段が付き、約70°外反して立ち上がる。覆土は12層に分層でき、

レンズ状に堆積する。1層はほかの多くの井戸同様、Ⅱ層が流入したものである。4・9層は薄い炭化物層を挟み、5層には約0.10mの礫が複数混入していた。11層は水溜内の灰色の砂を主体とする土で、井戸として機能していた時期に流入した可能性があるが、ほかの2～10層は、堆積状況や混入物から人為的な埋め戻し土と考えられる。12層は水溜の曲物と掘形の土で灰色砂である。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物は水溜の曲物のほかに、珠洲焼壺または甕体部片・片口鉢各1点、砥石2点、著状木製品2点、付け木2点の計8点である。珠洲焼・砥石は5層出土、曲物を除いた木製品は10層出土である。

SE563 (図版5・6・23・139)

調査区北側11B区に位置するA1類の井戸である。重複関係はSK139に切られ、SE589を切る。SE589の側板の一部はSE563の構築で壊されている。平面形は楕円形で、規模は長径約250m、短径は残存値で1.61m、深さ約1.85mを測る。底面標高は14.79mであり、Ⅷ層下位まで掘り込んでいる。掘形の断面形はU字状を呈する。底面は皿状で、壁は緩やかに外反しながら立ち上がり、開口部付近で45°～80°外傾する。覆土は自然堆積の様相を示しており、7層まではレンズ状に、8層以下は水平に堆積している。9層は植物繊維を微量に含む黒褐色土で、遺物はすべてこの層から出土した。井戸底面の10層は灰色土層で、砂礫を中量含む。遺構掘削中、湧水はほとんどなかった。出土遺物は漆器皿1点、碗の破片3点である。

SE589 (図版5・24・140)

調査区北側11B区に位置する井戸である。重複関係はSE563・SK139・P107に切られる。このうちSE563は遺構中央の大半を壊している。平面形は楕円形で、規模は長径約4.16m、短径約3.96m、深さ約2.66mを測る。底面標高は14.04mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。側板は一部残存するが、大半は廃絶時に抜かれたものと考えられる。底部は水溜を設置するため、ほぼ中心を円形に掘り込んでいる。水溜には径0.41m、高さ0.39mの底板のない曲物を使用している。壁面は水溜上端のやや傾斜するテラス状の段から、約50°外反して立ち上がる。その後、北側はほぼ垂直になるのに対し、南側は50°前後の角度を維持したまま緩やかに立ち上がる。覆土は8層で、多くは水平に堆積する。1層はⅡ層が流入したものである。2～6層は内容物や堆積状況から、人為的な埋め戻し土と考えられる。7層は水溜内の覆土で、青灰色砂質土である。掘削中少量の湧水が確認できた。出土遺物は水溜の曲物や側板と推測される板材のほかに、蓋・楕円形板・折敷などの木製品、磨石類の9点が出土した。木製品は6層下部の出土、磨石類は2層からの出土である。また覆土上部から古墳時代の土師器がほぼ完形で出土した。

SE784 (図版6・23・140)

調査区北側11・12B区に位置するB1 VI a3類の井戸である。重複関係はSE102に切られる。平面形は楕円形で、規模は長径約2.94m、短径は残存値で2.58m、深さ約2.58mを測る。底面標高は14.25mであり、Ⅷ層以下の砂層まで掘り込んでいる。掘形の断面形は漏斗状を呈する。井戸側は板材で構築され、1段確認できた。井戸側の形状は、方形で四隅に杭が打ち込まれていた。杭の上端は側板より高いことから、側板は2段以上で構成されていたものと考えられる。井戸側は長軸約1.04m、短軸約0.95mを測り、軸方向はほぼ東西・南北を向く。水溜には底板のない曲物を二段重ねて使用している。上段の曲物は径0.60m、高さ0.52m、下段は径0.38m、高さ0.29mを測る。井戸本体の壁面は北側に水溜を設置しており、底面から1.30～1.60mの位置まで確認できる。底面の掘形は楕円形であり、中央に水溜を設置するための穴を掘り込み、ブロック状に堆積する。7層からは腐食した側板の破片が出土したが、土の色調などから側板設置

時の埋め土が流れ込んだものと推測される。なお7・8層間には井戸側が腐食し、空洞化した部分が観察できた。遺構掘削中、湧水はなかった。出土遺物は水溜の曲物や井戸側の部材のほか、青磁椀1点、杭3点が出土した。このうち青磁は、8層から出土した。遺構の時期は、出土遺物から13世紀後半と考えられる。

D 土 坑

SK1 (図版5・25・140)

調査区南側10D区に位置する土坑で、P395と重複関係にあり、これを切る。平面形は長楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約1.88m、短径約0.98m、深さ約0.26mを測る。覆土は4層に分層でき、灰褐色土が主体である。このうち2層は焼土層となるが、壁及び3層が焼けていないことから土坑内に廃棄したものと考えられる。遺物は出土していない。

SK2 (図版5・25・140)

調査区南側10・11E区に位置する土坑で、P611・612と重複関係にあり、これらの遺構を切る。平面形は不整形長方形で、断面形は半円状を呈する。規模は長軸約2.11m、短軸約1.59m、深さ約0.49mを測る。覆土は9層に分層でき、灰色土が主体である。そのうち最下層である9層は炭化物層となるが、底面や壁面に被熱の痕跡は確認できない。遺物は出土していない。

SK5 (図版5・25・141)

調査区南側10D区に位置する土坑で、P394と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は径約0.71m、深さ約0.19mを測る。覆土は単層で、灰色シルト層である。遺物は出土していない。

SK17 (図版5・25・141)

調査区南側10D区に位置する大型の土坑で、P3と重複関係にあり、これを切る。平面形は長楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約3.47m、短径約2.17m、深さ約0.53mを測る。覆土は5層に分層でき、灰黄褐色土が主体であり、炭化物や礫を含む。遺物は珠洲焼壺または甕体部片1点(20)、片口鉢3点(21など)、砥石1点(163)や礫が出土した。片口鉢は、口縁形状から珠洲焼IV期と推測される。遺構の時期は、出土遺物から14世紀代と考えられる。

SK19 (図版3・4・26・141)

調査区南側9D区に位置する大型の土坑で、SD12・14と重複関係にあり、SD14に切られ、SD12を切る。南側約3.4mに、大型の土坑SK41が存在する。また東西方向に走る近代以降の水路に、一部壊されている。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は径2.5m前後、深さ約0.60mを測る。覆土は4層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。3・4層はIV層由来のいぶい黄色土ブロックを斑状に混入する。遺物は珠洲焼片口鉢2点(22など)、須恵器甕体部片2点(23・24)、砥石1点(164)、磨石類1点、鉄釘と推定する金属製品1点(189)や多量の礫が出土した。礫は花崗岩が主体で、大きさは10～30cmほどである。加工痕或使用痕は確認できなかった。また下層の古墳時代遺構(SK1072)を破壊しているため、多くの土師器が出土した。

SK41 (図版4・26・141)

調査区南側8・9D区に位置する大型の土坑で、西側約1.3mにSB2、北側約3.4mに大型の土坑SK19、南側約3.1mに大型の土坑SK45が存在する。平面形は不整形楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長

径約 3.46m、短径約 2.75m、深さ約 0.44m を測る。覆土は 5 層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。そのうち 3 層は、炭化物を中量含む。遺物は多量の礫が主に 3 層から出土したのみである。礫は花崗岩が主体で、大きさは径 5～20cm ほどである。加工痕や使用痕は確認できなかった。

SK45 (図版 4・27・141)

調査区南側 8D 区に位置する大型の土坑で、中世遺構集中域の南端にある。北側約 2.7m に SB2、約 3.1m に大型の土坑 SK41、西側約 3.1m に SB3 が存在する。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は径 2.90m 前後、深さ約 0.55m を測る。覆土は 4 層に分層でき、褐灰色土、黄褐色土が主体である。遺物は礫が 3・4 層から出土したのみである。礫は花崗岩が主体で、大きさは径 10cm 前後となる。加工痕や使用痕は確認できなかった。

SK61 (図版 4・5・27・142)

調査区南側 8D 区に位置する土坑で、SK81 に隣接し、東側約 0.78m には SD87 が存在する。平面形は不整形で、断面形は半円状を呈する。規模は長軸約 0.80m、短軸約 0.55m、深さ約 0.23m を測る。覆土は 3 層に分層でき、灰色土が主体である。そのうち 2 層は、炭化物を中量含む。遺物は古墳時代前期の土師器が 2 層から出土したのみである。

SK81 (図版 4・5・26・142)

調査区南側 8C 区に位置する土坑で、SD87 と重複関係にあり、これを切る。また SK61 に隣接する。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸約 1.57m、短軸約 1.48m、深さ約 0.38m を測る。覆土は 2 層に分層でき、炭化物を少量含む灰オリーブ色土・オリーブ黄色土である。遺物は古墳時代前期の土師器が 1・2 層から出土したのみである。

SK100 (図版 6・27・142)

調査区北側 11・12B・C 区に位置する大型の土坑で、SD443、P770 と重複関係にあり、これらの遺構を切る。また南側には近接して SK101・149 が存在する。平面形は不整形で、断面形は箱状を呈する。規模は長軸約 2.75m、短軸約 1.70m、深さ約 0.30m を測る。覆土は 6 層に分層でき、灰色土が主体である。そのうち 3 層は焼土層となるが、5 層が焼けていないことから土坑内に廃棄したものと考えられる。遺物は軽石 1 点 (165) が 6 層から出土したのみである。

SK101 (図版 5・6・27・143)

調査区北側 11B・C 区に位置する土坑で、SK149 と重複関係にあり、これに切られる。また北東側には近接して SK100 が存在する。平面形は長楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約 1.87m、短径約 1.33m、深さ約 0.38m を測る。覆土は 3 層で、2 層は炭化物を中量含む。3 層は炭化物層となるが、底面や壁面に被熱の痕跡は確認できない。遺物は 2 層下部から輸入磁器 1 点 (25)、砥石 1 点 (166) が出土した。磁器は碗体部片で、型押し文が施される。染付の文様は確認できないが、新発田城出土遺物〔鶴巻 2001〕などの類例から青花と考え、時期は 17 世紀初頭と推定される。遺構の時期は出土遺物から 17 世紀初頭と考えられ、集落廃絶後の遺構と推測される。

SK137 (図版 6・27・143)

調査区北側 12B 区に位置する土坑で、北側約 1.00m に SD530、南西 1.00～1.70m に SE102・784 が存在する。平面形は長楕円形で、断面形は箱状を呈する。規模は長径約 1.05m、短径約 0.84m、深さ約 0.25m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰色土・ぶい黄色土である。遺物は出土していない。

SK139 (図版5・6・28・143)

調査区北側11B区に位置する土坑で、SB7、SE563・589、SK893と重複関係にあり、SE563・589、SK893を切る。SB7との新旧関係は不明である。平面形は細長い楕円形で、断面形はU字状を呈し、底面は東側が一部低くなる。規模は長径約3.15m、短径約1.11m、深さ約0.83mを測る。覆土は7層に分層でき、灰色土が主体である。このうち2・4層は炭化物を中量、5層は炭化物を多量に含む。遺物は1層から青磁椀底部1点(26)、4～5層上面から珠洲焼片口鉢1点(28)、瀬戸美濃焼天目茶碗(27)や礫が出土した。このうち片口鉢はSE310出土のものと接合し、天目茶碗はSD108出土、II層出土のものと接合する。片口鉢は珠洲焼IV期、天目茶碗は古瀬戸後期様式II期と推定される。礫は石英や珪化木で、珪化木は周辺の井戸からも出土した。また5層には、微細な骨片が微量含まれていた。遺構の時期は、出土遺物から15世紀前半と考えられる。

SK149 (図版5・6・28・144)

調査区北側11B・C区に位置する土坑で、SK101と重複関係にあり、これを切る。また北側にはSK100が近接して存在する。平面形は長楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.15m、短径約0.89m、深さ約0.43mを測る。覆土は5層に分層でき、灰色土が主体である。遺物は3～5層から礫が出土したのみである。遺構の時期はSK101との関係から17世紀初頭以降と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SK187 (図版4・28・144)

調査区南側8B区に位置する土坑で、南側0.15mにSD638が近接する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.35m、短径約1.04m、深さ約0.30mを測る。覆土は単層で、I・II層類似の土である。遺物は出土していない。遺構の時期は覆土から中世以降と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SK193 (図版5・6・28・144)

調査区北側11D・E区に位置する土坑で、SD183、P735・736と重複関係にあり、これらを切る。また西側約0.50mにSE216が存在する。平面形は楕円形で、断面形は浅い皿状を呈する。規模は長径約1.01m、短径約0.72m、深さ約0.09mを測る。覆土は単層で、灰オリーブ砂質土である。遺物は砥石片と3～10cmの礫が多数出土した。礫は、花崗岩が主体である。加工痕や使用痕は確認できなかった。

SK196 (図版5・6・28・144)

調査区北側11D区に位置する土坑で、SB11と重複関係にあるが、新旧関係は不明である。また南側に隣接してP263が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.60m、短径約0.56m、深さ約0.27mを測る。覆土は3層に分層でき、2層には炭化物が多量に、3層には中量程度含まれる。遺物は出土していない。

SK225 (図版5・6・28・144)

調査区北側11D区に位置する小型の土坑で、P226・440と重複関係にあり、これらの遺構を切る。また北側0.45mにSB11、東側約0.60mにSE217が存在する。平面形は長方形で、断面形はU字状を呈し、底面は北側が深くなる。規模は長軸約0.49m、短軸約0.39m、深さ約0.18mを測る。覆土は4層に分層でき、褐色土・灰色土である。このうち3層は、薄い炭化物層が含まれる。遺物は珠洲焼壺または甕体部大型破片(41)が3層から出土した。

SK305 (図版5・28・144)

調査区北側10C区に位置する小型の土坑で、SB6範囲内に存在するが、新旧関係は不明である。また東側約1.40mにSE310、1.90mにSB10が存在する。平面形は不整形長方形で、断面形はU字状を呈する。規模は長軸約0.72m、短軸約0.49m、深さ約0.27mを測る。覆土は3層に分層でき、1層は灰色土で炭化物を斑状に少量、2層は灰オリーブ色土で炭化物を中量程度含み、3層は炭化物層である。遺物は出土していない。

SK317 (図版6・29・145)

調査区北側13D区に位置する大型の土坑で、P461と重複関係にあり、これを切る。また北西0.20mにSK429、西側約0.50mにSB8、約0.90mにSE428が存在する。平面形は不整形で、断面形は半円状を呈する。規模は長軸約2.08m、短軸約2.07m、深さ約0.40mを測る。覆土は5層に分層でき、灰色土が主体である。遺物は珠洲焼壺または甕体部片(29)が出土したのみである。

SK318 (図版6・28・145)

調査区北側13E区に位置する土坑で、本遺構周辺は中世遺構の分布が薄く、ほぼ単独で存在する。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約0.51m、短径約0.43m、深さ約0.21mを測る。覆土は3層に分層でき、1層は灰色土、2層は灰オリーブ色土、3層は炭化物層である。遺物は出土していない。

SK319 (図版6・28)

調査区北側13D区に位置する土坑で、西側約0.80mにSK320が存在するのみであり、本遺構周辺は中世遺構の分布が薄い地区である。平面形は方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約0.83m、短軸約0.79m、深さ約0.15mを測る。覆土は2層に分層でき、灰色土・にぶい黄色土である。遺物は出土していない。

SK321 (図版7・29・145)

調査区北側13・14D区に位置する大型の土坑で、西側約0.55mにSK322、東側約2.20mにSX343が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約2.92m、短径約2.01m、深さ約0.53mを測る。覆土は7層に分層でき、2層に炭化物、3層に焼土を含む。遺物は青磁碗口縁部片(30)、珠洲焼片口鉢底部片(31)、刀子状の金属製品(191)・鏝(190)・器種不明の金属製品が出土した。このうち刀子状の金属製品と鏝は、2層出土である。遺構の時期は、出土遺物から13世紀後半～14世紀前半と考えられる。

SK376 (図版6・29・145)

調査区北側13B区に位置する土坑で、単独で存在する。平面形は楕円形で、断面形は東西壁がオーバーハングしてフラスコ状を呈する。規模は開口部で長径約0.61m、短径約0.49m、底面で長径約0.70m、短径約0.50m、深さ約0.85mを測る。覆土は単層で、I・II層類似の土である。遺物は出土していない。遺構の時期は覆土から中世以降と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SK379 (図版6・29・145)

調査区北側13C区に位置する土坑で、南側約0.16mにSB8が近接して存在する。平面形は楕円形で、断面形は箱状を呈する。規模は径0.52m前後、深さ約0.41mを測る。覆土は単層で、黄灰色土である。遺物は出土していない。

SK429 (図版 6・29・146)

調査区北側 13D 区に位置する土坑で、SB8、P342 と重複関係にあり、SB8 を切り、P342 に切られる。平面形は不整形で、断面形は半円状を呈する。規模は長軸 0.75m 以上、短軸約 0.63m、深さ約 0.24m を測る。覆土は 3 層に分層できる。遺物は出土していない。

SK640 (図版 3・29・146)

調査区南側 9C 区に位置する土坑で、SD638 と重複関係にあり、これを切る。また南側約 2.20m に SB2、東側約 2.00m に SK61 が存在する。本遺構は、古墳時代遺物包含層掘削時に検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 0.68m、短径約 0.49m、深さ推定 0.20m を測る。覆土は 2 層に分層でき、灰オリーブ色土・明黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK815 (図版 5・30・146)

調査区中央 10C 区に位置する大型の土坑で、SB1・6、SD302、P404 と重複関係にあり、これらの遺構を切る。平面形は隅丸方形で、断面形は漏斗状を呈する。規模は長軸約 3.21m、短軸約 3.02m、深さ約 0.61m を測る。覆土は 7 層に分層でき、褐灰色土が主体である。これらのうち、2～7 層はレンズ状に堆積する。遺物は珠洲焼片口鉢 4 点 (32・33)、磨石類 (168) や礫が覆土中部から出土した。32 の片口鉢は II 層出土のものと接合し、時期は珠洲焼 III 期と推測される。また 33 の片口鉢口縁部片は、珠洲焼 IV 期と推測される。遺構の時期は、出土遺物から 14 世紀代と考えられる。

SK837 (図版 5・29・146)

調査区中央西寄りの 10B 区に位置する土坑で、農業用水路によって北半分が壊されている。本遺構は西側を SD858、東側を SD882 に挟まれ、また東側には接するように SB6 が存在する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 0.81m、短径推定 0.70m、深さ推定 0.14m を測る。覆土は単層で、灰オリーブ色土である。遺物は少量の古墳時代前期の土師器が出土したのみである。

SK838 (図版 5・6・29・146)

調査区中央東寄り 11E 区に位置する土坑で、北側を農業用水路、南側を攪乱によって壊されている。P854 と重複関係にあるが、新旧関係は不明である。また本遺構の周辺には、複数のピットが存在する。平面形は楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径 1.93m 前後、短径 0.75m 以上、深さ約 0.23m を測る。覆土は 3 層に分層でき、褐灰色土が主体である。遺物は出土していない。

SK893 (図版 5・30・146)

調査区北側 11B 区に位置する土坑で、SB7、SE589、SK139、P110 と重複関係にあり、すべての遺構に切られる。本遺構は、古墳時代遺物包含層掘削後に検出した。平面形は楕円形と推定され、断面形は漏斗状を呈する。また底面から覆土中部にかけて、噴砂痕が見られる。規模は長径 1.46m 以上、短径約 1.09m を測り、深さは 1.15m 前後と推定する。覆土は 7 層に分層でき、灰オリーブ色砂質土が主体である。遺物は出土していない。

E 溝**SD8** (図版 5・30・147)

調査区南側 10D 区に位置する溝で、西側約 0.48m に SD12・14、約 1.18m に SD16 が存在する。特に SD16 とは長軸方向や形状が類似しており、何らかの関連があったと考えられる。長軸は東北東-西南西に走り、N-67°-E を示す。溝底面はほぼ水平である。規模は全長約 3.40m、幅 0.85m 前後、深さ約

0.28mを測る。断面形は台形状を呈し、壁は平坦な底面からやや急角度で立ち上がる。覆土は3層に分層でき、炭化物を少量含む灰オリープ色土を主体である。また3層はV層に類似する。遺物は礫が1・2層から出土したのみである。

SD12 (図版5・30・147)

調査区南側9・10D区に位置する溝で、本遺構はSB14、SK11・19、SD14、複数のピットと重複関係にあり、SK11に切られ、そのほかの遺構を切る。弧を描き南北方向に走るが、掘り直しを行ったと考えられ、9D9・10区付近では2条(A・B)となる。長軸は南北方向に走り、やや弧を描く。SD12Aは、掘り直し後と考えられるもので、規模は全長約10.25m、幅0.35～0.50m以上、深さ0.30m前後を測る。断面形は弧状を呈し、壁は底面から緩やかに立ち上がる。SD12Bは大部分がAと重なり、南側の9D区以外は底部のみの検出である。現状では全長約2.74m、幅0.33～0.50mを測り、底面はSD12Aよりやや深くなる。SD12の覆土は3層に分層でき、1・2層がSD12A、3層がSD12Bの覆土である。遺物は珠洲焼片口鉢口縁部片(35)、器種不明の金属製品(192)が出土した。遺構の時期は、出土遺物から14世紀代と考えられる。溝はSB1に伴う可能性がある。

SD14 (図版5・26・30・147)

調査区南側9C・D、10D区に位置する溝で、SB1の南辺～東辺に沿うように存在する。本遺構はSB14、SK11・19、SD12、複数のピットと重複関係にあり、SK11・SD12に切られ、そのほかの遺構を切る。特にSB1東側部分では溝の大半がSD12と重なる。長軸は10D区で南北方向に走り、9・10D区境付近で約90°向きを変え、9C・D区では東西方向に走る。規模は全長約12.45m、幅0.30～0.70m、深さ0.30m前後を測る。断面形は台形状を呈し、壁はやや急角度に立ち上がる。覆土は3層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は大型砥石(170)が9D区の2層から出土したのみである。

SD15 (図版5・30・147)

調査区南側10D区に位置する溝で、SD16と重複関係にあり、これに切られる。また本遺構の北側延長線上約1.40mには、SD403が存在する。長軸はほぼ南北方向に走り、N-9°-Eを示す。規模は全長1.53m以上、幅0.50～0.60m、深さ約0.11mを測る。断面形は箱状を呈し、特に東壁は急角度に立ち上がる。覆土は単層で、炭化物を少量含む灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SD16 (図版5・30・136・147)

調査区南側10C・D区に位置する溝で、SB1、SE49、SD15と重複関係にあり、SE49、SD15を切る。またSB1とは直接的な切り合いはないが、SB1とSE49の関係から本遺構が新しい。東側約0.15mにSD12・14、約1.18mにSD8が存在し、長軸方向が同じSD8とは関連性がうかがえる。長軸は東西方向に走り、N-82°-Eを示す。溝底面は東から西に傾く。規模は全長約5.48m、幅0.82～1.12m、深さ約0.36mを測る。断面形は台形状を呈し、壁は底面から急角度に立ち上がる。覆土は4層に分層でき、炭化物を含む暗灰黄色土・灰黄褐色土である。遺物は砥石(171)、磨石類(172)が3層から出土した。

SD87 (図版3-5・31・148)

調査区南側6E、7D・E、8D、9D・C区に位置し、調査区南側を斜めに走る溝である。9C18・22区付近でいったん途切れるが、長軸方向がほぼ同様であることから同一の溝とした。本遺構はSB2-4、SK81、SD218及び複数のピットと重複関係にあり、SB4を切り、SB2-3、SK81、SD218に切られる。ピットは本遺構より古いもの、新しいものの両者が存在する。長軸はほぼ南北方向に走り、7E区では若干東側に曲がる。長軸方向は、6E区でN-11°-W、7E～9C区南側でN-2°-W、9C区北側でN-4°-

Wを示す。溝底面は北から南に緩やかに傾く。規模は全長41.00m以上、幅0.25～1.10m、深さ0.20m前後を測る。断面形は台形・弧状を呈するが、9C区北側部分はほかと異なり幅広い。覆土はおおむね単層で、炭化物を微量に含む。遺物は古墳時代前期の土師器が出土したのみである。

SD88 (図版4・5・31・148)

調査区南側9B区に位置する溝で、北側約3.10mにSB6、南側約1.50mにSB4が存在する。また南側約8mにSD638があり、両者はほぼ平行する。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-87^{\circ}-W$ を示す。9B25区付近が東端となり、西側は調査区外へ伸びる。溝底面は東から西に緩やかに傾く。規模は全長7.90m以上、幅0.38～0.53m、深さ約0.13mを測る。断面形は台形状を呈する。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む灰色土が主体である。遺物は出土していない。

SD108 (図版5・31・148)

調査区北側10・11B区に位置する溝で、SD337と重複関係にあり、SD337に切られる。またSB7範囲内にあるが、新旧関係は不明である。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-84^{\circ}-W$ を示す。溝底面はほぼ平坦である。規模は全長1.33m以上、幅0.66m前後、深さ約0.17mを測る。断面形は弧状を呈する。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む灰色土が主体である。遺物は古瀬戸後期様式II期の瀬戸美濃焼天目茶碗2点が1層から出土した。これはSK139出土(27)と接合する。遺構の時期は、出土遺物から15世紀前半と考えられる。

SD124 (図版4・31・148)

調査区南側7B、8B・C区に位置する溝で、SB5範囲内に位置するが、新旧関係は不明である。遺構東側を試掘トレンチ、西側を攪乱によって破壊され、両端は不明である。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-84^{\circ}-W$ を示す。規模は全長3.70m以上、幅0.30m前後、深さ約0.10mを測る。断面形はU字状を呈する。覆土は単層で、灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

SD173 (図版6・31・149・150)

調査区北側12D・E区に位置する溝で、SB11・12、SD294・421・422と重複関係にあり、SD294・421・422に切れ、SB11・12を切る。平面形はほぼ東西方向に走り、 $N-88^{\circ}-E$ を示す。東側は調査区外へ伸びる。規模は全長11.30m以上、幅0.60m前後、深さ約0.15mを測る。断面形は弧状及びU字状を呈する。覆土はおおむね単層で、灰色土である。遺物は出土していない。遺構の時期はほかの遺構との切り合い関係や遺構検出面から中世と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SD183 (図版6・31・149)

調査区北側11E区に位置する溝で、SK193、SX520、複数のピットと重複関係にあり、SK193に切れ、SX520を切る。ピットは本遺構より古いもの、新しいものの両者が存在する。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-100^{\circ}-E$ を示す。東側は調査区外へ伸びる。規模は全長6.00m以上、幅0.31～0.42m、深さ約0.07mを測る。断面形は弧状を呈する。覆土は単層で、褐灰色土である。遺物は出土していない。

SD210 (図版5・31・149)

調査区北側10B・C、11C区に位置する溝で、SB6、SX518、複数のピットと重複関係にあり、これらの遺構を切る。また西側約0.65mにはSD856が存在し、ほぼ平行する。長軸はほぼ南北方向に走り、 $N-17^{\circ}-W$ を示す。農業用水路を挟んだ調査区南側では検出できない。規模は全長6.50m以上、幅0.40～0.62m、深さ0.11～0.24mを測る。断面形は台形状を呈する。覆土は2層に分層でき、褐灰色土が主体である。遺物は珠洲焼甕底部(36)、砥石(173)が出土した。

SD218 (図版3・31・149)

調査区南側6C・D区に位置する溝で、SD87と重複関係にあり、これを切る。また北側約1.10mにはSD672が存在し、ほぼ平行する。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-81^{\circ}-W$ を示す。東側は調査区外へ伸びる。規模は全長23.00m以上、幅0.22～0.42m、深さ0.10～0.24mを測る。断面形は台形状を呈する。覆土は2層に分層でき、ともに褐色土である。遺物は出土していない。

SD258 (図版5・6・31・149)

調査区北側11D区に位置する溝で、SB11範囲内にあり、またP759と重複し、これを切る。SB11との新旧関係は不明である。平面形は歪な弧状で、長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-87^{\circ}-W$ を示す。規模は全長約2.55m、幅約0.72m、深さ約0.14mを測る。断面形は浅い弧状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰色土である。遺物は出土していない。

SD302・403 (図版5・31・147・149)

調査区中央10・11C区に位置する溝で、SB10、SE310、SD418、SK815や複数のピットと重複関係にあり、SB10、SE310、SD418、SK815に切られる。ピットには本遺構より古いもの、新しいものの両者が存在する。またSK815を挟んだ南側延長線上には、SD403が存在し、長軸方向などから同一遺構と推定される。長軸はSE310の両側でやや角度が変わるが、ほぼ東西方向に走り、10C区では $N-13^{\circ}-W$ 、11C区及びSD403は $N-10^{\circ}-E$ を示す。規模は全長15.25m以上、幅0.75～1.70m、深さ0.40m前後を測る。SD403南半は幅が極端に狭くなるが、後世の水田耕作による削平のためである。断面形は弧状を呈する。覆土は3層に分層でき、炭化物を含む灰オリーブ色土が主体である。遺物は砥石4点(174・175)、磨石類(176)がSD302から出土した。

SD333 (図版5・31・150)

調査区北側10C、11B・C区に位置する溝で、SB7、P765と重複し、これらに切られる。また南側ではSB6と接し、西側約1.40mにはSD210が平行するように存在する。長軸はほぼ南北方向に走り、 $N-8^{\circ}-W$ を示す。規模は全長約3.25m、幅0.70m前後、深さ約0.20mを測る。断面形は台形状を呈する。覆土は3層に分層でき、1層は炭化物を含む灰色土である。遺物は出土していない。

SD337 (図版5・31・150)

調査区北側10・11B区に位置する溝で、SB7、SD108や複数のピットと重複関係にあり、これらを切る。また東側約0.55mにはSB6が存在する。長軸は北東-南西方向に走り、 $N-29^{\circ}-E$ を示す。ほかの中世の溝と比べ長軸方向が異なる。規模は全長5.85m前後、幅0.75～0.94m、深さ約0.08mを測る。断面形は浅い弧状を呈する。覆土は単層で、炭化物・焼土を含む灰色土である。遺物は出土していない。

SD418 (図版5・32・150)

調査区北側11C区に位置する溝で、SB10範囲内に存在する。本遺構はSE310、SD302と重複関係にあり、SD302を切り、SE310に切られる。平面形はL字状で、規模は全長1.62m以上、幅0.59～0.97m、深さ約0.15mを測る。断面形は弧状を呈する。覆土は2層に分層でき、ともに灰色土で、1層は砂質土である。遺物は出土していない。

SD421 (図版6・32・150)

調査区北側12D・E区に位置する溝で、SK176・420、SD173・422や複数のピットと重複関係にあり、SD173・422、ピットを切り、SK176・420に切られる。また西側約0.20mにはSB11・12が近接して存在する。平面形は12D23・12E3区付近で大きく折れ曲がり、鉤形となる。規模は全長約10.80m、幅0.60m

前後、深さ約0.06mを測る。断面形は弧状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰色土である。遺物は出土していない。

SD422 (図版6・32・150)

調査区北側12D・E区に位置する溝で、SD173・421と重複関係にあり、SD173を切り、SD421に切られる。本遺構の北端と南端はSD421と重なり、端部の形状は不明である。長軸はほぼ南北に走り、 $N-9^{\circ}-W$ を示す。規模は全長6.00m以上、幅0.21～1.12m、深さ0.11～0.15mを測る。断面形はおおむね弧状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰色土であるが、SD421と比較すると地山(Ⅲ層)に近似する。遺物は出土していない。

SD443 (図版6・32・150)

調査区北側11C、12B・C区に位置する溝で、SK100や複数のピットと重複関係にあり、SK100に切られる。ピットには本遺構より古いもの、新しいものの両者が存在する。また南東部分はSX315と接するが、新旧関係は不明である。北側延長線約3.80mには、ほぼ同様の長軸方向を持つSD530が存在する。長軸はやや弧状でほぼ南北に走り、 $N-15^{\circ}-W$ を示す。規模は全長約5.05m、幅0.65m以上、深さ約0.08mを測る。断面形は箱状を呈する。覆土は2層に分層でき、ともに灰色土である。遺物は出土していない。

SD530 (図版6・32・150)

調査区北側12B区に位置する溝で、北端は調査区外へ伸びる。西側約0.85mにSK137が存在するが、周辺には遺構が少ない。また南側延長線約3.80mには、ほぼ同様の長軸方向を持つSD443が存在する。長軸はほぼ南北に走り、 $N-16^{\circ}-W$ を示す。底部は凹凸を持ち、中央が深くなる。規模は全長2.70m以上、幅0.70m前後、深さ約0.18mを測る。断面形はU字状を呈する。覆土は3層に分層でき、褐灰色土が主体である。遺物は出土していない。

SD609 (図版5・32・151)

調査区南側10D区に位置する溝で、北端は調査のための排水溝で壊されている。西側約0.36mにSK1、東側約0.90mにSD864が存在する。本遺構は古墳時代遺物包含層掘削時に検出した。長軸はやや弧状でほぼ南北に走り、 $N-15^{\circ}-W$ を示す。規模は全長4.21m以上、幅0.29～0.62m、深さ推定0.25m前後を測る。断面形は弧状を呈する。覆土は2層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SD638 (図版4・32・151)

調査区南側8B・C、9C区に位置する溝で、SK640、P641と重複関係にあり、これらに切られる。また北側約0.15mにSK187、約2.50mにSB4、南側約2.50mにSB2が存在する。本遺構は古墳時代遺物包含層掘削時に検出した。長軸はほぼ東西に走り、 $N-86^{\circ}-W$ を示す。規模は全長約10.55m、幅0.25～0.35m、深さ推定0.30m前後を測る。断面形はU字状を呈する。覆土は2層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SD655 (図版4・32・151)

調査区南側8B区に位置する溝で、西側は調査区外へ伸びる。南側約2.30mにSB5が存在するが、周辺には遺構が少ない。本遺構は古墳時代遺物包含層掘削時に検出した。長軸は西南西～東北東に走り、 $N-75^{\circ}-W$ を示す。規模は全長2.52m以上、幅0.25m前後、深さ推定0.18m前後を測る。断面形は台形状を呈する。覆土は単層で、灰色土である。遺物は出土していない。

SD672 (図版3・32・151)

調査区南側6B・C・D区に位置し、西側は調査区外へ伸びる。南側約110mにはSD218が存在し、ほぼ平行する。本遺構は古墳時代遺物包含層掘削時に検出した。長軸はおおむね東西に走り、N-75°-Wを示す。規模は全長17.60m以上、幅0.22~0.71m、深さ推定0.23m前後を測る。断面形は半円状を呈する。覆土は2層に分層でき、炭化物を微量に含む灰オリーブ色土が主体である。遺物は出土していない。

SD685 (図版5・32)

調査区南側11D区に位置し、SX315整地層下で検出した。P462と重複関係にあり、これに切られる。北側約1.40mにはSB11が存在し、長軸がほぼ平行する。長軸はやや蛇行するがほぼ東西に走り、N-84°-Eを示す。規模は全長約2.84m、幅0.15~0.20m、深さ0.08~0.15mを測る。断面形はU字または半円状を呈する。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む灰オリーブ色土・黄褐色土である。遺物は出土していない。

SD825 (図版5・32・151)

調査区北側11E区に位置し、北端は調査のための排水溝で壊されている。SK826と重複関係にあり、これを切る。周辺には北側約0.95mにSK193、東側約0.60mにSD823などが存在する。長軸はやや屈曲するがほぼ南北に走る。規模は全長2.90m以上、幅0.38~0.57m、深さ約0.17mを測る。断面形はV字状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

SD851 (図版5・32)

調査区中央10B区に位置し、北端は農業用水路によって壊されている。調査のための排水溝を挟み、南側9B・C、10C区に位置するSD93と同じ遺構の可能性が高い。SB6範囲内にあり、P855と重複し、これを切る。SB6との新旧関係は不明である。長軸はSD93と併せて緩やかに弧を描き、9B・C区で約90°東へ曲がる。SD93と併せた規模は全長4.35m以上、幅0.17~0.27m、深さ0.10m前後を測る。断面形は半円状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

SD856 (図版5・32・151)

調査区中央10B・C区に位置し、北端は検出できなかった。SB6と重複関係にあり、これに切られる。また東側約0.65mにはSD210が存在し、長軸がほぼ平行する。長軸はほぼ南北に走り、N-1°-Wを示す。規模は全長4.15m以上、幅0.45m前後、深さ約0.10mを測る。断面形は半円状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む褐色土である。遺物は出土していない。

SD858 (図版5・32・151)

調査区中央10B区に位置し、南北端は検出できなかった。東側約0.10mにはSK837、約0.50mにSB6、約0.90mにSD882が存在し、特にSD882とは長軸がほぼ平行する。長軸はほぼ南北に走り、N-7°-Eを示す。規模は全長3.92m以上、幅0.33~0.62m、深さ約0.07mを測る。断面形は弧状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含む灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

SD864 (図版5・32・152)

調査区中央10・11D区に位置し、南端は検出できなかった。SX315整地層下からの検出で、P843・875と重複関係にあり、これらを切る。長軸はほぼ南北に走り、N-14°-Eを示す。規模は全長3.57m以上、幅0.41~0.52m、深さ約0.22mを測る。断面形は台形状を呈する。覆土は単層で、炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

F その他の遺構

SA346 (図版2・3・33・152)

調査区南側5D区に位置する。直線状の配置でないことからピット群とすべきかもしれない。13基のピットで構成する。本遺構周辺は遺構の分布が希薄で、複数のピットや、やや離れて北側約10mにSD218、東側約10mにSD87、南側約11.5mにSB13が存在するのみである。また同じピット列のSA678は、北側約13mの位置にある。ピットは北西-南東方向に分布し、長軸方向はおおよそN-28°-Eとなる。ピット間の寸法は0.4~2.4mを測るが、大半は0.5m前後となる。ピットの規模は径0.13~0.30m、深さは0.13~0.57mを測る。覆土は単層または2層で、灰色シルトを含む灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

SA678 (図版3・33・152)

調査区南側6D区に位置するピット列で、8基のピットで構成する。中世遺構の最終確認時に検出したもので、検出面はほかの中世遺構より約0.10m低い。中世遺構集中域の最南端に位置し、本遺構の周辺には南側約2mにSD218が、東側約0.7mにSD87が存在し、SD218や西側に位置するSD672と長軸がほぼ平行する。ピット列SA346は、南側約13mの位置にある。ピットは北西-南東方向に分布し、一部南北に外れるがほぼ列状となる。長軸方向はおおよそN-82°-Wとなる。ピット間の寸法は、P1~2間が一番離れており約3.7mとなり、そのほかは0.9~1.4mを測る。ピットの規模は径0.13~0.32m、深さは推定で0.23~0.37mを測る。覆土は大半が単層で、黄褐色シルトを含む灰オリーブ色土である。遺物は出土していない。

P220・890・891 (図版2・33)

調査区南端の3E区に位置する3基のピットで、ほぼ東西方向に並ぶ。ピット間の寸法が約3mと離れていることからピット列とは判断しなかった。本遺構の周辺には北側約4mにSB13が位置するが、長軸方向がやや異なる。ピットは楕円形で、規模は径0.25~0.45m、深さ0.42~0.74mを測る。覆土は灰オリーブ色土を主体として、すべてにオリーブ黒色土を呈する柱痕を持つ。柱痕は径約0.10m前後を測る。遺物は出土していない。

P251 (図版6・33・152)

調査区北側12D区に位置し、SB12範囲内に存在する。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は径約0.15m、深さは約0.32mを測る。覆土は2層に分層でき、褐灰色土・灰色土である。遺物は珠洲焼壺または甕体部片(40)が1層から出土した。

P561 (図版6・33・152)

調査区北側11E区に位置し、SD183、P767、SX520と重複関係にあり、SD183に切られ、SX520、P767を切る。平面形は楕円形で、断面形は漏斗状を呈する。規模は長径約0.55m、短径約0.33m、深さ約0.49mを測る。覆土は3層に分層でき、黒褐色土が主体である。遺物は珠洲焼片口鉢体~底部(43)が1層から出土した。

P885 (図版6・33・153)

調査区北側13D区に位置する。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約0.34m、短径約0.31m、深さ約0.35mを測る。覆土は2層に分層でき、灰色土が主体である。遺物は白磁焼片口縁部片(39)が1層から出土した。遺構の時期は、出土遺物から13世紀前半と考えられる。

F94 (図版4・34・153)

調査区南側7C区に位置する焼土遺構で、SB5P97と重複関係にあり、これに切られる。平面形は不整形で、明確な掘り込みは確認できず、底面には浅い凹凸があり、一部はピット状にくぼむ。規模は長軸約2.74m、短軸約2.04mを測る。覆土は2層に分層でき、1層は多量の焼土と少量の炭化物を含む灰褐色土である。2・3層は地山(Ⅲ層)近似土を主体とし、焼土または炭化物が少量混入する。遺物は出土していない。

SX517 (図版5・34・153)

調査区北側10B区に位置する焼土遺構で、南側が調査のための排水溝により壊されている。中世遺構集中域に位置し、SB6P762、P763と重複関係にあり、これらに切られる。平面形は不整形で、明確な掘り込みは確認できず、底面には凹凸を持つ。規模は長軸約1.62m、短軸約1.41mを測る。覆土は2層に分層でき、1層は多量の焼土と少量の炭化物を含む灰褐色土である。2層は地山(Ⅲ層)近似土を主体とし、焼土・炭化物が微量混入する。遺物は出土していない。

SX518 (図版5・34)

調査区北側10B区に位置する焼土遺構である。中世遺構集中域に位置し、SD210、P519と重複関係にあり、SD210に切られ、P519を切る。平面形は不整形で、明確な掘り込みは確認できず、浅い皿状となる。規模は長軸約1.90m、短軸0.99m以上を測る。覆土は2層に分層でき、1層は焼土と炭化物を含む灰色土である。2層は地山(Ⅲ層)近似土を主体とし、焼土・炭化物が微量混入する。遺物は出土していない。

SX343 (図版7・34・153)

調査区北側13E、14D・E区に位置し、中世遺構集中域東端ないし北端付近に位置する。東西・北西-南東方向の複数の浅い楕円～長楕円形の落ち込みを南北方向に検出した。道路を構成する遺構と考えられる。本遺構周辺には西側約2mにSK321、東側に近接するようにSK341が存在し、時期は異なるが下層のSD1017とはほぼ重なる。現状での規模は、全長約9.3m、幅約1.6mを測る。落ち込みの規模は、長径0.28～1.59m、短径0.21～0.32m、深さ0.06m前後となる。覆土は単層で、Ⅰ・Ⅱ層(水田耕作土)に類似する。礫を含め遺物は出土していない。遺構の時期は、覆土から近世以降と考えられるが、中世の遺構分布などから中世に遡る可能性もある。

SX315 (図版5・6・35・153)

調査区北側11・12C・D区に位置する整地範囲で、中世遺構集中域と重なる。本遺構はSB8～12の各掘立柱建物、SK166・167・202、SD864・685や多数のピットなどと重複関係にあり、SB11、SD864・685を覆い、そのほかの掘立柱建物、SK166・167・202に切られる。ピットは本遺構に覆われるもの、本遺構を切るものの両者が存在する。平面形は不整形で、規模は東西3.00～10.00m、南北約14m、整地層の厚さは最大で0.28mを測る。覆土は地山(Ⅳ層)と比較してやや汚れており、3層に分層できる。1層が灰色土、2層が灰オリーブ色土、3層は黒褐色土層となり、1層が主体である。これらの層は、Ⅳ層由来のぶい黄褐色土ブロックを含んでいる。遺物は白磁皿口縁部片1(37)、瀬戸美濃焼皿口縁部片1、珠洲焼片口鉢口縁～体部片1(38)・甕片2、銭貨1(184)、鉄滓(193)が、集中することなく散漫に1層を中心に出土した。遺構の性格は、盛土による居住域の整地と考えられ、遺構の時期は、出土遺物やほかの遺構との切り合い関係から14世紀代と考えられる。

SX520 (図版5・6・36)

調査区中央東寄りの11E区に位置する整地範囲で、東側調査区外へ伸びる。中世遺構集中域に存在し、

SE344、SD183や多数のピットと重複関係にあり、SE344、SD183に切られる。ピットは本遺構に覆われるもの、本遺構を切るものの両者が存在する。平面形は不整形で、規模は東西290m以上、南北5.75m以上、整地層の厚さは最大で0.27mを測る。同様の遺構であるSX315と比較すると、整地範囲は狭い。覆土は地山(IV層)と比較してやや汚れており、7層に分層できる。灰色土を主体としており、各層にIV層由来のふい黄褐色土ブロックを含んでいる。遺物は、鉄洋(194)が覆土中から出土したのみである。遺構の性格は、SX315と同様に盛土による居住域の整地と考えられる。遺構の時期はSB11・SE344・SX315の切り合い関係から、SX315と同時期と考えられる。

SX430 (図版8・36・153)

調査区北端の17・18C・D区に位置する水田で、2区画を検出した。周辺には遺構がなく、もっとも近い遺構(SK899)から20m以上離れる。地形的に見ると、北への傾斜がきつくなる地点に当たり、水田は中でも更にくぼんだ部分に相当する。水田の形状は、2区画とも長方形と考えられ、規模は南側の区画は長軸約9.23m、短軸約6.33m、北側の区画は長軸約8.81m、短軸5.24m以上、深さ0.10～0.15mを測る。検出された畦畔は、幅0.15～0.45m、高さ約0.13mを測る。現状ではIV層を削り出したものであるが、I・II層に伴う水田耕作によって上部の畦畔構築土が削平された可能性も考えられる。耕作土は単層で、I・II層に類似する。遺物は唐津焼細片・古墳時代前期の土師器片が少数出土したのみである。遺構の時期は、覆土や出土遺物から近世以降と考えられるが、詳細な時期は不明である。

3 古墳時代前期の遺構

A 遺構の検出状況及び認定

古墳時代前期の遺構は約450基検出した。遺構検出面はIV層上面及びV層上面となり、この検出面の差は時期差と考えられる。大半の遺構はV層上面での検出であり、IV層上面検出の遺構はすべての焼土遺構と一部の溝・土坑である。

検出した遺構は、覆土の状況からA～C類の3種類に分類できた。A類の覆土はIII層を主体とするもので、SI1327、SK1264、SD1017・1188やピットなどがある。その中でSD1017・1188などは重複する大半の遺構を切っていることからA類は古墳時代前期でも新しい時期のものと推測される。B類の覆土は地山(V層)土に近似するが、地山より若干暗い色調であり、A類ほどではないが、遺構検出は比較的容易である。本類が、古墳時代の遺構の主体を占める。C類はV層と極めて類似し、覆土内に含まれる砂粒の量や微量の炭化物の存在から遺構の検出ができたもので、15～17区に分布する堅穴遺構群の大部分が該当する。包含層掘削直後よりも、しばらく時間を経た状態の方が風化などによって遺構検出が若干容易となる。C類は、上記の類型と比較すると遺構検出が非常に難しく、遺構プラン確定には多くの時間を費やすことになった。

B 記述の方法

古墳時代前期の遺構は、前述のように堅穴遺構(住居・建物)、掘立柱建物、円形周溝状遺構、溝、土坑などである。堅穴遺構は、炉と推定される施設が検出できたものを堅穴住居に、確認できないものを堅穴建物に区別した。遺構種別の略号や遺構の掲載は、中世と同様の方法を採用した。加えて古墳時代前期では堅穴遺構を「SJ」、また自然流路を「SR」と表現した。遺構の詳細時期は出土土器から推定し、年代観

は新潟シンポジウム編年〔日本考古学協会 1993・新潟県考古学会 2005〕に依拠した。

各遺構の計測方法は、中世と同様の方法を採用した。なお竪穴住居・竪穴建物に関しては、長軸・短軸として最大値を表した。深さは、遺構検出面から床面までとしたが、床面が判然としないうものは遺構底面(掘形)までを計測した。炉などの付帯施設については、個々に計測した。それ以外の遺構については第四章 3A を参照されたい。

C 竪穴遺構

SI1327 (図版 42・45～47・154～156)

調査区北側の 12B・13B・C 区に位置する竪穴住居で、V 層上面で検出した。竪穴の一部が調査区外へ伸びていたため調査区を拡張して完掘した。当初は試掘調査で想定された自然流路として調査を行ったが、貼床面の検出によって竪穴住居であることが判明した。そのため土層断面は遺構中央で観察・記録することができなかった。周辺には SD1031・1133 などが存在し、SD1188 と重複関係にあり、これに切られる。平面形は隅丸方形で、規模は長軸(南北)約 8.86m、短軸(東西)約 8.68m を測り、面積は 71m² を超える。床面はⅤ層まで掘り込み、深さは約 0.83m を測る。長軸方向は N-91°-E を示す。床面は砂質土で貼り床され、0.05～0.10m の厚さで硬く締まる。床面とはほぼ同じ標高に砂質土であるⅤ層が堆積しているが、この土が貼り床土に使用されたものかは判別できない。炉は竪穴のほぼ中央に位置し、長軸約 1.10m、短軸約 1.05m、深さ約 0.15m を測る地床炉である。炉の覆土には焼土が混入するが、炭化物が主体で明確な火床面は確認できなかった。主柱穴は 4 本でその外側にそれぞれ支柱穴が伴うが、北東隅のみ 2 本 (P5・11) で、ほかは 1 本である。このような柱穴配置は、新潟県内では弥生時代後期の柏崎市(旧西山町)内越遺跡 1 号住居で確認できる。規模は主柱穴が径 0.5～0.6m、支柱穴が径 0.4～0.5m を測り、主柱穴がやや大きい。深さはともに床面から約 1.15m と深い。柱穴の底面はⅤ層またはその下の礫層まで到達する。柱根は支柱穴の 1 基 (P11) にのみ残存し、樹種同定でキハダと判明した(第 VI 章参照)。東側壁際に貯蔵穴と考えられる土坑を検出した。この土坑は不整形の掘形内に楕円形の土坑が伴っている。土坑底部の西側は一段円形にくはみ、その部分は硬化していた。規模は床面近くの不整形部分で長軸約 1.68m、短軸 1.60m 以上、内部の楕円形土坑で長径約 1.00m、短径約 0.83m、床面からの深さ約 0.83m を測る。壁溝は東壁の土坑付近を除いて全周し、幅 0.20～0.25m、深さ 0.09～0.20m を測る。壁溝の切れる部分では礫が帯状に敷かれていた(図版 155 左列下)。礫は花崗岩・頁岩・ホルンフェルスなどの亜円礫で 66 点出土した。径 0.02～0.05m、平均重量 31.1 g である。大きさや形状に共通性が見られることから選択して持ち込まれたものと推測される。これらの礫の用途は不明である。竪穴部分の覆土は 31 層あるが 1～4 の四つの層群に大別できる。1 層群(1～7 層)は本遺構の最終堆積土でⅤ層に類似し、覆土の大半を占める。2 層群(8～11・15 層)は炭化物をやや多く含む暗灰黄色粘質シルトを主体とし、住居中央付近では床面直上に堆積する。3 層群(12～14・16～23 層)は壁際に堆積する層であり、灰黄褐色シルトを主体とする。4 層群(28～31 層)は貼り床から掘形までの土層であり、オリブ黄色砂を主体とする。遺物は多くないが、1 層群及び 3 層群を中心に出土した。1 層群出土の遺物は土師器や石器で、SD1134・1363 といった周辺遺構や遺物包含層出土の遺物と接合することから、周辺からの流れ込みと推測される。本遺構の第一次堆積土である 3 層群出土土師器には、床面に接するように出土した完形品や略完形品が多く、本遺構に伴う可能性が高い。器種は鉢・鉢・壺などであり、ほかの竪穴遺構と比較して鉢・壺の出土が目立つ。また掘形(31 層)から磨石類(617)が出土した。遺構の時期は 3 層群の土師器から新潟シンポジウム編年 9 期と考えられる。

なお3層群出土の土師器(210)の付着炭化物に関して放射性炭素年代測定を行い、3世紀前半～4世紀前半という結果が得られている(第VI章参照)。

SI1046 (図版44・48・157)

調査区北端の17・18E区に位置する竪穴住居で、V層上面で検出した。南側を試掘トレンチ、東側を調査のための排水溝によって壊されている。南西約1.8mにSI1384が位置するが、北側には遺構がなく、遺構分布の北端となる。平面形は方形と推測され、規模は長軸(南北)5.50m以上、短軸(東西)4.60m以上、深さ約0.11mを測り、面積は23.19m²以上である。長軸方向はN-24°-Eを示す。床面は炉や柱穴の検出面から掘形直上と推定され、ほぼ平坦である。硬化した床面は確認できなかった。炉は竪穴のほぼ中央と推測する位置にあり、長軸約0.73m、短軸約0.50mを測る床炉である。また炉の東側に隣接して浅い掘り込みが存在するが、焼けた痕跡は確認できない。同様の施設はSI1195においても確認しているが、本住居の方が深い。ピットは4本検出し、位置関係からP1～3が主柱穴と考えられる。P1～3の規模は径0.32～0.42m、深さ0.30m前後を測る。P4は炉に近接し、覆土は単層で、炭化物を多量に含む灰色土である。住居北東部分に貯蔵穴と推定される土坑を検出した。この土坑は楕円形を呈し、規模は長径約0.67m、短径約0.58m、床面からの深さは約0.20mを測る。床面検出後、しばらく時間を経てから検出できた土坑である。壁溝は、竪穴検出範囲で全周し、幅0.15～0.22m、深さ0.20m前後を測る。覆土は5層に分層でき、レンズ状に堆積する。竪穴中央は各層とも炭化物をやや多く含んでいるため、地山(V層)土との識別が比較的容易であったが、壁際は炭化物が少なく、地山との識別が困難であった。遺物は、炉付近を中心に土師器破片・窓片、磨石類など少量出土した。遺構の時期は出土遺物から新湊シンボ編年7～8期と考えられる。

SI1071 (図版41・49・158)

調査区南側の9・10C・D区に位置する竪穴建物で、V層上面で検出した。南側にはSD1140が隣接しており、北壁の一部は中世の溝で壊されている。平面形はいびつな隅丸長方形を呈し、規模は長軸(東西)約5.78m、短軸(南北)約4.10m、深さ約0.12mを測り、面積は約16.97m²である。長軸方向はN-79°-Eを示す。床面は柱穴の検出面から掘形直上と推定され、西から東に緩やかに傾斜している。硬化した床面は確認できなかった。ピットは6基検出したが、位置関係からP2～6が主柱穴と考えられる。P2～6の規模は径0.22～0.32m、深さ0.11～0.34mを測り、北側の柱穴(P5・6)が深い。P1は壁溝を切っており、径約0.30m、深さは約0.22mを測る。壁溝は中世溝に壊された部分を除いてはほぼ全周し、幅0.15～0.20m、深さは約0.10mを測る。覆土は4層に分層でき、レンズ状に堆積しており、灰オリーブ色土が主体である。1層は竪穴中央に、2・3層は壁際に、4層は壁溝内に堆積する。遺物は、多量の土師器片や磨石類が東側床面上から出土した。231・233・234の土師器3個体は逆位に置かれたような状態で出土した。遺構の時期は出土遺物から新湊シンボ編年7期前後と考えられる。

SI1195 (図版42・50・158・159)

調査区北側の12D区に位置する竪穴住居で、V層上面で検出した。SK1092・1282と重複関係にあり、SK1092に切れ、SK1282を切る。また、一部を中世遺構に壊されている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸(東西)約4.60m、短軸(南北)約3.92m、深さ約0.19mを測る。面積は約14.15m²で、ほかの竪穴と比較するとやや小型である。長軸方向はN-89°-Eを示す。床面は炉や柱穴の検出面から掘形直上と推定され、ほぼ平坦である。硬化した床面は確認できなかった。炉は竪穴南壁近くのP1とP5の間に位置し、長径約1.10m、短径約0.88mを測る。形状は楕円形の浅い皿状を呈し、床面とはほぼ同じ高さ

に灰を主体とする薄い層（1層）、その下部に少量の焼土、微量の炭化物を含む層（3層）が堆積する。また炉の北側に隣接して浅い掘り込みが存在する。炉の3層を切って掘り込まれるが、炉と同じ検出面であることから炉に伴う施設と考えられる。焼けた痕跡は確認できない。ピットは5基検出し、それぞれが主柱穴と考えられる。すべて単層であり、規模は径0.18～0.25m、深さ0.18～0.34mを測る。竪穴北東に位置するSK1は、貯蔵穴と推定される土坑で平面形は楕円形を呈し、規模は長径約0.78m、短径約0.65m、床面からの深さは約0.14mを測る。壁溝は途切れる部分があるが、ほぼ全周し、幅0.15～0.30m、深さは約0.10mを測る。覆土は5層に分層でき、おおむねレンズ状に堆積しており、灰黄褐色土が主体である。1層は竪穴中央に、2層は壁際に、3層は壁溝に堆積し、4・5層は炉とその北側の掘り込みの覆土である。遺物は、竪穴中央及び貯蔵穴と推定したSK1上部から集中して出土した。出土遺物は土師器甕片・壺片などで、そのほかに磨石類がある。遺構の時期は、出土遺物から新高シノボ編年7～8期と考えられる。

SI1223 (図版41・51・159)

調査区中央付近の10・11C区に位置する竪穴遺構で、V層上面で検出した。SK1220と重複関係にあり、これに切られる。遺構中央を中世の井戸（SE310）によって壊されたため、炉の有無は不明である。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸（東西）約5.22m、短軸（南北）約4.99m、深さ約0.14m、面積は約23.10m²を測る。長軸方向はN-97°-Eを示す。床面は土坑や柱穴の検出面から掘形直上と推定され、ほぼ平坦である。硬化した床面は確認できなかった。ピットは8基検出したが、位置関係からP1・2・6・8・10の5基が主柱穴と考えられる。これらはすべて単層であり、規模は径0.20～0.40m、深さは0.25～0.47mを測る。そのほかの柱穴はP9を除き、浅い。竪穴北東側に土坑（SK1）が存在するが、中世の井戸に半分以上壊されている。平面形は楕円形と推測され、規模は長径1.60m前後、短径0.70m以上、床面からの深さは約0.12mを測る。覆土に焼土が混入していることから、炉が近隣にあった可能性が高い。土坑は配置がSI1046・1195のSK1とほぼ同様であることから貯蔵穴とも考えられるが、覆土に焼土が混入することを考慮すれば炉に近接した落ち込みの可能性も高い。壁溝は途切れる部分があるが、ほぼ全周し、幅約0.25m、深さは約0.10mを測る。覆土は8層に分層でき、レンズ状に堆積しており、灰黄褐色土が主体である。遺物は、竪穴南側でややまとまって出土した。出土遺物は土師器甕片・壺片である。遺構の時期は、出土遺物から新高シノボ編年7～8期と考えられる。

SI1294 (図版42・52・160)

調査区北側の13D・E区に位置する竪穴建物で、V層上面で検出した。SD1017・1188、SK1187・1290・1292、F1143、SX1189などと重複関係にあり、それらの遺構に切られる。平面形は長方形を呈し、規模は長軸（東西）約5.95m、短軸（南北）4.30～4.79m、深さ約0.09m、面積は約24.56m²を測る。長軸方向は、N-97°-Eを示す。床面はピットや壁溝の検出面から7層上面及び掘形直上と推定され、ほぼ平坦である。ピットは5基検出し、規模は径0.21～0.49m、深さ0.15～0.40mを測る。主柱穴は規模などからP1・4と考えられる。壁溝は西壁を除き、ほぼ全周し、幅0.20～0.25m、深さ0.10m前後を測る。覆土は7層に分層でき、1～5層はレンズ状に堆積しており、灰黄褐色土が主体となる。7層は竪穴北西側に分布するが、柱穴（P1）に切られることから床下の土層と考えられる。しかし、7層上面には硬化面が確認できなかった。遺物は、竪穴中央から北側にかけてややまとまって出土した。出土遺物は土師器壺片・器台・甕片である。遺構の時期は、出土遺物から新高シノボ編年7～8期と考えられる。

SI1307 (図版44・53・54・160・161)

調査区北側16・17B・C区に位置する竪穴住居で、V層上面で検出した。竪穴北側をSR1に切られる。

近隣にはSI1392・1404が存在し、重複しないが近接するため同時存在の可能性は低いと考えられる。平面形は隅丸方形と推定され、規模は長軸(東西)約5.88m、短軸(南北)4.60m以上、深さ約0.48m、面積は約19.45m²以上である。長軸方向はN-64°-Eを示す。床面は貼り床されて硬く締まり、貼り床土(10層)の厚さは0.05~0.18mを測る。炉は円形の地床炉で竪穴のほぼ中央に位置し、規模は径約0.33mを測る。炉の覆土はSI1327同様、焼土が混入するが炭化物主体で、明瞭な火床面は確認できなかった。ピットは4基検出したが、主柱穴は配置からP1~P3と考えられ、径0.25~0.35m、深さは0.20m前後と浅い。P4は炉に近接する位置にあり、規模は径約0.42m、深さ約0.16mを測る。土坑は西壁際(SK1)と竪穴南側(SK2)に2基存在する。SK1は不整形で、規模は長軸約0.37m、短軸約0.32m、深さ約0.39mを測る。覆土は2層に分層でき、底部付近から土師器破片などが出土した。SK2は方形で、長軸約0.58m、短軸約0.55m、深さ約0.48mを測る。壁溝は、途切れながら検出できた。規模は幅0.10m前後、深さ0.10m前後を測る。覆土は10層に分層でき、10層は貼り床土で下面が竪穴掘形となる。1・2層はⅢ層に類似し、3層は炭化物を中量含む。8・9層は床面を覆う土層で、本住居の第一次堆積土である。遺物の垂直分布では覆土上部と下部に出土量のピークがある。上部の遺物は1層を中心に出土しており、本住居廃絶後のくぼみに廃棄したものと推測される。下部の遺物は床面直上の土器(291など)を含んでおり、本住居に伴う可能性がある。またP4脇からは台石(628)と考えられる礫が作業面を床面に向け出土した。遺構の時期は出土遺物から新潟シンボロ編年8期と考えられる。なお上部と下部の遺物には明確な時期差は確認できなかった。

なお下部出土の土師器(283)の付着炭化物に関して放射性炭素年代測定を行い、3世紀中葉~5世紀前半という結果が得られている(第VI章参照)。

SI1308 (図版43・44・55・161・162)

調査区北側15B、16B・C区に位置する竪穴建物で、V層上面で検出した。SI1404・P1387と重複し、P1387に切れ、SI1404を切る。平面形は台形状を呈する不整形で、規模は長軸(南北)約5.33m、短軸(東西)約5.19m、深さ約0.31m、面積は約22.33m²を測る。長軸方向はN-26°-Eを示す。ピットは竪穴中央と北コーナーで各1基ずつ検出したが、配置など規則性は確認できない。規模はP1が径約0.16m、深さ約0.47m、P2は径約0.34m、深さは約0.16mを測る。床の掘形はほぼ平坦であるが、硬化など際立つ特徴はない。覆土は3層に分層でき、水平に堆積する。1層が灰黄褐色土、2・3層は地山(V層)に近似したにぶい黄褐色土で、地山との識別は困難であった。ただし、竪穴西側だけは炭化物が混入することから識別は容易であった。遺物はP2付近の2・3層から少数の土師器片が出土したが、細片のため因化できるものはない。

SI1309 (図版43・44・56・162)

調査区北側15・16C区に位置する竪穴住居で、V層上面で検出した。SI1310・1312、SD1017・SK1279、SX1272・1273と重複関係にあり、SI1310・1312を切り、そのほかの遺構に切られる。平面形は方形で、規模は長軸(東西)約6.19m、短軸(南北)約6.09m、深さ約0.16m、面積は約32.47m²を測る。長軸方向はN-28°-Eを示す。覆土は2層に分層でき、1層はⅢ層主体、2層は炭化物・灰色土ブロックを含むにぶい黄褐色土であり、炉(F1274)が2層上面で検出されたことから床面は2層上面と考えられる。炉(F1274)は楕円形で竪穴中央のやや北側に位置し、規模は長径約0.50m、短径約0.35m、深さ約0.09mを測る。覆土は2層に分層でき、1層は焼土が混入するが炭化物主体である。ピットは2基検出したが、配置など規則性は確認できない。規模は径0.18~0.32m、深さは0.23~0.31mを測る。遺物は竪穴上部

が削平されているためか、ごく少数の土師器片が覆土中から出土したのみで、細片のため図化できるものはない。遺構の時期は、堅穴の覆土がⅢ層を主体とすることから古墳時代前期でもやや後出の可能性がある。

SI1310 (図版 43・44・57・162・163)

調査区北側 15・16C・D 区に位置する堅穴住居で、V 層上面で検出した。SI1309・1312、SK1279・1414、SX1272・1273 と重複関係にあり、SI1309、SK1279・1414、SX1272・1273 に切られ、SI1312 を切る。平面形は方形で、規模は長軸 (南北) 約 4.66m、短軸 (東西) 約 4.61m、深さ約 0.10m、面積は約 16.33m² を測る。長軸方向は N - 23° - E を示す。覆土は 3 層に分層でき、1 層はⅢ層主体、3 層は壁溝の覆土である。炉 (F1) は 2 層上面で検出されたことから 2 層上面が床面と推測されるが、凹凸が著しい。炉は東側コーナー寄りにあり、形状は楕円形と推定される。炭化物を含むが焼土は確認できなかった。規模は長径約 0.46m、短径 0.36m 以上である。ピットは 2 基検出したが、配置など規則性は確認できない。規模は径 0.14 - 0.23m、深さ 0.30m 前後を測る。壁溝は途切れながらも全周する。規模は、幅 0.18 - 0.30m、深さ 0.15m 前後を測る。遺物は 1 層中からやや多く出土した。出土遺物は土師器壺片・堯片・ミニチュア土器などである。遺構の時期は出土遺物から新潟シンボ福年 8 期前後と考えられるが、堅穴の覆土がⅢ層を主体とすることから古墳時代前期でもやや後出の可能性がある。

SI1311 (図版 43・55・163)

調査区北側 15C・D 区に位置する堅穴建物で、SI1313・1381、SD1017、P1449 と重複関係にあり、P1449 を除くすべての遺構に切られる。平面形は方形で、規模は長軸 (東西) 約 4.49m、短軸 (南北) 約 4.35m、深さ約 0.08m を測る。面積は約 16.39m² で、ほかの堅穴と比較するとやや小型である。長軸方向は N - 18° - E を示す。床面は壁溝の検出面から掘面直上と推定されるが、凹凸が著しい。硬化した床面は確認できなかった。覆土は 2 層に分層でき、2 層は壁溝の覆土である。壁溝は北・東・南壁で検出したが、西壁では検出できなかった。規模は、幅 0.15 - 0.28m、深さ約 0.10m を測る。炉・柱穴は検出できなかった。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したのみで、細片のため図化できるものはない。

SI1312 (図版 43・57・162・163)

調査区北側 15・16C・D 区に位置する堅穴建物で、V 層上面で検出した。SI1309・1310・1313、SD1017、SK1414、F1316、SX1273 と重複関係にあり、SI1313 を切り、そのほかの遺構に切られる。特に SK1414 は堅穴中央に位置し、本遺構を大きく切っている。平面形は北側が不明であるが方形と推定され、規模は長軸 (東西) 約 4.95m、短軸 (南北) 4.90m 以上、深さ約 0.08m、面積は約 13.18m² 以上を測る。長軸方向は N - 2° - E を示す。床面は、土坑 (SK1) の検出面から掘面と推測される。硬化した床面は確認できなかった。炉や柱穴、壁溝は確認できなかったが、中央西壁側で土坑 (SK1) を 1 基検出した。土坑は 1 層下面の検出で楕円形を呈し、規模は、長径約 1.08m、短径約 0.78m、深さ約 0.17m を測る。覆土はにぶい黄褐色土の単層で、灰色土が少量混入する。遺物は堅穴の東側と土坑付近からややまとまって出土した。出土遺物は土師器壺片などのほか、滑石製の勾玉やアメリカ式石鏃がある。アメリカ式石鏃は弥生時代後期に多く見られるものであり、流れ込みと考えられる。

SI1313 (図版 43・58・163)

調査区北側 14・15C 区に位置する堅穴建物で、V 層上面で検出した。SI1311・1312、SD1369、SK1368、F1121、P1289・1295・1296 と重複関係にあり、SI1311 を切り、そのほかの遺構に切られる。平面形は台形状を呈する不整形で、規模は長軸 (東西) 約 5.91m、短軸 (南北) 約 5.65m、深さ約 0.14m、

面積は約26.40m²を測る。長軸方向はN-80°-Eを示す。炉や柱穴、土坑、壁溝などは検出できなかった。覆土は2層に分層でき、1層はⅢ層に類似した土で、2層は灰黄褐色土である。1層がSI1309・1310の1層と同様にⅢ層に類似することから、2層上面が床面と推定される。15B・C区はⅢ・Ⅳ層がやや厚く堆積し、遺構を覆う状況であったことから堅穴の掘り込みは浅かったものと推測される。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したのみで、細片のため固化できるものはない。遺構の時期は、堅穴の覆土がⅢ層に類似することから古墳時代前期でもやや後出の可能性はある。

SI1314 (図版43・59・63・164)

調査区北側14D・E、15E区に位置する堅穴住居で、V層上面で検出した。SI1315、SB15、SK1028・1115・1364、P1451・1453～1456などと重複関係にあり、SI1315、P1453・1454を切り、そのほかの遺構に切られる。平面形は方形で、規模は長軸(南北)約6.03m、短軸(東西)約5.51m、深さ約0.08m、面積は約27.78m²を測る。長軸方向はN-87°-Eを示す。床面は炉(F1)やピットの検出面から掘形直上と推定される。硬化した床面は確認できなかった。炉(F1)は中央北壁寄りに位置し、浅い不整形の落ち込みで炭化物が中量混じるが、焼土は確認できない。規模は長軸約1.77m、短軸約1.06mを測る。ピットは4基検出したが、配置からP1～3が主柱穴と考えられる。ただし、主柱穴としたものの規模は径0.22～0.28m、深さ0.18～0.38mとばらつきがある。P4は長径約0.38m、短径約0.23m、深さは約0.38mを測る。壁溝は、東壁を除き途切れながらもほぼ全周する。規模は幅約0.24m、深さ約0.12mを測る。覆土は2層に分層でき、1層は炭化物を微量に含む灰黄褐色土、2層は炉の覆土である。遺物は土師器片などが遺構検出面や覆土中から出土した。

SI1315 (図版43・60・63・164)

調査区北側14D・E、15D区に位置する堅穴住居で、V層上面で検出した。SI1314・1381、SD1017、P1035・1329などと重複関係にあり、SI1381を切り、そのほかの遺構に切られる。平面形は隅丸方形で、規模は長軸(南北)約6.02m、短軸(東西)4.83m以上、深さ約0.12m、面積は25.31m²以上を測る。長軸方向はN-81°-Eを示す。床面は掘形に近く北側がやや低くなるがほぼ平坦で、炉は中央北壁寄りに位置する。炉はSI1314F1同様、浅い楕円形の落ち込みで、覆土に炭化物が中量混じるが、焼土は確認できない。ピットは3基検出し、P1が北東コーナー、P2・3が南西側に位置する。規模は、径0.19～0.29m、深さ0.19～0.37mである。壁溝は北・東・南壁で、途切れた状態で検出できた。規模は幅0.15～0.20m、深さ0.05～0.15mを測る。覆土は4層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は遺構検出面や覆土中から出土し、特に炉付近に集中する。出土遺物は土師器壺片・甕片、器台などである。遺構の時期は、出土遺物から新湊シンボ編年8期前後と考えられる。

SI1317 (図版43・61・165)

調査区北側15B・C区に位置する堅穴建物で、V層上面で検出した。SK1335、SD1251、F1137・1138・1460やP1225といったピット群と重複関係にあり、SK1335を除いたそのほかの遺構に切られる。SK1335は床の掘形面からの検出であり、本遺構に伴う可能性がある。またSK1419・1420は位置的に本遺構と重複関係にあるが、新旧関係は確認できなかった。平面形は不整形で、規模は長軸(東西)5.63m以上、短軸(南北)約5.61m、深さ約0.07m、面積は20.24m²以上を測る。長軸方向はN-82°-Eを示す。炉や柱穴、壁溝などは確認できなかったが、前述のSK1335は、規模が大きいが配置などから貯蔵穴と考えておきたい。堅穴の掘形面はほぼ平坦で、覆土は薄く、灰色土ブロック・炭化物を微量に含む灰オリーブ色土の単層である。堅穴付近はⅢ・Ⅳ層が良好に堆積し、遺構を覆う状態であったことから、堅穴の掘

り込みは浅かったと推測される。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したのみである。

SI1381 (図版 43・62・63・165)

調査区北側 14・15C・D 区に位置する竪穴建物で、V 層上面で検出した。SI1311・1315、SD1017、SK1447 と重複関係にあり、SI1311、SK1447 を切り、SI1315、SD1017 に切られる。平面形は隅丸長方形で、規模は長軸(東西)約 6.72m、短軸(南北)約 5.63m、深さ約 0.17m、面積は約 31.32m²を測る。長軸方向は N - 80° - E を示す。床面は、ピットの検出面から掘形直上と推定され、ほぼ平坦である。硬化した床面は確認できなかった。炉や壁溝は検出できなかった。ピットは 8 基検出したが、規模は径 0.23 ~ 0.52m、深さ 0.18 ~ 0.60m とばらつきがある。主柱穴は、規模や覆土から P4・7 が考えられ、また位置的には P1・6 も可能性がある。覆土は 2 層に分層でき、レンズ状に堆積する。遺物はほかの住居と比較するとやや多く、遺構検出面や覆土中から出土した。出土遺物は土師器壺片・甕片・鉢片などで、そのほかに砥石がある。遺構の時期は、出土遺物から新潟シンボロ編年 8 期前後と考えられる。

SI1384 (図版 44・64・165・166)

調査区北側 16・17D・E 区に位置する竪穴建物で、V 層上面で検出した。SI1385、SK1060 と重複関係にあり、SI1385 を切り、SK1060 に切られる。また東側には SI1046 が存在し、位置的には重複するが、試掘トレンチで壊されており、新旧関係を確認できなかった。平面形は台形状に近い不整形で、規模は長軸(南北)約 6.17m、短軸(東西)5.67m 以上、深さ約 0.09m、面積は約 27.42m²を測る。長軸方向は N - 80° - E を示す。床面はピットと壁溝の検出面から掘形直上と推定されるが、凹凸が著しい。硬化した床面は確認できなかった。炉は検出できなかったが、ピットと壁溝を検出した。ピットは北西と南東コーナーに各 1 基と竪穴中央から南西寄りに 1 基の計 3 基である。規模は径 0.18 ~ 0.30m、深さ 0.25 ~ 0.40m を測る。これらの柱穴のうち、配置から P1・3 が主柱穴と考えられる。P2 の掘形は斜位である。壁溝は途切れながらも各壁に見られ、規模は幅 0.20m 前後、深さ 0.06 ~ 0.12m を測る。覆土は 2 層に分層でき、1 層は炭化物を微量含むにぶい黄褐色土で、2 層は壁溝の覆土である。遺物は少数の土師器片が 1 層から出土したのみで、細片のため図化できるものはない。

SI1385 (図版 44・65・165・166)

調査区北側 16・17D 区に位置する竪穴建物で、V 層上面で検出した。SI1384・1386、SK1014・1015・1059、SX1076・1077、P1058・1079 と重複関係にあり、SI1386 を切り、そのほかの遺構に切られる。平面形は不整形で、規模は長軸(南北)約 6.33m、短軸(東西)5.00m 前後、深さ約 0.13m、面積は約 23.50m²を測る。長軸方向は N - 83° - E を示す。床面はピットと壁溝の検出面から掘形直上と推定されるが、平坦ではない。硬化した床面は確認できなかった。炉は検出できなかったが、ピットと壁溝を検出した。ピットは 1 基のみで、竪穴中央の北壁寄りに位置し、規模は径約 0.19m、深さ約 0.22m を測る。壁溝は SI1384 に切られている東壁側を除き、各壁際で途切れた状態で検出できた。規模は幅 0.20m 前後、深さは約 0.08m を測る。覆土は 2 層に分層でき、1 層は炭化物を微量含むにぶい黄褐色土、2 層は壁溝の覆土である。遺物はごく少数の土師器が 1 層から出土したのみで、細片のため図化できるものはない。

SI1386 (図版 44・66・165・166)

調査区北側 16D・E 区に位置する竪穴建物で、V 層上面で検出した。SI1385、SK1059・1070・1142、P1062 と重複関係にあり、すべての遺構に切られる。平面形は隅丸長方形で、規模は長軸(東西)約 5.45m、短軸(南北)5.15m 前後、深さ約 0.14m、面積は約 24.65m²を測る。長軸方向は N - 83° - E を示す。炉は検出できなかったが、ピットと壁溝を検出した。ピットは 7 基検出したが、配置に規則性は見られない。

また P4 は壁に近接し、覆土がほかのピットと異なることから本遺構に伴わない可能性が高い。ピットの規模は径 0.17 ~ 0.31m、深さ 0.11 ~ 0.31m とばらつくが、中でも P1 ~ 3・7 は同規模で支柱穴の可能性が高い。壁溝は途切れた状態で各壁際に検出でき、規模は幅 0.15 ~ 0.20m、深さ約 0.06m を測る。覆土は 2 層に分層でき、1 層は灰黄褐色土で、2 層はふい黄褐色土である。床面は遺物の出土状況などから 2 層上面と推定されるが、平坦ではない。遺物は 2 層出土のものは少なく、遺構検出面や 1 層中から多く出土し、特に住居西側に集中する。出土遺物は土師器壺片・壺片・ミニチュア土器などである。遺構の時期は出土遺物から新石器時代 7 ~ 8 期と考えられる。

なお堅穴のほぼ中央から出土した土師器壺 (34) の付着炭化物に関して放射性炭素年代測定を行い、3 世紀前半 ~ 4 世紀前半という結果が得られている (第VI章参照)。

SI1392 (図版 44・67・167)

調査区北側 16・17C 区に位置する堅穴建物で、V 層上面で検出した。SD1017、P1258・1403 と重複関係にあり、すべての遺構に切られる。また SI1307 が近接し、重複しないが近接するため同時存在の可能性は低いと考えられる。平面形は東側が丸みを帯びる不整形で、規模は長軸 (南北) 約 4.95m、短軸 (東西) 約 4.76m、深さ約 0.17m、面積は約 18.42m² を測る。長軸方向は N - 73° - E を示す。炉、壁溝は検出できなかったが、ピットを 1 基検出した。ピットは堅穴中央の西寄りに位置し、規模は径約 0.20m、深さは約 0.29m を測る。覆土は 2 層に分層でき、ふい黄褐色土である。遺物は 1 層上部から土師器細片と石製品 (635)、掘形直上から径 0.15m 及び径 0.10m の礫各 1 点が出土した。礫は花崗岩と砂岩で、使用痕は確認できない。

SI1404 (図版 44・67・167)

調査区北側 16B 区に位置し、調査区外へ伸びる堅穴住居で、V 層上面で検出した。SI1308、P1269・1270、SR1 と重複関係にあり、すべてに切られる。また SI1307 が近接し、重複しないが近接するため同時存在の可能性は低いと考えられる。平面形は不整形と推定され、規模は長軸 (東西) 5.91m 以上、短軸 (南北) 3.71m 以上、深さ約 0.35m、面積は 13.14m² 以上を測る。長軸方向は N - 87° - E を示す。床は炉 (F1) の検出面から掘形直上と推定されるがやや起伏がある。硬化した床面は確認できなかった。ピット、壁溝は検出できなかったが、堅穴中央付近から炉と考えられるくぼみ (F1) を検出した。炉は不整形で覆土に炭化物が中量混じるが、焼土は確認できない。規模は長軸 1.25m 以上、短軸約 0.96m、深さ約 0.20m を測る。覆土は 4 層に分層でき、各層とも地山 (V 層) に近似するが、炭化物が混入している。遺物は出土していない。

SI1430 (図版 42・68・168)

調査区北側 13C・D 区に位置する堅穴住居で、V 層上面で検出した。SD1134、SK1415、複数のピットと重複関係にあり、すべての遺構に切られる。また SD1134 底面で検出した P1348・1351・1352 は、位置関係・覆土などから本遺構に伴う可能性が高い。平面形は台形に近い隅丸長方形で、規模は長軸 (南北) 約 5.58m、短軸 (東西) 約 4.39m、深さ約 0.09m、面積は 19.30m² を測る。長軸方向は N - 71° - E を示す。炉 (F1) は堅穴中央の北側に位置し、平面形は楕円形を呈し、覆土には焼土・炭化物を中量含むが、明瞭な火床面は確認できなかった。ピットは 4 基検出したが、規模は径 0.24 ~ 0.75m、深さ 0.15 ~ 0.39m とばらつく。支柱穴は配置から P1・2 の 2 基と考えられ、SD1134 底面で検出した P1348・1352 が対応する可能性がある。壁溝は、SD1134 で切られた範囲を除き、北西コーナーで一部途切れるが全周する。覆土は単層で、炉を検出した 1 層の上位が床面に相当する。遺物は出土していない。

D 掘立柱建物

SB15 (図版43・69・168・169)

調査区北側の14E区に位置し、V層上面で検出した。建物範囲内にはSI1314、SD1031、SK1029、SX1044などが存在し、SI1314を切るが、そのほかの遺構との新旧関係は不明である。桁行1間(約4.6m)、梁行1間(約3.7m)の側柱式掘立柱建物で、床面積は約16.3m²を測る。主軸方向はN-4°-Wを示す。柱穴は2本一対となり、西側(P1030・1037)は掘形上部が一体で、底部に2か所の柱穴のくぼみを持つ。一方北東側は近接した2基の柱穴(P1045・1201)である。柱穴の規模は、西側は長径0.70m前後、短径0.60m前後、深さは0.47～0.70mで、北東側は径0.26～0.38m、深さは0.45m前後である。覆土は、にぶい黄褐色土・褐色土が主体である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期と考えられるが、詳細な時期は不明である。

SB16 (図版42・69・168・169)

調査区北側の13・14D区に位置し、V層上面で検出した。建物範囲内にはSD1031・1134、SK1194・1370、F1133などが存在し、SD1031・1134に切られ、また検出面の違いからF1133が新しい。そのほかの遺構との新旧関係は不明である。南東隅の柱穴を中世遺構によって消失するが、桁行2間(約4.2m)、梁行1間(約2.8m)の側柱式掘立柱建物で、床面積は約11.6m²と推定する。主軸方向はN-109°-Eを示す。柱穴の規模は、径0.30m前後、深さ0.45m前後を測る。覆土は褐色土が主体となる。遺物は出土していない。遺構の時期はほかの遺構との切り合い関係や遺構検出面から古墳時代前期と考えられるが、詳細な時期は不明である。

E 円形周溝状遺構

SD1134 (図版42・70・71・170)

調査区北側の13・14C・D区に位置し、V層上面で検出した溝が楕円形に巡る遺構である。本遺構は大型であり、SI1430、SB16、SD1031・1363、SK1356・1366・1415、F1123・1219・1383、多数のピットと重複関係にあり、SI1430、SD1363、SB16、SK1366・1415を切り、SD1031、SK1356、F1123・1219・1383に切られる。また周溝の内側にはSK1194・1370、F1124・1133、P1238が存在する。これらの遺構のうち、F1124・1133は検出面の違いから本遺構より新しい。遺構の平面形は東西方向に長い楕円形で、規模は長径約15.66m、短径約10.90mを測る。楕円形に巡る溝は、幅1.22～3.58m、深さ0.07～0.19を測り、西側が幅広く、東側が狭い。また溝の断面形は浅い弧状であるが、南側底面には溝状及び不整形の落ち込みがある。溝状の落ち込みは全長約5.55m、幅0.54～0.72m、不整形の落ち込みは長軸約4.15m、短軸2.10mを測り、深さはそれぞれ約0.37mである。覆土は2層に分層でき、1層は炭化物を少量含む灰黄褐色土、2層は炭化物を微量含むにぶい黄褐色土で地山(V層)に類似する。なお南側の落ち込みの覆土は、2層である。溝内からは多量の土師器が出土し、特に西側の13C8～9・13～15区付近、北東の14D2・7区付近、南側の溝状落ち込み付近(13D8区)にまとまる傾向がある。遺物は土師器壺が主体であり、そのほか壺や少数の鉢・器台、磨石類などが出土したが、器種による分布の偏りはなかった。遺物の中には、SI1327及びSD1363出土土器と接合するものもある。遺構の時期は、出土遺物から新潟シノボ編年8期前後と考えられる。本遺構は溝の内側に建物を構成する柱穴や炉が検出できなかったが、県内のほかの遺跡の類例から建物周囲に巡らした溝と考えておきたい。

F 溝

SD1001 (図版38・72・171)

調査区南端の3D・E区に位置し、IV層上面で検出した。東側は試掘トレンチで壊されている。本遺構周辺には遺構がなく、最も近いSK1145まで約16.0mを測る。長軸は東端で南方向に曲がるが、ほぼ東西方向に走り、 $N-79^{\circ}-E$ を示す。規模は全長13.20m以上、幅0.45～0.92m、深さ約0.25mを測る。断面形はU字状を呈する。底面は西側から東側に緩やかに傾斜する。覆土は3層に分層でき、暗灰黄色土・オリブ褐色土である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SD1003 (図版41・74・171)

調査区南側の9B区に位置し、IV層上面で検出した。SK1002と重複関係にあり、これに切られる。周辺にはSK1007・1025・1047・1051・1125などの多数の土坑が分布し、東側約2.45mにはSX1136が存在する。長軸は北東端で東側に曲がるが、ほぼ北東-南西方向に走り、 $N-37^{\circ}-E$ を示す。規模は全長約4.18m、幅約1.26m、深さ約0.13mを測る。断面形は弧状を呈する。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は2層に分層でき、炭化物を少量含む赤褐色土・にぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SD1017 (図版42～44・72・171)

調査区北側の13E、14D・E、15C・D、16C、17E区に位置し、IV層上面で検出した。南端は調査区外へ伸び、また北側は徐々に浅くなり、17C14区以北では検出できない。本遺構は調査区北側を縦断し、SI1294・1311・1312・1315・1392、SD1031などの多くの遺構と重複関係にあるが、すべての遺構を切っている。長軸は13E～15C23区付近までほぼ南北に走り、15C23区付近で北東方向に向きを変える。13E～15C23区間で $N-12^{\circ}-E$ 、15C23区以北は $N-25^{\circ}-W$ を示す。規模は全長50.80m以上、幅0.28～0.72m、深さ0.30～0.45mを測る。断面形はU字状を呈する。底面は14・15D区付近が最も深い。覆土は2層に分層でき、III層に類似した土が主体で、北側は砂質となる。遺物は、SI1315・1381と重複する14・15C区付近で土師器や砥石がややまとまって出土したが、遺構全体では量は少なく、土師器はすべて破片で図化できるものはない。遺構の時期は遺構検出面、重複する遺構をすべて切っていること、覆土がIII層類似土であることから、古墳時代前期でも後出と考えられる。

SD1031 (図版42・72・79・80・171)

調査区北側の13B・C、14C～E区に位置し、V層上面で検出した。両端は調査区外へ伸びる。本遺構はSB15・16、SD1134・1017、SK1194・1252・1306・1370、P1196と重複関係にあり、SB16、SD1134、SK1306・1370を切り、SD1017、SK1194・1252、P1196に切られる。なおSB15との新旧関係は不明である。また南側約8.00mにSD1188が、本遺構とはほぼ平行して存在する。長軸はほぼ西北西-東南東方向に走り、 $N-69^{\circ}-W$ を示す。規模は全長33.60m以上、幅0.38～0.65m、深さ0.18～0.40mを測る。断面形は台形状またはU字状を呈する。底面は南東側から北西側へ緩やかに傾斜し、壁の立ち上がりは南東側では緩やかであるが、北西側では急角度となる。覆土は単層または3層に分層できた。調査区中央付近の覆土は遺構密集地のため多量の炭化物を含んでいるが、東西端は微量の炭化物を含むのみで地山(V層)との識別は困難であった。遺物はSD1134との重複部分でやや多く出土したが、14E区では皆無であった。出土遺物は、土師器壺片・壺片・鉢片・器台片、磨石類である。

SD1034 (図版41・72・171・172)

調査区中央より9C、10B・C、11B区に位置し、IV層上面で検出した。北端は調査区外へ伸びる。本遺構はSD1208・1283、SK1186・1210・1224・1280・1281・1365、SX1136や複数のピットと重複関係にあり、SD1283、SK1186・1224・1280・1281・1365、SX1136を切り、SD1208、SK1210や複数のピットに切られる。長軸は南端が南西に曲がる以外はほぼ南北方向に走り、 $N-10^{\circ}-W$ を示す。規模は全長18.10m以上、幅1.47～3.58m、深さ0.24m前後を測る。断面形は弧状を呈する。底面は南端で一部溝状に落ち込むが、それ以外はほぼ平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。覆土は5層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土である。遺物は、遺構南端付近及び10・11B区境付近の2・3層を中心にまとまって出土した。出土遺物は土師器壺片・甕片・鉢片・器台片、磨石類である。土師器は甕が最も多く、壺が続き、鉢・器台はごく少量となる。遺構の時期は、出土遺物から新湊シンボ編年8期前後と考えられる。

SD1053 (図版41・72・172)

調査区南側9D区に位置し、V層上面で検出した。北側は中世遺構SK19及び近代以降の水路に大きく壊されている。長軸はほぼ南西-北東方向に走り、 $N-25^{\circ}-E$ を示す。規模は全長2.82m以上、幅1.24m以上、深さ約0.10mを測る。断面形は浅い弧状を呈する。覆土は2層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は多量の土師器片が1層を中心に出土した。

SD1069 (図版41・72・172)

調査区中央付近10D、11C・D区に位置し、V層上面で検出した。SK1204と重複関係にあり、これに切られる。本遺構周辺には、北側約0.55mにS11223が存在し、SK1220・1012・1408・1203 1394などの多数の土坑が分布している。長軸はほぼ南北方向に走り、 $N-2^{\circ}-W$ を示す。規模は全長約16.95m、幅0.68～1.43m、深さ約0.10mを測る。断面形は浅い弧状を呈する。底面は北側から南側へ緩やかに傾斜し、壁は緩やかに立ち上がる。覆土は単層または2層に分層でき、にぶい黄褐色土が主体となる。遺物は、土師器片が遺構検出面及び1層から出土した。土師器は壺片・甕片などである。

SD1078 (図版40・72・172)

調査区南側7D、8C・D区に位置し、V層上面で検出した。長軸は7・8区境付近でやや曲がるがほぼ南南西-北北東に走り、 $N-23^{\circ}-E$ を示す。規模は全長約19.10m、幅0.32～0.63m、深さ約0.17mを測る。断面形は浅い台形状を呈する。底面は北側から南側へ緩やかに傾斜し、壁はやや急角度に立ち上がる。覆土は単層で、炭化物を含む黄灰色土である。遺物は出土していない。

SD1104 (図版38・72・172)

調査区南側3B区に位置し、V層上面で検出した。南端部は調査のための排水溝で壊されている。周辺には複数のピットが存在するが、関連は不明である。長軸はほぼ南南西-北北東に走り、 $N-21^{\circ}-E$ を示す。規模は全長約2.05m、幅0.25m前後、深さ約0.09mを測る。断面形はV字状を呈する。覆土は単層で、灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SD1188 (図版42・72・172)

調査区北側12B、13B～E区に位置し、IV層上面で検出した。東西端は調査区外へ伸びる。本遺構はS11327・1294、SD1363・1464と重複関係にあり、すべての遺構を切る。また北側約8.00mにSD1031が、本遺構とはほぼ平行して存在する。長軸は13C・D区でやや曲がるが西西北-東南東方向に走り、12B～13C区間が $N-70^{\circ}-W$ 、13C～E区間が $N-62^{\circ}-W$ を示す。規模は全長35.30m以上、幅0.42～0.62m、深さ0.26～0.45mを測る。断面形は台形状またはV字状を呈する。底面は南東側から北西側に傾

斜し、壁の立ち上がりは急角度である。覆土は4層に分層でき、炭化物を含む黄褐色土が主体である。遺物はそれほど多くなく、土師器壺片・器台などが13C・D区の覆土上部から出土した。遺構の時期は、遺構検出面やSI1327との重複関係から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SD1208 (図版41・72・173)

調査区北側10・11B区に位置し、IV層上面で検出した。北東端は中世SE589に壊され、西端は調査区外へ伸びる。本遺構はSD1034、SK1245・1443と重複関係にあり、これらを切る。長軸は北西側を中心とする緩やかな弧状となり、10B7・8区境付近で西側に、10B・11B区境付近で北側に屈曲する。規模は全長12.40m以上、幅0.95～2.30m、深さ0.18m前後を測る。断面形は弧状を呈する。壁は一部に段を持つが、おおむね緩やかに立ち上がる。覆土は3層に分層でき、褐色土・灰黄褐色土・にぶい黄褐色土である。遺物は、少数の土師器壺片・器台などが覆土中から出土した。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SD1222 (図版41・73・173)

調査区中央東寄りの11E区に位置し、V層上面で検出した。長軸はおおむね北西-南東方向に走り、N-37°-Wを示す。規模は全長約3.91m、幅0.93～1.20m、深さ約0.21mを測る。断面形は台形状を呈し、壁はやや緩やかに立ち上がる。覆土は3層に分層できる。1層は炭化物を中量含む灰黄褐色土で、2・3層はにぶい黄褐色土である。遺物は、遺構北側の1層から土師器壺体部(408)が出土した。

SD1283 (図版41・73・173)

調査区北側10B・C区に位置し、V層上面で検出した。SD1034と重複関係にあり、これに切られる。長軸はやや弧状となるがおおむね東西方向に走り、N-78°-Wを示す。規模は全長4.58m以上、幅0.90～2.08m、深さ0.30m前後を測る。なお遺構の西端はSD1034を越えないことから、全長は6.00m前後と推定される。断面形は幅の広い弧状を呈し、壁は平坦な底面から緩やかに立ち上がる。覆土は3層に分層でき、1層は炭化物を中量含む灰黄褐色土で、2・3層はにぶい黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SD1287 (図版41・42・73・173)

調査区北側11・12B区に位置し、V層上面で検出した。北側を中世の井戸(SE102・186・784)に大きく壊されている。平面形は不整形で、長軸はおおむね南北方向に走り、N-9°-Eを示す。規模は全長約9.62m、幅2.21～3.93m、深さ0.18～0.28mを測る。断面形は弧状を呈する。底面は起伏し、壁には一部段を持つ。覆土は4層に分層でき、炭化物を含む黄褐色土が主体である。出土遺物には残存状態の良い土師器が多く、特に遺構東側の立ち上がり付近に器台や壺の大型破片が集中して出土した。遺構の時期は、出土遺物から新潟シンボ編年7～8期と考えられる。

SD1363 (図版42・71・73・173・174)

調査区北側12B・C、13C・D区に位置し、V層上面で検出した。SD1134・1188、SK1141・1362と重複関係にあり、これらの遺構に切られる。北側約1.00mに大型竪穴住居SI1327が存在する。平面形は不整形で、長軸はおおむね東西方向に走り、N-83°-Wを示す。規模は全長約15.84m、最大幅約6.42m、深さ約0.98mを測る。断面形は不整形で、底面は起伏し、中央長軸方向に溝状の落ち込みを伴う。この溝状の落ち込みは、全長約9.65m、幅0.68～1.75m、深さ0.25m前後を測る。覆土は9層に分層できる。1層はⅢ層に相当し、2層は炭化物を中量、焼土を微量含む灰黄褐色土、3～7層は黄褐色シルトブロックや炭化物を含むにぶい褐色土、8・9層は遺構底面及び溝状落ち込み底面に堆積する土層でにぶい褐色

土である。遺物は1・2層から多量に出土し、特に2層には土師器が多く含まれていた。3～9層は土師器がごく少量出土するのみである。2層出土の土師器は大半が細片であり、廃棄されたものと考えられる。またSI1327やSD1134出土遺物と接合するものがある。出土遺物は土師器壺片・甕片・高杯片・器台、砥石・磨石類であるが、土師器の壺の量がほかの遺構と比較して、やや多い。遺構の時期は、出土遺物から新潟シンボ編年8期前後が中心と考えられる。

SD1369 (図版43・58・174)

調査区北側14・15C区に位置し、V層上面で検出した。SI1313、SK1368、F1217と重複関係にあり、SI1313を切り、SK1368、F1217に切られる。平面形は不整形で、長軸はおおむね北東-南南西方向に走り、 $N-20^{\circ}-E$ を示す。規模は全長約8.50m、最大幅約1.60m、深さ約0.45mを測る。断面形は弧状を呈する。底面は中央付近が最も深く、壁は段を持って立ち上がる。覆土は3層に分層でき、炭化物を含むにぶい黄褐色土が主体である。遺物は底面からやや浮いた状態で土師器などが出土した。出土遺物は土師器壺片・甕片・高杯片・器台片、磨石類である。遺構の時期は、出土遺物から新潟シンボ編年7～8期と考えられる。

SD1378 (図版42・73・174)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。東端を土層観察用のトレンチによって壊されている。長軸はほぼ東西方向に走り、 $N-87^{\circ}-E$ を示す。規模は全長1.41m以上、幅0.85m前後、深さ約0.14mを測る。断面形は弧状を呈する。底面は平坦で、壁は一部を除き緩やかに立ち上がる。覆土は3層に分層でき、炭化物を含む暗灰黄色土・黄褐色土である。遺物は、土師器甕片・器台など少数の土師器が遺構検出面及び1層上部から出土した。

G 土 坑

SK1002 (図版41・74・174)

調査区南側9B・C区に位置し、IV層上面で検出した。SD1003と重複関係にあり、これを切る。周辺にはSK1125などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.75m、短径約1.70m、深さ約0.22mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を含むにぶい黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片が出土したが、細片のため図化できるものはない。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SK1004 (図版41・74・174・175)

調査区南側9・10E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はおおむねU字状を呈し、西側に段を持つ。規模は長径約1.75m、短径約1.31m、深さ約0.49mを測る。覆土は3層に分層でき、炭化物を含むにぶい黄褐色土が主体である。遺物は2層下部から土師器鉢片などが少数出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1005 (図版41・74・175)

調査区南側9B区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.12m、短径約0.85m、深さ約0.23mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を含むにぶい黄褐色土が主体である。遺物は土師器が1層から出土した。そのうち土師器鉢(455)は1層上部からの出土である。遺構の時期は、出土遺物から新潟シンボ編年8期前後と考えられる。

SK1006・1007 (図版40・74・175)

調査区南側9B区に位置し、V層上面で検出した。両者は重複関係関係にあり、SK1006がSK1007を

切る。周辺にはSK1010などの多くの土坑が分布する。SK1006の平面形は不整楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約1.56m、短径約1.23m、深さ約0.49mを測る。SK1007の平面形は楕円形、断面形は台形状と推定される。規模は長径約1.16m、短径0.54m以上、深さは約0.25mを測る。覆土は両者とも2層に分層でき、黄褐色土・灰黄褐色土である。遺物は少数の土師器片がSK1006は2層下部から、SK1007は覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1008 (図版40・74・175)

調査区南側8B区に位置し、V層上面で検出した。SK1049と重複関係にあり、これを切る。周辺にはSK1048などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.76m、短径約1.43m、深さ約0.22mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む灰黄褐色土・ふい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1009 (図版41・74・175)

調査区南側9B区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径約0.74m、短径約0.42m、深さ約0.17mを測る。覆土は単層で、炭化物を含むふい黄褐色土である。遺物は土師器残体部が少数出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1010 (図版40・75・175・176)

調査区南側8・9B区に位置し、V層上面で検出した。SK1050・1051と重複関係にあり、両者を切る。周辺にはSK1047などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.55m、短径約1.11m、深さ約0.38mを測る。覆土は3層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は2層下部から土師器残体部(456)などが出土した。

SK1050 (図版40・75・176)

調査区南側8・9B区に位置し、V層上面で検出した。SK1010と重複関係にあり、これに切られる。周辺にはSK1051などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形と推定され、断面形は浅い台形状を呈する。規模は長径約1.25m、短径0.75m以上、深さ約0.11mを測る。覆土は3層に分層でき、炭化物を含む灰黄褐色土が主体である。遺物はごく少数の土師器片が出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1051 (図版40・75・176)

調査区南側9B区に位置し、V層上面で検出した。SK1010と重複関係にあり、これに切られる。周辺にはSK1050などの多くの土坑が分布する。平面形は不整楕円形、断面形は台形状と推定される。底面は東側がやや深くなる。規模は長径約1.20m、短径0.88m以上、深さ約0.23mを測る。覆土は2層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1011 (図版41・75・176)

調査区南側9・10B区に位置し、V層上面で検出した。周辺にはSK1025などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.38m、短径約1.20m、深さ約0.23mを測る。覆土は2層に分層でき、ふい黄褐色土・灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が1層から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1012 (図版41・75・176)

調査区南側10D区に位置し、V層上面で検出した。周辺には北側に隣接してSK1408、約3.52mにSI1223、南側約2.50mにSI1075、東側約1.15mにSD1069が存在する。平面形は隅丸長方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約1.47m、短軸約1.10m、深さ0.20m前後を測る。覆土は2層に分層でき、

炭化物を含むにぶい黄褐色土・灰黄褐色土である。遺物は1層から少数の土師器残片・器台片などが出土した。

SK1014 (図版44・65・176)

調査区北側16D区のSI1385内に存在し、これを切る。平面形は不整楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.95m、短径約0.80m、深さ約0.55mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を微量含む褐色シルトである。遺物は1層から微量の土師器片と石鉄と考えられる石器(648)が出土した。土器は細片のため図化できるものはない。

SK1015 (図版44・65・176)

調査区北側16・17D区のSI1385内に存在し、これを切る。平面形は方形に近い楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.77m、短径約0.60m、深さ約0.31mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を微量含むにぶい黄褐色土・オリブ褐色土である。遺物は出土していない。

SK1018 (図版44・75・177)

調査区北側16D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約0.95m、短径約0.82m、深さ約0.31mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を微量含むオリブ褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1020 (図版44・75・177)

調査区北側16・17D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.16m、短径約0.90m、深さ約0.23mを測る。覆土は2層に分層でき、灰色土ブロックを含む褐色土・オリブ褐色土である。遺物は出土していない。

SK1021 (図版40・75・177)

調査区南側9C区に位置し、V層上面で検出した。北側に近接してSK1125が存在する。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。北西～北東壁には段を持つ。規模は長径約0.98m、短径約0.92m、深さ約0.30mを測る。覆土は3層に分層でき、1・2層はにぶい黄褐色土、3層は灰黄褐色土である。遺物は遺構検出面及び1層から少数の土師器片、3層から径0.20mの円礫が出土したのみである。土師器は細片のため図化できるものはない。

SK1025 (図版41・75・177)

調査区南側9B・C区に位置し、V層上面で検出した。周辺にはSK1186などの多くの土坑が分布する。平面形は隅丸方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約1.34m、短軸約1.27m、深さ約0.23mを測る。覆土は4層に分層でき、にぶい黄褐色土が主体である。遺物はごく少数の土師器片のみが1層から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1026 (図版41・75・177)

調査区南側10B・C区に位置し、V層上面で検出した。北側に近接してSK1402が存在する。平面形は楕円形で、断面形は箱状を呈する。規模は長径約0.89m、短径約0.81m、深さ約0.15mを測る。覆土は2層に分層でき、灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1027 (図版41・76・177)

調査区南側10E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約1.49m、短径約1.09mを測る。深さは約0.63mで、ほかの土坑と比較するとやや深い。覆土は5層に分層でき、1層は褐灰色土、2～4層は黄褐色シルトを中～多量に含むにぶい黄褐色土、5層は暗オ

リーブ褐色土である。遺物はごく少数の土師器片のみが覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1028 (図版 43・76・178)

調査区北側 14E 区に位置し、V 層上面で検出した。SI1314・P1455 と重複関係にあり、両者を切る。平面形は楕円形で、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径約 0.71m、短径約 0.64m、深さ約 0.12m を測る。覆土は 2 層に分層でき、にぶい黄褐色土・褐色土である。遺物は複数の礫が覆土中から出土した。

SK1029 (図版 43・76・177)

調査区北側 14E 区の SB15 内に位置し、V 層上面で検出した。SB15 との新旧関係は不明である。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は径約 0.82m、深さ約 0.24m を測る。覆土は 2 層に分層でき、焼土を微量含むにぶい黄褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1047 (図版 40・76・178)

調査区南側 9B 区に位置し、V 層上面で検出した。周辺には SK1010 などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.60m、短径約 1.06m、深さ約 0.18m を測る。覆土は 3 層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物はごく少数の土師器片が遺構検出面及び 1 層中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1048 (図版 40・76・178)

調査区南側 8B 区に位置する大型の土坑で、IV 層上面で検出した。西側は調査区外へ伸びる。平面形は楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径 2.07m 以上、短径約 2.10m、深さ約 0.29m を測る。覆土は 3 層に分層でき、灰黄褐色土・にぶい黄褐色土・暗オリーブ褐色土である。遺物は覆土中から土師器壺片などが出土したが、細片のため図化できるものはない。遺構の時期は遺構検出面から古墳時代前期でも後出と考えられる。

SK1049 (図版 40・76)

調査区南側 8B 区に位置し、V 層上面で検出した。SK1008 と重複関係にあり、これに切られる。周辺には SK1006 などの多くの土坑が分布する。平面形は楕円形、断面形は弧状と推定される。規模は長径約 1.22m、短径 0.68m 以上、深さ約 0.17m を測る。覆土は単層で、灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1052 (図版 40・76・178)

調査区南側 8D 区に位置し、V 層上面で検出した。SX1074 と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は底部西側のくぼみを除き、弧状を呈する。規模は長径約 1.00m、短径約 0.70m、深さ約 0.12m を測り、底面に径約 0.31m、深さ約 0.29m のくぼみを持つ。覆土は 4 層に分層でき、2～4 層はくぼみ部の覆土である。遺物は出土していない。

SK1059 (図版 44・65・178)

調査区北側 17D 区に位置し、V 層上面で検出した。SI1385・1386 と重複関係にあり、両者を切る。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.31m、短径約 0.92m、深さ約 0.27m を測る。覆土は 2 層に分層でき、炭化物を含む黄褐色土・褐色土である。遺物は遺構検出面及び 1 層を中心にややまとまって出土した。出土遺物は土師器壺片・壺片、礫などである。

SK1060 (図版 44・64・178)

調査区北側 16・17E 区に位置し、V 層上面で検出した。SI1384 と重複関係にあり、これを切る。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸約 1.36m、短軸約 1.23m、深さ約 0.19m を測る。覆

土は2層に分層でき、黄灰色土が主体である。遺物は複数の礫が遺構検出面及び1層から出土したのみである。

SK1066 (図版43・76・179)

調査区北側16E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は不整形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約1.67m、短軸約1.60m、深さ約0.19mを測る。覆土は2層に分層でき、褐灰色土・暗灰黄色土である。遺物は遺構検出面及び1層からややまとまって出土した。出土遺物には土師器甕片を中心として、礫も含まれる。

SK1072 (図版41・77・179)

調査区南側9C・D区に位置し、V層上面で検出した。中世遺構や攪乱に大きく壊され、全体形は不明である。平面形は不整形、断面形は弧状と推定される。規模は長軸3.05m以上、短軸1.70m以上、深さ約0.33mを測る。覆土は5層に分層でき、にぶい黄褐色土が主体である。遺物は土師器片や礫が1層からごく少量出土した。

SK1073 (図版44・76)

調査区北側16D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.58m、短径約0.50m、深さ約0.23mを測る。覆土は3層に分層できた。遺物は出土していない。

SK1075 (図版41・77・179)

調査区南側9E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約0.90m、短径約0.73m、深さ約0.25mを測る。覆土は3層に分層でき、黄灰色土・暗灰黄色土・灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1080 (図版40・77・179)

調査区南側7・8E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径約1.25m、短径約0.83m、深さ約0.14mを測る。覆土は単層で、炭化物を少量含む黄灰色土である。遺物は出土していない。

SK1081 (図版40・77・179)

調査区南側7・8D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は浅い弧状を呈する。規模は径約0.92m、深さ約0.06mを測る。覆土は単層で、炭化物を微量含む黄灰色土である。遺物は出土していない。

SK1082 (図版40・77・179)

調査区南側8D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.05m、短径約0.99m、深さ約0.11mを測る。覆土は単層で、炭化物を中量含む黄灰色土である。遺物は出土していない。

SK1083 (図版40・77・179)

調査区南側8C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約2.18m、短径約1.71m、深さ約0.35mを測る。覆土は3層に分層でき、にぶい黄褐色土・暗灰黄色土・灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1086 (図版40・77・180)

調査区南側7C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はおおむね半円状を呈するが北西側の壁に段を持つ。規模は長径約1.49m、短径約1.01m、深さ約0.41mを測る。覆土は5層に分

層でき、暗灰黄色土・にぶい黄褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1092 (図版 42・77・180)

調査区北側 12D 区に位置し、V層上面で検出した。SI1195と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 1.06m、短径約 0.88m、深さ約 0.24m を測る。覆土は 3 層に分層でき、黄灰色土が主体である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1094 (図版 39・78)

調査区南側 5B 区に位置し、V層上面で検出した。西側は調査区外へ伸びる。周辺の遺構は南西側にやや距離を置いて SK1146 やピット群が存在するのみである。平面形は楕円形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長径 1.54m 以上、短径約 1.34m、深さ 0.30m 前後を測る。覆土は 3 層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1113 (図版 43・78・180)

調査区北側 15D・E 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は不整形長方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約 2.13m、短軸約 1.71m、深さ 0.20m 前後を測る。覆土は 2 層に分層でき、炭化物を含む暗灰黄色土・オリブ褐色土である。遺物は土師器甕片や礫が遺構検出面及び 1 層を中心に出土したが、土師器は細片のため図化できるものはない。

SK1126 (図版 41・78・180)

調査区南側 9C 区に位置し、V層上面で検出した。SX1136と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形はおおむね半円状を呈するが南壁に段を持つ。規模は長径約 1.64m、短径約 1.12m、深さ約 0.40m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰黄褐色土・にぶい黄褐色土である。遺物は 2～4 層から土師器甕片・鉢片・器台片や礫などが出土した。遺構の時期は出土遺物から新縄文シロ編年 7 期と考えられる。

SK1141 (図版 42・78・181)

調査区北側 12C 区に位置し、V層上面で検出した。SD1363と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形はおおむね半円状を呈する。規模は長径約 2.03m、短径約 1.74m、深さ約 0.22m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰オリブ色土・黒褐色土・黄褐色土である。遺物は遺構北寄りの 2・3 層上部から土師器甕片などが出土した。

SK1145 (図版 38・78・181)

調査区南側 4C 区に位置し、V層上面で検出した。周辺には SK1168 や複数のピットが存在するのみである。平面形は楕円形で、断面形は箱状を呈する。底面は開口部と比較して狭く、中心から西側にずれており、南西壁は一部オーバーハングして立ち上がる。規模は長径約 1.18m、短径約 0.74m、深さ約 0.63m を測る。覆土は 5 層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1146 (図版 39・78・181)

調査区南側 5B 区に位置し、V層上面で検出した。周辺には複数のピットが存在する。平面形は長楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 0.68m、短径約 0.35m、深さ約 0.21m を測る。覆土は 3 層に分層でき、褐灰色土が主体である。遺物は出土していない。

SK1164 (図版 43・78・181)

調査区北側 14D 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は不整形長方形で、断面形は台形状を呈する。

規模は長軸約 1.34m、短軸約 0.90m、深さ約 0.24m を測る。覆土は 2 層に分層でき、にぶい黄色土が主体である。遺物は少量の土師器壺片などが覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1182 (図版 41・78・181)

調査区南側 9C 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は円形で、断面形は弧状を呈する。規模は径約 0.79m、深さ約 0.15m を測る。覆土は 2 層に分層でき、両者とも炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は土師器壺片などが遺構検出面及び 1 層から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1185 (図版 42・79・181・182)

調査区北側 11C 区に位置し、V 層上面で検出した。SK1212 及びピットと重複関係にあり、両者を切る。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 0.81m、短径約 0.72m、深さ約 0.30m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。遺物はごく少数の土師器片のみが覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1186 (図版 41・79・182)

調査区中央 9・10C 区に位置し、V 層上面で検出した。SD1034 と重複関係にあり、これに切られる。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.69m、短径約 1.52m、深さ約 0.13m を測る。覆土は 2 層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1192 (図版 39・79・182)

調査区南側 6・7C 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は不整形で、断面形は半円状を呈する。規模は長軸約 1.13m、短軸約 1.07m、深さ約 0.29m を測る。覆土は 3 層に分層でき、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1193 (図版 39・79・182)

調査区南側 6・7C 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径約 1.21m、短径約 0.86m、深さ約 0.10m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1194 (図版 42・79・171・182)

調査区北側 14D 区に位置し、V 層上面で検出した。SD1031 と重複関係にあり、これを切る。また SB16 範囲内及び SD1134 溝内側に存在し、直接切り合い関係はないが SB16、SD1031・1134 の重複関係から本遺構がもっとも新しいと考えられる。平面形は長方形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸約 1.12m、短軸約 0.86m、深さ約 0.31m を測る。覆土は 2 層に分層でき、オリーブ褐色土・黄褐色土である。遺物は土師器壺片・器台片などが 1 層から出土した。遺構の時期は、ほかの遺構との重複関係から古墳時代前期でも後出と推測される。

SK1197 (図版 41・79・182)

調査区北側 11C 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は浅い台形状を呈する。規模は長径約 0.69m、短径約 0.61m、深さ約 0.06m を測る。覆土は単層で、灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が遺構検出面及び 1 層から出土したが、細片のため図化できるものはない。

SK1198 (図版 41・79・182)

調査区北側 11D 区に位置する小型の土坑で、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 0.45m、短径約 0.33m、深さ約 0.11m を測る。覆土は単層で、灰黄褐色土である。

遺物は出土していない。

SK1199 (図版 41・79・183)

調査区北側 11D 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約 0.58m、短径約 0.51m、深さ約 0.19m を測る。覆土は 5 層に分層でき、炭化物を含む灰黄褐色土が主体であり、1・2 層が 3・4 層を切るように堆積する。遺物は出土していない。

SK1203 (図版 41・79・183)

調査区北側 11D 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 0.92m、短径約 0.75m、深さ約 0.17m を測る。覆土は 2 層に分層でき、灰黄褐色土、にぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1204 (図版 41・79・183)

調査区北側 11D 区に位置し、V層上面で検出した。SD1069 と重複関係にあり、これを切る。平面形は長楕円形で、断面形は浅い台形状を呈する。規模は長径約 1.22m、短径約 0.81m、深さ約 0.14m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は少数の土師器片が 1 層上部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1210 (図版 41・79・183)

調査区北側 10B 区に位置し、V層上面で検出した。SD1034 と重複関係にあり、これを切る。北～北東側に隣接して SK1280・1281 が存在する。平面形は長楕円形で、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径約 2.49m、短径約 1.71m、深さ約 0.12m を測る。覆土は 4 層に分層でき、褐色土・灰黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1211 (図版 41・80・183)

調査区北側 11B 区に位置し、V層上面で検出した。SK1224・1365 と重複関係にあり、これらを切る。西側には隣接して SD1034 が存在する。平面形は不整形長方形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸約 2.71m、短軸約 1.88m、深さ約 0.21m を測る。覆土は 4 層に分層でき、炭化物を含む灰黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1212 (図版 41・42・80・183)

調査区北側 11C 区に位置し、V層上面で検出した。SK1185・ピットと重複関係にあり、ピットを切り、SK1185 に切られる。南西側には近接して SK1277 が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 2.71m、短径約 2.40m、深さ約 0.17m を測る。覆土は 3 層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片・砥石が覆土中から出土した。

SK1220 (図版 41・80・183)

調査区北側 11C 区に位置し、V層上面で検出した。SII223 と重複関係にあり、これを切る。平面形は長楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 1.51m、短径約 1.00m、深さ約 0.11m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は少数の土師器片が 1 層から出土した。

SK1224 (図版 41・72・183)

調査区北側 10・11B 区に位置し、V層上面で検出した。SD1034、SK1211・1365 と重複関係にあり、SK1365 を切り、SD1034、SK1211 に切られる。平面形は楕円形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.78m、短径 0.81m 以上、深さ約 0.33m を測る。覆土は 2 層に分層でき、褐灰色土・灰黄褐色土である。遺物は少数の土師器薬片などが覆土中から出土した。

SK1252 (図版42・80・184)

調査区北側13・14C区に位置し、V層上面で検出した。SD1031・ピットと重複関係にあり、SD1031を切り、ピットに切られる。北側には隣接してSK1391が存在する。平面形は不整長方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約1.65m、短軸約1.26m、深さ約0.22mを測る。覆土は2層に分層でき、灰オリーブ色土である。遺物は土師器壺片などが1層上部から少数出土した。

SK1255 (図版43・80・184)

調査区北側14B・C区に位置し、V層上面で検出した。SK1391・ピットと重複関係にあり、両者を切る。北側には隣接してSK1260が存在する。平面形は不整方形で、断面形は漏斗状を呈する。規模は長軸約1.43m、短軸約1.41m、深さ約0.49mを測る。覆土は5層に分層でき、暗灰黄色土・灰オリーブ色土である。遺物は少数の土師器片が遺構検出面及び1・2層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1257 (図版43・80・184)

調査区北側14C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はやや歪な半円状を呈する。規模は長径約0.99m、短径約0.71m、深さ約0.30mを測る。覆土は2層に分層でき、黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片が1・2層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1260 (図版43・80・184)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約0.75m、短径約0.61m、深さ約0.16mを測る。覆土は2層に分層でき、灰オリーブ色土が主体である。遺物は少数の土師器片が1層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1264 (図版42・81・184)

調査区北側12C区に位置し、V層上面で検出した。SK1444と重複関係にあり、これを切る。南側には隣接してSK1276が存在する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約3.60m、短径約3.42m、深さ約0.38mを測る。覆土は5層に分層でき、褐灰色土・にぶい黄褐色土である。このうち、1層はⅢ層に近似する砂質土で、2・4層は焼土や炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は土師器壺片・器台片などが2・4層から出土した。遺構の時期は、出土遺物から新浜シノ福年7～8期と考えられる。

SK1275 (図版42・81・185)

調査区北側12D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は長楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.15m、短径約0.75m、深さ約0.17mを測る。覆土は2層に分層でき、両者ともににぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1276 (図版42・81・185)

調査区北側11・12C区に位置し、V層上面で検出した。北側には隣接してSK1264が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約1.16m、短径約1.00m、深さ約0.29mを測る。覆土は2層に分層でき、両者とも灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1277 (図版41・81・185)

調査区北側11B・C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約2.14m、短径約1.99m、深さ約0.13mを測る。覆土は単層で、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は少数の土師器片が遺構検出面及び1層から出土した。

SK1279 (図版44・81)

調査区北側16C区に位置し、V層上面で検出した。S11309・1310・ピットと重複関係にあり、これらを切る。

平面形は不整形で、溝状となる。底面は中央が深く、壁は全体に緩やかに立ち上がる。断面形は弧状を呈する。規模は長軸約3.90m、短軸約1.61m、深さ約0.28mを測る。覆土は2層に分層でき、暗灰黄色砂質土が主体である。遺物は土師器壺片などが2層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1280 (図版41・82・185)

調査区北側10B区に位置し、V層上面で検出した。SD1034・SK1281と重複関係にあり、SK1281を切り、SD1034に切られる。南西側には近接してSK1210が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.89m、短径約0.62m、深さ約0.53mを測る。土層観察用のトレンチで上部が壊され、覆土は下部のみ残り、炭化物を含むにぶい黄橙色土である。遺物は少数の土師器壺片などが覆土中から出土した。

SK1281 (図版41・72・185)

調査区北側10B区に位置し、V層上面で検出した。SD1034・SK1280と重複関係にあり、両者に切られる。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約0.74m、短径約0.60m、深さ約0.50mを測る。覆土は単層で、炭化物を中量含むにぶい黄橙色土である。遺物は土師器壺片などが1層下部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1282 (図版42・82・185)

調査区北側10D区に位置し、V層上面で検出した。SI1195と重複関係にあり、これに切られる。平面形は長楕円形と推定され、断面形は浅い弧状を呈する。規模は長径1.70m以上、短径0.81m以上、深さ約0.08mを測る。覆土は単層で、炭化物を含むにぶい褐灰色土である。遺物は少数の土師器片が覆土中から出土した。

SK1286 (図版42・82・186)

調査区北側14C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。また開口部を塞ぐように、台石(650)が出土した。規模は長径約0.63m、短径約0.48m、深さ約0.20mを測る。覆土は2層に分層でき、灰オリーブ色土・黄褐色土である。遺物は上記の台石のほか、ごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1288 (図版42・82・186)

調査区北側12B区に位置し、V層上面で検出した。平面形は長楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.20m、短径約0.75m、深さ約0.16mを測る。覆土は単層で、炭化物を含む褐灰色土である。遺物は少数の土師器片が遺構検出面及び1層上部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1290 (図版42・82・186)

調査区北側13D・E区に位置し、V層上面で検出した。SI1294・SK1187・F1143と重複関係にあり、SI1294を切り、SK1187・F1143に切られる。西～南側には隣接してSD1188が存在する。平面形は長楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約2.93m、短径約1.71m、深さ約0.59mを測る。覆土は6層に分層でき、灰黄褐色土が主体である。このうち1・2層は炭化物や焼土、土師器片を多く含む層で、特に2層に多い。出土遺物は土師器壺片・壺片・器台片、磨石類などである。遺構の時期は出土遺物から新潟シンボ編年7～8期と考えられる。

SK1291 (図版42・82・186)

調査区北側12D区に位置し、V層上面で検出した。北側には隣接してSD1464が存在する。平面形は不整形楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.09m、短径約0.76m、深さ約0.15mを測る。覆土

は単層で、炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1292 (図版42・82・186)

調査区北側13E区に位置し、V層上面で検出した。SI1294・SD1017と重複関係にあり、SI1294を切り、SD1017に切られる。平面形は不整楕円形と推定され、断面形は半円状を呈する。規模は長径0.80m以上、短径約0.93m、深さ約0.19mを測る。覆土は3層に分層でき、すべて灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1293 (図版42・82・186)

調査区北側13E区に位置し、V層上面で検出した。南東側は調査のための排水溝によって壊されている。平面形は楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径約1.06m、短径0.58m以上、深さ約0.16mを測る。覆土は2層に分層でき、灰黄褐色土、褐灰色土である。遺物はごく少数の土師器片が遺構検出面から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1306 (図版42・82・186)

調査区北側14D区に位置し、V層上面で検出した。SD1031と重複関係にあり、これに切られる。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約0.79m、短径約0.67m、深さ約0.19mを測る。覆土は2層に分層でき、灰オリブ色土・黄灰色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1335 (図版43・61・186)

調査区北側15B・C区のSI1317内に位置する。本遺構はSI1317の床の掘り面からの検出のため、SI1317と同時期または本遺構が古いと考えられる。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.51m、短径約1.24m、深さ約0.31mを測る。覆土は2層に分層でき、両者とも灰オリブ色土である。遺物は出土していない。

SK1356 (図版42・43・83・187)

調査区北側14D区に位置し、V層上面で検出した。SD1134と重複関係にあり、これを切る。西～南側には隣接してSD1031が存在する。平面形は楕円形で、断面形は漏斗状を呈する。規模は長径約1.25m、短径約0.80m、深さ約0.45mを測る。覆土は5層に分層でき、炭化物を含む褐灰色土・黄褐色土が主体である。遺物は土師器甕片を中心に覆土上部から出土した。遺構の時期は出土遺物から新湊シンボ編年7～8期と考えられる。

SK1358 (図版43・83・187)

調査区北側14C区に位置し、V層上面で検出した。複数のピットと重複関係にあり、これらに切られる。南側には隣接してSD1134が存在する。平面形は楕円形で、断面形は漏斗状を呈するが西壁に段を持つ。規模は長径約2.95m、短径約2.18m、深さ約0.94mを測る。覆土は7層に分層でき、炭化物を含む灰オリブ色土が主体である。遺物は土師器甕片・鉢片などが6層からややまとまって出土した。遺構の時期は出土遺物から新湊シンボ編年7～8期と考えられる。

SK1361 (図版42・83)

調査区北側13E区に位置し、V層上面で検出した。SD1464と重複関係にあり、これに切られる。北側には隣接してSI1294が存在する。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約1.12m、短径約0.96m、深さ約0.35mを測る。覆土は4層に分層でき、すべて灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1362 (図版 42・84・187)

調査区北側 12-13D 区に位置する大型の土坑で、V層上面で検出した。遺構中央を中世井戸(SE428)によって大きく壊されている。SD1363と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は弧状と推定される。規模は長径約 4.13m、短径 2.35m 以上、深さ 0.33m 前後を測る。覆土は 6 層に分層でき、黄褐色シルトブロックを多量に含む灰黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器や磨石類が覆土中から出土した。

SK1364 (図版 43・59)

調査区北側 14E 区に位置し、SI1314と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形と推定され、断面形は弧状となる。規模は長径 1.18m 以上、短径約 1.40m、深さ約 0.18m を測る。覆土は 2 層に分層でき、褐灰色砂質土が主体である。遺物は土師器壺片・甕片・器台片などが覆土上部からややまとまって出土した。遺構の時期は出土遺物から新潟シンボ編年 7～8 期と考えられる。

SK1366 (図版 43・83・187)

調査区北側 14D 区に位置し、V層上面で検出した。SI1381・SD1134と重複関係にあり、SI1381を切り、SD1134に切られる。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径 1.70m 前後、短径約 1.25m、深さ約 0.43m を測る。覆土は 4 層に分層でき、黄褐色土が主体である。遺物は土師器壺片・甕片、土製品、磨石類・礫が 1・2 層からまとまって出土した。礫は被熱し、スガが付いている。遺構の時期は出土遺物から新潟シンボ編年 7～8 期と考えられる。

SK1367 (図版 43・83・187)

調査区北側 15D 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は不整楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.64m、短径約 1.12m、深さ約 0.31m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰黄褐色土・ぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1368 (図版 43・58・174・187・188)

調査区北側 15C 区に位置し、SI1313・SD1369と重複関係にあり、これらを切る。平面形は不整形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約 2.13m、短軸約 1.33m、深さ約 0.29m を測る。覆土は 4 層に分層でき、褐灰色土が主体である。遺物は土師器壺片などが 2 層上部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1370 (図版 42・43・84・188)

調査区北側 14D 区に位置し、V層上面で検出した。SD1031・F1133と重複関係にあり、これらに切られる。SB16 範囲内及び SD1134 溝内側に位置するが、SB16 及び SD1134 との新旧関係は不明である。平面形は楕円形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 1.23m、短径 1.40m 前後、深さ約 0.18m を測る。覆土は 2 層に分層でき、両者ともにぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1391 (図版 42・43・84・188)

調査区北側 13・14B・C 区に位置し、V層上面で検出した。SK1255、2 基のピットと重複関係にあり、これらに切られる。平面形は楕円形と推定され、断面形は半円状を呈する。規模は長径約 1.85m、短径約 1.57m、深さ約 0.37m を測る。覆土は 4 層に分層でき、灰オリブ色土が主体である。遺物は少数の土師器片が 1 層から出土した。

SK1394 (図版 41・84)

調査区中央 10D 区に位置し、V層上面で検出した。南側を農業用水路によって壊されている。平面形

は楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 1.19m、短径 0.50m 以上、深さ約 0.13m を測る。覆土は単層で、炭化物を中量含むにぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1395 (図版 42・84・188)

調査区北側 11・12D・E 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 1.23m、短径約 0.97m、深さ約 0.18m を測る。覆土は 3 層に分層でき、すべてにぶい黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が 3 層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1398 (図版 42・84・188)

調査区北側 12E 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は隅丸方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約 0.71m、短軸約 0.61m、深さ約 0.28m を測る。覆土は 3 層に分層でき、2・3 層はにぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1399 (図版 42・84・188)

調査区北側 13E 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はやや歪な弧状を呈する。規模は長径約 0.75m、短径約 0.70m、深さ約 0.13m を測る。覆土は単層で、炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1400 (図版 43・84・188)

調査区北側 14C 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 0.92m、短径約 0.88m、深さ約 0.20m を測る。覆土は 2 層に分層でき、両者とも炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は土師器片が 1 層上部からややまとまって出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1406 (図版 42・85)

調査区北側 12E 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約 1.31m、短径約 0.91m、深さ約 0.33m を測る。覆土は 2 層に分層でき、両者とも炭化物を含むにぶい黄褐色土で、特に 1 層は中量含む。遺物はごく少数の土師器片が 1 層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1408 (図版 41・85・188)

調査区中央 10D 区に位置し、V 層上面で検出した。南西側には隣接して SK1012 が存在する。平面形は隅丸方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約 1.47m、短軸約 1.40m、深さ約 0.13m を測る。覆土は単層で、炭化物を中量含む暗灰黄色土である。遺物は土師器甕片・器片などが遺構検出面及び 1 層上部からややまとまって出土した。遺構の時期は出土遺物から新濤シンボ編年 7～8 期と考えられる。

SK1409 (図版 41・85・189)

調査区中央 11D 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 0.88m、短径約 0.86m、深さ約 0.27m を測る。覆土は 3 層に分層でき、灰黄褐色土・にぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1412 (図版 42・85・189)

調査区北側 12・13E 区に位置し、V 層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形はやや歪な台形状を呈する。規模は長径約 1.23m、短径約 1.02m、深さ約 0.21m を測る。覆土は単層で、炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は少数の土師器片が 1 層上部から出土した。

SK1413 (図版 41・85)

調査区中央西寄り 10B 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 0.90m、短径約 0.83m、深さ約 0.21m を測る。覆土は 2 層に分層でき、両者とも焼土や炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1414 (図版 43・57・189)

調査区北側 15-16C 区に位置し、SI1310-1312、SD1017、SX1273 と重複関係にあり、SI1310-1312 を切り、SD1017・SX1273 に切られる。平面形は長楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約 4.31m、短径約 1.57m、深さ約 0.15m を測る。覆土は単層で、焼土や炭化物を含む黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1415 (図版 42・68)

調査区北側 13D 区に位置し、SI1430、SD1134 と重複関係にあり、SI1430 を切り、SD1134 に切られる。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約 0.75m、短径約 0.70m、深さ約 0.23m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む褐灰色土である。遺物は土師器甕片・壺片などが覆土中からややまとまって出土した。

SK1418 (図版 43・85・189)

調査区北側 15B 区に位置し、V層上面で検出した。F1139 と重複関係にあり、これに切られる。平面形は不整形で、断面形は不整形を呈する。規模は長軸約 2.58m、短軸約 2.08m、深さ約 0.24m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む黄褐色土である。遺物は少数の土師器片が遺構検出面及び 1 層上部を中心に出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1419 (図版 43・61・189)

調査区北側 15B 区に位置し、V層上面で検出した。SI1317、SK1420 とは位置関係から重複するものと推測されるが、土層観察用のトレンチにより切り合い関係は不明である。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸 2.85m 以上、短軸約 2.79m、深さ約 0.21m を測る。覆土は単層で、黄褐色土である。遺物は土師器甕片などが遺構検出面及び 1 層上部を中心に出土した。

SK1420 (図版 43・61・189)

調査区北側 15B 区に位置し、V層上面で検出した。SK1432 と重複関係にあり、これを切る。SK1419 とは位置関係から重複するものと推測されるが、土層観察用のトレンチにより切り合い関係は不明である。平面形は楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 2.05m、短径 0.95m 以上、深さ約 0.23m を測る。覆土は 5 層に分層でき、このうち 2・4 層は炭化物を含む褐灰色土・黄褐色土である。遺物は土師器甕片・壺片などが 4 層を中心に出土した。

SK1421 (図版 43・85・189)

調査区北側 14B 区に位置し、V層上面で検出した。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は径 1.32m 前後、深さ約 0.11m を測る。覆土は単層で、炭化物を含む黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が遺構検出面及び 1 層上部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1423 (図版 42・85・189)

調査区北側 13E 区に位置し、V層上面で検出した。北東側には隣接して SD1188 が存在する。平面形は円形で、断面形は台形状を呈する。規模は径約 1.08m、深さ約 0.17m を測る。覆土は単層で、炭化物を中量含む黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が遺構検出面から出土したが、細片のため図示

できるものはない。

SK1424 (図版43・85)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。土層観察用のトレンチによって東側が壊されている。平面形は隅丸方形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約1.29m、短軸0.62m以上、深さ約0.18mを測る。覆土は2層に分層でき、黄褐色土が主体である。遺物は少数の土師器片が遺構検出面及び1層から出土した。

SK1425 (図版43・85・189)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。土層観察用のトレンチによって東側が壊されている。平面形は楕円形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長径約1.90m、短径1.11m以上、深さ約0.16mを測る。覆土は2層に分層でき、黄褐色土が主体である。遺物は土師器甕片・器台片、磨石類が遺構検出面及び1層からややまとまって出土した。

SK1426 (図版42・43・86・190)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。土層観察用のトレンチを挟んだ西側のSK1427とは覆土や遺構深度が類似することから同一遺構の可能性がある。平面形は不整楕円形と推定され、断面形は弧状を呈する。規模は長径1.85m前後、短径0.72m以上、深さ約0.17mを測る。覆土は2層に分層でき、黄灰色土・黄褐色土である。遺物は土師器甕片を中心に遺構検出面及び1層からややまとまって出土した。

SK1427 (図版42・43・86・190)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。土層観察用のトレンチを挟んだ東側のSK1426とは覆土や遺構深度が類似することから同一遺構の可能性がある。平面形は不整楕円形と推定され、断面形は浅い台形状を呈する。規模は長径2.61m以上、短径1.25m以上、深さ約0.17mを測る。覆土は2層に分層でき、黄灰色土・黄褐色土である。遺物は土師器片が遺構検出面及び1層から出土した。

SK1432 (図版43・86・190)

調査区北側15B区に位置し、V層上面で検出した。SK1420と重複関係にあり、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約0.72m、短径約0.52m、深さ約0.15mを測る。覆土は単層で、炭化物を含む灰黄色土である。遺物は出土していない。

SK1433 (図版43・86・190)

調査区北側14C区に位置し、V層上面で検出した。土層観察用のトレンチによって東側が壊されている。平面形は不整形と推定され、断面形は台形状を呈する。規模は長軸1.60m前後、短軸1.13m以上、深さ約0.23mを測る。覆土は3層に分層でき、にぶい黄褐色土が主体である。遺物は土師器甕片・壺片・器台片などが遺構検出面及び1層上部からややまとまって出土した。

SK1436 (図版42・86・190)

調査区北側12E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は半円状を呈する。規模は長径約1.00m、短径約0.87m、深さ約0.22mを測る。覆土は単層で、焼土や炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SK1437 (図版42・86・190)

調査区北側13D区に位置し、V層上面で検出した。平面形は隅丸方形で、断面形は箱状を呈する。規模は長軸約1.26m、短軸約0.99m、深さ約0.27mを測る。覆土は2層に分層でき、両者ともににぶい黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1438 (図版41・86)

調査区中央10C区に位置し、V層上面で検出した。平面形は隅丸長方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸1.56m前後、短軸約0.83m、深さ0.35m前後を測る。覆土は2層に分層でき、両者とも炭化物を含む灰色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、図示できるものはない。

SK1439 (図版44・86・190)

調査区北側17D区の前遺構時代の分布北端付近に位置し、V層上面で検出した。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.97m、短径約0.84m、深さ約0.14mを測る。覆土は2層に分層でき、両者とも暗灰黄色土である。遺物はごく少数の土師器片が1層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1443 (図版41・86・190)

調査区北側10B区に位置し、V層上面で検出した。SD1208と重複関係にあり、これに切られる。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は長径約0.79m、短径約0.74m、深さ約0.49mを測る。覆土は2層に分層でき、灰オリブ色土・灰色土である。遺物はごく少数の土師器片が1層及び2層下部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1444 (図版42・87・191)

調査区北側12C区に位置し、V層上面で検出した。SK1264と重複関係にあり、これに切られる。平面形は楕円形と推定され、断面形は浅い台形状を呈する。規模は長径1.85m以上、短径約1.70m、深さ約0.15mを測る。覆土は2層に分層でき、両者ともにぶい黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1447 (図版43・87・191)

調査区北側14D区に位置し、SI1381と重複関係にあり、これに切られる。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約2.10m、短径約2.00m、深さ約0.33mを測る。覆土は6層に分層でき、灰黄褐色土、ぶい黄褐色土である。このうち2層は炭化物を中量含む。遺物は少数の土師器片及び礫が2層を中心に出土したが、土師器は細片のため図示できるものはない。

SK1450 (図版43・86)

調査区北側14B区に位置し、V層上面で検出した。ピットと重複関係にあり、これに切られる。平面形は不整楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.98m、短径約0.82m、深さ約0.43mを測る。覆土は単層で、炭化物を含む黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SK1452 (図版43・86)

試掘調査で検出した遺構で、調査区北側15E区に位置し、東側を調査のための排水溝によって壊されている。平面形は楕円形と推定され、断面形は箱状を呈する。規模は長径約0.93m、短径0.42m以上、深さ約0.28mを測る。覆土は単層で、炭化物を含む黄褐色土である。遺物は出土しなかった。

H その他の遺構**F1121** (図版43・87)

調査区北側15C区に位置し、IV層上面で検出した。SI1313と重複関係にあり、これを切る。周辺にはSI1311・1312・1381、SK1368、SD1369や複数のピットが存在し、ピットの覆土はⅢ層で、本遺構と同

3 古墳時代前期の遺構

じく SI1313 を切ることから本遺構と同時期の可能性がある。そのほかの遺構は V 層上面での検出で本遺構より古いと考えられる。平面形は不整形で、断面形は浅い皿状を呈する。規模は長軸約 1.46m、短軸約 1.05m、深さ約 0.12m を測る。覆土は 3 層に分層でき、特に 1 層には焼土が多量に含まれ、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物はごく少数の土師器片が 1 層から出土したが、細片のため図示できるものはない。

F1122 (図版 43・87・191)

調査区北側 14C 区に位置し、IV 層上面で検出した。SK1461 と重複関係にあり、これを切る。周辺には多くの土坑が分布するが、それらの遺構は V 層上面での検出で本遺構より古いと考えられる。平面形は長楕円形で、断面形は皿状を呈する。規模は長径約 1.10m、短径約 0.59m、深さ約 0.07m を測る。覆土は 3 層に分層でき、特に 1 層は焼土層でこの辺りが最終的な火床と考えられる。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

F1123 (図版 42・43・87)

調査区北側 14C 区に位置し、IV 層上面で検出した。SD1134 と重複関係にあり、これを切る。平面形は長楕円形で、断面形は皿状を呈する。規模は長径約 0.99m、短径約 0.63m、深さ約 0.06m を測る。覆土は 2 層に分層でき、2 層は焼土が多く、ほかの焼土遺構 (F) と異なり、地山直上を火床とした可能性が高い。遺物は出土していない。

F1124 (図版 42・87)

調査区北側 13C 区の SD1134 溝内側に位置する。検出面は IV 層上面で、SD1134 よりも新しい。周辺には F1123 などの焼土遺構が分布する。平面形は不整形で、断面形は皿状を呈する。規模は長軸約 0.97m、短軸約 0.57m、深さ約 0.06m を測る。覆土は 3 層に分層でき、1 層に焼土が混じるが微量で、火床を推定することはできない。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

F1133 (図版 42・43・87)

調査区北側 13・14D 区の SD1134 溝内側及び SB16 範囲内に位置する。検出面は IV 層上面で SD1134・SB16 よりも新しい。また SK1370 と重複関係にあり、これを切る。平面形は不整形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約 1.00m、短軸約 0.52m、深さ約 0.13m を測る。覆土は 3 層に分層でき、特に 1 層には焼土が多量に含まれることから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1137 (図版 43・87)

調査区北側 15C 区の SI1317 内に位置する。検出面は IV 層上面で SI1317 よりも新しい。周辺には F1138・1139・1460 や複数のピットが存在し、検出面や覆土から本遺構と同時期と考えられる。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約 1.00m、短径約 0.77m、深さ約 0.11m を測る。覆土は 4 層に分層でき、特に 1 層には焼土が多いことから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は覆土中から礫が出土したのみである。

F1138 (図版 43・88)

調査区北側 15C 区の SI1317 内に位置する。検出面は IV 層上面で SI1317 よりも新しい。周辺には F1137・1139・1460 や複数のピットが存在し、検出面や覆土から本遺構と同時期と考えられる。平面形は楕円形で、断面形はおおむね弧状を呈し、西壁に段を持つ。規模は長径約 0.85m、短径約 0.59m、深さ約 0.13m を測る。覆土は 4 層に分層でき、特に 2 層は焼土層であることから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1139 (図版43・88)

調査区北側15C区に位置し、IV層上面で検出した。SK1418と重複関係にあり、これを切る。周辺にはF1137・1138が存在し、検出面から本遺構と同時期と考えられる。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約0.79m、短径約0.53m、深さ約0.11mを測る。覆土は4層に分層でき、2層は焼土層であることから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1143 (図版42・88)

調査区北側13E区に位置し、IV層上面で検出した。SH294・SK1290と重複関係にあり、これらを切る。平面形は楕円形で、断面形は台形状を呈する。規模は長径約0.51m、短径約0.41m、深さ約0.12mを測る。覆土は3層に分層でき、3層は多量の炭化物と少量の焼土を含む。ほかの焼土遺構(F)と異なり、炭化物が主体の覆土で火床面の位置は推定できなかった。遺物は出土していない。

F1144 (図版42・88)

調査区北側13D区に位置し、IV層上面で検出した。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸約0.56m、短軸約0.48m、深さ約0.11mを測る。覆土は3層に分層でき、1層はⅢ層に類似する。2層は焼土層でこの辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1217 (図版43・88・191)

調査区北側14C区に位置し、IV層上面で検出した。SD1369と重複関係にあり、これを切る。近接してF1218が存在する。平面形は楕円形で、断面形は皿状を呈する。規模は長径約0.96m、短径約0.72m、深さ約0.12mを測る。覆土は4層に分層でき、2層は焼土を中量含むことから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1218 (図版43・88・191)

調査区北側14C区に位置し、IV層上面で検出した。近接してF1217が存在する。平面形は楕円形で、断面形は皿状を呈する。規模は長径約0.65m、短径約0.47m、深さ約0.06mを測る。覆土は2層に分層でき、ほぼ地山直上が火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1219 (図版42・43・88・191)

調査区北側14C区に位置し、IV層上面で検出した。SD1134と重複関係にあり、これを切る。周辺にはF1123が存在する。平面形は楕円で、断面形は2つの弧状となる。形状から2基の焼土遺構(F)が重複する可能性も考えられるが、平面や断面からは重複関係を確認できなかった。規模は長軸約1.21m、短軸約0.80m、深さ約0.15mを測る。覆土は4層に分層でき、1層が焼土層であることから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は台石(657)が北側の覆土上部から出土した。

F1237 (図版43・88)

調査区北側15C区に位置し、IV層上面で検出した。西側にはF1138・1137が存在する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約0.43m、短径約0.35m、深さ約0.11mを測る。覆土は3層に分層でき、2層には焼土・炭化物が中量含まれる。遺物は出土していない。

F1316 (図版43・88・191)

調査区北側15D区に位置し、IV層上面で検出した。調査のための排水溝によって北西側を壊されている。平面形は不整形で、断面形は不整形を呈する。規模は長軸1.05m以上、短軸約0.74m、深さ約0.20mを測る。覆土は3層に分層でき、2層が焼土層であることから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

F1383 (図版42・88・191)

調査区北側13C区に位置し、IV層上面で検出した。SD1134と重複関係にあり、これを切る。北東には近接してF1124が存在する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約0.59m、短径約0.44m、深さ約0.12mを測る。覆土は2層に分層でき、1層には焼土が多いことから、この辺りが最終的な火床と考えられる。遺物は出土していない。

F1460 (図版43・88)

調査区北側15B区に位置し、IV層上面で検出した。検出面はIV層上面でS11317よりも新しい。周辺にはF1137・1138・1139が存在する。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径約0.52m、短径約0.41m、深さ約0.07mを測る。覆土は単層で、焼土を多量含むことから、地山直上が火床と考えられる。遺物は出土していない。

SX1068 (図版43・44・88・192)

調査区北側16E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は長楕円形で溝状を呈し、やや弧を描く。断面形はU字状を呈する。規模は長径約1.79m、短径約0.65m、深さ約0.31mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む暗灰黄色土が主体である。遺物は土師器壺片などが遺構検出面及び1層上部から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SX1074 (図版40・89・192)

調査区南側8・9D区に位置し、V層上面で検出した。SK1052と重複関係にあり、これに切られる。平面形から竪穴建物の可能性も考えたが、柱穴・壁溝などの施設を検出できず、規模も小型であることから性格不明遺構とした。平面形は不整形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約3.44m、短軸約3.02m、深さ約0.11mを測る。覆土は4層に分層でき、灰黄褐色土・黄褐色土である。遺物は出土していない。

SX1076 (図版44・89・192)

調査区北側17D区に位置し、V層上面で検出した。S11385、SX1077と重複関係にあり、これらを切る。平面形は楕円形で、断面形は浅い弧状を呈し、底面には凹凸がある。規模は長径約3.54m、短径約3.12m、深さ0.12m前後を測る。覆土は単層で、炭化物を含む褐色土である。遺物はごく少数の土師器片のみで、図示できるものはない。

SX1077 (図版44・89・192)

調査区北側16E区に位置し、V層上面で検出した。S11385、SX1076と重複関係にあり、S11385を切り、SX1076に切られる。平面形は長楕円形で溝状を呈し、断面形は弧状である。規模は長径約4.38m、短径約1.58m、深さ0.12m前後を測る。覆土は単層で、炭化物を含むいぶい黄褐色土である。遺物は出土していない。

SX1093 (図版40・90・192)

調査区南側7C区に位置し、V層上面で検出した。平面形から竪穴建物の可能性も考えたが、柱穴・壁溝などの施設を検出できず、規模も小型であることから性格不明遺構とした。平面形は隅丸長方形で、断面形は台形状を呈する。規模は長軸約3.80m、短軸約2.68m、深さ約0.13mを測る。覆土は5層に分層でき、褐灰色土、灰黄褐色土である。遺物はごく少数の土師器片が覆土中から出土したが、細片のため図示できるものはない。

SX1112 (図版43・89・192)

調査区北側15D・E区に位置し、V層上面で検出した。平面形は長楕円形で溝状を呈し、断面形は弧状

である。規模は長径4.95m以上、短径約2.37m、深さ約0.15mを測る。覆土は2層に分層でき、炭化物を含む暗灰黄色土が主体である。遺物は出土しなかった。

SX1136 (図版41・90)

調査区南側9C区に位置し、V層上面で検出した。SD1034、SK1126、複数のピットと重複関係にあり、これらに切られる。平面形は不整形で、断面形は弧状を呈する。規模は長軸4.08m前後、短軸約3.34m、深さ0.10m前後を測る。覆土は単層で、焼土・炭化物を含む灰黄褐色土である。遺物は土師器片や礫が覆土中からややまとまって出土した。

SX1457 (図版43・90・192)

調査区北側15E区に位置し、V層上面で検出した。遺構の大部分は調査区外にある。平面形は楕円形と推定され、断面形は箱状を呈する。規模は長径1.90m以上、短径0.45m以上、深さ約0.23mを測る。壁が急角度で立ち上がり、底面も非常に平坦なことから竪穴遺構の可能性もある。覆土は単層で、炭化物を含むにぶい黄褐色土である。遺物は出土しなかった。

P1058 (図版44・65・192)

調査区北側16・17D区のSI1385内に位置し、これを切る。平面形は楕円形で、断面形は弧状を呈する。規模は長径0.41m、短径約0.33m、深さ約0.08mを測る。覆土は単層で、灰黄褐色土である。遺物は土師器壺口縁部(458)と甕体～底部(459)が遺構検出面及び1層から出土した。大部分の遺物は遺構検出面より上位の出土であることから、遺構上部が削平されたものと推測される。

P1289 (図版43・58・193)

調査区北側15C区に位置し、IV層上面で検出した。SI1313内に位置するが、検出面からSI1313よりも新しい。平面形は楕円形で、断面形はU字状を呈する。規模は径約0.25m、深さ約0.27mを測る。覆土は2層に分層でき、1層はIII層に類似した土層である。遺物は磨石類(658)が1層から出土したのみである。遺構の時期は遺構検出面や覆土から古墳時代前期でも後出と考えられる。

P1459 (図版43・61・193)

調査区北側15B区のSI1317内に位置する。本遺構はSI1317の床の掘形面からの検出のため、SI1317と同時期または本遺構が古いと考えられる。平面形は楕円形で、断面形は台形状である。規模は長径約0.44m、短径0.34m以上、深さ約0.34mを測る。覆土は単層で、にぶい黄褐色土である。遺物は磨石類(659)が覆土中部から出土したのみである。

SR1 (図版44・90・193)

調査区北端16B・17B・C区に位置する自然流路で、SI1307・1404と重複関係にあり、両者を切る。調査部分はわずかで、北岸は調査区外となる。調査区内の全長は約15mで、深さは約1.84mである。岸の立ち上がりは非常に急角度で、西側(16B区)では段が付く。埋土は18層に分層でき、砂質土・シルトが主体で礫はほとんど含まない。遺物はSI1307・1404付近で上から流れ込むように土師器壺片・甕片・器台片などが埋土下部から出土した。本流路の時期は、出土遺物や遺構との切りあい関係から新潟シンボ編年8期以降と考えられる。また古墳時代以降の遺物を全く含まないことから、古墳時代前期以降それほど時間を置かず埋没したものと考えられる。

第V章 遺物

1 中世の遺物

A 概要

中世遺物の大半は遺構が分布する9～12グリッドのⅡ層(水田耕作土)から出土している。同層からはほかに古代と近世の遺物も数点出土した。中世の遺物数は遺構の数と比べると少なく、平箱(54×34×14cm)にして55箱である。その内訳は土器・陶磁器2箱、石器・石製品2箱、木製品51箱で、ほかに20数点の金属製品がある。このうち木製品はすべて井戸からの出土である。

B 記述の方法

遺物の記述は、種別ごとに大別して記載することとした。編年区分などについて、白磁は[森田1982]、青磁は[上田1982]、瀬戸美濃焼は[藤澤2008]、珠洲焼は[吉岡1994]を参考とし、胎内市下町坊城遺跡・江上館の成果[水澤2001]も援用した。

C 中世遺物各説

1) 陶磁器・土器類

掘立柱建物(図版91・93・195・196)

1は珠洲焼壺または甕の体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。また断面に漆継ぎの漆が付着している。SB11P538出土。2・3はSB12P553出土である。2は白磁の口縁皿の口縁～体部片で、Ⅱ層出土のものと接合する。時期は13世紀後半～14世紀代と推測される。3は珠洲焼壺または甕の体部片で、外面のタタキから頸部近くと推測される。42は壺または甕の体部下半部の大型破片で、外面に斜め方向のタタキが施される。また断面に漆継ぎの漆が付着している。SB12P445出土。

井戸(図版91・92・195)

4～6はSE186出土である。4は白磁碗C類の口縁～体部片で、Ⅱ層出土のものと接合する。外反する口縁を持ち、いわゆる「ピロースクタイプ」と呼ばれるものである。時期は14世紀代と推測される。5・6は珠洲焼である。5は小壺R種B類で、Ⅱ層出土及び試掘59TⅠ層出土のものと接合する。口縁部はやや外反し、頸部中に微隆起が見られる。断面に漆継ぎの漆が付着している。時期は珠洲Ⅳ期と推測される。6は片口鉢体～底部片で、SD314出土のものと接合する。卸目は一単位10本である。時期は、卸目などから珠洲Ⅳ期前後と推測される。7は珠洲焼片口鉢体～底部片で、試掘48T遺構覆土出土である。内面は剥落が進んでおり、わずかに卸目が確認できる。試掘トレンチの位置からSE216に伴う可能性がある。8～10はSE217出土である。8は瀬戸美濃焼卸皿底部片で、底部に回転糸切り痕が確認できる。時期は、古瀬戸後期様式と推測される。9・10は珠洲焼である。9は甕体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。10は片口鉢体～底部片で、隣接するSE344出土のものと接合する。時期は、卸目などから珠洲Ⅳ期前後と推測される。11・12はSE310出土である。11は珠洲焼壺または甕の肩部で、外面に横位のタタキが施される。12は珠洲焼片口鉢の体部片である。13・14はSE344出土の珠洲焼である。13は

壺T種の口縁～肩部の破片で、Ⅱ層出土のものと接合する。外面には、横方向のタタキが施される。14は片口鉢口縁部片で、時期は珠洲Ⅳ期と推測される。15・16はSE428出土の珠洲焼片口鉢口縁部片で、うち16は1層から出土した。時期は口縁部形状から15が珠洲Ⅲ期、16が珠洲Ⅴ期と推測される。17・18はSE439出土の珠洲焼である。17は壺または甕の体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。18は片口鉢口縁部片で、片口部付近に相当する。19はSE784出土の青磁碗体～底部片で、外面に籩蓮弁文、見込みに草花文と考えられるスタンプが施される。青磁碗B類で、時期は13世紀中～後葉と推測される。水溜の掘形出土。

土坑 (図版92・93・195)

20・21はSK17出土の珠洲焼である。20は壺または甕の体部片で、断面に漆継ぎの漆が付着している。21は片口鉢口縁～体部片で内面は使用により摩滅している。Ⅱ層出土のものと接合し、またSE344出土の14と同一個体の可能性がある。時期は珠洲Ⅳ期と推測される。22～24はSK19出土である。22は珠洲焼片口鉢体部片で、卸目は一単位10本となる。23・24は須恵器甕である。23は肩部片で、外面に格子目文、内面に同心円文が確認できる。24は体部片で、外面に平行タタキ、内面に同心円文が確認できる。25はSK101出土の磁器碗体部片で、内面に型押し文を施す。類似から青花と考えられ、時期は17世紀初頭と推測される。3層出土。26～28はSK139出土である。26は青磁碗底部片で、外面に籩蓮弁文を施す。いわゆる「粘青磁」で、時期は14世紀前葉と推測される。1層出土。27は瀬戸美濃焼天目茶碗で、SD108及びⅡ層出土の破片と接合する。軸は二度掛けされ、見込みに厚くたまる。高台は、回転糸切り後に削りを施す。時期は古瀬戸後期様式Ⅱ期と推測される。28は珠洲焼片口鉢で、内面及び底部外面は摩滅している。重複するSE310及びⅡ層出土のものと接合する。時期は珠洲Ⅳ期と推測される。5層(炭化物層)上面出土。41はSK225出土の珠洲焼壺体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。29はSK317出土の珠洲焼壺または甕体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。30・31はSK321出土である。30は青磁碗の口縁部片で、外面に籩蓮弁文を施す。青磁碗B類で、時期は13世紀後半～14世紀前半と推測される。31は珠洲焼片口鉢の体～底部片で、時期は卸目などから珠洲Ⅳ期前後と推測される。32・33はSK815出土の珠洲焼片口鉢である。32は2点の本遺構出土と4点のⅡ層出土が接合したもので、口縁～底部までの破片である。卸目は一単位12本で、時期は珠洲Ⅲ期と推測される。33は口縁部片で、焼成はやや不良である。時期は、珠洲Ⅳ期と推測される。34はSK899出土の珠洲焼壺体部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。

溝・性格不明遺構 (図版93・195)

35はSD12出土の珠洲焼片口鉢口縁部片で、時期は珠洲Ⅳ期と推測される。36はSD210出土の珠洲焼壺底部片で、外面に横・斜め方向のタタキが施される。焼成は不良で色調は浅黄色、底部外面には砂が付着する。37・38はSX315出土である。37は白磁の口赤皿の口縁～体部片で、時期は13世紀後半～14世紀代と推測される。38は珠洲焼片口鉢口縁～体部片で、時期は珠洲Ⅳ期と推測される。

ピット (図版93・195・196)

39は白磁碗口縁部片で、いわゆる「玉縁碗」である。胎土は灰白色、釉調はやや灰色みがかかる。時期は12世紀代と推測される。P885出土。40は珠洲焼壺または甕の体部片で、外面に横方向のタタキが施される。また断面に漆継ぎの漆が付着している。P251出土。43は珠洲焼片口鉢体～底部片で、内面は使用により摩滅が進み、わずかに卸目が確認できるのみである。胎土などから、SE216出土の7と同一個体の可能性がある。P561出土。

遺構外 (図版93・94・196)

44は白磁体部片で、器種は皿と考えられる。胎土は磁器質で、軸はやや黄色みがかかる。時期は15世紀代と推測される。45～50は青磁である。45～47は青磁碗B-II類で、45・46が口縁～体部片、47が体部片である。外面に鑄造弁文を施し、軸調は45・47が緑灰色、46が灰オリーブ色を呈する。時期は、13世紀中～後葉と推測される。50は碗底部片で、見込みにスタンプ文が施される。時期は13世紀中～後葉と推測される。48は碗体部片、49は碗底部片で、軸調などから15世紀前半と推測される。51～55は瀬戸美濃焼である。51は天目茶碗で、軸は二度掛けされる。器壁は厚く、削り高台である。時期は古瀬戸後期様式II期と推測される。52は卸皿底部片で内面全面に軸が掛り、底部外面には回転糸切り痕が見られる。時期は古瀬戸中期様式と推測される。54は体部片、53は底部片であり、53は見込みに胎土目痕が1か所確認できる。器種は両者とも皿と考えられ、時期は古瀬戸後期様式と推測される。55は梅瓶口縁部片で、時期は古瀬戸後期様式と推測される。56～64は珠洲焼である。56は壺T種で、口縁は外反し、肩部には横方向のタタキが施される。時期は珠洲IV期前後と推測される。57は壺体～底部片で、外面に斜め方向のタタキが施される。また断面に漆継ぎの漆が付着している。58～64は片口鉢で、時期は58～61が珠洲IV期、62が珠洲V期と推測される。61は断面が摩滅しており、砥石に転用したと考えられる。62は断面に漆継ぎの漆が付着している。63・64は体～底部片である。64は色調が赤褐色を呈し、通常の珠洲焼とやや異なった様相を示す。65は越前焼鉢で、本遺跡唯一の出土となる。内面は使用により摩滅し、また外面は朱色を呈する。66はロクロ成形の土師質土器皿で、底部はヘラ切りである。類例から14世紀代と推測される。67は須恵器壺体部片で、外面に格子目文が施される。

2) 木製品

SE49 (図版94・196)

68は曲物側板で、下部に2か所釘孔が確認できる。69は曲物底板で、内面は黒漆塗りである。また側面には木釘及び釘孔が確認できる。68・69は出土状況から同一の曲物と推測でき、側板と底板の結合方法は木釘であったと考えられる。出土層位から水溜であった可能性が高い。

SE102 (図版94・196)

70は底面付近から出土した木筒状製品で、下部の一部を欠損する。上部は、横方向に切断された形状となる。現状では正・裏面とも墨痕は確認できない。

SE217 (図版94・196)

71は水溜の曲物で内面は漆塗りとなり、底板を持つ。底板は打ち込み底で、内面には工具痕及び刃物痕が確認できる。

SE310 (図版94・95・196・197)

72は剥り物の鉢である。外面は比較的滑らかに仕上げているが、内面は底面を中心に工具痕が多数残る。井戸下層から、横倒しで土圧によって潰れた状態で出土した。73は円形板で、正面に刃物痕が確認できる。水溜内出土。78～84は、井戸側構成材で、74～77は井戸側を水平に組み上げるため、井戸側面に指し込まれた材である。74は長方形の板である。75～77は一端を楔状に加工している。そのうち77は、上部が炭化している。78～84は井戸側構成材で、残存状態の悪い78を除いて工具痕が確認でき、また端部に枘が付く。枘はほかの横板組の井戸と異なり、左右で上下異なった配置となる。80・82～84の枘部分には側板同士の接縁に伴う圧痕が確認できる。78の下部は1か所決られている。また82は、木目など

からSE344の97と同一材の近接部分と推定される。85・86は水溜に使用した曲物で、86が上段、85が下段である。85は上部にまわしが回り、側板内面には縦方向のケビキがある。86は下部にまわしが回り、本体とまわしの結合は木釘によって行われる。

SE344 (図版96・197・198)

87～89は漆塗りの円形板で、87は正面に刃物痕が確認できる。90～92は著状製品で、90・92が上端、91が両端を欠損する。横断面形は、四角または六角形となる。水溜内出土。93～99は井戸側構成材で、残存状態の悪い94を除き、正面に工具痕が確認できる。柄は左右で同位置に付き、柄部分には95を除き、側板同士の接続に伴う圧痕が確認できる。

SE428 (図版97・98・198・199)

100は漆器椀で、高台部分を欠損する。黒漆塗りで、内・外面に朱漆でスタンプ施文と考えられる菊花文が施される。時期は、施文方法から14世紀代と推測される。101は小型の曲物である。底板は打ち込み底で、正面には工具痕が確認できる。井戸下層出土。102は円形板で、中央に2条の横位の刃物痕、左下部付近に弧状の刃物痕が確認できる。103～112は著状製品で、103のみ完形である。横断面形は丸、四角形、六角形となる。井戸下層から水溜内にかけて出土。113～116は端部が炭化しており、付け木の可能性がある。117～122は井戸側構成材で、117・118を除き両側に柄が付く。柄部分には、側板同士の接続に伴う圧痕が確認できる。また118を除いて工具痕が確認でき、そのうち120・122は正・裏面に明瞭に残る。123は杓で、下部に穿孔がある。124・125は水溜に使用した曲物で、124が上段、125が下段である。124は本体の上・下部にまわしが回るもので、図上で復元した。本体と下部のまわしには釘孔があり、本来は底板を木釘で結合したものと推測される。125は上部にまわしが回り、内面に縦方向のケビキがある。

SE439 (図版98・199)

126・127は著状製品で、126は完形、127は上端を欠損する。横断面形は、両者とも四角形となる。128は上端が炭化しており、付け木の可能性がある。129は水溜に使用した曲物であるが、残存状態は悪い。下部に釘孔が確認でき、底板を持つ曲物の底を外して、水溜に転用した可能性がある。

SE563 (図版98・199)

130は漆器皿で、内・外面黒漆塗りとなる。内面見込み部分に朱漆による文様が描かれる。131～133は漆器片で、器形は椀と推定される。黒漆塗りで、131は内・外面、132・133は外面に朱漆で文様が描かれるが、細片であるため詳細は不明である。出土はすべて最下層である。

SE589 (図版99・100・199～201)

134・135は黒漆塗りの壺で、中央つまみを付けるための穿孔があり、表面に木釘・釘孔が確認できる。135は正面に加工に伴う工具痕が確認できる。136～138は楕円形板で、136は外縁に側板を接合する釘孔が見られ、継ぎ面には木釘が確認できる。また片面に刃物痕が付く。137は周縁に2個1組の穿孔があり、一部の孔には樹皮が残っている。また中央上端には、割れ口の左右に孔が穿たれ、補修孔と考えられる。正・裏面に刃物痕が付く。136・137は釘孔などの存在から、底板と推定される。138は、現状では釘孔や刃物痕は確認できない。139は著状製品である。ほぼ完形で、横断面形は四角形となる。141～143は隣切りとなり、縁を留める釘孔が確認できることから折敷と考えられる。これらは、正面または正・裏面に工具痕と刃物痕が確認できる。143はほぼ完形であり、やや横幅が短い長方形となる。140は両側を欠損しており、隣切りは確認できないが、形状などから折敷と推定した。140～142は現存する一辺(縦

軸)が約8寸であり、同一規格で作られたものと推測される。また143も縦横とも8寸前後となることから、同様の規格であったと考えられる。144～146は井戸下層から出土した板材で、井戸側構成材と考えられる。現状では柄は付かず、正面または正・裏面に工具痕が確認できる。147～149は底面に打ち込まれていた杭である。147は先端部のみとなる。148・149は、分割角材を使用する。150は水溜に使用した曲物である。残存状態が悪いが、外面下部に斜め方向のケビキがある。

SE784 (図版100・201)

151は水溜に使用した曲物であるが、残存状態が悪く断片となる。外面に斜め方向の交差するケビキがある。152～154は、井戸側の押さえとして底面に打ち込まれた杭である。分割材・分割角材を使用しており、ほかの杭と比較して大型である。なお井戸側構成材は腐食が進んでおり、取り上げが不可能であった。

3) 石器・石製品

掘立柱建物 (図版101～102・201)

155は、磨石類で花崗岩の楕円礫を使用する。礫の上・下端部に、敲き磨り¹⁾の痕跡が確認できる。SB11P426出土。156はホルンフェルス製の大型砥石で、置き砥石と考えられる。正・裏面と右側面が使用され、特に正面が顕著である。また左側面は破損面であるが、一部に磨痕が確認できることから破損後も使用したと推測される。SB12P416出土。177は、流紋岩製の砥石である。正・裏面と右側面を使用しており、特に正面が顕著である。また右側面には、溝状の磨痕がある。SB7P138出土。

井戸 (図版101・201)

157・158はSE216出土の砥石である。157は正・裏面を使用し、断面形はカマボコ形である。石質は流紋岩質凝灰岩か。158は流紋岩製で、片面を使用し、また側面には整形に伴う工具痕が確認できる。159はSE310出土の流紋岩製の砥石で、正・裏面と左右の側面を使用しており、特に正・裏面が顕著である。水溜底面出土。160はSE344出土の砂岩製の台石で、II層出土のものと接合する。正面に磨痕と微細な敲打痕、裏面に敲打痕が確認でき、また正面中央には黒色物質が付着する。161はSE439出土の緑色凝灰岩製の砥石で、扁平な礫の片面を使用する。裏面は節理によって割れている。5層出土。162はSE589出土の磨石類で、砂岩製の円礫を使用する。円礫の上・下端部に敲き磨り痕跡、正・裏面、左・右側面に敲打痕が確認できる。そのうち上・下端部と正面の使用が顕著で、正面は浅くくぼむ。中世の井戸出土であるが、大きさや形状から古墳時代の石器の可能性が高い。

土坑 (図版101・102・201)

163はSK17出土の流紋岩製の砥石で、正面と左側面を使用する。裏面と右側面は大きく欠損し、同一個体と考えられる複数の破片が土坑内から出土した。164はSK19出土の頁岩製の砥石で、色調は浅黄色である。正・裏面を使用し、また側面には加工時の擦痕(切り出しに伴う鋸痕か)が確認できる。石質から京都府鳴滝産の可能性が高い。165はSK100出土の軽石製品で、形状は楕円形である。正面に磨痕が見られる。166はSK101出土の流紋岩製の砥石で、裏面と下端を欠損する。正面と左・右側面に砥面が残る、一部溝状の磨痕が確認できる。167はSK193出土の流紋岩製の砥石で、正面に砥面が残る。欠損が著しく、本来の形状は不明である。168はSK815出土の磨石類で、上半を欠損する。下端部に敲打痕が確認できる。169はSK899出土の流紋岩製の砥石で、正面を使用する。下半を欠損するが、側面に加工痕が確認できる。

1) 敲き磨りとは、同一使用面に敲打痕及び磨痕が確認できるものを言う。

溝 (図版 102・201)

170はSD14出土のホルンフェルス製の大型砥石で、置き砥石と考えられる。正・裏面と左側面を使用するが、明確な磨痕が残るのは正面のみで、ほかは擦痕が確認できる程度である。171・172はSD16出土である。171はホルンフェルス製の砥石で、下半を欠損する。正・裏面を使用し、表面には溝状の磨痕も付く。172は安山岩製の磨石類で、棒状の礫を使用する。礫の上・下端部に、敲き磨り痕跡が確認できる。173はSD210出土のホルンフェルス製の砥石で、片面のみ使用する。断面形は菱形を呈し、その稜部分に砥面がある。174～176はSD302出土である。174・175は砥石で、174が流紋岩製、175がホルンフェルス製である。174は正面と左・右側面を、175は正・裏面を使用する。176は磨石類で凝灰岩製の棒状礫を使用する。礫の下端部に、敲き磨り痕跡が確認できる。また上部を欠損するが、欠損面の一部に磨痕が確認できることから、欠損後も使用されたものであろう。

ピット (図版 103・201)

178はP204出土のホルンフェルス製の砥石で、片面を使用する。179はP543出土の磨石類で、花崗岩製の重円礫を使用する。礫の上・下端部に敲き磨り痕跡が確認できる。なおP543はSB12に伴う柱穴の可能性もある。

遺構外 (図版 103・201)

180は流紋岩製の砥石である。正・裏面と左・右側面を使用しており、右側面に溝状の磨痕がある。181は流紋岩製の砥石で、扁平な円礫を使用する。砥面は平坦な裏面ではなく、弧を描く正面である。なお右側面には、整形に伴う鋸痕がある。182は小型の砥石で、砥面は正・裏面である。特に正面下部には、擦痕が多数ある。石質は流紋岩質凝灰岩か。

4) 金属製品 (図版 103・202)

183・184は銭貨である。183はSE217出土で、2枚重なる。現状では文字が確認できず、銭名は不明である。184はSX315出土の北宋銭「皇宋通寶」で、初鑄年は1038年である。

187はSE310出土の板状製品、189はSK19出土の棒状製品であるが、いずれも器種は不明である。190・191はSK321出土で、190は鏝、191は形状などから刀子と考えられる。192・195は棒状製品で、断面形は方形である。192はSD12出土、195はSB1P373出土であり、形状から鉄釘と考えられる。196はP849出土で長方形の板状を呈し、上部がやや内側に曲がる。197～199は遺構外出土である。197は銅製品で、形状から刀装具の束縁と考えられる。板状の素材を折り曲げて作成したもので、下部には接合痕が確認できる。198・199は器種不明で、198は板状、199は棒状である。185・186、188、193・194、200・201は鉄滓で、そのうち194は碗形滓と推定される。出土位置は185がSB6P331、186がSE217、188がSE310、193・194が整地範囲 (SX315・520)、200・201が遺構外である。

2 古墳時代前期の遺物

A 概要

1) 遺物の概要

古墳時代前期の遺物には土器、土製品、石器・石製品がある。遺物は遺構と遺物包含層中から出土して

おり、特に円形周溝状遺構や多数の堅穴遺構を検出した12～16グリッドに集中している(第8図)。

土器は主に北陸北東部系の土師器を中心に、壺・甕・鉢・器台・高杯・蓋などの器種がある。本遺跡における器種構成上の大きな特徴として、北陸北東部系の甕が多く高杯や小型の供献具が非常に少ないこと、小型丸底の壺・鉢と小型器台に代表される小型精製器種が含まれていること、畿内系の布留式甕の影響を受けた土器が出土していることが挙げられる。これらの特徴は2005年に開催された「シンポジウム新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現」で示された時期区分の7～9期の特徴に合致する。

土製品にはスプーン状土製品と土鍾がある。スプーン状土製品は形状がスプーンの柄と皿のように見えることから、便宜的に呼称したものである。土鍾は弥生～古墳時代に特徴的な円筒形を呈するものである。いずれも古墳時代前期の遺構や遺物包含層中から出土している。

石器・石製品には磨石類・砥石・勾玉・管玉があるが磨石類の数が多し。遺物の出土量は、平箱(54×34×14cm)で土器73箱、土製品5点、石器・石製品8箱である。

2) 土器の図化と記述の方法

報告遺物は器種のセット関係を考慮しつつ残存率の高いものを中心に抽出して、実測した。残存率の低いものについても、反転実測を多用して極力図化するよう努め、必要に応じて拓本も採拓した。反転実測を行って図化した遺物については、土器の口縁や内面の器面調整を表現した線を実測図の中心線付近で白抜きにして表現し、口径などの法量の推測値は観察表に〈 〉で示した。

次に、土器を記述するに当たり、古墳時代前期の土器の部位名称について、「一之口遺跡東地区」[春日1994]を参考にして器種ごとに設定した(第9図)。

器面調整の表現方法については「西川内北遺跡・西川内南遺跡」[野水ほか2005]、「馬見坂遺跡・正尺A遺跡・正尺C遺跡」[土橋ほか2006]を参考にした。主な器面調整の内容は以下のとおりである。

ハ ケ: 板状工具の粗い小口面を使い土器の器面を調整したもので、器面に平行する複数の条線が残る。ヘラナデ: 板状の工具を使い土器の器面を調整したもので、ハケに比して小礫や砂粒の移動が少なく、器面が平滑に仕上がる。木目の凹凸が残る場合もヘラナデとする。なお、工具痕の単位が不明瞭な場合は、必要に応じて図中に←→で方向のみを示した。

ケ ズ リ: 筥状の工具で土器を削って器面を調整したもので、小礫や砂粒の移動痕が明瞭に残る。ヘラナデと区別するため必要に応じて図中に↑で示した。

ミ ガ キ: 土器の器面を磨いたもの。工具痕の単位が不明瞭な場合は、必要に応じて図中に←→で方向のみを示した。

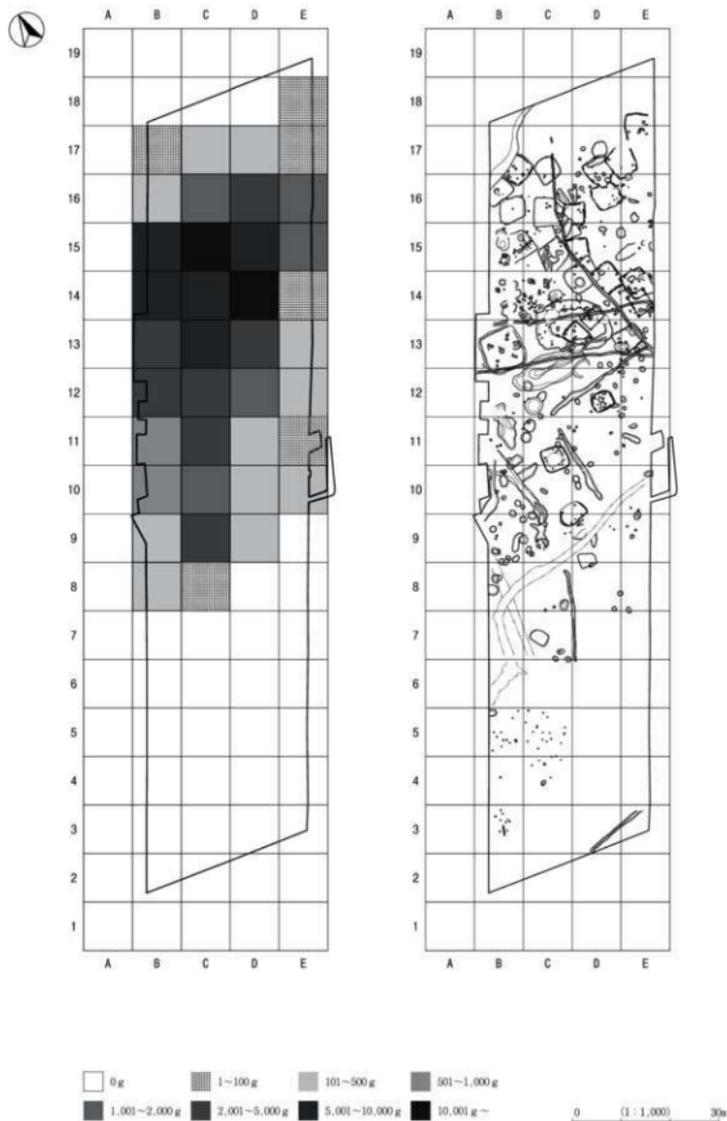
ヨコナデ: 主に土器の口縁部に見られる、回転を用いた器面の調整。

ナ デ: 指などで器面を調整したもので、摩擦が顕著で指ナデかヘラナデか判別し難い場合のみ、観察表に「摩擦、ナデ」と表記した。なお、工具痕の単位が不明瞭な場合は、必要に応じて図中に←→で方向のみを示した。

指 頭 痕: 指による強い圧痕。図中に円形の破線で示した。

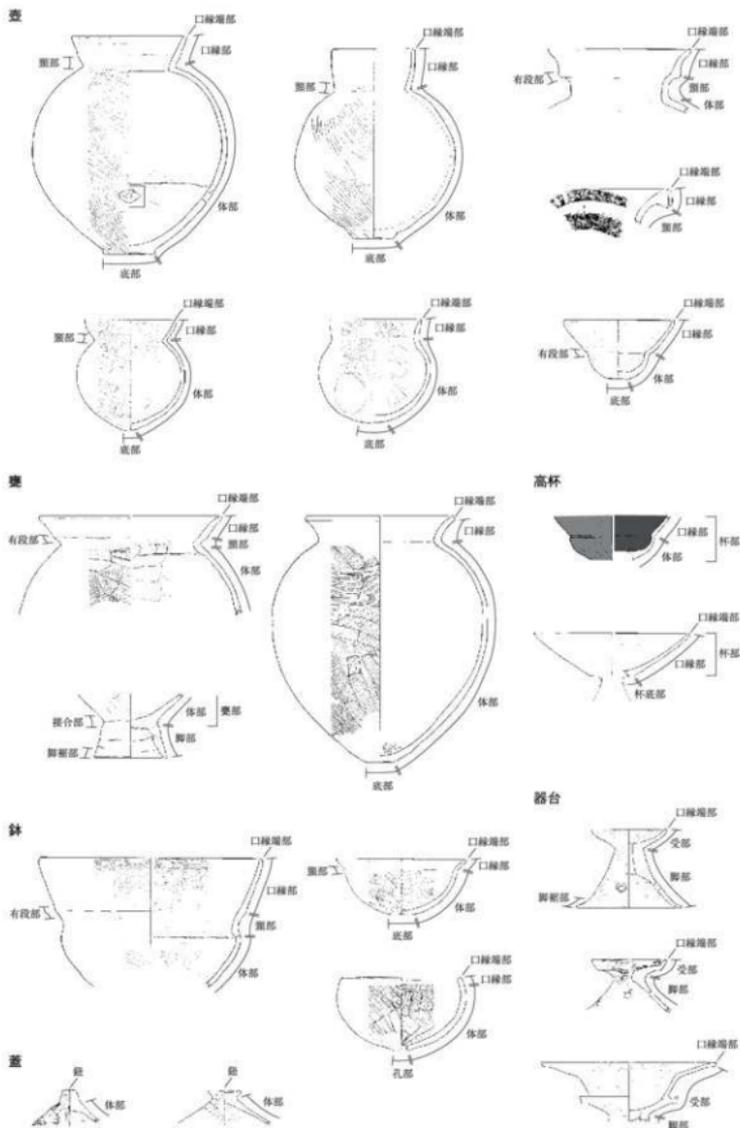
赤 彩: 土器の器面に塗料を塗り、赤色に仕上げたもの。出土した壺・鉢・高杯・器台の一部に施されたものがある。

黒色処理: 土器の表面に炭素を吸着させ、黒色に仕上げたもの。出土した高杯の内面に施されたものがある。



第8図 古墳時代遺物分布図

2 古墳時代前期の遺物



第9図 古墳時代前期土師器の部位名称

3) 土器の分類

土器の分類は「新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現」、「三面川流域の考古学」で提示された分類〔滝沢 2005a・b〕を参考に、出土した土器を壺・甕・鉢・器台・高杯・蓋の器種ごとに大別し、更に器形や調整を考慮して細別した。各器種とこれに対応する形式分類は以下のとおりである。

A 壺 (第10・11図)

壺は口縁部の形態を中心に大別18類・細別32類に分類した。各分類とこれに対応する壺の形態は以下のとおりである。

A類 二重口縁壺のうち、口縁～頸部が二段の弧を描いて立ち上がるもの。

- A1類 頸部が大きく湾曲し、有段部が強く外方へ張り出すもの。
- A2類 有段部の下端が垂下しないもの。
- A3類 有段部の下端がわずかに垂下するもの。
- A4類 有段部の下端が鋭角をなして垂下するもの。
- A5類 有段部の下端が口縁部の器壁と同程度の厚みで長く垂下するもの。

B類 二重口縁壺のうち、頸部が直立または外傾して立ち上がるもの。

- B1類 頸部が外傾して立ち上がり、有段部の下端が垂下するもの。
- B2類 頸部が直立ないし外傾して、有段部の下端が垂下しないもの。

C類 外傾した短い頸部から、有段口縁が立ち上がるもの。

- C1類 口縁部が内湾気味に外傾して立ち上がるもの。
- C2類 口縁部が大きく外傾し、有段部の下端がわずかに垂下するもの。

D類 広口壺。

- D1類 口縁部が湾曲して外方へ開くもの。
- D2類 口縁部が緩やかに外反して開くもの。
- D3類 細頸の頸部から口縁部が強く外傾して立ち上がるもの。
- D4類 口縁部が内湾気味に開くもの。
- D5類 口縁部が短く外傾して開き、口縁部と体部の境が不明瞭なもの。
- D6類 口縁部が外傾して開くもの。
- D7類 頸部の外面がわずかにくぼむ有段状の口縁部を呈するもの。

E類 直口壺。

- E1類 厚手の口縁部が直線的に立ち上がるもの。大型の直口壺の口縁部と推測される。
- E2類 口縁部が長く内湾気味に立ち上がるもの。
- E3類 口縁部が短く内湾気味に立ち上がるもの。

F類 口縁部の外面に棒状貼付文が付くもの。

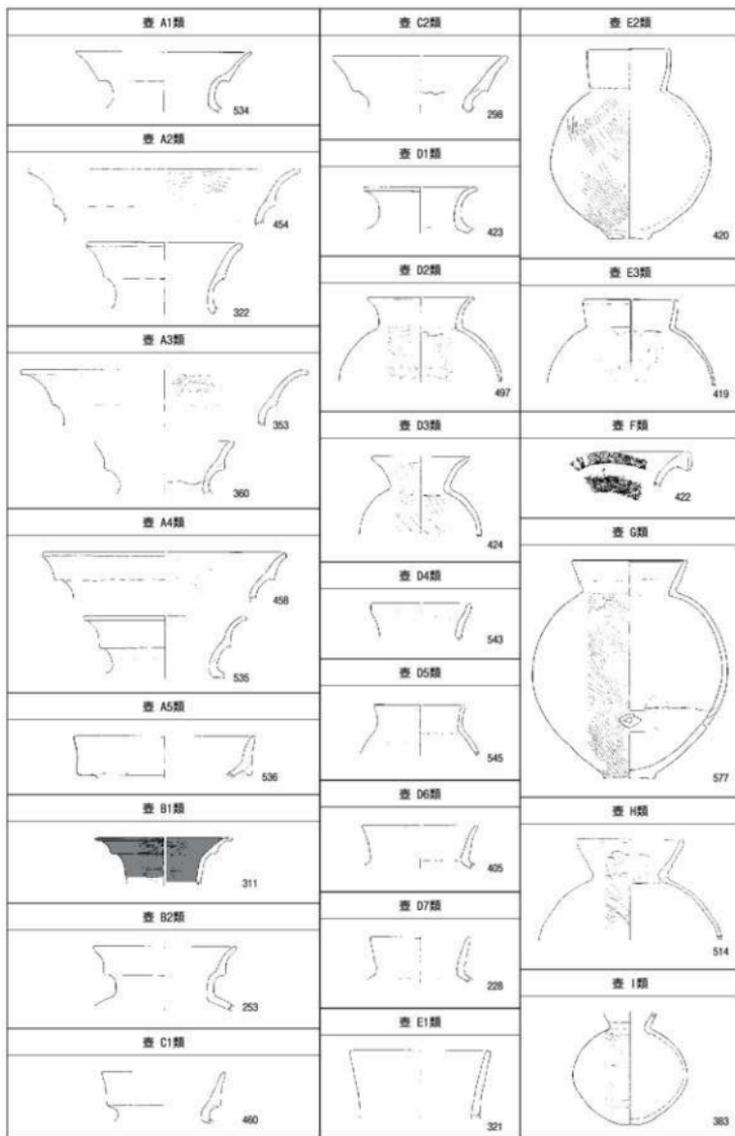
G類 口縁部が厚手で、端部に内傾する面を持つもの。

H類 口縁～体部の外面にハケ調整が施されるもの。

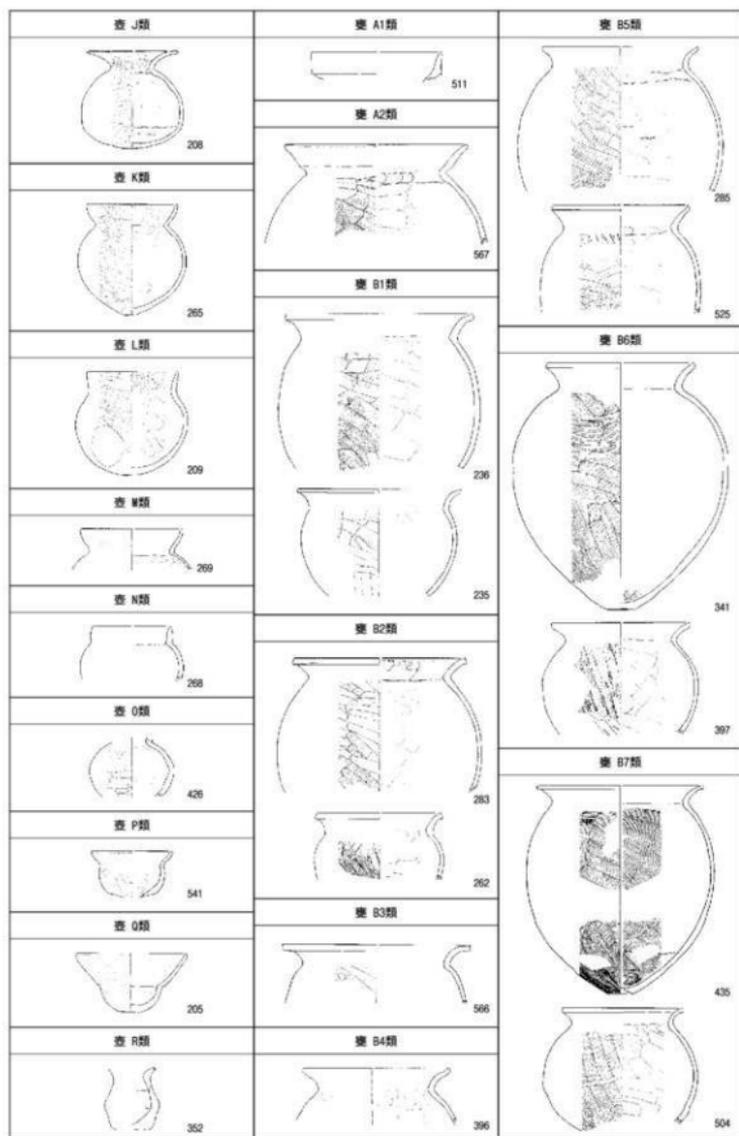
I類 頸部の短い細口の有段口縁を持つ小型のもの。

J類 口縁部がラッパ状に強く外反して開き、体部が下膨れ状を呈する小型のもの。

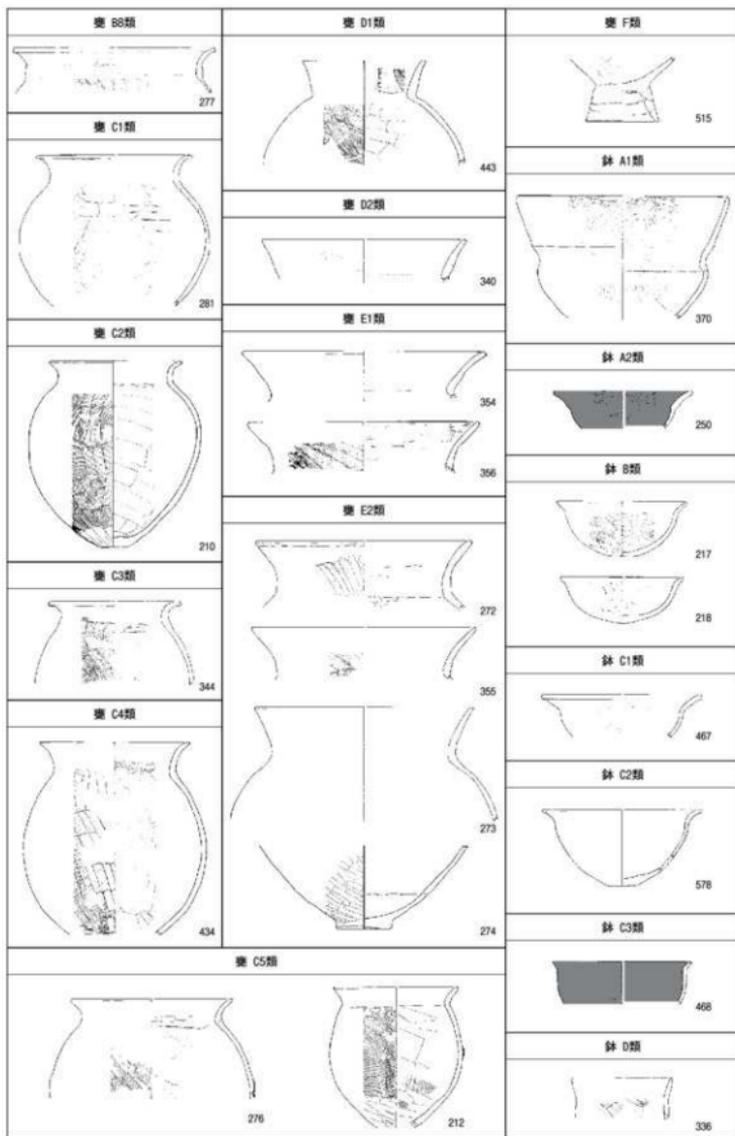
K類 口縁部が内湾気味に開き、体部が倒卵形を呈する小型のもの。漆町遺跡I3類に類似する。



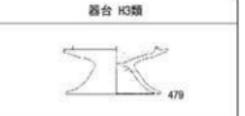
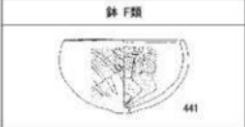
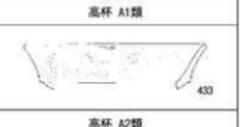
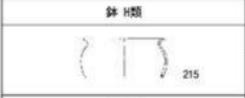
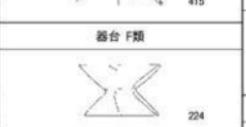
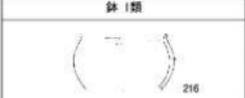
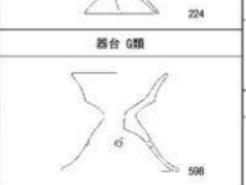
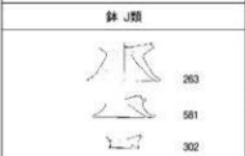
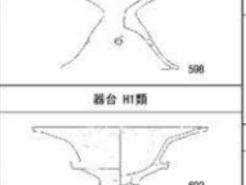
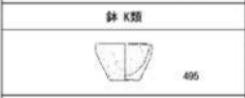
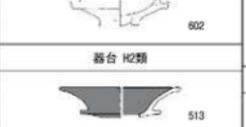
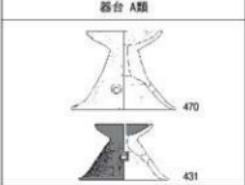
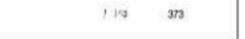
第10図 土器分類図(1)



第11図 土器分類図(2)



第 12 図 土器分類図 (3)

鉢 E類 	器台 B類 	器台 H3類 
	器台 C類 	器台 H4類 
鉢 F類 	器台 D類 	高杯 A1類 
鉢 G類 	器台 E類 	高杯 A2類 
鉢 H類 	器台 F類 	高杯 B類 
鉢 I類 	器台 G類 	高杯 C類 
鉢 J類 	器台 H1類 	高杯 D類 
鉢 K類 	器台 H2類 	蓋 A類 
器台 A類 		蓋 B類 
		ミニチュア土器 
		

第13図 土器分類図(4)

L類 広口の口縁部が直線的に立ち上がり、体部が球形を呈する小型のもの。

M類 口縁部が内湾気味に開き、上方で有段状を呈する小型のもの。

N類 口縁部が短く直立し、体部が球形を呈する小型のもの。

O類 細頸で、体部が球形を呈する小型のもの。

P類 口縁部が短く内湾気味に開き、体部が半球形を呈する小型のもの。

Q類 小型丸底壺。

R類 粗製で小型のもの。

B 壺 (第11・12図)

壺は口縁部の形態を中心に大別6類・細別20類に分類した。各分類とこれに対応する壺の形態は以下のとおりである。

A類 有段口縁で無文のもの。

A1類 口縁部が垂直に立ち上がるもの。

A2類 口縁部が外傾するもの。

B類 口縁部が「く」の字または「コ」の字を呈する北陸系の壺で、口縁端部に面取りを施したものの。

B1類 口縁部が外反して開き、上方でわずかに外方へ折れて、口縁端部をつまみ上げるもの。

B2類 口縁部が外反して開き、口縁端部を上下につまみ出すもの。

B3類 口縁部が外反して開き、上方で水平に張り出して、口縁端部をつまみ上げるもの。

B4類 口縁部が外反して開き、上方で受け口風を呈するもの。

B5類 口縁部が外反して開き、口縁端部をつまみ上げるもの。

B6類 口縁部が外反して開き、口縁端部をわずかにつまみ上げるもの。

B7類 口縁部が外反して開き、口縁端部が肥厚するもの。

B8類 口縁部が「コ」の字状を呈するもの。

C類 口部が「く」の字または「コ」の字を呈する北陸系の壺で、口縁端部を丸くおさめたもの。

C1類 口縁部が緩やかに湾曲しながら立ち上がるもの。

C2類 口縁部が「コ」の字状を呈するもの。

C3類 口縁部が強く外反して開き、口縁部と体部の境が不明瞭なもの。

C4類 口縁部が長く緩やかに外反して立ち上がり、口縁部と体部の境が不明瞭なもの。

C5類 C1～C4類以外で、口縁部が外反または外傾して開くもの。

D類 やや厚手の口縁部が外傾して開き、頸部の外周が浅くくぼむもの。

D1類 細口のもの。

D2類 広口のもの。

E類 他類に比して長く外反して立ち上がる口縁部を持つもの。

E1類 口縁端部に面取りを施したものの。

E2類 口縁端部を丸くおさめたもの。

F類 台付壺の脚部。

上記に示した各壺のうち、資料点数の多い壺A～C・E類の法量を検討して、壺A～C類を中型と小型、壺E類を大型に分類した。法量の検討に当たり、北陸系の壺の大きさには法量に基づくまとまりのあることが報告〔滝沢2005a〕されていることを考慮して、完形品のほかに口径と体部最大径を計測できる資

料を加えて計測を行った。第14図は口径と体部最大径の相関をグラフに表したもので、甕のサイズとこれに対応する量量は以下のとおりである。なお、以下の分類はあくまで本遺跡で出土した甕におけるものである。大型：口径、体部最大径とも27cm以上、器高30cm以上を測るもの。中型：口径15～26cm前後、体部最大径22～27cm前後、器高23～30cm前後を測るもの。小型：口径20cm以下、体部最大径21cm以下、器高18cm以下を測るもの。

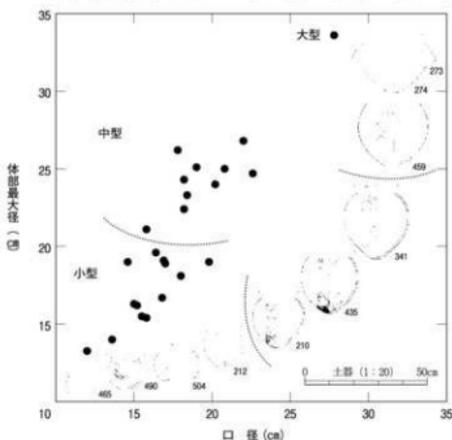
甕の底部形態は大きく分けて丸底と平底に分類できる。このうち、平底は底部の突出する厚手のA類と底部の突出しないB類に分類でき、更に両類とも底部がドーナツ状にくぼむもの(1類)と底部が平らなもの(2類)に細分できる。第15図は上記に示した甕底部の各分類とこれに対応する形態を示したものである。この分類に基づき報告遺物中の各甕の底部形態を遺物観察表に記した。

C 鉢 (第12・13図)

鉢は大別11類・細別14類に分類した。各分類とこれに対応する鉢の形態は以下のとおりである。

A類 有段口縁のもの。

A1類 内湾気味に立ち上がる長い有段口縁を持つ大型のもの。



第14図 甕法量図

	平底A類	平底B類	丸底
1類 底部の中央にくぼみ を有するもの	519	331	573
2類 底部が平らでないし やや上げ底状を呈 するもの	274	268 392 312	471

第15図 甕底部分類図

A2類 外傾して開く有段口縁を持つ小型のもの。

B類 小型丸底鉢（増形ものを除く）。

C類 外反ないし外傾して開く口縁部をもつ平底のもの。

C1類 口縁部が厚手で、端部に面取りを施すもの。

C2類 口縁端部を丸くおさめるもの。

C3類 口縁部が短く外方へ開くもの。

D類 口縁部が外傾して立ち上がり、体部の内・外面にハケを施すもの。

E類 椀形で平底を呈する小型のもの。

F類 底部有孔鉢。

G類 受け口風の口縁部を持つ小型のもの。

H類 口縁部が短く湾曲して開き、体部が球形を呈する小型のもの。

I類 口縁部が短く立ち上がり、体部が球形を呈する小型のもの。

J類 台付鉢の脚部。

K類 粗製でコップ形を呈する小型のもの。

D 器台（第13図）

器台は受部の形態を中心に大別8類・細別11類に分類した。各分類とこれに対応する器台の形態は以下のとおりである。なおA～G類は小型器台で、H類は結合器台である。

A類 受部が内湾するもの。脚部の形態により細分が可能。

B類 受部が直線的に外方へ開き、上端をわずかにつまみ上げたもの。

C類 受部が大きく外反して開き、短い有段口縁を持つもの。

D類 受部がやや湾曲して外方へ開くもの。

E類 受部が深く直線的に外方へ立ち上がるもの。

F類 受部と胴部の大きさがほぼ同じで、断面形がX字状を呈するもの。

G類 大きく外反する有段口縁を持つもの。

H類 突出した鈎状の受部を持つ結合器台。

H1類 受部が直線的に立ち上がり、途中で外方へ大きく屈曲して開き、口縁端部をつまみ上げるもの。

H2類 受部が短く水平に突出する鈎状を呈するもの。

H3類 受部が細長く突出する鈎状を呈し、低く扁平な脚部を持つもの。

H4類 受部が突出しないもの。

E 高杯（第13図）

高杯は杯部の形態を中心に、大別4類・細別5類に分類した。各分類とこれに対応する高杯の形態は以下のとおりである。

A類 浅い杯部で、外面に稜を持つもの。

A1類 口縁部が外反して立ち上がり、口縁端部に面取りを施したもの。

A2類 A1類の小型のもの。

B類 有段鉢形を呈するもの。

C類 有段口縁を呈するもの。

D類 平底の杯底部から口縁部が長く外傾して開くもの。

F 蓋 (第13図)

蓋は2点出土した。各分類とこれに対応する蓋の形態は以下のとおりである。

A類 短く突起した棒状の紐を持つもの。

B類 ボタン状の扁平な紐を持つもの。

G ミニチュア土器 (第13図)

ミニチュア土器は5点出土した。ミニチュア土器はいずれも底部や脚部の破片である。

B 出土遺物各説

1) 土 器

S11327 (図版104・194・202・203)

壺(202～209)・甕(210～213)・鉢(214～219)・高杯(220～222)・器台(223～225)がある。202は壺A3類である。有段部の張り出しが強く、下端がわずかに垂下する。203は頸部以下を欠損した二重口縁壺の口縁部である。204は壺の体～底部である。外面はハケの後ヘラナデが施される。内面は摩耗が顕著であるが、幅の広いハケが残る。205・206は壺Q類である。半球形を呈する体部から有段口縁が立ち上がる小型の壺である。207は壺D3類である。208は壺J類である。下膨れ状を呈する体部から、口縁部がラップ状に大きく外反して開く。209は壺L類である。球形を呈する体部から、口縁部が直線的に立ち上がる。体部の外面には被熱した痕跡が見られ、炭化物が顕著に付着している。210は口縁部が「コ」の字状を呈する甕C2類の中型である。体部は倒卵形で、外面に縦方向のハケ、内面に横方向のヘラナデが施される。底部は平底を呈する。211は甕B1類である。212は甕C5類の小型である。体部は外面にハケ、内面にハケの後ヘラナデが施される。214は鉢E類である。体部は碗形を呈し、内・外面にミガキが施される。215は鉢H類、216は鉢I類である。球形を呈する体部から小さな口縁部が立ち上がる小型の鉢で、外面の口縁～体部にミガキが施される。217～219は鉢B類である。217は体部が半球形を呈し、頸部が強く屈曲する。218は217よりやや浅身の体部で、口縁部が短く外反して開く。219は頸部の内面に稜線を持つ。220は高杯C類である。有段の杯部を持ち、内・外面にヨコナデが施される。221は高杯D類である。杯部は強く外傾して開き、口縁部と杯底部との境に稜線を持つ。222は高杯の脚部で、杯部内面に黒色処理が施される。脚部が低く、外面に縦方向のヘラナデが施される。223は器台D類である。受部はやや内湾気味に立ち上がり、脚部は「ハ」の字に開く。224は器台F類である。薄手の作りで、断面形がX字状を呈する。225は器台B類である。受部は直線的に外方へ開き、上端をわずかにつまみ上げる。脚部は「ハ」の字に開き、円形の透かしが3か所入る。

S11046 (図版105・203)

壺(226～228)・甕(229)がある。226は壺A3類である。有段部の張り出しは弱く、下端がわずかに垂下する。内・外面はヨコナデが施される。227は壺の体～底部である。体部の外面にヘラナデ、内面にハケが施される。228は壺D7類である。頸部の外周に浅いくぼみを持つ。229は甕B5類である。

S11071 (図版105・203)

壺(230～238)・器台(239・240)がある。230～232・234・235・236は壺B1類である。230～232・234はいずれも口縁部である。235は小型の甕で、体部の内面に縦方向のヘラナデが施される。236は中型の甕で、体部の外面にハケ、内面にヘラナデが施される。233は甕B7類である。内・外面にヨコナデが施され、頸部の外面に接合痕が見られる。237・238は甕の底部で、いずれも平底を呈する。239は器台

の脚部である。240は器台H2類である。受部は短く突出した鈎状を呈し、脚部に円形の透かしが3か所入る。

SI1195 (図版105・106・203・204)

壺(241~243)・甕(244~249)・鉢(250)・高杯(251)・器台(252)がある。241・242は二重口縁壺の口縁部及び頸部で、241は上端に口縁部の接合痕が残る。243は壺の体~底部である。244は甕B8類である。口縁部は「コ」の字状を呈し、端部に面取りが施される。245は甕B5類、246は甕B7類、247は甕C5類である。いずれも口縁部が外反して開き、体部の外面にハケ、内面にヘラナダが施される。248は倒卵形を呈する甕の体~底部である。249は甕の体部で、外面に縦方向のハケ、内面にヘラナダが施される。250は鉢A2類である。有段部の稜線は明瞭で、内・外面は赤彩される。251は高杯の脚部である。252は器台の脚部で、外面は赤彩される。

SI1223 (図版106・204)

壺(253・254)・甕(255~257)がある。253は壺B2類である。直立した頸部を持ち、内・外面にヨコナダが施される。254は壺の底部である。255は甕B4類である。口縁部は受け口状を呈し、内・外面にヨコナダが施される。256は甕B3類の口縁部と体部である。257は甕の体~底部である。底部は平底を呈し、内面に径約1~2mmを測る炭化穀粒痕が斑状に確認できる。

SI1294 (図版106~108・194・204~206)

壺(258・259)・甕(260~262)・鉢(263)・器台(264)がある。258は壺C1類である。口縁部は内湾気味に外傾して立ち上がり、内・外面にヨコナダが施される。259は壺の体~底部である。外面は摩耗が著しく調整痕がほとんど残っていない。内面はハケの後、体部の中程にヘラナダが施される。260は甕B5類の口縁部である。261は甕C5類である。体部の外面にハケ、内面にヘラナダが施される。262は甕B2類の小型である。口縁部は体部に比してやや厚手で、端部を上下につまみ出して面取りが施される。体部の外面はハケ、内面はヘラナダが施される。263は鉢J類の脚部で、脚部高が低い。264は受部の上端を欠損した器台である。脚部は「ハ」の字に開き、円形の透かしが2か所以上入る。

SI1307 (図版106~108・194・204~206)

壺(265~270)・甕(271~288)・鉢(289~291)・器台(292・294~297)・ミニチュア土器(293)がある。265は壺K類である。体部は倒卵形を呈し、外面にミガキが施される。頸部は強く屈曲し、内面に鋭い稜線を持つ。266・267はそれぞれ二重口縁壺の口縁部と頸部である。268は壺N類である。口縁部が短く立ち上がり、内面に傾斜する面を持つ。269は壺M類である。口縁部が内湾して立ち上がり、内・外面にヨコナダが施される。270は壺の体~底部で、外面に被熱した痕跡が残る。271~273は甕E2類である。271・272は口縁端部が玉縁状に肥厚して、外面にハケが施される。273は内・外面とも摩耗が著しく調整痕がほとんど残っていない。274は273と同一個体と推測される甕E類の体~底部である。275・276は甕C5類である。277は甕B8類である。口縁部は「コ」の字状を呈し、端部に面取りが施される。278は甕B7類である。279は甕B6類である。体部の外面に縦・斜方向のハケが施され、頸部は強く屈曲する。280は甕B7類の小型である。口径と体部最大径の差が小さく、体部から緩やかに外反して立ち上がる口縁部を持つ。281は甕C1類の中型である。頸部は緩やかに湾曲し、体部最大径は体部の上部にある。282は甕の体~底部である。底部は薄手の平底を呈する。283は甕B2類、284は甕B7類、285は甕B5類である。いずれも中型の甕で、口径が体部最大径より小さく、体部の外面にハケ、内面にヘラナダが施される。286~288は甕の体~底部で、いずれも平底である。289は鉢の体~底部である。内・外面は赤彩さ

れる。290は鉢F類である。口縁～体部の外面に横方向のミガキが施される。291は鉢D類である。小さな平底から体部が内湾して立ち上がり、外面にハケ、内面にヘラナデが施される。口縁部には歪みが見られる。292・294～296は器台D類である。292は脚部高が低く、端部で強く外反する。294～296は内湾気味に大きく外方へ開く受部を持つ。いずれも受部の内・外面と脚部の外面は赤彩され、脚部に円形の透かしが3か所入る。297は器台の脚部で、円形の透かしが3か所入る。293はミニチュア土器の底部で、内・外面にナデが施される。

SI1310 (図版108・206)

壺(298・299)・甕(300・301)・鉢(302)がある。298は壺C2類である。口縁部は強く外傾して開き、内・外面にヨコナデが施される。有段部の張り出しは弱く、下端がわずかに垂下する。299は壺の体部で、外面にミガキ、内面にヘラナデが施される。300は甕C5類、301は甕B5類である。302は鉢J類である。脚部は短く開く環状を呈する。

SI1311 (図版108・206)

303は器台の受部で、内・外面は赤彩される。

SI1312 (図版108・206)

壺(304・305)・鉢(306)・ミニチュア土器(307)がある。304は壺の口縁部である。305は壺A2類である。有段部の張り出しは弱く、内・外面は赤彩される。306は鉢J類である。脚部は脚部高が低い。307はミニチュア土器の底部である。

SI1314 (図版108・206)

308は甕の体～底部である。309は鉢D類である。内湾気味に開く口縁部を持ち、体部の内・外面にハケが施される。

SI1315 (図版108・109・206)

壺(311・313～317)・甕(312・318～320)・器台(310)がある。311・313・314はいずれも二重口縁壺である。311は頸部が外傾して立ち上がる壺B1類である。口縁～頸部の内・外面は赤彩され、有段部の下端が鋭く垂下する。313は壺A3類・314は壺A2類である。いずれも有段部の張り出しが弱い。315は壺の体部である。316・317は壺の体～底部で、いずれも中央はドーナツ状にくぼむ。312は甕の底部で、薄手の平底を呈する。318・319は甕E2類の口縁部である。320は甕B7類の小型である。強く屈曲する頸部の内面に、接合痕が見られる。310は器台の受～脚部である。脚部は脚裾部で屈曲して外方へ開く。

SI1317 (図版109・206)

321は大型の直口壺E1類である。口縁部は厚手で、端部に面取りが施される。

SI1381 (図版109・206・207)

壺(322～325・338)・甕(326～333)・鉢(336・337)・高杯(335)・器台(334)がある。322・323は壺A2類である。322は有段部の張り出しが弱い。323は口縁～頸部にかけて湾曲の度合いが弱く、内面にヘラナデが施される。324は壺の口縁部である。325は壺D2類である。口縁部は広口で外傾して開き、端部に面取りが施される。328は壺の体～底部である。326は甕B5類、327は甕B8類、328は甕B7類である。いずれも口縁部で、端部に面取りが施される。329は甕C5類である。330～333は甕の体～底部で、いずれも平底を呈する。331は底部の中央にドーナツ状のくぼみを持つ。333は底部に初段の圧痕が残る。334は器台の脚部である。脚部は円形の透かしが3か所以上入る。335は高杯の脚部である。脚部は外面にミガキ、内面にヘラナデが施され、脚裾部で外反して開く。336は鉢D類である。口縁部は外傾気味に

立ち上がり、体部の内・外面にハケが施される。337は鉢A1類である。有段部は張り出しが弱く、頸部のくびれも緩やかになっている。

SI1386 (図版110・207)

壺(339・349～352)・甕(340～345・348)・高杯(346)がある。339は壺A2類である。有段部の張り出しが弱く、内面にヘラナダが施される。349～351は壺の体～底部である。351は底部に初段の圧痕が残る。352は壺R類である。粗製の小型壺で、内・外面にヘラナダが施される。340は甕D2類である。口縁部の内・外面にハケの後ヨコナダが施される。341は甕B6類の中型である。口縁部は「く」の字に外反して端部に面取りが施される。体部は倒卵形を呈し、外面にハケが施される。内面は摩耗が顕著で、底部付近にわずかにハケメが残る。底部は平底を呈する。342は甕B8類である。口縁部は「く」の字状を呈し、端部に面取りが施される。343は甕C5類、344は甕C3類である。いずれも体部の外面にハケ、内面にヘラナダが施される。345は甕C5類の小型である。口径と体部最大径の差が小さく、体部から外傾して立ち上がる口縁部を持つ。347・348は甕の体～底部で、いずれも平底を呈する。346は高杯の脚部である。

SD1134 (図版110・111・207・208)

壺(353・358～365)・甕(354～359・366～368)・鉢(369・370・372)・器台(371)・ミニチュア土器(373)がある。353・360は壺A3類である。いずれも有段部の張り出しが弱く、下端がわずかに垂下する。361は壺E1類である。口縁部は湾曲して立ち上がり、端部に面取りが施される。362～365は壺の体～底部である。362は底部の中央にドーナツ状のくぼみを持つ。354・356は甕E1類、355は甕E2類である。354は口縁部にヨコナダが施される。355・356は口縁部の外面にハケ、内面にハケの後ヨコナダが施される。357～359は甕の体～底部である。357は薄手の平底を呈する。358・359は底部の突出する平底を呈する。366～368は甕C5類の小型である。いずれも口縁部が外反して開き、体部の内・外面にハケが施される。369・370は鉢A1類である。いずれも有段部は張り出しが弱く、口縁～体部にかけてミガキが施される。372は鉢J類である。脚部高が低く、外面は赤彩される。371は器台の受～脚部である。受～脚部にかけて赤彩され、脚部に円形の透かしが3か所入る。373はミニチュア土器の脚部である。

SD1031 (図版111・208)

壺(376・377)・甕(374)・鉢(375)・器台(378・379)がある。376・377は壺の底部である。374は甕C5類である。375は鉢C3類である。378・379は器台の脚部である。378は外面に縦方向のミガキが施され、円形の透かしが4か所入る。379は脚部が「ハ」の字に開き、円形の透かしが3か所以上入る。

SD1034 (図版111・112・208)

壺(380・381・383～385)・甕(386～399)・鉢(382・400)・器台(401)がある。380・381・384・385は壺の体～底部である。380は外面にハケ、内面にヘラナダが施される。384は体部の下半から底部にかけて被熱した痕跡が見られ、炭化物が顕著に付着する。383は壺I類である。細口の有段口縁を持つ小型の壺で、外面にミガキが施される。386・387は甕B7類、388は甕B6類である。いずれも口縁部が体部に比してやや厚手で、口縁端部に面取りが施される。389～391・394・395は甕C5類、393は甕B2類、396は甕B4類である。397は甕B6類の小型である。体部は球形に近く、外面に縦方向のハケ、内面にヘラナダが施される。392・398は甕の体～底部で、いずれも底部は平底を呈する。399は甕F類である。脚部はヘラナダが施され、内面に接合痕が見られる。382は鉢の体～底部である。体部の外面に細かいヘラナダが施される。400は鉢C1類である。口縁部は体部に比してやや厚手で、端部に面取りが施される。401は器台の脚部である。脚部は円形の透かしが2か所以上入り、内・外面にヘラナダが施される。

SD1053 (図版112・208)

402は甕B7類の口縁部である。口縁部はやや厚手で、端部に面取りが施される。

SD1069 (図版112・208)

403は甕C2類である。口縁部は「コ」の字状を呈し、ヨコナデが施される。404は甕の底部である。底部は薄手の平底を呈する。405は壺D6類である。口縁部は外傾して開き、ヨコナデが施される。

SD1188 (図版112・208)

406は器台D類である。受部はやや内湾気味に立ち上がり、脚部は「ハ」の字に開く。受～脚部の内・外面はヘラナデが施される。

SD1208 (図版112・208)

407は器台D類である。受部は内湾気味に立ち上がり、内・外面にミガキが施される。脚部は円形の透かしが1か所以上入る。

SD1222 (図版112・209)

408は壺の体部で、内・外面にヘラナデが施される。

SD1287 (図版112・209)

甕(409・410・412・417)・器台(411・413～416)がある。409は甕の体～底部で、突出した平底を呈する。410は甕B7類の口縁部である。412は甕C5類である。口縁部は外反して開き、体部の外面にハケ、内面にヘラナデが施される。417は甕E類である。口縁部はヨコナデ、体部は外面にハケ、内面にヘラナデが施される。411は器台の脚部である。脚部は「ハ」の字に開き、外面は赤彩される。413は器台H2類である。口縁部は鐮状を呈する受部から外傾して立ち上がり、円形の透かしが3か所以上入る。414は器台B類で、受～脚部にかけて赤彩される。受部は直線的に外方へ開き、上端をわずかにつまみ上げる。脚部は「ハ」の字に開き、円形の透かしが3か所入る。415は器台E類である。直線的に立ち上がる受部を持ち、脚部に円形の透かしが1か所以上入る。416は器台の脚部である。脚部は「ハ」の字に開き、円形の透かしが3か所入る。

SD1363 (図版113・114・209・210)

壺(418～427)・甕(434～439)・鉢(440・441)・高杯(433)・器台(428～432)がある。418は壺A2類である。有段部の張り出しが弱く、内面に横方向のヘラナデが施される。419は壺F3類である。口縁部が内湾気味に短く直立し、体部の内・外面にヘラナデが施される。420は壺F2類である。口縁部は内湾気味に長く直立し、体部の外面にミガキが施される。421は壺の体～底部である。外面は摩耗が著しく調整痕がほとんど残っていない。内面はヘラナデが施される。422は壺F類である。頸部が外反して開き、口縁部の外面に棒状貼付文が付く。423は壺D1類、424は壺D3類である。425は壺の体部で、やや扁平な球形を呈し、外面にミガキが施される。426・427は口縁部を欠損した小型の壺である。426は細頸で体部が球形を呈する壺O類である。427は広口で、体部の上位に最大径を持つ壺P類である。434・438は甕C4類の中型である。いずれも体部の外面に縦方向のハケ、内面に縦方向のヘラナデが施され、口縁部と体部の境が不明瞭である。435は甕B7類の中型である。口縁部は「く」の字に外反し、端部に幅の狭い面取りが施される。体部は倒卵形を呈し、内・外面にハケが施される。底部は平底を呈する。436・437は甕C5類である。439は甕の体～底部である。体部は外面にハケ、内面にハケの後ヘラナデが施される。底部は平底を呈する。440は鉢A1類である。有段部は張り出しが弱く、口縁～体部にかけてミガキが施される。441は鉢F類である。口径に比して器高の低い半球形を呈し、底部の中央に焼成前の孔が開けられている。

433は高杯A1類である。428・431は器台A類である。428は受部が内湾して聞き、脚部に円形の透かしが3か所入る。431は受部が内湾して聞き、脚部に円形の透かしが3か所以上入る。受～脚部にかけて赤彩される。429・430は器台C類である。受部は上端をつまみ上げた有段状を呈する。432は器台の受～脚部で赤彩され、脚部に円形の透かしが3か所入る。

SD1369 (図版114・210)

壺(448)・甕(442～447)・高杯(449)・器台(450～452)がある。448は壺の底部で、中央にドーナツ状のくぼみを持つ。442・444は甕C5類である。442は短く外反する先細りの口縁部を持つ。444は体部の内・外面にハケが施される。443は甕D1類である。細頸で、外周に浅いくぼみを有する。445～447は甕の底部で、いずれも平底を呈する。449は高杯の脚部である。450は器台H2類で、口縁～受部の内・外面は赤彩される。451・452は器台の受～脚部で、受部の内面と脚部の外面は赤彩される。

SD1378 (図版114・210)

453は器台B類である。受部は直線的に開いて立ち上がり、上端をわずかにつまみ上げる。脚部は「ハ」の字に聞き、円形の透かしが2か所以上入る。

SD1446 (図版114・210)

454は壺A2類である。有段部の張り出しが弱く、内面にヘラナデが施される。

SK1005 (図版114・210)

455は鉢D類である。高台状の平底を持つ碗形の鉢で、口縁部が短く外反する。口縁部はヨコナデ、体部は外面にハケの後ナデ、内面にハケが施される。底部中央はドーナツ状にくぼむ。

SK1010 (図版114・210)

456は中型の甕の体部である。体部は倒卵形を呈し、外面にハケ、内面にヘラナデ・ハケが施される。

SK1012 (図版115・210)

457は器台A類である。受部は碗形を呈し、受部から脚部へ貫通する長い孔が開けられている。脚部は円形の透かしが1か所以上入る。

P1058 (図版115・211)

458は壺A4類である。有段部は強く張り出し、下端が鋭角をなして明瞭に垂下する。459は大型の甕の体～底部である。体部の最大径は中位よりやや上方にあり、底部は突出した厚手の平底を呈する。

SK1059 (図版115・211)

460は壺C1類である。口縁部はやや内湾気味に外傾して立ち上がり、口縁端部で先細りとなる。

SK1066 (図版115・211)

461は甕B6類である。口縁部は外反して聞き、口縁端部に面取りが施される。462は壺の体～底部である。

SK1072 (図版115・211)

463は甕の体～底部で、平底を呈し、中央はドーナツ状にくぼむ。

SK1126 (図版115・211)

壺(464)・甕(465・466)・鉢(467～469)・器台(470)がある。464は壺の体～底部である。465は甕C5類の小型である。口縁部は短く外傾して聞き、体部の内・外面にヘラナデが施される。466は甕B1類の小型である。口縁部は強く外傾して聞き、端部に面取りが施される。体部は外面に縦方向のハケ、内面にヘラナデが施される。467は鉢C1類である。口縁部はやや厚手で、端部に面取りが施される。468は鉢C3類である。口縁部は短く外傾し、内・外面は赤彩される。469は鉢K類である。平底のコップ形を呈

する小型の鉢で、口縁部の外面に浅い沈線が一条巡る。470は器台A類である。受部は碗形を呈し、受部から脚部へ貫通する長い孔が開けられている。脚部は円形の透かしが3か所入る。

SK1141 (図版115・211)

471は壺の体～底部である。体部は外面にハケ、内面にヘラナダが施される。底部は薄手の平底を呈する。

SK1194 (図版115・211)

472は壺の体～底部である。473は器台の受部、474は器台H4類で、内・外面は赤彩される。

SK1220 (図版115・211)

475は壺の体～底部で、平底を呈し、中央はドーナツ状に浅くくぼむ。

SK1224 (図版115・211)

476は壺B7類である。口縁部はやや厚手で、端部に面取りが施される。

SK1252 (図版115・211)

477は壺C5類、478は壺B7類である。478は口縁端部に面取りが施される。

SK1264 (図版115・211)

479は器台H3類である。受部は細長く突出し、端部に緩い面取りが施される。脚部高が低く、脚裾部が外反する。

SK1277 (図版115・211)

480は壺の体～底部で、平底を呈する。

SK1280 (図版116・211)

481は壺の体～底部で、平底を呈し、中央はドーナツ状に浅くくぼむ。

SK1282 (図版116・211)

482は壺の体～底部で、平底を呈する。

SK1290 (図版116・211)

壺(483・484)・壺(485～487)・器台(488)がある。483は壺A2類である。有段部の張り出しが強く、内・外面にヨコナダが施される。484は壺の体～底部で、平底を呈し、中央はドーナツ状にくぼむ。485は壺C5類である。486は壺の体～底部で、平底を呈する。487は壺B5類の小型である。口縁部は外反して開き、端部に面取りが施される。体部は外面にハケ、内面にヘラナダが施される。488は器台の脚部で、円形の透かしが2か所以上入る。

P1326 (図版116・211)

489はミニチュア土器の底部で、平底を呈する。

SK1356 (図版116・211)

490は壺B5類の小型である。口縁部は強く外傾して開き、端部に面取りが施される。体部は球形を呈し、外面にハケ、内面にヘラナダが施される。底部は平底を呈し、体部の下位から底部にかけてケズリが施される。

SK1358 (図版116・211・212)

壺(494)・壺(491・492)・鉢(493・495)がある。494は壺の体～底部である。491は壺B4類、492は壺B6類である。491は口縁部が受け口状を呈する。492は口縁端部に面取りが施される。493は鉢の口縁～体部である。口縁端部にナダ、体部外面にハケが施される。495は鉢K類である。平底のコップ形を呈する小型の鉢で、内・外面にナダが施される。

SK1362 (図版116・212)

496は甕B7類である。口縁部は外反して開き、端部に面取りが施される。

SK1364 (図版116・212)

497は壺D2類である。口縁部は緩やかに外反して開き、体部の内・外面にヘラナダが施される。498は甕B5類の中型である。口縁部は外反して開き、端部に面取りが施される。体部は外面にハケ、内面にヘラナダが施される。499・500は甕の体～底部で、どちらも薄手の平底を呈する。501は器台B類またはC類と考えられる受部を持つ。受部の上端がわずかにつまみ上げられることから、ここでは器台B類に属するものとする。

SK1365 (図版116・212)

502は甕B7類である。口縁部は外傾して開き、端部に面取りが施される。

SK1366 (図版116・212)

503は壺の体部である。外面にハケの後縦方向の細かいヘラナダ、内面にヘラナダが施される。504は甕B7類の小型である。口縁部は外反して開き、端部に面取りが施される。体部は球形を呈し、外面にハケ、内面にヘラナダが施される。505は甕C5類である。

SK1391 (図版117・212)

506は器台の脚部で、円形の透かしが3か所入る。

SK1408 (図版117・212)

507は甕B8類である。口縁部は「コ」の字状を呈し、端部に面取りが施される。508は器台の受～脚部で、脚部高が高く、円形の透かしが4か所入る。

SK1412 (図版117・212)

509は壺D4類である。口縁部は内湾気味に立ち上がり、内・外面にヨコナダが施される。

SK1415 (図版117・212)

510は甕B6類である。口縁部は外反して開き、端部に面取りが施される。

SK1420 (図版117・212)

511は甕A1類である。口縁部は直立する無文の有段口縁を呈し、内・外面にヨコナダが施される。

SK1424 (図版117・212)

512は高杯A2類である。杯部は稜線よりやや上に円形の透かしが1か所以上入る。

SK1425 (図版117・212)

513は器台H2類である。受部の内・外面は赤彩される。

SK1426 (図版117・212)

514は壺H類である。口縁～体部の外面にハケが施される。515は甕F類である。脚部は粗雑なナダが施され、粘土紐の接合痕が残る。

SK1433 (図版117・212)

516は壺A2類である。有段部は張り出しが弱く、下端がわずかに垂下する。517は甕C5類である。518は器台C類である。受部は上端をつまみ上げた有段状を呈する。脚部は円形の透かしが3か所入る。

P1401 (図版117・212)

519は甕の体～底部で、厚手の平底を呈し、中央は上げ底状にくぼむ。

SX1136 (図版117・212)

520は壺A4類である。有段部は強く張り出し、下端が鋭角をなして垂下する。521は壺の底部である。522は鉢C3類である。口縁部は短く外傾し、内・外面は赤彩される。

自然流路 (図版117・212)

523は壺A2類である。有段部の張り出しが弱く、内・外面にヨコナダが施される。524は壺の底部で、平底を呈する。525は壺B5類の小型である。口縁部は外傾して開き、端部をつまみ上げた面取りが施される。体部は外面にハケ、内面にヘラナダが施される。526は器台か高杯の脚部である。脚部は脚根部で外反して開き、外面に縦方向のミガキが施される。

包 含 層

壺 (図版118・119・213・214)

壺(527～560・577)がある。527は大型の壺である。口縁部が直線的に立ち上がり、体部の外面にハケが施される。528・529は壺D2類である。口縁部は緩やかに外反して立ち上がり、口縁端部に面取りが施される。530は壺N類である。口縁部は短く直立し、体部の外面にハケが施される。531は壺E3類である。口縁部は短く直立し、外面にミガキが施される。532・533は壺の頸部である。532は湾曲して立ち上がり、外面にヨコナダ、内面にヘラナダが施される。533は長く直立し、外面にヨコナダ、内面にハケが施される。534は壺A1類である。頸部が大きく湾曲して、有段部が強く張り出す。535は壺A4類である。有段部の張り出しは弱く、下端が鋭角をなして明瞭に垂下する。536は壺A5類である。口縁部は直立する有段口縁を呈し、有段部の下端が垂下する。538・539は壺A2類である。有段部は張り出しが弱い。537は壺C1類である。口縁部はやや内湾気味に外傾して立ち上がり、口縁端部で先細りとなる。540は壺Q類である。半球形を呈する体部から、口縁部が内湾気味に立ち上がる。541は壺P類である。口縁部が内湾して開き、体部の内・外面にヘラナダが施される。542～544は壺D4類である。いずれも広口で内湾気味に開く口縁部を持つ。545は壺D5類である。口縁部が短く外傾して開き、体部の内・外面にヘラナダが施される。546～560は壺の体～底部で、547・550・551・554の中央はドーナツ状にくぼむ。577は壺G類である。口縁部は外傾して開き、端部に内削ぎ状の面取りが施される。体部は中位に最大径を持って強く張り、中位よりやや下に焼成後の穿孔が1か所ある。底部は平底を呈する。

壺 (図版119・213・214)

壺(561～576)がある。561・562・570は壺C5類である。570は小型で、体部外面に縦方向のハケが施される。563は壺C3類である。体部から口縁部にかけて緩やかに湾曲して立ち上がる。564は壺の頸～体部で、内・外面にハケが施される。565は壺B7類である。口縁部が外反して開き、体部の外面にハケ、内面にヘラナダが施される。566は壺B3類である。口縁部が上方で水平に開き、端部をつまみ上げ、面取りが施される。567は壺A2類の中型である。口縁部は外反する無文の有段口縁で、頸部が強く屈曲する。568は壺B2類である。569は壺B6類の小型である。口縁部は外反して開き、体部の外面に縦方向のハケ、内面にヘラナダが施される。571～576は壺の体～底部である。571～576は平底、573は丸底を呈する。574は底部が著しく摩耗して角が丸くなっているが、本来は平底であると推測される。576は底部に粉殻の圧痕が付く。

鉢 (図版120・214)

鉢(578～583)がある。578～580は鉢C2類である。578は外反して開く口縁部を持つ平底の鉢である。579は外傾して開く口縁部を持つ。580は半球形の体部を呈する小型の鉢で、内・外面は赤彩される。

581・582は鉢J類である。いずれも脚部高が低く、581は脚部部が外反して開く。583は鉢F類である。底部は丸底で、中央に孔が穿たれている。

高杯 (図版120・214)

高杯(584～590)がある。584は高杯A2類である。杯部は円形の透かしが1か所以上入る。585は高杯B類である。杯部は鉢形を呈し、外面に赤彩、内面は黒色処理される。586～589は脚部である。590は接合部である。

器台 (図版120・214・215)

器台(591～603)がある。591・603は器台A類である。591は内湾する浅身の受部を持ち、脚部に円形の透かしが3か所入る。603は内湾する受部を持ち、脚部に円形の透かしが2か所以上入る。592は器台C類である。立ち上がりの短い有段の受部を持ち、脚部に円形の透かしが3か所以上入る。593は器台E類で、直線的に深く深い受部を持つ。594・598は器台G類である。598は外傾する大きな有段の受部を持ち、脚部に円形の透かしが2か所以上入る。597・599・601は接合部である。602は器台H1類である。受部は短く突出した鐮状で、途中強く屈曲して大きく開き、口縁端部へ至る。

蓋 (図版120・215)

605・606は蓋である。605は蓋A類である。棒状に突起した鈕を持ち、体部の外面にハケ、内面にヘラナデが施される。606は蓋B類である。ボタン状の扁平な鈕を持ち、紐部にナデ、体部の外面にミガキが施される。

ミニチュア土器 (図版120・215)

604はミニチュア土器の体～底部である。内・外面ともヘラナデが施される。

2) 土製品

土製品 (図版120・215)

スプーン状土製品(607) 607はスプーン状を呈する土製品である。小型で持ち手が短く、手づくねで作られている。

土錘(608～611) 土錘はいずれも円筒形で、長軸方向に孔のある管状のものである。608～610は孔の大きさが一定のもので、全面に粗雑なナデが施される。611は上下で孔の大きさが異なるもので、側面にヘラナデが施される。

3) 石器・石製品

竪穴住居・竪穴建物 (図版121～123・215・216)

612は、SI1312出土の滑石製の勾玉である。穿孔が上部に2か所あり、上端寄りのものは径が小さい。614～619はSI1327出土の石器である。614～617は磨石類、614～616は砂岩製、617は閃緑岩製である。614は正面と左・右側面そして上・下端部を使用しており、特に左・右側面には線状の細いくぼみが複数確認できる。615は扁平な楕円形の右側面と上・下端部に敲打痕が見られる。616は正面と左・右側面、そして上・下端部に敲打痕が付くが、特に右側面の使用痕が顕著で、正面のものは浅くくぼむ程度である。617は楕円形の正・裏面と右側面、そして上・下端部を使用しており、上・下端部には敲き磨りの痕跡が顕著で、正・裏面の敲打痕は浅くくぼむ程度である。618は、閃緑岩の扁平な礫の縁辺三方が剝離されている。619は閃緑岩製の台石で、14C区IV層出土のものと接合する。正面中央付近に磨痕及び敲打による

微細なくほみが確認できる。接合状況などから流れ込みの遺物と考えられる。620はSI1046出土のホルンフェルス製の磨石類で、上・下端部に使用痕が確認できる。上端部は敲打による潰れ及び衝撃による剥離、下端部は敲き磨りの痕跡である。裏面は強い衝撃によって剥離している。621はSI1071出土の砂岩製の磨石類である。表面は風化が進み磨痕は観察できないが、正面・縁辺に敲打痕が確認できる。622はSI1195出土の砂岩製の磨石類で、下端部に敲打痕と衝撃による剥離が付く。623-624はSI1294出土の砥石、623が凝灰岩製、624が流紋岩製である。623は扁平な礫の片面を砥面とし、擦痕が確認できる。624は直方体の正面及び右側面を使用し、左側面には整形に伴う工具痕が見られる。625～628はSI1307出土である。625～627は磨石類で、625はホルンフェルス製、626が砂岩製、627が閃緑岩製である。625は垂角礫の後縁部分に敲打痕と敲き磨り痕が見られる。626は正面と右側面、そして下端部を使用しており、正面は磨痕及び浅いくほみが、右側面・下端部には敲打痕がある。627は円礫の正面及び縁辺に敲打痕があり、縁辺の一部は敲き磨り痕である。628は台石で、正面に磨痕及び敲打による微細なくほみが確認できる。が脇の床面直上出土。629はSI1312出土のアメリカ式石臼で、いわゆる「半透明の頁岩」製である。正面右側下部を一部欠損し、また正・裏面に縦方向の剥離痕を持つ素材面が残る。時期は弥生時代後期であり、本遺構に混入したものと考えられる。630～634はSI1381出土の石器である。630-631は磨石類で、630が砂岩製、631が閃緑岩製である。630は垂円礫の上・下端部及び後部分に敲打痕があり、特に後部分には線状の細いくほみが複数観察できる。631は扁平な礫の右側面と上・下端部に敲打痕がある。632は安山岩製の器種不明石器で、剥離面上部に磨痕が確認できる。633は軽石製品で、正面に突起した部分があり、左・右側面に抉りが見られる。用途は浮子か。634は緑色凝灰岩製の台石で、正面に磨痕及び1か所のくほみがある。SI1313出土のものと接合する。635はSI1386出土の軽石製品で、正面は平坦である。

溝 (図版 123・124・125・216)

636・637は周溝状遺構 SD1134 出土の磨石類で、石質は砂岩製である。636の下端部には敲き磨りの痕跡がある。637は、右側面と下端部に微細な敲打痕が確認できる。638はSD1017出土のホルンフェルス製の砥石で、上部と裏面に欠損する。正面に磨痕及び擦痕がある。639・640はSD1031出土の磨石類で、639が砂岩製、640が閃緑岩製である。639は右側面の一部と下端部に敲打痕がある。640は上半を欠損するが、右側面には敲打痕及び線状の細いくほみ、下端部には敲き磨り痕がある。641・642はSD1034出土である。641は閃緑岩製の磨石類で、上・下端部に敲き磨り痕がある。642は閃緑岩製の磨石類で、正面に1か所くほみがある。643～646・660・661はSD1363出土の石器である。643は流紋岩製の砥石で、主に正面を使用するが、側面と比較すると幅が非常に狭い。左・右側面には整形時の工具痕が残る。644は砂岩製の台石で、正面に大きな磨面がある。645・646は磨石類で、両者とも下端部に敲打痕がある。石質は645が砂岩、646はホルンフェルスである。647はSD1369出土の砂岩製の磨石類で、正面に3か所、裏面に1か所くほみが確認できる。

土坑 (図版 124・125・216)

648はSK1014出土のホルンフェルス製の石臼である。裏面の縁辺に加工を施し、また右側縁には潰し部分も確認できる。649はSK1212出土の流紋岩製の小型の砥石である。正面を砥面とし右側面には溝状の磨痕が確認できる。650はSK1286出土の閃緑岩製の大型台石で、正面に敲打による微細なくほみが確認できる。651・652はSK1290出土の磨石類で、粗粒凝灰岩製である。651は上半を欠損するが、正面と下端部を使用し、正面には敲打による浅いくほみが、下端部には敲き磨り痕がある。652は一部欠損するが、正面と下端部を使用する。正面には敲打による浅いくほみが、下端部には敲き磨り痕がある。653は

SK1362 出土の閃緑岩製の磨石類で、表面と左・右側面、そして上・下端部を使用する。表面には敲打による浅いくぼみが、右側面には敲打痕のほか線状の細いくぼみが確認でき、上・下端部にも敲打痕が付くが、上端には衝撃による剥離も見られる。654 は SK1366 出土の砂岩製の磨石類で、下端部に敲打痕及びそれに伴う剥離が付く。655・656 は SK1425 出土の磨石類で、655 が閃緑岩製、656 が砂岩製である。655 の右側面には敲打による線状の細いくぼみ、上・下端部には敲き磨り痕がある。656 は左・右側面に敲打痕及び線状の細いくぼみ、上・下端部には敲き磨り痕がある。また下端部には敲打に伴う剥離も見られる。

焼土・ピット (図版 125・217)

657 は F1219 出土の粗粒凝灰岩製の台石で、正面に浅いくぼみ、表面に敲打による微細なくぼみが確認できる。658・659 はピット出土の磨石類で、砂岩製である。658 は上・下端部に敲き磨り痕がある。P1289 出土。659 は正・裏面と左・右側面、そして上・下端部を使用する。上・下端部には敲き磨り痕があり、そのほかは敲打による浅いくぼみである。P1459 出土。

遺構外 (図版 121・125～127・215・217)

613 は緑色凝灰岩製の管玉である。穿孔は両側から行われたと推測される。660～663 は砥石で、660・661 は接合資料で砂岩製、662 が流紋岩製、663 が安山岩製である。660 は SD1363 出土のもの (661) と接合した大型の砥石で、正・裏面と右側面を使用する。正面の紙面には溝状の磨痕が、右側面と裏面の紙面には弱い磨痕と擦痕が確認できる。なお、正面の溝状の磨痕は 661 と分層後の作業痕跡である。662 は非常に整った形状で、正・裏面と左・右側面を使用する。Ⅲ層出土で、形状などから上層からの混入の可能性がある。663 は正面と右側面の割れ面が摩耗しており、砥石として使用したと考えられる。Ⅲ層出土。664～676 は磨石類で、664～667・672・673 は閃緑岩製、668～670・675・676 は砂岩製、671 は安山岩製、674 は花崗岩製である。664 は右側面と下端部に敲打痕があり、下端は敲き磨りである。665・666 の上・下端部には敲き磨り痕がある。667 は正面と左・右側面、そして上・下端部を使用しており、左・右側面には敲打痕及び線状の細いくぼみ、上・下端部には敲き磨り痕がある。668 は上・下端部に敲打痕がある。669 は正面と左・右側面、そして下端部に敲打痕がある。特に左側面の敲打痕は顕著で、衝撃による剥離も見られる。670 は左・右側面と上・下端部に敲打痕があり、左・右側面には線状の細いくぼみも確認できる。671 は下端部に敲打痕と敲き磨り痕がある。ほかの磨石類と比較すると、やや大型の亜円礫を使用している。672 は小型品で、正面と上・下端部を使用し、正面には浅い敲打によるくぼみが、上・下端部には敲き磨り痕がある。673 は上半が欠損し、正面に敲打による浅いくぼみが、下端部には敲き磨り痕がある。674 は右側面に敲き磨り痕がある。675 は正面と左・右側面に敲打痕が、上・下端部に敲き磨り痕と衝撃による剥離がある。676 は上・下端部と右側面に敲打痕及び敲打による剥離がある。677 は砂岩製の磨石類で、正・裏面にくぼみ及び微細な敲打痕が確認でき、右側面には敲打痕及び線状の細いくぼみが見られる。678 は砂岩製の礫で、周縁3か所には主に正面側に剥離が施されている。石錘であろうか。679 はホルンフェルス製の石錘で、上・下端部に剥離によって挟り部(縄部)を作り出している。

第VI章 自然科学分析

本遺跡は発掘調査によって、沖積地の微高地上に形成された古墳時代前期及び中世の集落跡であることが確認されている。

本章では、遺構・遺物の年代、井戸構築部材や木製品の樹種及び木材利用の傾向の検討を目的として、自然科学分析調査を実施する。

1 放射性炭素年代測定

A 試料

試料は、SI1327 出土土師器甕 (210) の胴上部外面に附着した炭化物、SI1307 出土土師器甕 (283) の口縁部～胴上部外面に附着した炭化物、SI1386 出土土師器甕 (344) の胴部破片の外面に附着したスス状の炭化物である。これらの土師器甕に附着した炭化物は、金属製の工具等を用いて採取した。

B 分析方法

炭化物等に目的物と異なる年代を持つものが混入している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後、HClによる炭酸塩等酸可溶性成分の除去、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶性成分の除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶性成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理)。試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じ切り、500℃(30分)、850℃(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いて $\delta^{13}\text{C}$ を算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma: 68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.02 (Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer)の北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用いる。誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、及び半減期の違い(¹⁴Cの半減期5730±40年)を較正することである。暦年較正は、CALIB 5.02のマニュアルに従い、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いる。暦年較正結果は、測定誤差 σ 、 2σ (σ は統計的に真の値が68%の確

1 放射性炭素年代測定

試料		補正年代 (yrBP)	$\pm 1\sigma$ C (%)	測定年代 (yrBP)	測定機四 Code
SI1327	210 土師器 土器外周付着炭化物	1770 \pm 30	- 25.68 \pm 0.77	1780 \pm 30	IAAA - 83373
SI1307	283 土師器 土器外周付着炭化物	1690 \pm 30	- 24.31 \pm 0.75	1670 \pm 30	IAAA - 83374
SI1386	344 土師器 土器外周付着炭化物	1750 \pm 40	- 23.97 \pm 0.81	1740 \pm 30	IAAA - 83375

第2表 放射性炭素年代測定結果

試料名	補正年代 (yrBP)	暦年較正年代 (cal)						相対比	測定機四 Code				
		σ	cal	AD	-	cal	AD						
SI1327 210 土師器 (付着炭化物)	1768 \pm 31	σ	cal	AD 229	-	cal	AD 263	cal	BP 1721	-	1687	0.802	IAAA - 83373
			cal	AD 277	-	cal	AD 331	cal	BP 1673	-	1619	0.903	
			cal	AD 138	-	cal	AD 199	cal	BP 1812	-	1751	0.107	
		2σ	cal	AD 257	-	cal	AD 348	cal	BP 1743	-	1602	0.881	
			cal	AD 370	-	cal	AD 377	cal	BP 1580	-	1573	0.011	
			cal	AD 965	-	cal	AD 273	cal	BP 1685	-	1677	0.075	
SI1307 283 土師器 (付着炭化物)	1686 \pm 33	σ	cal	AD 304	-	cal	AD 408	cal	BP 1616	-	1542	0.925	IAAA - 83374
			cal	AD 256	-	cal	AD 303	cal	BP 1694	-	1647	0.198	
			cal	AD 315	-	cal	AD 423	cal	BP 1635	-	1527	0.802	
		2σ	cal	AD 259	-	cal	AD 268	cal	BP 1711	-	1682	0.296	
			cal	AD 271	-	cal	AD 335	cal	BP 1679	-	1615	0.704	
			cal	AD 143	-	cal	AD 150	cal	BP 1807	-	1800	0.007	
SI1386 344 土師器 (付着炭化物)	1753 \pm 35	2σ	cal	AD 170	-	cal	AD 193	cal	BP 1780	-	1757	0.025	IAAA - 83375
			cal	AD 210	-	cal	AD 391	cal	BP 1740	-	1559	0.908	

第3表 暦年較正結果

率で存在する範囲、 2σ は真の値が95%の確率で存在する範囲)の値を示す。また、較正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表された値を記す。表中の相対比(確率分布)とは、 σ 、 2σ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

C 結 果

土師器に付着した炭化物の同位体効果による補正を行った測定結果(補正年代)は、SI1327出土土師器(210)の炭化物は 1770 ± 30 yrBP、SI1307出土土師器(283)の炭化物は 1690 ± 30 yrBP、SI1386出土土師器(344)の炭化物は 1750 ± 40 yrBPを示した(第2表)。また、これらの補正年代に基づく暦年較正結果(σ)は、SI1327出土土師器(210)の炭化物はcalAD229-calAD331、SI1307出土土師器(283)の炭化物はcalAD265-calAD408、SI1386出土土師器(344)の炭化物はcalAD239-calAD335である(第3表)。

各土師器に付着した炭化物を対象とした分析結果を参考とすると、SI1327は3世紀前半～4世紀前半ころ、SI1307は3世紀中ころ～5世紀前半ころ、SI1386は3世紀前半～4世紀前半ころの暦年代が推定される。

2 樹種同定

A 試 料

試料は、古墳時代の堅穴住居から出土した柱材(柱根)、中世の井戸の構築部材及び井戸内から出土した木製品等86点である。各試料の詳細は、結果とともに観察表に示す。

B 分析方法

各木製品等の本取りを観察した後、剃刀の刃を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切片を遺物表面から直接採取する。切片をガム・クロラール(塩水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入してプレパレートを作製する。生物顕微鏡で木材組織の種類や

された(第4表)。

古墳時代の柱根(SI1327 P11)は、広葉樹のキハダであった。キハダの木材は、やや柔軟な部類に入り、加工は容易であるが、耐朽性が高い。キハダを柱材として利用した事例は、本遺跡周辺では田屋道遺跡(旧神林村)の古代末~中世前半ころの掘立柱建物[バリノ・サーヴェイ株式会社2008]、新潟県内では三角田遺跡(燕市)の古代の掘立柱建物[バリノ・サーヴェイ株式会社2001]などで確認されている。キハダは、川辺林等を構成する種類であることから、遺跡周辺でも入手可能であったと考えられる。

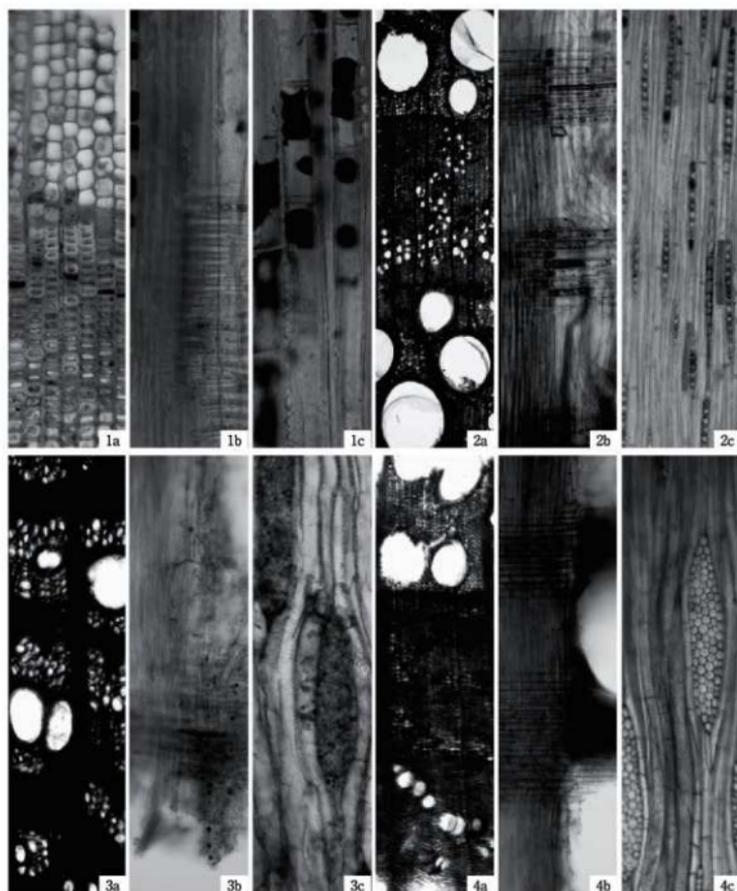
中世の井戸構築部材は、側板と水溜に利用された曲物がある。曲物は、底板と側板がともに柵目取りとなる資料が主体となる傾向が認められた。これらの曲物は、部位や木取りに関わらず、すべて針葉樹のスギであった。スギの木材は、木理が通直で割裂性が高く、加工が容易であり、特に板状の加工に適している。村上市域(旧神林村)の六百地遺跡、大木戸遺跡、石川II遺跡、城田遺跡、桶渡・堀下遺跡、桃川遺跡群、西部遺跡などにおける中世の容器類のうち、曲物(20例)を対象とした分析調査結果によれば、西部遺跡でヒノキが1点認められているほかはすべてスギである[株式会社古環境研究所1998、バリノ・サーヴェイ株式会社2001b・2001c・2002・2003a・2003b・2005]。今回の分析結果は、本地域における曲物の木材利用の傾向と調和する結果と言える。また、井戸の水溜に利用された曲物も、同様の木材利用であったことが示唆される。

一方、井戸の側板も、柵目板状の資料が多く認められた。側板は、SE589試料にケヤキが1点認められたほかはすべてクリであった。クリの木材は、重硬で強度・耐朽性が高い材質を有し、ケヤキの木材も比較的強度・耐朽性が高い。このことから、側板には耐朽性の高い木材が選択的に利用された可能性がある。クリは、杭にも利用が認められることから、同様に強度や耐朽性等の材質を考慮した木材利用が推定される。

村上市域における中世の井戸構築部材を対象とした調査結果によれば、城田遺跡ではスギを主体としてヒノキが混じる組成、六百地遺跡ではスギ、マツ属複雑管束亜属、クリで構成される状況が確認されている[バリノ・サーヴェイ株式会社2001c・2002]。

容器類は、漆器類、鉢及び蓋からなる。このうち、漆器類は、漆器皿と漆器椀、器種不明の破片がある。いずれも横木地であり、皿と椀は柵目取りであった。これらの漆器類は、破片も含めてすべてケヤキであった。ケヤキは、ブナ属やトチノキとともに椀の本地地として、よく確認されている樹種の一つであり、本遺跡でもケヤキが多く利用されていたことが指摘される。本地域では、天王前遺跡でブナ属、桃川遺跡群でクリ、西部遺跡でブナ属、田屋道遺跡でケヤキ、大館跡ではブナ属を主体として、ケヤキ、トチノキが混じる組成が確認されている[バリノ・サーヴェイ株式会社1998・2003b・2005・2008・2009]。このうち、田屋道遺跡では、分析対象とされた漆器椀・皿6点はすべてケヤキに同定されており、今回の分析結果と同様の傾向がうかがわれる。また、容器の鉢もケヤキが利用され、横木地柵目取りとなることから、漆器椀・皿と同様の木材利用が推定される。一方、蓋は、板状を呈し、割裂性の高いスギであった。

食事は、折敷と箸からなる。折敷は、全て底板であり、板状加工が容易なスギの利用が認められた。この結果は、六百地遺跡等での折敷の樹種同定結果とも調和的である。箸は、いずれも削出角棒状を呈し、16点すべてがスギであった。箸状木製品のうち、SE344から出土した2点(90・91)は板状の木製品を転用した可能性が指摘されており、加工時の余材や不要になった木製品等が利用された可能性がある。スギは、用途不明の板材にも確認されており、本遺跡では板状を呈する器種などに多く利用されていたことが推定される。



1. スギ (73)
 2. タリ (80)
 3. ケヤキ (144)
 4. キハダ (SI13ZP11柱根)
- a:木口, b:板目, c:板目

300 μ m: 2-4a
 200 μ m: 1a, 2-4b, c
 100 μ m: 1b, c

第 16 図 木材

第VII章 ま と め

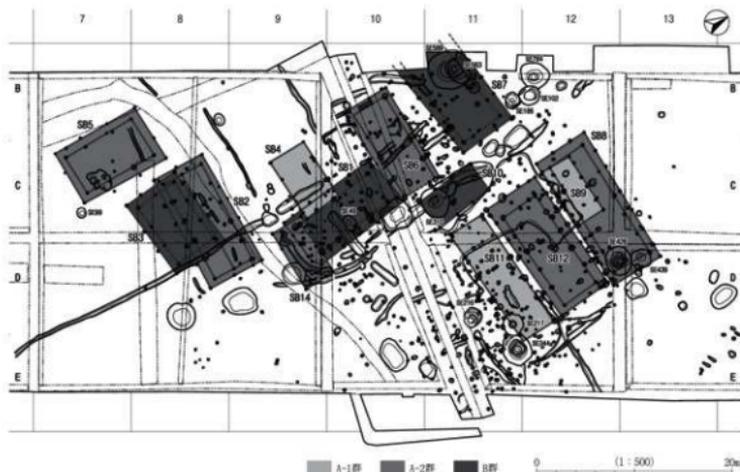
1 中 世

A 中世集落

下新保高田遺跡の上層では掘立柱建物、井戸、土坑などから構成される中世の集落を調査した。中世の遺構は調査区中央付近を中心として東西約70mの範囲に検出したが、地形や遺構の分布から集落は調査区以外の北西・南東方向に伸びるものと想定される。また、集落域の南端は、SD218・672、SA346・678といった遺構で区画していた可能性が高い。

中世遺物は、遺物包含層が剛平されていたため、出土数は少ない。珠洲焼では珠洲焼Ⅲ期～Ⅴ期までのものが出土した。珠洲焼Ⅳ期が中心で、珠洲焼Ⅴ期のものはごく少数にとどまる。白磁・青磁は12世紀代～15世紀代のものが大半で、17世紀初頭に比定される青花がSK100から1点出土しているが、輸入磁器では16世紀代が断絶する。瀬戸美濃焼は、点数は少ないが、古瀬戸中期様式から後期様式Ⅱ期まで確認できる。越前焼は1点のみの出土となる。近世陶磁器は表土からの出土で、遺構からは前述の青花と水田跡(SX430)出土の唐津焼細片のみである。このように輸入磁器でやや年代の古い遺物が出土したが、おおむね13世紀後半から15世紀前半のものが多く、14世紀代が主体になると推測される。15世紀後半以降は、遺物が大幅に減ることから集落が縮小した可能性が高い。新潟県では中世集落は14世紀ころから集村化の気配を見せ、16世紀ころに現在の集落に発展したとされる〔坂井1997〕。本遺跡は微高地内に立地する散村的な集落で、廃絶の時期は上記の集村化の時期におおむね合致する。

検出した掘立柱建物は14棟で、長軸方向から11棟の東西棟と3棟の南北棟に区別できる。このうち半数以上の8棟が3面ないし4面に廂が付く構造である。掘立柱建物の平均床面積(敷地面積)は $30\text{m}^2(40\text{m}^2)$ を超え、廂付建物と側柱式建物の平均床面積(敷地面積)は $37.8\text{m}^2(57.1\text{m}^2)$ 、 22.5m^2 で、廂付建物の方が大きいことが分かる。長軸方向との関係では棟数において東西棟が多数を占めるが、東西・南北棟とも廂付建物・側柱式建物を含み、構造の違う建物がどちらかに偏ることはない。また、大半の溝は掘立柱建物の長軸と方向がおおむね合致することから、溝は屋敷地の区画や雨落ち溝の可能性が高い。掘立柱建物の詳細時期は、SB12が出土遺物から14世紀中葉前後と想定されるが、そのほかの建物は遺物が少なく特定は難しい。しかしSB1・6、SB1・14、SB2・3、SB8・9、SB8・12はそれぞれ重複し、建物には新旧関係がある。このうちSB1・14ではSB1がSB14の柱穴を切ることからSB14が古い。SB2・3ではSB3がSB2の柱穴を切ることからSB2が古く、SB2・3とSB4は直接重複していないが、SD87との切り合い関係からSB4が一番古い。また、SB8・12はSB8がSB12の柱穴を切ることからSB12が古く、SB8・9・12とSB11は直接重複していないが、整地範囲(SX315)との関係からSB11が一番古い。以上のようにSB2・3・4などの新旧関係から、掘立柱建物群は最低でも3段階に分けて構築されたものと推測される。そこで掘立柱建物長軸方向の微妙な角度の違いに着目すると、東西棟ではほぼ東西方向が長軸になるもの(SB2・4・6・8・9・11・12・14、以下A群とする)とN-95°-E前後が長軸方向になるもの(SB3・7、以下B群とする)に二分でき、A群は更に重複関係や長軸方向からSB4・9・11(A-1群)とSB2・6・8・12・14(A-2群)に分けられる。A-2群のうち、SB8・12は新旧関係が認められることから細分される可



第17図 掘立柱建物変遷図

能性もある。また、南北棟にはA-2群にほぼ直交するSB5とB群に直交するSB1・10が存在し、それぞれA-2群、B群との関連性がうかがえる。各群は前述の重複関係からA-1群、A-2群、B群の順に構築されたと考えられ、それぞれの年代は、A-1群が整地範囲(SX315)との関係から13世紀後半～14世紀前葉前後、A-2群はSB12出土遺物から14世紀中葉を中心とする時期、B群は集落の存続年代から14世紀後葉～15世紀前葉と推定される。

次に建物規模について見てみる。本遺跡とほぼ同時期となる村上市田原道遺跡〔大島ほか2008〕、見附市坂井遺跡〔小田ほか2006〕、上越市樋田遺跡〔水澤1999〕などの集落では、掘立柱建物は総柱式建物、廂付建物、側柱式建物で構成され、平均床面積は10～20m²前後と小さく、上越市今池遺跡においても3×3間、2×3間の小型のものが多くとされる〔坂井ほか1984〕。本遺跡の掘立柱建物は床面積が14.3～50.3m²で、前記の遺跡と比較すると大きいことが分かる。これらの遺跡のうち、田原道遺跡を除いた各遺跡は建物規模から零細農民の集落とされており、それより規模の大きい掘立柱建物で構成される本遺跡の集落には、より富裕な人達が生活していたと考えられようか。富を示す具体的な資料は少ないが、前述の建物以外に比較的高級品とされる「粘青磁」の出土や、規模の大きな複数の井戸の存在が挙げられる。今後は、集落を造営した人達の社会的・経済的地位や身分の解明が課題となろう。

B 井 戸

調査区からは13基の井戸を検出した。構造別には横板組(井籠組・隅柱留)の井戸側を持つもの9基と、素掘りのもの8基、そのほか井戸側と考えられる材が出土したが、横板組の材と形状などが異なることから構造不明としたもの1基がある。これらの井戸は底部に水溜施設を持つものと持たないものがあり、横板組及び構造不明の井戸は水溜施設を持つ。素掘りの井戸は持つものと持たないものが各4基ある。井戸の分布は、単独で存在するものと2～3基まとめて分布するものがあり、後者は横板組と素掘りの井戸が

組になり、切りあい関係から素掘りの井戸の方が新しいことが分っている。井戸の覆土については、人為的な埋め戻しと自然に埋没したものに大別できる。自然埋没と推測されるものはSE99・563の2基で、ともに素掘りの井戸である。それ以外は、すべて人為的な埋め戻しと考えられる。

人為的に埋め戻された井戸の中には、祭祀行為を推測できるものがある。以下にこれらの井戸について触れる。多くの井戸で覆土中に炭化物層を確認している。またSE428において、ヨシと推定される腐食植物が井戸下部から水平堆積した状態で出土している。そしてSE102の覆土最下層、底面からやや浮く状態で木筒状の木製品が出土した。また、SE217とSE344の水溜施設には礫が置かれ、ともに水溜の口を塞ぐ状態で出土した。覆土中の炭化物層は、県内各地の井戸で確認されており、1例として村上市田屋道遺跡では、炭化物に含まれるイネ科の種実やエゴマなどの存在から井戸廃棄時の祭祀に関わる可能性が指摘されている〔大島^{ほか}2008〕。またSE428例は旧神林村の民俗例に、井戸の人為的な埋め戻しに際し、梅果（梅干しでも）とヨシとの語呂合わせ「ウメテヨシ」を用いた祭祀があり〔田辺2001b〕、SE428ではウメは出土していないが井戸廃棄時の祭祀行為と見なされる。また、SE102例の木筒状の木製品は、形状や出土位置から井戸廃棄時の祭祀に伴う遺物の可能性がある。

井戸内から礫・焼礫が出土する例は多数あり、上越市用言寺遺跡〔加藤2006〕・村上市田屋道遺跡〔大島^{ほか}前掲〕では、底面に礫が敷かれた例が、また距離は離れるが、鎌倉市内の田楽辻子周辺遺跡では切石を底面に据えた例〔田畑2001〕が報告されている。これらのうち、田屋道遺跡では浄水に関わるものと推定しているが、そのほかは井戸廃棄時の祭祀行為と推測しており、本遺跡の事例も礫の検出状況から祭祀に関わるものと考えたい。

2 古墳時代前期

A 出土土器の編年の位置づけ

下新保高田遺跡の下層からは古墳時代前期の土師器が大量に出土した。これらの土器はその特徴や出土状況から複数時期にわたるものと考えられる。出土土器の年代は、〔日本考古学協会1993〕及び〔滝沢2005a・b〕で示された編年（以下、新潟シンボ編年）を基軸とし、〔滝沢2008〕を参考にした。以下、主な遺構について見ていくこととする。

SI1327

SI1327は調査区で最大となる堅穴住居である。出土土器は壺・甕・鉢・器台などであり、ほかの遺構と比較して鉢が多く見られる。壺では205・206といった小型丸底壺（Q類）を含む。205はほぼ完形で底部は小さな平底となり、類例は胎内市西川内南遺跡などで確認できる。また壺A3類の202は有段部の稜線及び内面の段が不明瞭である。甕は口縁端部を面取りされたB類（211）を含むが、口縁端部を丸くおさめたもの（C類）が主体である。器台は結合器台（H類）が見られず、すべて小型器台である。このうち224は断面X字形を呈するF類である。上記のうち、壺Q類・器台F類は畿内系土器とされるもので、特に壺Q類は県内で9期以降多く認められることから、遺構の時期は新潟シンボ編年9期と考えられる。

SI1071

遺物は住居東側に片寄り、出土土器は壺が中心でそのほかに器台が見られる。壺は口縁端部を面取りするB類が多数を占め、その中でも端部をつまみ上げられたB1類が主体となる。また器台は鈎を持つH2類である。遺構の時期は壺B1類が主体になることから新潟シンボ編年7期と考えられる。

SI1307

出土土器は壺・甕・鉢・器台などで、甕が主体である。甕は口縁端部を面取りされたもの（B類など）、丸くおさめるもの（C類など）の両者があり、後者の割合が多い。またC類には276のように口縁先端が先細りにならない新しい様相を示すものも含まれる。器台はすべて小型で、D類が主体となる。SI1327出土器台と比較すると、器高が高く古い様相と考えられる。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年8期と考えられる。

SI1315

出土土器は壺・甕・器台である。壺にはA・B類があり、有段部の稜線は不明瞭で口縁端部を丸くおさめるものである。甕は口縁端部を面取りされるもの、丸くおさめるもの両者がある。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年7～8期と推測され、SI1071出土の甕との比較から8期前後と考えられる。

SI1381

出土土器は壺・甕・鉢・器台・高杯などで、甕が主体である。壺にはA・D類があり、口縁端部を面取りされるもの、丸くおさめるもの両者がある。甕はB類が主体となるが、口縁端部のつまみ上げが弱いことからSI1071より後出と考えられる。鉢はA1類で、類例は西川内南遺跡にあり、8期とされている。遺構の時期は新潟シンボ編年7～8期と推測される。

SI1386

出土土器は壺・甕・高杯などで、甕が主体である。壺はA2類で、有段部の稜線は不明瞭で、口縁端部が面取りされる。甕は口縁端部を面取りされるもの（B類など）、丸くおさめるもの（C類など）の両者があり、ほぼ同数である。ただしC類には344のように口縁先端が先細りにならない新しい様相を示すものも含む。また、SI1381同様、口縁端部のつまみ上げが弱いものが多い。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年7～8期と推測され、SI1071出土の甕との比較から8期前後と考えられる。

SD1034

出土土器は壺・甕・鉢・器台などで、甕が主体である。甕にはB・C類があり、両者はほぼ同数である。B類ではつまみ上げが強いもの（388・393）、C類では新しい要素とされる口縁先端が先細りにならないもの（394）を含む。鉢はC1類である。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年7～8期と推測される。

SD1134

出土土器は壺・甕・鉢・器台などで、甕が主体である。壺にはA3・E1類があり、A類は有段部の稜線が不明瞭である。甕は口縁端部を面取りされるもの（E1類）、丸くおさめるもの（C・E2類）の両者があり、後者が多い。鉢はA1類が2点あり、西川内南遺跡などの類例から8期と推測される。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年8期前後と考えられる。

SD1363

出土土器は壺・甕・鉢・器台などであり、ほかの遺構と比較して壺が多く見られる。壺A2類の418は口縁端部を丸くおさめ、有段部の稜線がやや不明瞭となる。甕にはB・C類の両者が認められ、C類が主体である。鉢にはSI1381・SD1134で確認できるA1類がある。器台はすべて小型で、431のように器高が低いものや、古い要素となる口縁端部上端をつまみ上げたもの（429・430）も含む。これらのことから、遺構の時期は新潟シンボ編年7～8期と考えられる。

2 古墳時代前期

下新保高田	埴野編年 [田嶋 1986]	山三貫Ⅱ遺跡 [坂井 1980]	坂井・川村編年 [坂井・川村 1993]	新潟シンガ編年 [日本考古学会 1993]	一之口遺跡東地区 [春日 1994]	川村 [川村 2000]	西川内南遺跡 [野水ほか 2005]
6群			Ⅱ-2期	6期		2段階	西川内Ⅰ期
Ⅰ期	7群		Ⅱ-3期	7期	Ⅰ期	3段階	西川内Ⅱ期
Ⅱ期	8群		Ⅲ期	8期	Ⅱ期	4段階	西川内Ⅲ期
Ⅲ期	9群	Ⅰ期	Ⅳ期	9期	Ⅲ期	5段階	西川内Ⅳ期
Ⅳ期	?		?	?	?	?	?

第5表 編年対応表 ([野水ほか 2005] を変更)

SK1126

出土土器は壺・甕・器台・鉢などである。甕にはB1類・C5類、鉢はC1類がある。甕B1類となる466は口縁端部上端をつまみ上げ、幅広く面取りされる。器台はA類で脚部上部が柱状となり、古い様相を示す。これらのことから、遺構の時期は新潟シンガ編年7期と考えられる。

のように7～8期では器種組成などにおいて大きな変化がなく、SD1363のようにどちらに帰属するか不明な遺構も複数存在するが、全体としては新潟シンガ編年7～9期に収まる。

B 集落の変遷

下新保高田遺跡の下層は、堅穴住居・堅穴建物、掘立柱建物、円形周溝状遺構、溝、土坑、焼土などから構成される古墳時代前期の集落で、上層(中世)同様、集落は調査区外の北西・南東方向に伸びるものと想定される。調査区内での集落の時期幅は、前述のとおり新潟シンガ編年7～9期と考えられる。ここでは、この時期区分を基に検出遺構を下新保高田Ⅰ期～Ⅲ期(第5表)に区分し、調査区内における集落の変遷について若干述べることにする。なお、土器群は明確ではないが遺構検出面の違いや重複関係からⅣ期を設定した。

各期の代表的な遺構は、以下となる。

下新保高田Ⅰ期	SI1071、SK1126
下新保高田Ⅱ期	SI1307
下新保高田Ⅲ期	SI1327
下新保高田Ⅳ期	SD1017・1188、焼土遺構

下新保高田Ⅰ期

本期はSI1071やSK1126などを想定する。Ⅱ期と器種組成で大きな差はなく、判別が苦しむ遺構も多数ある。現状では調査区中央から南側にのみ本期と考えられる遺構が分布するが、調査区北側において時期の特定ができない複数の堅穴遺構が存在することから、この方面にも本期の遺構が分布していたものと考えたい。

下新保高田Ⅱ期(新潟シンガ編年8期)

本期はSI1307を基準とし、そのほかSI1315・1386やSD1134・1363などが想定される。前述のとおり、Ⅰ期との判別が困難なものも多いが、多数の遺構が想定されることから本期が遺跡の主体時期と考えられる。遺構の分布を見ると円形周溝状遺構SD1134が調査区内の遺構分布のほぼ中央に位置することから、この時期の中心的な遺構であった可能性が高い。また、SI1315やSI1386が時期不明の複数の堅穴遺構と重複し、SD1134はSD1363と重複関係にあるなど、本期は更に細分できる可能性がある。

下新保高田Ⅲ期（新潟シンボ編年9期）

本期はSI1327を基準とするが、そのほかの遺構は不明である。ただし、時期不明とした遺構の中にはⅢ層に類似する覆土を持つものが複数あり、これらが本期の遺構となる可能性が高い。集落は、Ⅲ期の土器が遺構及び包含層においてごく少数の出土にとどまることから、前段階と比較して大きく縮小したと考えられる。その一方、SI1327は調査区内で最大となる竪穴住居であり、その位置づけなどが今後、問題となる。

下新保高田Ⅳ期（新潟シンボ編年9期以降）

本期はSD1017・1188、焼土遺構（F）などが想定される。本期の遺構はⅣ層上面で検出したものが大半であり、覆土もほかの時期の遺構と異なりⅢ層類似の土層が主体である。本期と想定した遺構から出土した遺物は極めて少なく、遺物包含層（Ⅲ層）からもⅣ期以降は出土していない。また、焼土遺構やSD1017・1188は竪穴遺構などの多数の遺構を切っており、焼土遺構は竪穴住居に伴わない単独の検出であるなど、竪穴遺構を中心とするⅠ～Ⅲ期の集落とは異なった様相で、集落廃絶後または移動後の土地利用の状況を示すものと考えられる。

C 石器について

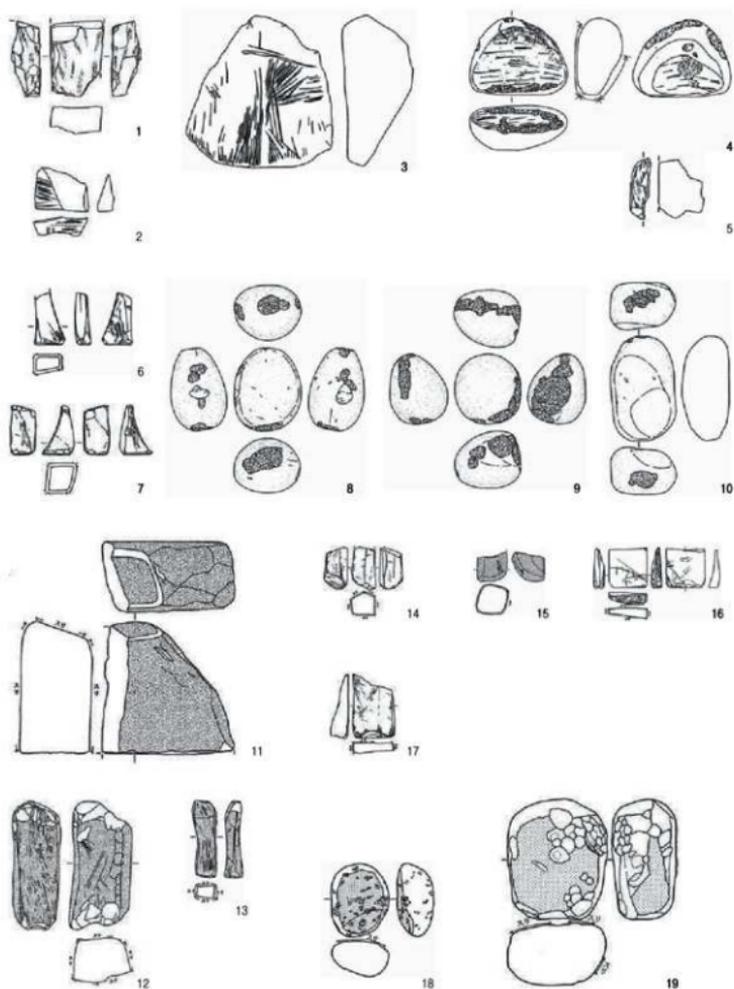
下新保高田遺跡の下層から出土した石器は、92点を数える。石器の器種及び数量は、石鏃1点、磨石類62点、砥石12点、台石7点、石錘2点、剥片2点、軽石製品3点で、そのほかに器種不明としたものが3点ある。埴属時期については、検出層位などから古墳時代前期と考えられる。ただし、SI1312出土の石鏃は形態から弥生時代であろう。器種別には、磨石類・台石・石錘といった礫石器が主体で、剥片石器は非常に少ない。石質は閃緑岩・花崗岩・ホルンフェルス・砂岩が主体で、三面川で容易に採取できる石材である。

数の多い磨石類を見ると、円礫・楕円礫や扁平な楕円礫を素材とし、使用部位は縄文時代の磨石類のように正・裏面を使うものは少なく、上・下部部や側面・側縁を多用する。また上部部と側面、上・下部部と正面といったように複数箇所を使用するものが多い。多くの磨石類には、上・下部部に敲き磨り痕や敲打痕などの使用痕跡が確認できる。円礫・楕円礫の上・下部部は敲き磨り痕が大半を占め、扁平な楕円礫では敲打痕が主体であり、素材形状によって作業内容が若干異なる可能性がある。側面・側縁には敲き磨り痕は少なく敲打痕が主体で、線状の細いくぼみを持つものが多数含まれている。正・裏面に磨面があるものは626・640と少なく、敲打による浅いくぼみやアバタ状の敲打痕を持つものが大半である。この敲打による浅いくぼみやアバタ状の敲打痕を持つ石器は堅果類の加工に使用されたと推定されている〔小島1997〕。

該期の周辺遺跡を見ると、端端遺跡〔前川¹⁾2005〕で砥石5点、石核・剥片各1点、石鏃6点¹⁾、西川内南遺跡〔野水²⁾2005〕で敲き石3点、砥石2点、野中土手付遺跡〔佐藤³⁾2006〕で砥石3点、正尺C遺跡で砥石7点²⁾、磨石類1点、両極石器1点が出土している（第18図）。主要な器種は砥石で、本遺跡において多数を占める磨石類は正尺C遺跡・西川内南遺跡で出土しており、磨石類が特別なものではないことが分かる。しかし出土数量を見ると、本遺跡が突出しており、遺跡間における生産内容の違いがうかがえる。

1) 石器の中には時期不明と報告されたものも含む。砥石の4は形状から磨石類の可能性が高い。

2) 砥石の19は形状から磨石類の可能性が高い。



1～5 砥石 (道端遺跡)
 6・7 砥石 8～10 砥石 (西川内南遺跡)
 11～13 砥石 (野中土手付遺跡)
 14～17・19 砥石 18 磨石類 (正尺C遺跡)
 ※器種名は各報告書による。

0 30cm (1:6)

第18図 古墳時代前期の砥石・磨石類

要 約

- 1 下新保高田遺跡は新潟県村上市下新保字高田 1980 ほかに所在し、三面川左岸の沖積地の微高地上に立地する。標高は現水田面で約 17m を測る。
- 2 本発掘調査は、日本海沿岸東北自動車道建設に伴い平成 20 年度に実施した。
- 3 発掘調査によって中世（上層）と古墳時代前期（下層）の遺構・遺物を検出した。調査面積は上層 5,280m²、下層 4,993m² の延べ 10,273m² である。

中 世（上層）

- 4 遺構には、掘立柱建物 14 棟、井戸 13 基、土坑 44 基、溝 34 条、整地範囲 2 基などである。掘立柱建物は廂付きの構造が多く、長軸方向から東西に長い棟と南北に長い棟がある。井戸は素掘りと井戸側を持つものに大別でき、井戸側を持つものはすべて横板組である。
- 5 遺物は珠洲焼や瀬戸美濃焼、青磁・白磁といった輸入磁器、木製品、石器・石製品、金属製品である。遺物の時期は、珠洲焼や輸入磁器などから 14 世紀が中心と考えられる。
- 6 遺跡は 14 世紀代を中心とする集落で、遺構や出土遺物から富裕農民層の集落と推測される。

古墳時代前期（下層）

- 7 遺構には、竪穴遺構 23 軒、掘立柱建物 2 棟、円形溝状遺構 1 基、溝 20 条、土坑 139 基、焼土遺構 17 基などがあり、そのほか自然流路を 1 条検出した。竪穴遺構は戸の有無により竪穴住居と竪穴建物に分け、両者はほぼ同数である。
- 8 遺物は、土師器や石器・石製品で、土師器は新潟シンボ編年の 7～9 期と考えられる。石器については、ほか遺跡と比較して磨石類が多いことが特徴的である。
- 9 遺構出土の土師器裏に付着した炭化物を年代測定した結果、暦年較正年代で 3 世紀前半～5 世紀前半ころの数値が得られた。
- 10 遺跡からは多数の遺構が検出され、遺構の分布は調査区外へ広がると推測できることから、遺跡は比較的大きな集落であったと想定される。また SI1327 は 1 辺 8m を測り、面積が 71m² を超える古墳時代前期としては新潟県内最大級の竪穴住居である。

引用文献

- 青木 学¹⁾ 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第180集 松蔭東遺跡・中曽根遺跡Ⅱ・大船跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 青木 学¹⁾ 2009 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第192集 大船跡Ⅱ・東興野遺跡・高山東遺跡・窪田遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 石川博行 2009 『堂の前遺跡』『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成20年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 石丸和正¹⁾ 2003 『新潟県岩船部における弥生時代中期～後期にかけての様相―村上市砂山遺跡・滝ノ前遺跡を中心に―』『三面川流域の考古学』第2号 奥三面を考える会
- 伊藤康倫¹⁾ 1993 『二本松東山遺跡』新潟県聖籠町教育委員会
- 上田秀夫 1982 『14～16世紀の青磁椀の分類』『貿易陶磁研究』No2 日本貿易研究会
- 大島秀俊¹⁾ 2008 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第181集 田屋道遺跡Ⅰ・宮の越遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 岡本淳一郎 2003 『周溝をもつ建物』の基礎的研究』『富山大学考古学研究室論集 蟹気楼』六一書房
- 尾崎高宏¹⁾ 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第107集 正尺A遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 小田由美子¹⁾ 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第169集 坂井遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 春日真実 1994 『第四章 4.C. 古墳時代前期の遺物』『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第60集 一之口遺跡東地区』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 加藤 学¹⁾ 2001 『新潟県埋蔵文化財調査報告書第106集 松影入遺跡』新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 加藤 学¹⁾ 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第159集 用言寺遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 加藤 学 2008a 『村上I.C.～朝日I.C.間 遺跡推定地12 試掘調査』『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成19年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 加藤 学 2008b 『村上I.C.～朝日I.C.間 遺跡推定地15 試掘調査』『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成19年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 川村浩司 2000 『上越市の古墳時代の土器様相―関川右岸を中心として―』『上越市史研究』第5号 新潟県上越市
- 小島 隆 1997 『凹石・多孔石考』『三河考古』10 三河考古学談話会
- 坂井秀弥¹⁾ 1984 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第35集 今池遺跡・下新町遺跡・子安遺跡』新潟県教育委員会
- 坂井秀弥 1997 『第5章第5節 中世集落の展開と城館の動向』『中・近世の北陸―考古学が語る社会史―』桂書房
- 坂井秀弥¹⁾ 1989 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第53集 山三賀Ⅱ遺跡』新潟県教育委員会
- 坂井秀弥・川村浩司 1993 『古墳出現前後における越後の土器様相』『磐越地域における古墳形成過程の研究』『磐越地域における古墳形成過程の研究』研究者グループ
- 佐藤友子¹⁾ 2006 『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第164集 野中土手付遺跡・砂山中道下遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 関 雅之 1999 『葛塚遺跡 新潟県豊栄市葛塚遺跡発掘調査報告』新潟県豊栄市教育委員会
- 滝沢規朗 2005a 『土器の分類と変遷―いわゆる北陸系を中心として―』『新潟県における高地性集落の解体和古墳の出現』新潟県考古学会
- 滝沢規朗 2005b 『越後・佐渡における弥生時代後期～古墳時代前期の「く」字鏝について』『三面川流域の考古学』第4号 奥三面を考える会

- 滝沢規朗 2008 「旧紫雲寺古塚周辺の西川内南遺跡出土土器について－阿賀北における古墳時代前期の土器検討－」『三河川流域の考古学』第6号 奥三河を考える会
- 滝沢規朗 2009 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第199集 山元遺跡」新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 田嶋明人 1986 「漆町遺跡出土土器の編年的考察」『漆町遺跡』I 石川県立埋蔵文化財センター
- 田辺早苗 2001a 「神林村埋蔵文化財調査報告 第9次 衣田遺跡・道土遺跡」新潟県神林村教育委員会
- 田辺早苗 2001b 「越後の様相」『中世北陸の井戸』北陸中世考古学会
- 田畑衣理 2001 「2. 鎌倉における井戸祭祀」『中世北陸の井戸』北陸中世考古学会
- 田海義正 2008 「村上市谷地遺跡 確認調査」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成19年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 鶴巻康志¹⁾ 2001 「新発田城跡発掘調査報告書Ⅲ 第11・12地点」新潟県新発田市教育委員会
- 寺崎祐助¹⁾ 2004 「新潟県埋蔵文化財調査報告書第135集 反貫目遺跡」新潟県教育委員会・(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子¹⁾ 2006 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第165集 馬見坂遺跡・正尺A遺跡・正尺C遺跡」新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 土橋由理子 2009 「古渡路遺跡」『新潟県埋蔵文化財調査事業団年報 平成20年度』財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 日本考古学協会 1993 「東日本における古墳出現過程の再検討」日本考古学協会
- 新潟県考古学会 2005 「新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現」新潟県考古学会
- 野水晃子¹⁾ 2005 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第146集 西川内北遺跡 西川内南遺跡」新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 藤澤良祐 2008 「中世瀬戸窯の研究」高志書院
- 古澤安史¹⁾ 2004 「京ヶ瀬村埋蔵文化財発掘調査報告書 第3集 村下遺跡発掘調査報告」新潟県京ヶ瀬村教育委員会
- 北陸中世考古学研究会 2001 「中世北陸の井戸個分類」『中世北陸の井戸』北陸中世考古学会
- 細井佳浩¹⁾ 2006 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第166集 土居下遺跡」新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 前川雅夫¹⁾ 2005 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第142集 道端遺跡Ⅲ」新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 水澤幸一 1999a 「中世越後の城館」『中世の越後と佐渡 遺物と文書が語る中世的世界』環日本海歴史民俗学叢書7 高志書院
- 水澤幸一 1999b 「中条町埋蔵文化財調査報告書 第17集 町内遺跡V」新潟県中条町教育委員会
- 水澤幸一 2001 「中条町埋蔵文化財調査報告書 第21集 下町・坊城遺跡V」新潟県中条町教育委員会
- 水澤幸一¹⁾ 2004 「中条町埋蔵文化財調査報告書 第31集 屋敷遺跡第2次」新潟県中条町教育委員会
- 水澤幸一¹⁾ 2006 「城の山古墳」『胎内市埋蔵文化財調査報告書第1集 市内遺跡I』新潟県胎内市教育委員会
- 村上市 1999 「村上市史 通史編1 原始・古代・中世」新潟県村上市
- 森田 勉 1982 「14～16世紀の白磁の形式分類と編年」『貿易陶磁研究』No.2 日本貿易研究会
- 横山勝栄¹⁾ 1983 「新潟県埋蔵文化財調査報告書 第33内越遺跡」新潟県教育委員会
- 横山勝栄¹⁾ 2005 「フィールドノート 猿澤城の研究」『新潟考古』第16号 新潟県考古学会
- 吉井雅勇 1994 「新潟県荒川町埋蔵文化財調査報告書 第2集 古谷地B遺跡・寺田遺跡・赤井遺跡」新潟県荒川町教育委員会
- 吉岡康暢 1994 「中世須恵器の研究」吉川弘文館
- 吉村光彦 2003 「中条町埋蔵文化財調査報告書 第23集 大塚遺跡第2次」新潟県中条町教育委員会
- 吉村光彦 2004 「中条町埋蔵文化財調査報告書 第29集 大塚遺跡第3次」新潟県中条町教育委員会

自然科学分析引用文献

- 林 昭三 1991 「日本産木材」『顕微鏡写真集』京都大学木質科学研究所
- 伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料』31 京都大学木質科学研究所 81-181.
- 伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料』32 京都大学木質科学研究所 66-176.
- 伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料』33 京都大学木質科学研究所 83-201.
- 伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料』34 京都大学木質科学研究所 30-166.
- 伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料』35 京都大学木質科学研究所 47-216.
- 株式会社古環境研究所 1998 「石川Ⅱ遺跡出土木製品の樹種同定」『神林村埋蔵文化財報告 第7 飯岡山崎遺跡・石川Ⅱ遺跡』新潟県神林村教育委員会 69-71.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 1998 「柱根等の用材」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第89集 天王前遺跡・有明の場遺跡・石川遺跡』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 48-51.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2001a 「三角田遺跡から出土した木材の樹種」『燕市埋蔵文化財調査報告書 第1集 三角田遺跡』新潟県燕市教育委員会 45-49.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2001b 「里本庄遺跡群の自然科学分析」『神林村埋蔵文化財報告 第11 里本庄遺跡群 内御堂遺跡・大木戸遺跡・里本庄B遺跡・光明寺遺跡』新潟県神林村教育委員会・山武考古学研究所 34-54.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2001c 「城田遺跡の自然科学分析」『神林村埋蔵文化財報告 第10 城田遺跡(本文編)』新潟県神林村教育委員会・山武考古学研究所 57-77.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2002 「六百地遺跡の自然科学分析」『神林村埋蔵文化財報告 第13 六百地遺跡』新潟県神林村教育委員会・山武考古学研究所 13-42.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2003a 「橋渡・堀下遺跡の自然科学分析」『神林村埋蔵文化財報告 第18 橋渡・堀下遺跡』新潟県神林村教育委員会・山武考古学研究所 13-22.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2003b 「桃川遺跡群の自然科学分析」『神林村埋蔵文化財報告 第19 桃川遺跡群 石川遺跡・草田遺跡・桃川板碑・堀下瓦窯跡』新潟県神林村教育委員会・山武考古学研究所 18-55.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2005 「自然科学分析」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第148集 西部遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 49-74.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2008 「自然科学分析」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第181集 田原道遺跡Ⅰ・宮の越遺跡Ⅰ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 56-73.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2009 「自然科学分析」『新潟県埋蔵文化財調査報告書 第192集 大館跡Ⅱ・東興屋遺跡・高山東遺跡・窪田遺跡Ⅱ』新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 27-36.
- Richter H.G., Gasser D., Heinz I. and Gasson P.E. (編) 2006 「針葉樹材の識別」『IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト』伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修) 海青社 70p. [Richter H.G., Gasser D., Heinz I. and Gasson P.E. (2004) *IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*]
- 高地 謙・伊東隆夫 1982 『図説木材組織』地球社 176p.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編) 1998 「広葉樹材の識別」『IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト』伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修) 海青社 122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*]

掘立柱建物(1)

遺構名	グランド	構造	桁行	梁間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
S51	9・30C・D	掘立柱物・4面周	4間(約8.6m)	2間(3.6m)	N57°E	30.1m ² (56.1m ²)	中世		
柱穴No.	位置	平面形	断面形	平面面積(m ²)	深さ(m)	底面傾斜(%)	柱状	出土遺物	遺構関係
862	10C8	楕円形	台形状	0.46 × 0.38	0.63	26.19	*		
70	10C12	楕円形	箱状	0.30 × 0.26	0.75	13.90	*		
356	10C11・16	長楕円形	漏斗状	0.57 × 0.36	0.89	15.81	*		
339	9C20	長楕円形	U字状	0.44 × 0.26	0.81	16.10	*		
656	9C24	—	U字状	—	0.56	16.06	○		SI69 >
364A	9C5	楕円形	漏斗状	0.46 × 0.40	0.88	13.90	○		SI14P364 <
373	10C11・10D1	楕円形	漏斗状	0.54 × 0.50	0.89	13.91	○	B5	
366	10C22	—	—	—	0.78	13.89	○		SE49 >
53	10C18	楕円形	U字状	0.52 × 0.43	0.90	13.82	○		SD54 <
865	10C19	楕円形	箱状	—	0.60	16.27	○		
853	10C3・8	楕円形	台形状	0.54 × 0.38	0.28	16.25	○		
73	10C7	楕円形	U字状	0.32	0.69	13.97	*		
356	10C11	楕円形	U字状	0.26 × 0.23	0.24	16.48	*		
48	9C20	楕円形	台形状	0.35 × 0.25	0.33	16.40	*		
46	9C19	楕円形	不整	0.13	0.39	16.37	*		
57	9C23	楕円形	U字状	0.31 × 0.22	0.12	16.58	*		
644	9C24	楕円形	U字状	0.19 × 0.13	0.50	16.13	*		
24	9D4	—	V字状	—	0.72	16.04	*		P23 >
21	10C8	楕円形	U字状	0.46 × 0.38	0.43	16.25	*		
673	10C8	楕円形	U字状	0.26 × 0.22	0.50	16.40	*		
366	9C10	楕円形	U字状	0.27 × 0.20	0.52	16.28	*		
634	10D2	楕円形	V字状	0.44 × 0.35	0.52	16.10	*		
367	10C22	楕円形	U字状	0.34 × 0.20	0.43	16.35	*		
374	10C20	—	U字状	—	0.51	16.17	*		
(670)	10C14・15・19・20	楕円形	U字状	0.33 × 0.28	0.58	16.38	○		SK813 >
(809)	10C9・14	楕円形	U字状	0.50 × 0.39	0.60	16.15	○		
56	10C17	楕円形	台形状	0.35 × 0.26	0.21	16.50	○		
397	10C17	楕円形	U字状	0.17	0.28	16.42	*		
363	9C25	楕円形	不整	0.30 × 0.23	0.28	16.55	*		

遺構名	グランド	構造	桁行	梁間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
S22	8・9C・D	掘立柱物・4面周	5間(約11.0m)	2間(4.2m)	N87°E	46.2m ² (73.1m ²)	中世		
柱穴No.	位置	平面形	断面形	平面面積(m ²)	深さ(m)	底面傾斜(%)	柱状	出土遺物	遺構関係
172	8C12	楕円形	漏斗状	0.37 × 0.26	0.38	13.96	○		
130	8C17・18	楕円形	漏斗状	0.67 × 0.34	0.50	16.15	*		
127	8C23	方形	U字状	0.51 × 0.42	0.57	16.13	○		
400	8D4	楕円形	漏斗状	0.54 × 0.50	0.77	15.86	○		
34	8D4・9	楕円形	U字状	0.55 × 0.48	0.32	16.32	○		SD85 <
35	8D15	楕円形	箱状	0.30 × 0.26	0.42	16.17	○		
30	9D6	楕円形	U字状	0.29 × 0.22	0.19	16.33	*		
509	9D7	楕円形	U字状	0.50 × 0.42	0.44	16.19	*		
385	9D1	楕円形	漏斗状	0.54 × 0.43	0.59	16.06	○		
146	8C25・9C21	楕円形	漏斗状	0.47 × 0.42	0.64	16.00	*		
253	9C20	楕円形	U字状	0.33 × 0.26	0.46	16.21	*		
142	8C14・15	楕円形	—	—	—	16.06	*		
252	8C9	楕円形	—	—	—	16.40	*		
134	8C8	楕円形	U字状	0.17 × 0.14	0.19	16.43	*		
384	8D6	楕円形	箱状	0.28 × 0.25	0.38	16.27	*		
144	8C14	楕円形	U字状	0.40 × 0.27	0.57	16.08	*		SD3P143 >
160	8C12	楕円形	U字状	0.27 × 0.23	0.60	13.96	○		
129	8C17	不整形	漏斗状	0.38 × 0.36	0.24	16.42	*		
128	8C23	楕円形	台形状	0.26	0.18	16.44	*		
40	8D3	楕円形	漏斗状	0.37 × 0.35	0.34	16.28	*		
364	8D9	方形	箱状	0.34 × 0.24	0.41	16.19	*		SD87 <
36	8D14・15	楕円形	V字状	0.30 × 0.25	0.50	16.14	○		
29	9D6	楕円形	U字状	0.27 × 0.24	0.53	16.04	○		
530	9D7	楕円形	U字状	0.27 × 0.19	0.47	16.18	○		
387	9C22	—	—	—	—	16.31	*		
487	9C16・21	—	—	—	—	16.20	*		
486	8C15・20, 9C11・16	—	—	—	—	16.29	*		
92	8C15	—	—	—	—	16.32	*		
473	8C4	—	—	—	—	16.08	*		
474	8C8	楕円形	U字状	0.26 × 0.23	0.45	16.18	*		

遺構観察表

掘立柱建物(2)

遺構名	グリーッド	構造	形行	築 間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時 期		
SB3	7C、8・9C・D	掘立柱建物+4面編	3間(約7.0m)	2間(4.5m)	NW・E	31.5m ² (54.0m ²)	中世		
社名No.	位 置	平面形	断面形	平面幅(m)	深さ(m)	底面高さ(m)	柱 数	出土遺物	遺構関係
121	8C16	楕円形	U字状	0.36 × 0.38	0.40	1619	×		
262	8C21・22	楕円形	U字状	0.27 × 0.38	0.48	1607	×		
361	8D2	楕円形	U字状	0.23 × 0.23	0.37	1608	×		
259	8D8	楕円形	V字状	0.31 × 0.24	0.66	1596	×	溝	
369	8C25・8D5	楕円形	U字状	0.29 × 0.28	0.51	1614	○		
145	8C24	楕円形	U字状	0.35 × 0.26	0.35	1612	×		
126	8C18	楕円形	U字状	0.30 × 0.27	0.67	1599	×		
133	8C13	楕円形	U字状	0.32 × 0.22	0.34	1608	×		
131	8C12	楕円形	U字状	0.24 × 0.19	0.45	1615	×		
484	7C20	楕円形	U字状	0.32 × 0.27	0.60	1601	×		
491	8C21	楕円形	U字状	0.33 × 0.26	0.56	1600	×		
360	8D2	楕円形	断面状	0.28 × 0.26	0.33	1612	×		
482	8D8	楕円形	U字状	0.27 × 0.29	0.30	1630	×		SD87<
363	8D9	楕円形	断面状	0.29	0.45	1615	×		SD87<
33	8D4・5	楕円形	U字状	0.24 × 0.29	0.46	1618	○		SD87<
488	8D5	楕円形	台形状	0.27 × 0.24	0.45	1617	×		SD87<
254	8C19・20	楕円形	V字状	0.38 × 0.33	0.38	1606	×		
143	8C14・19	楕円形	U字状	0.30 × 0.28	0.57	1608	×		SCP144<
455	8C13	楕円形	U字状	0.34	0.41	1621	×		
475	8C7	楕円形	断面状	0.38 × 0.30	0.32	1607	×		
456	8C12	楕円形	U字状	0.25 × 0.29	0.34	1620	×		
465	8C11	楕円形	V字状	0.36 × 0.23	0.49	1607	×		

遺構名	グリーッド	構造	形行	築 間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時 期		
SB4	9B・C、10C	掘立柱建物	3間(約6.8m)	1間(4.1m)	NW・E	27.9m ²	中世		
社名No.	位 置	平面形	断面形	平面幅(m)	深さ(m)	底面高さ(m)	柱 数	出土遺物	遺構関係
402	9C4	楕円形	断面状	—	0.48	1618	×		
89	9C8	楕円形	U字状	0.31 × 0.23	0.91	1582	×		
165	9C8・13	楕円形	U字状	0.27 × 0.39	0.76	1597	○		
95	9C19	楕円形	U字状	—	—	1601	×		SD87>
643	9C19	楕円形	U字状	0.19 × 0.17	0.23	1642	×		
47	9C19	楕円形	U字状	0.24 × 0.21	0.32	1642	×	溝	
31	9C24・25	楕円形	扇形状	0.21 × 0.22	0.61	1615	○		
72	10C11・16	楕円形	扇形状	0.29 × 0.23	0.64	1606	×		
305	10C11	楕円形	断面状	0.27 × 0.29	0.36	1634	×	溝	
352	10C6・11	長楕円形	V字状	0.44 × 0.35	0.33	1638	×		
78	9C5・10	長楕円形	不整形	0.52 × 0.28	0.23	1630	×		

遺構名	グリーッド	構造	形行	築 間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時 期		
SB5	7・8D・C	掘立柱建物+4面編	3間(約7.8m)	1間(6.1m)	NZ・E	31.5m ² (58.0m ²)	中世		
社名No.	位 置	平面形	断面形	平面幅(m)	深さ(m)	底面高さ(m)	柱 数	出土遺物	遺構関係
255	7BDD、8D16	楕円形	U字状	0.36 × 0.19	0.32	1626	×		
256	7D5	楕円形	U字状	0.23 × 0.29	0.30	1623	×		
96	7C23	楕円形	U字状	0.27 × 0.25	0.37	1625	×		
303	7C2	楕円形	U字状	0.31 × 0.26	0.49	1619	×		
98	7C13	楕円形	断面状	0.29 × 0.22	0.43	1621	○		
97	7C14	楕円形	U字状	0.27 × 0.23	0.38	1621	○		P97<
125	8C6	楕円形	U字状	0.49 × 0.41	0.41	1620	×		
141	8C2	楕円形	U字状	0.31 × 0.27	0.43	1618	×		
477	7C16	楕円形	U字状	0.25 × 0.23	0.33	1630	×		
478	7D4	楕円形	U字状	0.21 × 0.29	0.25	1633	×		
479	7D3	楕円形	台形状	0.36 × 0.21	—	1636	×		
480	7C2	—	—	—	—	1637	×		
481	7C7	楕円形	U字状	0.15 × 0.12	0.27	1633	×		
122	7C18	楕円形	U字状	0.36 × 0.21	0.30	1627	×		
483	7C15	楕円形	U字状	0.21 × 0.18	0.32	1626	×		
476	8C5	楕円形	V字状	0.22 × 0.21	0.24	1627	×		
135	8C2	楕円形	U字状	0.27 × 0.21	0.37	1622	×		
136	8D2	楕円形	断面状	0.24 × 0.21	0.38	1625	×		

遺構名	グリーッド	構造	形行	築 間	長軸方向	床面積(敷地面積)	時 期		
SB6	10B・C、11C	掘立柱建物+3面編	4間(約9.8m)	1間(3.6m)	NW・E	35.3m ² (52.0m ² 以上)	中世		
社名No.	位 置	平面形	断面形	平面幅(m)	深さ(m)	底面高さ(m)	柱 数	出土遺物	遺構関係
873	10E23	—	—	—	—	—	×		

掘立柱建物 (3)

柱穴 No.	位置	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	底面傾高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
802	10C3・8	楕円形	楕円状	0.60 × 0.48	0.65	16.14	○		SK859 <
830	10C9・14	楕円形	U字状	0.57 × 0.46	0.56	16.17	×		
871	10C14・15・19・20	楕円形	楕円状	0.48 × 0.43	0.61	16.21	×		
308	11C6・11	楕円形	扇形状	0.52 × 0.42	0.51	16.15	○		
370	10C5・10, 11C1・6	楕円形	台形状	0.55 × 0.45	0.51	16.20	○		
340	10E25, 10C3	楕円形	台形状	0.44 × 0.30	0.55	16.17	×		SK210 > SK517 >
762	10E19・24	—	—	—	0.90	16.00	×		
331	10E13・14	楕円形	扇形状	0.60 × 0.52	0.55	16.15	○	185	
884	10E16	楕円形	—	0.34 × 0.31	0.38	16.48	○		SK882 <
888	10E17・22	楕円形	—	0.31 × 0.30	0.37	16.45	○		
848	10C2	楕円形	—	0.37 × 0.34	0.33	16.50	○		
872	10C8	—	—	—	—	16.36	×		
809	10C9・14	楕円形	U字状	0.50 × 0.39	0.60	16.15	○		
894	10C14・19	—	—	—	—	16.35	×		SK815 >
300	11C6・7	長楕円形	U字状	0.77 × 0.24	0.56	16.13	○		
306	11C1	楕円形	V字状	0.30 × 0.22	0.26	16.44	×		
307	10C3, 11C1	楕円形	U字状	0.21 × 0.20	0.58	16.12	×		
556	10E25	楕円形	台形状	0.37 × 0.28	0.46	16.23	×		SK210 >
328	10E19	楕円形	U字状	0.36 × 0.23	0.53	16.17	○		
732	10E13・14	楕円形	台形状	0.22 × 0.21	0.18	16.43	×		
803	10E13	楕円形	—	0.30 × 0.24	0.18	16.57	×		

遺構名	グッド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
507	10B, 11B・C	掘立柱物 × 3 面周	3 間以上 (8.4 m以上)	1 間 (4.5 m)	100° E	30.8m ² 以上 (90.5m ² 以上)	中世		
柱穴 No.	位置	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	底面傾高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
506	10E10	楕円形	扇形状	0.54 × 0.42	0.55	16.14	×		SK337 >
680	11B16	楕円形	U字状	0.31 × 0.25	0.56	16.10	×		
335	11E22	楕円形	扇形状	0.67 × 0.50	0.52	16.14	×		P437 <
457	11C2・3	楕円形	U字状	0.43 × 0.33	0.60	16.00	×		
438	11E23	楕円形	楕円状	0.33 × 0.27	0.54	16.17	×		
116	11B19	楕円形	U字状	0.29 × 0.24	0.53	16.26	×		
114	11B14	楕円形	U字状	0.33 × 0.24	0.68	16.13	○		
111	11B13	長楕円形	扇形状	0.72 × 0.39	0.39	16.34	○		SK683 < SK337 >
537	10E10・15	—	—	—	—	16.35	×		
332	10E15	楕円形	U字状	0.38 × 0.32	0.42	16.28	×		
211	11B16	楕円形	U字状	0.22 × 0.20	0.35	16.35	○	礎	
447	11E22	—	—	—	—	16.29	×		SK333 >
442	11C2・3	楕円形	U字状	0.30 × 0.29	0.39	16.31	○		
119	11E21, 11C3	楕円形	楕円状	0.28 × 0.20	0.50	16.33	×		
118	11B24	楕円形	—	0.28 × 0.21	0.24	16.49	×		
117	11E20	楕円形	扇形状	0.55 × 0.38	0.44	16.36	×		
138	11B14	楕円形	U字状	0.25 × 0.23	0.31	16.44	×	礎	
112	11E8・9	楕円形	U字状	0.38 × 0.28	0.36	16.37	×		
733	11E3	楕円形	楕円状	0.27 × 0.26	0.53	16.19	○		

遺構名	グッド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
508	12B・C, 12C・D	掘立柱物 × 4 面周	5 間 (約 12.4 - 12.8 m)	1 間 (4.0 m)	100° E	50.3m ² (83.3m ²)	中世		
柱穴 No.	位置	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	底面傾高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
169	12C7	楕円形	台形状	0.29 × 0.22	0.16	16.63	×		
693	12C13	楕円形	扇形状	0.44 × 0.28	0.62	16.18	×		P165 >
166	12C13	楕円形	扇形状	0.45 × 0.31	0.49	16.32	○		P661 <
448	12C18・19・24	楕円形	U字状	0.26 × 0.23	0.45	16.35	×		SK315 <
412	12C24	楕円形	U字状	0.29 × 0.26	0.62	16.08	×		
279	12E5	楕円形	扇形状	0.40 × 0.27	0.59	16.22	○		
794	12E10	—	—	—	—	15.98	—		SK428 > SK430 >
793	13E2	楕円形	楕円状	0.40 × 0.39	0.41	16.20	×		
427	12C21	楕円形	楕円状	0.32 × 0.25	0.73	16.06	×		
796	13C16	楕円形	楕円状	0.34 × 0.29	0.58	16.21	×		
513	12C15	楕円形	U字状	0.43 × 0.34	0.48	16.35	×		
137	12C9	楕円形	楕円状	0.26 × 0.21	0.63	16.19	○		
792	12C4	楕円形	—	—	—	16.40	×		
151	12C6	楕円形	U字状	0.32 × 0.23	0.64	16.15	○		
547	12C12	楕円形	U字状	0.31 × 0.24	0.49	16.22	×		SK315 <
450	12C12	楕円形	U字状	0.29 × 0.26	0.81	16.02	×		SK315 <

遺構観察表

掘立柱建物(4)

柱式No.	位置	平面形	断面形	平面幅員(m)	深さ(m)	底面標高(m)	柱状	出土遺物	重要関係
440	13C20	楕円形	U字状	0.25 × 0.23	0.52	16.24	○		SK315 <
704	13C12	楕円形	台形状	0.30 × 0.22	0.15	16.53	×		SK315 <
414	13C24、13D4	楕円形	楕円状	0.35 × 0.29	0.66	16.16	×		
280	13D4-9	長楕円形	扇斗状	0.65 × 0.24	0.59	16.23	×		SIU2P281 <
284	12D10	楕円形	V字状	0.66 × 0.53	0.34	16.47	×		
430	12D15	楕円形	U字状	0.34 × 0.28	0.49	16.32	×		
786	13I07	楕円形	U字状	0.30 × 0.23	0.33	16.30	×		SK309 > SK309 >
790	13D6-7	楕円形	V字状	0.32 × 0.27	0.25	16.47	×		
325	13D2-3	楕円形	U字状	0.29 × 0.25	0.23	16.56	×		
796	13I02	楕円形	U字状	0.47 × 0.34	0.32	16.39	×		
383	13C22	楕円形	V字状	0.24 × 0.22	0.18	16.59	×		
382	13C36	楕円形	U字状	0.28 × 0.23	0.72	16.08	×		
532	13C35、13C11	楕円形	楕円状	0.29 × 0.27	0.63	16.19	×		
527	13C30	楕円形	U字状	0.28 × 0.24	0.62	16.21	○		
690	13C4	楕円形		0.29 × 0.27			×		
717	12B38	楕円形	楕円状	0.25 × 0.21	0.65	16.13	○		
718	12B29-12C3	楕円形	U字状	0.35 × 0.32	0.64	16.07	○		
698	13C2	楕円形	U字状	0.31 × 0.25	0.62	16.07	×		

遺構名	エリアD	構造	掘行	掘削	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
S39	12C	掘立柱建物	3間(約64-65m)	1間(30-31m)	N9°E	198m ²	中世		
柱式No.	位置	平面形	断面形	平面幅員(m)	深さ(m)	底面標高(m)	柱状	出土遺物	重要関係
132	12C6-7	楕円形	V字状	0.31 × 0.25	0.61	16.19	×		P153 <
719	13C12	楕円形	U字状	0.27 × 0.20	0.22	16.42	×		SK106 > SK315 <
494	13C39	楕円形	U字状	0.31 × 0.30	0.46	16.34	○		SK315 <
163	13C20	楕円形	U字状	0.41 × 0.37	0.15	16.63	×		SK315 <
536	13C30	楕円形	U字状	0.27 × 0.25	0.60	16.18	×		
161	13C14-19	楕円形	台形状	0.30 × 0.19	0.33	16.46	○		P162 <
162	13C14	楕円形	扇斗状	0.27 × 0.22	0.41	16.39	×		P162 >
690	12C8-9	楕円形	U字状	0.32 × 0.27	0.43	16.23	×		
714	13C3	楕円形	楕円状	0.28 × 0.23	0.37	16.32	×		

遺構名	エリアD	構造	掘行	掘削	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
SB10	10-11C	掘立柱建物	3間(約65m)	1間(3.5m)	N0°E	218m ²	中世		
柱式No.	位置	平面形	断面形	平面幅員(m)	深さ(m)	底面標高(m)	柱状	出土遺物	重要関係
170	11C8	楕円形	U字状	0.39 × 0.25	0.36	16.38	×		SK032 <
419	11C7-12	楕円形	V字状	0.38 × 0.33	0.48	16.21	×		SK032 <
737	11C11	—	—	—	—	15.91	—		SK310 >
741	11C5	楕円形	U字状	0.31 × 0.24	0.40	16.30	×		SK032、P502 <
896	11C21	—	—	—	—	16.00	×		SK315 <
900	11C17	楕円形	扇斗状	0.30 × 0.29	0.68	15.95	×		
738	11C18	楕円形	U字状	0.26 × 0.22	0.49	16.09	×		
311	11C14	楕円形	楕円状	0.33 × 0.28	0.59	16.13	×		

遺構名	エリアD	構造	掘行	掘削	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
SB11	11-12D-15	掘立柱建物	5間(約78m)	1間(3.8m)	N0°E	283m ²	中世		
柱式No.	位置	平面形	断面形	平面幅員(m)	深さ(m)	底面標高(m)	柱状	出土遺物	重要関係
538	11C22	楕円形	U字状	0.28 × 0.25	0.50	16.12	×	1	P529 > SK315 >
539	11C22	楕円形	楕円状	0.27 × 0.20	0.58	16.03	×		SK315、P538 >
591	11D2-3-7-8	楕円形	扇斗状	0.43 × 0.38	0.72	16.02	○		
200	11D8-13	楕円形	扇斗状	0.66 × 0.54	0.70	16.05	×		
198	11D19	長楕円形	U字状	0.34 × 0.19	0.81	15.95	○		
435	12D22	楕円形	扇斗状	0.58 × 0.52	0.61	16.08	×	150	P746 <
297	12D16-17	楕円形	U字状	0.62 × 0.49	0.59	16.16	×		P299 < SI173 >
271	11D10-15、12D6-11	楕円形	—	0.57 × 0.43	0.55	16.30	×		P272 <
272	12D11	楕円形	台形状	0.52 × 0.42	0.87	15.96	○		P271 >
237	11D5-10	楕円形	扇斗状	0.66 × 0.53	0.88	15.90	○		
548	11C19-20	楕円形	台形状	0.32 × 0.30	0.62	16.02	○		SK313 >
728	11C19	—	—	—	—	16.29	×		SK313 >
(540)	11D9	楕円形	台形状	0.42 × 0.27	0.13	16.39	×		

遺構名	エリアD	構造	掘行	掘削	長軸方向	床面積(敷地面積)	時期		
SB12	11-12D-C	掘立柱建物+4面壁	5間(約10.8m)	1間(3.9m)	N02°E	421m ² (773m ²)	中世		
柱式No.	位置	平面形	断面形	平面幅員(m)	深さ(m)	底面標高(m)	柱状	出土遺物	重要関係
507	11C19-20-24-25	楕円形	台形状	0.55 × 0.44	0.59	15.94	○		SK313 >
416	11C25、11D5	楕円形	楕円状	0.42 × 0.35	0.61	16.18	○	156	

掘立柱建物(5)

柱次 No.	位置	平面形	断面形	平面幅長 (m)	深さ (m)	底面標高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
241	12D1	不整形	扇形状	0.57 × 0.44	0.70	16.09	×		
245	12D6・7	楕円形	U字状	0.38 × 0.31	0.20	16.61	×		
276	12D12	楕円形	扇形状	0.48 × 0.38	0.58	16.16	○		
293	12D18	楕円形	扇状	0.24 × 0.19	0.60	16.18	○	礎	
285	12D14	楕円形	扇状	0.39 × 0.27	0.55	16.29	○		
286	12D9	楕円形	扇形状	0.43 × 0.41	0.54	16.28	○		
277	12D3	不整形	扇形状	0.56 × 0.55	0.53	16.35	×		
490	13C22・23	楕円形	扇形状	0.39 × 0.38	0.53	16.16	○		SK315, P506 <
702	13C17・22	楕円形	U字状	0.55 × 0.45	0.14	16.20	×		SK315 <
431	13C11	楕円形	不整形	0.46 × 0.30	0.41	16.26	×	礎	SK315, P709 <
541	11C20	—	—	—	0.55	16.09	×		SK315, P542 <
554	11C19	楕円形	台形状	0.49 × 0.47	0.80	15.94	○		SK315 <
445	11C24	楕円形	扇状	0.30 × 0.30	0.63	16.12	○	礎	SK315 <
417	11D5	楕円形	扇状	0.35 × 0.27	0.61	16.18	○	礎	
240	11D5・30	楕円形	—	—	0.61	16.08	×		P229 >
298	12D11・12	楕円形	扇形状	0.50 × 0.45	0.39	16.27	×		SK315 >
296	12D17・18・22・23	楕円形	V字状	0.33 × 0.28	0.50	16.27	○		SK324 >
(292)	12D18	楕円形	扇状	0.23 × 0.22	0.22	16.54	×		
291	12D19	楕円形	U字状	0.30 × 0.24	0.29	16.53	×		
289	12D15	長楕円形	不整形	0.73 × 0.43	0.29	16.52	×		
281	12D4・9	長楕円形	扇形状	0.73 × 0.37	0.49	16.52	×		SBP280 >
411	12D3・4	楕円形	V字状	0.27 × 0.25	0.60	16.18	○		
688	13C25	楕円形	V字状	0.51 × 0.43	0.46	16.16	○		SK315 <
689	13C17	楕円形	扇状	0.27 × 0.22	0.27	16.32	×		SK315 <
543	13C17	楕円形	U字状	0.40 × 0.31	0.60	16.10	○	179	
546	13C12	楕円形	U字状	0.22 × 0.21	0.42	16.27	○		SK315 <
553	13C6	楕円形	U字状	0.26 × 0.25	0.64	16.03	○	2・3	SK315 <
490	11C15	楕円形	扇状	0.27 × 0.26	0.42	16.26	×		SK315 <
452	11C15	楕円形	V字状	0.39 × 0.38	0.55	16.16	○		SK315 < SK167 >

遺構名	グランド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
SB13	3・4D	掘立柱建物	2間 (約4.5 m)	1間 (3.1 m)	N90° E	14.3m ²	中世		
柱次 No.	位置	平面形	断面形	平面幅長 (m)	深さ (m)	底面標高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
P1	3D25	楕円形	V字状	0.31 × 0.22	0.54	15.91	○		
P2	4D16	楕円形	台形状	0.26 × 0.21	0.30	16.04	○		
P3	4D22	楕円形	扇状	0.23 × 0.21	0.45	16.02	×		
P4	4E2	楕円形	台形状	0.29 × 0.27	0.35	16.07	×		
P5	3E5	楕円形	U字状	0.25 × 0.19	0.33	16.07	×		

遺構名	グランド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
SB14	9・10C・D	掘立柱建物	3間 (約6.6 m)	1間 (3.4 m)	N60° E	22.1m ²	中世		
柱次 No.	位置	平面形	断面形	平面幅長 (m)	深さ (m)	底面標高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
389	9C23	楕円形	U字状	0.31 × 0.24	0.39	16.31	×		
609	9D3	楕円形	U字状	0.24 × 0.23	—	16.01	×		
25	9D14	楕円形	U字状	0.25 × 0.22	0.38	16.27	×		
898	10D6	—	扇形状	—	0.53	16.27	×		SD12・14 >
364B	9D5	楕円形	U字状	0.27 × 0.24	0.62	16.10	×		SB1796a >
627	9C25	楕円形	U字状	0.25 × 0.24	0.44	16.22	×		
398	9C19	楕円形	U字状	0.31 × 0.23	0.46	16.26	×		

遺構名	グランド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
SB15	14E	掘立柱建物	1間 (約4.6 m)	1間 (3.7 m)	N4° W	16.3m ²	古墳時代前期		
柱次 No.	位置	平面形	断面形	平面幅長 (m)	深さ (m)	底面標高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
1030	14E3	楕円形	不整形	0.70 × 0.62	0.47	16.37	×		
1032	14E6・11	楕円形	不整形	0.67 × 0.64	0.70	16.18	×		
1438B	14E17	—	U字状	0.41 × 不明	0.35	16.46	×		
1045	14E14	楕円形	U字状	0.37 × 0.31	0.73	16.13	○		SI3314 <
1201	14E14	楕円形	台形状	0.29 × 0.26	0.43	16.43	×		SI3314 <

遺構名	グランド	構造	桁 行	梁 間	長軸方向	床面積 (敷地面積)	時 期		
SB16	13・14D	掘立柱建物	1間 (約4.2 m)	1間 (2.9 m)	N109° E	11.6m ²	古墳時代前期		
柱次 No.	位置	平面形	断面形	平面幅長 (m)	深さ (m)	底面標高 (m)	柱 状	出土遺物	遺構関係
1191	13D6, 14D1	楕円形	U字状	0.35 × 0.28	0.41	16.33	×		
1190	13D9・10	楕円形	U字状	0.32 × 0.26	0.41	16.30	×		
1200	13D15	楕円形	台形状	0.31 × 0.30	0.40	16.35	×		
1209	14D12	楕円形	U字状	0.33 × 0.25	0.43	16.37	×		SD1134 >
1290	14D6	楕円形	U字状	0.34 × 0.33	0.48	16.27	×		SD1032 >

遺構観察表

中世井戸 (SE)

遺構名	グリッド	形状		規模 (m)			築土	出土遺物	重視関係		
		平面形	断面形	長径 (m)	短径 (m)	深さ					
49	10C	楕円形	漏斗状	1.69	1.30	1.79	14.85	葦垣り・水澁	ブロック状	68、69	SE1 < SD16 >
99	7C	楕円形	漏斗状	1.02	0.88	1.49	15.13	葦垣り	レンズ状		
102	12D	楕円形	漏斗状	2.16	1.98	1.67	15.08	葦垣り	レンズ状	70	SE186-784 <
186	11B	楕円形	漏斗状	1.72	(1.56)	2.15	14.62	葦垣り・水澁	レンズ状	4-6	SE102 <
216	11D	楕円形	漏斗状	1.97	1.67	2.28	14.51	葦垣り	ブロック状	157、168	P586
217	11D	楕円形	漏斗状	2.37		2.27	14.56	葦垣り・水澁	レンズ状	8-10、71、180	SE34、P495・696・698-700・831 <
310	10・11C	楕円形	漏斗状	3.27	2.86	2.38	14.35	横板組付築組・水澁	レンズ状	11-12、72-86、139、188	SD30、SE002、P738 <
344	11E	楕円形	漏斗状	3.24		2.38	14.42	横板組付築組・水澁	レンズ状	13-14、87-99、161	P497-499 < SE217 >
428	12・13D	楕円形	漏斗状	2.96	2.78	2.53	14.31	横板組付築組・水澁	ブロック状	15-16、100-125	SE8 < SE439 >
430	13E	楕円形	漏斗状	2.05	1.32	2.38	14.45	葦垣り・水澁	レンズ状	17-18、126-129、161	S88、SE428、P793 < P942 >
563	11B	楕円形	漏斗状	2.50	1.61	1.85	14.79	葦垣り	レンズ状	130-133	SE589 < SK139 >
589	11B	楕円形	漏斗状	4.16	3.86	2.66	14.04	板組り・水澁	水平	134-150、162	SE593・SK139・P107 >
784	11・12B	楕円形	漏斗状	2.94	(2.98)	2.58	14.25	横板組付築組・水澁	ブロック状	131-154	SE102 >

中世土坑 (SK)

遺構名	グリッド	形状		規模 (m)			築土	出土遺物	重視関係	備考	
		平面形	断面形	長径 (m)	短径 (m)	深さ					
1	10D	長楕円形	U字状	1.88	0.98	0.26	レンズ状	P395 <		2層は礎土層	
2	10・11E	不整形長方形	平円状	2.11	1.39	0.49	レンズ状	P611-612-615 <			
5	10D	楕円形	瓶状	0.71		0.19	葦層	P394 <			
17	10D	長楕円形	平円状	3.47	2.17	0.53	レンズ状	20・21、163		PG <	
19	9D	楕円形	台形状	(2.50)	(2.23)	0.60	レンズ状	22-24、164、189	SD12 < SD14 >		
41	8・9D	不整形楕円形	瓶状	3.46	2.25	0.44	レンズ状	礎			
45	8D	楕円形	平円状	2.91	2.85	0.55	レンズ状	礎			
61	8D	不整形	平円状	0.80	0.55	0.22	レンズ状	古墳時代土澁部			
81	8C	不整形	瓶状	1.57	1.46	0.38	瓶状	古墳時代土澁部	SE107 <		
100	11・12B・C	不整形長方形	瓶状	2.75	1.70	0.30	レンズ状	165	SD443、P778 <		3層は礎土層
101	11B・C	長楕円形	平円状	1.87	1.33	0.38	レンズ状	25、166	SK149 >		3層は炭化物層
137	12B	長楕円形	瓶状	1.05	0.84	0.25	レンズ状				
139	11B	長楕円形	U字状	3.15	1.11	0.83	レンズ状	26-28、礎	SE363・583、SE890 <		5層は炭化物多量
149	11B・C	長楕円形	平円状	1.15	0.89	0.43	レンズ状	礎	SK101 <		直径小
167	8B	楕円形	瓶状	1.35	1.04	0.30	葦層				中世以降か
190	11D・E	楕円形	瓶状	1.01	0.72	0.09	葦層	167、礎	SD183、P735・736 <		2層炭化物多量
196	11D	楕円形	台形状	0.60	0.56	0.27	レンズ状				
225	11D	長方形	U字状	0.49	0.39	0.18	レンズ状	41		P250-440 <	
306	10C	不整形長方形	U字状	0.72	0.49	0.27	レンズ状				
317	13D	不整形長方形	平円状	2.08	2.07	0.40	レンズ状	59		P461 <	
318	13E	楕円形	U字状	0.51	0.43	0.21	レンズ状				
319	13D	方形	台形状	0.83	0.79	0.15	レンズ状				
321	13・14D	楕円形	台形状	2.92	2.01	0.53	レンズ状	30・31、190・191			
376	13B	楕円形	フランスワ状	0.61	0.49	0.20	葦層				中世以降か
379	13C	楕円形	瓶状	0.53	0.51	0.41	葦層				
429	13D	不整形長方形	平円状	(0.75)	0.63	0.24	レンズ状			SE88 < P342 >	
640	9C	楕円形	瓶状	0.68	0.49	0.20	レンズ状			SD638 <	
815	10C	横丸方形	漏斗状	3.21	3.02	0.61	レンズ状	32・33、168	SE1・6、SE002・403、P404 <		
837	10D	楕円形	瓶状	0.81	(0.70)	0.14	葦層	古墳時代土澁部			
838	11E	—	瓶状	(1.93)	(0.25)	0.23	ブロック状				
860	11B	楕円形	漏斗状	(1.46)	1.09	1.15	ブロック状			SE7、SE589、SK139、P110 >	
899	15D・E	長楕円形	U字状	1.88	0.91	0.34	レンズ状	34			

中世溝 (SD)

遺構名	グランド	形態	断面形	規模 (m)			長軸方向	層土	出土遺物	基礎関係
				幅	深さ	長さ				
8	10D	直線的	台形状	3.40	0.85	0.28	N67° E	レンズ状	礎	
12	9・10D	弧状	弧状	10.25	0.35 - 0.50	0.30	—	レンズ状	35, 192	SR14, SR19, SD14 < SK11 >
14	9C・D, 10D	弧状	台形状	12.45	0.30 - 0.70	0.30	—	レンズ状	170	SR14, SR19 < SK11, SD12 >
15	10D	直線的	扇状	1.50	0.50 - 0.60	0.11	N9° E	草層		SD16 >
16	10C・D	直線的	台形状	5.48	0.62 - 1.12	0.36	N82° E	レンズ状	171・172	SE09, SD15 <
37	8D	弧状	弧状	1.94	0.25	0.05	—	草層		
87	7D・7E, 8D, 9C・D	直線的	台形状・弧状	(41.00)	0.25 - 1.10	0.20	N11° W (9D) N2° W (7E - 9C) N4° W (9C以北)	草層	土師器	SR4 < SR2・3, SR8, SD28 >
88	9B	直線的	台形状	17.90	0.38 - 0.53	0.13	N82° W	レンズ状		
108	10・11D	直線的	弧状	11.33	0.66	0.17	N84° W	レンズ状	天目輪	SD37 >
124	7B, 8B・C	直線的	U字状	3.70	0.30	0.10	N84° W	草層		
130	8C	直線的	扇状	3.55	0.25	0.05	N96° E	草層		
173	12D・E	直線的	弧状・U字状	(11.30)	0.60	0.15	N88° E	草層		SR11 < SD294・421・422 >
183	11E	直線的	弧状	6.600	0.31 - 0.42	0.07	N100° E	草層		SX320 < SK293 >
210	10B・C, 11C	直線的	台形状	6.50	0.40 - 0.62	0.11 - 0.24	N17° W	レンズ状	36, 173	SR6, SX38 <
218	6C・D	直線的	台形状	(23.00)	0.22 - 0.42	0.10 - 0.24	N81° W	レンズ状		SD87 <
258	11D	弧状	弧状	2.55	0.72	0.14	N82° W	草層		P259 <
302	10・11C	直線的	弧状	(15.25)	0.75 - 1.70	0.40	N13° W (10C) N19° E (11C以南)	レンズ状	174 - 176	SR10, SR210, SD414, SR815 >
333	10C, 11B・C	直線的	台形状	3.25	0.70	0.20	N8° W	レンズ状		SR7, P266 <
337	10・11B	直線的	弧状	(5.85)	0.75 - 0.94	0.08	N29° E	草層		SR7, SD108 <
418	11C	L字状	L字状	1.62	0.50 - 0.97	0.15	—	レンズ状		SD302 < SE320 >
423	12D・E	扇状	弧状	10.80	0.60	0.06	—	草層		SD173 - 422 < SK176 + 420 >
422	12D・E	弧状	弧状	6.600	0.21 - 1.12	0.11 - 0.15	N9° W	草層		SD173 < SD421 >
443	11C, 13B・C	弧状	扇状	5.65	0.60	0.08	N15° W	レンズ状		SK100 >
530	12B	直線的	U字状	(2.70)	0.70	0.18	N16° W	レンズ状		
609	10C	弧状	弧状	(4.21)	0.29 - 0.62	0.25	N15° W	レンズ状		
638	8B・C, 9C	直線的	U字状	16.55	0.25 - 0.35	0.100	N80° W	レンズ状		SR640, P641 >
655	8B	直線的	台形状	(2.52)	0.25	0.18	N25° W	草層		
672	6B・C・D	直線的	半円状	(17.60)	0.22 - 0.71	0.23	N25° W	レンズ状		
685	11D	直線的	U字状	2.84	0.15 - 0.20	0.08 - 0.15	N84° E	レンズ状		SX315, P462 >
825	11E	弧状	V字状	(2.90)	0.36 - 0.57	0.17	—	草層		SK328 <
851	10B	弧状	半円状	(4.35)	0.17 - 0.27	0.10	—	草層		P865 <
856	10B・C	直線的	半円状	(4.15)	0.45	0.10	N1° W	草層		SR6 >
858	10B	直線的	弧状	3.92	0.31 - 0.62	0.07	N7° E	草層		
864	10 - 11D	直線的	台形状	(3.57)	0.41 - 0.52	0.22	N14° E	草層		SX315 > P843 - 875 <

中世ピット列 (SA)

遺構名	グランド	346	ゾリッド	SD	長軸方向	N28° E	時期	中世	
柱次 No.	グランド	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	底面傾高 (m)	柱状	出土遺物	基礎関係
P1	5D8	楕円形	U字状	0.16 × 0.15	0.21	16.06	×		
P2	5D8	楕円形	U字状	0.21 × 0.21	0.49	16.01	×		
P3	5D13	楕円形	U字状	0.25 × 0.19	0.55	15.95	×		
P4	5D18	楕円形	V字状	0.24 × 0.23	0.57	15.90	×		
P5	5D18	楕円形	楕圓状	0.21 × 0.17	0.27	16.18	×		
P6	5D18	楕円形	V字状	0.22 × 0.21	0.26	16.12	×		
P7	5D25	楕円形	V字状	0.15 × 0.13	0.24	16.21	×		
P8	5D25	楕円形	扇状	0.19 × 0.17	0.57	15.89	×		
P9	5D13	楕円形	U字状	0.30 × 0.23	0.33	16.17	×		
P10	5D18	楕円形	U字状	0.30 × 0.24	0.41	16.11	×		
P11	5D18	楕円形	U字状	0.23 × 0.17	0.13	16.26	×		
P12	5D18	楕円形	U字状	0.20 × 0.17	0.21	16.20	×		
P13	5D25	楕円形	U字状	0.24 × 0.22	0.22	16.17	×		

遺構名	グランド	678	グランド	6・7D	長軸方向	N82° W	時期	中世	
柱次 No.	グランド	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	底面傾高 (m)	柱状	出土遺物	基礎関係
P1	6D4・9	楕円形	U字状	0.32 × 0.28	0.21	16.23	×		
P2	6D15	楕円形	U字状	0.30 × 0.26	0.27	16.22	×		
P3	6D20	楕円形	U字状	0.25 × 0.21	0.17	16.33	×		
P4	6D20	楕円形	扇状	0.29 × 0.24	0.26	16.27	×		
P5	6D25	楕円形	U字状	0.21 × 0.18	0.13	16.39	×		
P6	6D25, 71D1	楕円形	U字状	0.18 × 0.13	0.16	16.37	×		
P7	6D25	楕円形	U字状	0.18 × 0.15	0.25	16.28	×		
P8	6D25, 71D1	楕円形	台形状	0.24 × 0.20	0.13	16.43	×		

遺構観察表

中世ビッド列 (SA)

遺構名	220-800-801		グリッド	3D-E	長軸方向	N74 W	時期	中世	
柱状No.	グリッド	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	前面高さ (m)	柱径	出土遺物	遺構関係
220	3E15	楕円形	楕円状	0.57 × 0.25	0.42	15.97	○		
800	3E9	楕円形	楕円状	0.45 × 0.34	0.74	15.69	○		
801	3E23, 3E2	楕円形	扇斗状	0.39 × 0.30	0.59	15.79	○		

中世ビッド

遺構名	グリッド	平面形	断面形	平面規模 (m)	深さ (m)	前面高さ (m)	柱径	出土遺物	遺構関係
204	11C7	楕円形	V字状	0.36 × 0.26	0.31	16.20	× 128		SK300 <
251	12D7-8	楕円形	U字状	0.15	0.32	16.47	× 80		
561	11E10-15	楕円形	扇斗状	0.55 × 0.33	0.49	16.25	× 43		SD183 > SK320, P267 <
840	10E22	楕円形	U字状	0.37 × 0.32	0.41	16.32	× 196		
885	13D9	楕円形	U字状	0.34 × 0.31	0.35	16.51	× 39		

中世性格不明遺構 (SX・F)

遺構名	グリッド	断面形	平面形	長軸	短軸	深さ	層土	出土遺物	遺構関係	備考
94	7C	不整形	—	2.74	2.04	—	—	SD2 >		機土遺構。1層機土多量
315	11-E2C・D	—	—	約10.00	約14.00	0.28	レンズ状	37・38, 184, 193	SD11, SD864・624 など	そのほか多量出土
343	13E, 14D-E	—	—	9.30	1.60	—	単層			道路、溝板状遺構14基で構成。1・2層に傾斜
430	17-18C-D	長方形	台形状	9.23-8.81	6.33-5.24以上	0.10-0.15	単層	磨洋機・土師器		水田。1・2層に傾斜
517	10B	不整形	—	1.62	1.41	—	—	SD6, P262 >		機土遺構。1層機土多量
528	10B	不整形	—	1.90	0.99	—	—	PS19 < SD210 >		機土遺構。1層機土多量
520	11E	不整形	—	2.90	0.75	0.27	プロット状	194	SE341, SD183 など	釜地範囲

古墳時代竪穴遺構 (S)

遺構名	グリッド	平面形	平面規模 (m)	深さ (m)	体積 (m ³)	長軸方向	層土	柱	柱径	土坑	壁溝	遺構関係
1046	17-18E	方形少	0.50 × 0.60	0.11	0.2130	N24° E	レンズ状	○	4	1	○	
1071	9-10C-D	隅丸長方形	3.78 × 4.10	0.12	16.97	N79° E	レンズ状	×	6	×	○	
1195	12D	隅丸長方形	4.60 × 2.92	0.19	14.15	N89° E	レンズ状	○	5	1	○	SK300 > SK382 <
1223	10-11C	隅丸方形	5.22 × 4.96	0.14	23.10	N97° E	レンズ状	—	8	1	○	SK1220 >
1294	13D-E	長方形	5.95 × 4.79	0.09	24.56	N97° E	レンズ状	×	5	×	○	SD1917-1188-1468, SK1380-1265, SK1188, P1166-P1143 >
1307	16-17D-C	隅丸方形少	5.68 × 4.60	0.48	19.43	N64° E	水平	○	4	2	○	SD1 >
1308	15-16B, 16C	不整形方形	5.32 × 5.19	0.31	22.23	N26° E	水平	×	2	×	○	SD1404 < P1287 >
1309	15-16C	方形	6.19 × 6.09	0.16 (0.11)	32.47	N28° E	—	○	2	×	×	SD130 - 1312 < SD1017-1279, SX1272-1278 >
1310	15-16C-D	方形	4.96 × 4.61	0.18	16.33	N23° E	レンズ状	○	2	×	○	SD1312 < SD1309, SD1279, SK1414, P1316, SX1273 > SD1313 <
1311	13C-D	隅丸方形	4.49 × 4.35	0.08	16.30	N18° E	—	×	×	×	○	P1449 < SD1313-1381, SD1917 >
1312	15-16C-D	不整形方形	4.95 × 4.90	0.08	13.18	N2° E	—	×	×	1	×	SD1309-1310, SD1917, SK1414, P1316, SX1273 > SD1313 <
1313	14-15C	不整形方形	5.91 × 5.62	0.14	26.40	N89° E	—	×	×	×	×	SD1311 < SD1312, SD1309, SK1380, P1121, P1288-1295, SX1272-1278 >
1314	14D-E, 15E	方形	6.03 × 5.51	0.08	27.78	N87° E	—	○	4	×	○	SD1315, P1451-1454-1468SD15, SK1028-1115-1364 >
1315	14D-E, 15D	隅丸方形少	6.02 × 4.83	0.12	25.31	N81° E	レンズ状	○	3	×	○	SD1381 < SD1314, SD1917, P1035-1328-1329-1445 >
1317	15B-C	不整形方形	5.63 × 5.61	0.07	20.24	N82° E	—	×	×	×	×	SK1335 & SD1251, P1337-1338-1440, P >
1327	12-13B, 13C	隅丸方形	8.86 × 8.66	0.83	71.14	N91° E	レンズ状	○	10	1	○	SD1181 >
1381	14-15C-D	隅丸方形	6.72 × 5.63	0.17	33.32	N89° E	レンズ状	×	8	×	×	SD1311, SK1447 < SD1313 >
1384	16-17D-E	不整形方形	6.17 × 5.67	0.09	27.42	N89° E	—	×	×	3	×	SD1385 < SK1900 >
1385	16-17D	不整形方形	6.33 × 4.72	0.13	22.50	N83° E	—	×	1	×	○	SD1386 < SD1384, SK1059, SX1076-1077 > SK1014-1015, P1058-1059 &
1386	14D-E	隅丸方形	5.45 × 5.15	0.21	31.65	N83° E	—	×	7	×	○	SD1385, SK1030-1070-1142 P1062 >
1392	16-17C	不整形方形	4.96 × 4.76	0.17	18.42	N72° E	水平	×	1	×	×	SD1917, P1258-1403 >
1404	16B	不整形方形?	0.91 × 3.71	0.35	13.14	N87° E	水平	○	×	×	×	SD1308, P1260-1270, SD1381 >
1430	13C-D	隅丸長方形	5.58 × 4.30	0.09	19.30	N71° E	—	○	4	×	○	SD1314, SK1415, P >

古墳時代漢 (SD)

遺構名	グリッド	形 態	断面形	規 模 (m)			長軸方向	覆 土	出土遺物	重視関係
				幅	深さ	深さ				
1134	D3・14C・D	横円形	弧状	15.66 × 10.90	1.22 ~ 3.58	0.07 ~ 0.19	—	レンズ状	353 ~ 373, 436 ~ 637	SD430, SD16, SD130, SK1306 < 1415 < SD101, SK1306, F1123 ~ 1219 ~ 1303 >
1003	3D・E	L字状	U字状	(1320)	0.45 ~ 0.92	0.25	N79° E	レンズ状		
1003	9B	弧状	弧状	4.18	1.26	0.13	N37° E	レンズ状		SK1002 >
1017	13E, 14D・E, 15C・D, 16C, 17E	直線的	U字状	(3080)	0.28 ~ 0.72	0.30 ~ 0.45	N12° E (13E ~ 15C2D) N29° W (15C24 15E)	レンズ状	638	SD124 ~ 1311 ~ 1312 ~ 1315 ~ 1382, SD1031 <
1031	13B・C, 14・15C	直線的	台形状 U字状	(3160)	0.38 ~ 0.65	0.18 ~ 0.40	N69° W	レンズ状	374 ~ 375, 639	SD16, SD134, SK1306, 1370 < SD1077, SK1304 ~ 1352, F1369 >
1034	9C, 10B・C, 11B	直線的	弧状	(8110)	1.47 ~ 3.58	0.31	N10° W	レンズ状	380 ~ 401, 640 ~ 642	SD1383, SK1196 ~ 1224 ~ 1280 ~ 1291 ~ 1385 ~ SK1130 < SD1338, SK1210, F1131 ~ 1132 >
1053	9D	直線的	弧状	(280)	(124)	0.10	N25° E	レンズ状	602	
1069	10D, 11C・D	直線的	弧状	16.95	0.68 ~ 1.43	0.10	N2° W	レンズ状	603 ~ 605	SK1214 >
1078	7D, 8C・D	直線的	台形状	19.10	0.32 ~ 0.63	0.17	N23° E	草層		
1104	3B	直線的	V字状	2.05	0.25	0.09	N21° E	草層		
1188	13E, 13B・E	直線的	台形状 V字状	(3530)	0.42 ~ 0.62	0.36 ~ 0.45	N79° W (13B ~ 13C) N62° W (13D ~ E)	レンズ状	606	SD127 ~ 1294, SD1363 ~ 1464 <
1208	10・11B	弧状	弧状	(1240)	0.95 ~ 2.30	0.18	—	レンズ状	607	
1222	11E	直線的	台形状	3.91	0.63 ~ 1.20	0.21	N37° W	レンズ状	608	SD1014, SK1305 ~ 1443 <
1283	10B・C	弧状	弧状	(4280)	0.90 ~ 2.08	0.30	N78° W	レンズ状	土師器	
1287	11・12B	直線的	弧状	9.62	2.21 ~ 3.93	0.18 ~ 0.28	N9° E	レンズ状	609 ~ 617	
1363	12B・C 13C・D	—	不整形	15.84	6.42	0.98	N83° W	レンズ状 土	618 ~ 641	SD134 ~ 1388, SK1140 ~ 1302 >
1369	14・15C	直線的	弧状	8.50	1.60	0.45	N39° E	レンズ状	642 ~ 649	SD1313 < SK1368, F1217 >
1378	14B	直線的	弧状	(141)	0.85	0.14	N87° E	レンズ状	653	
1446	14E	直線的	弧状	(136)	0.35	0.10	N8° W	草層	654	
1468	12C・D, 13E	直線的	U字状	(2582)	0.43 ~ 1.52	0.27	N25° E	レンズ状		SK1361 < SD1017 >

古墳時代土坑 (SK) (1)

遺構名	グリッド	形 態	断面形	規 模 (m)			覆 土	出土遺物	重視関係	備 考
				長さ (m)	幅 (m)	深さ				
802	9B・C	横円形	弧状	1.75	1.70	0.22	レンズ状	土師器	SD4003 <	
804	9・10E	横円形	U字状	1.25	1.31	0.49	ブロック状	土師器		
805	9B・C	横円形	平円状	1.12	0.85	0.23	レンズ状	435		
806	9B	不整形横円形	台形状	1.56	1.23	0.49	レンズ状	土師器	SK1007 <	
807	9B	横円形	台形状	1.16	0.94	0.25	レンズ状	土師器	SK1006 >	
808	8D	横円形	弧状	1.76	1.43	0.22	レンズ状		SK1049 <	
809	9B	横円形	弧状	0.74	0.42	0.17	草層	土師器		
1010	8・9B	横円形	平円状	1.55	1.11	0.38	レンズ状	436	SK1050 ~ 1051 <	
1011	9・10B	横円形	弧状	1.38	1.20	0.23	レンズ状	土師器		
1012	10D	横円形	台形状	1.47	1.10	0.20	レンズ状	437		
1014	16D	不整形横円形	台形状	0.95	0.80	0.55	レンズ状	648	SD385 <	
1015	16・17D	横円形	台形状	0.77	0.60	0.31	レンズ状		SD385 <	
1018	16D	横円形	平円状	0.95	0.82	0.31	レンズ状			
1020	16・17D	横円形	平円状	1.16	0.90	0.23	レンズ状			
1021	9C	横円形	平円状	0.98	0.92	0.30	ブロック状	土師器・鏝		
1025	9B・C	横円形	台形状	1.34	1.27	0.23	レンズ状	土師器		
1026	10B・C	横円形	箱状	0.89	0.81	0.15	レンズ状			
1027	10E	横円形	U字状	1.49	1.09	0.63	レンズ状			
1028	14E	横円形	弧状	0.71	0.64	0.12	レンズ状	鏝	SD314, P1455 <	
1029	10B・C	横円形	台形状	0.82		0.24	レンズ状			
1047	9B	横円形	台形状	1.60	1.06	0.18	ブロック状	土師器		
1048	8B	横円形	弧状	(207)	2.10	0.29	ブロック状	土師器		
1049	8B	横円形	弧状	1.22	0.680	0.17	草層		SK1008 >	
1050	8・9B	横円形	台形状	1.25	0.750	0.11	レンズ状	土師器	SK1010 >	
1051	9B	不整形横円形	台形状	1.20	0.880	0.23	レンズ状		SK1010 >	
1052	8D	横円形	弧状	1.00	0.70	0.12	レンズ状		SK1074 <	
1059	17D	横円形	台形状	1.31	0.92	0.27	レンズ状		SD385 ~ 1386 <	
1060	16・17E	不整形方形	弧状	1.36	1.23	0.19	レンズ状	649	SD384 <	
1066	16E	不整形方形	台形状	1.67	1.60	0.19	レンズ状	661 ~ 662		
1072	9C・D	不整形	弧状	(305)	(170)	0.33	レンズ状	663		
1073	16D	横円形	台形状	0.58	0.50	0.23	レンズ状			
1075	9E	横円形	平円状	0.90	0.73	0.25	ブロック状			
1080	7・8E	横円形	弧状	1.25	0.83	0.14	草層			
1081	8D	横円形	弧状	0.92		0.06	草層			
1082	8D	横円形	弧状	1.05	0.99	0.11	草層			

遺構調査表

古墳時代土坑 (SK) (2)

遺構名	グリッド	形 状		規 模 (m)			覆 土	出土遺物	重複関係	備 考
		平面形	断面形	長さ (m)	幅 (m)	深 さ				
1083	8C	楕円形	半円状	2.18	1.71	0.35	レンズ状			
1086	7C	楕円形	半円状	1.49	1.01	0.41	レンズ状			
1092	12D	楕円形	楕状	1.06	0.88	0.24	レンズ状	土師器	SI196 <	
1094	5B	楕円形	台形状	(1.54)	1.24	0.20	レンズ状			
1113	15D・E	不整形方形	台形状	2.13	1.71	0.20	レンズ状	土師器・漆		
1126	9C	楕円形	半円状	1.64	1.12	0.40	レンズ状	664 - 470	SK1136 <	
1141	12C	楕円形	半円状	2.03	1.74	0.22	レンズ状	471	SD1303 <	2~4層レンズ状
1145	4C	楕円形	楕状	1.18	0.74	0.63	ブロック状			
1146	5B	長楕円形	台形状	0.68	0.35	0.21	ブロック状			
1164	14D	不整形方形	台形状	1.34	0.90	0.24	レンズ状	土師器		
1182	9C	楕円形	楕状	0.79		0.15	レンズ状	土師器		
1185	11C	楕円形	台形状	0.81	0.72	0.30	レンズ状	土師器	SK1212, P1278 <	
1186	9・10C	楕円形	台形状	1.09	1.52	0.13	レンズ状	土師器	SD1034 >	
1192	6C	不整形方形	半円状	1.13	1.07	0.29	レンズ状			
1193	6C	楕円形	楕状	1.23	0.86	0.10	単層			
1194	14D	長方形	楕状	1.12	0.86	0.31	レンズ状	472 - 474	SB36, SD1011・1134 <	
1197	11C	楕円形	台形状	0.69	0.61	0.06	単層	土師器		
1198	11D	楕円形	楕状	0.45	0.33	0.11	単層			
1199	11D	楕円形	U字状	0.58	0.51	0.19	ブロック状			
1203	11D	楕円形	楕状	0.92	0.75	0.17	レンズ状			
1204	11D	長楕円形	台形状	1.22	0.81	0.14	単層	土師器	SD1009 <	
1210	10B	長楕円形	楕状	2.49	1.71	0.12	レンズ状	土師器	SD1014 >	
1211	11B	不整形方形	楕状	2.71	1.88	0.21	レンズ状	土師器	SK1234・1305 <	
1212	11C	楕円形	台形状	2.71	2.40	0.17	レンズ状	土師器, 649	SK1186 > P1278 <	
1220	11C	長楕円形	楕状	1.51	1.00	0.11	単層	475	SI223 <	
1224	10・11B	楕円形	台形状	1.78	(0.81)	0.33	—	476	SK1365 < SD1034, SK1211 >	
1232	13・14C	不整形方形	台形状	1.65	1.26	0.22	レンズ状	477	SD1031 < P1253 >	
1235	14B・C	不整形方形	扇斗状	1.43	1.41	0.49	レンズ状	478	SK1391, P1434 <	
1237	14C	楕円形	半円状	0.99	0.71	0.30	レンズ状	土師器		
1260	14B	楕円形	楕状	0.75	0.61	0.16	レンズ状			
1264	12C	楕円形	楕状	3.60	3.42	0.28	レンズ状	478・479	SK1444 <	1層は土層埋没
1275	12D	長楕円形	楕状	1.15	0.75	0.17	レンズ状			
1276	11・12C	楕円形	台形状	1.16	1.00	0.29	レンズ状			
1277	11B・C	楕円形	楕状	2.14	1.99	0.13	単層	480		
1279	16C	不整形	楕状	3.90	1.61	0.28	レンズ状	土師器	SI1309・1310, P1468 <	
1280	10B	楕円形	台形状	0.89	0.62	0.53	—	481	SK1281 < SD1034 >	
1281	10B	楕円形	U字状	0.74	0.60	0.50	単層	土師器	SD1034, SK1280 >	
1282	10B	長楕円形	楕状	(1.70)	(0.81)	0.08	単層	482	SI195 >	
1286	14C	楕円形	楕状	0.63	0.48	0.20	レンズ状	650		
1288	12B	長楕円形	楕状	1.20	0.75	0.16	単層	土師器		
1290	12D・E	長楕円形	U字状	2.93	1.71	0.59	レンズ状	483 - 488, 651・652	SI2294 < SK1187, F1143 >	
1291	12D	楕円形	楕状	1.09	0.76	0.15	単層			
1292	13E	不整形楕円形	半円状	(0.80)	0.90	0.19	レンズ状	土師器	SI2294 < SD1017 >	
1293	12E	楕円形	楕状	1.06	0.58	0.16	レンズ状			
1306	14C	楕円形	半円状	0.79	0.67	0.19	レンズ状	土師器	SD1031 >	
1335	15B・C	楕円形	半円状	1.51	1.24	0.31	レンズ状	土師器	SI137 ≡	
1336	14D	楕円形	扇斗状	1.25	0.80	0.45	レンズ状	490		
1338	14C	楕円形	扇斗状	2.95	2.18	0.94	レンズ状	491 - 495	P1300 - 1305 >	
1361	12E	楕円形	台形状	1.12	0.96	0.35	レンズ状	土師器	SD1461 >	
1362	12・13D	楕円形	楕状	4.13	(2.35)	0.33	—	496, 653		
1364	14E	楕円形	楕状	(1.18)	1.40	0.18	レンズ状	497 - 501	SI314 <	
1365	11B	楕円形	楕状	(0.91)	(0.56)	0.10	単層	502	SD1034, SK1211・1224 >	
1366	14D	楕円形	楕状	(1.70)	1.25	0.43	レンズ状	503 - 505, 654	SI381, SD1134 >	
1367	12D	不整形楕円形	台形状	1.64	1.12	0.31	ななめ			
1368	15C	不整形	台形状	2.13	1.33	0.29	レンズ状	土師器	SI313, SD1369 <	
1370	14D	楕円形	台形状	1.23	(1.40)	0.18	レンズ状	土師器	SD1011, F1113 >	
1391	13・14B・D	楕円形	半円状	1.85	1.57	0.37	レンズ状	506	SK1255, P1253・1254 >	
1394	10D	楕円形	楕状	1.19	0.55	0.13	単層	土師器		
1395	11・12D・E	楕円形	楕状	1.23	0.97	0.18	レンズ状	土師器		
1398	12E	隅丸方形	台形状	0.71	0.61	0.28	レンズ状			
1399	13E	楕円形	楕状	0.75	0.70	0.13	単層	土師器		
1400	14C	楕円形	台形状	0.92	0.88	0.20	—	土師器		
1406	12E	楕円形	半円状	1.31	0.91	0.33	レンズ状	土師器		
1408	10D	隅丸方形	台形状	1.47	1.40	0.13	単層	507・508		
1409	11D	楕円形	台形状	0.88	0.86	0.27	レンズ状			

古墳時代土坑 (SK) (3)

遺構名	グリッド	形 状		規 模 (m)			覆 土	出土遺物	遺構関係	備 考
		平面形	断面形	長径 (m)	短径 (m)	深 さ				
1412	12・13E	楕円形	台形状	1.23	1.02	0.21	単層	509		
1413	10B	楕円形	台形状	0.90	0.83	0.21	レンズ状			
1414	15・16C	長楕円形	台形状	4.31	1.07	0.15	単層		SI110・1112 < SD1017, SX1273 >	
1415	13D	楕円形	平円状	0.75	0.70	0.23	単層	510	SD100 < SD1134 >	
1418	15B	不整形	不整形	2.28	2.08	0.24	単層		土師器 P1139 >	
1419	15B	不整形	瓢状	(2.85)	2.79	0.21	単層		土師器	
1420	15D	楕円形	瓢状	2.05	(0.95)	0.23	レンズ状	511		SK142 <
1421	14・15E	不整形円形	瓢状	1.32		0.11	単層		土師器	
1423	13E	楕円形	台形状	1.08		0.17	単層		土師器	
1424	14B	隅丸方形	台形状	1.29	(0.62)	0.18	レンズ状			512
1425	14B	楕円形	台形状	1.90	(1.11)	0.16	水平	513, 605		
1426	14B	楕円形	瓢状	1.85	(0.72)	0.17	レンズ状			514・515
1427	14B	不整形円形	台形状	(2.61)	(1.25)	0.17	レンズ状		土師器	
1432	15B	楕円形	平円状	0.72	0.52	0.15	単層			SK1259 >
1433	14C	不整形	台形状	1.00	(1.13)	0.23	ブロッタ状	516 ~ 518		
1436	12E	楕円形	台形状	1.00	0.87	0.22	単層			
1437	12D	隅丸方形	箱状	1.26	0.99	0.27	レンズ状		土師器	
1438	10C	隅丸方形	台形状	1.56	0.83	0.35	レンズ状		土師器	
1439	17D	楕円形	台形状	0.97	0.84	0.14	レンズ状		土師器	
1443	10B	楕円形	U字状	0.79	0.74	0.49	レンズ状		土師器	
1444	12C	楕円形	台形状	(1.85)	1.70	0.15	レンズ状		土師器	
1447	14D	楕円形	瓢状	2.05		0.33	レンズ状		土師器・鏡	
1450	14B	不整形円形	台形状	0.98	0.82	0.43	単層		土師器	
1452	13E	楕円形	箱状	0.93	0.42	0.28	単層		土師器	

古墳時代土坑遺構 (F)

遺構名	グリッド	形 状		規 模 (m)			覆 土	出土遺物	遺構関係	備 考
		平面形	断面形	長径 (m)	短径 (m)	深 さ				
1121	15C	不整形		1.46	1.05		ブロッタ状	土師器	SD1313 <	1層焼土多量
1122	14C	長楕円形		1.10	0.59		レンズ状	土師器	SK1461 <	2層焼土層
1123	14C	長楕円形		0.96	0.63		レンズ状		SD1134 <	2層焼土層
1124	14C	不整形		0.97	0.57		ブロッタ状	土師器	SD1134 <	1層焼土混入
1125	13・14D	不整形		1.00	0.52		ブロッタ状		SD16, SD1134 <	1層焼土多量
1127	15C	楕円形		1.00	0.77		ブロッタ状	鏡	SD1317 <	1層焼土多量, 2層焼土中量
1128	15C	楕円形		0.85	0.59		レンズ状		SD1317 <	2層焼土層
1130	15C	楕円形		0.79	0.53		レンズ状		SK1418 <	1層焼土中量
1143	13E	楕円形		0.51	0.41		レンズ状		SI294, SK1290 <	3層炭化物多量
1144	13E	不整形		0.56	0.48		レンズ状			2層焼土層
1217	14C	楕円形		0.96	0.72		レンズ状		SD1309 <	2層焼土中量
1218	14C	楕円形		0.65	0.47		レンズ状			1層焼土層
1219	14C	瓢状		1.23	0.80		ブロッタ状	657	SD1134 <	2層焼土中量
1257	15C	楕円形		0.43	0.35		レンズ状			2層焼土・炭化物中量
1316	15D	不整形		1.05	0.74		—	土師器		1層焼土中量
1383	13C	楕円形		0.59	0.44		レンズ状		SD1134 <	1層焼土中量
1460	15D	楕円形		0.52	0.41		単層		SD1317 <	1層焼土多量

古墳時代性格不明遺構 (SX)

遺構名	グリッド	形 状		規 模 (m)			覆 土	出土遺物	遺構関係	備 考
		平面形	断面形	長 径	短 径	深 さ				
1008	16E	長楕円形	U字状	1.79	0.65	0.31	レンズ状		土師器	
1074	8・9D	不整形方形	台形状	3.44	3.02	0.11	レンズ状			SK1052 >
1076	16E	楕円形	瓢状	3.54	3.12	0.12	単層		土師器	SD1385, SX1077 <
1077	16E	長楕円形	瓢状	4.28	1.58	0.12	単層			SD1385 < SX1076 >
1093	7C	隅丸方形	台形状	3.80	2.68	0.13	レンズ状		土師器・鏡	
1112	13D・E	長楕円形	瓢状	(4.95)	2.37	0.15	レンズ状			
1126	9C	不整形	瓢状	(4.06)	3.34	0.10	単層	520 ~ 522	P1130・1131 < SD1044, SK1126 >	
1457	15E	—	箱状	(1.90)	(0.45)	0.23	単層			型瓦遺構小

古墳時代ピット

遺構名	グリッド	平面形	断面形	平面規模 (m)	深 さ (m)	底面形状 (m)	柱状	出土遺物	遺構関係
1058	16D15, 17D4	楕円形	瓢状	0.41 × 0.33	0.08	36.74	×	456・459	SD1365 <
1280	15C18	楕円形	U字状	0.25	0.27	36.43	×	638	SD1313 <
1336	14C22	楕円形	U字状	0.22	0.18	36.57	×	489	SD1134 <
1401	12E5, 13E1	楕円形	瓢状	0.45 × 0.42	0.15	36.69	×	519	
1430	13D17・22	楕円形	台形状	0.44 × 0.34	0.34	36.24	×	639	SD1317 <

中華磁器類(2)

No.	品名(ナリナリ)	磁土位置		器種	器名	保存状態	寸法(高さ)	重量(g)	色調・施装	状態	備考
		口縁部	器底								
33	58K35	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/10	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶(古手)
34	52K46	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/10	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶(古手)
35	50J2	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/12	(140)	—	灰白色	良好	珠洲製陶
36	50J10	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	(110)	—	灰白色	良好	珠洲製陶
37	53K15	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
38	53K15	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	(52)	—	灰白色	良好	珠洲製陶
39	P85	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
40	P21	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
41	S8Z25	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
42	S10P415	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
43	P61	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	(100)	—	灰白色	良好	珠洲製陶
44	25K	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
45	10C36	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
46	10C30	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
47	10C15	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
48	11C5	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
49	30	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/3	—	4.8	灰白色	良好	珠洲製陶
50	659	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	4.5	灰白色	良好	珠洲製陶
51	9611	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/12	—	6.7	灰白色	良好	珠洲製陶
52	30C5	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/4	—	(94)	灰白色	良好	珠洲製陶
53	52B14-14C16	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
54	10C20	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
55	10C20	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
56	11E	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/4	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
57	91C5	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/12	—	(110)	灰白色	良好	珠洲製陶
58	11B-C	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	—	(126)	灰白色	良好	珠洲製陶
59	10B、10C15-20	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	—	(146)	灰白色	良好	珠洲製陶
60	12D14-11D14	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
61	11C7	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
62	10C12	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/8	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
63	11E10	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/6	—	(126)	灰白色	良好	珠洲製陶
64	10C12	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
65	10C15	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶
66	10C25	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	1/4	—	6.6	灰白色	良好	珠洲製陶
67	11C6	白磁	白磁	白口鉢	鉢(下)	—	—	—	灰白色	良好	珠洲製陶

遺物観察表

中世 木製品 (1)

番号 No.	遺物名 (グループ)	用途など	器 種	材 種	木取り	長さ (cm)	出 寸 (cm)		備 考
							幅	厚 さ	
68	SE49	紐下層	動物骨板	スギ	板目	200	8.5	0.5	水澱
69	SE49	紐下層	動物骨板	スギ	板目	216	23.3	1.2	水澱、表面漆塗り
70	SE302	紐下層	木製杖製品	スギ	板目	138	3.5	0.2	器骨などは確認できない
71	SE237	紐下層	動物	スギ	板目	179 × 17.3	13.0	0.7	水澱、内面漆塗り
72	SE230	下層	棒	ケヤキ	横水地板目取	26.8 × 22.0	11.7	2.2	割り物
73	SE230	紐下層	円形板	スギ	板目	198	18.1	0.5	劈物板あり
74	SE230	下層	補助材	スギ	板目	276	11.0	0.7	骨が埋め込まれている
75	SE230	下層	補助材	タリ	板目	154	7.3	1.7	骨が埋め込まれている。現状
76	SE230	下層	補助材	タリ	板目	126	4.0	2.5	骨が埋め込まれている。現状
77	SE230	下層	補助材	タリ	板目	187	7.4	3.2	骨が埋め込まれている。現状
78	SE230	下層	覆板	タリ	板目	85.2	25.2	4.0	骨が埋め込まれている
79	SE230	下層	覆板	タリ	板目	1026	30.8	4.8	骨が埋め込まれている
80	SE230	下層	覆板	タリ	板目	101.0	28.2	4.2	骨が埋め込まれている
81	SE230	下層	覆板	タリ	板目	96.8	26.0	3.0	骨が埋め込まれている
82	SE230	下層	覆板	タリ	板目	98.8	30.6	4.0	骨が埋め込まれている
83	SE230	下層	覆板	タリ	板目	94.8	26.4	3.6	骨が埋め込まれている
84	SE230	下層	覆板	タリ	板目	99.2	26.0	3.8	骨が埋め込まれている
85	SE230	下層	動物	スギ	板目	30.0 × 48.0	25.0	1.8	水澱、2段組みの下段
86	SE230	下層	動物	スギ	板目	54.0 × 50.6	11.3	2.4	水澱、2段組みの上段
87	SE344	紐下層	円形板	スギ	板目	283	25.5	0.7	表面漆塗り。劈物板あり
88	SE344	紐下層	円形板	スギ	板目	223	21.5	1.2	表面漆塗り
89	SE344	紐下層	円形板	スギ	板目	25.8	10.3	0.8	表面漆塗り。欠損
90	SE344	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	159	0.8	0.4	上部欠損
91	SE344	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	141	0.5	0.4	上部欠損
92	SE344	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	61	0.4	0.5	上部欠損
93	SE344	下層	覆板	タリ	板目	934	27.4	3.6	骨が埋め込まれている
94	SE344	下層	覆板	タリ	板目	949	29.6	3.6	骨が埋め込まれている
95	SE344	下層	覆板	タリ	板目	946	26.6	3.6	骨が埋め込まれている
96	SE344	下層	覆板	タリ	板目	1080	30.4	3.8	骨が埋め込まれている
97	SE344	下層	覆板	タリ	板目	1092	28.4	4.8	骨が埋め込まれている
98	SE344	下層	覆板	タリ	板目	107.0	31.6	4.4	骨が埋め込まれている
99	SE344	下層	覆板	タリ	板目	1106	32.6	3.9	骨が埋め込まれている
100	SE428	紐下層	漆器柄	ケヤキ	横水地板目取	122 × 10.6	4.7	0.6	内・外面ステンブ文
101	SE428	紐下層	動物	スギ	板目	19.7 × 18.5	12.6	0.7	
102	SE428	紐下層	円形板	スギ	板目	167	4.7	0.9	
103	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	186	0.7	0.4	完形
104	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	184	0.8	0.5	上部欠損
105	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	162	0.6	0.4	上部欠損
106	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	142	0.6	0.5	上部欠損
107	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	202	0.5	0.4	上部欠損
108	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	117	0.4	0.3	上部欠損
109	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	7.6	0.5	0.4	上部欠損
110	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	144	0.6	0.5	上部欠損
111	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	131	0.6	0.4	両端欠損
112	SE428	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	9.6	0.6	0.5	両端欠損
113	SE428	紐下層	付け木			136	0.9	0.7	上半部欠損
114	SE428	紐下層	付け木			5.2	1.2	0.7	上半部欠損
115	SE428	紐下層	付け木			7.2	1.1	0.4	上半部欠損
116	SE428	紐下層	付け木			154	1.4	0.5	上半部欠損
117	SE428	下層	覆板	タリ	板目	884	26.6	4.0	骨が埋め込まれている
118	SE428	下層	覆板	タリ	板目	1020	21.6	3.2	骨が埋め込まれている
119	SE428	下層	覆板	タリ	板目	1122	32.8	4.8	骨が埋め込まれている
120	SE428	下層	覆板	タリ	板目	1192	29.2	4.8	骨が埋め込まれている
121	SE428	下層	覆板	タリ	板目	1194	40.0	5.6	骨が埋め込まれている
122	SE428	下層	覆板	タリ	板目	1216	21.6	5.2	骨が埋め込まれている
123	SE428	下層	瓦	タリ	四方柱	71.4	6.4	3.7	下部に穿孔あり
124	SE428	紐下層	動物	スギ	板目	54.4 × 54.0	44.0	2.4	水澱、2段組みの上段
125	SE428	紐下層	動物	スギ	板目	38.6 × 35.6	24.5	1.9	水澱、2段組みの下段
126	SE439	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	223	0.5	0.5	完形
127	SE439	紐下層	蓋状製品	スギ	割出角棒状	147	0.6	0.6	上部欠損
128	SE439	紐下層	付け木			163	0.9	0.7	上半部欠損
129	SE439	紐下層	動物	スギ	板目	53.9 × 53.8	40.5	1.2	水澱
130	SE363	紐下層	漆器柄	ケヤキ	横水地板目取	9.2 × 8.8	1.3	0.4	内面に模様あり
131	SE363	紐下層	漆器	ケヤキ	横水地	31	2.8	0.4	内・外面に模様あり。焼か?
132	SE363	紐下層	漆器	ケヤキ	横水地	25	2.1	0.3	外面に模様あり。焼か?
133	SE363	紐下層	漆器	ケヤキ	横水地	34	2.2	0.3	外面に模様あり。焼か?
134	SE389	紐下層	蓋	スギ	板目	248	24.0	0.9	
135	SE389	紐下層	蓋	ケヤキ	板目	25.0	24.3	1.2	断面炭化物付着
136	SE389	紐下層	円形板	スギ	板目	45.7	10.7	0.9	
137	SE389	紐下層	円形板	スギ	板目	62.3	37.8	1.0	正・裏面に劈物板あり

中世 木製品(2)

報告 No.	遺構名 (タリノフ)	層位など	器 種	材 質	木取方	長さ (cm)	法 量 (mm)		備 考
							幅	厚 さ	
138	SE589	最下層	円板	ケヤキ	板目	228	5.7	0.6	
139	SE589	最下層	蓋状製品	スギ	断面角棒状	179	0.6	0.4	完形
140	SE589	最下層	筒状	スギ	板目	263	130	0.7	寸法から筒状と推測
141	SE589	最下層	筒状	スギ	板目	265	9.5	0.5	
142	SE589	最下層	筒状	スギ	板目	262	9.9	0.5	表面に写物痕あり
143	SE589	最下層	筒状	スギ	板目	27.3	24.9	0.6	正・裏面に写物痕あり
144	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	1268	40.6	3.2	板状か?
145	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	1200	17.2	3.0	板状か?
146	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	94.8	17.8	2.4	板状か?
147	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	36.1	5.3	3.3	
148	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	42.3	4.0	3.5	
149	SE589	下層	板材	ケヤキ	板目	51.4	5.6	3.2	
150	SE589	最下層	曲物	スギ	板目	41.6 × 40.8	39.5	1.3	木皿
151	SE284	最下層	曲物	スギ	板目	44.2	9.8	1.6	木皿
152	SE284	下層	板材	ケヤキ	板目	37.4	5.3	3.1	
153	SE284	下層	板材	ケヤキ	板目	59.8	13.5	7.0	
154	SE284	下層	板材	ケヤキ	板目	72.0	10.8	10.5	

中世 石器・石製品

報告 No.	遺構名 (タリノフ)	層位など	器 種	石 材	法 量 (mm)			重量 (g)	備 考
					長 さ	幅	厚 さ		
155	SI01P406	覆土一括	磨石類	流紋岩	103	6.9	5.2	492	磨き磨り面
156	SI02P416	覆土一括	磨石	安山岩	190	10.1	8.5	2300	在地表?
157	SE216	上層	磨石	不明	9.1	5.9	1.5	107	磨入品か
158	SE216	上層	磨石	流紋岩	5.0	7	5.7	232	在地表?
159	SE310	7層	磨石	流紋岩	144	6.6	5	695	水磨痕面出土
160	SE344	8層	磨石	砂岩	233	18	4.7	2800	石目?黒色物質付着
161	SE439	5層	磨石	緑色輝石岩	127	6.7	1.9	276	
162	SE589	上層一括	磨石類	砂岩	102	8.6	8	931	古墳時代の可能性あり
163	SK17	2層	磨石	流紋岩	181	6.7	4.7	439	在地表?
164	SK19	覆土一括	磨石	流紋岩	62	3.6	1	34	
165	SK100	6層	磨石類	磨石	7.5	4.8	4.8	31	
166	SK101	2層	磨石	流紋岩	8.5	5.7	4.6	178	
167	SK103	1層	磨石	流紋岩	7.4	5.2	3.1	96	破片
168	SK85	中層	磨石類	砂岩	92	7.9	8.3	915	磨入品? (中世遺構に発見)
169	SK89	1層	磨石	流紋岩	7.6	7.1	6.2	307	大型品。在地表?
170	SD14	2層	磨石	ホルンフェルス	21.9	15.4	7.5	3300	在地表?
171	SD16	3層	磨石	ホルンフェルス	16.1	8.6	6.4	1534	在地表?
172	SD16	3層	磨石類	安山岩	103	5.1	4.3	324	磨き磨り面
173	SD210	覆土一括	磨石	ホルンフェルス	131	5.2	3.3	329	在地表?
174	SD302	覆土一括	磨石	流紋岩	15.9	6.6	5.9	539	在地表?
175	SD302	覆土一括	磨石	ホルンフェルス	21.4	7.3	4.4	1382	在地表?
176	SD302	覆土一括	磨石類	凝灰岩	11.2	3.7	3.2	174	磨き磨り面
177	SD7P138	覆土一括	磨石	流紋岩	125	9.4	5	571	在地表?
178	P204	覆土一括	磨石	ホルンフェルス	14.1	4.3	2.1	206	在地表?
179	P543	覆土一括	磨石類	花崗岩	7.5	5.7	3.8	227	磨き磨り面
180	1107	3層	磨石	流紋岩	131	4.8	3.4	243	表面と磨入
181	9C7	3層	磨石	流紋岩	9.9	7.1	3.3	345	
182	10425	3層	磨石	不明	5.5	3.2	1.4	35	

金属製品

報告 No.	遺構名 (タリノフ)	層位など	器 種	材 質	法 量 (mm)			重量 (g)	備 考
					長 さ	幅	厚 さ		
183	SE217	中層	鏡筒	鋼	25	2.5	0.4	29	
184	SK335	1層	鏡筒	鋼	26	2.5	0.1	99	「皇玉遺構」
185	SD6P333	覆土一括	鏡筒	—	62	4.9	3.0	905	
186	SE217	1層	鏡筒	—	45	3.4	2.5	365	
187	SE310	1層	不明	鉄	5.1	2.1	0.4	40	板状。鏡か?
188	SE310	1層	鏡筒	—	7.5	5.1	3.1	871	
189	SK19	上層	不明	鉄	7.7	1.3	1.1	137	板状
190	SK32	1層	カスガイ	鉄	8.0	0.7	1.1	153	
191	SK32	3層	刀子	鉄	123	1.7	0.4	233	
192	SD12	覆土一括	不明	鉄	6.3	0.7	1.1	91	断面丸く板状
193	SK335	2層	鏡筒	—	6.9	5.0	2.7	967	
194	SK339	覆土一括	鏡筒	—	8.2	6.7	3.2	1090	鏡筒部?
195	P573	覆土一括	釘	鉄	6.4	0.9	1.0	190	
196	P467	覆土一括	不明	鉄	7.1	2.1	0.6	261	板状
197	11C33	3層	刀鉄片	鋼	4.9	2.4	0.9	7.9	
198	11C5	3層	不明	鉄	4.0	2.4	0.8	5.6	
199	13D43	3層	不明	鉄	11.3	2.0	1.7	60.8	板状
200	12D4	3層	鏡筒	—	4.8	3.4	3.3	580	
201	12D4	3層	鏡筒	—	3.2	2.4	1.0	62	

吉備時代土器類(3)

番号 No.	通称名 ナリナド	原土位置 層位	形種	残存部位	任意 (mm)		胎土	色 調			肌 感	支脚・調整心之			備 考
					口径	高さ		外面	内面	口 縁		外 縁	内 縁		
255	SI225	1層	葉	口縁	117(8)		赤、長、細小楕、非	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ	内 縁		
256	SI225	3層	葉	口縁	154(0)		赤、長、赤、非(頂)	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ、ハナテ 口縁：ハナテのヨコナテ	内 縁		口縁：ハナテのヨコナテ、 口縁：ハナテのハナテ
257	SI225	3層	葉	唇一底		4.1	赤、長、赤、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			唇部に灰化物質の付着あり、底部に 灰層
258	SI294	覆土1底	葉	唇一底			赤、長、赤、細小楕	明緑	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			
259	SI294	1層	葉	唇一底		6.7	赤、長、赤、細小楕	明緑	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			
260	SI294	5層	葉	口縁	225(0)		赤、長、細小楕	明緑	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			
261	SI294	1層	葉	口縁	117(8)		赤、長、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁一縁部の外縁に灰化物質の付着あり
262	SI294	1層	葉	口縁	152		赤、長	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁一縁部の外縁に灰化物質の付着あり
263	SI294	1層	鉢	唇一底		6.9	赤、長、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	唇一底：ヨコナテ			
264	SI294	1層	彫行	受一底		33.0	赤、長、小楕	に濃い青	良好	良好	良好	受一底：ヨコナテ			中央、調整心以上
265	SI337	7層	葉	口縁	114.0	1.5	加土楕圓、長(頂)	に濃い青	良好	良好	良好	受一底：ヨコナテ			唇部の外縁に二次灰層あり
266	SI337	4層	葉	口縁	162		赤、長、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			
267	SI337	1層	葉	口縁			赤、長、細小楕	明赤	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			
268	SI337	4層	葉	口縁	105		赤、長、細小楕	明赤	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			
269	SI337	2層	葉	口縁	112.0		赤、長、針	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			
270	SI337	2層	葉	唇一底		3.4	赤、長、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			
271	SI337	4層	葉	口縁	242		赤、長、細小楕、非	灰黄緑	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			唇部の外縁に二次灰層あり
272	SI337	2層	葉	口縁	27.0		赤、長	明緑	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁部の外縁に二次灰層あり
273	SI337	2層	葉	唇一底	27.8		赤、長、細小楕	明赤	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			口縁部の外縁に二次灰層あり
274	SI337	2層	葉	唇一底	27.8		赤、長、細小楕	明赤	良好	良好	良好	唇一底：ハナテ			口縁部の外縁に二次灰層あり
275	SI337	2層	葉	口縁	21.0		赤、長、細小楕、非	明赤	良好	良好	良好	口縁：ハナテ			口縁部の外縁に二次灰層あり
276	SI337	4層	葉	口縁	194		赤、長、小楕、非	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ハナテのヨコナテ			唇部の外縁に二次灰層の付着あり
277	SI337	4層	葉	口縁	247		赤、長、細小楕、非	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ハナテのヨコナテ			口縁部の外縁に灰化物質の付着あり
278	SI337	4層	葉	口縁	130		赤、長、細小楕	明赤	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁部の外縁に灰化物質の付着あり
279	SI337	4層	葉	口縁	200		赤、長、細小楕、非	明赤	良好	良好	良好	口縁：ハナテのヨコナテ			口縁部の外縁に灰化物質の付着あり
280	SI337	2層	葉	口縁	130		赤、長、細小楕	灰黄緑	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁一縁部の外縁に灰化物質の付着あり
281	SI337	4層	葉	口縁	184		赤、長、赤、細小楕	に濃い青	良好	良好	良好	口縁：ヨコナテ			口縁部中央の外縁に灰化物質の付 着あり

吉備時代土器類(5)

番号 No	通称名 ヤマト	原土位置	形状	形状位置	任意 (mm)		胎土	色 澤			形状	文様・装飾心之		備 考
					口径	高さ		外面	内面	外面		内面		
309	S03314		1号 鉢	1段-1段	1250		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面		
310	S03315		1号 鉢	受-脚	(90)		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
311	S03315		2号 壺	1段-1段	1627	66	赤土、黒土、赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ 内面、ハナナナナナ	
312	S03315		2号 壺	1段-1段	1627	66	赤土、黒土、赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ 内面、ハナナナナナ	
313	S03315		1号 壺	1段-1段	2940		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
314	S03315		1号 壺	1段-1段	3222		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
315	S03315		2号 壺	1段-1段	1627		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
316	S03315		2号 壺	1段-1段	1627	63	赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
317	S03315		2号 壺	1段-1段	1627	63	赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
318	S03315		1号 壺	1段	2943		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
319	S03315		1号 壺	1段	2943		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
320	S03315		1号 壺	1段-1段	1770		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
321	S03317		1号 壺	1段	1623		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
322	S03381		1号 壺	1段-1段	1623		赤、灰、外、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
323	S03381		1号 壺	1段-1段	1623		赤、灰、外、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
324	S03381		1号 壺	1段	1320		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
325	S03381		1号 壺	1段-1段	1640		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
326	S03381		2号 壺	1段	1627		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
327	S03381		2号 壺	1段	1640		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
328	S03381		1号 壺	1段-1段	1646		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
329	S03381		2号 壺	1段-1段	1646	35	赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
330	S03381		1号 壺	1段-1段	1646	35	赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
331	S03381		1号 壺	1段-1段	1646	36	赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
332	S03381		1号 壺	1段-1段	1646	36	赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
333	S03381		2号 壺	1段	1627	(40)	赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
334	S03381		1号 壺	1段	1627	(40)	赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
335	S03381		2号 壺	1段	1627	(40)	赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
336	S03381		1号 壺	1段-1段	1320		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
337	S03381		1号 壺	1段-1段	1641		赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
338	S03381		1号 壺	1段	1641	64	赤、灰、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	
339	S03386		1号 壺	1段-1段	2824		赤、灰、赤、黒小塊	外 面	内 面	口 縁	外 面	内 面	交、脚縁、脚、ハナナナ	

古墳時代土器類(8)

番号 No.	素焼名 フリット	形状	規格寸法	出 張 (mm)		胎 土	装 潢			地 肌	文 字・溝痕など			備 考
				口径	高さ		外 面	内 面	口 端		外 面	内 面		
305	S01004	壺	口端一径 20(8)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端部の外側に紅化帯の付着あり	
306	S01004	壺	口端一径 11(7)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端部の外側に紅化帯の付着あり	
307	S01004	壺	口端一径 10(6)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
308	S01004	壺	口端一径 6(5)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
309	S01001	壺	口端一径 22(9)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
401	S01004	壺	口端一径 13(5)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
402	S01003	壺	口端一径 20(8)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
403	S01009	壺	口端一径 12(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
404	S01009	壺	口端一径 4(3)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
405	S01009	壺	口端一径 11(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
406	S01188	壺	口端一径 10(6)	9(4)	灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
407	S01208	壺	口端一径 9(5)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
408	S01222	壺	口端一径 6(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
409	S01267	壺	口端一径 6(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
410	S01267	壺	口端一径 11(5)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
411	S01267	壺	口端一径 20(8)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
412	S01267	壺	口端一径 11(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
413	S01267	壺	口端一径 11(7)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
414	S01267	壺	口端一径 8(5)	7(2)	灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
415	S01267	壺	口端一径 19(7)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
416	S01267	壺	口端一径 12(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
417	S01267	壺	口端一径 11(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
418	S01303	壺	口端一径 20(8)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
419	S01303	壺	口端一径 11(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
420	S01303	壺	口端一径 9(6)	4(5)	灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	
421	S01303	壺	口端一径 11(4)		灰、黒、黒小礫	灰青帯	灰青帯	良好	ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端:ヨコナナ	口端一径部以外に紅化帯の付着あり	

古墳時代土器類 (9)

番号 No	遺物名 モノナマ	出土位置 出土位置	形状	器種	残存部位	任意 (mm)		胎土	色 澤			形成	口 縁	外 観	文 飾・彫刻など	内 面	備 考	
						口径	高さ		外 面	内 面								
422	S01X03		2層	壺	口縁-1層			灰、黒、赤	明焼	明焼	良好	口縁-ヨコナテの取付部付	面-磨光					
423	S01X03		2層	壺	口縁-1層			灰、黒、赤、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	ヨコナテ	口縁-ヨコナテ					
424	S01X03		2層	壺	口縁-1層 (115)			灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ 体-ハコナテ				
425	S01X03		上、下層	壺	胴-1層			灰、黒、黒小礫	明焼	灰青焼	良好	体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ 体-ハコナテ				
426	S01X03		2層	壺	胴-1層	20		灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ 体-ハコナテ				
427	S01X03		2・下層	壺	胴-1層			灰、黒、黒小礫	明焼	に灰小礫焼	良好	受-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ 体-ハコナテ				
428	S01X03		2層	影行	受-1層 (101)	11.9	8.3	灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	受-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ 体-ハコナテ			中央、胴部に透孔あり	
429	S01X03		2層	影行	受-1層 (83)			灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	受-ハコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			中央、胴部に透孔あり	
430	S01X03		2層	影行	受-1層	8.9		灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	磨光、 受-ハコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			中央、胴部に透孔あり	
431	S01X03		7層	影行	受-1層	6.8	18.6	灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	磨光	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			中央	
432	S01X03		7層	影行	受-1層			灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	磨光	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり	
433	S01X03		1層	高杯	口縁-1層		(11.0)	灰、黒、黒小礫	明焼	明焼	良好	磨光	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり	
434	S01X03		上、下層	壺	口縁-1層 (142)			灰、黒、黒小礫	灰青焼	黒焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
435	S01X03		7層	壺	口縁-1層 (202)		25.6	灰、黒、赤、黒	に灰小礫焼	黒焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
436	S01X03		1-2層	壺	口縁-1層 (164)			灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
437	S01X03		1-2層	壺	口縁-1層 (190)			灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
438	S01X03		7層	壺	口縁-1層 (101)			灰、黒、黒小礫	明焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
439	S01X03		1-2層	壺	体-1層		3.4	灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			受取部内、外周に彫刻の付録に灰化跡の付録あり
440	S01X03		2層	鉢	口縁-1層 (270)			灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	磨光	口縁-1層、 体-ハコナテ	口縁-1層、 体-ハコナテ			灰部有孔	
441	S01X03		1-2層	鉢	口縁-1層 (142)		9.0	灰、黒、赤	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			灰部有孔
442	S01X09		3層	壺	口縁-1層 (134)			灰、黒、赤	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ			灰部有孔
443	S01X09		2層	壺	口縁-1層 (144)			灰、黒、赤 (磨)、 黒小礫	に灰小礫焼	に灰小礫焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			灰部有孔
444	S01X09		3層	壺	口縁-1層 (160)			灰、黒、赤	明焼	明焼	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			灰部有孔
445	S01X09		3層	壺	体-1層		3.2	灰、黒、黒小礫	に灰小礫焼	明灰青	良好	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ	口縁-ヨコナテ、 体-ハコナテ			灰部有孔
446	S01X09		覆土-1層	壺	体-1層		(3.0)	灰、黒	灰青焼	明灰青	良好	体-ハコナテ	口縁-1層、 体-ハコナテ	口縁-1層、 体-ハコナテ			灰部有孔	
447	S01X09		覆土-1層	壺	体-1層		3.1	灰、黒、赤、黒	明焼	明灰青	良好	体-ハコナテ	口縁-1層、 体-ハコナテ	口縁-1層、 体-ハコナテ			灰部有孔	

古墳時代土器類 (11)

番号 No	通称名 ナリヤド	原土位置 層位	形制	残存部位	任意 (mm)		胎土	色 澤			肌 感	支脚・調整心之			備 考
					口径	高さ		外面	内面	口 縁		外 脚	内 脚		
400	SXL277	1層	蓋	底一底			赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	体一底	体一底	体一底	底面平展(2)類	体一底部の外面に灰化物の付着あり、底面平展(1)類
401	SXL280	覆土一拵	蓋	底一底	29		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	体一底	体一底	体一底		
402	SXL282	1層	蓋	底一底	22		赤、細小粒	明焼	明焼	良好	体一底	体一底	体一底		
403	SXL290	覆土一拵	蓋	底一底	23(10)		赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
404	SXL290	覆土一拵	蓋	底一底	60		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
405	SXL290	覆土一拵	蓋	底一底	20(10)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
406	SXL290	覆土一拵	蓋	底一底	30		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
407	SXL290	2層	蓋	口縁一底	14(5)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
408	SXL290	覆土一拵	彫台	脚			赤、長、雲	明焼	明焼	良好	脚一底	脚一底	脚一底		中央、脚部底縁以上
409	F1205	覆土一拵	土器	底	(34)		赤、長	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
400	SXL356	1層	蓋	口縁一底	13(5)	31	赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
401	SXL358	4層	蓋	口縁一底	13(7)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
402	SXL358	4・6層	蓋	口縁一底	16(6)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
403	SXL358	4層	鉢	口縁一底	16(6)		赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
404	SXL358	4層	蓋	底一底	56		赤、長、雲	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
405	SXL358	6層	鉢	口縁一底	16(6)	25 (4.5)	赤、長、雲	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
406	SXL362	覆土一拵	蓋	口縁一底	16(6)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
407	SXL364	1層	蓋	口縁一底	12(8)		赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
408	SXL364	1層	蓋	口縁一底	18(6)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
409	SXL364	1層	蓋	底一底	40		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
500	SXL364	1層	蓋	底一底	60		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
501	SXL364	1層	彫台	受一底	18(7)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	受一底	受一底	受一底		
502	SXL365	1層	蓋	口縁一底	17(7)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
503	SXL366	1・2層	蓋	底一底	14(5)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	底一底	底一底	底一底		
504	SXL366	3層	蓋	口縁一底	14(5)		赤、長、赤	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
505	SXL366	1層	蓋	口縁一底	13(8)		赤、長、赤、細小粒、赤、長、雲、細小粒、赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
506	SXL366	1層	彫台	脚			赤、長、雲、細小粒、赤、長	明焼	明焼	良好	脚一底	脚一底	脚一底		
507	SXL408	1層	蓋	口縁一底	18(6)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
508	SXL408	1層	彫台	受一底	12(2)		赤、長、細小粒	明焼	明焼	良好	受一底	受一底	受一底		
509	SXL412	1層	蓋	口縁一底	13(10)		赤、長、雲	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		
510	SXL415	1層	蓋	口縁一底	12(10)		赤、長、細小粒、赤、長	明焼	明焼	良好	口縁一底	口縁一底	口縁一底		

古墳時代土器類 (13)

順号 No.	遺物名 イテリナド	出土位置 発掘部位	形状	保存部位	任意 (mm)		胎土	色 調			形状	文 飾・彫刻心之		備 考
					口径	高さ		外面	内面	口縁		外 部	内 面	
509	1415 青冪	11階一段	壺	口縁一段	18(27)	6.5	灰、黒、赤、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
560	1423 青冪	11階一段	壺	口縁一段	130	(34)	灰、灰、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳	口縁一部の外側に灰化物の付着あり	
541	1402 青冪	11階一段	壺	口縁一段	196		灰、灰、針、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
562	1310B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1245		灰、灰、針、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
563	1310B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1220		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
564	1402B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1320		灰、灰	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
565	13071 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1110		灰、灰	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
566	13013 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(68)		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
567	13013 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(72)		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
568	1402B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(58)		灰土礫品、灰、針、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
569	1328 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(46)		灰土礫品、針	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
570	1404 青冪	11階一段	壺	口縁一段	59		灰、灰、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
571	12018 青冪	11階一段	壺	口縁一段	60		灰、灰、赤、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
572	1403 青冪	11階一段	壺	口縁一段	56		灰、灰、針、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
573	1403B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	56		灰、灰、赤、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
574	1403B 青冪	11階一段	壺	口縁一段	83		灰、灰、赤、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
575	13013 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(63)		灰、灰、赤	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
576	13013 青冪	11階一段	壺	口縁一段	57		灰、灰、針、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
577	140 青冪	11階一段	壺	口縁一段	72		灰、灰	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
578	13039 青冪	11階一段	壺	口縁一段	84		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
579	13039 青冪	11階一段	壺	口縁一段	59		灰、灰、針	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
580	1402 青冪	11階一段	壺	口縁一段	(70)		灰、灰、小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
581	1026 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1643		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
582	13023 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1640		灰、灰、赤	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
583	1402 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1345		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
584	1405 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1345		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
585	130 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1210		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
586	14023 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1228		灰、灰、黒小礫	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		
587	14023 青冪	11階一段	壺	口縁一段	1220		灰、灰	明焼	明焼	良好	口縁：滑乳	口縁：滑乳		

古墳時代土器類 (15)

番号 No.	遺物名 ナリヤド	出土位置	形制	残存部位	任意 (mm)		胎土	色調		肌感	文様・調整心之			備考
					口径	高さ		外径	内径		口縁	外縁	内縁	
398	1006 甕・N編	影行	受一脚	11(6)	14(4)	12(0)	灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	中学、解部成員以上、	
399	14020 甕	影行	受一脚			13(0)	灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	解部成員以上、	
400	15024 甕・N編	影行	受一脚				灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	解部成員以上、	
601	12022 甕・N編	影行	受一脚				灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受部の外、外縁に調整の付加に準ずる	
602	14020 甕	影行	受	12(2)	11(0)		灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	中学、解部成員以上、	
603	10021 甕	影行	受一脚	10(0)			灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	結合部台、中央	
604	16023 甕	土器	受一脚		4.0		灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌	中学、解部成員以上、	
605	807 甕・N編	土器	受一脚				灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌		
606	12・13C 甕	土器	受一脚				灰、灰、赤	に赤い青濁	良好	受一脚土器肌	受一脚土器肌	受一脚土器肌		

古墳時代土製品

番号 No.	遺物名	出土位置	形制	部 位	法 量 (cm at)			色調	肌 感	焼 成	胎 土	備 考
					長 寸	丸径 (90°)	厚 A					
407	13015 土器	影行	受一脚	受一脚	2.00	(21)	灰青濁	良好	灰	灰、赤、灰、赤、細小	調部	
608	SK1396 土器	影行	受一脚	受一脚	5.0	(4.4)	に赤い青濁	良好	灰	灰、赤、細小	調部成員、ナリヤド	
609	SK1429 土器	影行	受一脚	受一脚	5.5	0.6	100(0)	に赤い青濁	良好	灰、赤、細小	調部成員、ナリヤド	
610	SK1429 土器	影行	受一脚	受一脚	5.2	4.2	86.5	に赤い青濁	良好	灰、赤、細小	調部成員、ナリヤド	
611	SK1134 土器	影行	受一脚	受一脚	5.5	4.4	87.1	に赤い青濁	良好	灰、赤、細小	調部成員、ナリヤド	

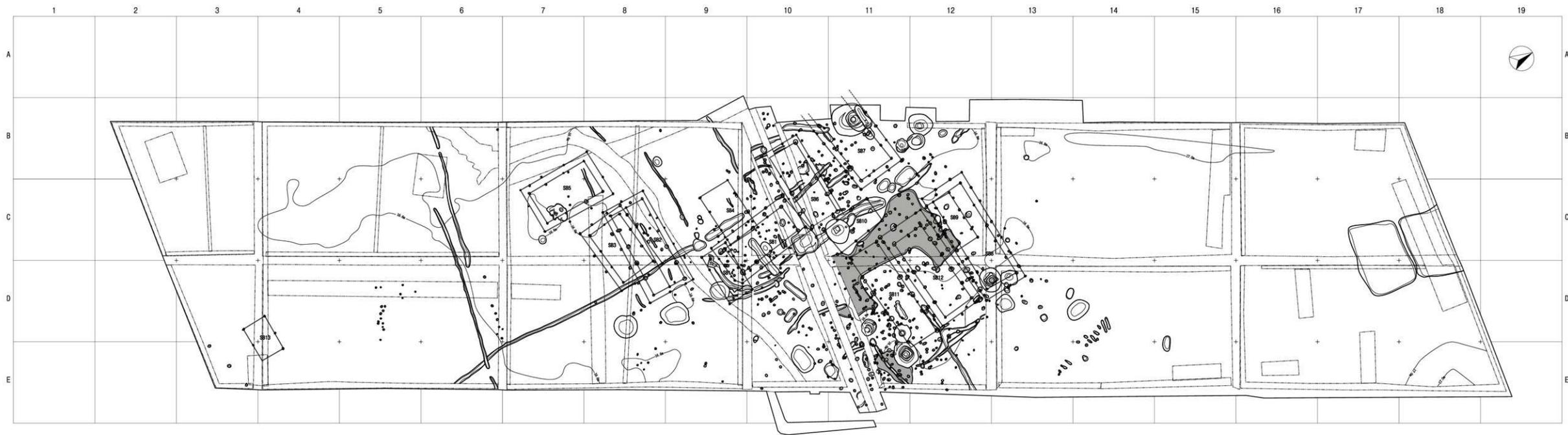
古墳時代 石器

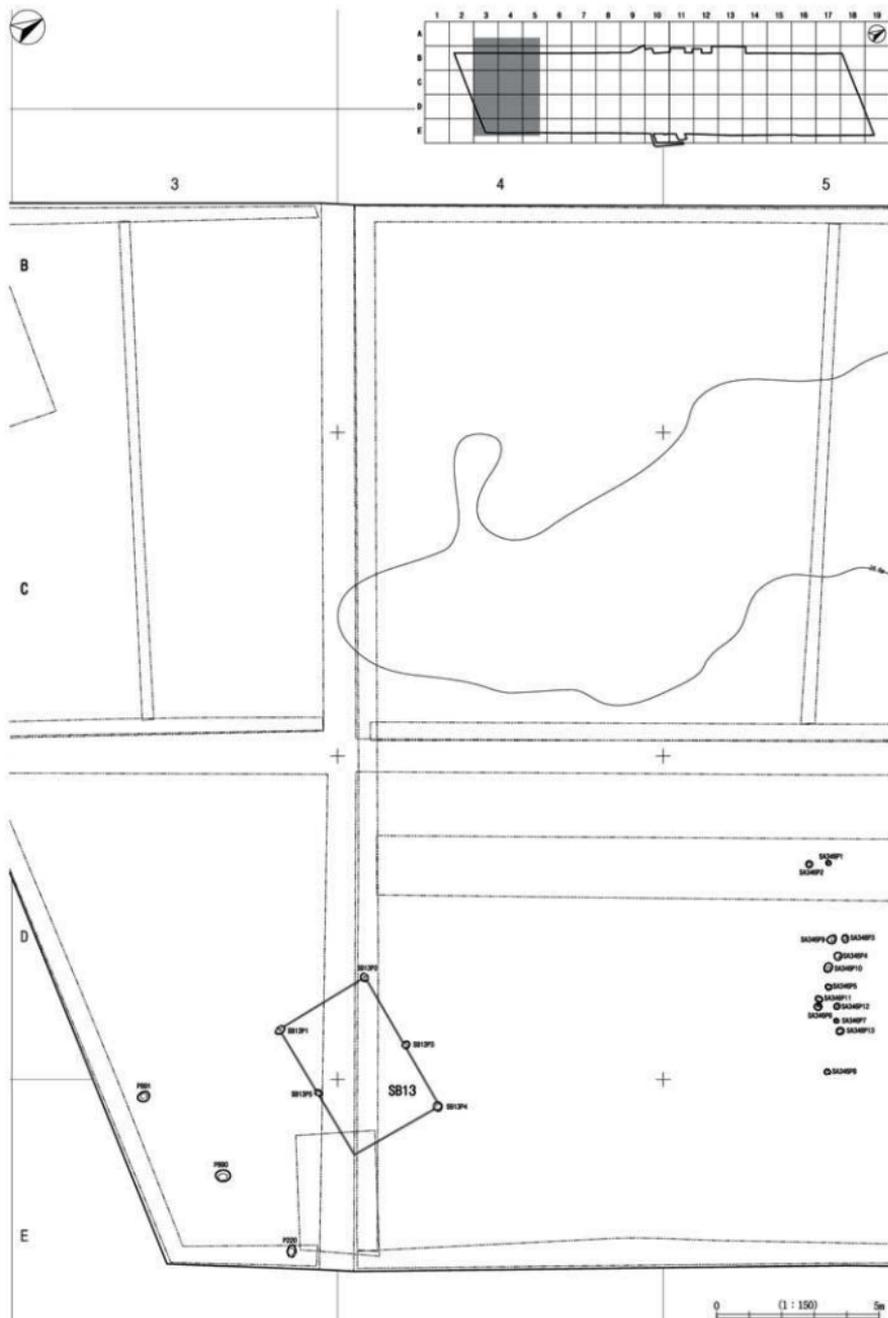
報告 No.	遺物名 (フリック)	層位など	器 種	石 材	法 量 (mm)			重量 (g)	備 考
					長 径	幅	厚 み		
612	SH102	1層	勾玉	滑石	2.0	1.0	0.5	12	
613	12B24	葎層	管玉	緑色燧灰岩	2.2	0.6	0.6	0.9	
614	SH107	3層葬	磨石類	砂岩	15.7	7.1	4.5	771	磨き面
615	SH107	2層葬	磨石類	砂岩	13.5	6.4	2.0	273	磨き面
616	SH107	2層葬	磨石類	砂岩	11.4	5.0	3.3	267	磨き面・くぼみ
617	SH107	31層	磨石類	閃緑岩	10.9	8.3	6.3	928	磨き面・磨き面・くぼみ
618	SH107	3層葬	加工痕のある磨石	閃緑岩	17.1	16.6	4.3	1740	
619	SH107	3層葬・14C 5層	白石	閃緑岩	25.2	25.6	4.9	3400	14C 5層と整合
620	SH066	1層	磨石類	ホルンフェルス	16.4	7.5	5.5	987	磨き面・磨き面
621	SH071	1層	磨石類	砂岩	7.7	7.3	4.7	319	磨き面
622	SH105	1層	磨石類	砂岩	10.7	7.5	4.4	504	磨き面
623	SH104	5層	砥石	燧灰岩	14.7	9.3	1.9	309	
624	SH104	1層	砥石	流紋岩	12.9	6.5	7.2	694	
625	SH107	8層	磨石類	ホルンフェルス	11.0	8.7	5.7	678	磨き面・磨き面
626	SH107	9層	磨石類	砂岩	12.9	9.2	4.5	635	磨り面・磨き面・くぼみ
627	SH107	8層	磨石類	閃緑岩	11.3	10.2	7.0	1163	磨き面・磨き面
628	SH107	4層	白石	閃緑岩	33.5	25.3	10.5	11800	
629	SH102	磨土一括	石鏝	頁岩	2.4	1.2	0.4	4.4	メソク式石鏝。「牛透明」頁岩
630	SH101	磨土一括	磨石類	砂岩	10.1	5.2	4.7	357	磨き面
631	SH101	1層	磨石類	閃緑岩	14.2	7.4	3.0	409	磨き面
632	SH101	磨土一括	不明石器	安山岩	3.4	2.5	0.8	13	
633	SH101	磨土一括	榎石製品	榎石	8.3	7.1	6.4	57	
634	SH101	1層	白石	緑色燧灰岩	19.5	10.2	3.8	1090	SH103一括と整合
635	SH102	磨土一括	榎石製品	榎石	8.6	5.8	4.6	44	
636	SD134	1層	磨石類	砂岩	8.1	6.1	4.3	292	磨き面
637	SD134	2層	磨石類	砂岩	8.4	9.3	6.8	750	磨き面
638	SD107	磨土一括	砥石	ホルンフェルス	12.9	5.7	1.8	216	
639	SD101	磨土一括	磨石類	砂岩	16.2	5.5	4.5	505	磨き面
640	SD101	磨土一括	磨石類	閃緑岩	9.8	5.9	4.4	405	磨き面・磨り面・磨き面
641	SD104	3層	磨石類	閃緑岩	15.5	7.6	5.9	1144	磨き面
642	SD104	3層	磨石類	閃緑岩	12.9	9.9	3.8	489	くぼみ
643	SD103	1層	砥石	流紋岩	11.2	2.7	4.6	175	
644	SD103	2層	白石	砂岩	26.1	13.8	4.1	1380	
645	SD103	5層	磨石類	砂岩	12.4	5.7	2.2	223	磨き面
646	SD103	2層	磨石類	ホルンフェルス	10.9	9.6	7.3	1092	磨き面
647	SD109	3層	磨石類	砂岩	11.2	8.8	2.9	377	くぼみ
648	SK104	1層	石鏝	ホルンフェルス	12.7	5.1	2.6	221	
649	SK122	磨土一括	砥石	流紋岩	8.6	3.9	1.6	40	
650	SK126	1層	白石	閃緑岩	39.7	36.6	9.2	17600	
651	SK126	磨土一括	磨石類	磨粉燧灰岩	11.7	7.7	4.6	448	磨き面・磨き面・くぼみ
652	SK126	磨土一括	磨石類	磨粉燧灰岩	9.3	8.4	7.0	633	磨き面・磨き面・くぼみ
653	SK102	磨土一括	磨石類	閃緑岩	13.4	7.8	3.6	465	磨き面・くぼみ
654	SK106	3層	磨石類	砂岩	13.6	6.3	4.1	482	磨き面
655	SK145	1層	磨石類	閃緑岩	10.4	8.9	8.6	1062	磨き面・磨き面
656	SK145	1層	磨石類	砂岩	15.1	8.3	6.5	1296	磨き面・磨き面
657	P129	磨土一括	白石	磨粉燧灰岩	18.8	12.2	3.3	1062	
658	P129	1層	磨石類	砂岩	9.3	7.6	6.9	709	磨き面
659	P149	1層	磨石類	砂岩	14.7	5.2	2.9	399	磨き面・磨き面・くぼみ
660	14D	葎・5層	砥石	砂岩	33.6	15.3	11.3	6400	
661	SD103	2層	砥石	砂岩	13.6	10.7	4.4	770	
662	11B	葎層	砥石	流紋岩	10.1	3.2	3.3	142	
663	15C12	葎層	砥石	安山岩	4.9	5.3	2.4	69	
664	15C	葎層	磨石類	閃緑岩	11.9	9.8	8.0	1276	磨き面・磨き面
665	15D5・10	葎層	磨石類	閃緑岩	11.0	8.2	6.8	948	磨き面
666	14D	葎・5層	磨石類	閃緑岩	16.5	8.0	6.0	1422	磨き面
667	14D	葎・5層	磨石類	閃緑岩	11.5	9.0	7.6	1207	磨き面・磨き面
668	15D5・10	葎層	磨石類	砂岩	17.0	6.5	4.0	682	磨き面
669	14D	葎・5層	磨石類	砂岩	14.6	6.8	2.8	408	磨き面
670	13C23	葎・5層	磨石類	砂岩	14.4	6.8	3.7	543	磨き面
671	13C23	葎・5層	磨石類	安山岩	13.3	14.0	7.3	1099	磨き面・磨き面
672	14E20	葎層	磨石類	閃緑岩	8.5	5.4	4.8	355	磨き面・くぼみ
673	14D	葎・5層	磨石類	閃緑岩	10.2	7.3	4.1	385	磨き面・磨き面・くぼみ
674	北條調査区	葎層	磨石類	花崗岩	9.3	8.3	3.8	445	磨き面
675	調査区一括	—	磨石類	砂岩	18.3	9.2	6.5	1598	磨き面・磨き面 形状から古墳時代と推定
676	北條調査区	葎層	磨石類	砂岩	19.6	7.8	3.3	806	磨き面
677	14C8・9	葎層	磨石類	砂岩	15.0	9.5	3.7	644	磨き面・くぼみ
678	15D3	葎・5層	加工痕のある磨石	砂岩	11.4	11.4	1.8	371	
679	16C21	葎層	石鏝	ホルンフェルス	15.5	8.6	3.7	730	

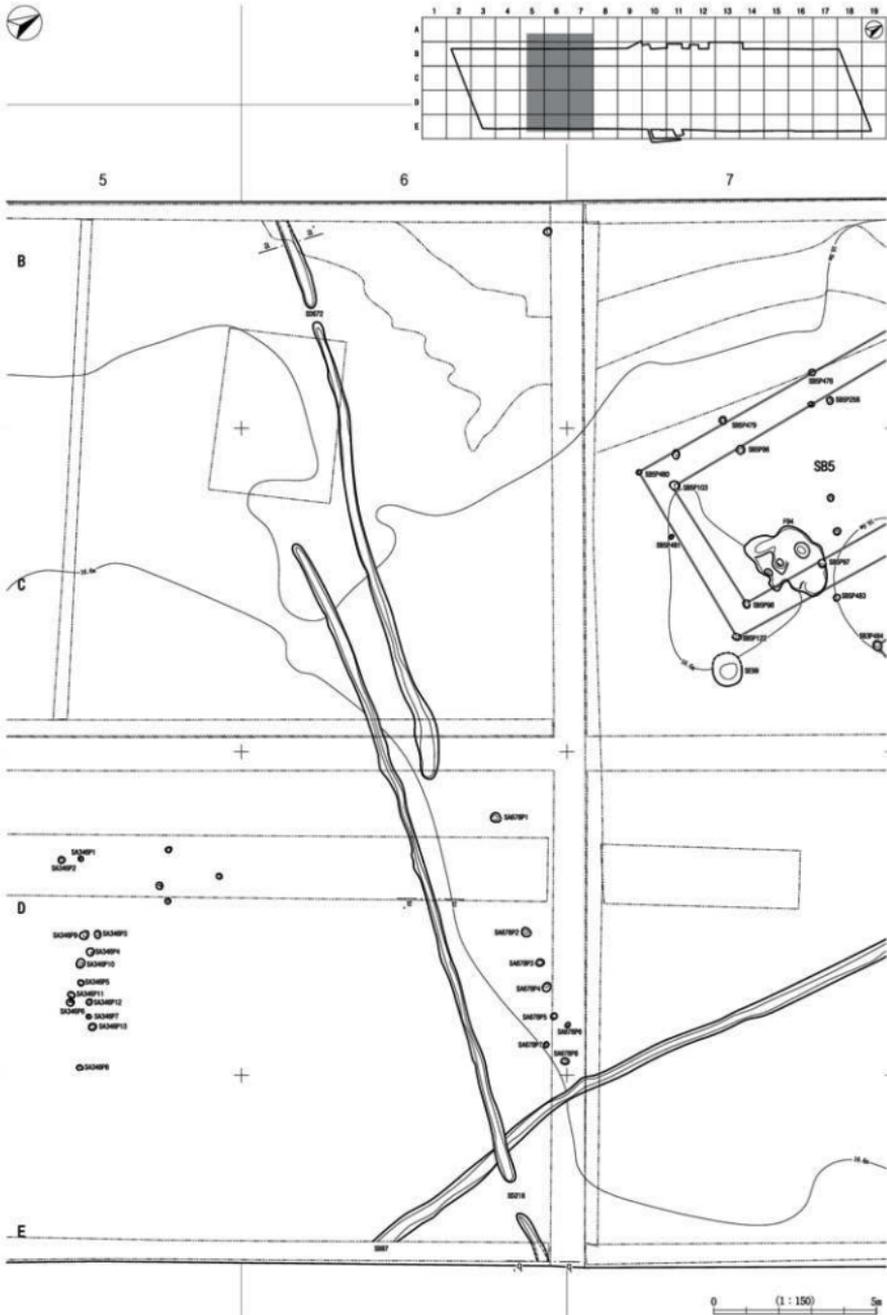
図 版

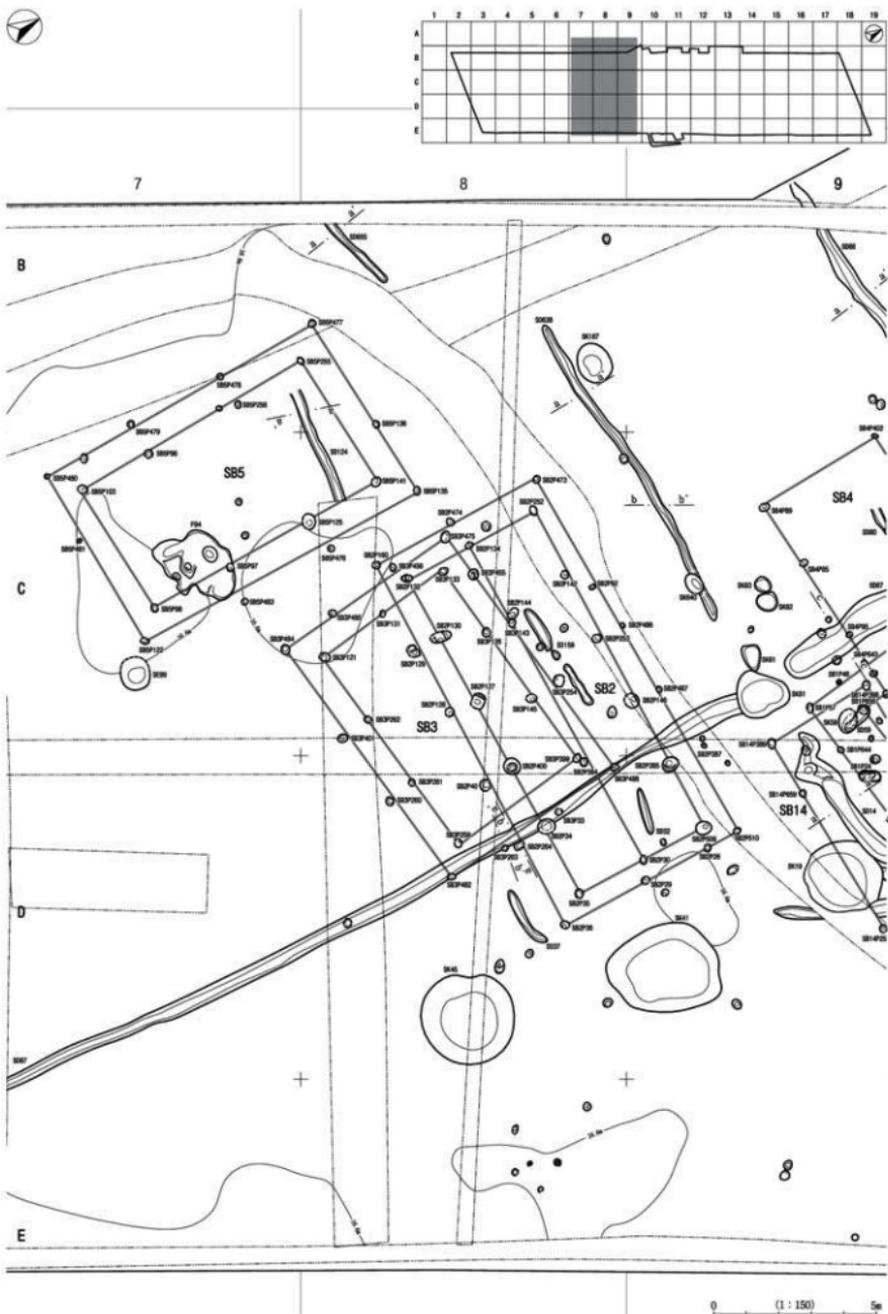
凡 例

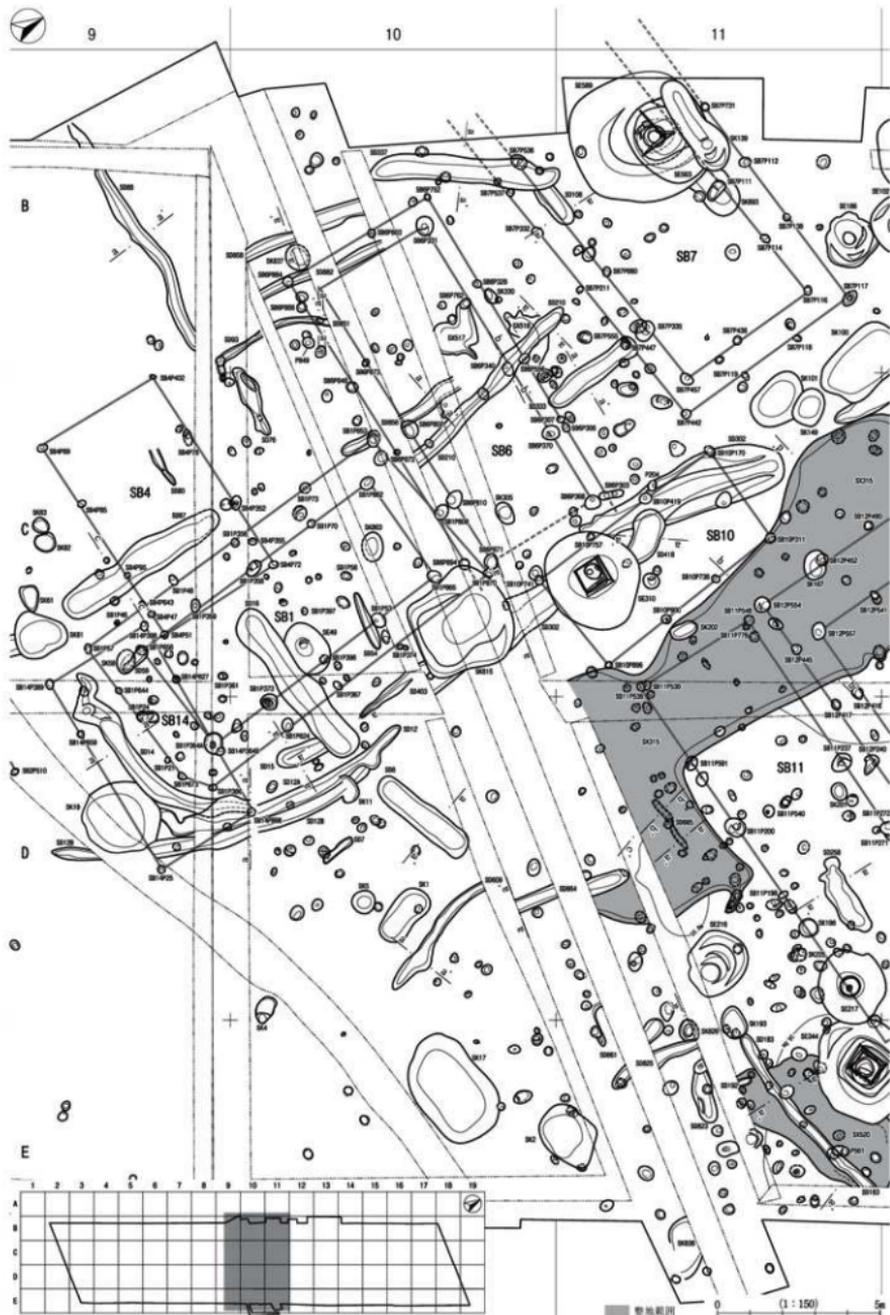
- 1 掘立柱建物の個別図には、ほかの建物を構成する柱穴や井戸、土坑、溝を上場のみ掲載し、単独のピットなどは掲載しなかった。

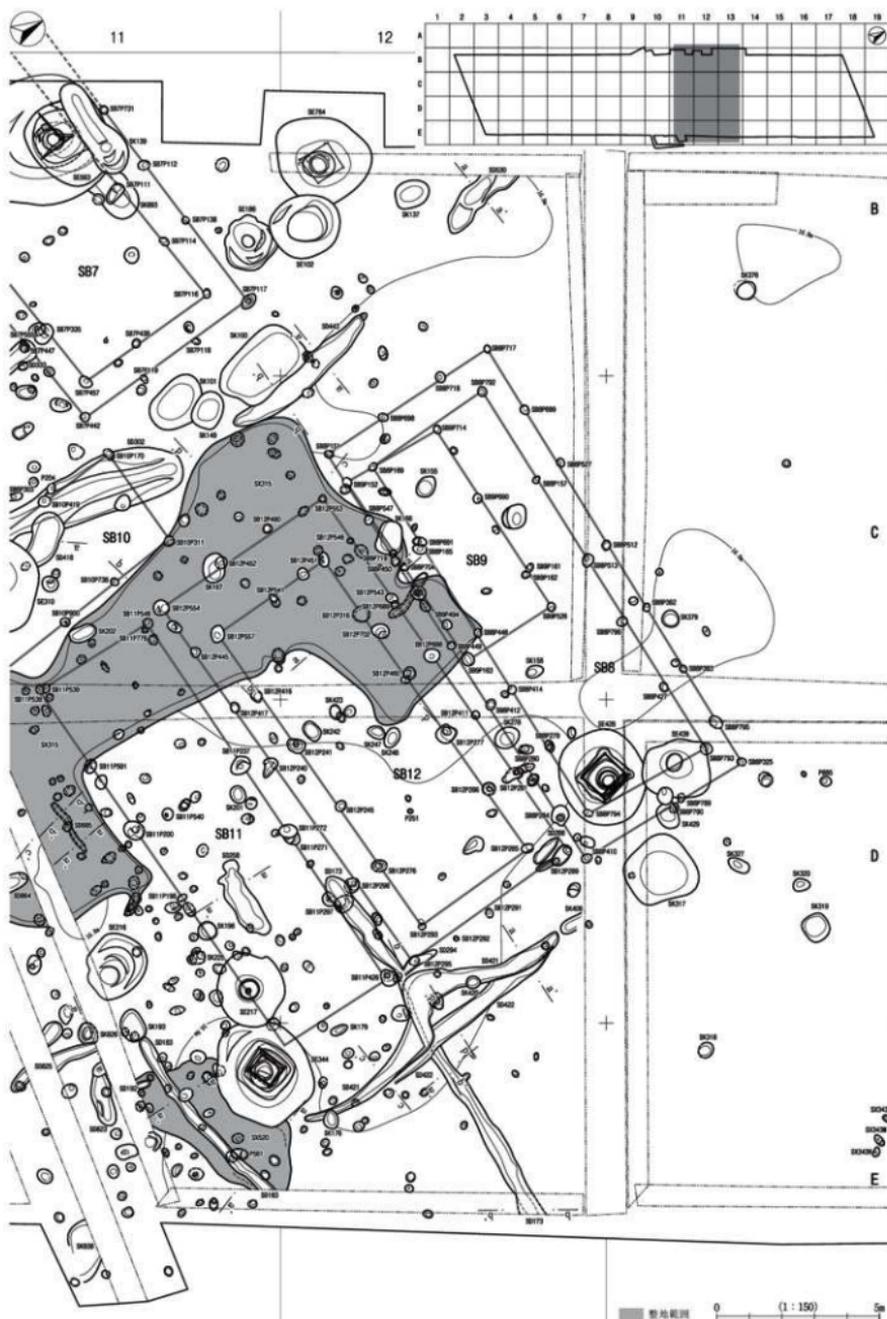


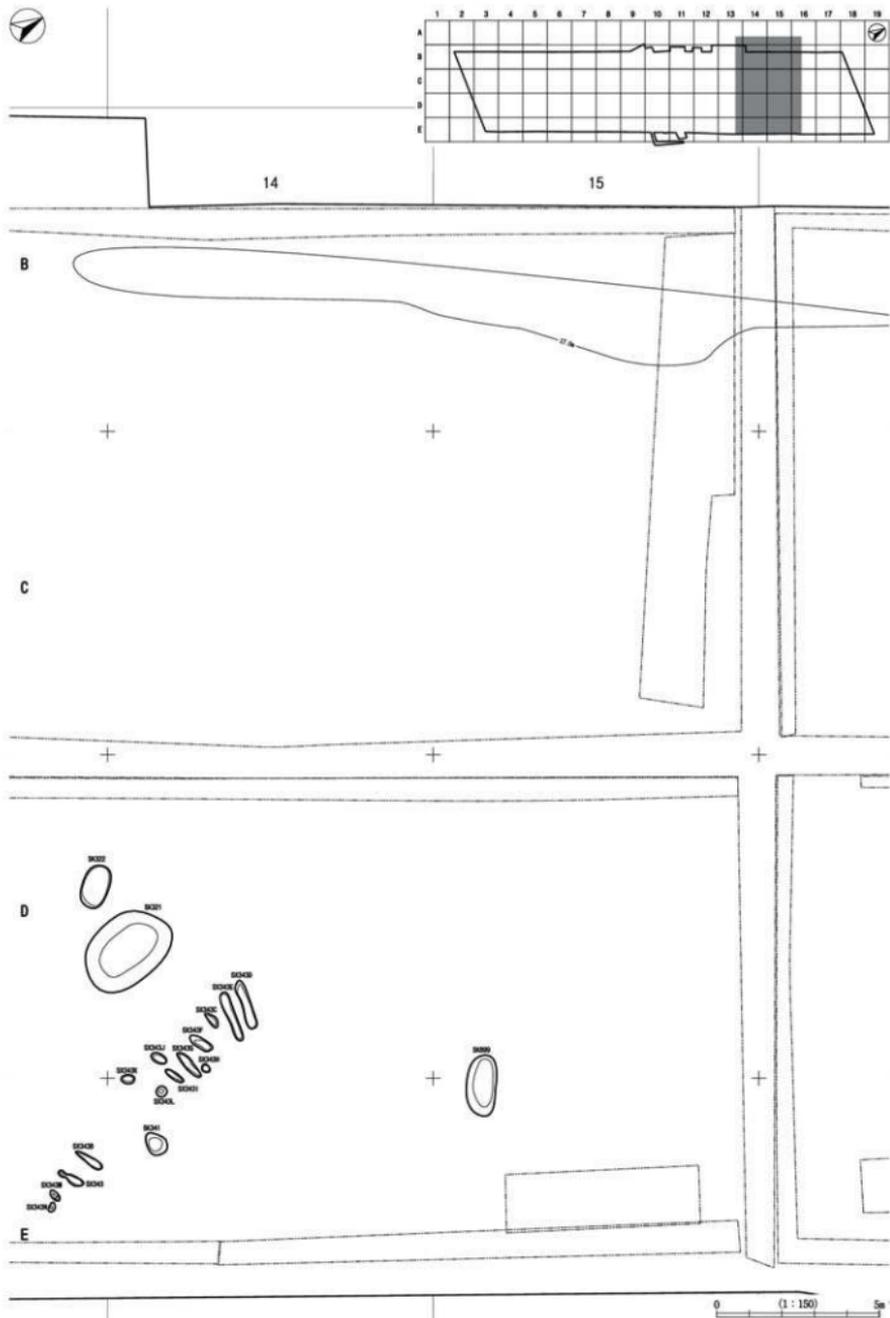


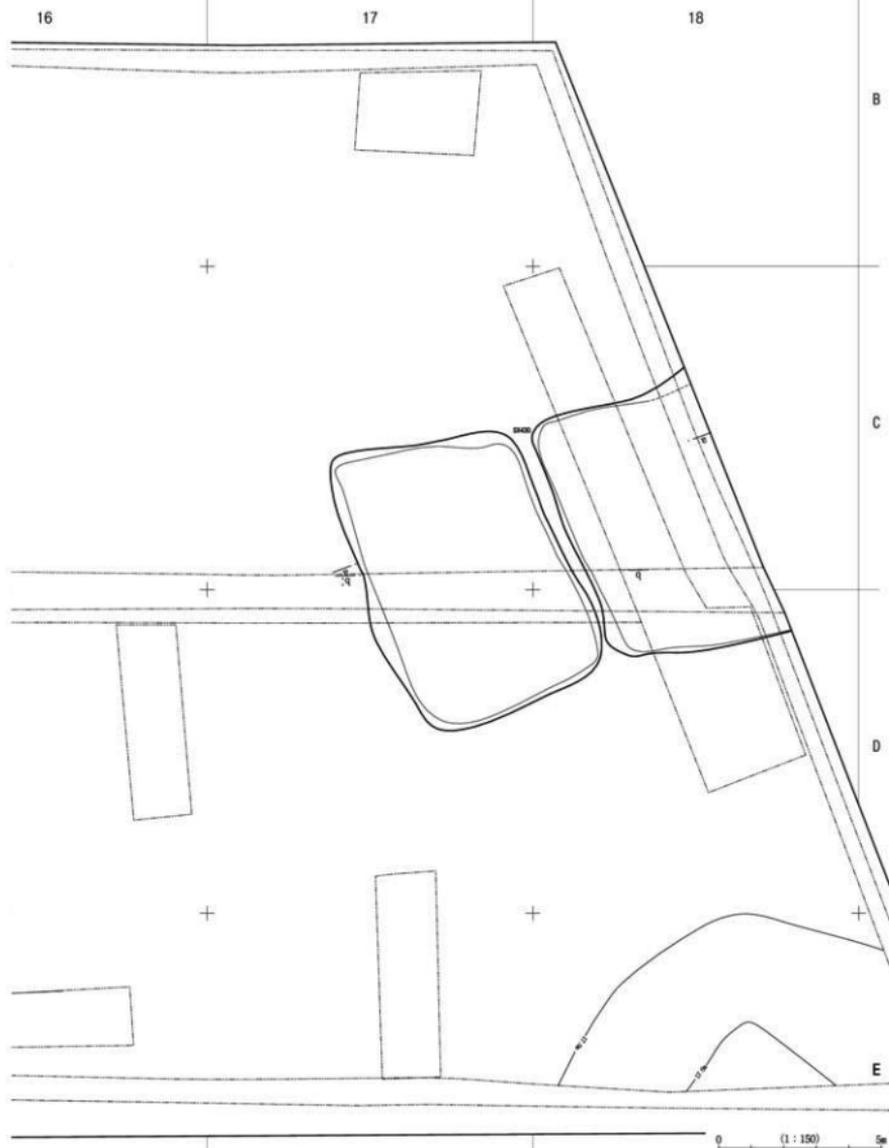
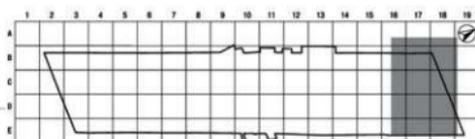


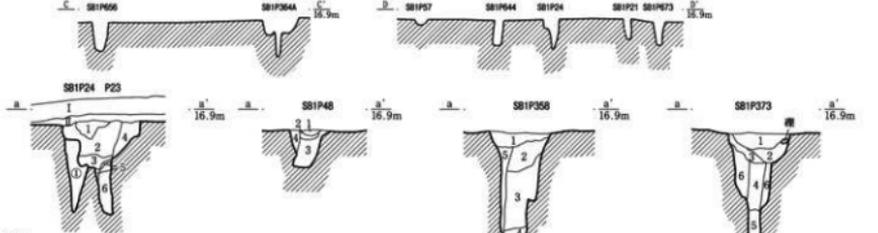
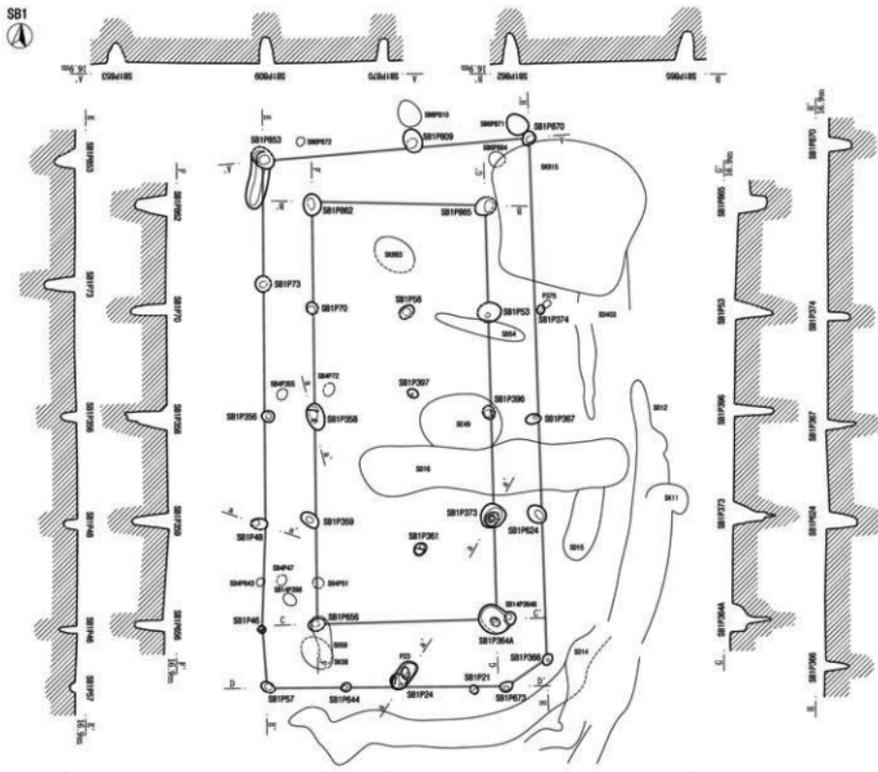






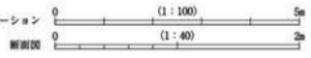


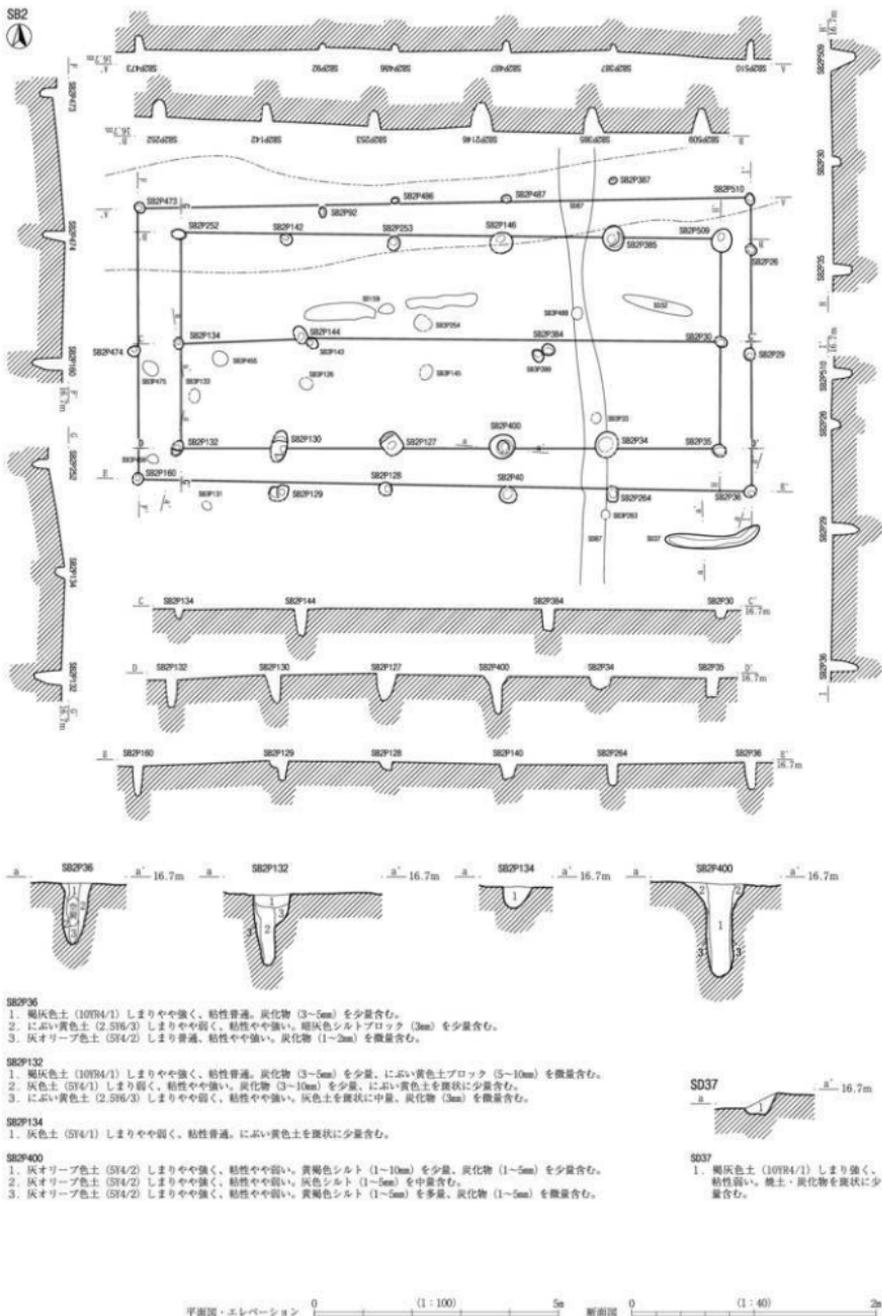




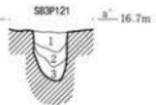
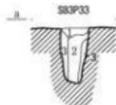
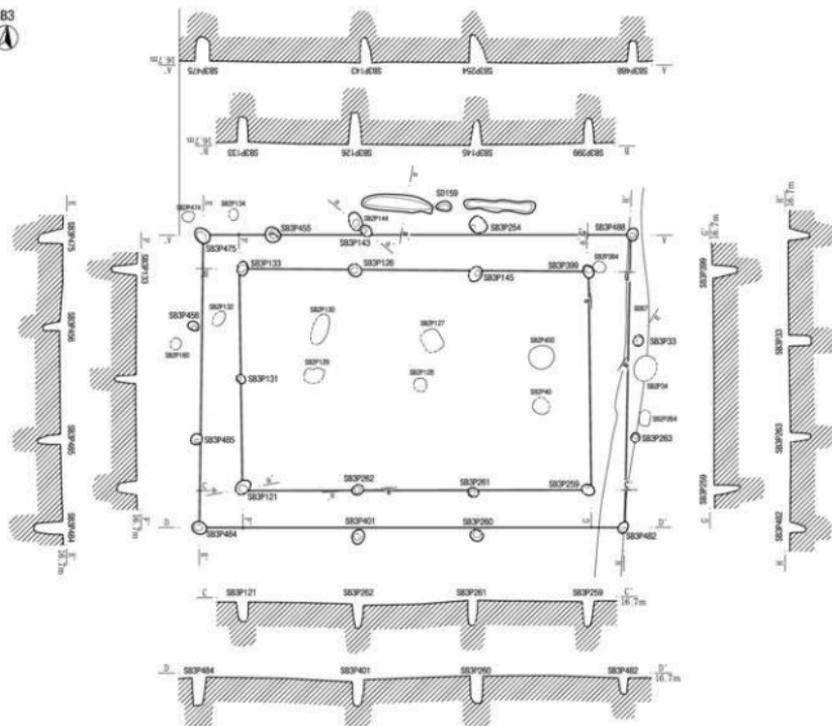
- P23**
1. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色土ブロックを散状に多量含む。
 2. 褐灰色土 (10Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (2-5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3-5mm) を微量含む。
 3. 褐灰色土 (10Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土を散状に中量、炭化物 (2-5mm) を少量含む。
 4. 褐灰色土 (10Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロック (3-5mm)、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 5. 褐灰色土 (10Y5/4) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 6. 黄褐色土 (10Y3/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1-3mm) を微量含む。
- SB1P24**
1. 褐灰色土 (10Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロック (3-5mm)、炭化物 (1mm) を微量含む。
- SB1P48**
1. 褐灰色土 (10Y4/1) しまり強く、粘性やや弱い。
 2. 褐灰色土 (10Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物を多量含む。
 3. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (3-5mm) を少量、にぶい黄色土を散状に少量含む。
 4. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1-2mm) を少量含む。

- SB1P358**
1. 褐灰色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1-20mm) を散状に多量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1-10mm)、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1-30mm) を多量、灰色シルト (1-20mm) を少量含む。
 4. 灰色土 (5Y3/1) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色シルト (1-10mm) を中量含む。
 5. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-10mm) を中量含む。
- SB1P373**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (5-30mm) を散状に中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色シルト (5-40mm) を少量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色シルト (5-40mm) を微量含む。
 4. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰色シルト (5-20mm) を散状に中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 5. オリーブ黒色土 (5Y3/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を中量含む。
 6. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通、粘性普通、オリーブ黒色土ブロック (5-10mm) を少量、炭化物 (3-5mm) を微量含む。



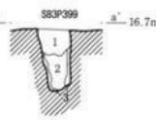
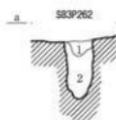


SB3

- SB3P33**
1. 灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (1~2cm) を微量含む。
 2. 暗灰黄色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強く、炭化物 (1~3cm) を微量含む。
 3. 暗灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロックを塊状に少量含む。

- SB3P121**
1. 灰色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、にぶい黄色土ブロック (3~5cm)、炭化物 (2~10cm) を微量含む。
 2. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、にぶい黄色土ブロック (1~3cm)、炭化物 (2cm) を微量含む。
 3. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、炭化物 (1cm) を微量含む。



- SB3P143**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (1~2cm) を微量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土を塊状に少量含む。
 3. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土を塊状に少量含む。

- SB2P144**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (5~10cm) を微量含む。
 2. 灰色土 (5Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2cm) を少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまりやや弱く、粘性普通、灰色土を塊状に少量含む。
 4. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (3~5cm) を少量、灰色土を塊状に少量含む。

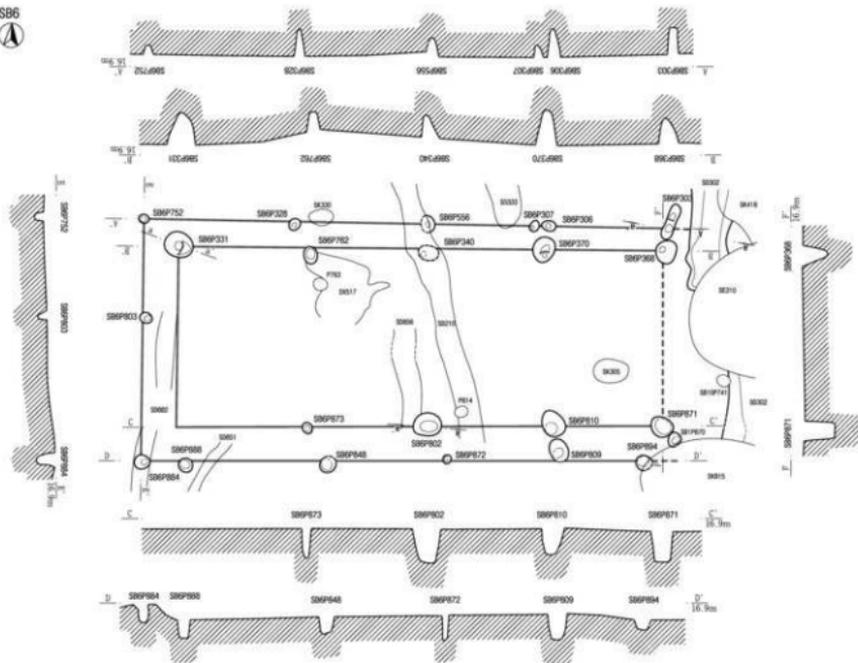
- SB3P262**
1. 灰色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性強い、にぶい黄色土ブロック (3~5cm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰色シルト (5~30cm) を微量含む。

- SB3P399**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰色シルト (1~30cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~5cm) を中量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰色シルト (1~10cm) をブロック状に多量含む。

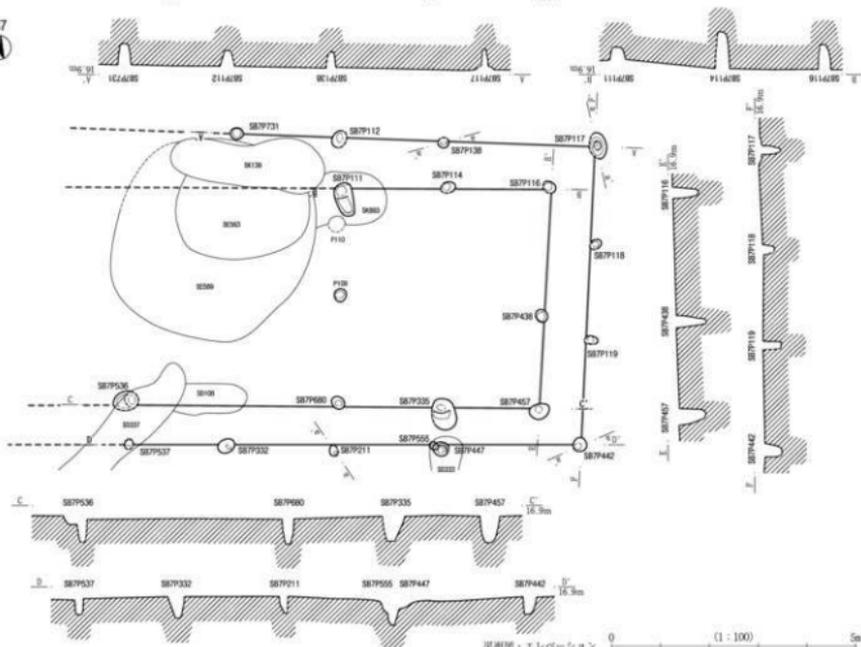


- SD159**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (3~5cm) を少量、にぶい黄色土を塊状に少量含む。

SB6



SB7



SB6・7



SB6302

1. 褐色色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm)・炭化物 (3~5mm) を少量含む。
2. 褐色色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を散状に中量、炭化物 (3mm) を少量含む。

SB6303

1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~5mm) を少量。にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
2. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物を散状に少量含む。
3. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (2~5mm) を少量。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

SB6331

1. 褐色色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (2~3mm) を少量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) 柱状跡。しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を少量。にぶい黄色土を散状に少量含む。
3. 褐色色土 (10YR4/1) しまり強く、粘性普通。炭化物 (3~5mm) を少量。にぶい黄色土を散状に少量含む。
4. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通。粘性やや強い。灰色土を少量含む。

SB6902

1. オリーブ黒色土 (5Y3/1) 粒状跡。しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を中量。灰色シルト (1~10mm) を少量含む。
2. オリーブ黒色土 (5Y3/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (1~10mm) を少量含む。
3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (1~10mm) を多量含む。



SB7117

1. 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (3~10mm) を少量。灰色土を散状に少量含む。
2. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土を散状に少量。炭化物 (2~3mm) を微量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色土を少量含む。

SB7138

1. 褐色色土 (10YR4/1) しまり普通。粘性普通。炭化物 (2~3mm) を少量。にぶい黄色土を散状に少量含む。

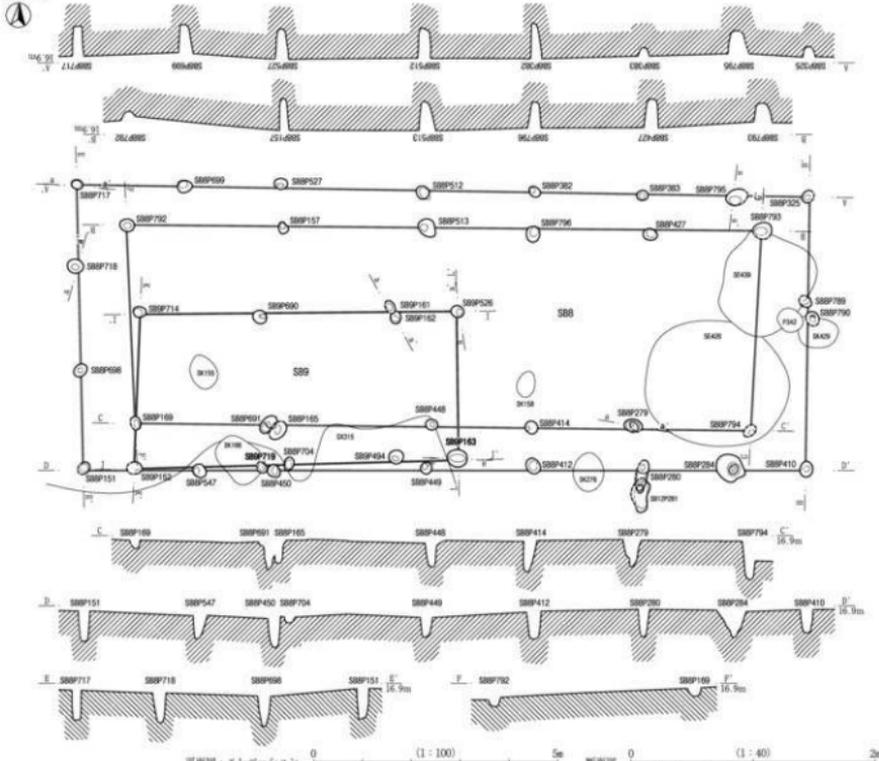
SB7211

1. 褐色色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~20mm) にぶい黄色土 (3mm) を少量含む。
2. 褐色色土 (10YR4/1) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土 (3~5mm) を少量。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
3. オリーブ黄色土 (5Y6/3) しまり普通。粘性やや強い。灰色土を散状に少量。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

SB7442

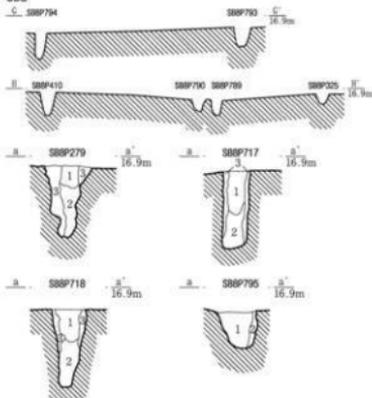
1. 褐色色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量。炭化物 (2~5mm) を微量含む。
2. 黒褐色土 (10YR2/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄色土を散状に中量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通。粘性普通。灰色土を散状に中量。炭化物 (2~3mm) を微量含む。

SB8・9



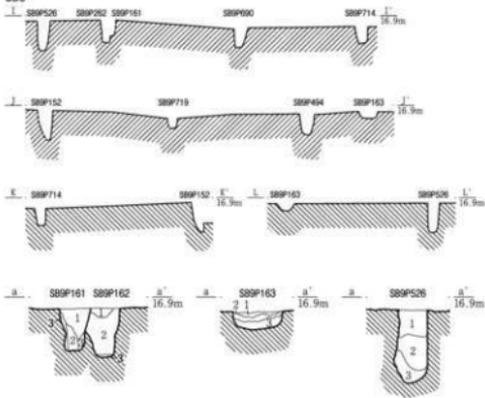
平面図・エレベーション 0 (1:100) 5m 断面図 0 (1:40) 2m

SB8



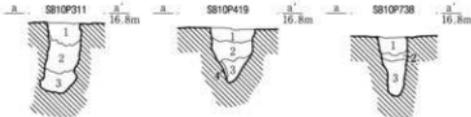
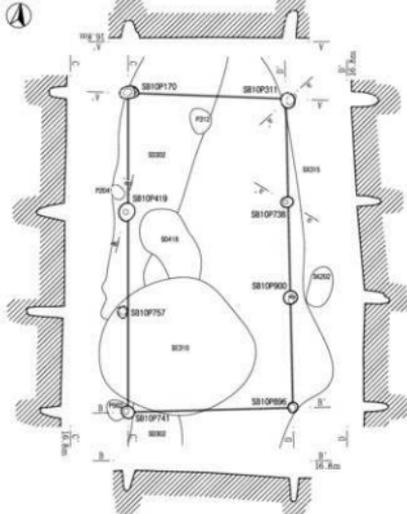
- SBP279**
1. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱く、粘性普通、炭化物を多量含む。にぶい黄色土を裏状に中量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄色土ブロック (2~5cm) を少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (5~10mm) を少量、灰土を裏状に少量含む。
- SBP717**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) 柱痕跡。しまり普通、粘性やや弱い。黄灰色シルト・炭化物 (3~12cm) を中量、黄褐色シルトブロック (2~10cm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5~10cm) を中量、炭化物 (10mm) を微量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5~20cm) を多量、炭化物 (2cm) を微量含む。
- SBP718**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) 柱痕跡。しまり強く、粘性弱い。炭化物 (2~25cm) を中量、黄褐色シルトブロック (2~4cm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) 柱痕跡。しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (2~15cm) を少量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (5~20cm) を多量、炭化物 (5cm) を微量含む。
- SBP795**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5cm) を中量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SB9

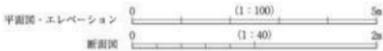


- SBP161**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を裏状に少量、炭化物 (3~5cm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) 柱痕跡。しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~10mm) を微量含む。
 3. 灰土 (5Y4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~10mm) を微量含む。
- SBP162**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (5cm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3~5cm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土 (3~10cm) を裏状に少量、炭化物 (3~10cm) を少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通、粘性やや強い。柱痕跡地による硬化部分。
- SBP163**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を裏状に少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 2. 灰土 (5Y4/1) しまりやや弱く、粘性普通。にぶい黄色土を裏状に少量含む。
 3. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を裏状に中量、炭化物 (5~10mm) を少量含む。
- SBP526**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土・砂質土を裏状に中量、炭化物 (2~5mm) を微量含む。
 2. 黄褐色土 (2.S15/3) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土を裏状に中量、炭化物 (5cm) を微量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.S16/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰土を微量含む。

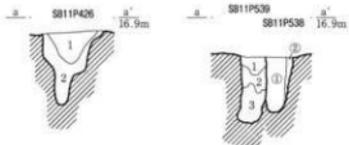
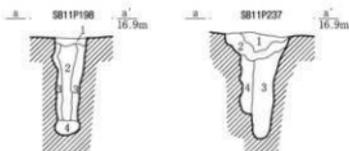
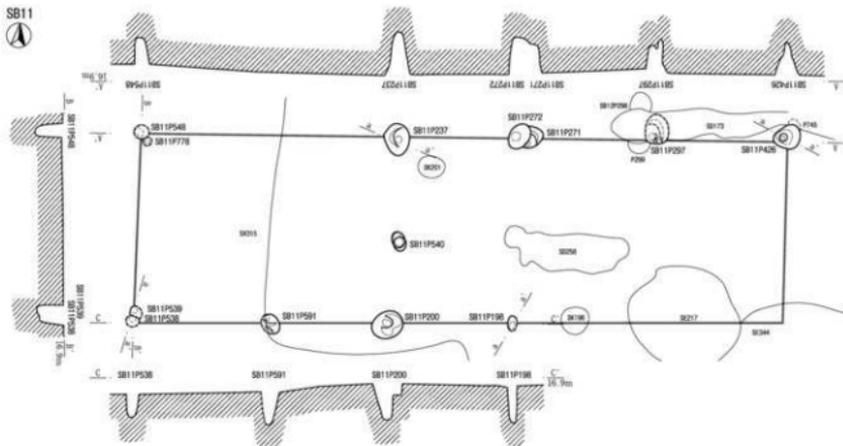
SB10



- SB10P311**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土 (2~3cm)・炭化物 (1~3mm) を微量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~3mm) を少量、灰土を裏状に少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰土 (3~5cm) を少量含む。
- SB10P419**
1. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5cm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。
 2. 灰土 (5Y4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土を裏状に少量、炭化物 (2~5mm) を微量含む。
 3. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 4. にぶい黄色土 (2.S16/3) しまり普通、粘性やや強い。灰土 (5cm) を微量含む。
- SB10P738**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



SB11



- SB11P198**
1. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまり普通、粘性やや弱、炭化物 (1~5mm) を少量、にぶい黄色土を底状に少量含む。
 2. オリーブ黒色土 (SY3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~3mm) を少量、にぶい黄色土を底状に少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.SY6/4) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を少量、灰色土を底状に少量含む。
 4. オリーブ黒色土 (SY3/1) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

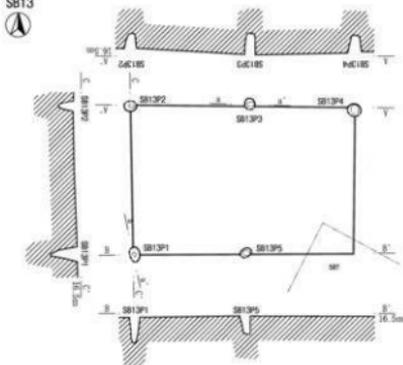
- SB11P237**
1. 灰色土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、にぶい黄色土 (2~3mm) を少量、炭化物 (1~3mm) を微量含む。
 2. オリーブ黒色土 (SY4/2) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 3. 灰色土 (SY4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、にぶい黄色土 (2~3mm) 炭化物 (1~3mm) を少量含む。
 4. にぶい黄色土 (2.SY6/3) しまり普通、粘性普通、灰色土を底状に少量含む。

- SB11P426**
1. 箱灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、にぶい黄色土を底状に中量、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.SY6/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (3~5mm) を少量、灰色土を底状に少量含む。

- SB11P538**
- ① オリーブ色土 (SY5/2) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (2~3mm) を微量含む。
 - ② にぶい黄色土 (2.SY6/4) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色土ブロック (3~5mm) を少量含む。

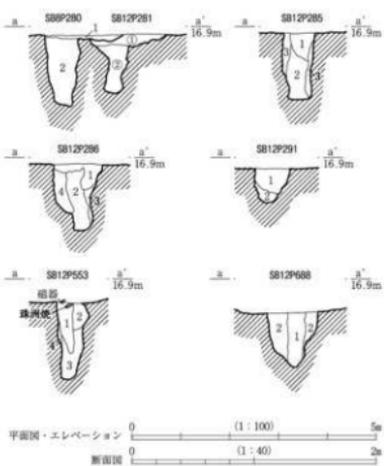
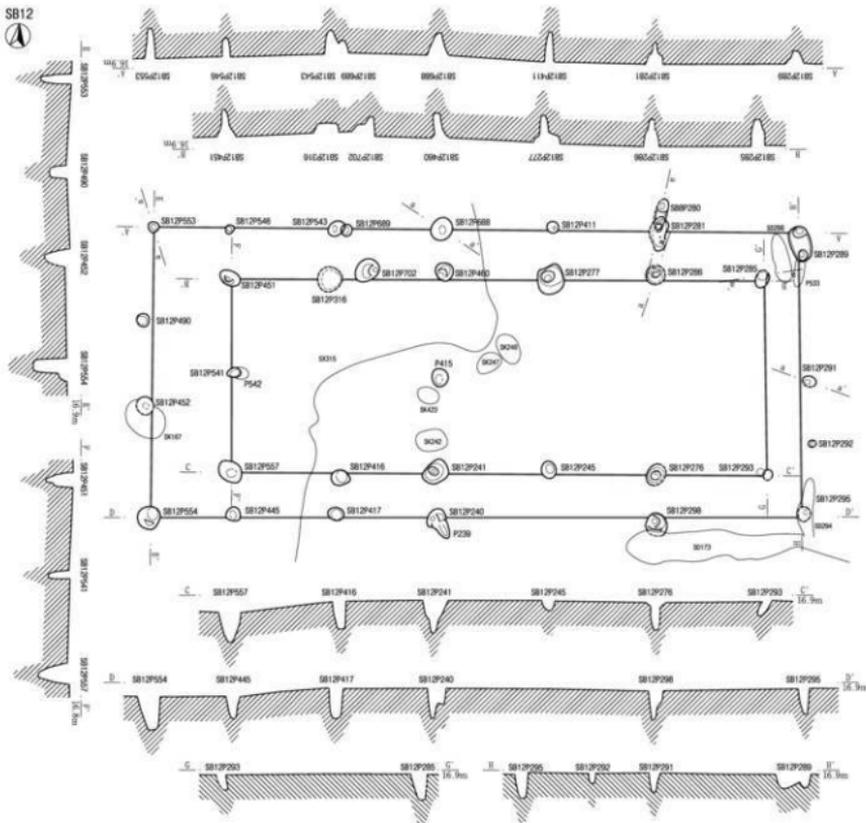
- SB11P538**
1. 灰色土 (SY4/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) 炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 2. 灰色土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、にぶい黄色土を底状に少量含む。
 3. オリーブ色土 (SY5/2) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土ブロック (5mm) 灰色土ブロック (3~5mm) を少量含む。

SB13



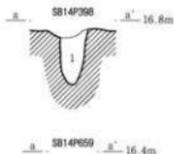
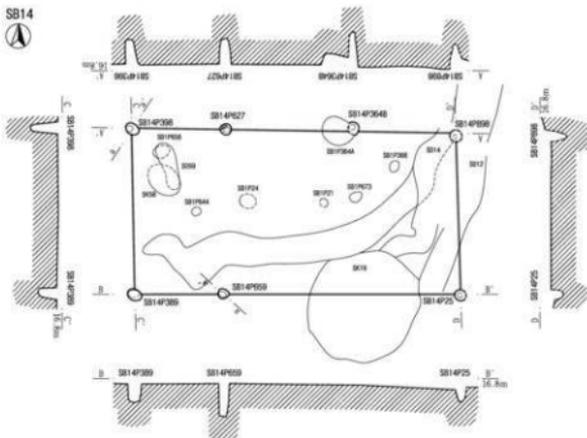
- SB13P1**
1. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~8mm) を少量、黄褐色シルト (5~10mm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~6mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

- SB13P3**
1. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~8mm) を少量、黄褐色シルト (5~10mm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色シルト (5~20mm) を底状に中量、炭化物 (1~10mm) を中量含む。



- SB12P20**
1. 褐色土 (10YR4/1) しまりや強く、粘性弱い。にぶい黄色土 (3mm)・炭化物 (3-5mm) を微量含む。
 2. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土・砂質土を混状に中量、炭化物 (3-5mm) を少量含む。
- SB12P21**
- ①. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄色砂質土ブロック (3-5mm) を少量、炭化物 (3mm) を微量含む。
 - ②. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を中量、炭化物 (3-10mm) を少量含む。
- SB12P28**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (2-5mm) を少量、炭化物 (3mm) を微量含む。
 2. オリーブ褐色土 (10Y3/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (3-5mm) を少量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を混状に少量含む。
- SB12P26**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性弱い。黒褐色土を混状に中量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 2. 黒褐色土 (10YR3/2) 柱痕跡。しまり普通、粘性普通。炭化物 (2-5mm) を少量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 3. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を混状に少量、炭化物 (3-5mm) を微量含む。
 4. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや強く、粘性普通。灰色土を混状に少量、炭化物 (3mm) を微量含む。
- SB12P291**
1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を混状に中量、炭化物 (2-5mm) を少量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまり普通、粘性普通。灰色土を混状に少量含む。
- SB12P53**
1. オリーブ褐色土 (5Y3/2) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (2-5mm)・炭化物 (2-5mm) を少量含む。
 2. オリーブ褐色土 (5Y3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5mm) を少量含む。
 3. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土を混状に中量、炭化物 (5mm) を微量含む。
 4. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土を混状に少量含む。
- SB12P68**
1. 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまりやや弱く、粘性普通。灰オリーブ色シルトブロック (6-18mm) を多量、炭化物 (6-10mm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり弱く、粘性弱い。黄灰色シルトを少量、炭化物 (4mm) を微量含む。

SB14



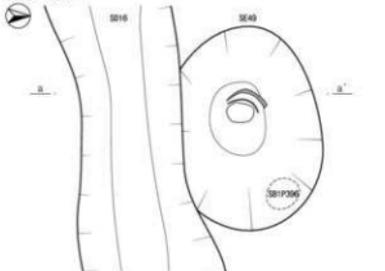
SB14P306

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (1~10cm) を混入中量含む。

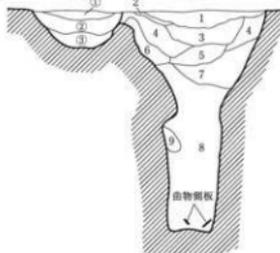
SB14P659

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色シルト (1~5cm)・炭化物 (1~5cm) を少量含む。

SD16・SE49



SD16 SE49 16.8m



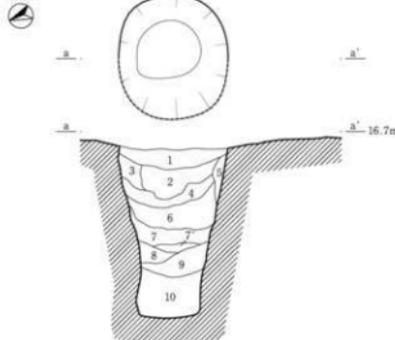
SE49

1. 暗灰黄色土 (2.S14/2) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (2~10cm) を少量含む。
2. にぶい黄色土 (2.S16/3) しまりやや弱く、粘性普通。炭化物 (5~10cm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10194/2) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (1~10cm) を中量、にぶい黄色土ブロックを混入少量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10194/3) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (5~10cm) を微量含む。
5. 暗灰色土 (10194/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~20cm) を混入少量、炭化物 (2~10cm) を少量含む。
6. 暗灰色土 (10194/1) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (2~10cm) を少量含む。
7. オリーブ褐色土 (2.S14/3) しまり弱い、粘性強い。暗灰色粘土ブロックを混入少量含む。
8. 暗灰色土 (N3/0) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (1~2cm) を少量含む。
9. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり弱く、粘性やや強い。土山の崩落層。

SD16

- ①. 暗灰黄色土 (2.S15/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (3~10cm) を少量含む。
- ②. 暗灰黄色土 (2.S15/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (3~30cm) を少量、にぶい黄色土ブロックを混入少量含む。
- ③. 灰黄褐色土 (10194/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2~5cm) を微量含む。

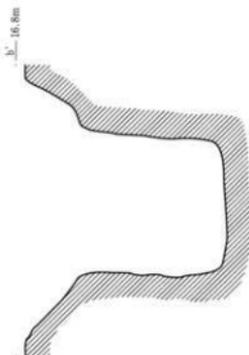
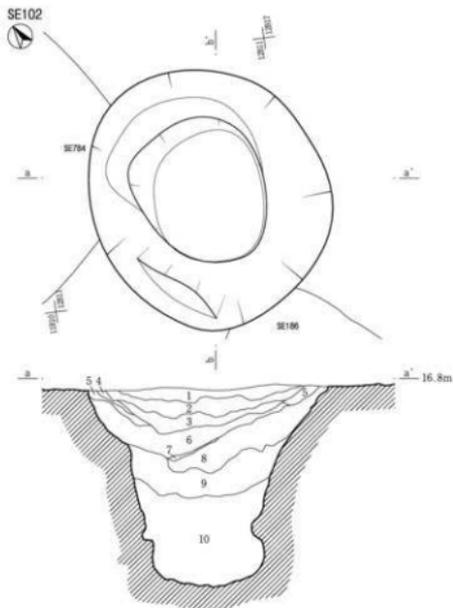
SE99



SE99

1. 灰色土 (S14/1) しまり普通。粘性普通。炭化物 (5cm) を微量含む。II層の落ち込み。
2. 灰オリーブ色土 (S15/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~10cm)・炭化物 (2~5cm) を微量含む。
3. 灰オリーブ色土 (S15/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土を混入少量、炭化物 (10cm) を微量含む。
4. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を混入少量含む。
5. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通。粘性やや強い。土山の崩落層。
6. 暗灰黄色土 (2.S15/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土を混入中量含む。
7. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通。粘性やや強い。灰色土 (10cm) を少量含む。
8. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通。粘性やや強い。灰色土 (30cm) を少量含む。
9. 暗灰色土 (10194/1) しまりやや弱く、粘性強い。にぶい黄色土を混入少量含む。
10. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまりやや強く、粘性普通。砂質シルト。灰色土・礫を少量含む。

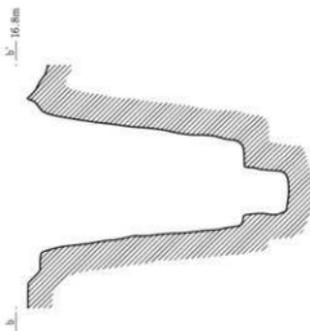
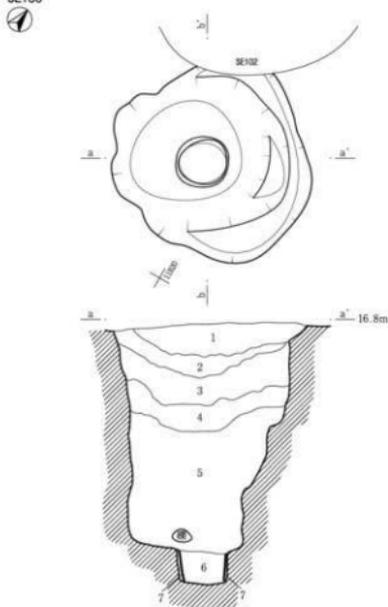




SE102

1. 灰土 (SY4/1) しまり強く、粘性弱い、土層の落ち込み。
2. 灰土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (2~5mm) を少量、にぶい黄色土を裏状に少量含む。
3. 灰土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~10mm)・炭化物 (5mm) を微量含む。
4. 灰土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (3~5mm) を中量、焼土ブロック (5mm) を少量含む。
5. 黄灰色土 (2.SY4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土を裏状に少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
6. にぶい黄色土 (2.SY6/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を裏状に少量、炭化物 (1~3mm) を微量含む。
7. 炭化物層。
8. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土・砂質土を裏状に少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
9. 灰土 (SY4/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土を裏状に多量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
10. にぶい黄色土 (2.SY6/3) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (3~10mm) を少量 (一部帯状)。灰色土を裏状に少量含む。

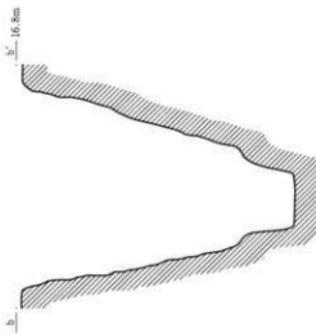
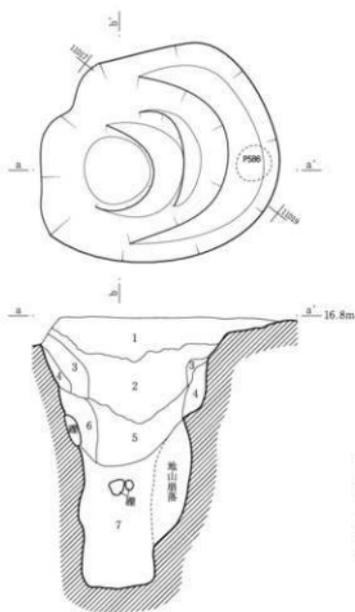
SE186



SE186

1. 灰土 (SY4/1) しまり強く、粘性弱い、土層の落ち込み。
2. 灰土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (3~5mm)・にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を少量含む。
3. 黄灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を裏状に中量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
4. 黄灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を裏状に多量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
5. オリーブ黄色土 (5YR3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3~5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を裏状に少量含む。
6. 青灰色シルト (5BG/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (1~3mm) を微量含む。
7. 暗灰色シルト (2.SY5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1mm) を微量含む。

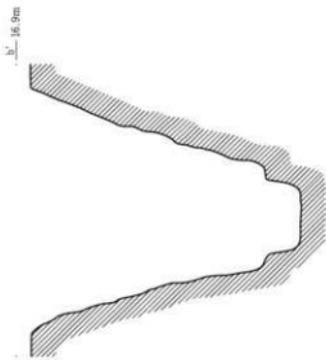
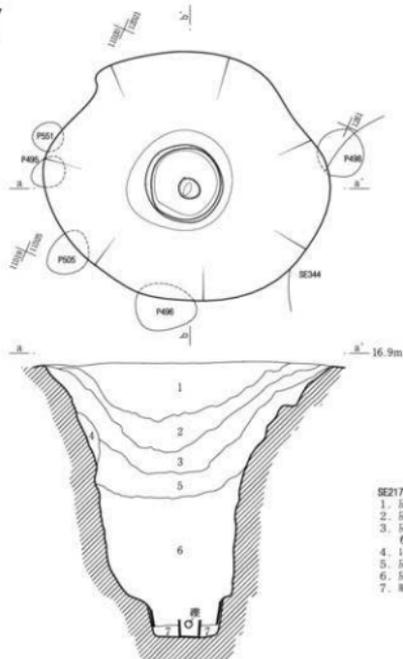
SE216



SE216

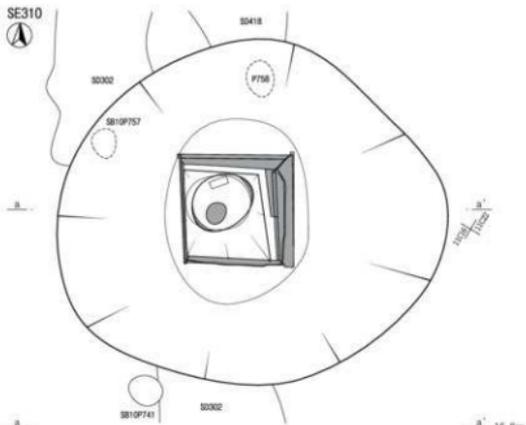
1. 灰色土 (S74/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、炭化物 (2~5mm) を微量含む。
2. 灰色土 (S74/1) しまり普通、粘性普通、炭化物 (3~10mm) を少量含む。
3. 灰色土 (S74/1) しまりやや弱く、粘性普通、炭化物 (3~10mm) を少量、にぶい黄色土を塊状に少量含む。
4. 暗灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (2~10mm) を少量含む。
5. 灰色土 (S74/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (5mm) を微量含む。
6. にぶい黄色土 (2.S76/3) しまり普通、粘性普通、炭化物を多量に含む。
7. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物を多量に含む。

SE217

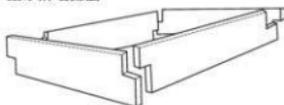


SE217

1. 灰色土 (S75/1) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (2~5mm) を微量含む、互層落ち込み。
2. 灰色土 (S74/1) しまりやや弱く、粘性普通、炭化物 (2~10mm) を少量含む、砂質。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性普通、砂粒を多量、炭化物 (5~10mm) を帯状に中量含む。
4. にぶい黄色土 (2.S76/3) しまり普通、粘性やや強い、崩落土。
5. 灰色土 (S74/1) しまりやや弱く、粘性強い、炭化物 (3~5mm) を少量含む。
6. 灰色土 (S75/1) しまり普通、粘性強い、上部に炭化物を中量、にぶい黄色土を塊状に中量含む。
7. 暗灰黄色シルト (2.S75/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1mm) を微量含む。

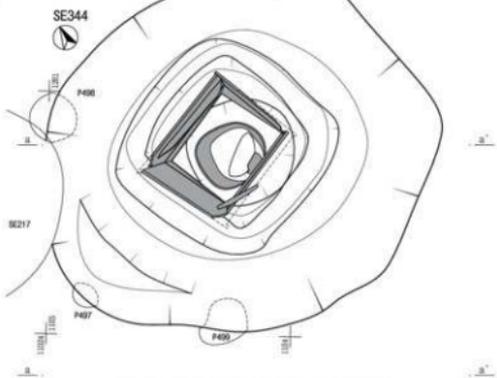
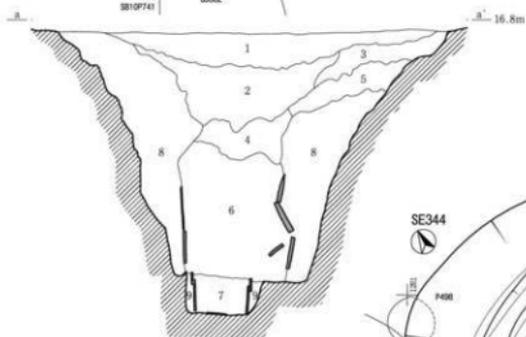


SE310 井戸構造図



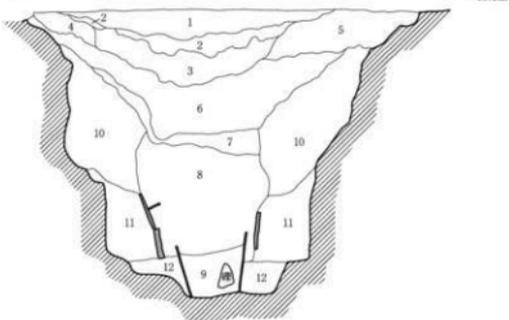
SE310

1. 褐色土 (107R5/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。土層の落ち込み。
2. 灰色土 (S34/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) にふい黄色土アロツク (3mm) を少量含む。
3. 灰オリーブ色土 (S34/2) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、ふい黄色土を層状に少量含む。
4. 灰オリーブ色土 (S34/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。ふい黄色土を層状に中量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。
5. 褐色土 (107R4/1) しまり普通、粘性やや強い。ふい黄色土アロツク (5~10mm) を少量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。
6. 褐色土 (107R4/1) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (3~10mm) を少量、ふい黄色土 (5~10mm) を微量含む。
7. 灰色シルト (S35/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~3mm) を少量含む。
8. ふい黄色土 (2.S36/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (3~5mm) を少量、灰色土を層状に少量含む。掘り方。
9. 灰色砂質土 (S35/1) しまり普通、粘性やや弱い。炭化物 (1mm) を微量含む。

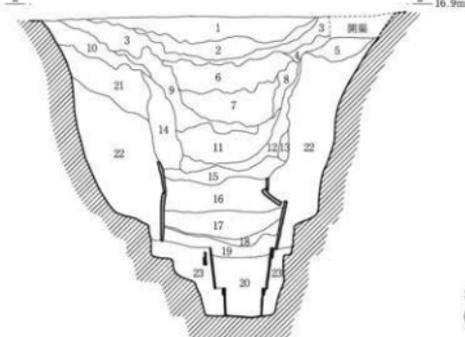
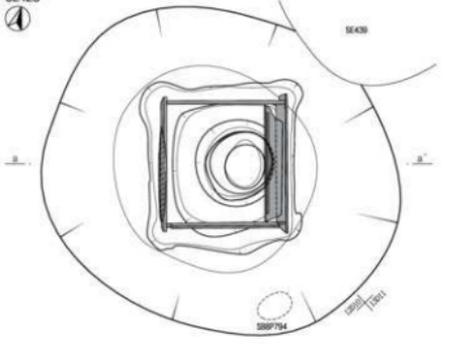


SE344

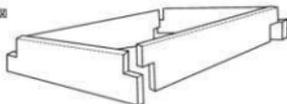
1. 灰色土 (S35/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (2~3mm) を少量含む。土層の落ち込み。
2. 灰色土 (S35/1) しまりやや強く、粘性普通。ふい黄色土・砂質土を層状に中量含む。
3. ふい黄色土 (2.S36/4) しまり普通、粘性やや強い。灰色土を層状に少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
4. 灰色土 (S34/1) しまり普通、粘性普通。炭化物 (3mm) を少量、ふい黄色土を層状に少量含む。
5. ふい黄色土 (2.S36/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を層状に少量、炭化物 (5~20mm) を微量含む。
6. 灰オリーブ色土 (S34/2) しまり強く、粘性やや弱い。層の崩落。
7. ふい黄色土 (2.S36/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物を多量含む。
8. 灰色土 (7.S35/1) しまりやや弱く、粘性強い。ふい黄色土アロツク (5~15mm) を少量、炭化物 (5mm) を微量含む。
9. 青灰色シルト (S36G/1) 普通、粘性弱い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
10. ふい黄色砂質土 (2.S36/3) しまり普通、粘性強い。灰色土を層状に少量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
11. ふい黄褐色シルト (2.S36/3) しまり普通、粘性強い。灰色土 (5~20mm) を少量、炭化物 (3mm) を微量含む。
12. 灰オリーブ色砂質土 (S34/2) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1mm) を微量含む。



SE428



SE428 井戸側横式図



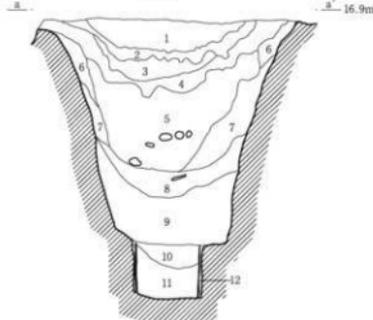
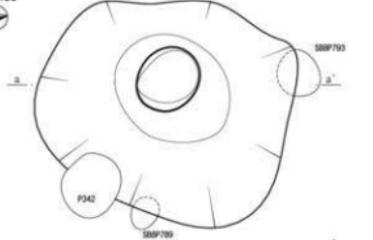
SE439

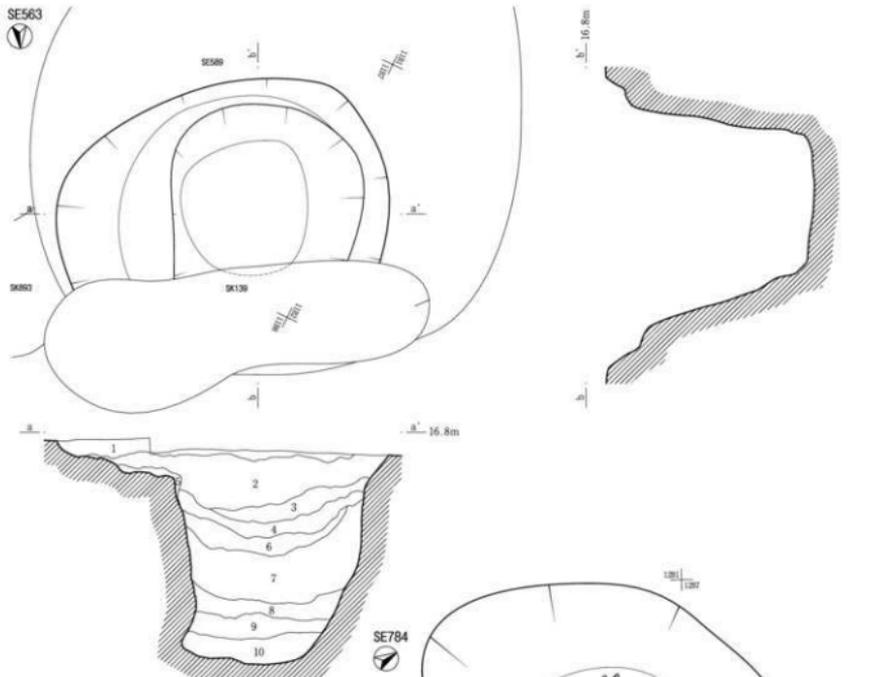
1. 灰土 (S54/1) しまり強く、粘性弱い。やや砂質。II層の落ち込み。炭化物 (1~3mm) を微量含む。
2. 灰土 (S54/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
3. 灰オリーブ色土 (S53/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (2~3mm)・炭化物 (1~2mm) を微量含む。
4. 灰土 (S54/1) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (3~10mm) を中量。にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量含む。炭化物は一部 (上部) 帯状となる。
5. 黒褐色土 (S53/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~10mm)・炭化物 (2~10mm) を少量含む。下部に礫・磁石・珠洲焼などの遺物を含む。
6. 灰黄色土 (S53/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を少量含む。
7. にぶい黄色土 (S53/3) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (3~5mm)・灰土ブロック (5~10mm) を少量含む。
8. 黒褐色土 (S53/1) しまり普通。粘性やや強い。炭化物を帯状に含む。
9. 灰土 (S54/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3~10mm) を少量、にぶい黄色土を源状に少量含む。
10. 黒褐色土 (S53/2) しまり弱く、粘性強い。炭化物を帯状に、灰土 (20~30mm) を少量含む。
11. 灰色砂 (S51/1) しまり強く、粘性強い。炭化物 (3~5mm) を微量含む。
12. 灰オリーブ色砂質土 (S52/2) しまりやや強く、粘性弱い。

SE428

1. 灰土 (S54/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (2~5mm) を微量含む。II層の落ち込み。
2. 灰土 (S54/1) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (2~5mm) を少量含む。
3. オリーブ黒色土 (S53/2) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (2~10mm) を中量。焼土ブロック (30mm) を微量含む。
4. 灰土 (S54/1) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm)・炭化物 (1~5mm) を少量。焼土ブロック (10mm) を微量含む。
5. にぶい黄色土 (S53/3) しまり普通。粘性やや強い。灰土土を源状に中量。炭化物 (1mm) を微量含む。
6. 灰砂質土 (S54/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2~30mm) を少量。にぶい黄色土を源状に少量含む。
7. オリーブ黒色砂質土 (S53/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土・砂質土ブロックを源状に中量。炭化物 (1~10mm) を少量含む。
8. にぶい黄色土 (S53/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰土土を源状に少量含む。
9. にぶい黄色土 (S53/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。8層より砂質多し。
10. 灰オリーブ色土 (S52/2) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量。にぶい黄色土を源状に少量含む。
11. にぶい黄色土 (S53/3) しまり普通。粘性やや強い。オリーブ黒色土を帯状に中量。炭化物 (3~5mm) を微量含む。
12. 灰土 (S53/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物を中量。にぶい黄色土ブロック (5mm) を少量含む。
13. にぶい黄色土 (S53/3) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (5mm) を微量含む。礫層多し。
14. 灰オリーブ色土 (S52/2) しまり普通。粘性やや強い。オリーブ黒色土を帯状に少量含む。
15. 灰土 (S54/1) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (1~10mm) を少量。にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を微量含む。
16. 灰土 (S54/1) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物を帯状に中量含む。
17. 黒色土 (10YR2/1) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物を多量含む。薪などの木製品を含み。下部は腐植層となる。
18. にぶい黄色土 (S53/3) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (3~10mm) を少量含む。
19. にぶい黄色土 (S53/3) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (3mm) を微量含む。
20. 青灰色シルト (S56/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
21. 黄褐色土 (S53/3) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (3~5mm)・灰土ブロック (5~10mm) を少量含む。
22. 灰オリーブ色シルト (S56/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
23. 灰オリーブ色砂質土 (S52/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。

SE439

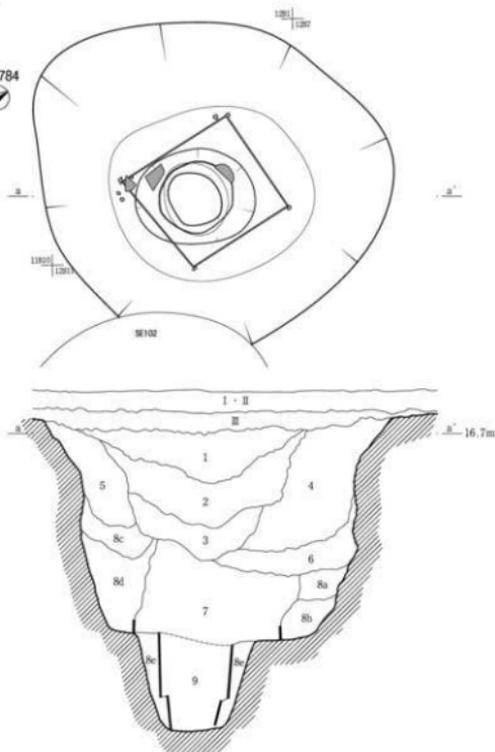




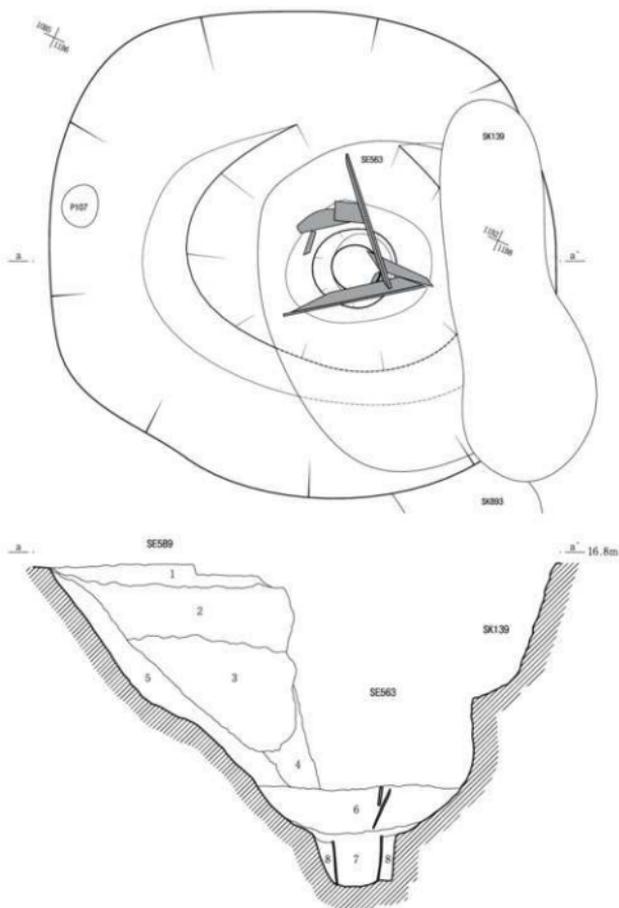
- SE563
1. 灰色砂質土 (S14/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色砂質土ブロック (10mm) を少量。灰色土 (5~10mm) を微量含む。
 3. 灰色土 (S14/1) しまり普通。粘性やや強い。下部一部炭化物層有り。
 4. 褐色土 (10194/1) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 5. にぶい黄色土 (2.S14/4) しまり普通。粘性やや強い。やや砂質。
 6. 灰オリーブ色土 (2.S14/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (10~30mm) を少量含む。
 7. 灰色土 (S14/1) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 8. にぶい黄色土 (2.S16/4) しまり普通。粘性やや強い。灰色土を層状に少量含む。
 9. 黒褐色土 (10923/1) しまりやや強く、粘性強い。有機物を微量含む。底面に剥離層有り。
 10. 灰色土 (S16/1) しまりやや強く、粘性強い。砂・礫を中量含む。

- SE784
1. 褐色土 (10195/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm)・粒子の細かい砂粒を少量。炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 2. 褐色土 (10195/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。粒子の細かい砂粒を少量。灰褐色シルト (10~20mm) を少量。炭化物 (1~10mm) を微量含む。
 3. 褐色土 (10195/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm)・粒子の細かい砂粒を中量。灰褐色シルト (10~20mm) を少量含む。
 4. 褐色土 (10195/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (5~10mm) を極めて多量に含む。
 5. 褐色土 (10195/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (5~10mm) を極めて多量に含む。
 6. 黄灰色土 (2.S14/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~20mm) を少量。炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 7. 黄灰色土 (2.S14/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~20mm)・炭化物 (1~5mm) を微量。腐った木材の破片を含む。8層との境に縦方向の亀裂が見られる。
 - 8a. 黄灰色土 (2.S14/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm) を極めて多量に含む。
 - 8b. 黄灰色土 (2.S14/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~20mm) を少量。炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 - 8c. 黄灰色土 (2.S14/1) しまり強く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (5~40mm) を少量。炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 - 8d. 黄灰色土 (2.S14/1) しまり強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~20mm) を極めて多量に含む。
 - 8e. 黄灰色シルト (2.S14/1) しまり強く、粘性普通。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 9. 黄灰色シルト (2006/1) しまり普通。粘性弱い。炭化物 (1mm) を微量含む。

SE784

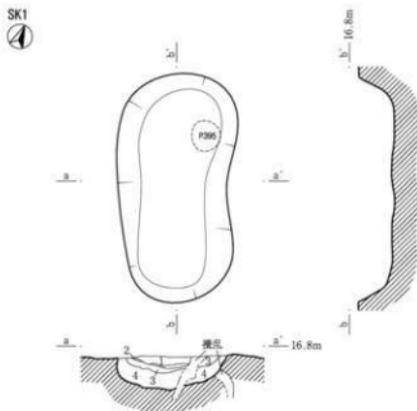


SE589

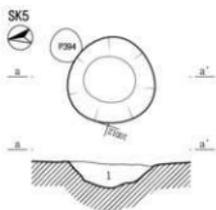


SE589

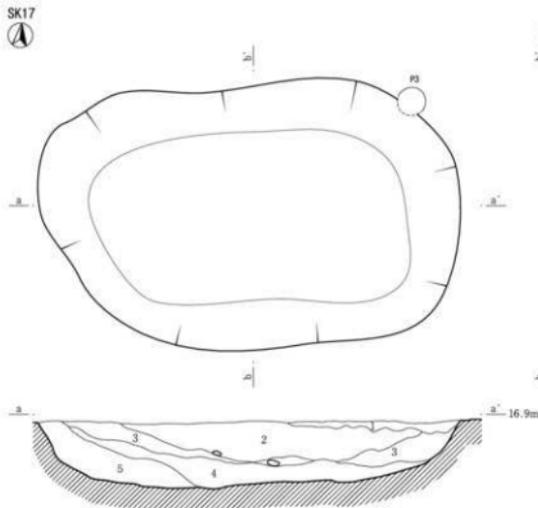
1. 灰色土 (S14/1) しまり強く、粘性弱い、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. にぶい黄色土 (2.S16/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (3~5mm) を少量含む。
3. 暗灰黄色土 (2.S15/2) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土(ロップ (5~20mm) を量状に少量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
4. 褐灰色土 (10S14/1) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (3mm) を少量含む。
5. 灰黄色土 (S16/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
6. 青灰色シルト (S106/1) しまりやや強く、粘性弱い、にぶい黄色土を量状に少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
7. 青灰色砂質土 (S106/1) しまりやや強く、粘性弱い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
8. 黄褐色砂質土 (2.S15/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1mm)・灰色土 (5~10mm) を微量含む。



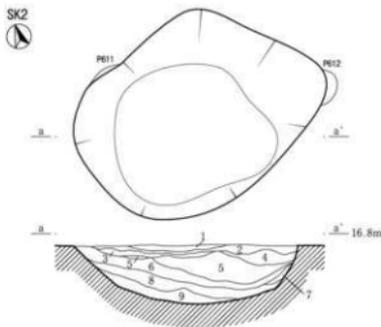
- SK1
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
 2. におい赤褐色土 (5YR4/4) しまりやや弱く、粘性やや弱い、焼土層。
 3. 黒色土 (10YR2/1) しまり普通、粘性普通、灰色シルト (5~20mm) を微量含む。
 4. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1mm) を微量含む。



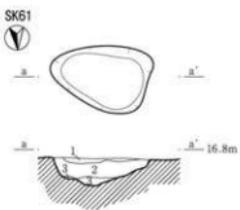
- SK5
1. 灰色シルト (5Y4/1) しまり強く、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を微量含む。



- SK17
1. 灰黄色土 (5Y5/1) しまり強く、粘性弱い、II 層の高み込み。
 2. 灰黄色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性弱い、炭化物 (3~5mm) にふい黄色土ブロック (5~10mm) を少量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性普通、にふい黄色土ブロック (5~15mm) を少量、炭化物 (3mm) を微量含む。
 4. 灰黄色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (3mm) にふい黄色土ブロック (3~5mm) を少量含む。
 5. にふい黄色土 (2.5Y6/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (2mm) を微量含む、IV層に傾斜。

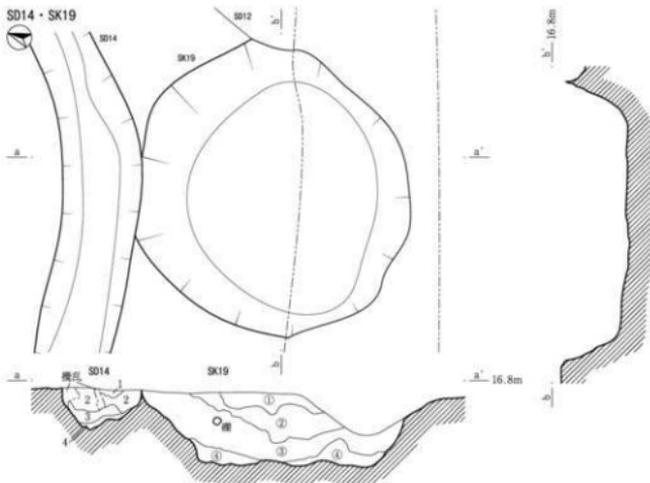


- SK2
1. 灰黄色土 (5Y5/1) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 2. 灰黄色土 (5Y4/1) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 3. 灰黄色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物を炭状に中量含む。
 4. 灰黄色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (1mm) を微量含む。
 5. 暗赤褐色土 (2.5YR2/2) 焼土ブロック層。
 6. にふい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 7. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 8. にふい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 9. にふい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性弱い、炭化物を炭状に多量含む。



- SK61
1. 灰黄色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性弱い、炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 2. 灰黄色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (2~10mm) を中量、にふい黄色土を炭状に中量含む。
 3. にふい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通、粘性普通、灰黄色土を炭状に少量含む。

SD14・SK19



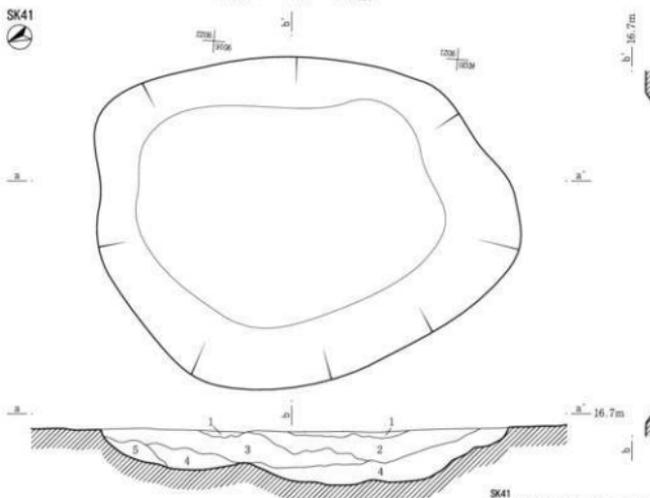
SD14

1. 褐色土 (107B/1) しまりやや強く、粘性普通。灰色土ブロック (3~10mm) を中量含む。
2. 褐色土 (107B/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色土ブロック (3~5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3mm)、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (107B/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土ブロック (3~5mm)、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
4. にぶい黄色土 (2.57G/2) しまり普通、粘性やや強い。灰色シルト (3mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。

SK19

- ①. 灰色土 (574/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~10mm) を少量含む。
- ②. 灰色土 (574/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~10mm)、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量含む。
- ③. 灰オリーブ色土 (575/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロックを塊状に中量、炭化物 (2~20mm) を少量含む。
- ④. 灰オリーブ色土 (575/2) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土ブロックを塊状に少量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。

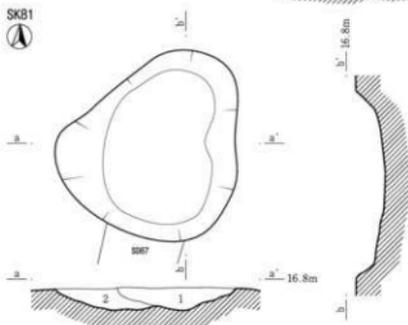
SK41



SK41

1. 褐色土 (2.574/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (107B/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を中量、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (107B/2) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (3~30mm)、にぶい黄色土ブロック (5~20mm) を中量含む。
4. 灰黄褐色土 (107B/2) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~20mm)、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
5. 灰黄褐色土 (107B/2) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~30mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

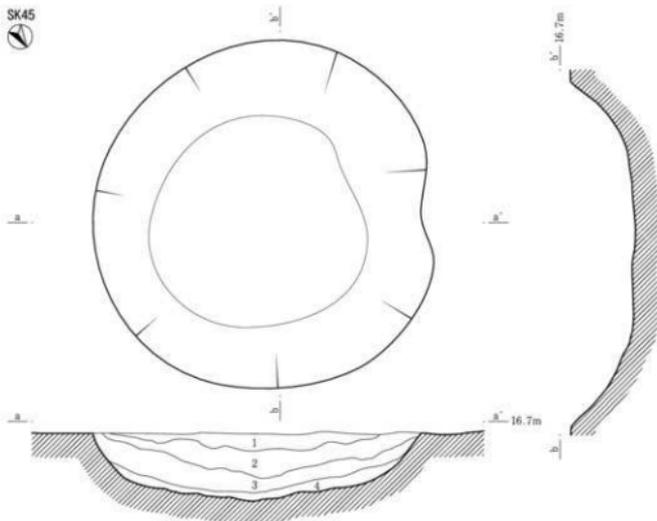
SK81



SK81

1. 灰オリーブ色土 (575/2) しまり強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~10mm)、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
2. にぶい黄色土 (2.57G/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~3mm) を少量含む。

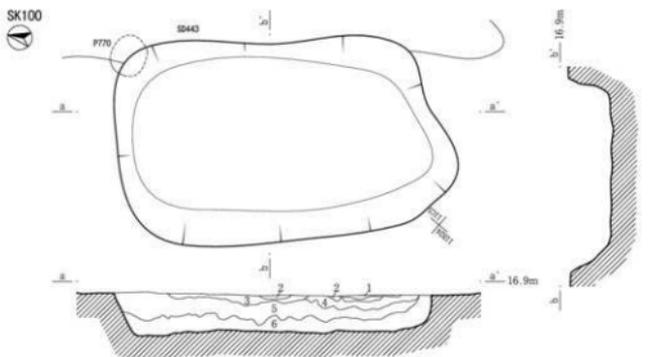
SK45



SK45

1. 焼灰色土 (10TR4/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~10mm) を少量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
2. 焼灰色土 (10TR4/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm) を少量、にぶい黄色土ブロックを層状に少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10TR4/2) しまりやや弱く、粘性普通。にぶい黄色土ブロックを層状に中量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。
4. にぶい黄色土 (2.5IV6/3) しまり弱く、粘性やや強い。灰色シルトを中量含む。

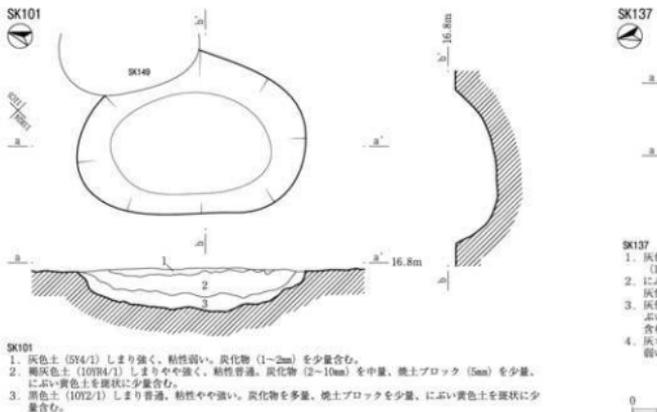
SK100



SK100

1. 灰色土 (5IV4/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (1~2mm) を少量含む。
2. にぶい中褐色 (2.5IV6/4) 焼土ブロック層。
3. 灰色土 (5IV5/1) しまりやや弱く、粘性弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm)、炭化物 (1~3mm) を少量、焼土ブロック (3mm) を微量含む。
4. 灰色土 (5IV4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土を層状に中量、炭化物 (3~5mm) を少量含む。
5. 灰色土 (5IV4/1) しまり普通、粘性普通。炭化物 (5~30mm) を少量、にぶい黄色土を層状に少量含む。
6. にぶい黄色土 (2.5IV6/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土を層状に少量含む。

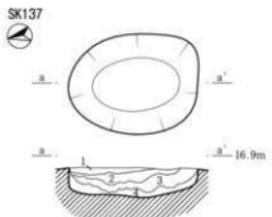
SK101



SK101

1. 灰色土 (5IV4/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (1~2mm) を少量含む。
2. 焼灰色土 (10TR4/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (2~10mm) を中量、焼土ブロック (5mm) を少量、にぶい黄色土を層状に少量含む。
3. 褐色土 (10T2/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物を多量、焼土ブロックを少量、にぶい黄色土を層状に少量含む。

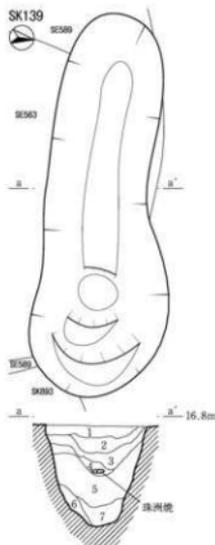
SK137



SK137

1. 灰色土 (5IV4/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. にぶい黄色土 (2.5IV6/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰色土を層状に中量含む。
3. 灰色土 (5IV4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を層状に少量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
4. 灰赤リブ色土 (5IV4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を層状に少量含む。

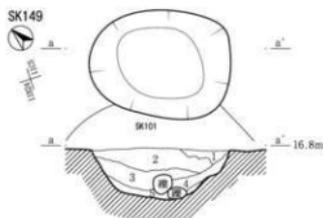
0 (1:40) 2m



SK139

1. 灰色土 (SY4/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (2-3mm) を微量含む。
2. 灰色土 (SY4/1) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1-10mm) を中量、にぶい黄色土ブロック (3-10mm) に少量含む。
3. 灰色土 (SY4/2) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (2-5mm) を中量、にぶい黄色土 (3-10mm) を微状に少量含む。
4. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。炭化物を多量含む。
5. 灰色土 (SY4/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5-10mm)、炭化物 (2-5mm) を少量含む。
6. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2-3mm) を微量含む。
7. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2-5mm) を微量含む。

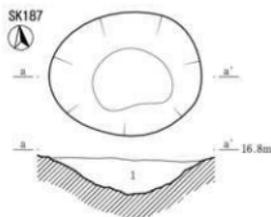
SK149



SK149

1. 褐色黄色土 (2.5Y4/2) しまり強く、しまりやや弱く、にぶい黄色土ブロック (2-3mm)、炭化物 (1-3mm) を少量含む。
2. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通、粘性普通。灰色土を微状に少量含む。
3. 灰色土 (SY4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3-5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3mm) を微量含む。
4. 灰色土 (SY4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3-5mm) を少量、にぶい黄色土を微状に少量含む。
5. 灰色土 (SY3/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土を微状に微量含む。

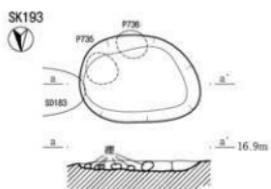
SK187



SK187

1. 灰色土 (SY5/1) しまり強く、粘性弱い。II層に類似する。

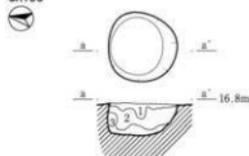
SK193



SK193

1. 灰オリーブ色砂質土 (SY4/2) しまりやや弱く、粘性普通。礫を中量含む。

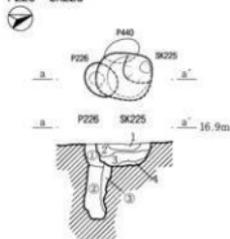
SK196



SK196

1. 褐色土 (10YR4/1) しまり強く、粘性普通。にぶい黄色土 (3-10mm) を少量、炭化物 (2-5mm) を微量含む。
2. 黒褐色土 (10YR3/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物を多量、にぶい黄色土を微状に中量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物を中量、灰色土を微状に少量含む。

P226・SK225



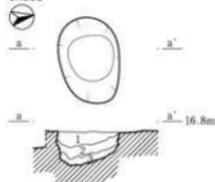
SK225

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (1-5mm)、砂質土ブロック (5mm)、にぶい黄色土を少量含む。
2. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土・砂質土を微状に中量、炭化物 (1-3mm) を微量含む。
3. 灰色土 (SY4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土・砂質土・炭化物を微状に中量含む。
4. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通、粘性やや強い。灰色土を微状に少量含む。

P226

- ①. 黒褐色土 (10YR3/2) しまり普通、粘性普通。炭化物 (1-2mm) を微量含む。
- ②. 灰色土 (2.5Y4/3) しまり普通、粘性普通。
- ③. にぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまりやや弱く、粘性強い。灰色土 (1-2mm) を微量含む。

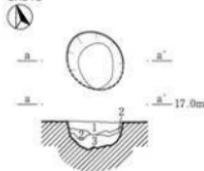
SK305



SK305

1. 黄灰色土 (2.5Y4/1) ブロック状礫土しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土・炭化物を微状に少量含む。
2. 灰色土 (SY4/1) ブロック状礫土しまり普通、粘性普通。炭化物を微状に中量含む。
3. 灰色土 (SY4/1) しまりやや弱く、粘性普通。炭化物を微状に多量含む。

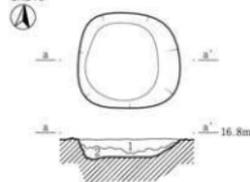
SK318



SK318

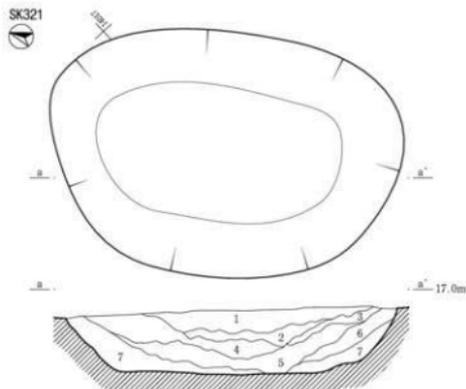
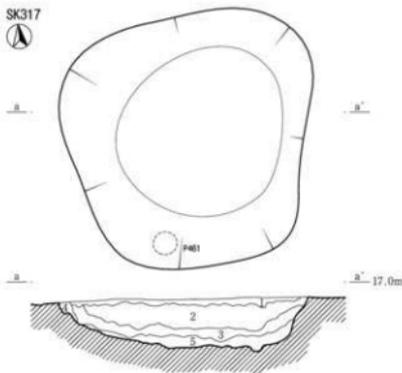
1. 灰色土 (SY5/1) しまり強く、粘性やや弱い。炭化物 (3mm) を少量含む。
2. 灰オリーブ色土 (SY4/2) しまりやや弱く、粘性普通。炭化物 (3mm) を少量、にぶい黄色土を微状に少量含む。
3. 黒褐色土 (10YR3/1) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰色土を微状に少量含む。

SK319



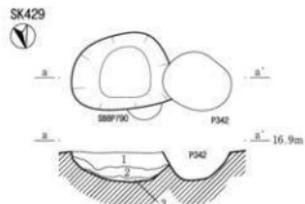
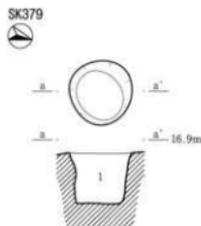
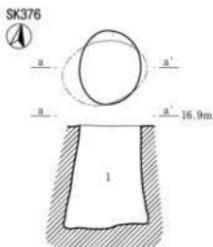
SK319

1. 灰色土 (SY5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (3-5mm) を微量含む。
2. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1-2mm) を微量含む。



- SK317
1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~3mm) を微量含む。
 2. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (2~10mm) を少量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 3. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、にぶい黄色土 (3~5mm)・炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 4. 灰色土 (5Y4/1) しまり普通、粘性普通、炭化物 (3~5mm) を少量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 5. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土を混状に中量、炭化物 (2~5mm) を微量含む。

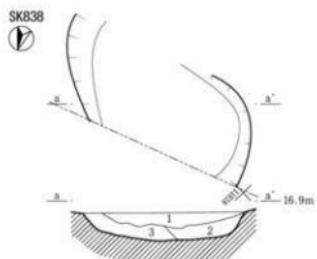
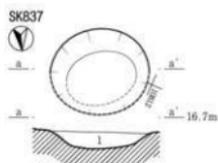
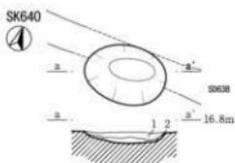
- SK321
1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (2mm) を微量含む。
 2. 褐灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土 (5mm)・炭化物 (3mm) を少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、他土ブロックを中量含む。
 4. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (3~10mm) を少量含む。
 5. オリーブ黒色土 (5Y3/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (2~10mm) を少量、にぶい黄色土を混状に少量含む。
 6. オリーブ黒色土 (5Y3/2) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄色土 (10~20mm) を少量含む。
 7. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~3mm) を少量、灰色土を混状に少量含む。



- SK376
1. 灰色土 (7.5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い、炭化物 (2~5mm) を微量含む、II層土主体。

- SK379
1. 黄灰色土 (2.5Y4/1) しまり強く、粘性やや弱い、にぶい黄色土 (5~10mm) を混状に少量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

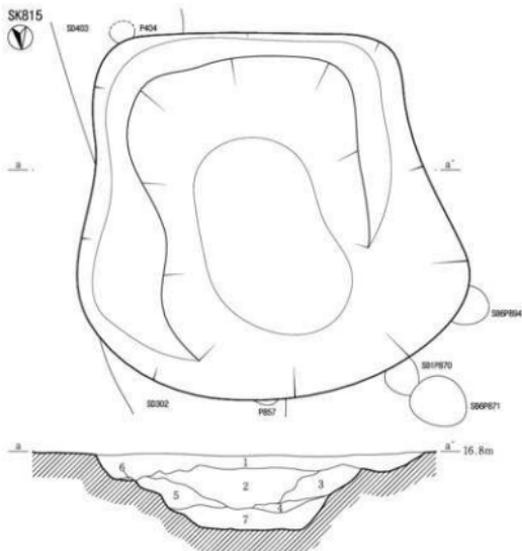
- SK429
1. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性普通、にぶい黄色土を混状に中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 2. オリーブ黒色土 (5Y3/2) しまり普通、粘性普通、にぶい黄色土を混状に少量、炭化物 (1~3mm) を微量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.5Y6/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1mm) を微量含む。



- SK640
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、酸化鉄 (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 2. 明黄褐色土 (10YR6/6) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を中量含む。

- SK837
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。

- SK838
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (5~10mm) を少量、灰褐色シルト (1~20mm) を微量含む。
 2. 灰色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (10~50mm) を多量含む。



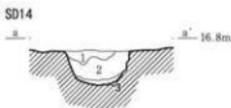
SK815

1. オリーブ黒色土 (S13/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1-50mm)・炭化物 (1-5mm) を少量、円礫 (5-50mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (1-20mm) を多量、炭化物 (1-5mm) を中量含む。
3. 灰色土 (S15/1) しまり強く、粘性やや強い。灰褐色シルトを多量含む。
4. オリーブ黒色土 (S13/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1-5mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
5. オリーブ黒色土 (S13/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1-10mm)・炭化物 (1-5mm) を中量含む。
6. 灰色土 (S15/1) しまり強く、粘性やや強い。灰褐色シルトを多量含む。
7. 褐色土 (7.5YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1-10mm) を多量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。



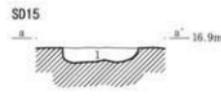
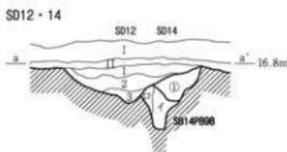
SD8

1. 灰オリーブ色シルト (S14/2) しまり強く、粘性普通。にぶい黄色シルトブロック (5-20mm)・炭化物 (1-5mm) を少量含む。
2. 灰色シルト (S14/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色シルトブロック (5-10mm)・炭化物 (1-2mm) を微量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性強い。地山に類似。



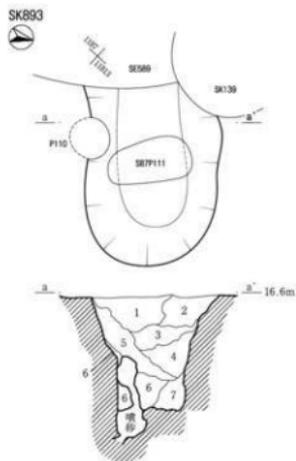
SD14

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (3-5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3mm) を微量含む。
2. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3mm)・炭化物 (1-3mm) を微量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや弱い。灰色シルト (3mm) を中量含む。



SD15

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (1-5mm) にぶい黄色土ブロック (3-5mm) を少量含む。



SK893

1. 灰オリーブ色土 (S15/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒を中量。黄褐色シルト (1-5mm) を少量含む。
2. オリーブ黄色土 (S16/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5-20mm) を多量、炭化物 (1-5mm)・砂粒を少量含む。
3. 灰色土 (S16/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5-10mm) を多量、砂を少量含む。
4. オリーブ黄色土 (S16/3) しまり普通。粘性やや弱い。黄褐色シルト (5-10mm) を多量、砂を中量含む。
5. 灰色土 (S16/1) しまり普通。粘性弱い。砂粒を極めて多量に含む。
6. 灰色土 (S16/1) しまりやや強く、粘性普通。灰褐色シルト (1-5mm)・砂を少量含む。
7. 灰色土 (S16/1) しまりやや強く、粘性普通。灰褐色シルト (1-5mm) を多量含む。

SD12

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (1-5mm) を少量含む。
2. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (5-20mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
3. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (1-10mm) を少量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。

SD14

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1-5mm) を少量含む。

SB14P006

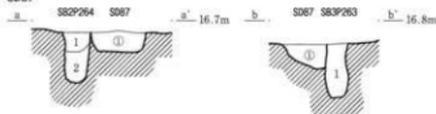
- a. 黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土を塊状に少量含む。
- ロ. にぶい黄色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや強い。炭化物 (1-2mm) を微量含む。



SD16

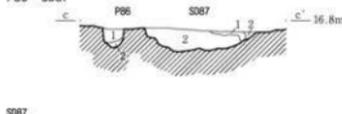
1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり普通。粘性やや弱い。にぶい黄色土を塊状に中量、炭化物 (3-5mm) を少量含む。
2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり普通。粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3-10mm) を少量、炭化物 (2-3mm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (3mm)・炭化物 (1-2mm) を微量含む。
4. にぶい黄色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (1mm) を微量含む。

SD87



- SD87**
 ①. 褐灰色土 (2.515/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~10mm) を微量含む。
SR3P264
 1. 灰オリーブ色土 (514/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
SR3P263
 1. 灰色土 (515/1) しまりやや強く、粘性弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
 2. 灰オリーブ色土 (514/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (1~10mm) を少量、炭化物 (5~10mm) を微量含む。

P86・SD87



- SD87**
 1. 灰オリーブ色土 (514/2) しまり普通、粘性やや弱い。黒褐色土ブロックを現状に中量、炭化物 (2~30mm) を少量含む。
 2. 黄褐色土 (2.515/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (3mm) を微量含む。

P86

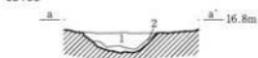
1. 灰色土 (514/1) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.516/3) しまりやや強く、粘性普通。灰色土を現状に少量含む。

SD88



- SD88**
 1. 灰色土 (514/1) しまり強く、粘性普通。炭化物 (2~3mm) を少量、にぶい黄色土を現状に少量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.516/4) しまり普通、粘性やや強い。灰色シルトを現状に中量、炭化物 (3mm) を微量含む。

SD108



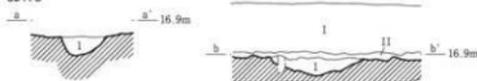
- SD108**
 1. 灰色土 (514/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄色土を現状に中量、炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.516/3) しまり普通、粘性やや弱い。灰色土 (3~5mm) を少量、炭化物 (1~3mm) を微量含む。

SD124



- SD124**
 1. 灰オリーブ色土 (514/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を現状に少量含む。

SD173



- SD173**
 1. 灰色土 (514/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を現状に少量、炭化物 (3mm) を微量含む。

SD183・P184



- SD183**
 ①. 褐灰色土 (10184/1) しまり強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~3mm) を少量含む。

P184

1. 褐灰色土 (10184/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~5mm) を中量、にぶい黄色土を現状に少量含む。
 2. 褐灰色土 (10184/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土を現状に中量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。

SD210



- SD210**
 1. 褐灰色土 (10184/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (2~5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.516/3) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色土を現状に少量、炭化物 (3mm) を微量含む。

SD210

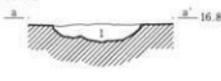
1. 灰色土 (515/1) しまり強く、粘性やや弱い。炭化物 (3~5mm) を少量、にぶい黄色土ブロック (2~5mm) を微量含む。
 2. にぶい黄色土 (2.516/3) しまり普通、粘性やや弱い。灰色土を現状に微量含む。
SD210
 1. 灰色土 (514/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を現状に中量、炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 2. 黒褐色土 (2.0183/2) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄色土を現状に少量、炭化物 (2~5mm) を微量含む。

SD218



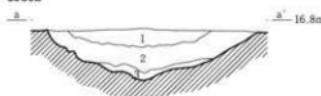
- SD218**
 1. 褐灰色土 (7.5184/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (5~20mm)、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 2. 褐灰色土 (7.5184/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色シルト (1~10mm) を多量含む。

SD258



- SD258**
 1. 灰色土 (514/1) しまり普通、粘性普通。炭化物 (2~10mm)、にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量含む。

SD302



- SD302**
 1. 褐灰色土 (10184/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3~5mm)、炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 2. 褐灰色土 (10184/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を現状に中量、炭化物 (3mm) を少量含む。
 3. にぶい黄色土 (2.516/3) しまり普通、粘性やや弱い。灰色土ブロック (5mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。

SD333



- SD333**
 1. 褐灰色土 (10184/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (2~10mm) を中量、にぶい黄色土ブロック (5mm) を現状に少量含む。炭化物は下部に集中。
 2. 灰色土 (514/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~5mm) を少量。にぶい黄色土を現状に少量含む。
 3. 褐灰色土 (2.514/2) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (3~5mm) を微量含む。

SD337



- SD337**
 1. 灰色土 (514/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~3mm) を少量。黄土 (2mm) を微量含む。



SD418



SD418

1. 灰色砂質土 (S5/S1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (3~5mm) を少量含む。
2. 灰色土 (S14/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (3mm) を微量含む。

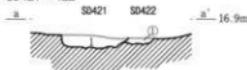
SD530



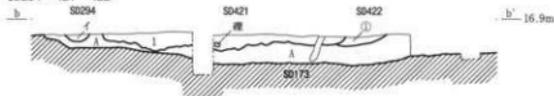
SD530

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (3~10mm) を少量。炭化物 (3~5mm) を微量含む。
2. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土を炭化に中量。炭化物 (3~5mm) を微量含む。
3. にぶい黄色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや弱い。灰色土ブロック (3mm) を少量含む。

SD421・422



SD294・421・422



SD421



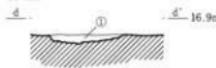
SD173

- SD173
A. 灰色土 (S14/1) しまり普通。粘性やや弱い。にぶい黄色土を炭化に少量。炭化物 (3~5mm) を微量含む。

SD294

- SD294
イ. 灰色土 (S14/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土ブロック (2~3mm)・炭化物 (1mm) を微量含む。

SD422



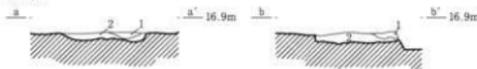
SD421

- SD421
1. 灰オリーブ色土 (S15/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (1~2mm)・にぶい黄色土ブロック (3~5mm) を微量含む。

SD422

- SD422
①. 灰色土 (S15/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~2mm)・にぶい黄色土ブロック (3mm) を微量含む。

SD443



SD443

1. 灰色土 (S14/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土・炭化物を炭化に少量含む。
2. 灰色土 (S14/1) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (1~3mm) を微量含む。

SD609



SD609

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (5~10mm) を多量。炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SD638



SD655



SD672



SD638

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルトブロック (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルトブロック (1~5mm) を多量。炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SD655

1. 灰色土 (7.5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (1~5mm) を中量含む。

SD672

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (1~5mm) を多量。砂粒を中量。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 褐灰色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量含む。

SD685



SD825・SK826



SD825

- SD825
①. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~5mm) を少量。灰褐色シルト (1~10mm) を微量含む。

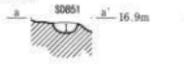
SD685

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (3~20mm) を中量。炭化物 (2mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (4mm) を微量含む。

SD825

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~5mm) を中量。褐灰色シルトブロックを微量含む。
2. 褐灰色土 (2.5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (1~10mm) を多量含む。

SD851



SD856



SD858



SD864



SD851

- SD851
1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を中量。炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。

P855

- P855
1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を中量。炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SD856

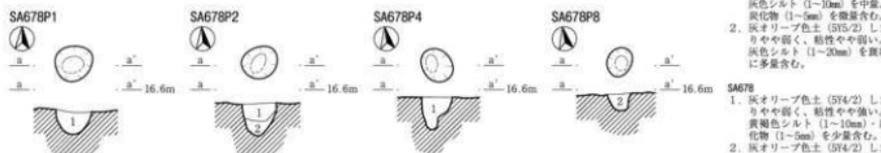
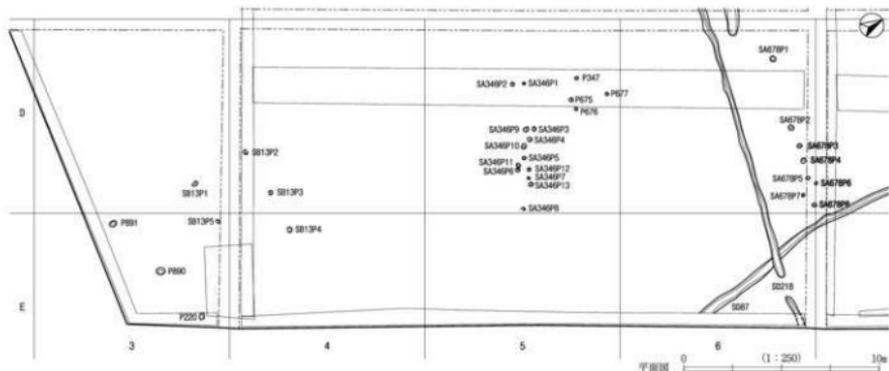
- SD856
1. 褐灰色土 (7.5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm)・砂粒を中量。炭化物 (1~20mm)・小礫を少量含む。

SD858

- SD858
1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SD864

- SD864
1. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまりやや強く、粘性強い。炭化物 (1~5mm)・砂粒を少量含む。

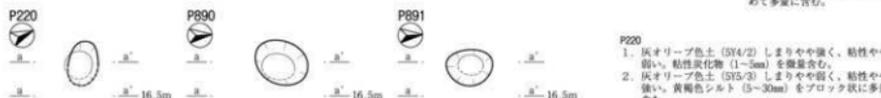


SA346

1. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰褐色シルト (1~20mm) を顕状に多量含む。

SA678

1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm)、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を極めて多量含む。



P220

1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。粘性炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~30mm) をブロック状に多量含む。

P890

1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm)、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. オリーブ原色土 (5Y3/2) 柱痕跡。しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm)、炭化物 (5~10mm) を中量含む。底面に赤い鉄分が分布。
3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を多量含む。柱断面の光面土。



P251

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。にぶい黄色土を顕状に中量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. 灰土 (5Y4/1) しまり普通。粘性普通。にぶい黄色土を顕状に多量。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

P561

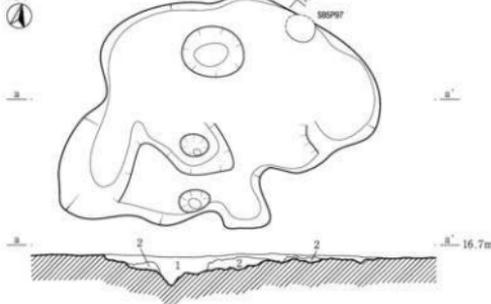
1. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄色土ブロック (5~10mm) を少量。炭化物 (2~5mm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。にぶい黄色土を顕状に少量含む。
3. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや弱く、粘性強い。にぶい黄色土ブロック (10~15mm) を少量含む。

P885

1. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄色土を顕状に少量。灰褐色シルト (3~5mm) を少量含む。
2. 灰土 (5Y4/1) しまり普通。粘性やや強い。にぶい黄色土ブロック (5~10mm) を少量含む。



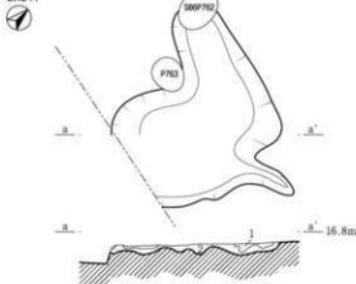
F94



F94

1. 褐色土 (7.S195/1) しまりやや強く、粘性やや強い。焼土 (5~20mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 褐色土 (7.S195/1) しまりやや強く、粘性やや強い。焼土 (5~10mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。

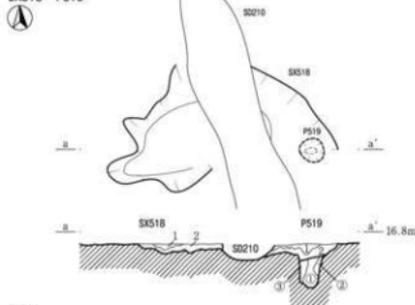
SX517



SX517

1. 灰色土 (S14/1) しまり強く、粘性やや弱い。焼土ブロック (3~5mm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。
2. 灰色土 (S15/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~2mm) を少量含む。

SX518・P519



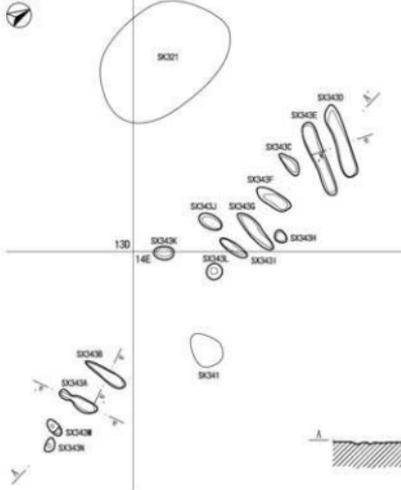
SX518

1. 灰色土 (S14/1) しまり強く、粘性弱い。炭化物を帯状に中量、焼土 (5~30mm) を少量含む。
2. 灰ネリブ色土 (S15/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。

P519

- ① 灰色土 (S14/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を少量、にぶい黄色土を帯状に少量含む。
- ② にぶい黄色土 (2.S196/4) しまり普通。粘性普通。灰色土を帯状に少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
- ③ にぶい黄色土 (2.S196/4) しまり普通。粘性普通。灰色土を帯状に少量含む。

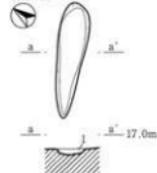
SX343



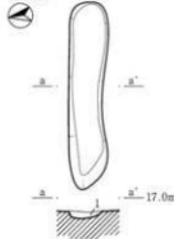
SX343A



SX343B

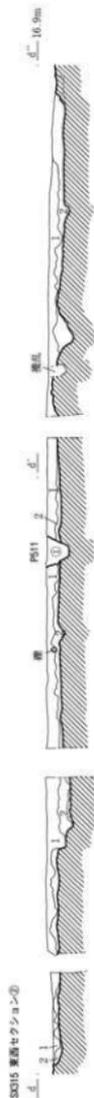
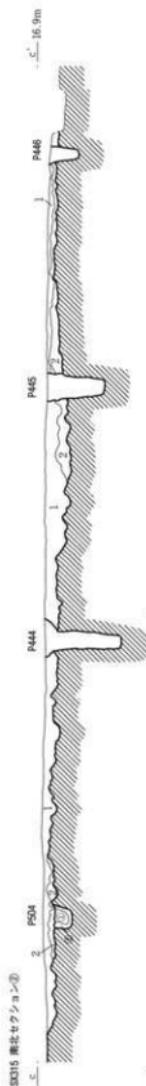
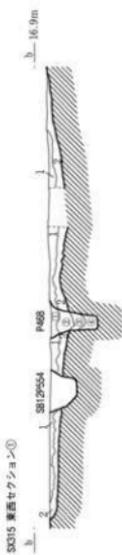


SX343D

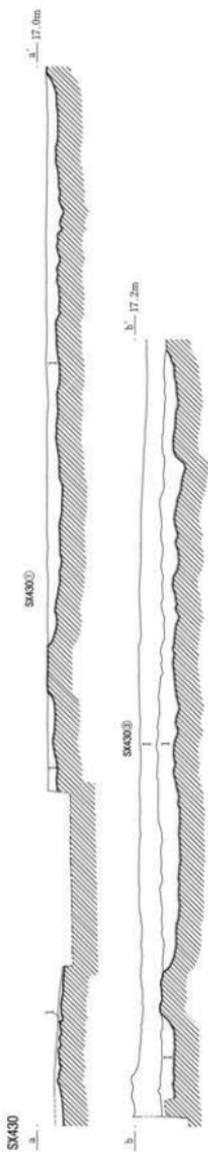


SX343

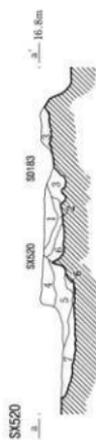
1. 灰色土 (S14/1) しまり強く、粘性弱い。にぶい黄褐色土ブロック (2~10mm) を微量含む。正確に照会する。



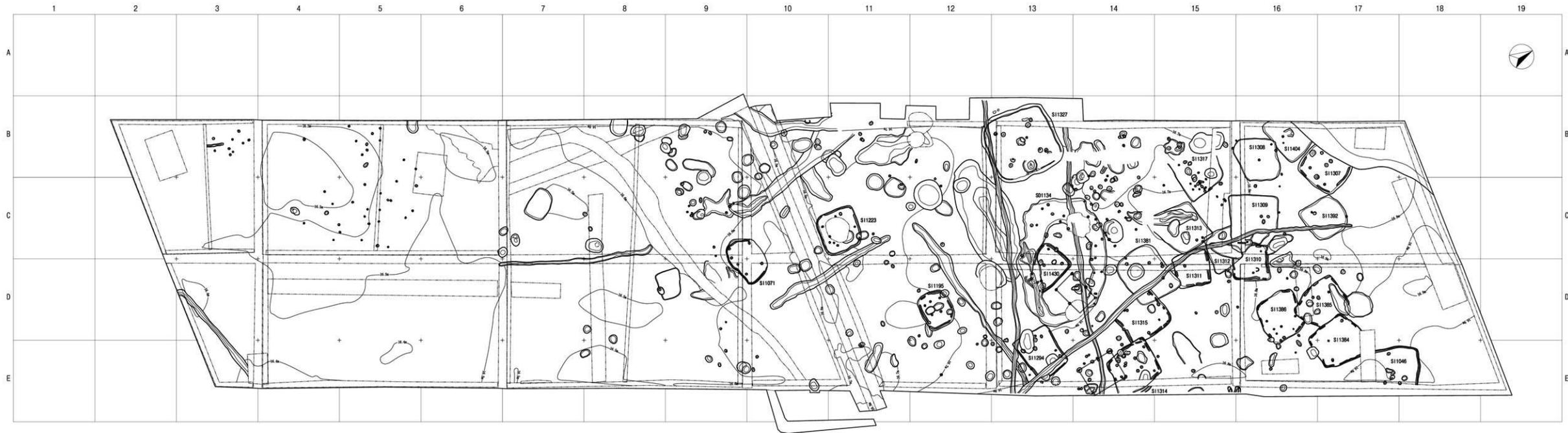
- SX315
- ①. 灰色土 (S347) しまりやや強く、粘状やや強い。にぶい黄色土プロット (3-5cm) 灰化層 (2-5cm) を少量含む。
 - ②. 灰オリーブ色土 (S342) しまり普通、粘状普通。にぶい黄色土を薄状に少量、灰化層 (1-5cm) を少量含む。
 - ③. 黒褐色土 (D352) しまり普通、粘状普通。にぶい黄色土 (3mm) を少量、灰化層 (2-3mm) を少量含む。S3605黄土。
- P316
- ①. 灰色土 (S347) しまりやや弱く、粘状やや強い。灰化層 (2-10cm) を少量、にぶい黄色土を薄状に少量含む。
- P468
- ①. 灰色土 (S357) しまりやや弱く、粘状普通。にぶい黄色土 (3-5cm) を少量、灰化層 (2cm) を少量含む。
 - ②. 灰色土 (S347) しまり普通、粘状やや強い。灰化層 (1-2cm) を少量含む。
 - ③. 黒褐色土 (D352) しまりやや弱く、粘状やや強い。灰化層 (1-2cm) を少量含む。
 - ④. 黒褐色土 (D352) しまり弱く、粘状やや強い。灰化層 (1cm) を少量含む。
- P504
- ①. 灰色土 (S357) しまり普通、粘状普通。にぶい黄色土 (3-5cm) を少量含む。
 - ②. 灰オリーブ色土 (S342) しまりやや弱く、粘状普通。にぶい黄色土を薄状に少量、灰化層 (3mm) を少量含む。
- P311
- ①. 灰オリーブ色土 (S342) しまりやや弱く、粘状普通。灰化層 (3-5cm)、にぶい黄色土 (5-10cm) を少量含む。

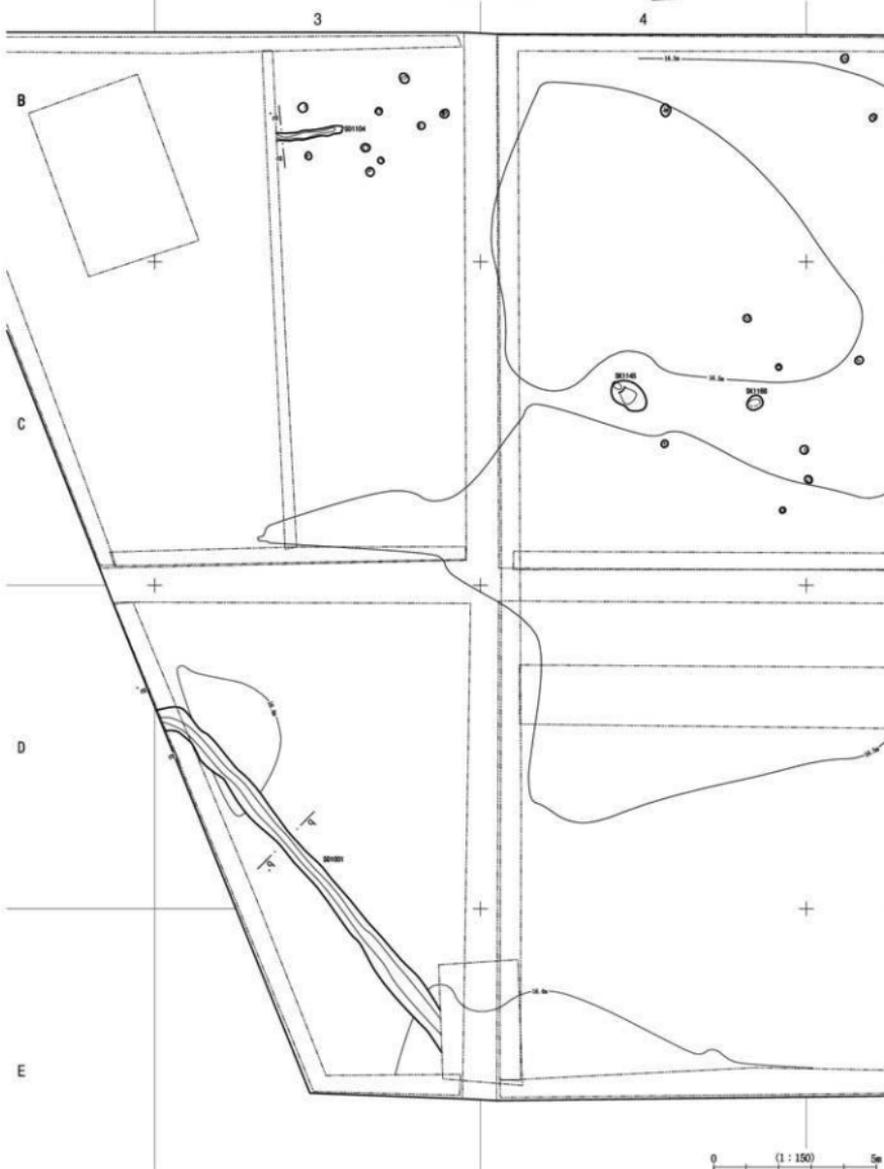
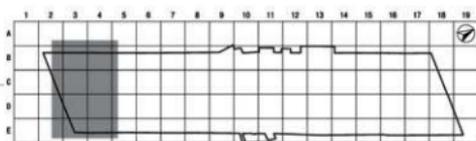


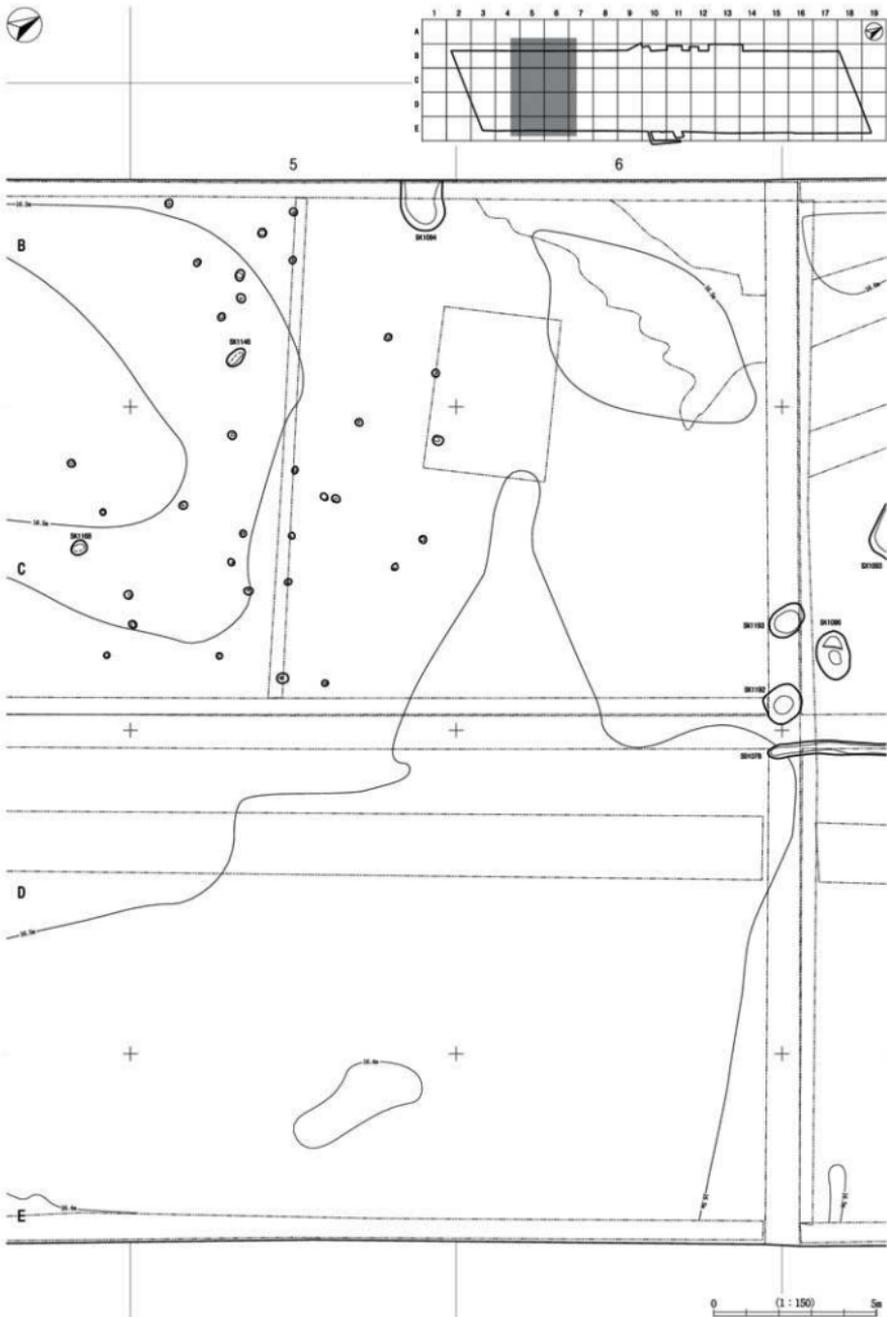
SX430
1. 灰色砂質土 (S347) により築く、粘性弱い、灰化層 (1-3m) を埋藏含む、II 層に掘削する。



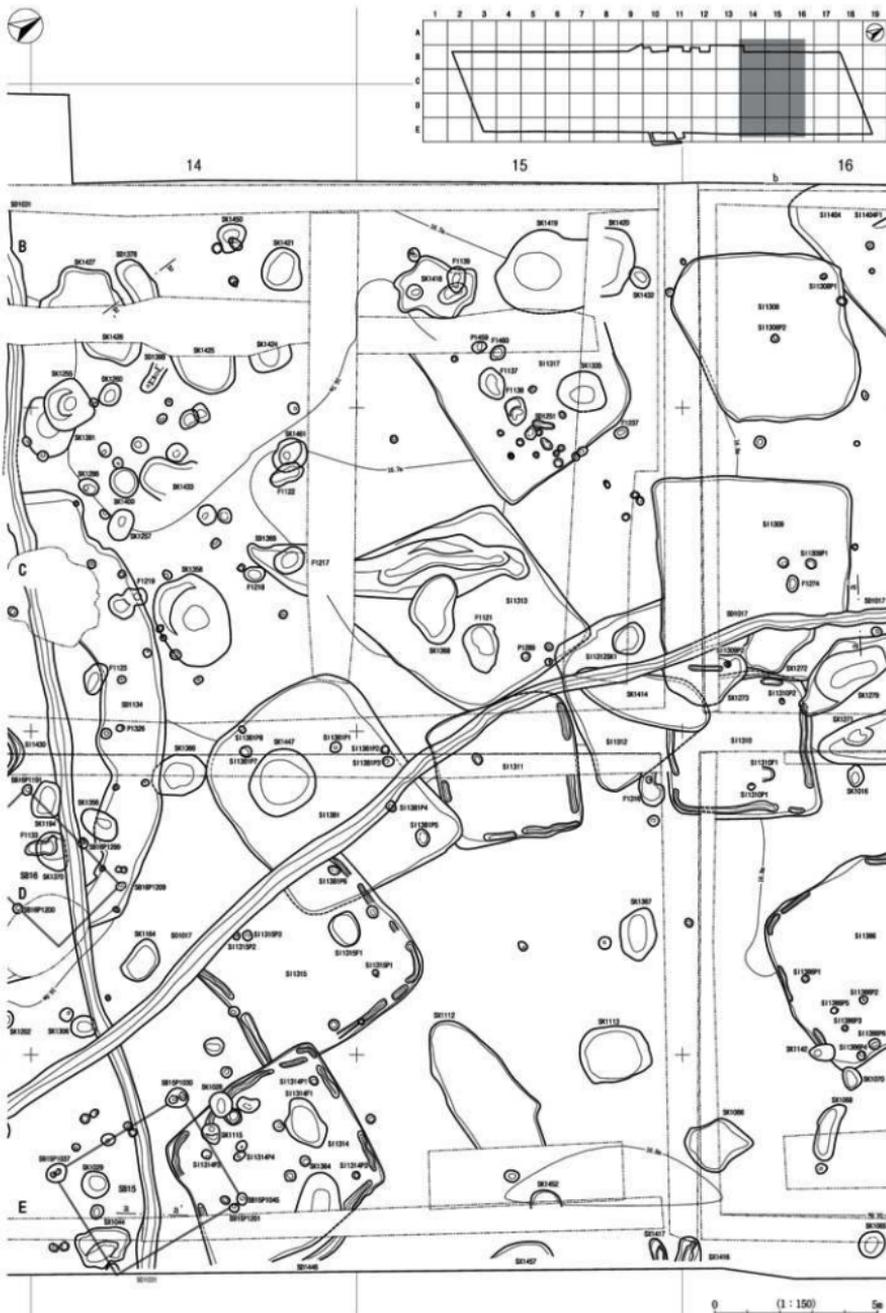
SX520
1. 灰色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、灰化層 (1-5m) を少量、黄褐色土フロック (1-5m) を埋藏含む。
2. 灰褐色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、黄褐色土を埋藏に少量、灰化層 (1-5m) を埋藏含む。
3. 灰褐色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、黄褐色土を埋藏に中量、灰化層 (1-2m) を埋藏含む。
4. 灰褐色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、灰化層 (1-3m)、黄褐色土フロック (2-5m) を埋藏含む。
5. 灰褐色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、灰化層 (1-3m) を埋藏含む。
6. 黄褐色土 (2 S353) により築く、粘性やや強い、灰褐色土を埋藏に少量含む。
7. 灰褐色土 (S347) により築く、粘性やや弱い、黄褐色土を埋藏に少量、灰化層 (1-2m) を埋藏含む。



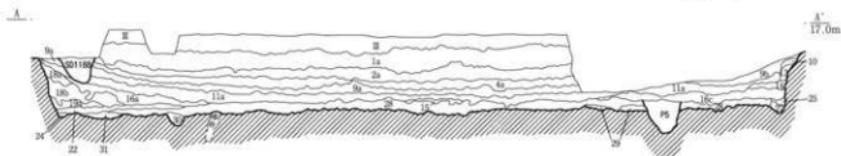
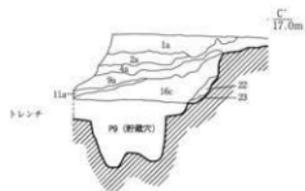
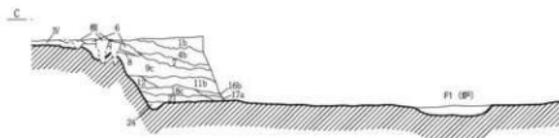
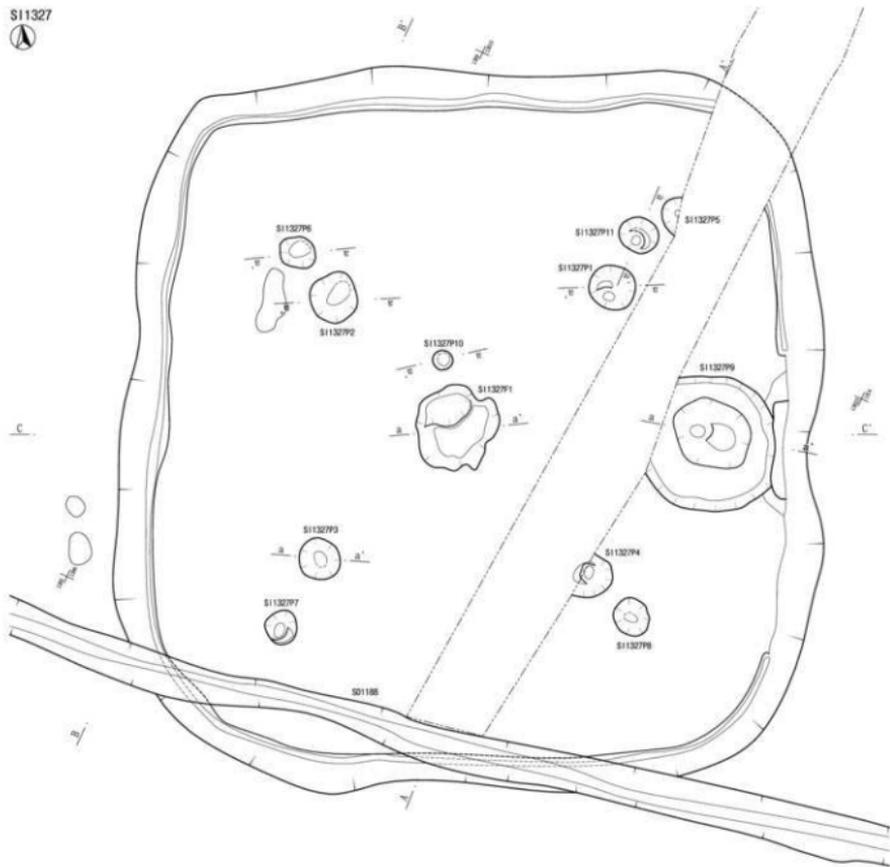




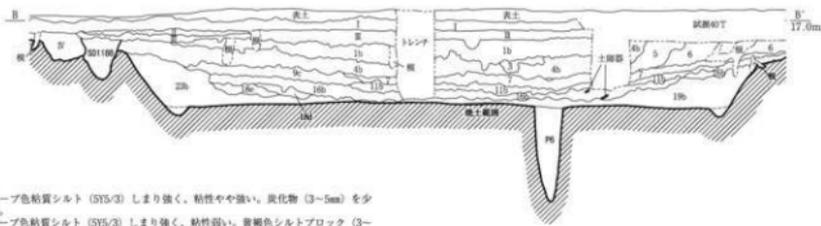




S11327



S11327



S11327

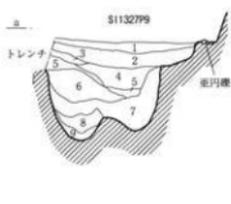
- 1a. 灰オリーブ色粘質シルト (S15/3) しまり強く、粘性やや強い。炭化物 (3~5m) を少量含む。
- 1b. 灰オリーブ色粘質シルト (S15/3) しまり強く、粘性弱い。黄褐色シルトブロック (3~5m) を少量。灰オリーブ色砂を斑状に少量含む。
2. 灰オリーブ色 (S15/3) しまりやや弱く、粘性弱い。灰オリーブ色粘質シルトブロック (10~15m) を中量含む。
3. 灰オリーブ色砂 (S15/2) しまりやや弱く、粘性弱い。灰オリーブ色粘質シルトブロック (10~20m) を多量含む。
- 4a. 灰オリーブ色砂 (S15/2) しまり弱く、粘性弱い。灰オリーブ色粘質シルトブロック (3~7m) を中量含む。
- 4b. 灰オリーブ色砂 (S15/2) しまり弱く、粘性弱い。黄褐色シルトブロック (5~10m)・灰オリーブ色粘質シルトブロック (10~20m) を微量含む。
5. 灰オリーブ色粘質シルト (S15/2) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (2~30m) を中量。灰オリーブ色砂を斑状に中量含む。
6. 灰オリーブ色砂 (S15/2) しまり普通。粘性強い。灰オリーブ色粘質シルトブロック (6~10m) を中量。黄褐色シルトブロック (3~20m)・炭化物 (3~5m) を少量含む。
7. 灰色砂 (S15/1) しまりやや弱く、粘性弱い。黄褐色シルトブロック (5~15m)・灰オリーブ色粘質シルトブロック (5~7m) を中量含む。
8. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまり強く、粘性普通。灰色砂を斑状に中量。黄褐色シルトブロック (3~20m) を少量含む。
- 9a. 灰色粘質シルト (S15/1) しまり弱く、粘性やや強い。灰オリーブ色砂を斑状に多量含む。
- 9b. 灰黄色シルト (2.516/3) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (3~11m) を少量含む。
- 9c. 灰色粘質シルト (S15/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (10~40m) を多量。灰オリーブ色砂を斑状に中量含む。
10. 灰色シルト (2.516/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色粘質シルトを斑状に中量含む。
- 11a. 暗灰黄色粘質シルト (2.515/2) しまり弱く、粘性強い。灰色シルトを斑状に多量。炭化物 (3~30m) を中量。礫 (45m) を微量含む。
- 11b. 暗灰黄色粘質シルト (2.515/2) しまり弱く、粘性強い。灰色砂を斑状に中量含む。
12. 灰黄色シルト (2.516/3) しまり普通。粘性やや弱い。灰オリーブ色砂を斑状に中量。黄褐色シルトブロック (3~5m) を少量。炭化物 (1~2m) を微量含む。
13. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトを斑状に中量。炭化物 (7m) を微量含む。
14. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性普通。炭化物 (5~45m) を多量。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロックを少量含む。
15. 灰色粘質シルト (S15/1) しまりやや弱く、粘性やや弱い。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (7~10m)・炭化物 (3~10m) を中量含む。
- 16a. 黄褐色粘質シルト (2.516/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。炭化物 (1~20m) を中量。暗灰黄色粘質シルトを斑状に中量。黄褐色シルトブロック (3~15m)・土器碎片を微量含む。
- 16b. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまり弱く、粘性強い。灰オリーブ色砂質シルトを斑状に少量。炭化物 (2m)・土器碎片を微量含む。
- 16c. 灰オリーブ色シルト (S15/2) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (2~15m)・黄褐色シルトブロック (5~10m) を中量。土器碎片を微量含む。

- 17a. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまり弱く、粘性強い。灰オリーブ色粘質シルトを斑状に中量。炭化物 (1~5m) を少量。礫 (30m) を微量含む。
- 17b. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性強い。灰黄色粘質シルトを斑状に中量。炭化物 (2~3m) を微量含む。
- 18a. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (5~12m)・黄褐色シルトブロック (2~7m) を少量含む。
- 18b. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまり弱く、粘性強い。炭化物 (3~20m) を中量。黄褐色シルトを斑状に中量。土器碎片を微量含む。
- 18c. 灰黄色粘質シルト (2.516/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (2~4m) を中量。炭化物 (1~3m) を微量含む。
- 18d. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまり弱く、粘性強い。黄褐色シルトを斑状に中量。炭化物 (1~2m) を微量含む。
- 18e. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまり弱く、粘性強い。黄褐色シルトブロック (1~10m) を中量。炭化物 (5~10m) を少量含む。
- 18f. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性強い。灰オリーブ色シルト (硬質) ブロック (10~15m) を少量。炭化物 (2~3m)・土器碎片を微量含む。
- 19b. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。炭化物 (1~10m) を少量含む。
20. 灰オリーブシルト (S15/2) しまり強く、粘性強い。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (7~15m) を多量。炭化物 (1~12m)・黄褐色シルトブロック (3~6m) を少量含む。
21. 灰黄色粘質シルト (2.516/3) しまり弱く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (2~3m)・炭化物 (1~3m) を少量。灰オリーブ色粘質シルトを斑状に少量含む。
22. 暗灰黄色粘質シルト (2.515/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5~20m) を多量。礫 (10~12m)・炭化物 (1~2m) を微量含む。
23. オリーブ黄色砂 (S16/2) しまりやや強く、粘性強い。灰オリーブ色粘質シルトを斑状に中量。礫 (10~20m) を微量含む。
24. 黄褐色シルト (2.515/3) しまり弱く、粘性強い。灰色砂を斑状に多量。炭化物 (12m) を微量含む。
25. 灰オリーブ色シルト (S16/2) しまりやや弱く、粘性弱い。黄褐色シルトブロック (2~10m) を中量。炭化物 (5m) を微量含む。
26. 灰黄色粘質シルト (2.516/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (10~30m) を中量含む。
27. 黄褐色シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性弱い。灰オリーブ色シルトを斑状に中量含む。
28. オリーブ黄色砂 (S16/3) しまり強く、粘性強い。灰オリーブ色粘質シルトを中量。炭化物 (3~15m) を少量。暗灰黄色粘質シルトを斑状に少量含む。
29. 灰オリーブ色シルト (S16/2) しまり強く、粘性強い。灰黄色砂を斑状に多量含む。
30. オリーブ黄色砂 (S16/3) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (3~5m) を中量。礫 (22m) を微量含む。
31. 灰オリーブ色粘質シルト (S16/2) しまり弱く、粘性強い。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~7m) を少量。炭化物 (3m) を微量含む。



S11327F1

1. 黄灰色シルト (2.514/1) しまり強く、粘性強い。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (3~40m) を多量。炭化物 (1~8m) を少量含む。
2. 灰黄色シルト (2.516/3) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (3~35m) を中量。礫 (5~20m) 少量。黄灰色シルトを斑状に少量含む。
3. 黒色土 (N-1.5) (炭化物主体) しまり弱く、粘性普通。礫土 (4~20m)・オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (2~60m) を中量。黄灰色シルトを斑状に中量含む。
4. 黒色土 (N-1.5) (炭化物) と黄灰色土 (2.514/1) の混合層。しまり弱く、粘性やや弱い。オリーブ黄色砂 (硬質) ブロック (1~40m)・礫土 (3~30m) を中量含む。炭化物 (1~15m) を含む。



S11327F9

1. 暗灰黄色シルト (2.515/2) しまり強く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (3~5m)・炭化物 (1~5m) を少量。土器碎片を微量含む。
2. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2~20m) を中量。黄褐色シルトブロック (1~3m)・礫 (40m) (硬質)・土器碎片を微量含む。
3. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。暗灰黄色シルト・灰黄色砂を斑状に中量。炭化物 (3m) を微量含む。
4. 灰オリーブ色粘質シルト (S15/2) しまり弱く、粘性強い。暗灰黄色シルトを斑状に中量。黄褐色シルトブロック (1~3m)・炭化物 (3~15m) を少量含む。
5. 黄褐色粘質シルト (2.515/3) しまり弱く、粘性普通。炭化物 (1~6m) を少量。灰黄色砂 (硬質) ブロック (1~3m) を微量含む。
6. 灰黄色砂 (2.516/2) しまりやや強く、粘性強い。黄褐色粘質シルトブロック (5~50m) を多量。灰黄色シルトブロック (7~15m) を少量。炭化物 (2~4m) を微量含む。
7. 灰色砂 (2.516/2) しまり弱く、粘性強い。黄褐色粘質シルトブロック (3~80m)・黄灰色シルト (5~20m)・粗砂を中量。炭化物 (3~10m) を少量含む。
8. 黄褐色粘質シルト (2.514/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (5~180m) を多量。黄褐色砂を斑状に少量。炭化物 (1~3m) を微量含む。
9. 暗灰黄色シルト (2.514/2) しまり強く、粘性弱い。粗砂を中量。黄褐色シルトブロック (5~10m)・灰黄色粘質シルトブロック (3~13m) を少量含む。

S11327F9

0

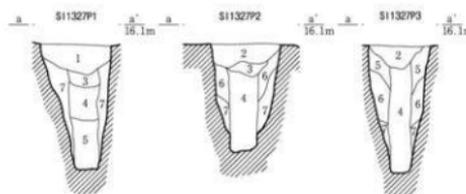
(1:60)

3m

0

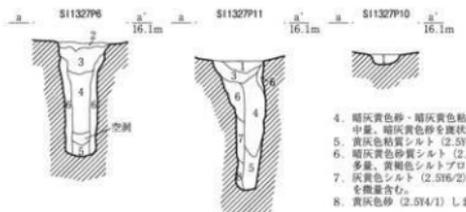
(1:40)

2m



S11327P1・2・3

1. 灰オリブ色シルト (S16/2) しまり強く、粘性弱い。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (20~30cm) を中量、灰色シルトを混状に中量、黄褐色シルトブロック (2~3cm) を少量、炭化物 (3~5cm) ・土師器片を微量含む。
2. 暗灰黄色シルト (2.S15/2) しまり強く、粘性強い。黄褐色シルトブロック (2~3cm) を多量、オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (10~30cm) を中量、炭化物 (2~10cm) を微量含む。
3. 灰黄色シルト (2.S16/2) 柱頭部、しまり普通、粘性やや弱い。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~30cm) ・黄褐色シルトブロック (2~5cm) を中量、炭化物 (1~10cm) を微量含む。
4. 灰黄色シルト (2.S16/2) 柱頭部、しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (3~6cm) を少量、炭化物 (3~5cm) を微量含む。
5. 暗灰黄色シルト (2.S14/1) 柱頭部、しまりやや強く、粘性普通。暗灰黄色砂を多量、炭化物 (2~3cm) を中量含む。
6. 灰黄色砂質シルト (2.S17/2) しまり強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (2~5cm) を中量、炭化物 (1~3cm) を微量含む。
7. 灰黄色粘質シルト (2.S16/2) しまり強く、粘性普通。炭化物 (1~2cm) を微量含む。



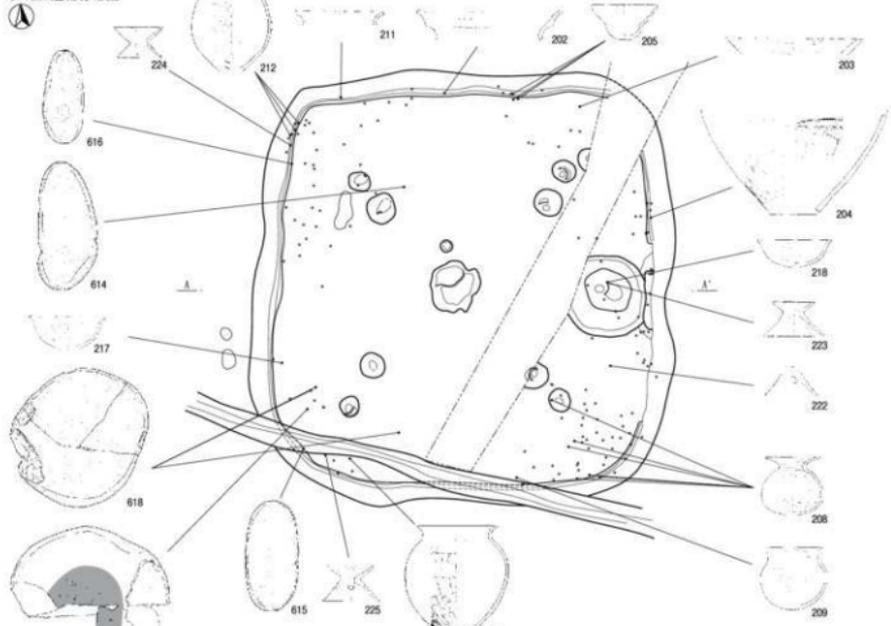
S11327P6・11

1. 灰オリブ色シルト (S16/2) しまり強く、粘性普通。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~10cm) を多量、炭化物 (3~5cm) ・土師器片を微量含む。
2. 暗灰黄色砂質シルト (2.S15/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~15cm) を多量、黄褐色シルトブロック (2~12cm) を少量、炭化物 (3~15cm) を微量含む。
3. 灰黄色シルト (2.S16/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。暗灰黄色シルトを混状に多量、黄褐色シルトブロック (2~3cm) を中量、黄色砂 (硬質) ブロック (5~10cm) ・炭化物 (3~5cm) を少量含む。
4. 暗灰黄色砂・暗灰黄色粘質シルト (2.S15/2) 柱頭部、しまり弱く、粘性弱い。黄褐色シルトブロック (2~7cm) を中量、暗灰黄色砂を混状に中量、炭化物 (1~10cm) を微量含む。
5. 黄褐色粘質シルト (2.S14/1) 柱頭部、しまり弱く、粘性普通。暗灰黄色砂を多量、炭化物 (2~6cm) を少量含む。
6. 暗灰黄色砂質シルト (2.S15/2) しまりやや強く、粘性やや強い。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~15cm) を多量、黄褐色シルトブロック (3~6cm) を中量含む。
7. 灰黄色シルト (2.S16/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。暗灰黄色砂を混状に多量含む、P6のみ炭化物 (2~6cm) を微量含む。
8. 黄褐色砂 (2.S14/1) しまり強く、粘性やや弱い。灰黄色シルトブロック (2~7cm) を少量含む。

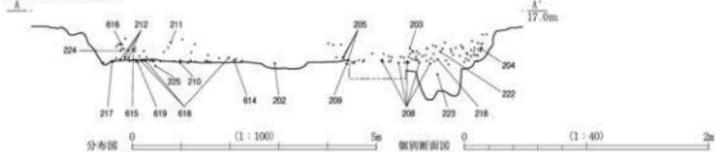
S11327P10

1. 灰オリブ色シルト (S16/2) しまり強く、粘性やや弱い。オリブ黄色砂 (硬質) ブロック (5~30cm) を中量、黄褐色シルトブロック (2~4cm) を少量、炭化物 (1~3cm) を微量含む。

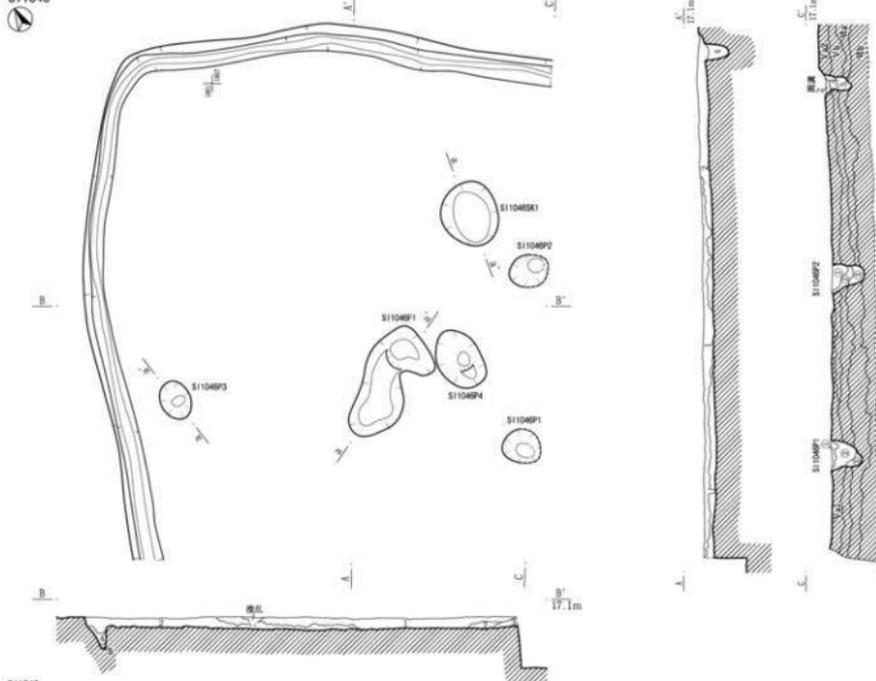
S11327遺物分布図



S11327遺物投影図



S11046



S11046

1. 褐色土 (10384/4) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色土ブロック (3~10m)・炭化物 (3~5m) を少量含む。
2. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性やや弱い。灰色土ブロック (3~5m)・炭化物 (2~3m) を微量含む。
3. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性普通。
4. 灰黄褐色土 (10384/2) しまりやや強く、粘性普通。灰色土ブロック (3m) を少量含む。
5. 褐灰色砂質土 (10385/1) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (3~5m) を少量、炭化物 (1m) を微量含む。

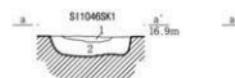
S11046P1・2

- ①. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロックを斑状に少量含む。
- ②. 褐色土 (10384/1) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (3~5m) を少量、炭化物 (1~2m) を微量含む。
- ③. 褐灰色砂質土 (10385/1) しまり普通、粘性普通。炭化物 (1m) を微量含む。



S11046F1

1. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性やや弱い。暗赤褐色焼土を斑状に中量、炭化物 (3~10m) を少量含む。
2. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性やや強い。暗赤褐色焼土ブロック (2~3m)・炭化物 (3~10m) を少量含む。
3. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性やや強い。暗赤褐色焼土ブロック (1~2m)・炭化物 (1m) を微量含む。
4. 灰黄褐色土 (10384/2) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (3m) を少量、暗赤褐色焼土ブロック (1~2m)・炭化物 (1m) を微量含む。



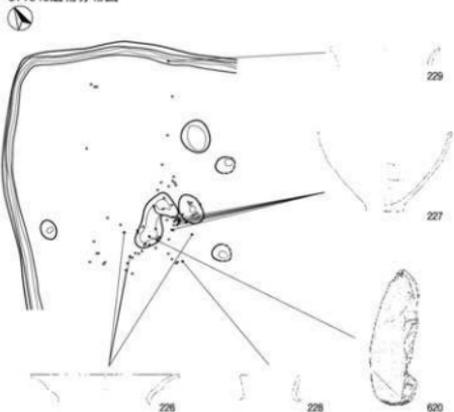
S11046SK1

1. 褐色土 (10384/4) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (3m)・炭化物 (1m) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10384/2) しまりやや強く、粘性普通。灰色土ブロック (3~5m) を少量含む。

S11046P3

1. 褐色土 (10384/4) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1m) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10384/2) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (3m) を少量、炭化物 (1m) を微量含む。

S11046遺物分布図

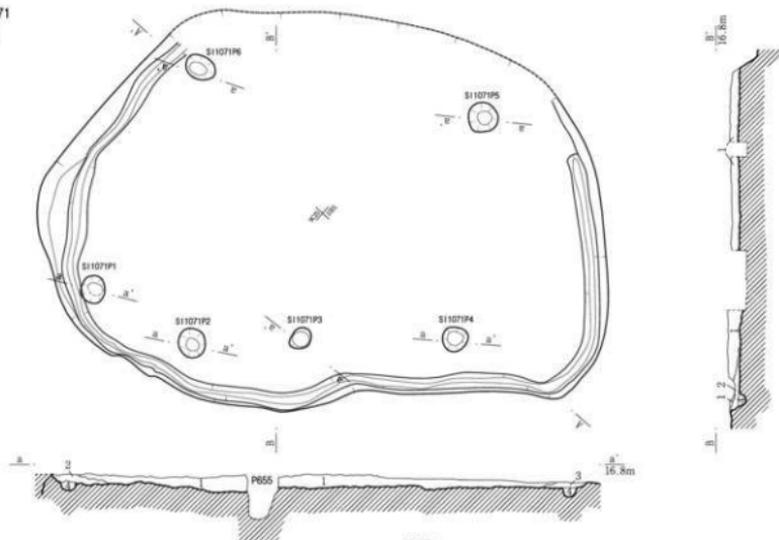


分布図 0 (1:100) 5m

S11046 断面図 0 (1:50) 2m

個別断面図 0 (1:40) 2m

S11071



S11071

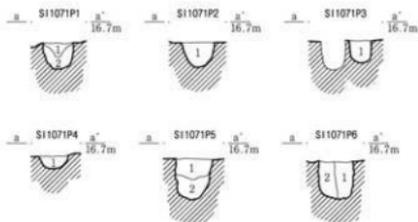
1. 灰黄褐色土 (10TBS/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。粒子の細かい砂粒を主体とする。
2. 黄褐色シルト (5~10cm) 炭化物 (1~5cm) を少量含む。
3. 暗灰色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (5~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。壁面の堆積土。
4. 暗灰色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~10cm) を少量含む。壁内面の堆積土。

S11071P1 - 2 - 3 - 4 - 5

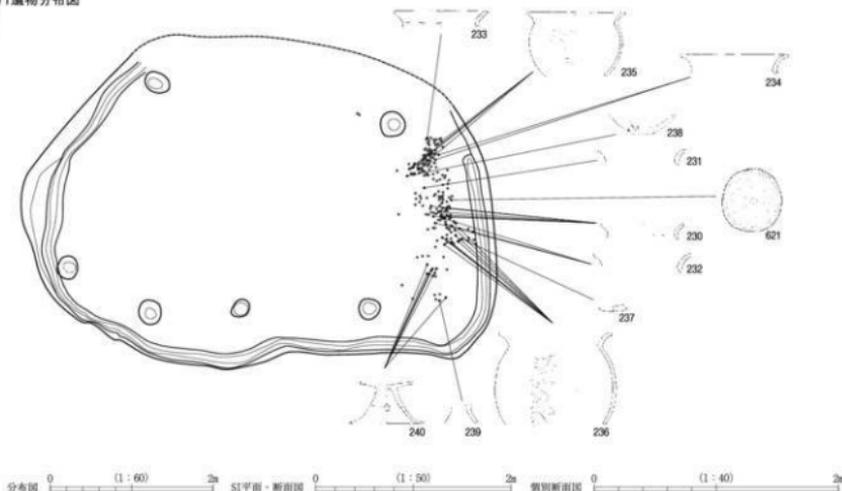
1. 灰黄褐色土 (10TBS/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
2. におい黄褐色土 (10TBS/3) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5cm) を少量含む。

S11071P6

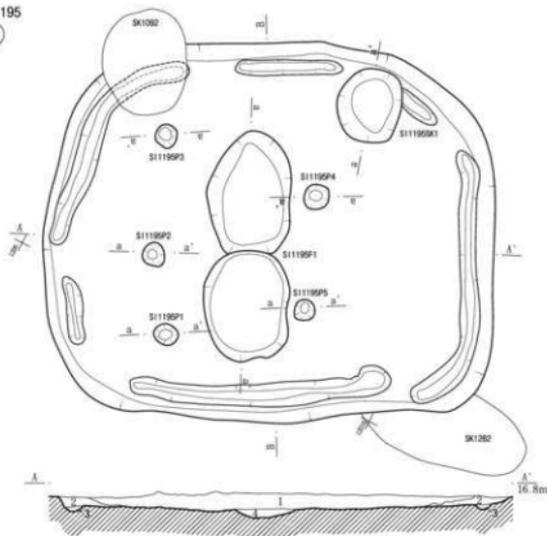
1. 黄灰色土 (2.5Y4/1) 柱痕跡。しまりやや弱く、粘性弱い。粒子の細かい砂粒を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
2. におい黄褐色土 (10TBS/3) しまり強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5cm) を少量含む。



S11071遺物分布図

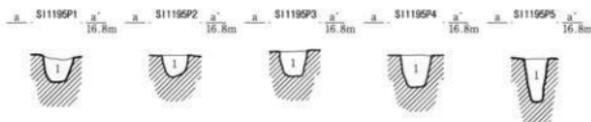
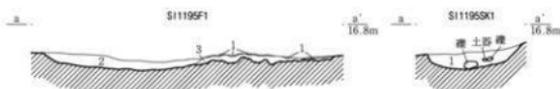


S11195



S11195

1. 灰黄褐色土 (10785/2) しまり強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm)・砂粒少量含む。
2. 褐色土 (10785/1) しまりやや強く、粘性弱い。褐色の砂粒を主体とする壤土で、灰褐色粘土 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm)・砂粒少量含む。
4. S11195P1 覆土。
5. S11195P1 覆土。



S11195F1

1. 暗赤灰色土 (2.513/1) しまり弱く、粘性やや弱い。灰を主体とする。
2. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を中量、砂粒少量含む。
3. 濃い黄褐色土 (10785/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、陸土 (1~5mm) を少量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。

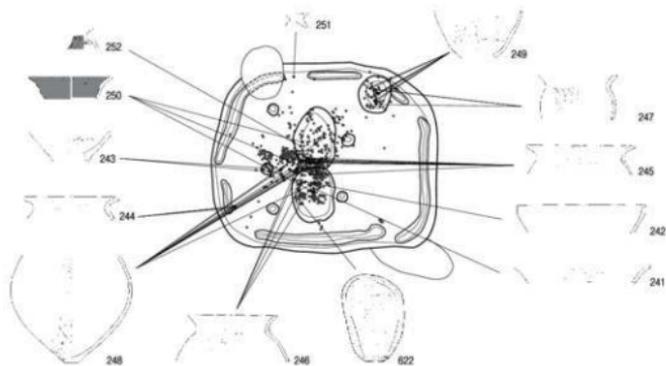
S11195SK1

1. 褐色土 (7.518/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm)・炭化物 (1~5mm)・砂粒を中量含む。

S11195P1~5

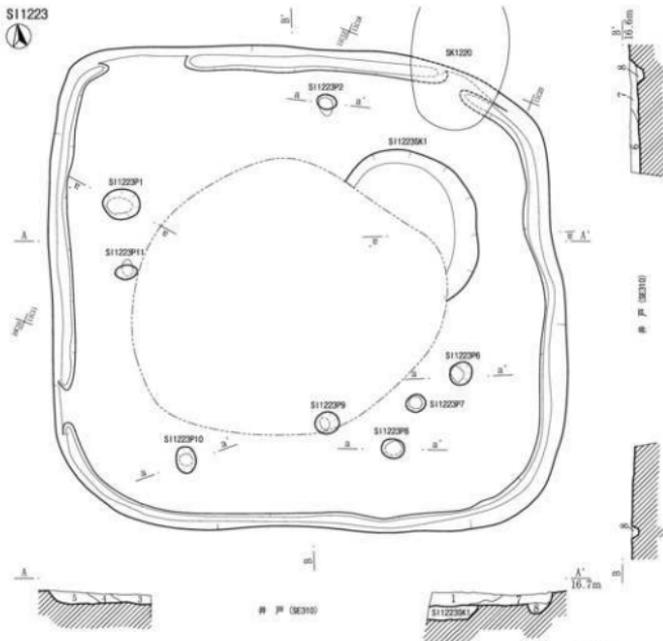
1. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm)・砂粒を中量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。

S11195遺物分布図



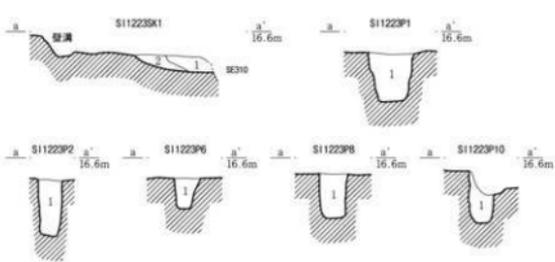
分布図 0 (1: 200) 4m S1平面・断面図 0 (1: 50) 2m 縦断面図 0 (1: 40) 2m

S11223



S11223

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~10mm) を少量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を少量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を中量含む。
5. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (2~3mm) を中量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。
6. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を少量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。
7. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
8. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を極めて少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



S11223SK1

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を中量、焼土 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

S11223P1

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性強い、灰褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

S11223P2

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~10mm) を少量、灰褐色シルト (1~10mm) を中量含む。

S11223P6

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

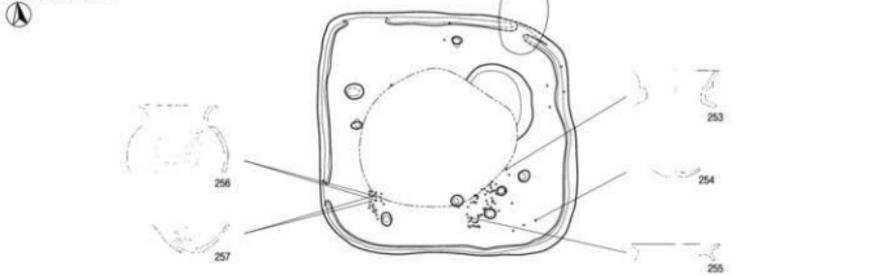
S11223P8

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性強い、灰褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

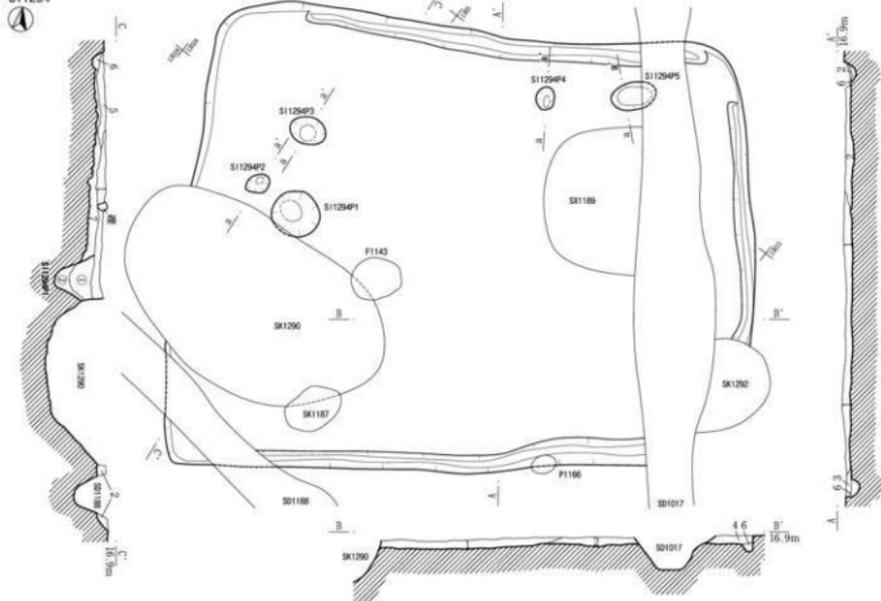
S11223P10

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性強い、灰褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

S11223遺物分布図



S11294



S11294

1. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm)・炭化物 (1~5cm)・小礫を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm) を極めて多量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
4. 灰黄褐色土 (10785/4) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5cm) を中量、炭化物 (1~10cm) をごく微量含む。
5. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~20cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
6. 黄褐色土 (2.S15/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm) を中量含む。
7. 濃い黄褐色土 (10785/3) しまりやや強く、粘性強い、黄褐色シルト (1~5cm) を多量、小礫を少量、炭化物 (1~10cm) を微量含む。

S11294P1

1. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~5cm) を少量、黄褐色シルト (1~5cm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10785/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm) を少量、炭化物 (1~5cm) を微量含む。

S11294P2・3・5

1. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。

S11294P4

1. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、炭化物 (1~5cm) を少量、黄褐色シルト (1~5cm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (10784/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量含む。

S11294P2

16.8m



S11294P3

16.8m



S11294P4

16.8m

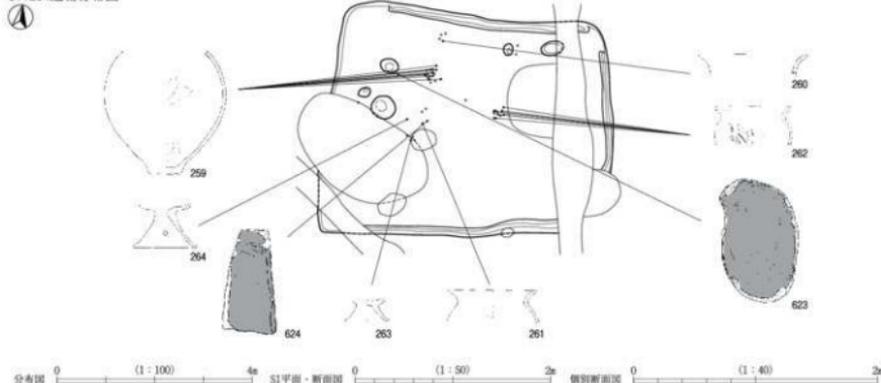


S11294P5

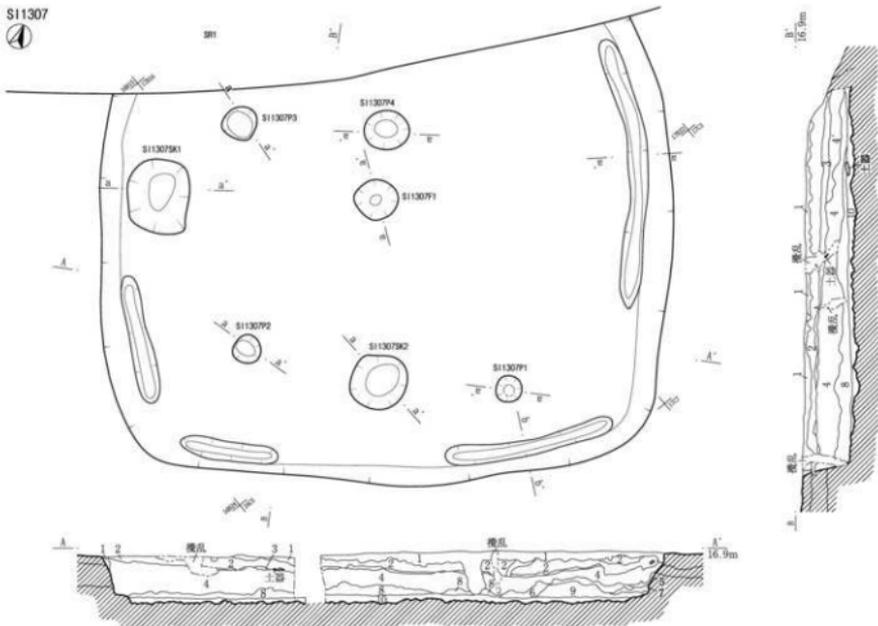
16.8m



S11294遺物分布図

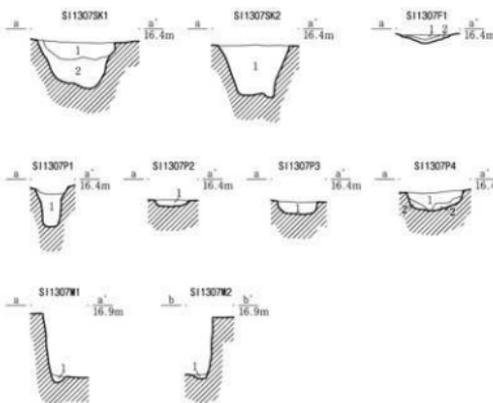


S11307



S11307

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (2~5mm)・遺物を中量含む。草履に類似。
2. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性普通。遺物を多量、炭化物 (2~5mm) を少量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性普通。炭化物 (2~10mm) を中量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性強い。遺物を少量、炭化物 (3~15mm) を微量含む。
5. 暗褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄褐色土ブロック (5~10mm) を中量、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
6. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄褐色土ブロック (5mm) を中量、炭化物 (2~3mm) を少量含む。
7. 暗褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性普通。にぶい黄褐色土ブロック (5~10mm) を中量、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
8. にぶい黄褐色砂質土 (10YR6/4) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (2~3mm) を微量含む。
9. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (2~3mmまれに10mm) を微量含む。
10. にぶい黄褐色砂質土 (2.5YR6/4) しまり非常に強く、粘性弱い。粘り床土。



S11307S1

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり弱く、粘性やや強い。灰色土ブロック (3~10mm) を少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰色土ブロック (3~5mm)・炭化物 (3~5mm) を少量含む。

S11307S2

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。

S11307P1

1. 灰色土 (5Y5/1) しまり普通、粘性やや強い。にぶい黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量、暗赤褐色焼土ブロック (1~2mm)・炭化物 (1~3mm) を微量含む。
2. 暗灰色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。炭化物を塊状に多量、暗赤褐色焼土ブロック (2~3mm) を少量含む。

S11307P1

1. 黄褐色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性普通。にぶい黄褐色土ブロック (3mm) を少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

S11307P2・P3

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

S11307P4

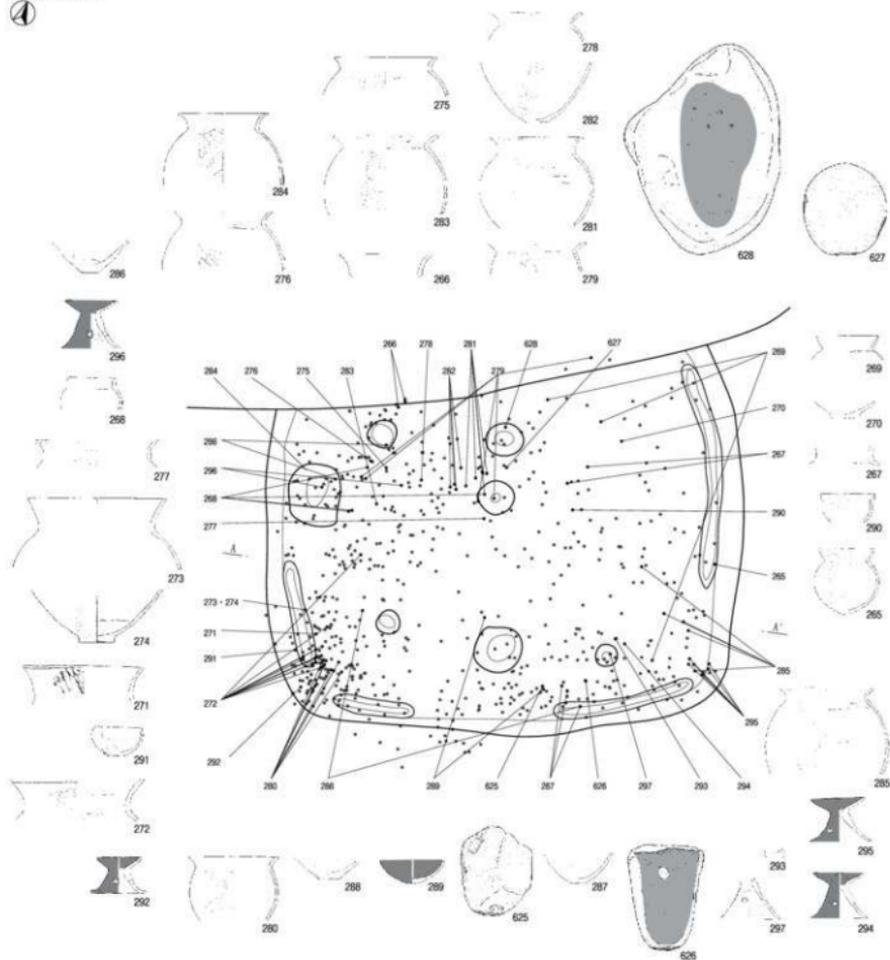
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック (2~5mm)・炭化物 (2mm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1mm) を微量含む。

S11307壁溝

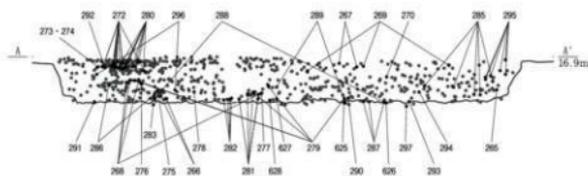
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰色土ブロック (3~5mm)・炭化物 (1mm) を微量含む。

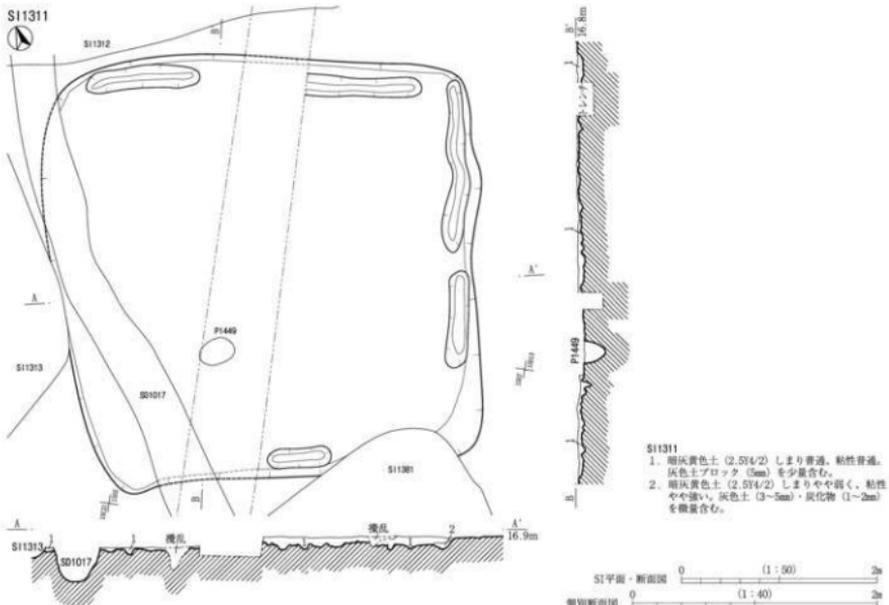
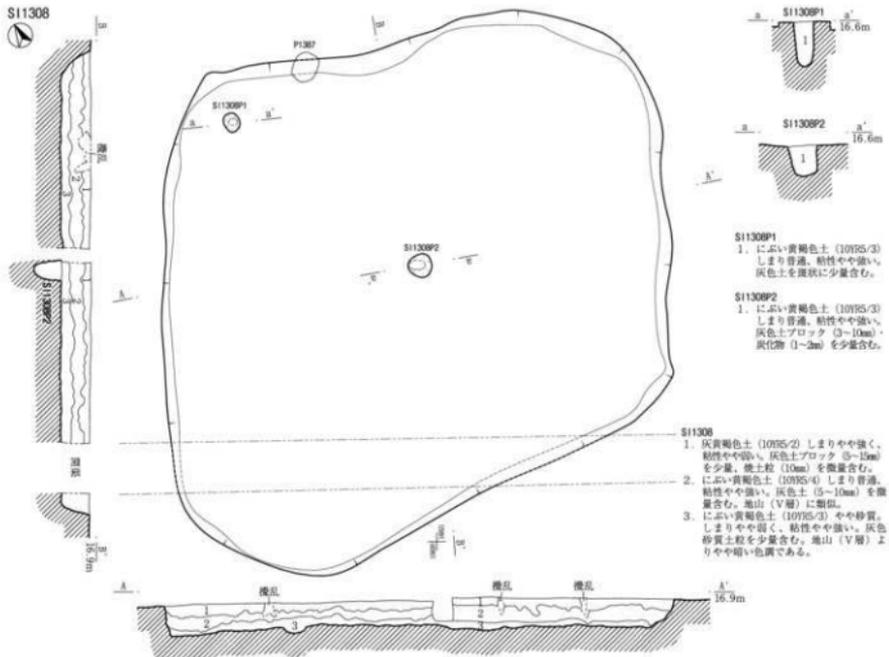
S11307遺物分布

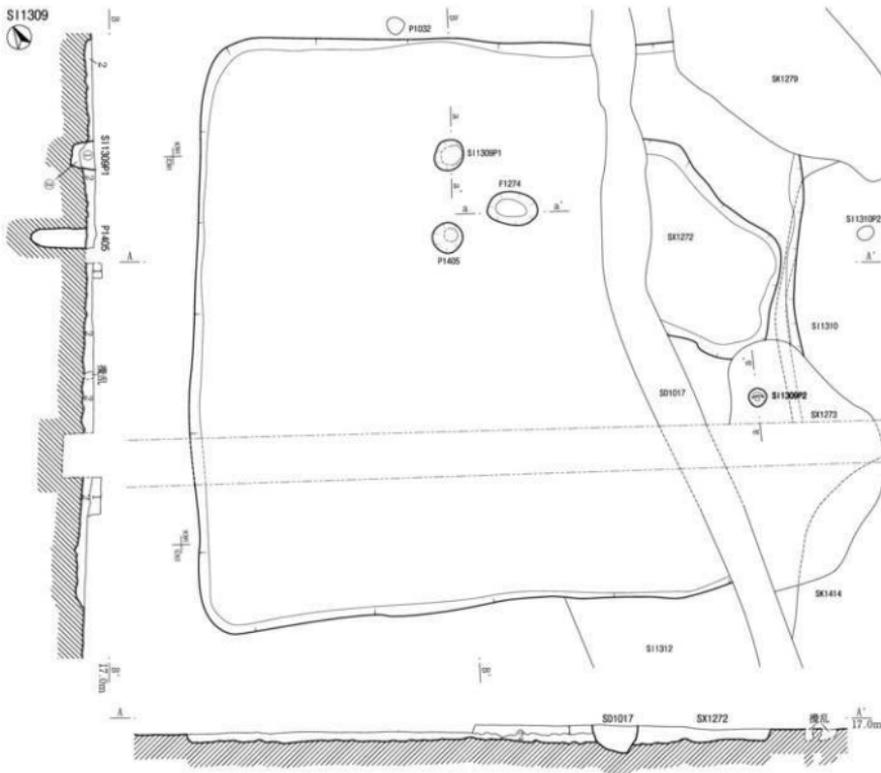
④



S11307遺物垂直分布(投影図)

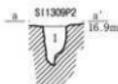






S11309

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通、粘性強い、目曜相当層。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (5~10m)・炭化物 (1~2m) を少量含む。



S11309P1

1. 灰黄褐色土 (10YR6/2) しまり普通、粘性やや強い、灰色土を底状に少量、炭化物 (1m) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土を底状に少量、炭化物 (1~3m) を微量含む。

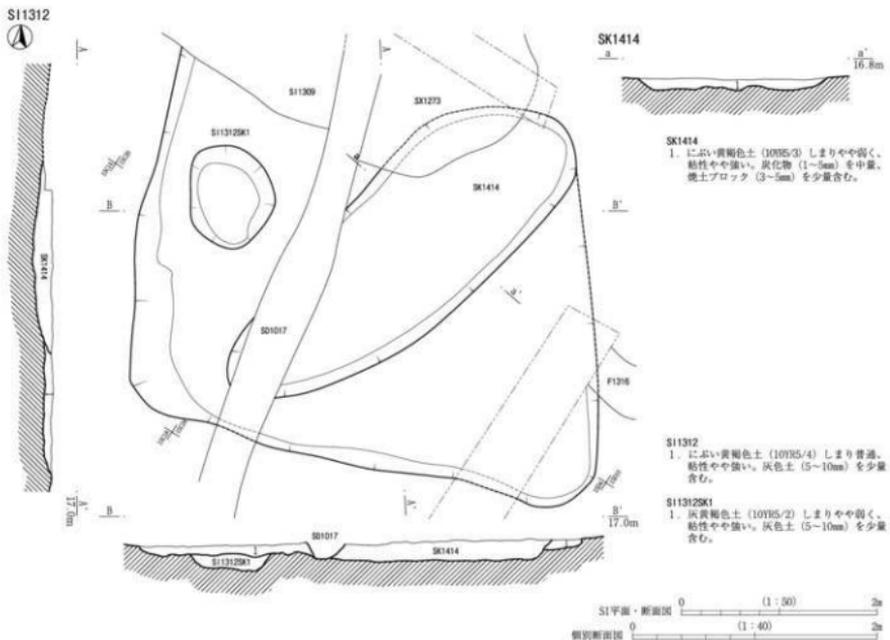
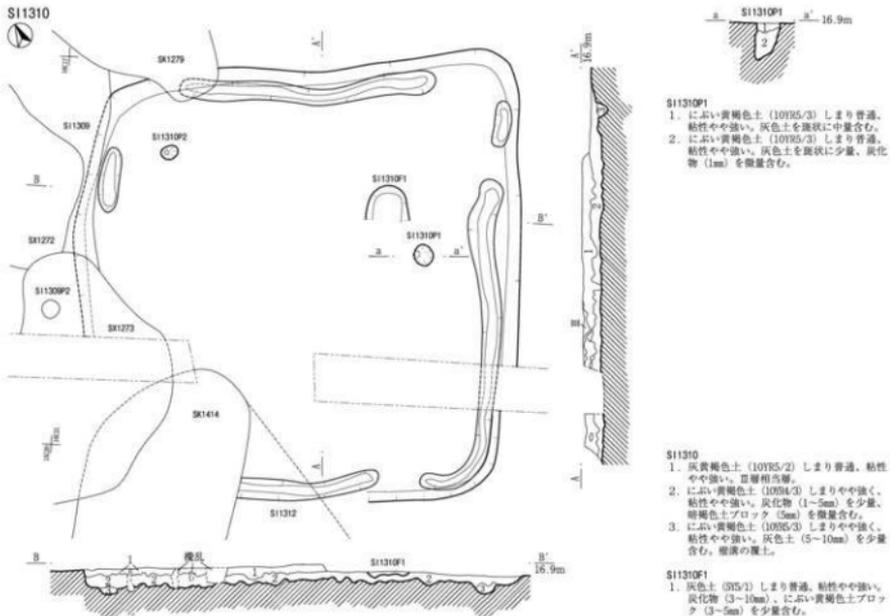
S11309P2

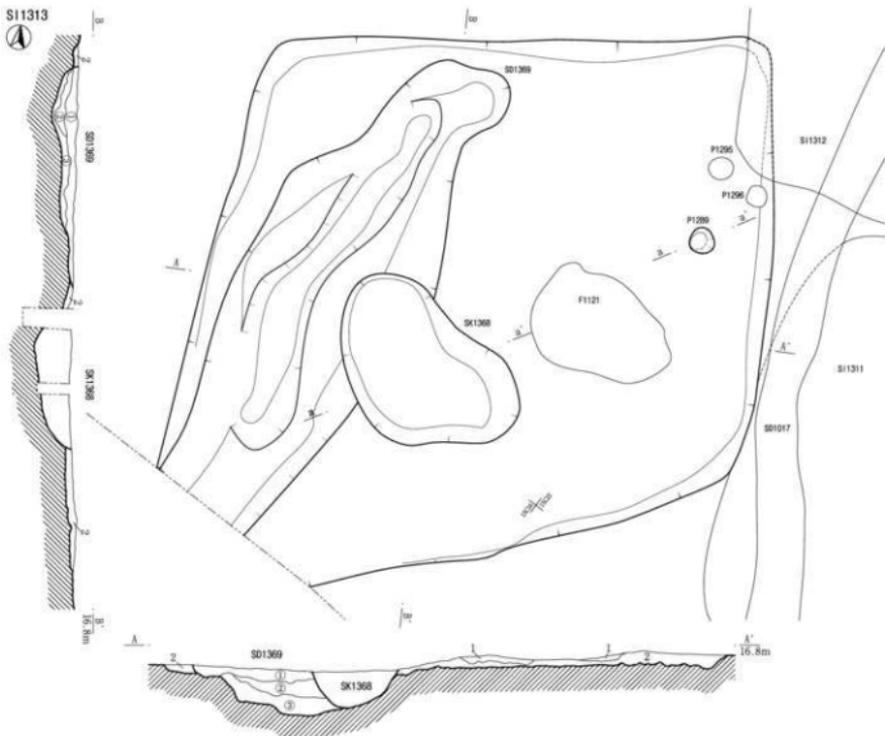
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土ブロック (5~10m)・炭化物 (2~5m) を少量含む。



F1274

1. 灰色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物を底状に中量、暗赤褐色焼土ブロック (3~5m) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (3m)・炭化物 (1~2m) を少量含む。





S11313

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、暗赤褐色焼土 (1~2mm)・炭化物 (1~2mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通、粘性やや強い、灰土ブロック (3~10mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。

SD1369

1. 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや強く、粘性普通、黄褐色土ブロック (5mm)・炭化物 (2~5mm) を少量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色土ブロックを散状に中量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。
3. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (2~3mm) を少量含む。

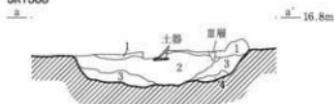
P1289



P1289

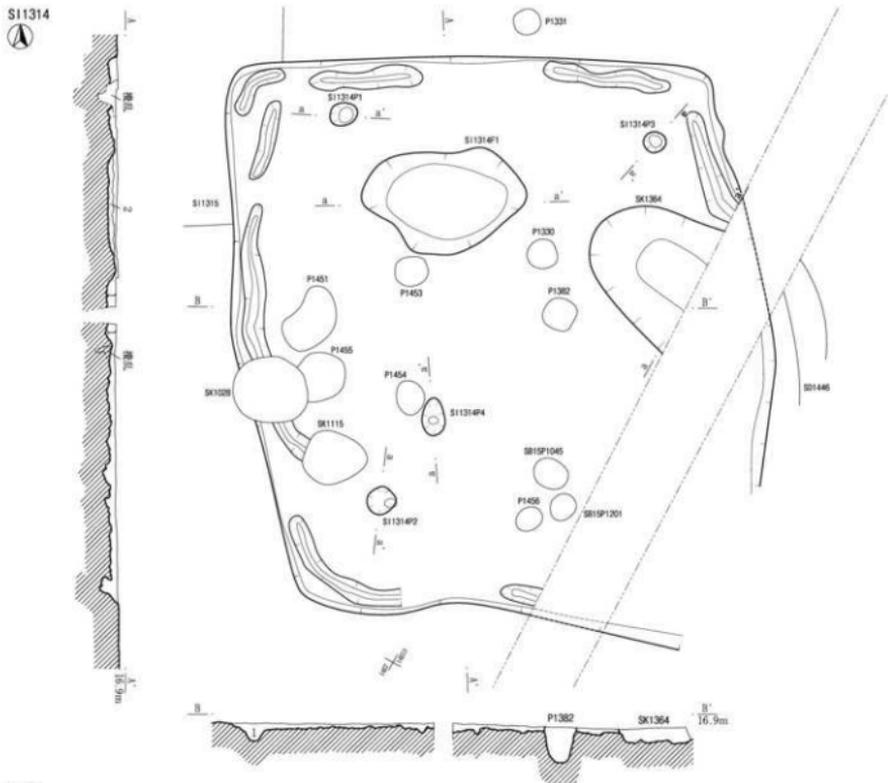
1. 灰色土 (5Y5/1) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1mm) を微量含む。

SK1368

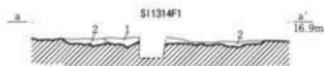


SK1368

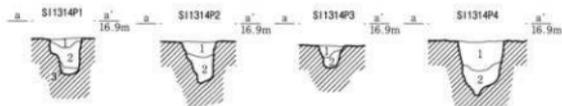
1. 灰色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。豆罎に類似する。
2. 黄灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強い、におい黄褐色土ブロック (3~10mm)・炭化物 (2~5mm) を少量含む。
3. 黄灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性普通、におい黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。
4. 灰色土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。



- S11314
 1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通、粘性普通、灰色土ブロック (5cm) を少量、炭化物 (2~3mm) を微量含む。
 2. S11314F1覆土。



- S11314F1
 1. 暗褐色土 (10YR3/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い、炭化物 (1~2mm) を中量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を少量、灰色土ブロック (3cm) を微量含む。



- S11314P1
 1. 暗褐色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (2~3mm) を少量含む。
 2. 褐色土 (10YR4/4) しまり普通、粘性普通、炭化物 (2~5mm) を微量含む。
 3. におい黄褐色砂質土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土 (5~10mm) を層状に少量含む。

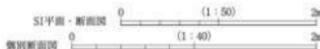
- S11314P2
 1. におい黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性やや強い、灰色土・砂を層状に中量含む。
 2. 褐色土 (10YR4/4) しまりやや強く、粘性普通、灰色土 (5~10mm) を少量含む。

- S11314P3
 1. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土を層状に少量含む。
 2. におい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土 (5mm) を少量含む。

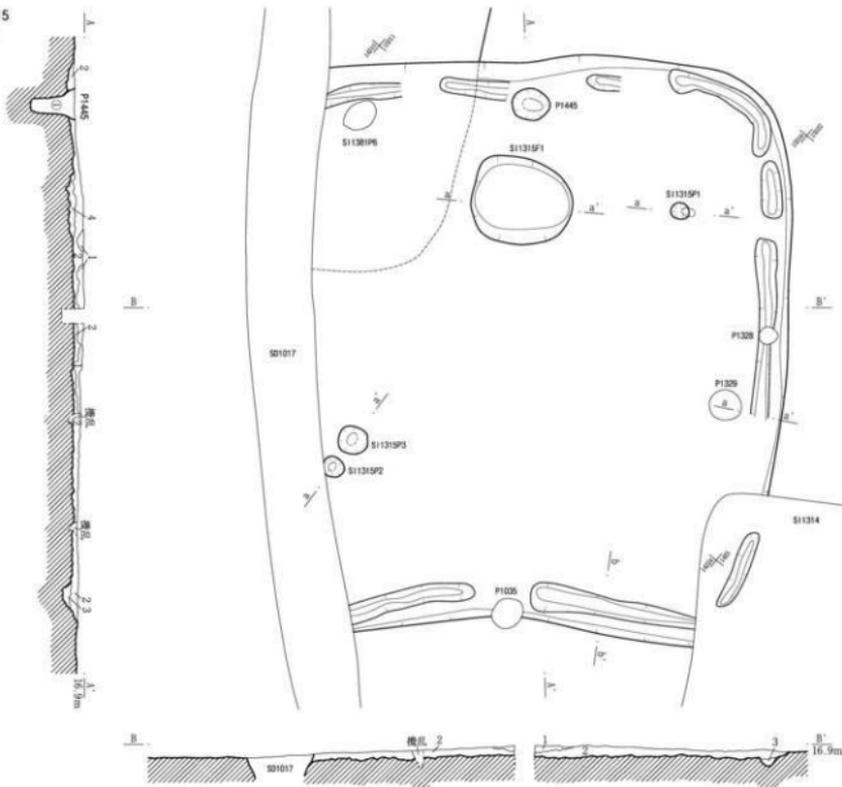
- S11314P4
 1. 黄褐色土 (10YR3/2) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
 2. におい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強く、暗褐色土ブロック (5mm) を少量含む。



- SK1364
 1. 暗灰色土 (10YR5/1) しまりやや弱く、粘性やや弱い、炭化物 (3mm) を少量を含む。
 2. 灰黄褐色砂質土 (10YR4/2) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (2~3mm) を微量含む。

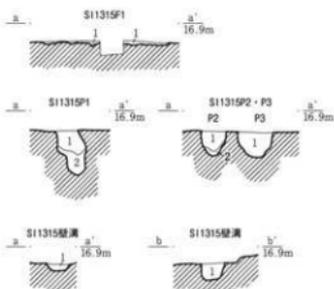


S11315



S11315

1. にぶい黄褐色土 (10194/3) しまりやや強く、粘性弱い、炭化物 (3~5mm) を中量含む。
2. 灰黄褐色土 (10194/2) しまり普通、粘性普通、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
3. 褐色土 (10194/4) しまり普通、粘性やや弱い、灰色土 (3~5mm) を少量含む。
4. S1131SP1 覆土。



S1131SP1

1. 暗褐色土 (10193/2) しまり普通、粘性やや弱い、炭化物 (0.5~3mm) を中量含む。

S1131SP1

1. 暗褐色土 (10193/3) しまり普通、粘性普通、にぶい黄土ブロック (3~5mm) を少量含む。
2. にぶい赤褐色土 (10195/3) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

S1131SP2

1. にぶい黄褐色土 (10195/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、暗黄褐色土を源状に中量、炭化物 (1~2mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10195/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、暗黄褐色土 (3~5mm) を微量含む。

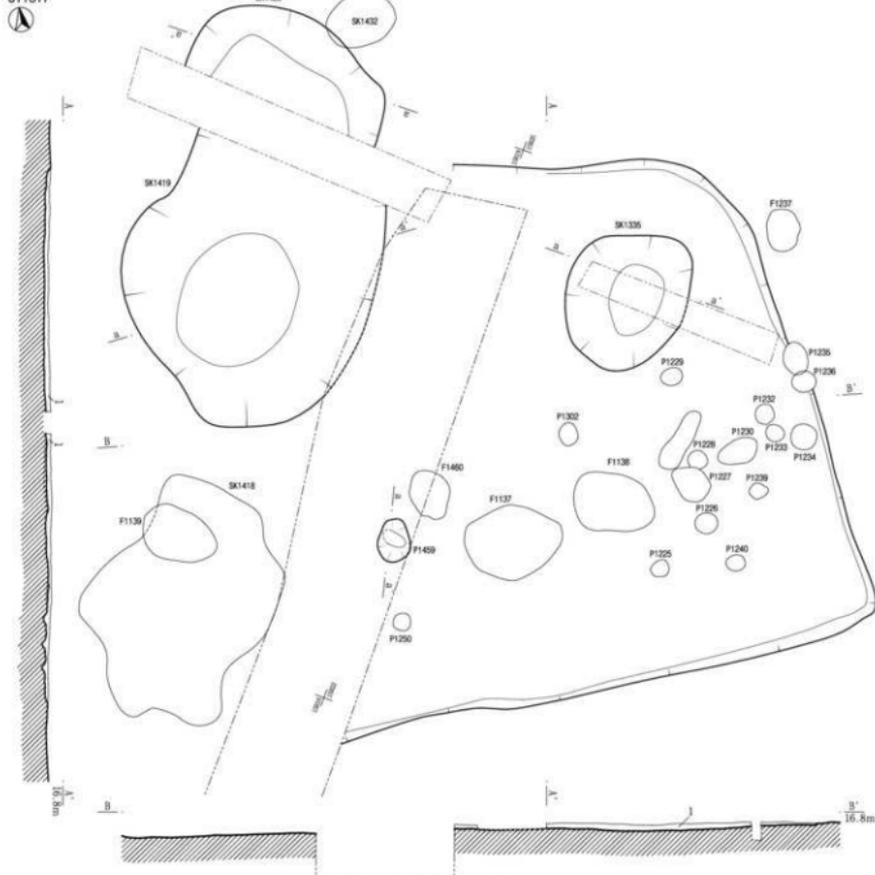
S1131SP3

1. にぶい黄褐色土 (10195/3) しまり普通、粘性やや弱く、暗黄褐色土を源状に少量含む。

S11315壁溝

1. 褐色土 (10194/4) しまりやや弱く、粘性普通、にぶい黄土ブロック (3~5mm)、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

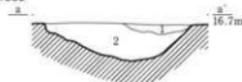
S11317



S11317

1. 灰オリーブ色土 (S15/3) しまり普通、粘性普通。灰色土ブロック (5-10cm) を少量、炭化物 (1cm) を微量含む。

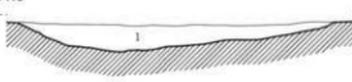
SK1335



SK1335

1. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (3-10cm) 稍灰黄色シルトを中量、炭化物 (2-5cm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (S14/2) しまり普通、粘性やや弱い。暗灰黄色シルトを多量、黄褐色シルトブロック (15-20cm) を中量含む。

SK1419



SK1419

1. 黄褐色土 (2.S15/3) しまり普通、粘性やや強い。

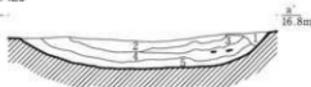
P1459



P1459

1. におい黄褐色土 (1019S/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック (3-5cm) に少量、炭化物 (1cm) を微量含む。

SK1420



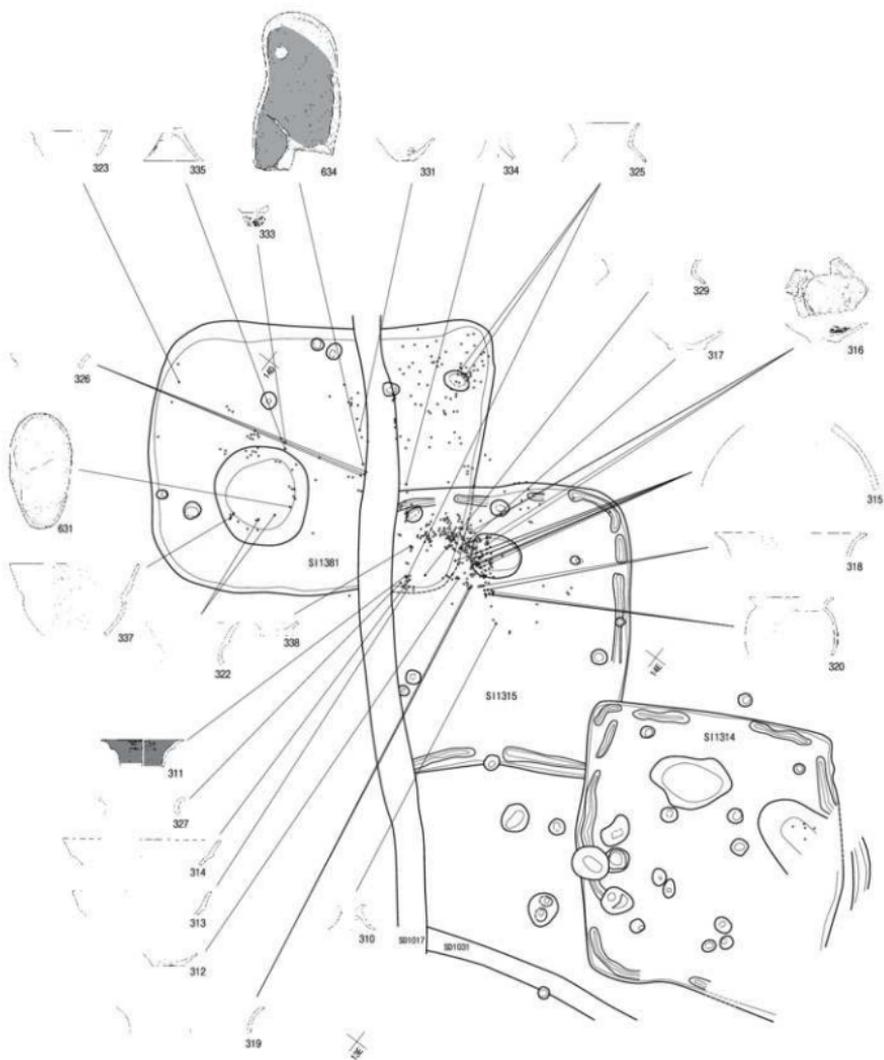
SK1420

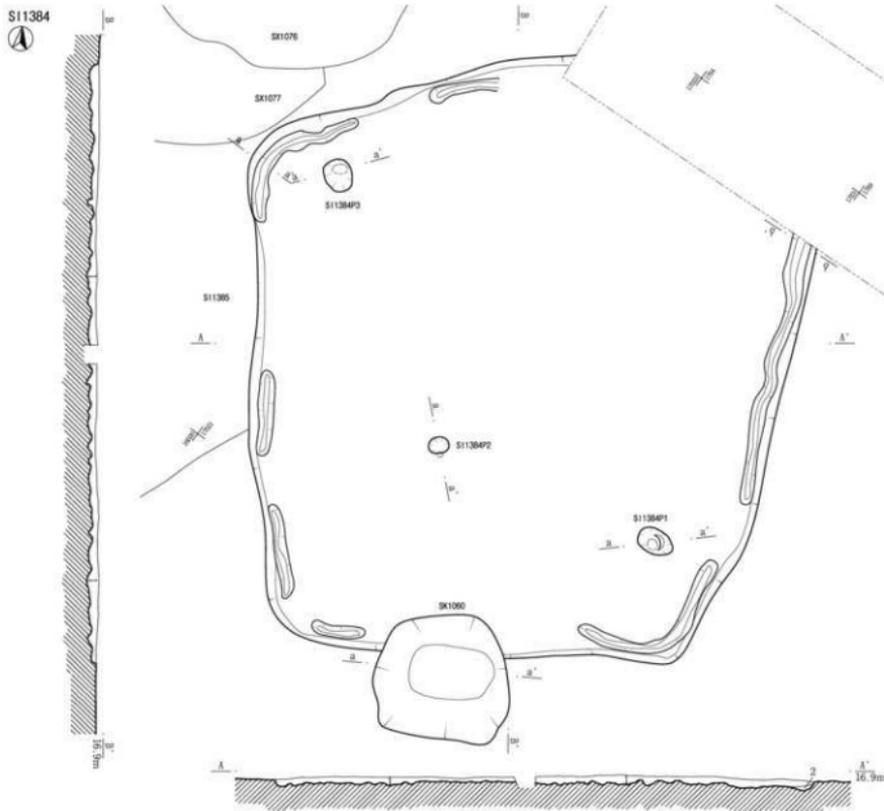
1. 暗灰色土 (1019B/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1-2cm) を微量含む。
2. 暗灰色土 (1019S/1) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (2-5cm) を少量含む。
3. 黄褐色土 (2.S15/3) しまり普通、粘性やや弱い。暗灰色土ブロック (3-10cm) を少量含む。
4. 黄褐色土 (2.S15/3) しまりやや強く、粘性やや強い。暗灰色土を中量、炭化物 (2-5cm) を少量含む。
5. 灰黄褐色土 (1019A/2) しまり普通、粘性やや強い。暗灰色土ブロック (1-5cm) 炭化物 (1-3cm) を微量含む。

S1平面・断面図 0 (1:50) 2m

個別断面図 0 (1:40) 2m

S11314・1315・1381遺物分布



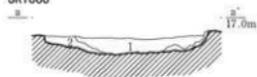


S11384

1. におい・黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強く、炭化物 (1~3cm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土を底状に少量含む。壁薄層土。



SK1060



SK1060

1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや強く、粘性普通、灰色土を底状に少量、炭化物 (1~2cm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (1~5cm)・炭化物 (2cm) を微量含む。

S11384P1

1. におい・黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土ブロック (5~10cm) を少量含む。
2. におい・黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土ブロック (5~10cm) を中量含む。
3. におい・黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強く、灰色土 (5cm) を少量含む。

S11384P2

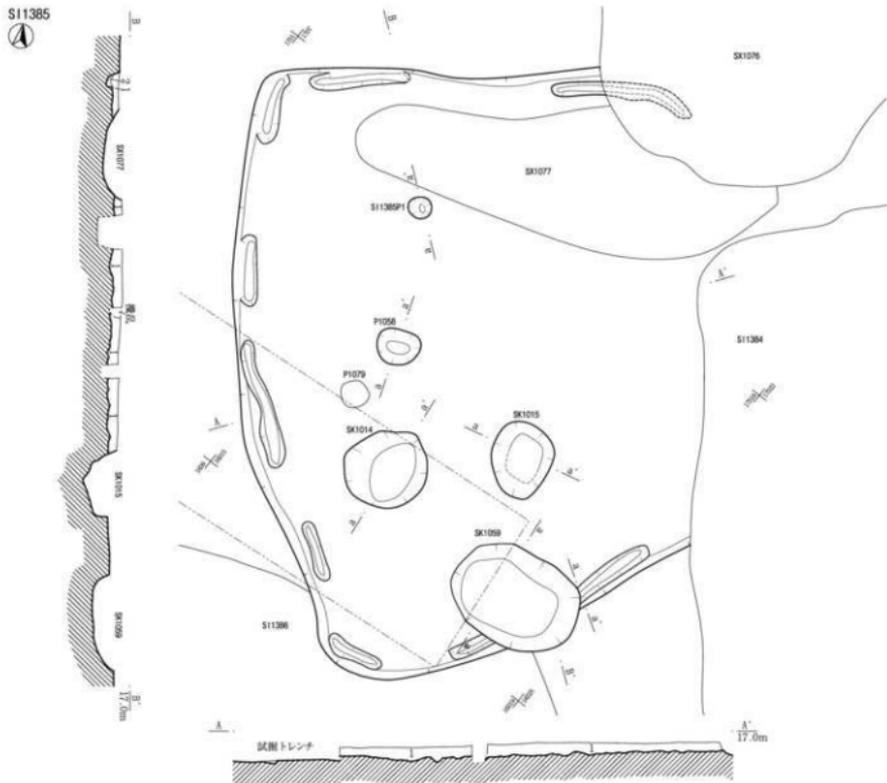
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (2~3cm) を微量含む。
2. におい・黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強く、炭化物 (2~5cm) を微量含む。
3. におい・黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。

S11384P3

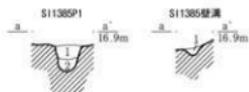
1. におい・黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強く、灰色土ブロック (5~10cm) を少量含む。

S11384壁溝

1. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土を底状に少量含む。

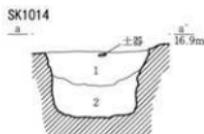


- S11385**
 1. 赤褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性やや強く、炭化物 (1~2m) を微量含む。
 2. 埋溝覆土。

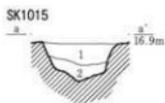


- S11385P1**
 1. 黒褐色土 (10YR3/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1m) を微量含む。
 2. 黒褐色土 (10YR3/2) しまり普通、粘性やや強く、やや砂質。

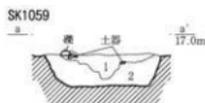
- S11385埋溝**
 1. 赤褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰色土 (1m) を少量含む。



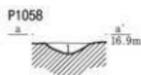
- SK1014**
 1. 褐色土 (10YR4/4) しまり普通、粘性やや強い、灰色土を埋状に中量、炭化物 (1~2m) を微量含む。
 2. 赤褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~2m) を微量含む。



- SK1015**
 1. 赤褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土を埋状に中量、炭化物 (2m) を微量含む。
 2. オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) しまり普通、粘性やや強い、炭化物 (1~2m) を微量含む。

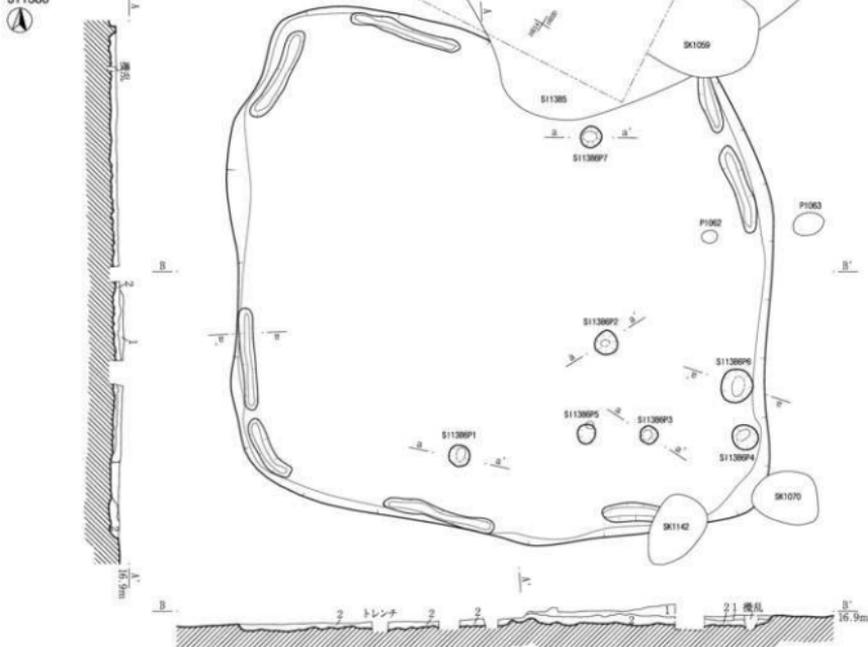


- SK1059**
 1. 黄褐色土 (2.5Y5/4) しまり普通、粘性やや強い、赤褐色土 (5~10m) 炭化物 (2~5m) を少量含む。
 2. 褐色土 (10YR4/4) しまり普通、粘性強い、炭化物 (1~2m) を少量含む。



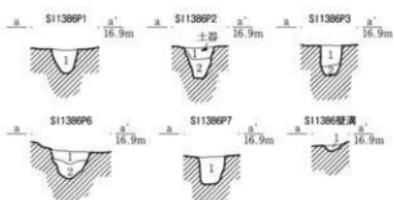
- P1058**
 1. 灰褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰色土を埋状に少量、炭化物 (1~3m) を微量含む。

S11386



S11386

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通、粘性やや強い。遺物を中量。灰色土ブロック (5-10cm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色土ブロック (5-10cm) を少量含む。



S11386P1

1. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック (5cm) を微量含む。

S11386P2

1. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック・炭化物を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土ブロックを微量含む。

S11386P3

1. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土 (5cm)・炭化物 (1-2cm) を微量含む。

S11386P6

2. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰色土 (5cm) を微量含む。

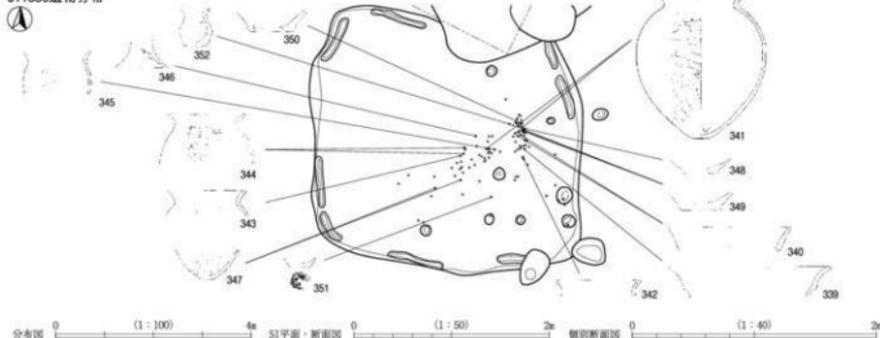
S11386P5

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通、粘性普通。灰色土 (5cm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土 (5-10cm) を微量含む。

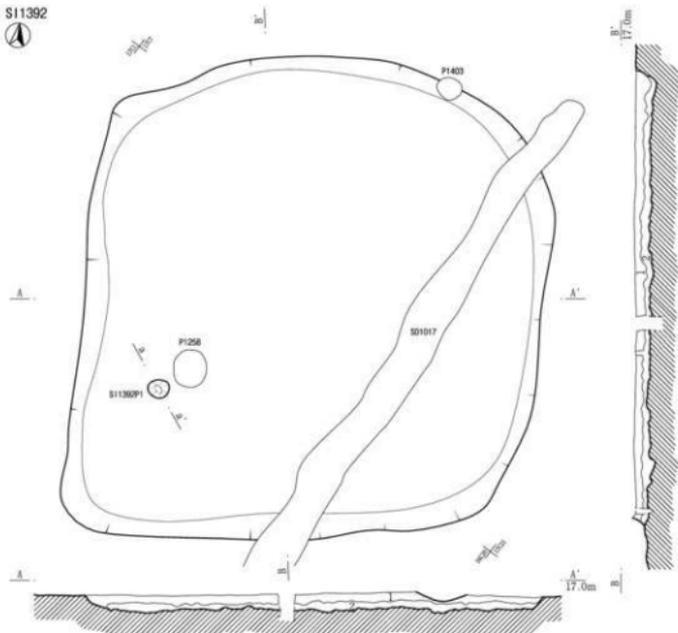
S11386P7

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土 (5cm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土 (1cm) を微量含む。

S11386遺物分布



S11392



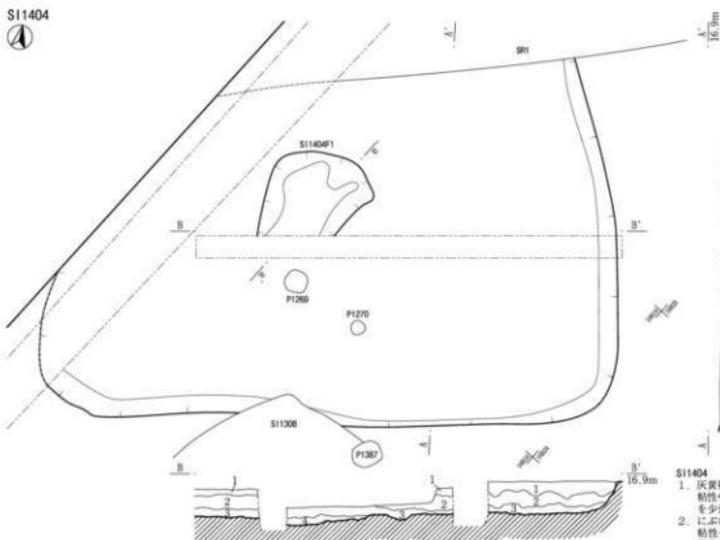
S11392P1

1. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (2~3mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性やや強い。砂 (0.5mm) を中量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

S11392

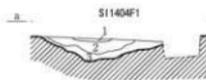
1. にぶい黄褐色土 (10YR4/3) しまりやや強く、粘性強い。灰色土ブロック (5~15mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色土ブロック (5mm) を微量含む。

S11404



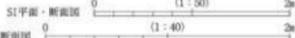
S11404

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色土ブロック (5~15mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性やや強い。灰色土 (5~10mm) を少量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (3~5mm) を少量含む。
4. S11404P1 覆土。

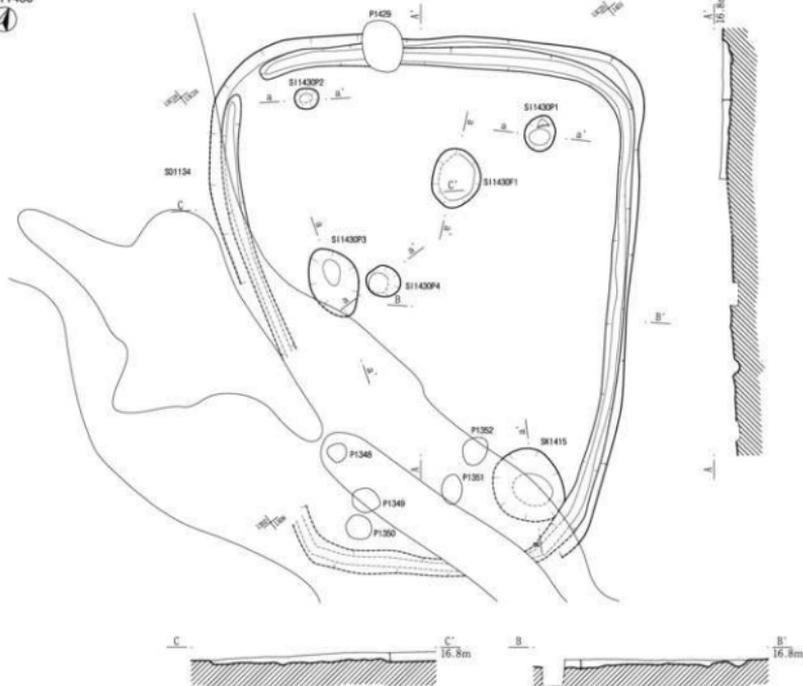


S11404F1

1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土ブロック (5~10mm)・炭化物 (3~5mm) を少量含む。
2. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (3~10mm) を多量、灰色土ブロック (5~15mm) を中量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (5~10mm) を微量含む。城山 (V層) に類似。

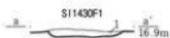


S11430



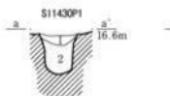
S11430

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄土 (3~5m)・炭化物 (1~2m) を少量含む。



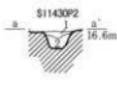
S11430F1

1. にぶい赤褐色土 (5YR4/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (5~10m)・焼土 (1~10m)・灰・炭化物を中量含む。

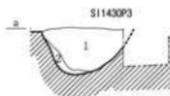


S11430P1

1. 褐灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10m) を多量、炭化物 (1~5m) を少量、焼土 (1~5m) を微量含む。
2. 褐灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5m) を中量、炭化物 (1~10m) を少量含む。

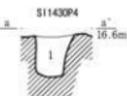


S11430P2



S11430P3

1. 褐灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰褐色シルト (1~2m) を中量、炭化物を微量量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり強く、粘性やや強い、灰褐色シルトブロックを多量含む。



S11430P4

S11430P4

1. 褐灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5m) を少量含む。

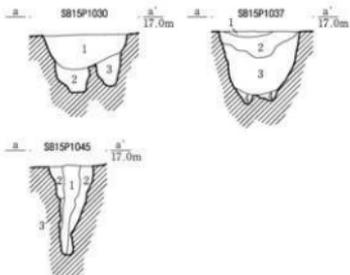
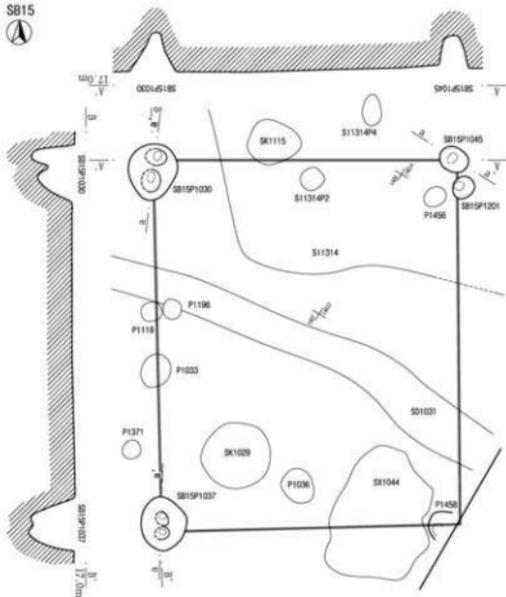
SK1415



SK1415

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまり普通、粘性やや強い、にぶい黄褐色土ブロック (3~10m)・炭化物 (2~5m) を少量含む。

SB15



SB15P1030

1. 暗褐色土 (10YR3/4) しまり強く、粘性や中強い。炭化物 (2-5mm) を少量、黄褐色土 (10YR4/2) 灰褐色土を混状に少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性や中強い。褐色土ブロックを混状に少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性や中強い。褐色土ブロックを混状に少量、炭化物 (1-2mm) を微量含む。

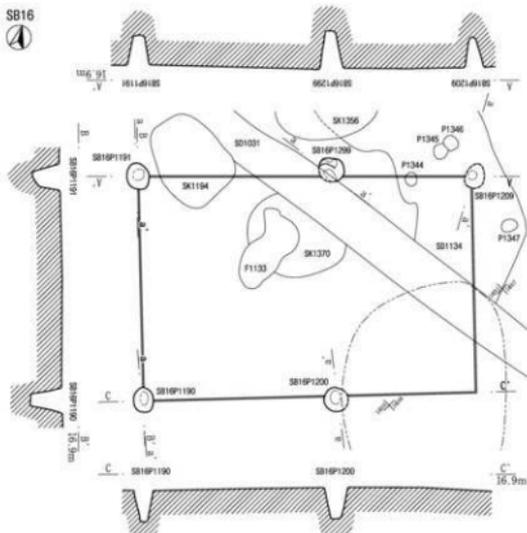
SB15P1037

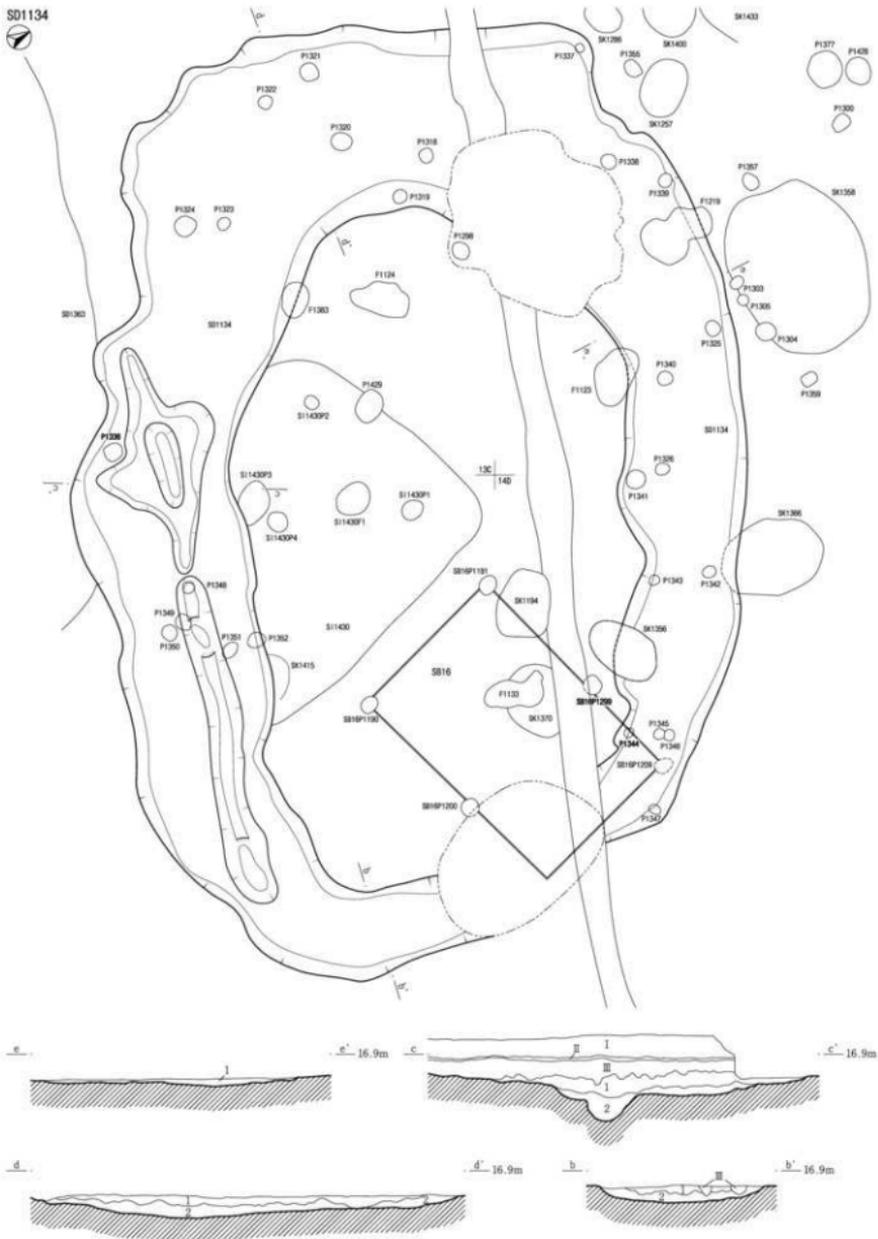
1. オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) しまり強く、粘性や弱い。炭化物 (3-5mm) を微量含む。
2. にい黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性や弱い。黄褐色土を混状に少量、炭化物 (5mm) を微量含む。
3. 褐色土 (10YR4/4) しまり普通、粘性や弱い。炭化物 (2-5mm) を微量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性や中強い。褐色土ブロックを混状に少量含む。

SB15P1045

1. 灰褐色土 (2.5Y4/1) しまり普通、粘性普通。にい黄褐色土ブロック (3-5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性や弱い。炭化物 (1-3mm) にい黄褐色土ブロック (3-5mm) を少量含む。
3. にい黄褐色土 (10YR5/3) しまり普通、粘性強い。炭化物 (1-2mm) を微量含む。

SB16



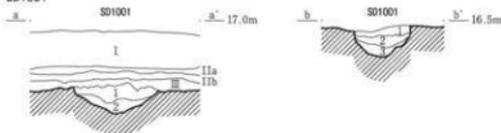


SD1134

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性普通。遺物を多く含む。炭化物 (1~2mm) を少量、にぶい黄色土ブロックを底状に少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1mm) を微量含む。地山 (V層) に近似。

平面図 0 (1:80) 4m
断面図 0 (1:40) 2m

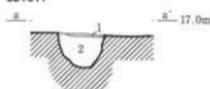
SD1001



SD1001

1. 暗灰土 (2.034/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、黄褐色シルト (5~10mm) を微量含む。
2. オリーブ褐色土 (2.034/3) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (1~3mm) を微量含む。
3. 黄褐色土 (2.035/3) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (2mm) を微量含む。

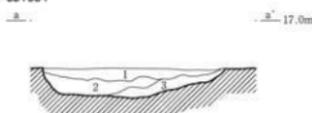
SD1017



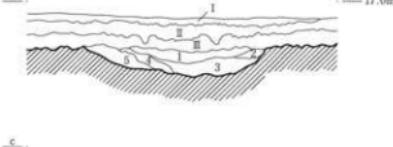
SD1017

1. 灰色砂質土 (0.95/1) しまりやや強く、粘性強い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. 灰色砂質土 (2.035/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色土ブロック (3~5mm)、炭化物 (1~2mm) を少量含む。

SD1034



SD1031



SD1031



SD1031

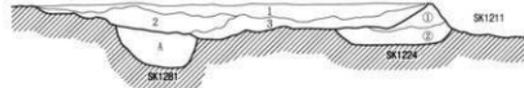
1. におい黄褐色土 (10.95/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

SD1053



SD1053

1. 灰黄褐色土 (10.95/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. におい黄褐色土 (10.95/4) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量含む。



SD1069



SD1069

1. 灰黄褐色土 (10.96/2) しまり強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10.95/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SD1078



SD1078

1. 黄灰土 (2.034/2) しまりやや強く、粘性強い。炭化物 (1~5mm) を少量、円礫を微量含む。

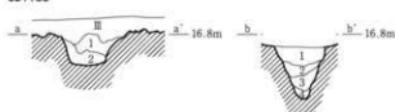
SD1104



SD1104

1. 灰黄褐色土 (10.95/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を極めて多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

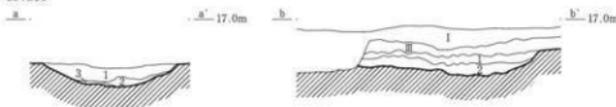
SD1188



SD1188

1. 黄灰土 (2.035/1) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) ・黄褐色土ブロック (2mm) を微量含む。
2. 黄灰土 (2.035/1) しまり普通、粘性普通。黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
3. 暗灰質土 (2.035/2) しまり普通、粘性やや強い。黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。
4. におい黄褐色土 (10.95/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1mm) を微量含む。

SD1208



SD1208

1. 暗灰土 (10.95/1) しまりやや強く、粘性弱い。暗灰色の砂粒を主体とする層土で、灰褐色粘土 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10.95/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) ・砂粒を少量含む。
3. におい黄褐色土 (10.95/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) ・砂粒を少量含む。

SD1222



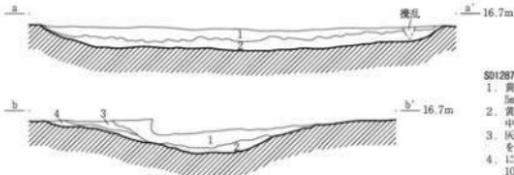
- SD1222
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性強い。黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~10cm) を中量、砂粒を少量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を微量含む。
 3. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5cm) を微量含む。

SD1283



- SD1283
1. 灰褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm)・炭化物 (1~10cm)・砂粒を中量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
 3. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5cm) を極めて少量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。

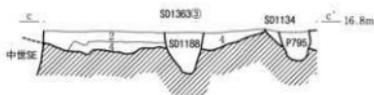
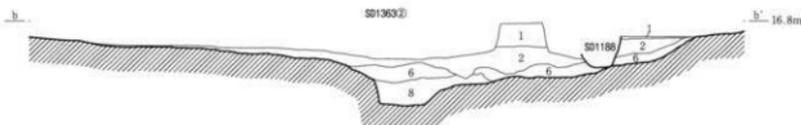
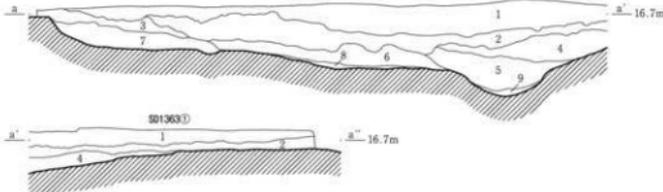
SD1287



SD1287

1. 灰褐色土 (2.5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒を中量、炭化物 (1~5cm) を少量、黄褐色シルト (1~5cm) を微量含む。
2. 灰褐色土 (2.5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を少量含む。

SD1363



SD1363

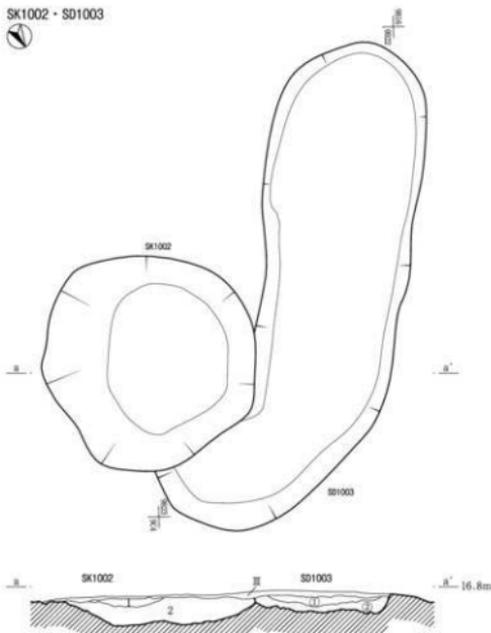
1. 灰褐色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、炭化物 (1~5cm) を微量含む。
2. 灰褐色土 (7.5YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5cm)・炭化物 (1~20cm)・砂粒を中量、黄褐色シルト (1~10cm) を少量、円礫 (5~50mm)・焼土 (1~10mm) を微量含む。土器片が顕著に出ている。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm)・炭化物 (1~5cm) を中量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量、焼土 (1~10mm) を微量含む。
5. にぶい褐色土 (7.5YR5/3) しまりやや強く、粘性強い。灰褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量含む。
6. にぶい褐色土 (7.5YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量、焼土 (1~10mm) を微量含む。
7. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を少量、小礫を微量含む。
8. にぶい褐色土 (7.5YR5/3) しまりやや強く、粘性強い。灰褐色シルト (1~10cm) を多量、炭化物 (1~5cm) を中量含む。
9. にぶい褐色土 (7.5YR5/3) しまり強く、粘性やや強い。灰褐色土 (1~10cm) を中量、炭化物 (1~5cm) を小礫を微量含む。細かい土器片が少量見られる。

SD1378



- SD1378
1. 暗灰褐色土 (2.5Y5/2) しまり普通、粘性普通。炭化物 (3~15cm)・黄褐色シルトブロック (2~10cm) を中量、砂 (0.5cm) を微量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。暗灰褐色シルトブロック (10~20cm) を中量、炭化物 (3~20cm) を少量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや弱い。炭化物 (1cm) を微量含む。

SK1002・SD1003



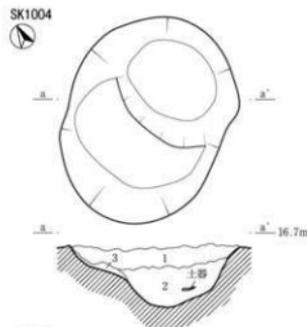
SK1002

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、灰色シルト (1~5mm) を微量含む。

SD1003

- ①. にぶい赤褐色土 (5YR4/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm)・灰色シルト (1~5mm) を少量含む。
- ②. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、灰色シルト (1~5mm) を微量含む。

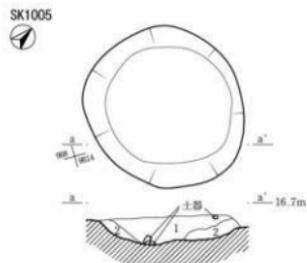
SK1004



SK1004

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm) を中量、灰色シルト (1~5mm) を少量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を微量含む。

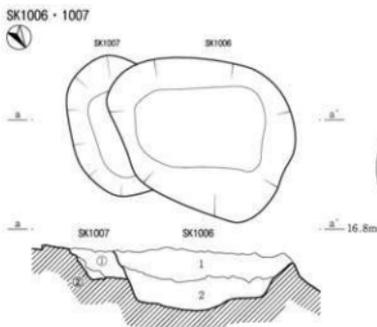
SK1005



SK1005

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、灰色シルト (1~5mm) を微量含む。

SK1006・1007



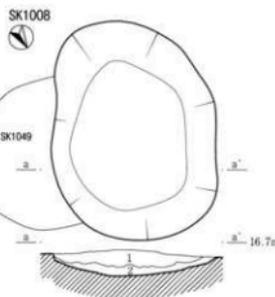
SK1006

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~20mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~20mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SK1007

- ①. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm) を少量含む。
- ②. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SK1008



SK1008

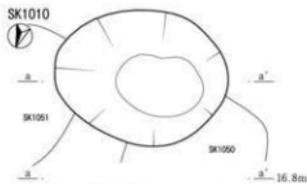
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を微量含む。

SK1009

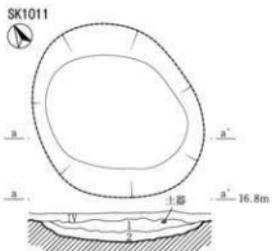


SK1009

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。



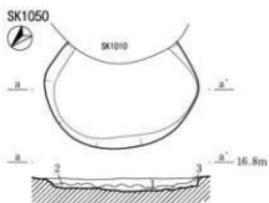
- SK1010**
1. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5-10mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5-20mm) を多量、炭化物 (1-5mm) を中量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR6/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、炭化物 (1-5mm) を少量含む。



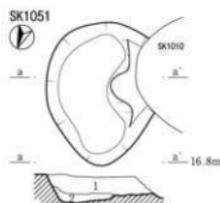
- SK1011**
1. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-5mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を少量、灰色シルト (1-5mm) を微量含む。



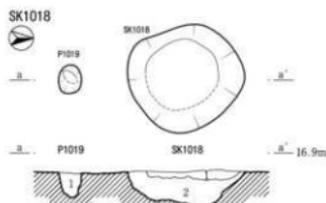
- SK1012**
1. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-5mm) ・炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を少量含む。



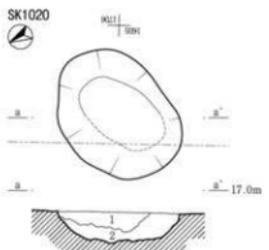
- SK1050**
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5-10mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-5mm) を微量含む。
 3. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5-10mm) を多量含む。



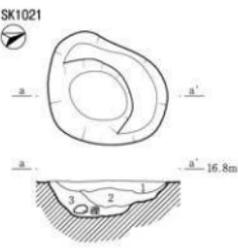
- SK1051**
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-5mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5-10mm) を微量含む。



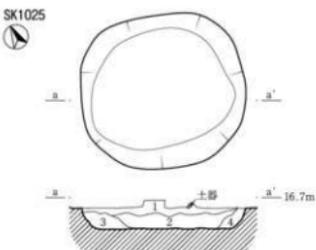
- SK1018**
1. 褐色土 (10YR4/4) しまりやや強く、粘性普通、炭化物 (1-5mm) を少量、灰色土を微量に少量含む。
 2. オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (5-20mm) を少量、炭化物 (1-2mm) を微量含む。
- P1019**
1. 褐色土 (10YR4/4) しまり普通、粘性やや弱い、灰色土を微量に少量、炭化物 (1mm) を微量含む。



- SK1020**
1. 褐色土 (10YR4/4) しまり強く、粘性普通、灰色土を微量に中量含む。
 2. オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) しまり強く、粘性やや強い、灰色土を少量含む。



- SK1021**
1. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1-5mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を中量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、細かい砂粒を中量含む。

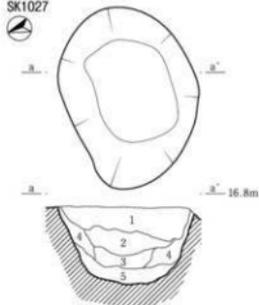


- SK1025**
1. におい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1-5mm) を中量含む。
 2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1-5mm) を微量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、細かい砂粒を中量含む。
 4. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1-5mm) を少量、炭化物 (1-5mm) を微量含む。



- SK1026**
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1-10mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1-10mm) を多量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。

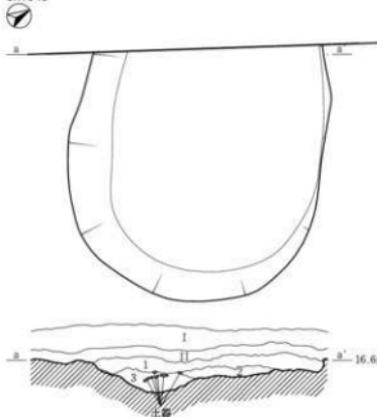
SK1027



SK1027

1. 褐灰色土 (10YR6/1) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。
3. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。
4. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を多量含む。
5. オリーブ褐色土 (2.5Y3/3) しまりやや強く、粘性強い、灰褐色シルト (1~5mm) を微量含む。

SK1048



SK1048

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1~5mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm)、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 暗オリーブ褐色土 (2.5Y3/3) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~10mm) を少量含む。

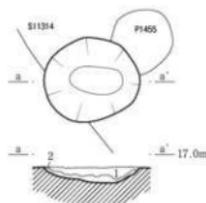
SK1073



SK1073

1. におい黄色土 (2.5Y6/3) しまり普通、粘性やや弱い、灰色土を源状に中量、炭化物 (2mm) を微量含む。
2. 褐灰色土 (10YR5/1) しまり普通、粘性やや弱い、灰色土ブロック (1~3mm)、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性普通、灰色土ブロック (1~5mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。

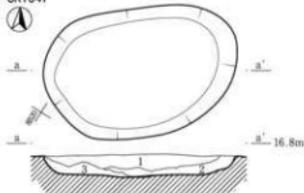
SK1028



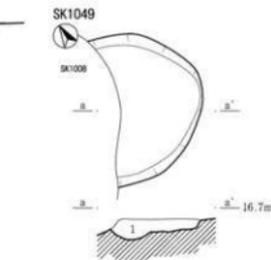
SK1028

1. におい黄褐色土 (10YR4/3) しまり強く、粘性やや強い、灰色土を源状に少量含む。
2. 褐色土 (10YR4/4) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (2~3mm) を微量含む。

SK1047



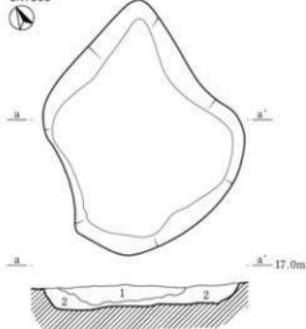
SK1049



SK1049

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1~5mm) を中量含む。

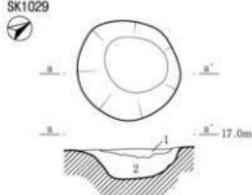
SK1066



SK1066

1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
2. 暗黄褐色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (3mm) を微量含む。

SK1029



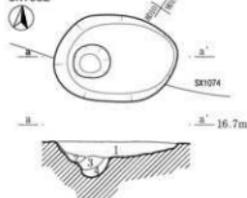
SK1029

1. 明るい黄褐色土 (2.5Y4/4) しまりやや強く、粘性やや弱い、灰色土を源状に少量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR4/3) しまり普通、粘性普通、黄褐色土・灰色土を源状に少量、礫土 (3mm) を微量含む。

SK1047

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を少量、黄褐色シルト (1~5mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を中量含む。

SK1052

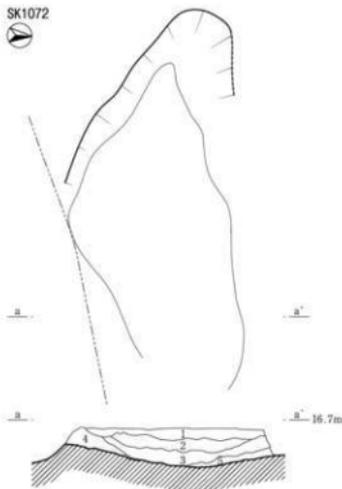


SK1052

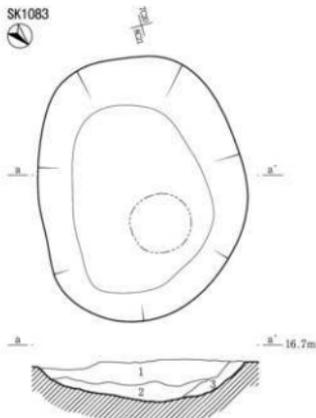
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量含む。
4. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を中量含む。

SK1066

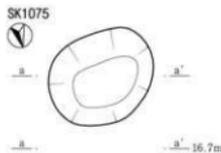
1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
2. 暗黄褐色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (3mm) を微量含む。



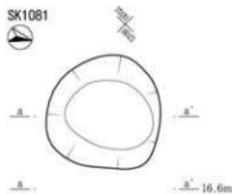
- SK1072
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、細かい砂粒を多量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量含む。
 4. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、角礫 (5~10mm)・炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 5. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



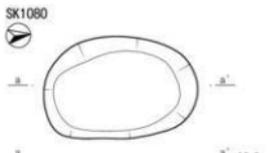
- SK1083
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を中量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm)・炭化物 (1~5mm) を中量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (1~10mm) を多量含む。



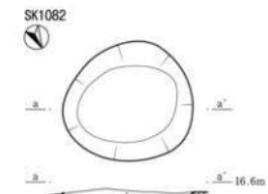
- SK1075
1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を中量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



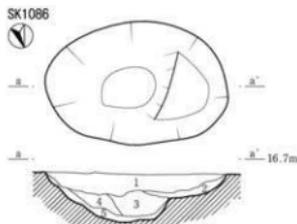
- SK1081
1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまり強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



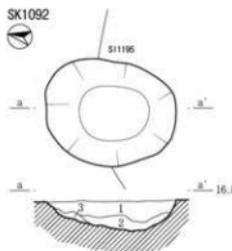
- SK1080
1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。



- SK1082
1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、灰褐色シルト (5~20mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を中量含む。

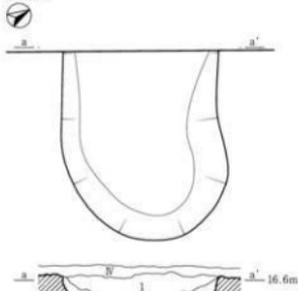


- SK1086
1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~5mm) を中量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を少量含む。
 3. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (5~50mm) を中量、雄土 (1~5mm) を微量含む。
 4. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 5. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり弱く、粘性やや強い、細かい砂粒が主体、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



- SK1092
1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまり強く、粘性やや弱い、黄褐色シルトプロック (12mm) を微量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性普通、黄褐色シルトプロック (2mm) を中量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通、炭化物 (2mm) を微量含む。

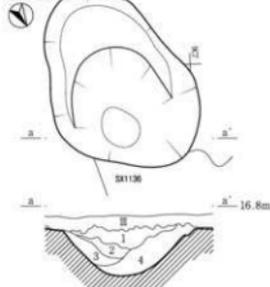
SK1094



SK1094

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm) 極めて多量、炭化物 (1~5mm) を中量含む。
2. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや弱く、粘性やや弱い。褐灰色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

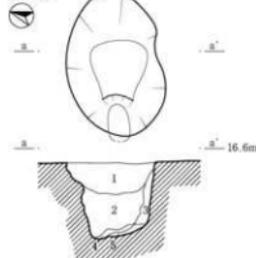
SK1126



SK1126

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~10mm) を中量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を中量、黄褐色シルト (1~5mm) 小礫を少量含む。
4. 上ぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。

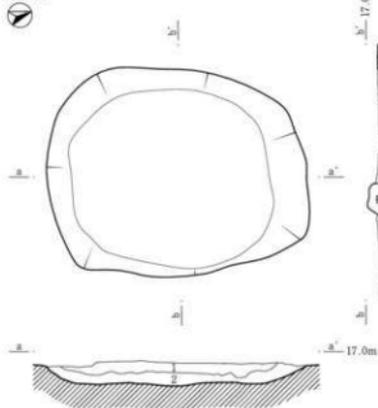
SK1145



SK1145

1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒を中量、褐灰色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり弱く、粘性非常に強い。褐灰色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を中量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。強化して全体的に赤みを帯びる。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) 少量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性強い。褐灰色粘土を主体とする。
5. 上ぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。強化して全体的に赤みを帯びる。褐灰色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) 少量含む。

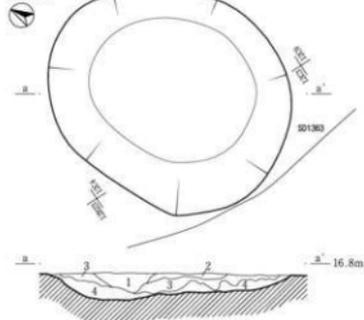
SK1113



SK1113

1. 褐灰色土 (2.5Y5/2) しまり強く、粘性やや弱い。灰色土 (3~5mm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。
2. オリーブ褐色土 (2.5Y4/3) しまり強く、粘性やや強い。炭化物 (3mm) を微量、灰色土を塊状に微量含む。

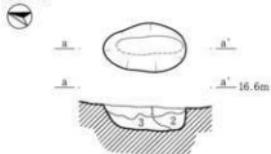
SK1141



SK1141

1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。褐灰色シルトブロック (10~20mm) を中量、炭化物 (3~10mm) を少量、砂粒 (1mm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y3/2) しまりやや弱く、粘性普通。褐灰色シルトブロック (5~10mm)・炭化物 (5~10mm) を中量、礫 (5~15mm) を少量、砂粒 (1mm) を微量含む。
3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通、粘性やや強い。黄褐色シルトを中量、礫 (10mm)・炭化物 (5mm) 砂粒 (1mm) を微量含む。
4. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性普通。灰オリーブ色シルトを中量含む。

SK1146



SK1146

1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。
2. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

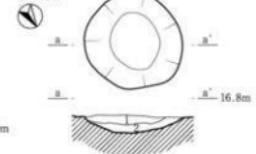
SK1164



SK1164

1. 黄褐色土 (2.5Y5/4) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (2~5mm) を微量含む。
2. 上ぶい黄色土 (2.5Y6/4) しまり普通、粘性強い。褐灰色土ブロック (3~5mm) を少量含む。

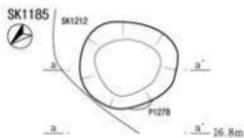
SK1182



SK1182

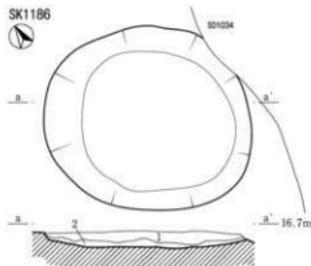
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

0 (1:40) 2m



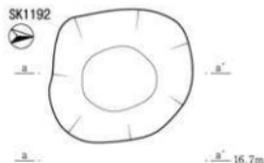
SK1185

1. 褐色土 (10YR4/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を中量、小礫を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR6/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~50mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~20mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量含む。



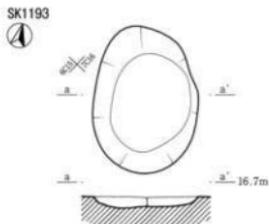
SK1186

1. 褐色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~30mm) を少量、硬土 (1~5mm)・炭化物 (1~30mm)・小礫を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量含む。



SK1192

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を中量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を微量含む。

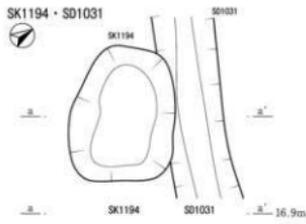


SK1193

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。

- SK1194
- ①. オリーブ褐色土 (2.5Y4/3) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄土 (3~5mm)・炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 - ②. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土 (5mm) を少量含む。

- SD1031
1. 黄土色土 (2.5Y5/1) しまりやや強く、粘性弱い。炭化物 (3~5mm) を中量、黄褐色土 (3~5mm) を少量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1~5mm) を少量含む。



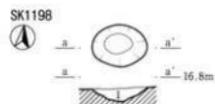
SK1194

- ①. オリーブ褐色土 (2.5Y4/3) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい黄土 (3~5mm)・炭化物 (3~5mm) を少量含む。
- ②. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰色土 (5mm) を少量含む。



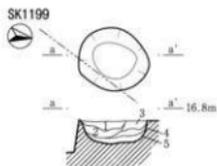
SK1197

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~10mm) を中量含む。



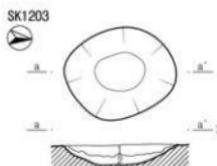
SK1198

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。



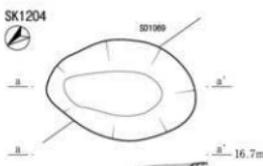
SK1199

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm) を少量、黄褐色シルト (1~5mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~20mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~20mm)・炭化物 (1~10mm) を少量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~30mm) を多量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。
5. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を極めて多量に含む。



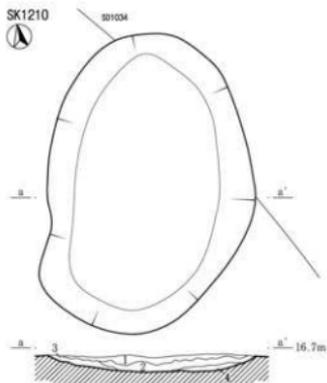
SK1203

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量含む。



SK1204

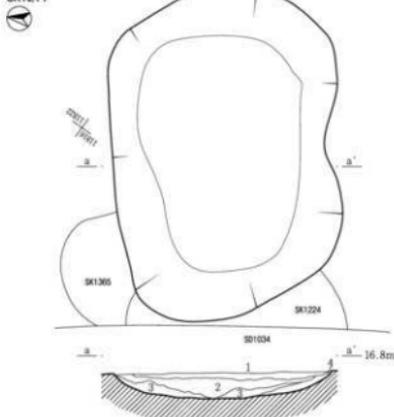
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



SK1210

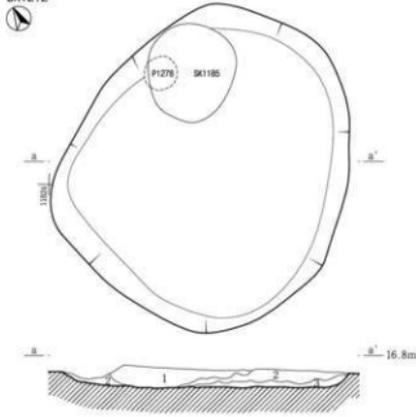
1. 褐色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
4. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量含む。

SK1211



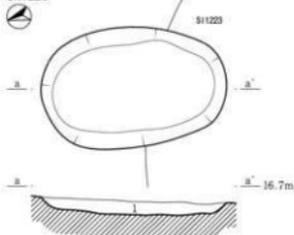
- SK1211
1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒を中量、炭化物 (1-5mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1-5mm) を中量、黄褐色シルト (1-10mm) を少量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1-10mm) を多量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
 4. 近い黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1-5mm) を少量含む。

SK1212



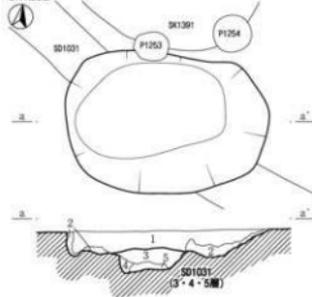
- SK1212
1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1-3mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性やや強い。黄褐色シルト (1-5mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。
 3. 近い黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (2mm) を微量含む。

SK1220



- SK1220
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1-5mm) を中量、炭化物 (1-10mm) を少量含む。

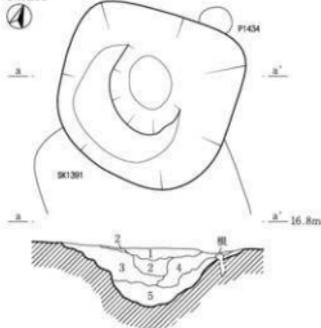
SK1252



SK1252

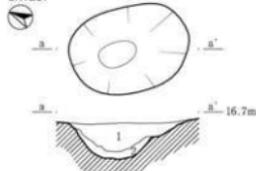
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5-10mm) を中量、炭化物 (2-10mm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (10mm)、炭化物 (1-3mm) を中量含む。
3. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (2-7mm)、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
4. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまり普通。粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (5-10mm) を多量、炭化物 (1-2mm) を少量含む。
5. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (1-3mm) を微量含む。

SK1255



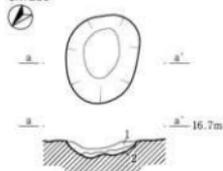
- SK1255
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5-10mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性強い。黄褐色シルトブロック (2-4mm)、灰オリーブ色砂を中量含む。
 3. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (3-5mm)、黄褐色シルトブロック (2-4mm) を少量含む。
 4. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (5mm) を微量含む。
 5. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり弱く、粘性強い。灰オリーブ色砂を中量、炭化物 (4-12mm) を微量含む。

SK1257



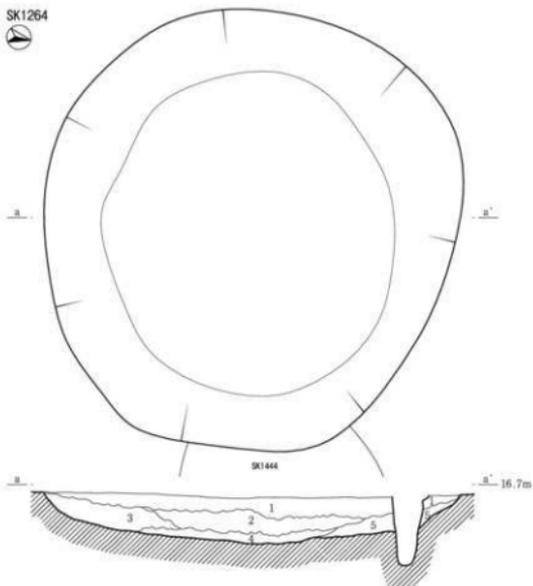
- SK1257
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (5-15mm)、炭化物 (2-15mm) を中量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり弱く、粘性やや強い。炭化物 (3-7mm) を少量含む。

SK1260



- SK1260
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性普通。黄褐色シルトブロック (5-10mm)、炭化物 (1-3mm) を少量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや強い。灰オリーブ色砂を中量、炭化物 (3mm) を微量含む。

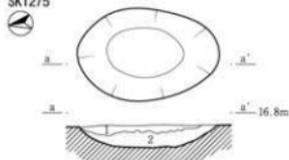
SK1264



SK1264

1. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を中量、焼土 (1~10mm) を微量含む。
3. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
4. におい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや強く、粘性強い。砂粒を中量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、焼土 (1~10mm) 炭化物 (1~5mm) を微量含む。
5. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

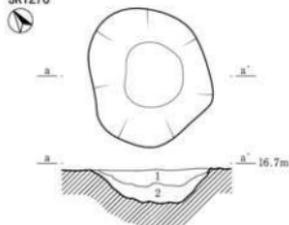
SK1275



SK1275

1. におい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。
2. におい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。砂粒を中量含む。

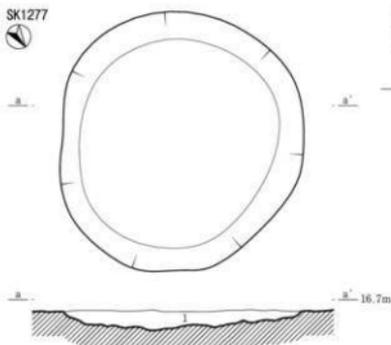
SK1276



SK1276

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、黄褐色シルト (1~5mm) を微量含む。

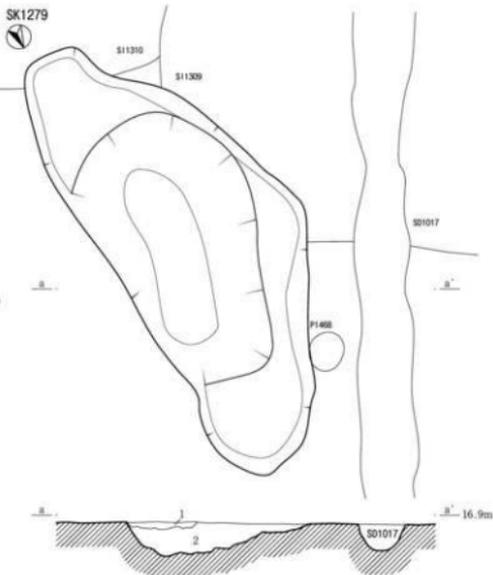
SK1277



SK1277

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

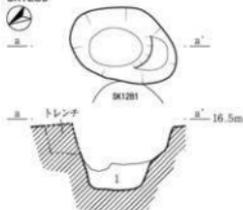
SK1279



SK1279

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. 暗灰黄色砂質土 (2.5Y5/2) しまり普通。粘性やや弱い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。

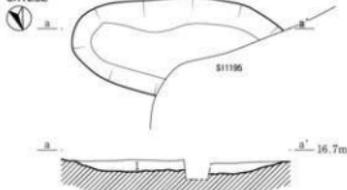
SK1280



SK1280

1. ぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm)・砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

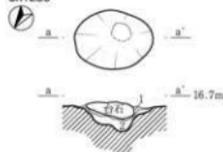
SK1282



SK1282

1. 黄褐色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

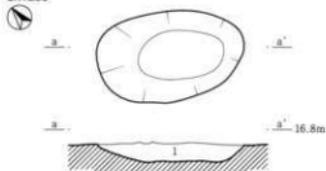
SK1286



SK1286

1. 灰オリーブ色土 (5Y5/3) しまりやや強く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (10~20mm) を少量、炭化物 (10mm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (2mm) を少量含む。

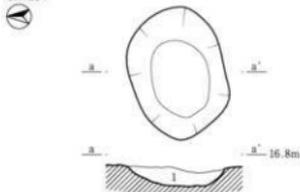
SK1288



SK1288

1. 黄褐色土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。

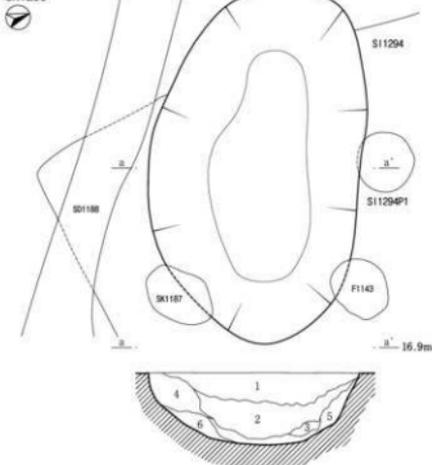
SK1291



SK1291

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。

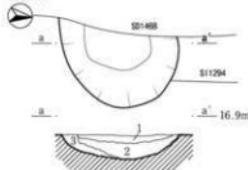
SK1290



SK1290

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性強い。灰褐色シルト (1~10mm)・炭化物 (1~10mm) を中量、焼土 (1~5mm)・灰り小礫を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
5. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (3~10mm) を微量含む。
6. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~10mm) を多量含む。

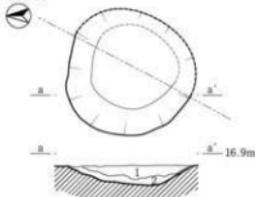
SK1292



SK1292

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を中量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。

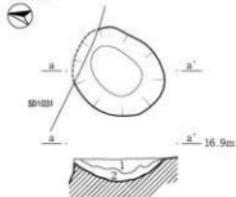
SK1293



SK1293

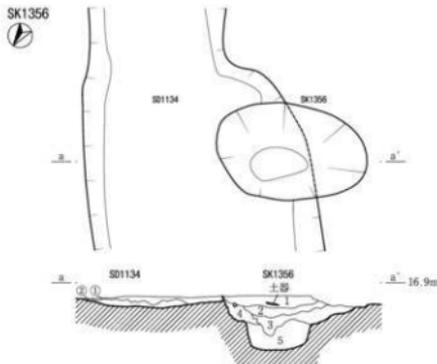
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~5mm) を少量、黄褐色シルト (1~5mm) を微量含む。
2. 暗灰土 (10YR5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。

SK1306



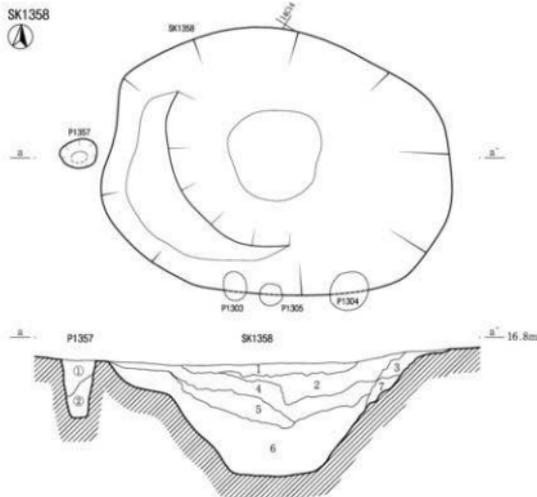
SK1306

1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまりやや強く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/1) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~3mm) を少量含む。



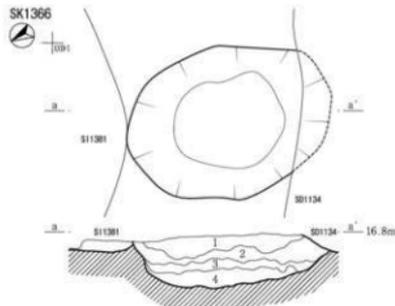
- SK1356**
1. 褐灰色土 (10YR4/1) しまりやや弱く、粘性普通。焼土 (3mm)・炭化物 (2~5mm) を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色土を斑状に少量、炭化物 (1~3mm) を微量含む。
 3. 褐灰色土 (10YR5/1) しまりやや弱く、粘性普通。ぶい黄色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (2~3mm) を微量含む。
 4. 灰土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を少量含む。
 5. 黄褐色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (2mm) を微量含む。

- SD1134**
- ① 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通。粘性普通。遺物を多く、炭化物 (1~3mm) を少量。ぶい黄色土ブロックを斑状に少量含む。
 - ② ぶい黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1mm) を微量含む。堀山 (V層) に近似。



- SK1358**
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (1~3mm) を少量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり普通。粘性強い。灰オリーブ色砂を中量、炭化物 (7~10mm) を少量、砂粒 (0.5mm) を微量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性強い。暗灰黄色シルトを中量、炭化物 (5mm) を微量含む。
 4. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1~10mm)・黄褐色シルトブロック (1~3mm)・灰オリーブ色砂を少量含む。
 5. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性強い。黄褐色シルトブロック (1~3mm)・焼土を少量、炭化物 (1~3mm)・灰を微量含む。
 6. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり弱く、粘性強い。黄褐色シルトブロック (5~10mm)・灰オリーブ色砂を中量、炭化物 (3~5mm) を少量含む。
 7. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性弱い。灰オリーブ色シルトを中量含む。

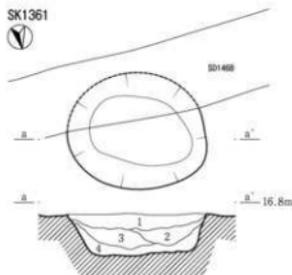
- P1357**
- ① 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (1~5mm) を少量、炭化物 (5mm) を微量含む。
 - ② 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (1~10mm) を中量含む。



- SK1366**
1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (2~10mm) を中量、ぶい黄色土粒を斑状に少量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり弱く、粘性やや強い。炭化物 (5mm) を少量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや強い。灰色土ブロックを少量含む。やや砂質。
 4. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通。粘性やや強い。灰色土ブロックを少量含む。

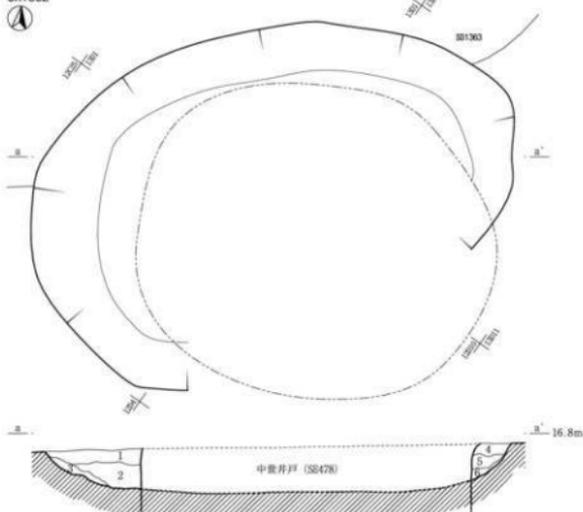


- SK1367**
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性普通。焼土 (3~5mm) を少量、炭化物 (5mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性普通。暗褐色土ブロックを斑状に少量含む。
 3. ぶい黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性やや強い。暗褐色土ブロックを斑状に微量含む。
 4. ぶい黄褐色土 (10YR5/2) しまり普通。粘性普通。炭化物 (1~2mm) を微量含む。



- SK1361**
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm)・小粒を少量含む。
 2. 灰黄褐色土 (7.5YR5/2) しまりやや弱く、粘性強い。黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。砂粒中量。炭化物 (1~5mm) を微量含む。

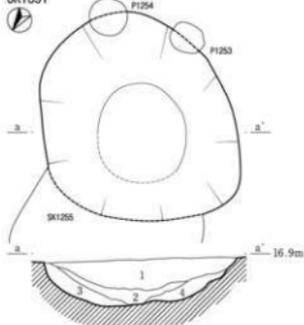
SK1362



SK1362

1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm) ・小礫を少量含む。
3. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
4. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) ・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
5. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を少量含む。
6. 褐灰色土 (10YR6/1) しまりやや強く、粘性やや弱い。炭化物 (1~5mm) を微量含む。

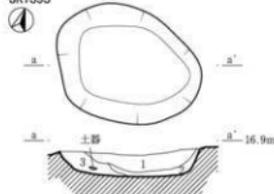
SK1391



SK1391

1. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。砂粒 (0.5mm) を少量、炭化物 (3~5mm) を微量含む。
2. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (5~7mm) を少量、砂粒 (0.5mm) を微量含む。
3. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (10~20mm) を中量、炭化物 (1~6mm) を少量含む。
4. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり普通。粘性普通。灰オリーブ色シルトを多量、黄褐色シルトブロック (5~15mm) を少量、炭化物 (1~2mm) ・砂粒 (0.5mm) を微量含む。

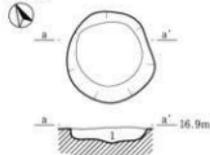
SK1395



SK1395

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量、礫 (10~20mm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~10mm) を多量、焼土を微量含む。

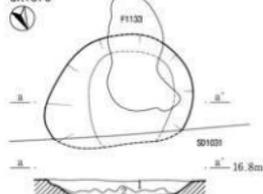
SK1399



SK1399

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm) ・小礫を中量、炭化物 (5~10mm) を微量含む。

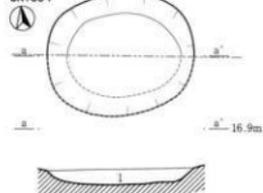
SK1370



SK1370

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色土ブロックを現状に少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (5mm) を微量、黄褐色土ブロックを現状に微量含む。

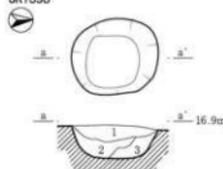
SK1394



SK1394

1. にぶい黄褐色土 (10YR5/4) しまりやや弱く、粘性強い。炭化物 (2~5mm) を中量含む。

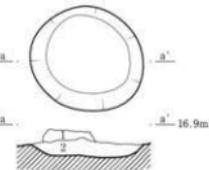
SK1398



SK1398

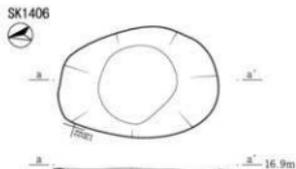
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm) ・砂粒を中量、炭化物 (1~10mm) を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~30mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~30mm) を多量含む。

SK1400

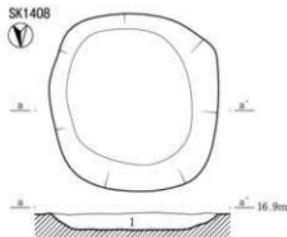


SK1400

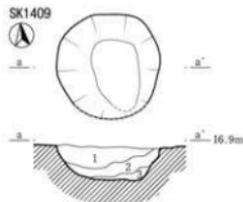
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm) ・炭化物 (1~10mm) ・小礫・砂粒を少量含む。中央部に土器の小破片がまともに出て出上。
2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~30mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。



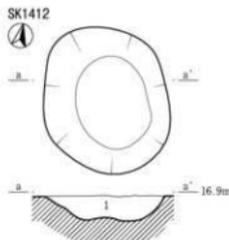
- SK1406
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰褐色シルトブロック (1~5mm) を多量、小礫・炭化物 (1~5mm) を中量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰褐色シルトブロック (1~10mm) を少量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。



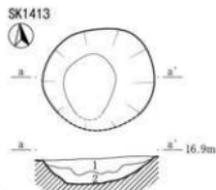
- SK1408
1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり普通、粘性やや強い。
- SK1408
1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり普通、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm)・炭化物 (1~10mm) を中量、砂粒を少量含む。



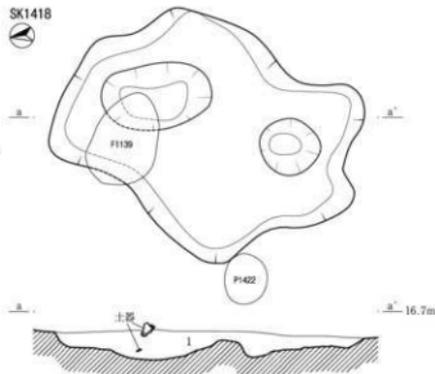
- SK1409
1. 灰黄褐色土 (10YR6/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。砂粒を中量、灰褐色シルト (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR6/3) しまり普通、粘性やや弱い。黄褐色シルト (10~20mm) を多量、小礫を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 3. にぶい黄褐色土 (10YR6/3) しまり普通、粘性普通。黄褐色シルト (5~10mm)・砂粒を中量含む。



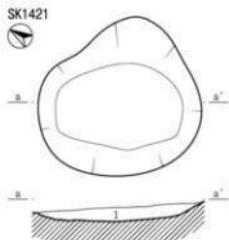
- SK1412
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。



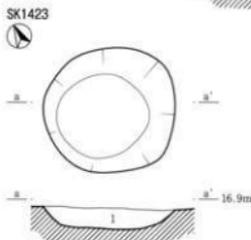
- SK1413
1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (5~10mm) を中量、炭化物 (1~5mm) を少量、礫土 (1~5mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1~10mm)・礫土 (1~5mm) を微量含む。



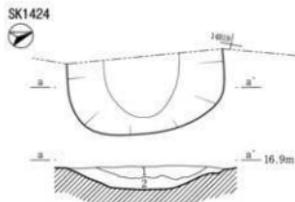
- SK1418
1. 黄褐色土 (2.5Y3/3) しまり普通、粘性やや強い。炭化物 (2~5mm)・灰色土ブロック (5mm) を少量含む。



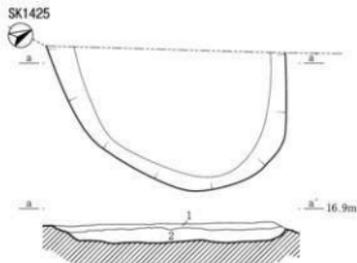
- SK1421
1. 黄褐色土 (2.5Y3/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック (5mm)・炭化物 (2~5mm) を少量含む。



- SK1423
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~10mm) を中量含む。

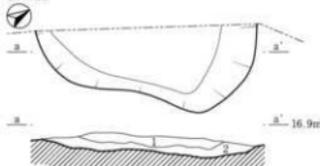


- SK1424
1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。灰色土ブロック (1~3mm) を少量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y3/3) しまり普通、粘性やや弱い。灰色土ブロック (1~3mm) を微量含む。



- SK1425
1. 黄褐色土 (2.5Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い。炭化物 (1~2mm) を微量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y3/3) しまり普通、粘性やや強い。灰色土ブロック (1~5mm) を微量含む。

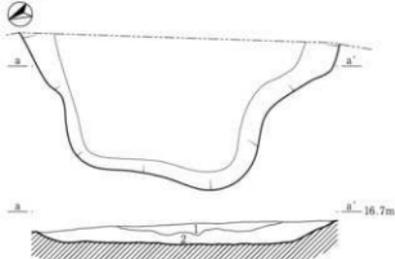
SK1426



SK1426

1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色土ブロック (2~10mm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (5mm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。

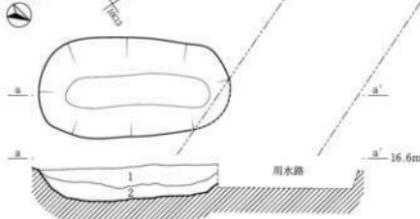
SK1427



SK1427

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い、炭化物 (1~3mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや強い、灰色土ブロック (5mm)・炭化物 (1~3mm) を少量含む。

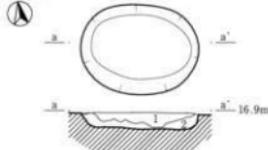
SK1438



SK1438

1. 灰色土 (10Y4/1) しまりやや強く、粘性強い、炭化物 (1~5mm) を中量、黄褐色シルト (5~20mm)、小礫を少量含む。
2. 灰色土 (10Y4/1) しまりやや強く、粘性強い、黄褐色シルト (5~20mm) を多量、砂粒を中量、炭化物を微量含む。

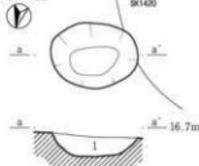
SK1439



SK1439

1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~5mm) を少量、明褐色シルト (5~10mm) を微量含む。
2. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (10~40mm) を多量含む。

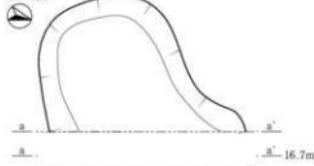
SK1432



SK1432

1. 灰黄色土 (2.5Y6/2) しまりやや強く、粘性普通、灰色土ブロック (1~10mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。

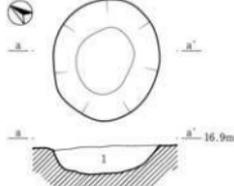
SK1433



SK1433

1. 暗灰色土 (10Y5/1) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色土ブロック (3~10mm) を中量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまり普通、粘性やや弱い、焼土 (1~5mm) を微量含む。
3. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまり普通、粘性やや弱い、灰色土ブロック (1~5mm) を少量含む。

SK1436



SK1436

1. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまりやや強く、粘性やや強い、灰褐色シルト (5~10mm)・砂粒を中量、焼土 (1~5mm)・炭化物 (1~5mm) を少量含む。

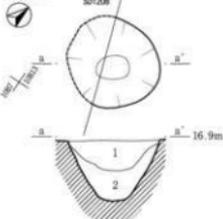
SK1437



SK1437

1. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い、黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm)・小礫を少量含む。
2. にぶい黄褐色土 (10Y5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色シルト (5~30mm) を中量含む。

SK1443



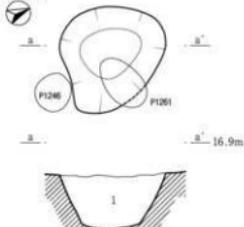
SK1443

1. 灰ナリーブ色土 (7.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (5~10mm) を少量含む。
2. 灰色土 (5Y5/1) しまり弱く、粘性やや弱い、砂粒を中量、灰色土 (1~5mm) を少量含む。

SK1443

1. 灰ナリーブ色土 (7.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、炭化物 (5~10mm) を少量含む。
2. 灰色土 (5Y5/1) しまり弱く、粘性やや弱い、砂粒を中量、灰色土 (1~5mm) を少量含む。

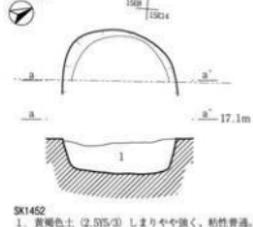
SK1450



SK1450

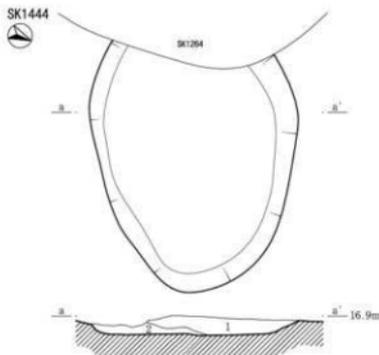
1. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強、粘性やや強い、灰色土ブロック (1~5mm)・炭化物 (3mm) を少量含む。

SK1452

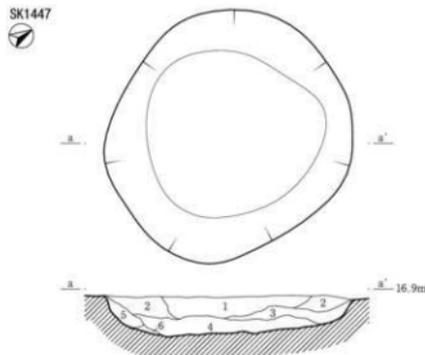


SK1452

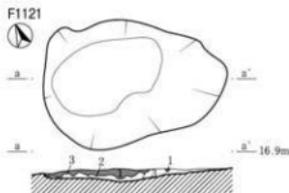
1. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性普通、灰色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (3mm) を微量含む。



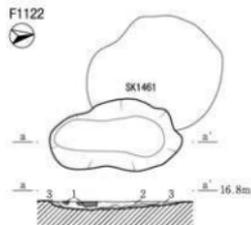
- SK1444
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。小礫を中量、黄褐色シルト (1~5mm) を少量、炭化物 (1~5mm) を微量含む。
 2. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (10~20mm)・砂粒を中量含む。



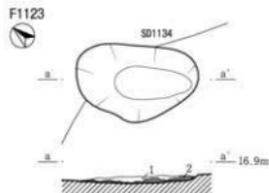
- SK1447
1. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまり強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm) を多量、炭化物 (1~5mm) を少量、粘土 (5~10mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5~10mm)・炭化物 (5~10mm) を中量、粘土 (5~20mm) を少量含む。土師の破片が多く出土。
 3. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。黄褐色シルト (1~5mm)・砂粒を中量、炭化物 (1~5mm) を少量含む。
 4. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルト (1~5mm)・砂粒を中量、炭化物 (5~10mm) を少量含む。
 5. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。灰褐色シルト (1~5mm) を多量、炭化物 (1mm) を少量含む。
 6. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり普通、粘性やや強い。灰褐色シルトを斑状に多量含む。



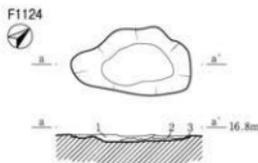
- F1121
1. にぶい赤褐色焼土 (5YR5/3)
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや弱い。粘土 (5~10mm)・炭化物 (2~3mm) を中量含む。地山と混在。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや弱い。



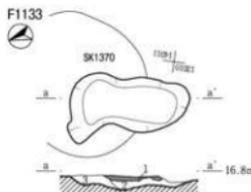
- F1122
1. にぶい赤褐色焼土 (2.5YR5/4) 灰色土ブロック (5~10mm) を少量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい赤褐色焼土ブロック (5~10mm) を中量含む。
 3. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性やや強い。にぶい赤褐色焼土ブロック (1~3mm) を微量含む。



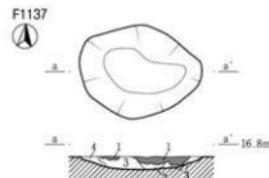
- F1123
1. 灰オリーブ色土 (5Y4/2) しまり強く、粘性弱い。炭化物 (5~10mm) を中量、暗赤褐色焼土 (1~3mm) を微量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰オリーブ色土砂ブロック (10~20mm)・暗赤褐色焼土ブロック (10mm) を中量含む。



- F1124
1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (1~4mm) を中量、炭化物 (2~5mm)・土師砂を少量、暗赤褐色焼土 (1~3mm) を微量含む。
 2. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (3mm) を少量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり強く、粘性やや弱い。灰黄褐色土を中量、炭化物 (1~2mm) を微量含む。

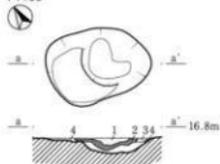


- F1133
1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。暗赤褐色焼土を斑状に多量含む。
 2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。暗赤褐色焼土 (1~3mm) を少量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。暗赤褐色焼土 (1~3mm) を微量含む。



- F1137
1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり普通、粘性やや弱い。暗赤褐色焼土 (3~10mm)・黄褐色シルトブロック (5~10mm) を中量、炭化物 (2~10mm) を微量含む。
 2. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性普通。黄褐色シルトブロック (3~20mm) を中量、暗赤褐色焼土 (2mm) を少量、炭化物 (5mm) を微量含む。
 3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性普通。暗灰黄色シルトブロック (3~10mm) を中量、暗赤褐色焼土 (20~25mm) を少量含む。
 4. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通。暗赤褐色焼土 (3~5mm) を微量含む。

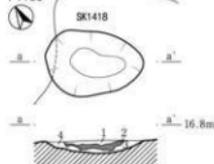
F1138



F1138

1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。暗赤褐色焼土 (5-10mm)・炭化物 (2-10mm) を少量含む。
2. 暗赤褐色焼土 (5YR3/2)。暗灰黄色土ブロック (3-5mm) を中量含む。
3. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い。黄褐色シルトブロック (5-15mm) を中量。暗赤褐色焼土 (2mm) を少量含む。
4. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや強い。暗赤褐色焼土 (10-20mm) を少量含む。

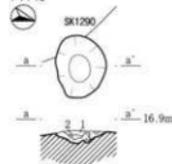
F1139



F1139

1. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。暗赤褐色焼土 (5-10mm)・褐色土ブロック (3mm) を中量。炭化物 (2mm) を微量含む。
2. 暗赤褐色焼土 (5YR3/2)。炭化物 (1-5mm)・黄褐色土ブロック (3-5mm) を少量含む。
3. 灰オリーブ色土 (5Y5/2) しまり普通、粘性やや強い。暗赤褐色焼土 (5-10mm)・炭化物 (3-10mm)・黄褐色シルトブロック (3mm) を少量含む。
4. 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) しまり普通、粘性やや弱い。暗赤褐色焼土 (10mm)・灰オリーブ色土 (5-10mm) を少量含む。

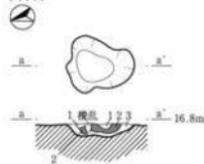
F1143



F1143

1. 灰色土 (5Y5/1) しまりやや強く、粘性普通。炭化物 (5mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通。炭化物 (1-3mm) を微量含む。
3. 灰色土 (5Y5/1) しまり普通、粘性やや弱い。炭化物を微量に多量。暗赤褐色焼土 (3-10mm)・黄褐色土ブロック (5-10mm) を少量含む。

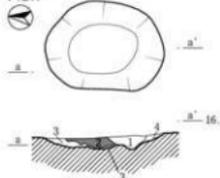
F1144



F1144

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) 目曜類似。しまりやや強。粘性やや弱い。暗赤褐色焼土を深部に多量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通。にふい赤褐色焼土を深部に多量含む。
3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (3-5mm) を微量含む。

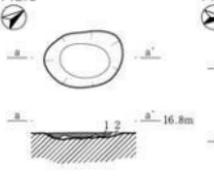
F1217



F1217

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまり普通、粘性やや弱い。炭化物 (2mm)・オリーブ黄色シルトブロック (3-5mm) を中量。暗赤褐色焼土 (2-15mm) を微量含む。
2. 灰黄色砂質土 (10YR4/2) しまり普通、粘性弱い。暗赤褐色焼土 (2-20mm)・オリーブ黄色シルトブロック (3-5mm) を中量含む。
3. オリーブ黄色土 (5Y6/3) しまり強く、粘性普通。暗赤褐色焼土 (10mm) を少量含む。
4. オリーブ黄色土 (5Y6/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。暗灰黄色シルトブロック (5mm) を少量。炭化物 (5mm) を微量含む。

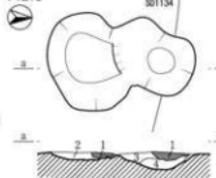
F1218



F1218

1. 灰黄褐色土 (10YR4/2) しまり強く、粘性弱い。暗赤褐色焼土 (5-20mm)・オリーブ黄色シルトブロック (7-30mm) を中量含む。
2. オリーブ黄色土 (5Y6/3) しまりやや弱く、粘性普通。暗赤褐色焼土ブロック (15mm) を中量含む。

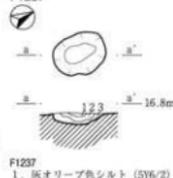
F1219



F1219

1. にふい赤褐色焼土 (5YR4/3)。灰黄色土ブロック (5mm)・炭化物 (1-2mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通。にふい赤褐色焼土 (3-5mm) を少量含む。
3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性普通。灰黄色土ブロック (5-10mm) を少量。炭化物 (1-2mm) を微量含む。
4. 黄褐色土 (2.5Y5/4) しまりやや強く、粘性やや強い。灰オリーブ色土ブロック (3-10mm) を少量。炭化物 (1-2mm) を微量含む。

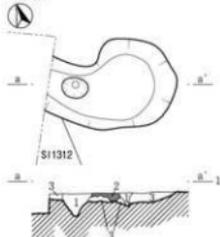
F1237



F1237

1. 灰オリーブ色シルト (5Y6/2) しまり普通。粘性普通。黄褐色シルトブロック (5-20mm) を多量。炭化物 (1-2mm) を微量含む。
2. 黄褐色シルト (2.5Y6/1) しまりやや強。粘性やや弱い。暗赤褐色土ブロック (10-30mm) を多量。暗赤褐色焼土 (3-5mm)・炭化物 (3-15mm) を中量。灰オリーブシルトブロック (3-5mm) を少量含む。
3. 灰オリーブシルト (5Y6/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルトブロック (1-3mm) を少量。炭化物 (1-3mm) を微量含む。

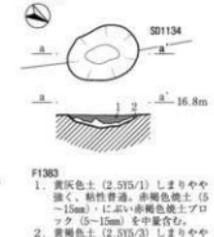
F1316



F1316

1. 灰褐色土 (7.5YR4/2) しまり普通、粘性普通。暗赤褐色焼土 (5-10mm) を中量。炭化物 (1-3mm) を少量含む。
2. にふい赤褐色焼土 (5YR4/3) しまり普通、粘性やや弱い。灰黄色土ブロック (5mm) を中量。炭化物 (3-10mm) を少量含む。
3. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや強く、粘性やや強い。炭化物 (1-2mm) を微量含む。

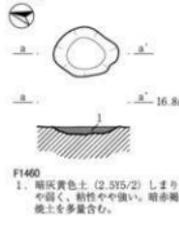
F1383



F1383

1. 黄灰色土 (2.5Y5/1) しまりやや強く、粘性普通。暗赤褐色焼土 (5-15mm) にふい赤褐色焼土ブロック (5-15mm) を中量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまりやや弱く、粘性やや強い。暗赤褐色焼土 (3-5mm)・炭化物 (3mm) を少量含む。

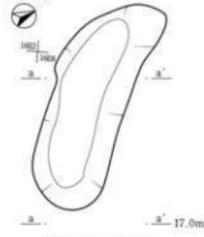
F1460



F1460

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや弱く、粘性やや強い。暗赤褐色焼土を多量含む。

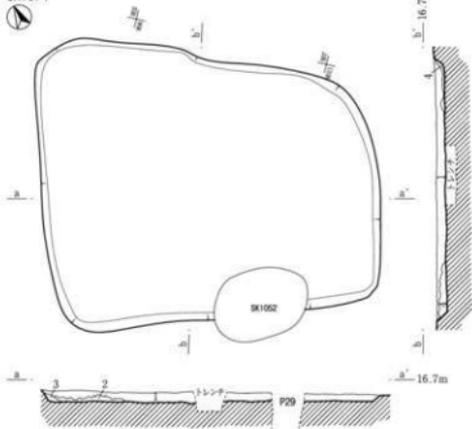
SX1068



SX1068

1. 暗灰黄色土 (2.5Y5/2) しまりやや強く、粘性普通。灰黄色土を深部に少量。炭化物 (1-5mm) を微量含む。
2. 黄褐色土 (2.5Y5/3) しまり普通、粘性やや強い。灰黄色土ブロック (3-5mm) を微量含む。

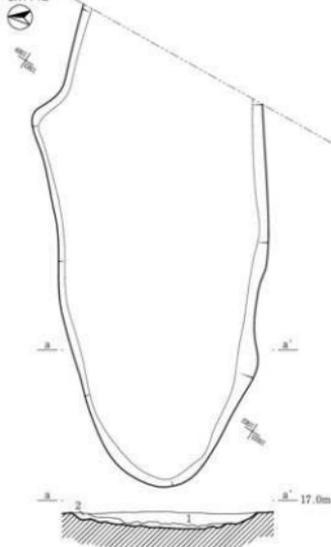
SX1074



SX1074

1. 灰黄褐色土 (10795/2) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5-10mm) を中量、炭化物 (1-5mm) を少量含む。
2. 黄褐色土 (2.525/3) しまりやや強く、粘性強い。黄褐色シルト (5-10mm) を多量含む。炭化物 (1-5mm) を微量含む。
3. 黄褐色土 (2.525/4) しまりやや強く、粘性強い。炭化物 (1-5mm) を微量含む。
4. 黄褐色土 (2.525/3) しまりやや強く、粘性やや強い。黄褐色シルト (5-10mm) を多量含む。

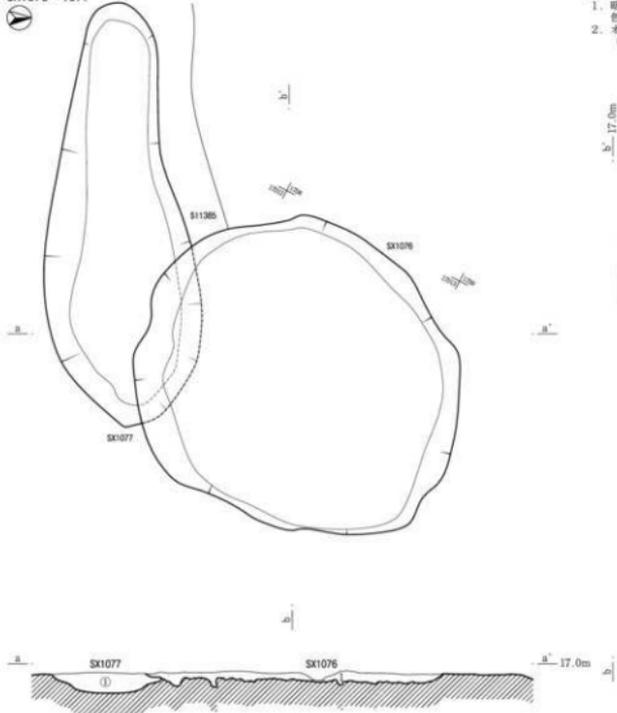
SX1112



SX1112

1. 暗灰黄色土 (2.525/2) しまりやや強く、粘性やや弱い。灰色土 (3mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。
2. オリーブ褐色土 (2.524/3) しまり強く、粘性普通。灰色土 (1-2mm) を微量含む。堆山 (V層) に類似。

SX1076・1077

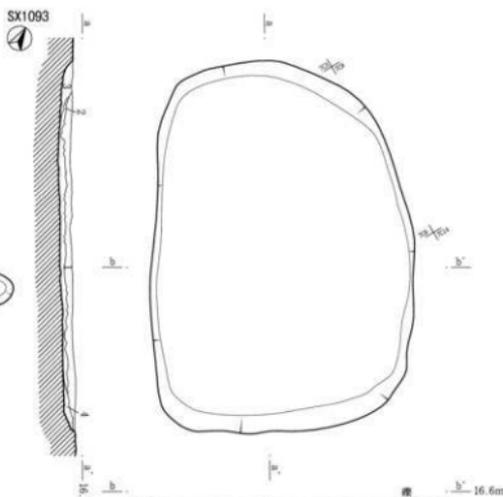
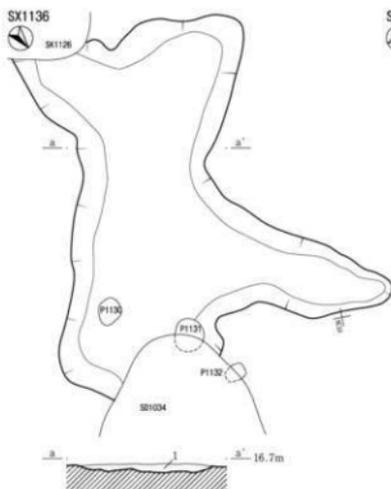


SX1076

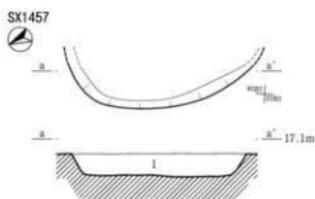
1. 褐色土 (10794/4) しまり強く、粘性やや強い。灰色土ブロックを数珠状に少量、炭化物 (1-5mm) を微量含む。

SX1077

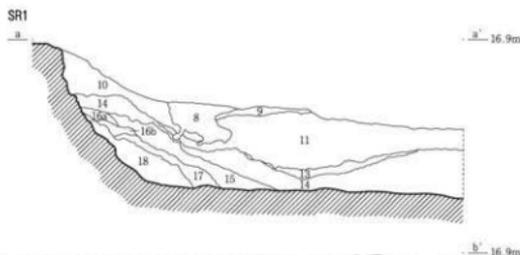
- (1) 濃い黄褐色土 (10794/2) しまり強く、粘性やや強い。灰色土ブロックを数珠状に少量、炭化物 (1-2mm) を微量含む。



SX1136
 1. 灰黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや強く、粘性やや強い、黄褐色シルト (1~5mm) を中量、炭化物 (1~10mm)・灰色シルト (1~5mm)・小礫を少量、焼土 (1~5mm) を微量含む。



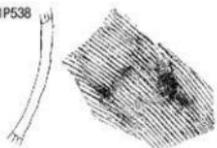
SX1457
 1. におい黄褐色土 (10YR5/2) しまりやや弱く、粘性やや弱い、灰褐色シルトブロック (1~5mm) を少量、炭化物 (1~10mm) を微量含む。



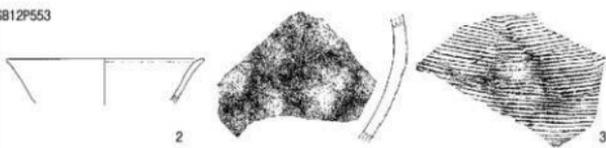
SR1
 1. 灰黄色砂質土 (2.5Y4/1) しまり強く、粘性弱い、灰色土ブロック (5~10mm) を微量含む。互層に類似。
 2. 灰色砂質土 (5Y5/1) しまり強く、粘性弱い、灰黄褐色土ブロック (5~10mm)、炭化物 (2mm) を微量含む。互層に類似。
 3. 灰色砂質土 (5Y6/1) しまり強く、粘性弱い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。互層に類似。
 4. 灰色砂質土 (5Y5/1) しまり強く、粘性弱い。互層に類似。
 5. 灰色砂質土 (5Y6/1) しまり強く、粘性弱い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。互層に類似。
 6. 灰色砂質土 (5Y4/1) しまりやや強く、粘性やや強い、灰黄褐色土ブロック (5mm) を微量含む。互層に類似。
 7. 灰黄色砂質土 (2.5Y6/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、炭化物 (1~5mm) を少量含む。互層に類似。
 8. 灰色砂 (5Y4/1) しまり強く、粘性弱い、灰黄褐色土ブロック (3~5mm) を微量含む。互層に類似。
 9. 灰オリーブ色砂質土 (5Y6/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
 10. 灰オリーブ色砂質土 (5Y6/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量含む。
 11. 灰色砂 (5Y6/1) しまり強く、粘性弱い。黄褐色土ブロック (3~5mm) を微量含む。
 12. 灰オリーブ色砂質土 (5Y6/2) しまりやや強く、粘性やや弱い、黄褐色土ブロック (3~5mm) を少量、炭化物 (1mm) を微量含む。
 13. 灰色砂質土 (5Y6/1) しまり強く、粘性弱い、灰黄褐色土ブロック (5mm) を微量含む。
 14. 灰オリーブ色砂質土 (5Y6/2) しまり強く、粘性弱い、灰色土ブロック (5mm) を微量含む。
 15. 灰色砂礫 (5Y4/1) しまり強く、粘性弱い。
 16. 灰黄色砂質土 (2.5Y6/2) しまり強く、粘性弱い。
 17. 黄灰色砂質土 (2.5Y4/1) しまりやや強く、粘性弱い、炭化物 (1~2mm) を微量含む。鉄分が比着する。
 18. 灰オリーブ色砂質土 (5Y6/2) しまり強く、粘性弱い、炭化物 (1mm) を微量含む。

0 (1:50) 2.5m

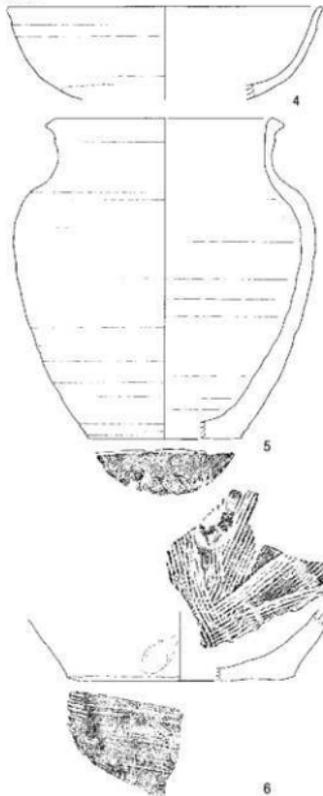
SB11P538



SB12P553



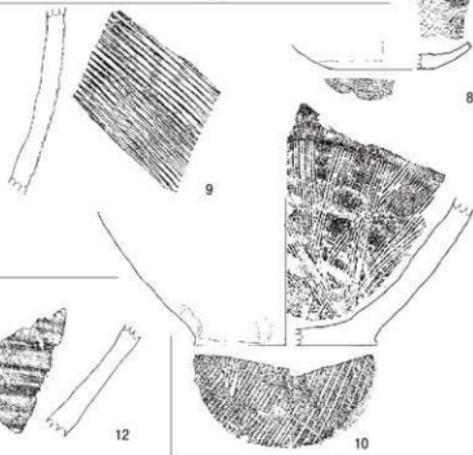
SE186



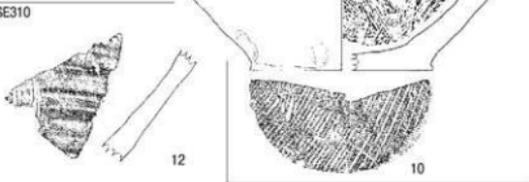
SE216



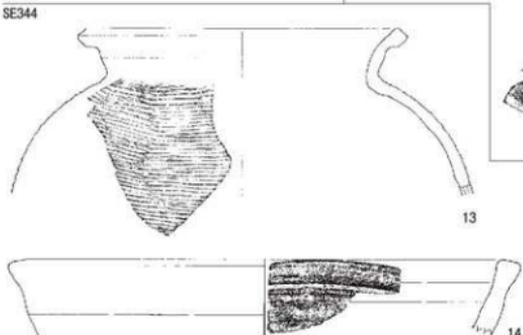
SE217



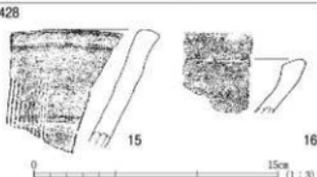
SE310



SE344



SE428



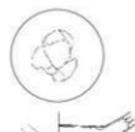
0 15cm (1:3)

SE439



17

SE789



18

19

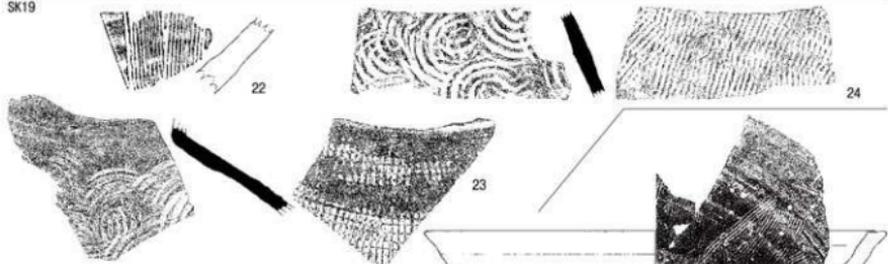
SK17



20

21

SK19



22

24

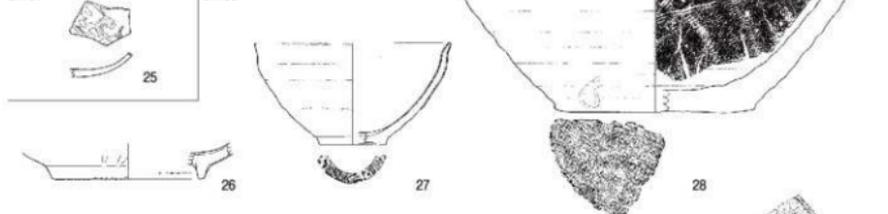
23

SK101



25

SK139

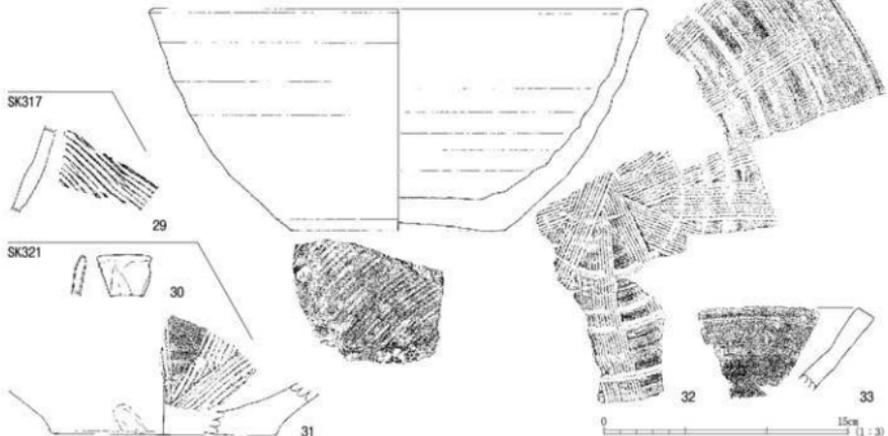


26

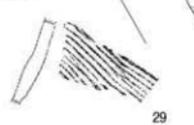
27

28

SK815

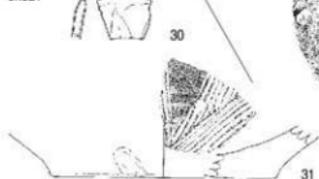


SK317



29

SK321



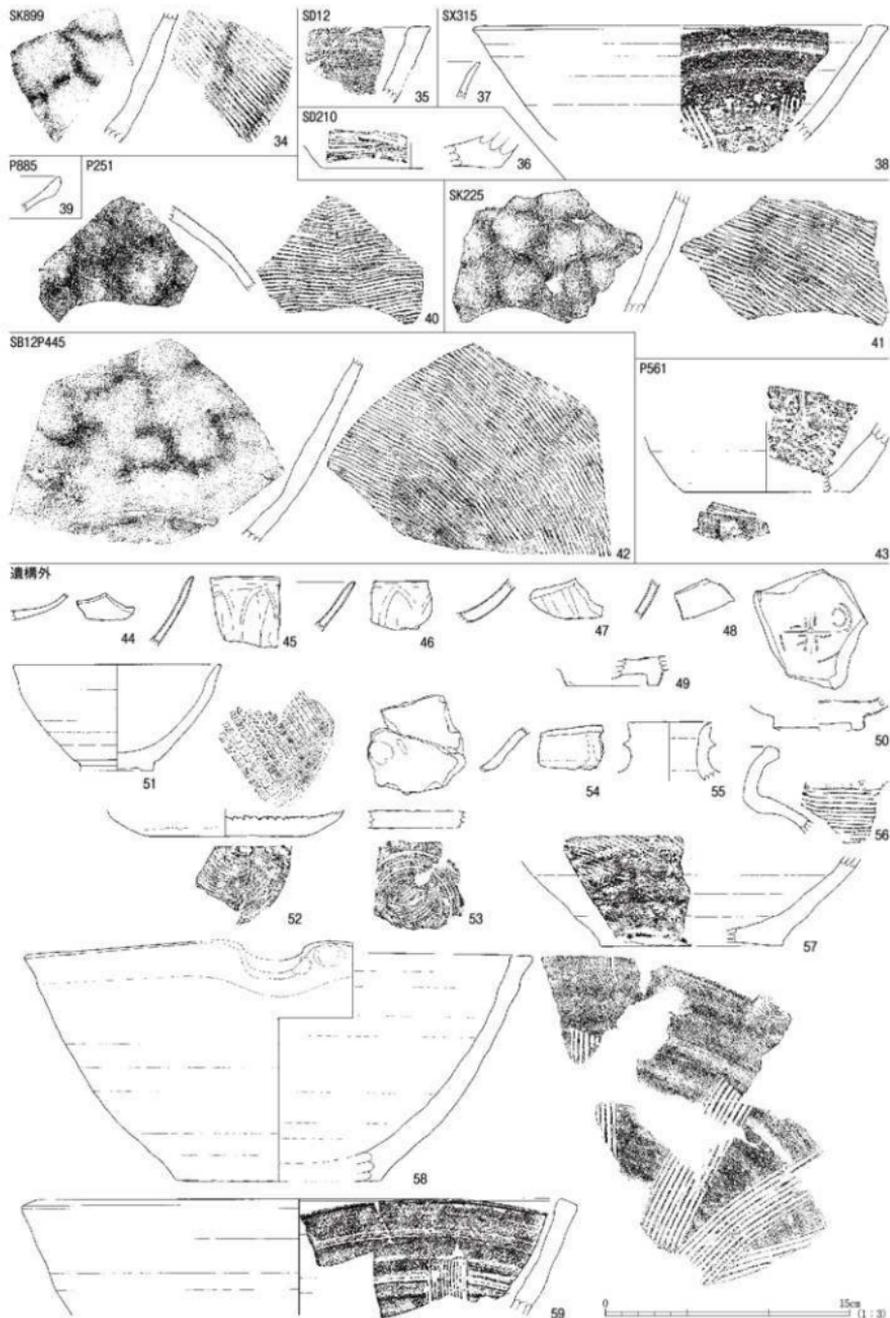
30

31

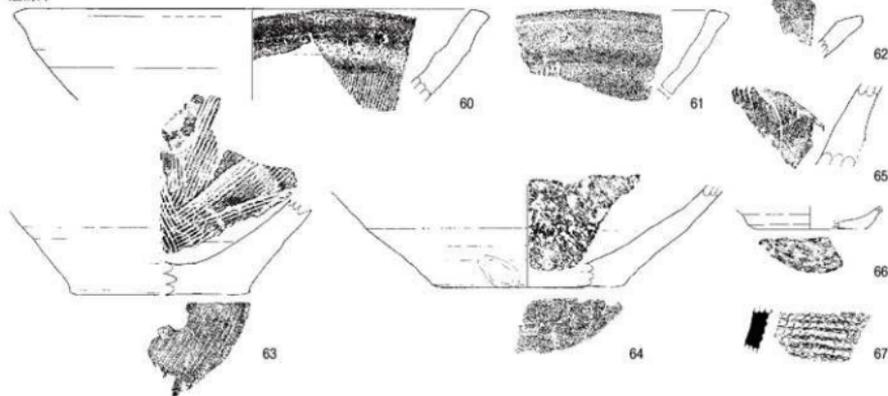
32

33

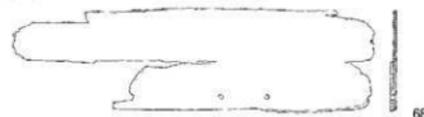
0 15cm (1:3)



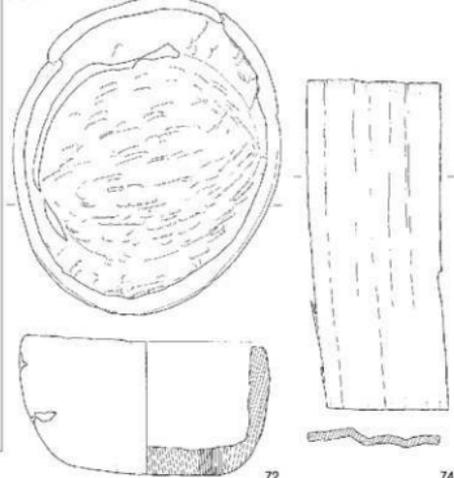
遺構外



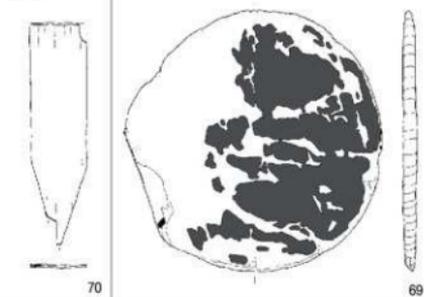
SE49



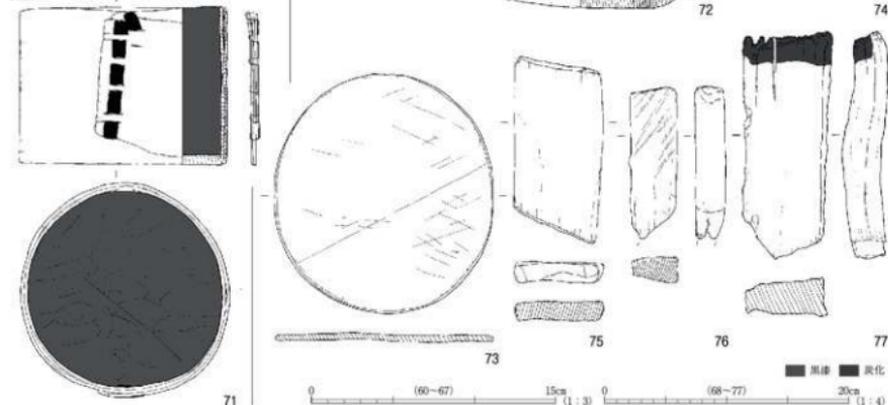
SE310



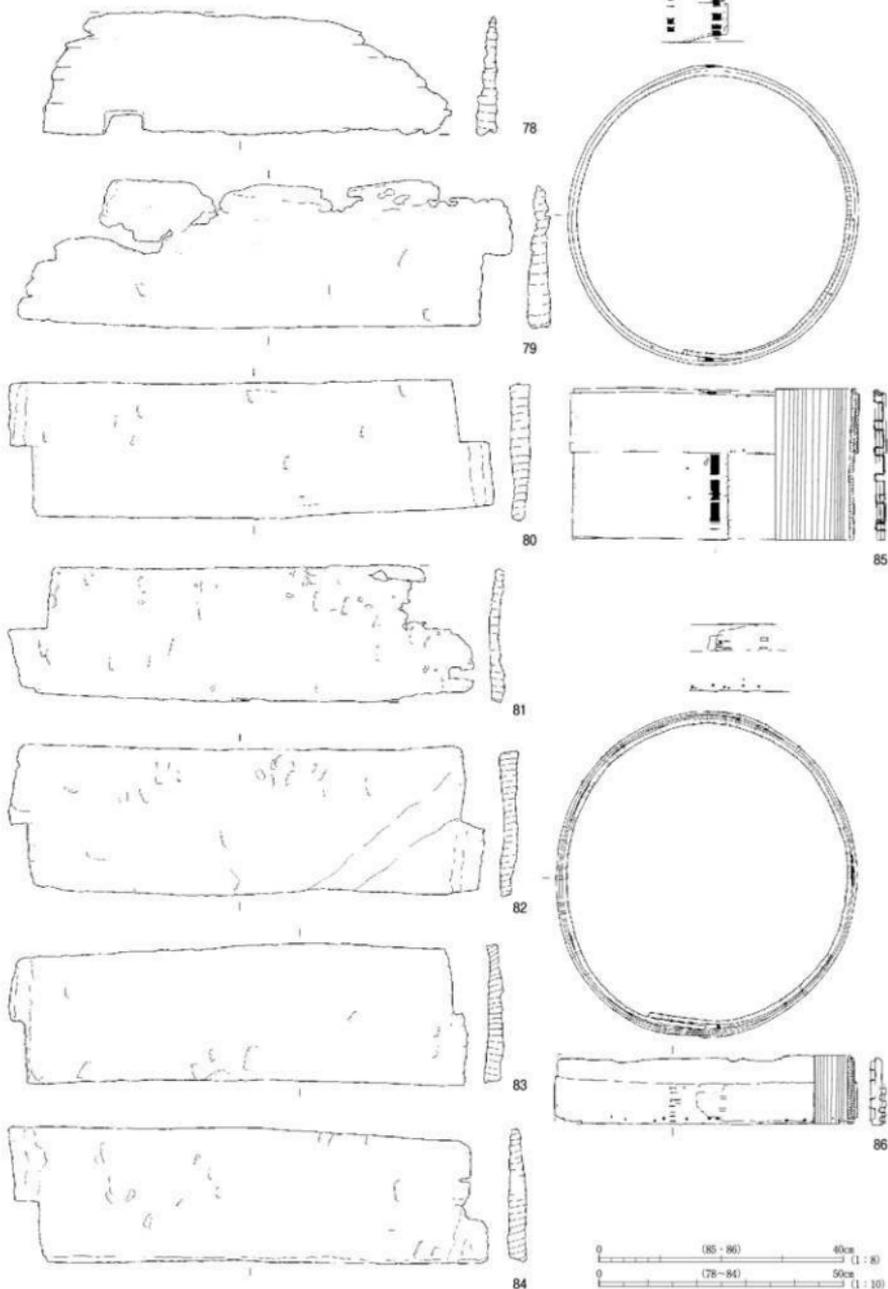
SE102



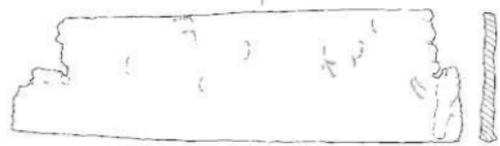
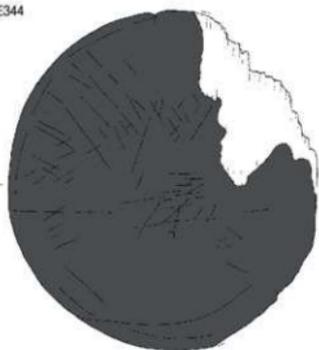
SE217



SE310



SE344



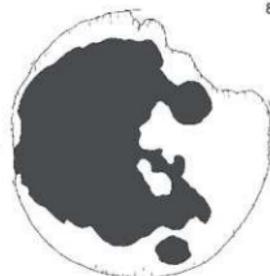
93



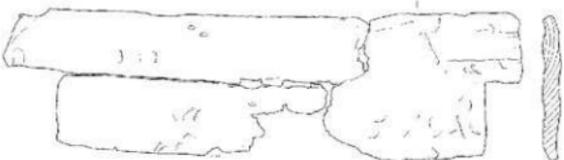
94



87



95



96



88



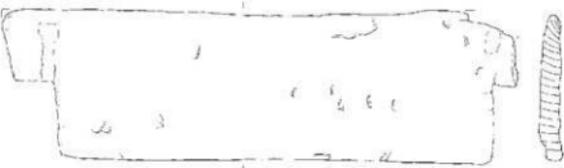
89



90



97

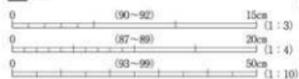


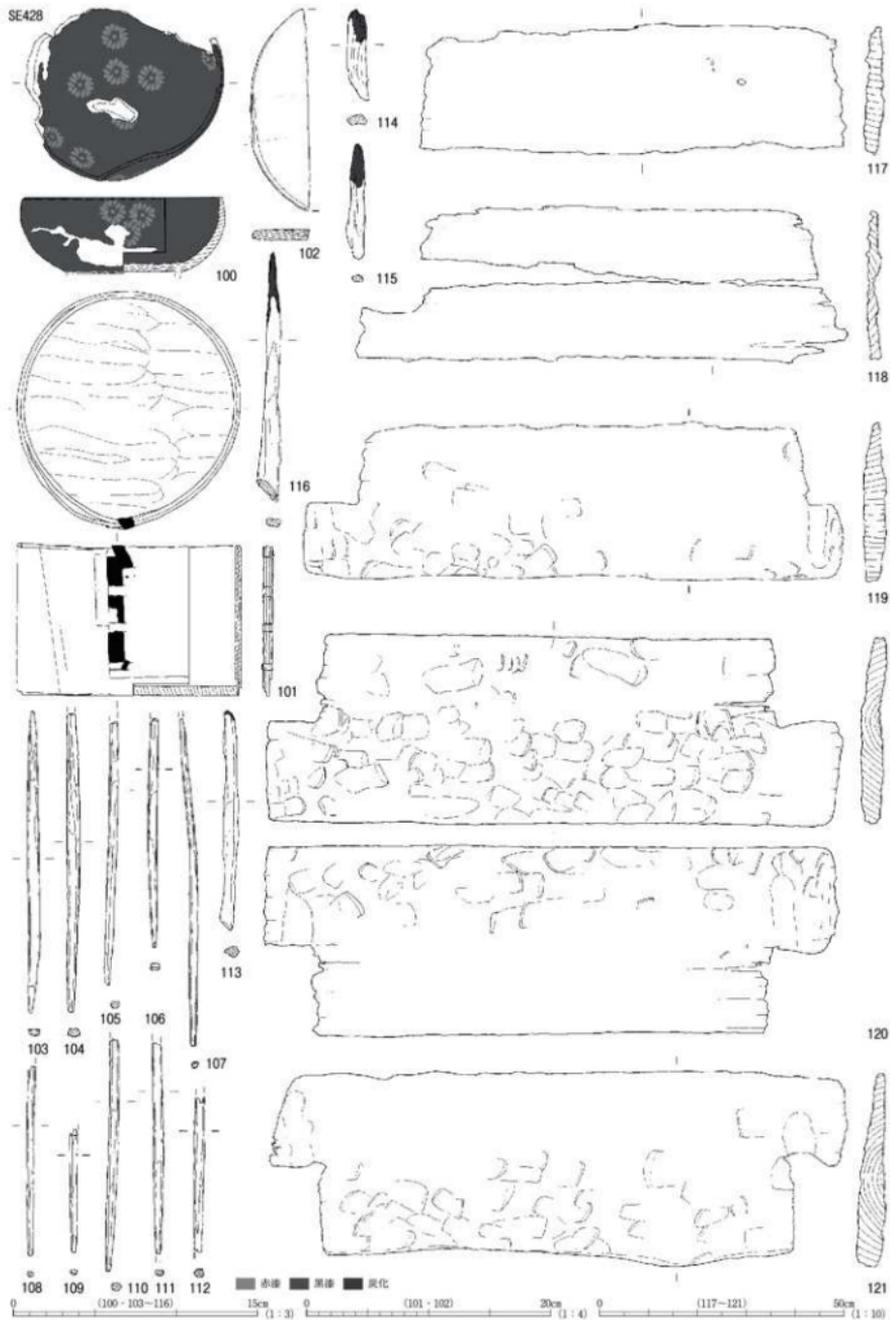
98



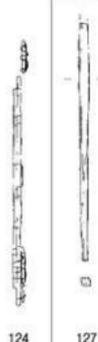
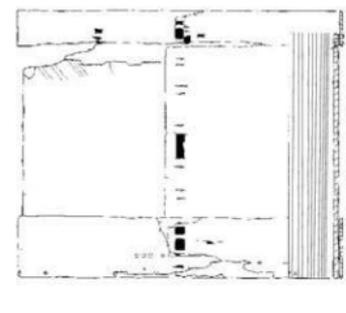
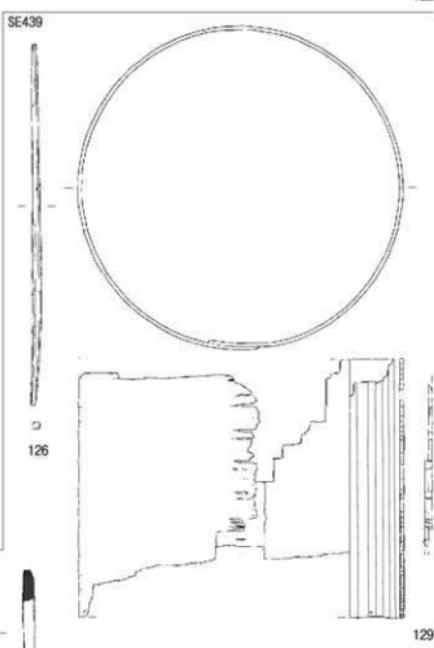
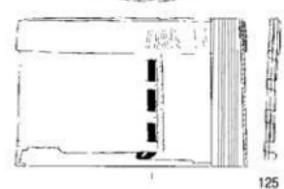
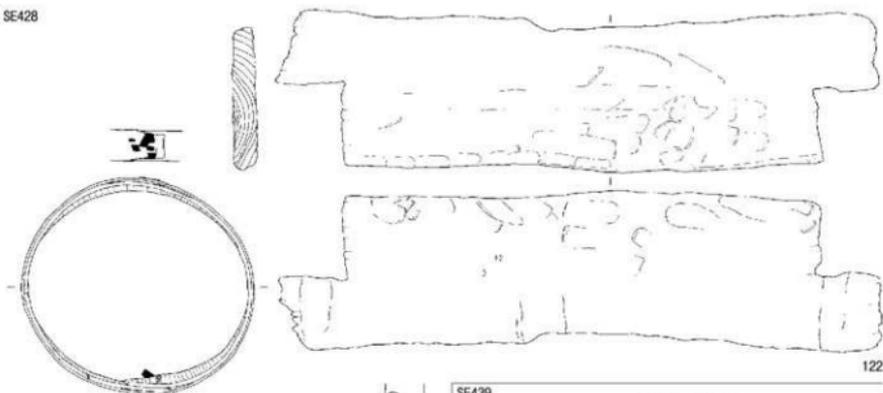
99

■ 黒漆



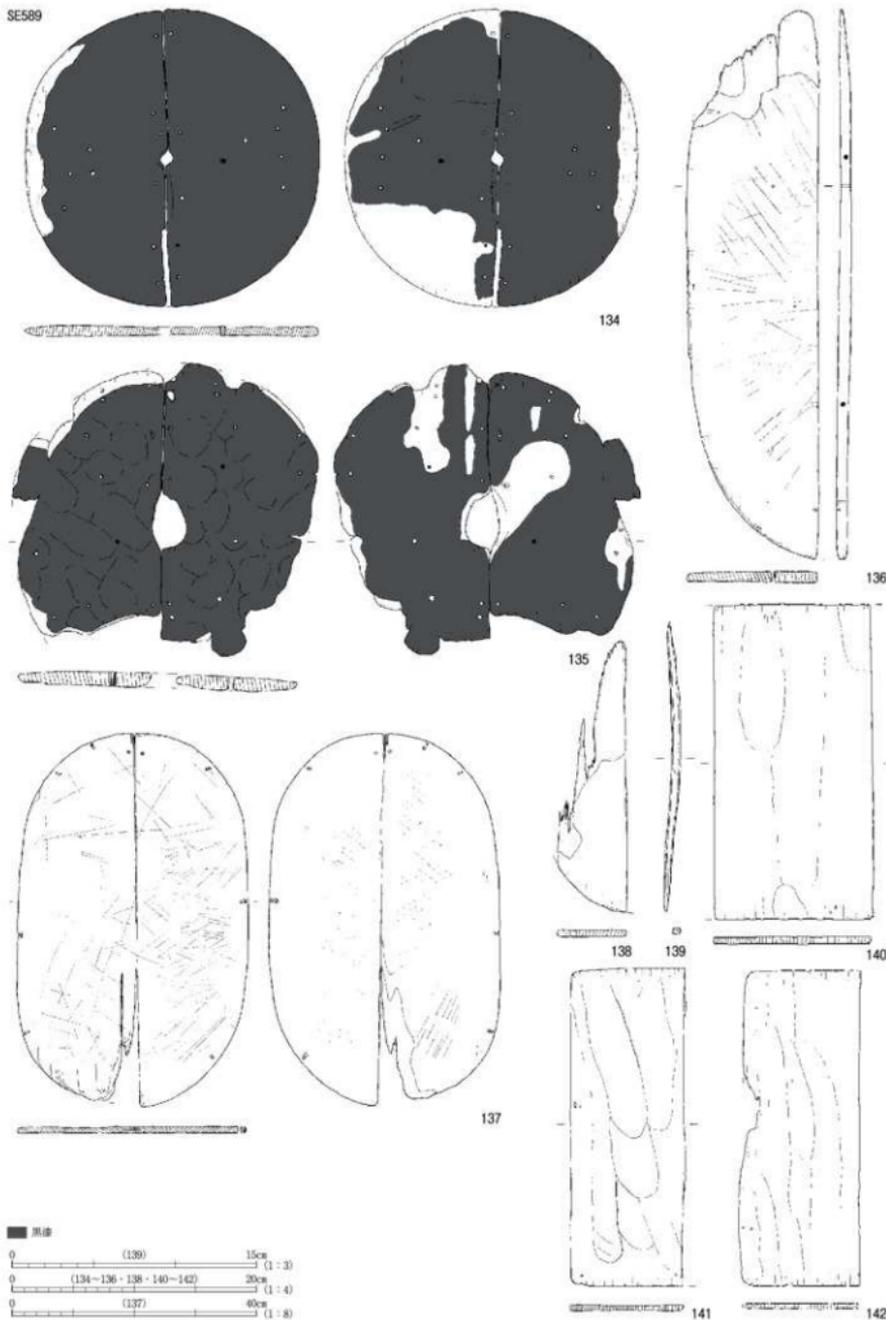


SE428

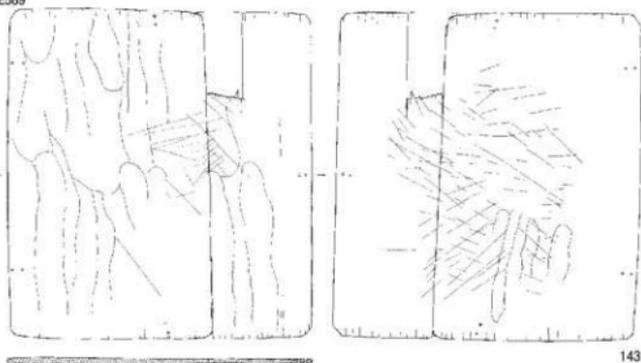


■ 赤漆 ■ 黒漆 ■ 炭化

0 15cm (126-133) (1:3) 0 (123-125・129) 40cm (1:8) 0 90cm (122) 90cm (1:10)



SE589



143

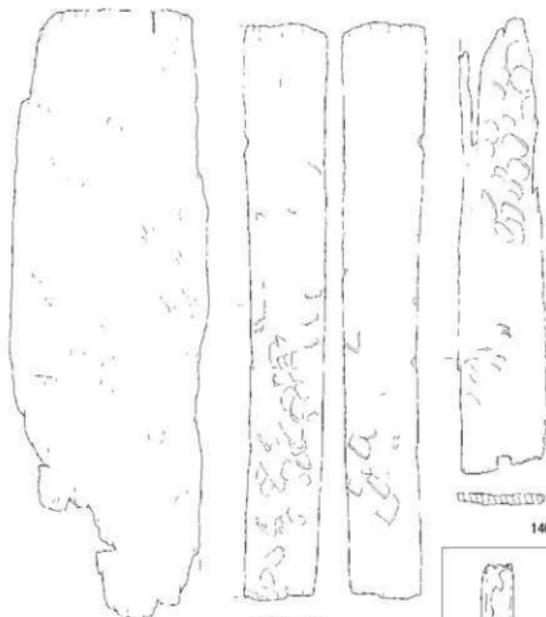


147



148

149



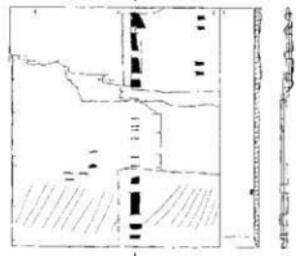
144

145

146



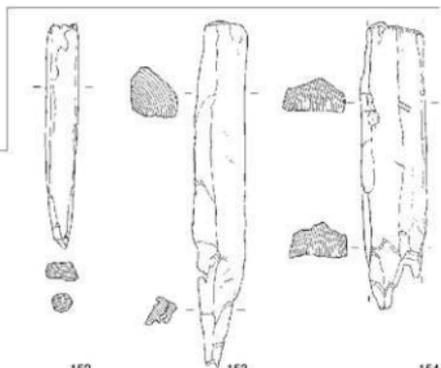
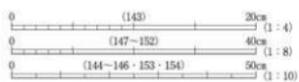
150



SE784



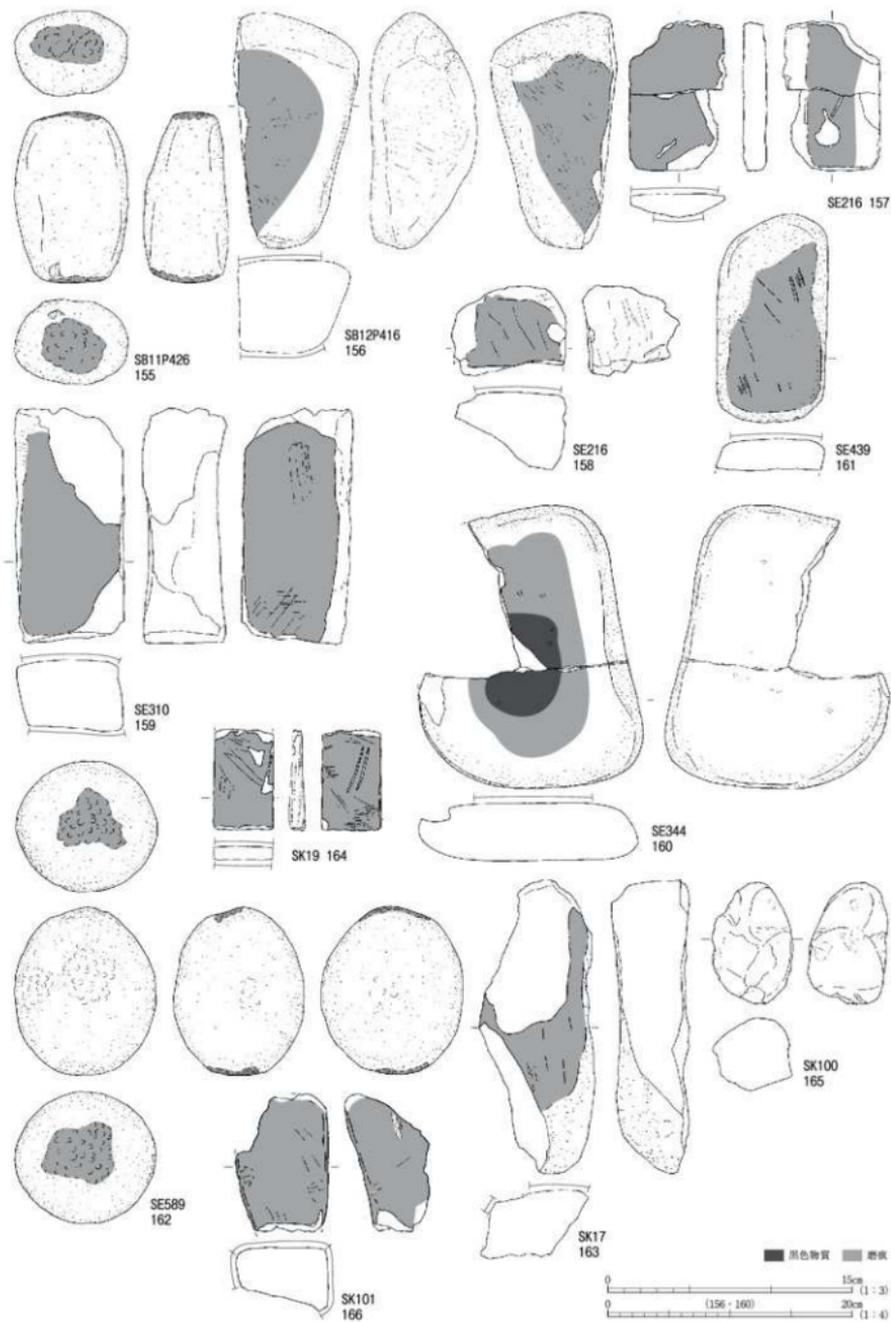
151

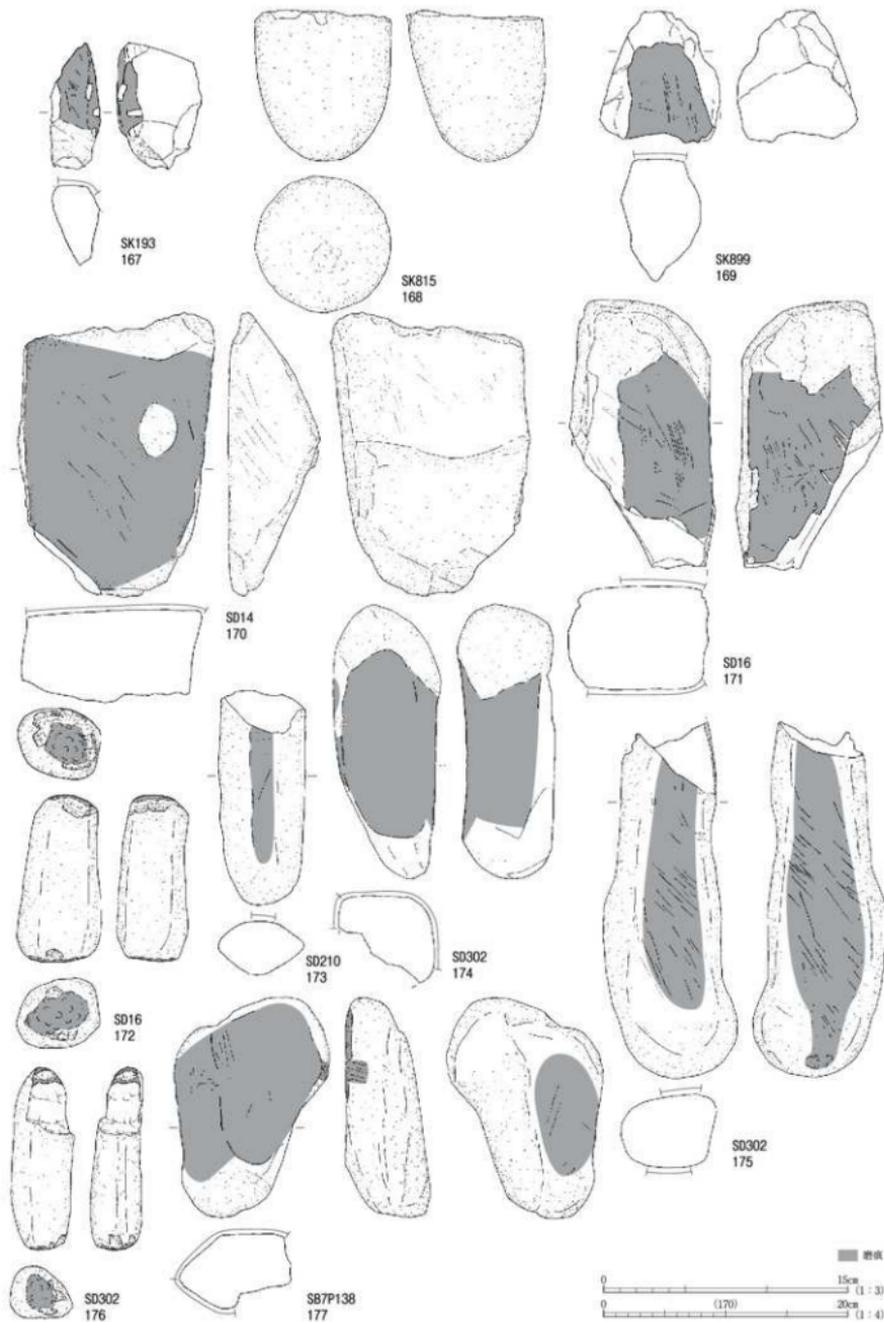


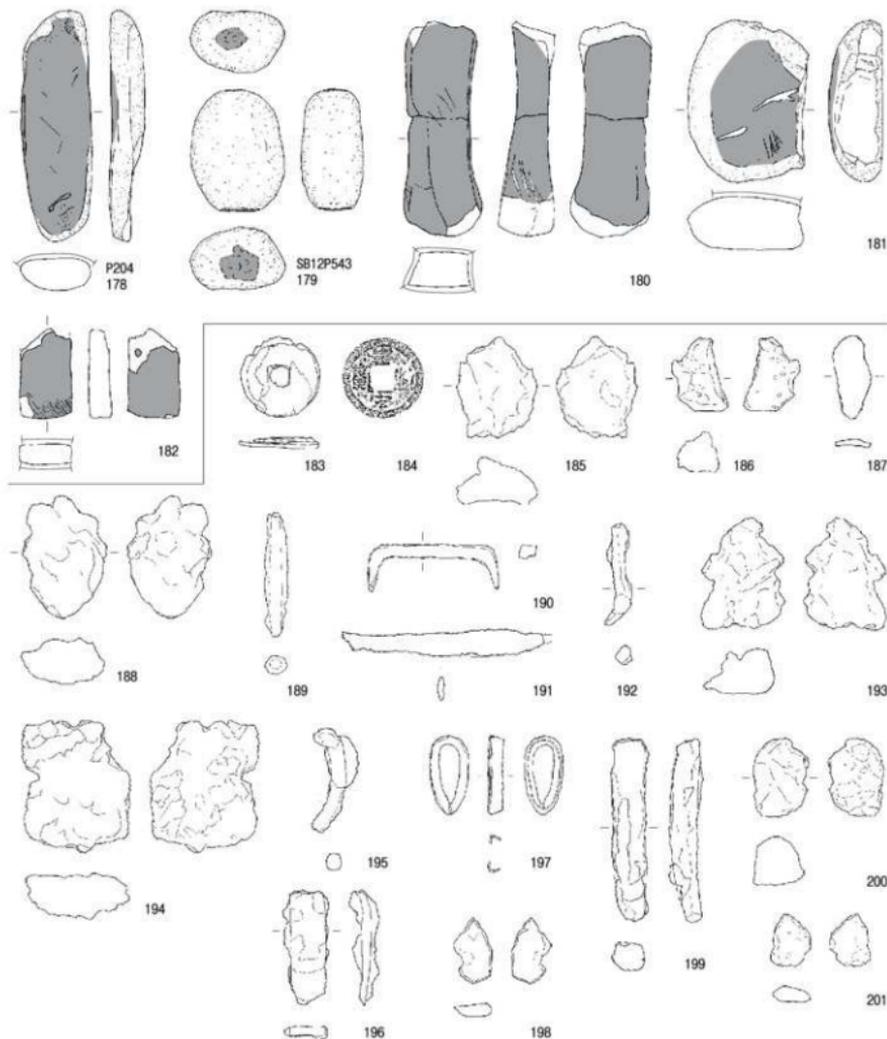
152

153

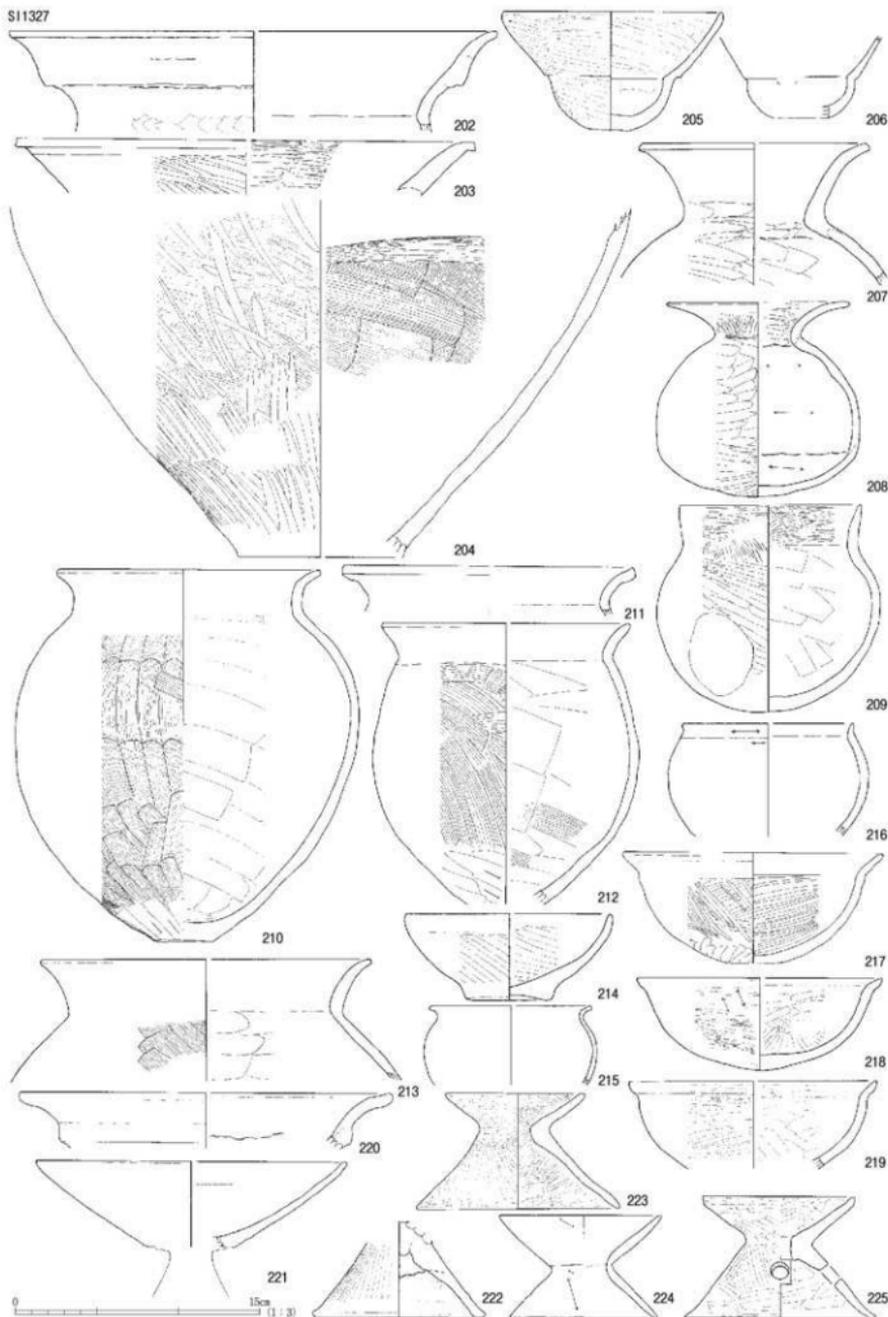
154

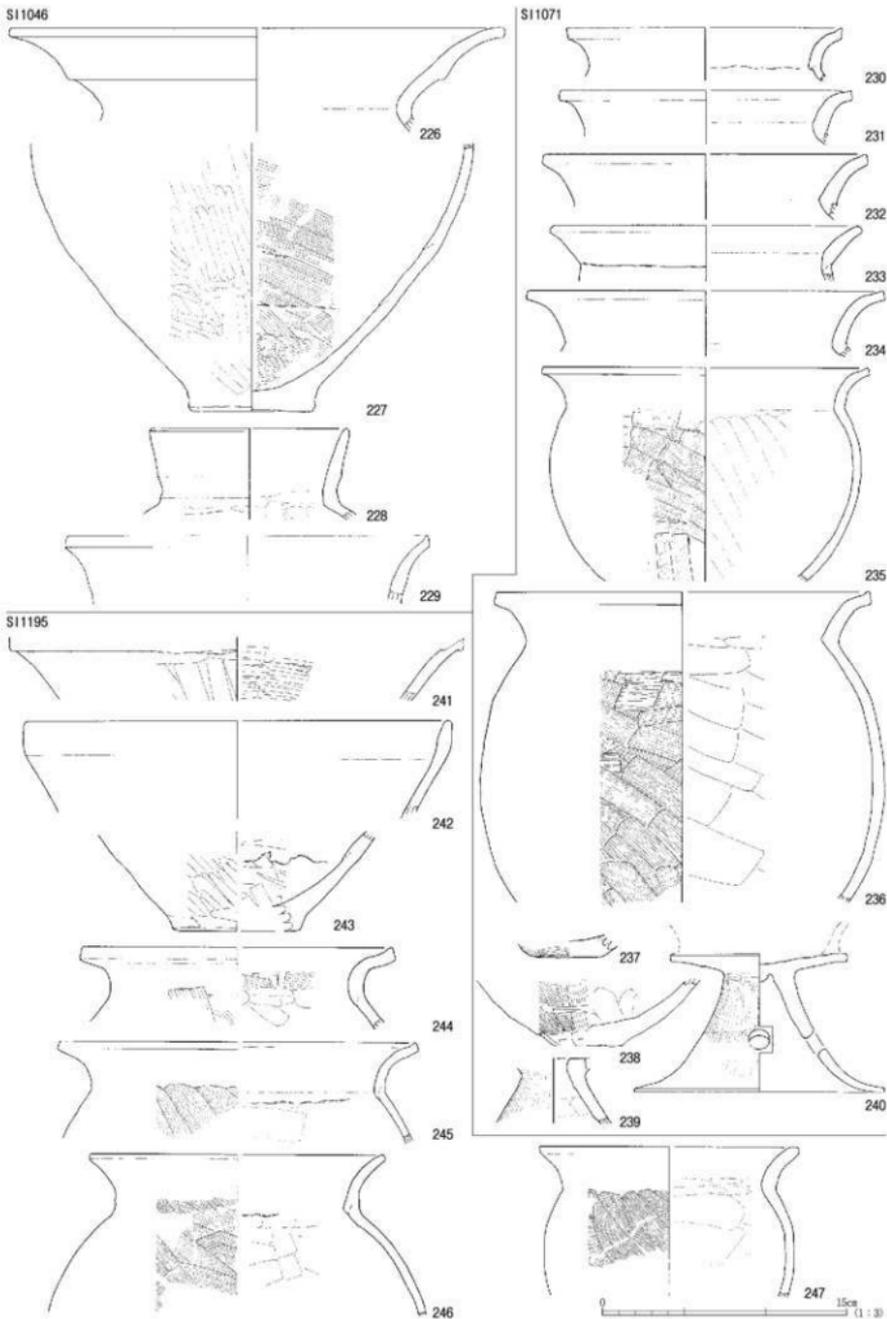




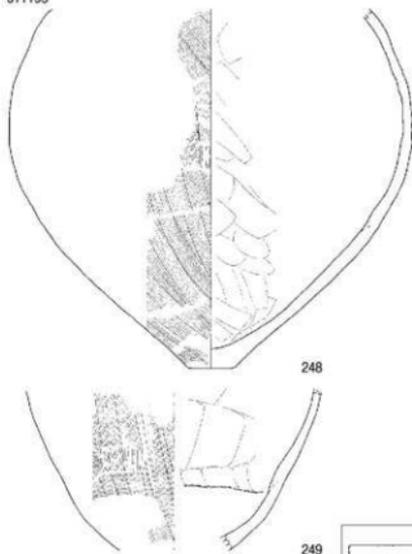


S11327





S11195



248

249



250

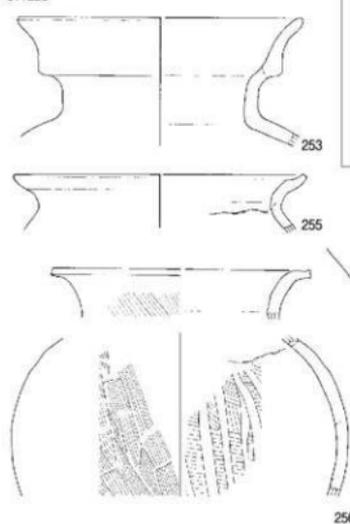


251



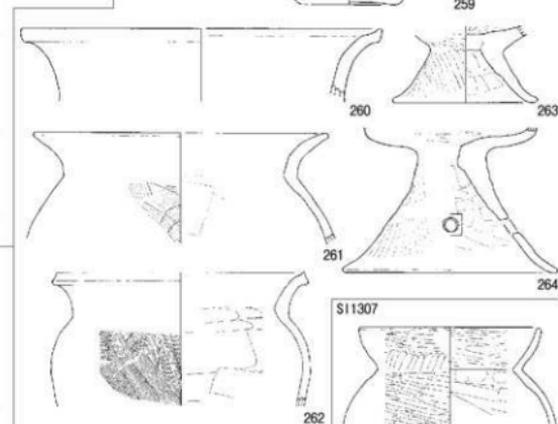
252

S11223



253

255



S11294

258

259

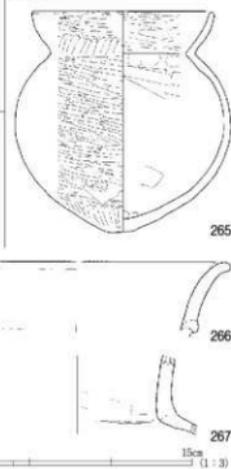
260

263

261

264

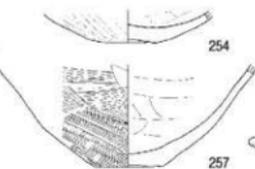
S11307



265

266

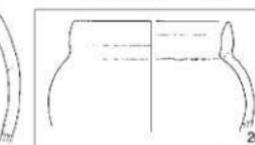
267



254



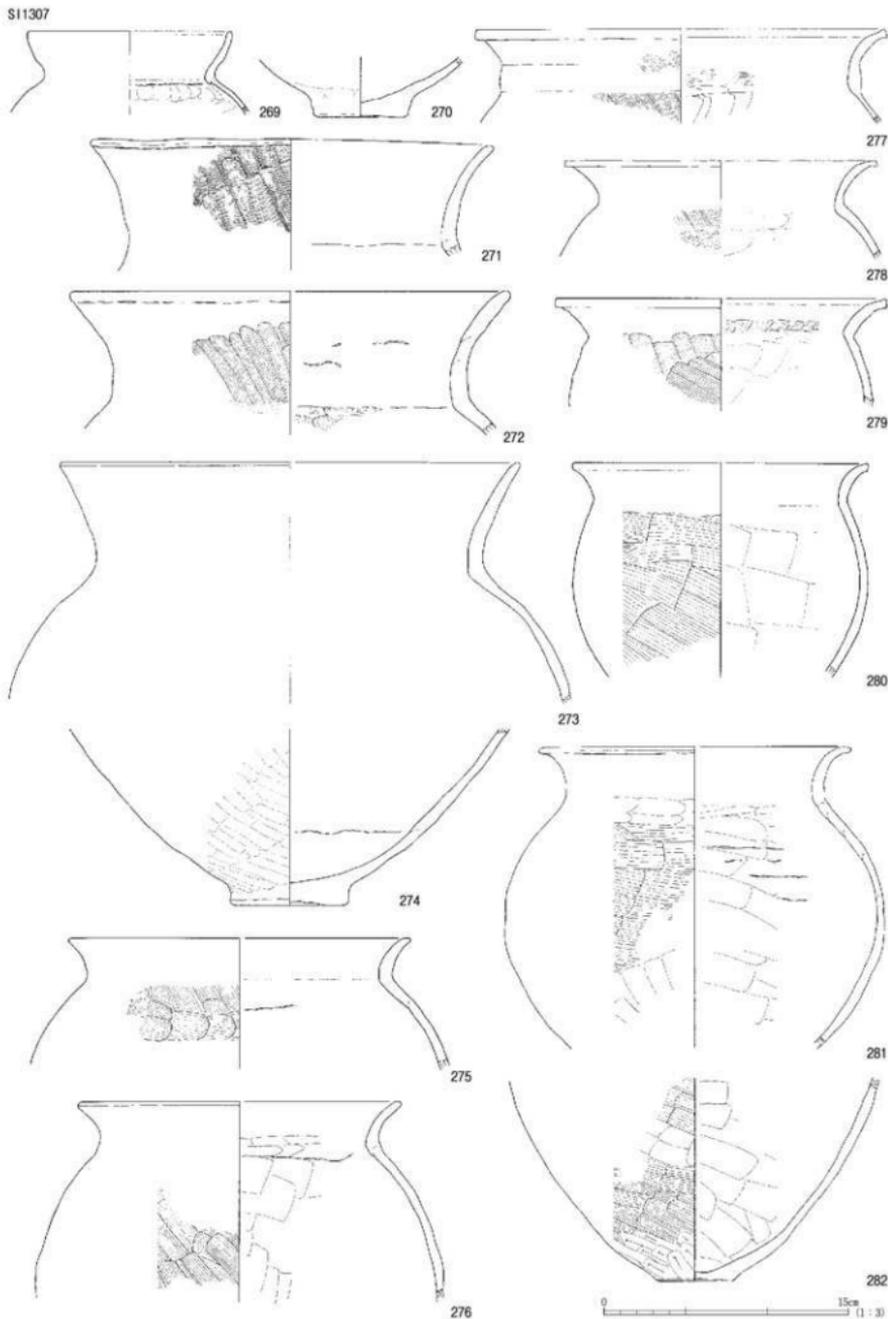
257



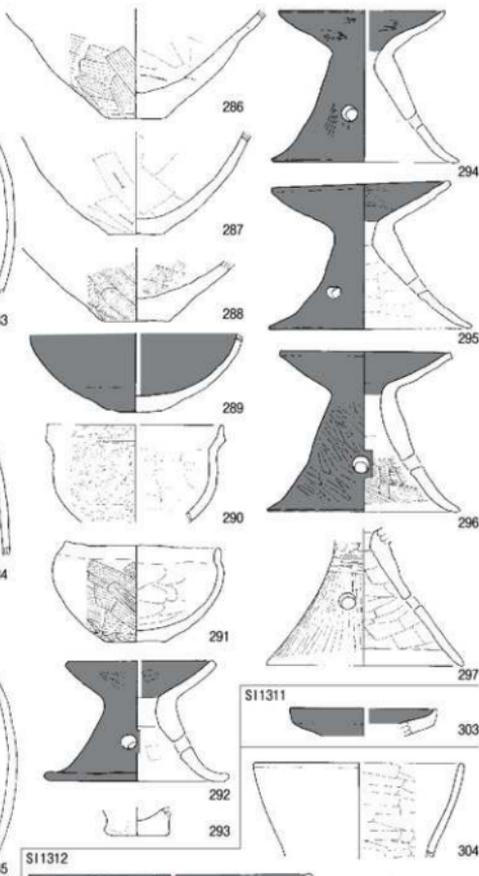
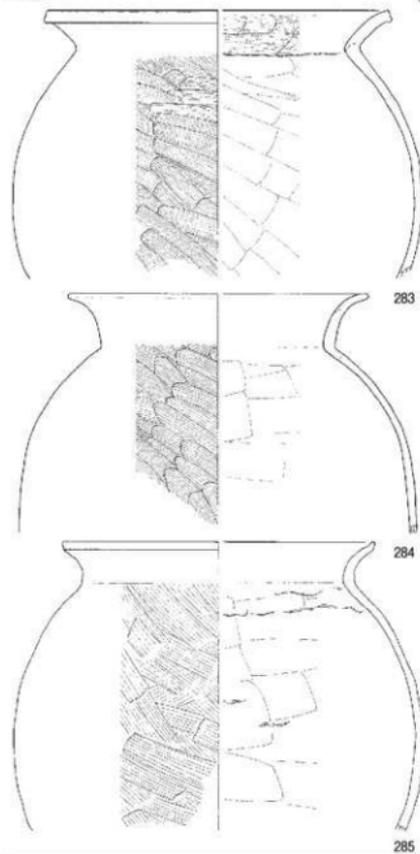
262

268

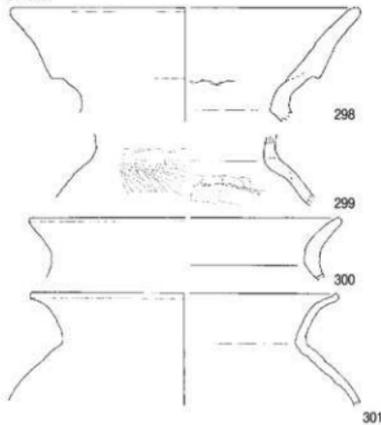
0 15cm (1:3)



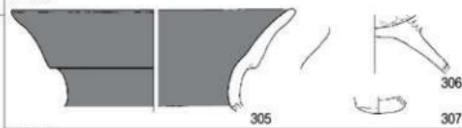
S11307



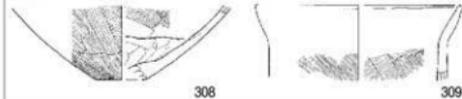
S11310



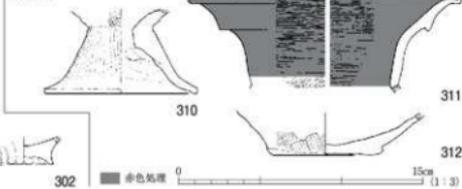
S11312

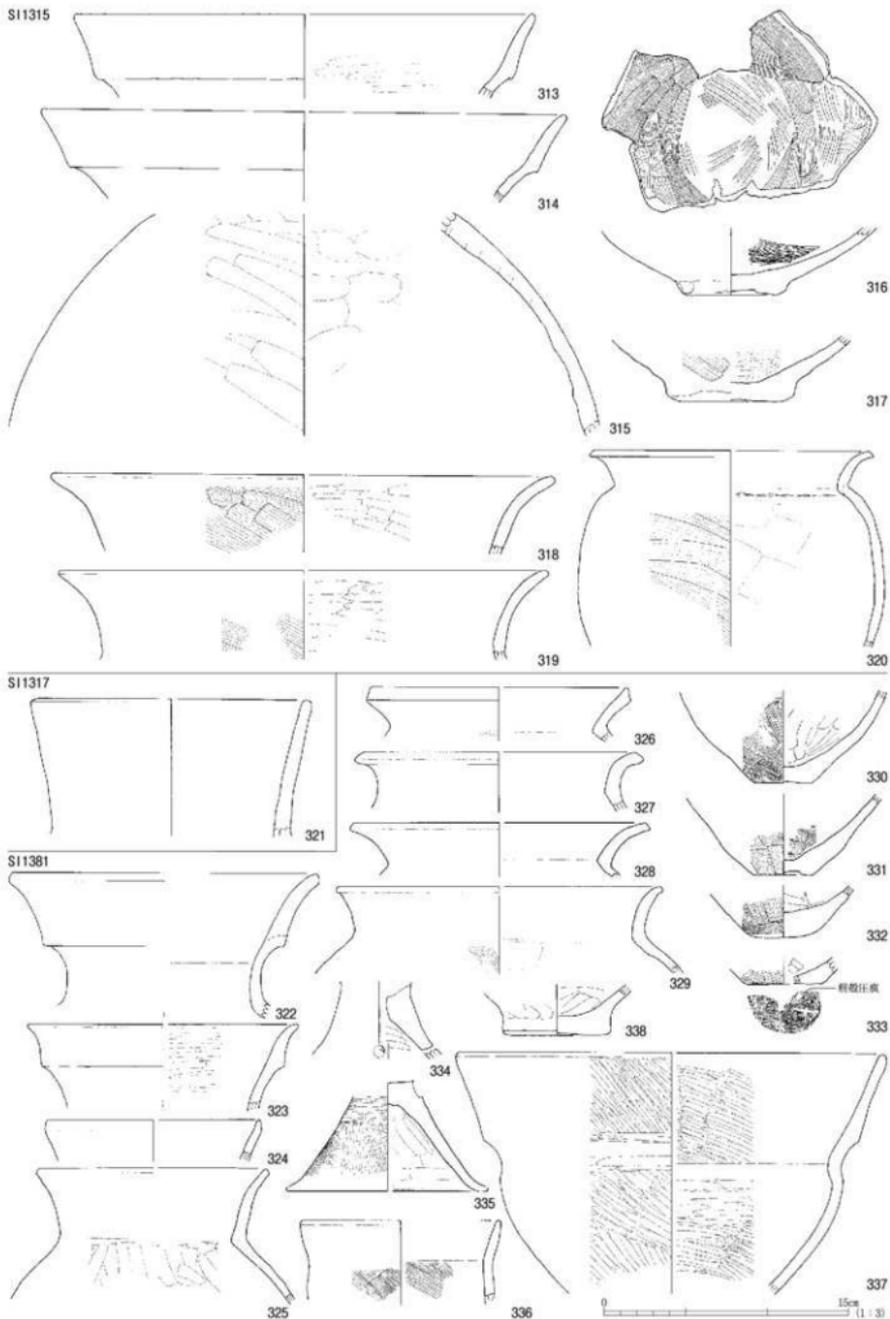


S11314

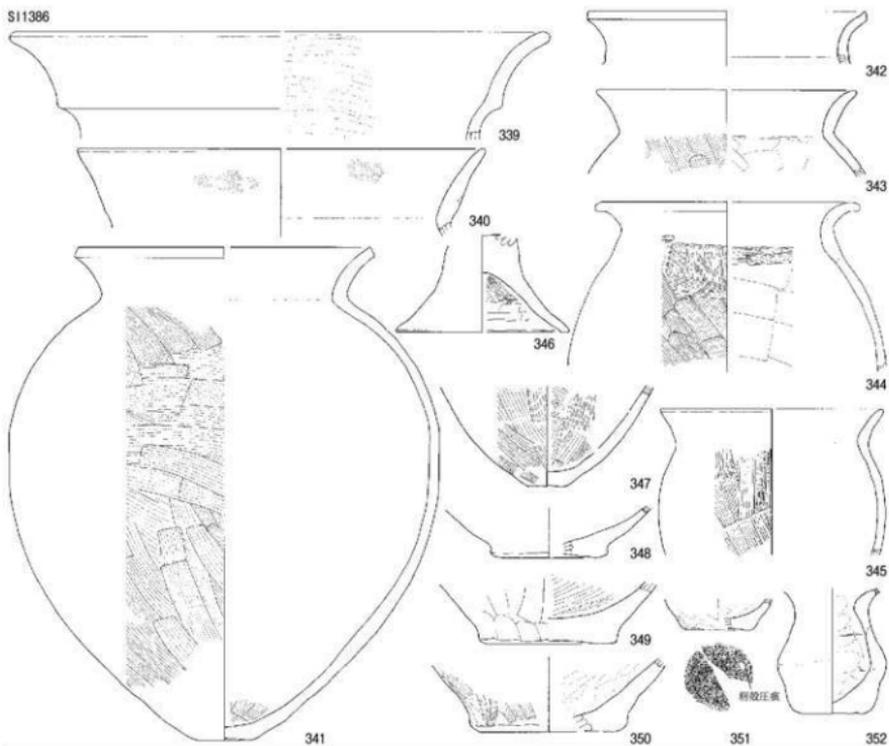


S11315

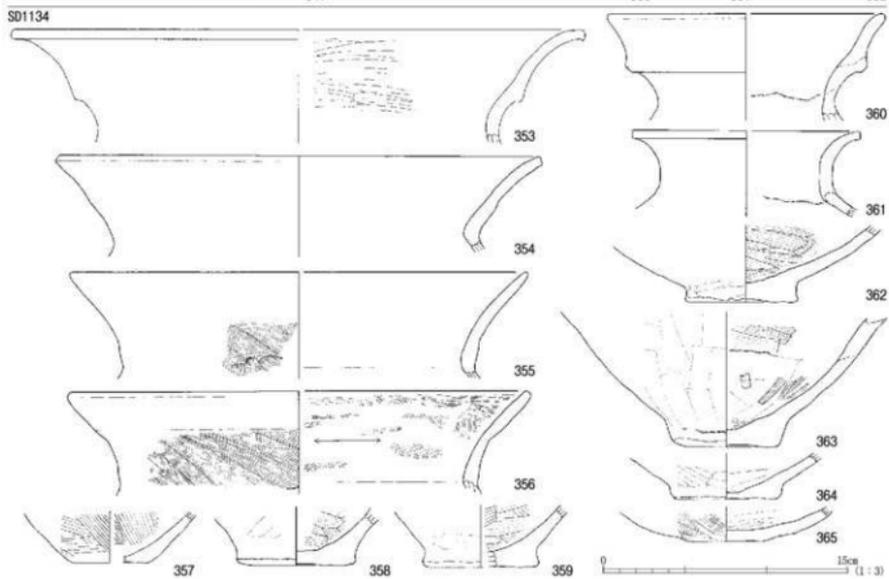


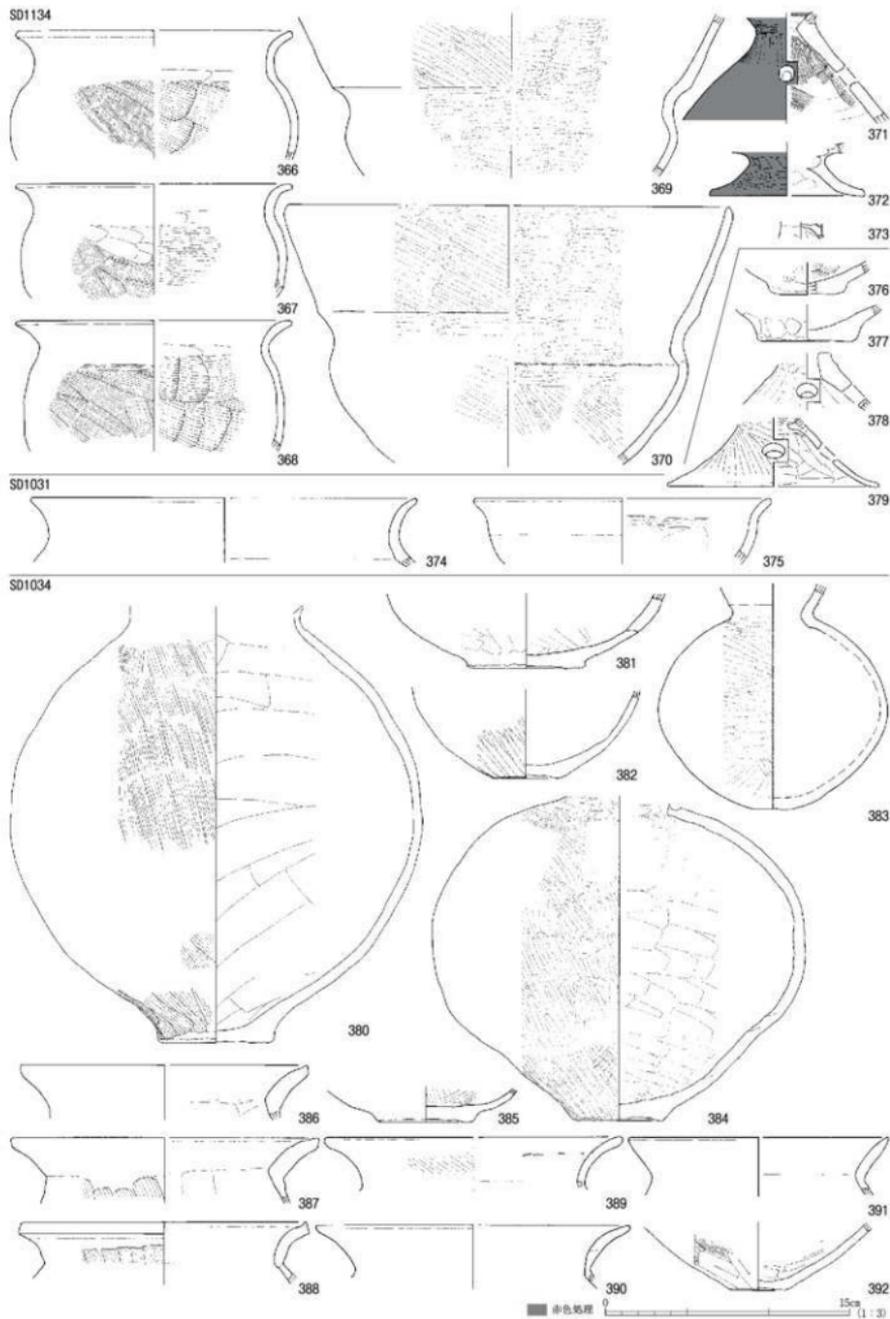


SI1386

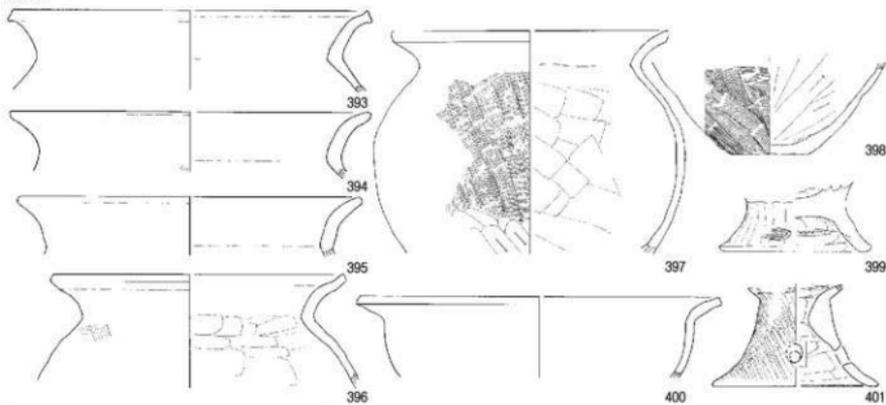


SD1134

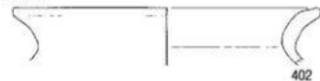




SD1034



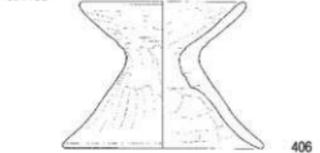
SD1053



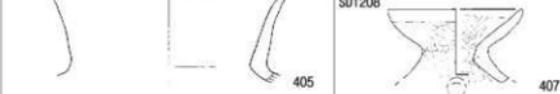
SD1069



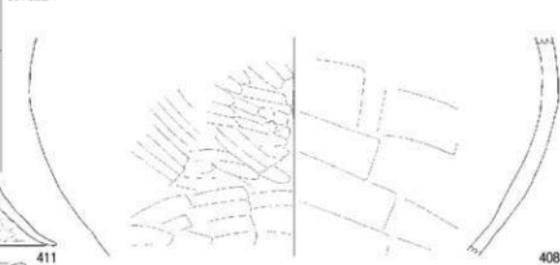
SD1188



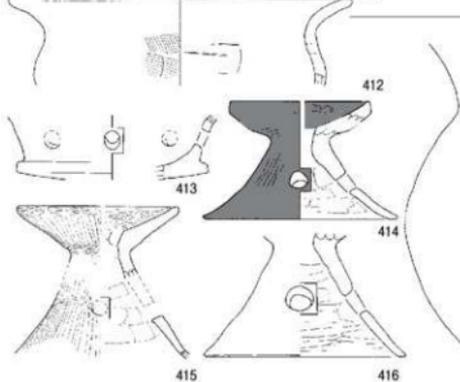
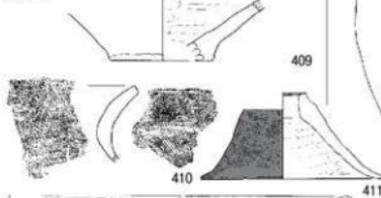
SD1208



SD1222

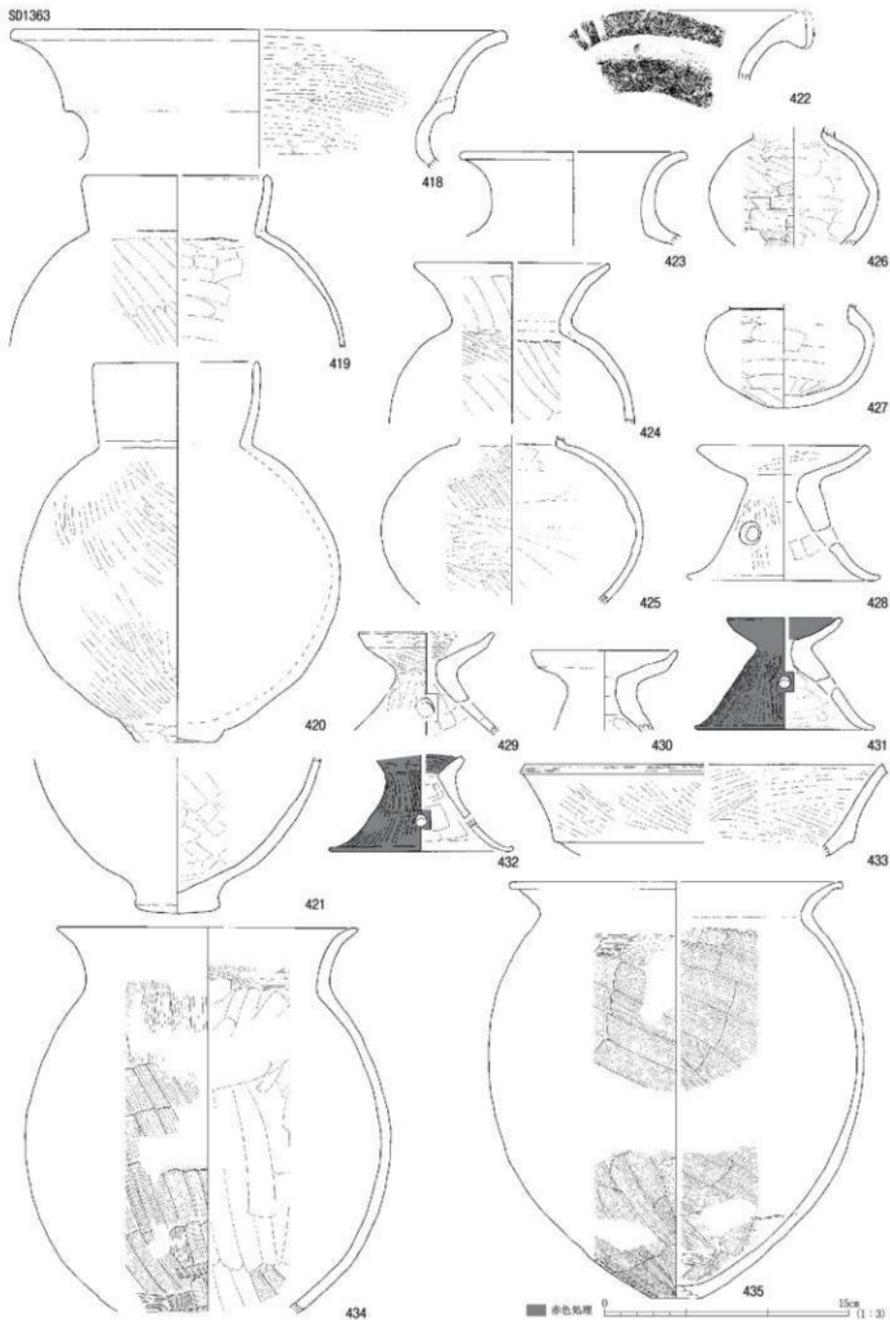


SD1287

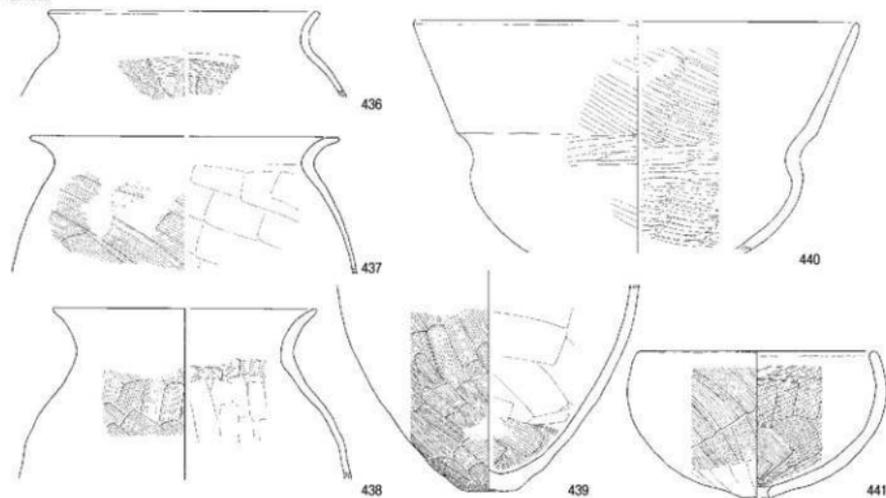


0 15cm (1:3)

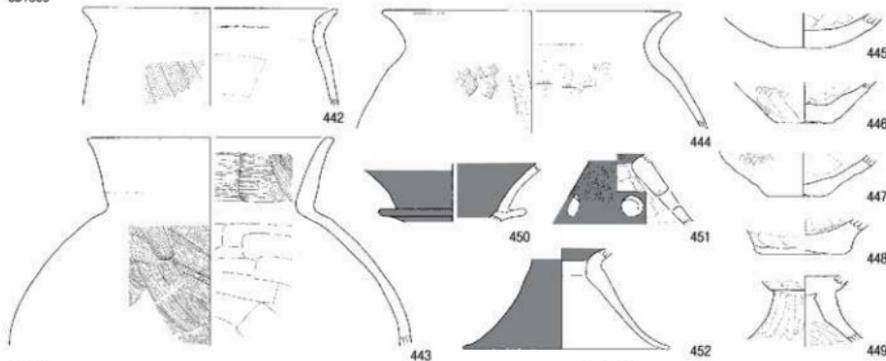
SD1363



SD1363

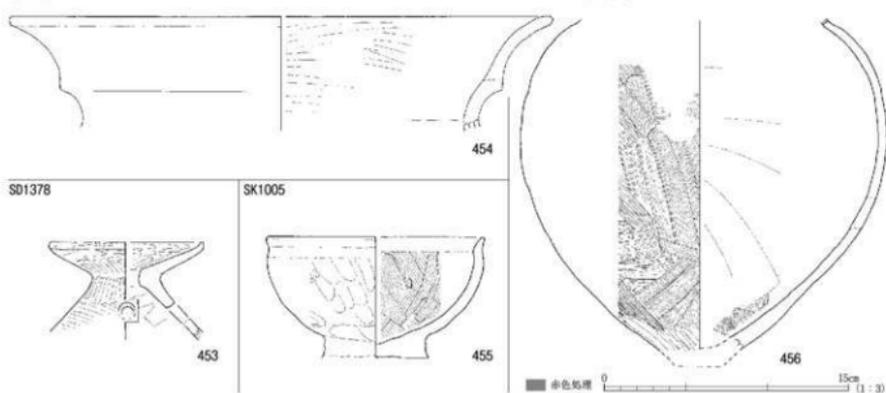


SD1369



SD1446

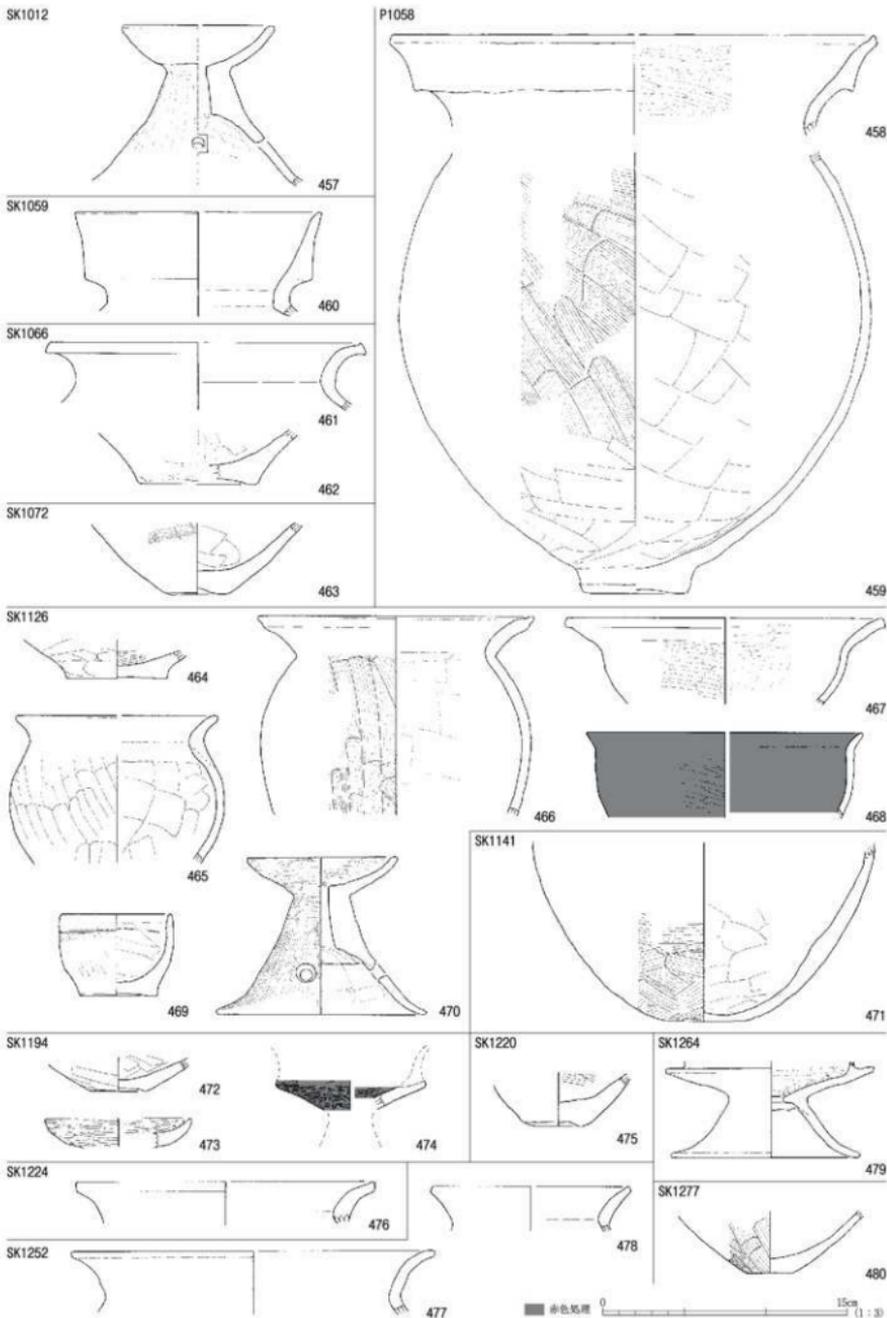
SK1010

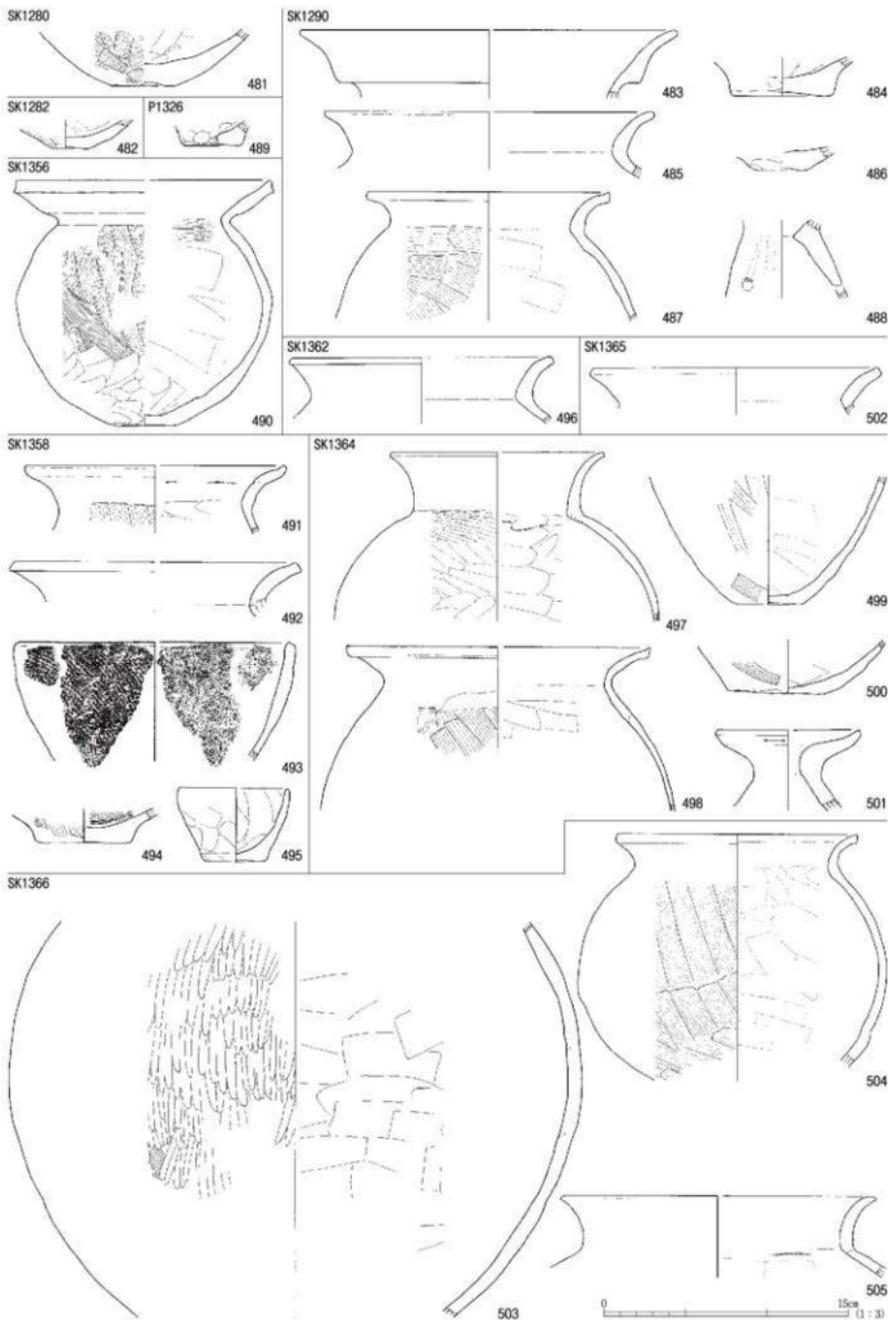


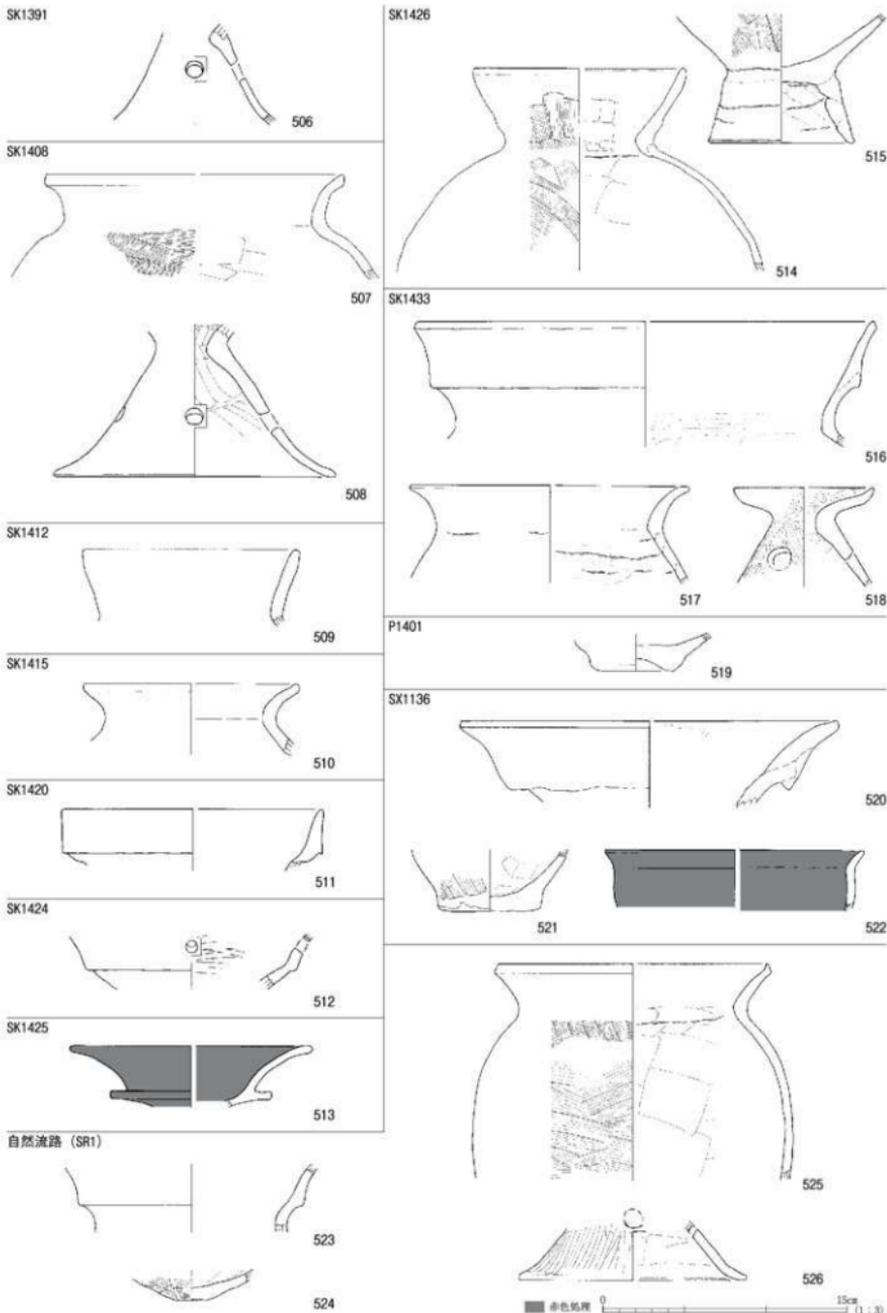
SD1378

SK1005

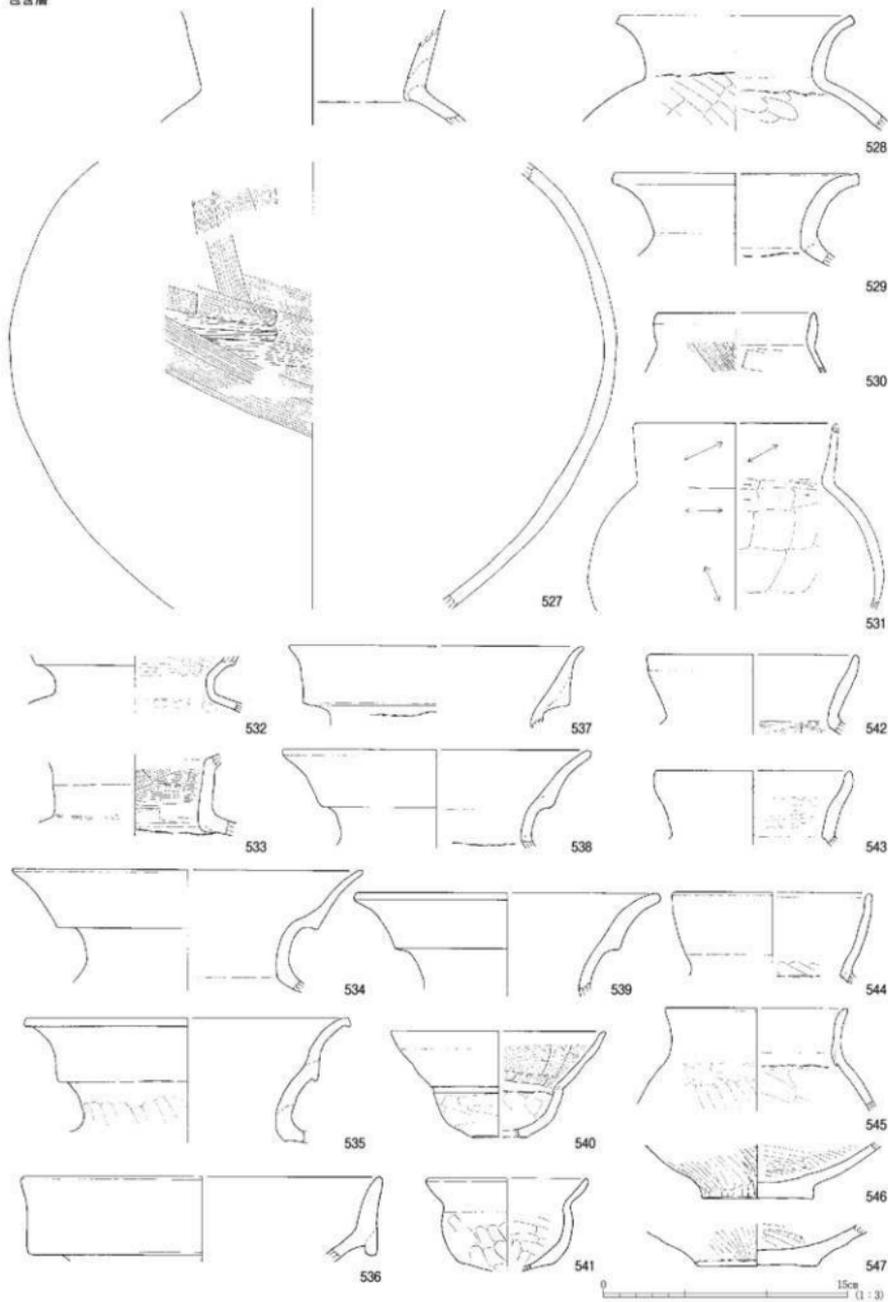
■ 非色処理 0 15cm 1:30



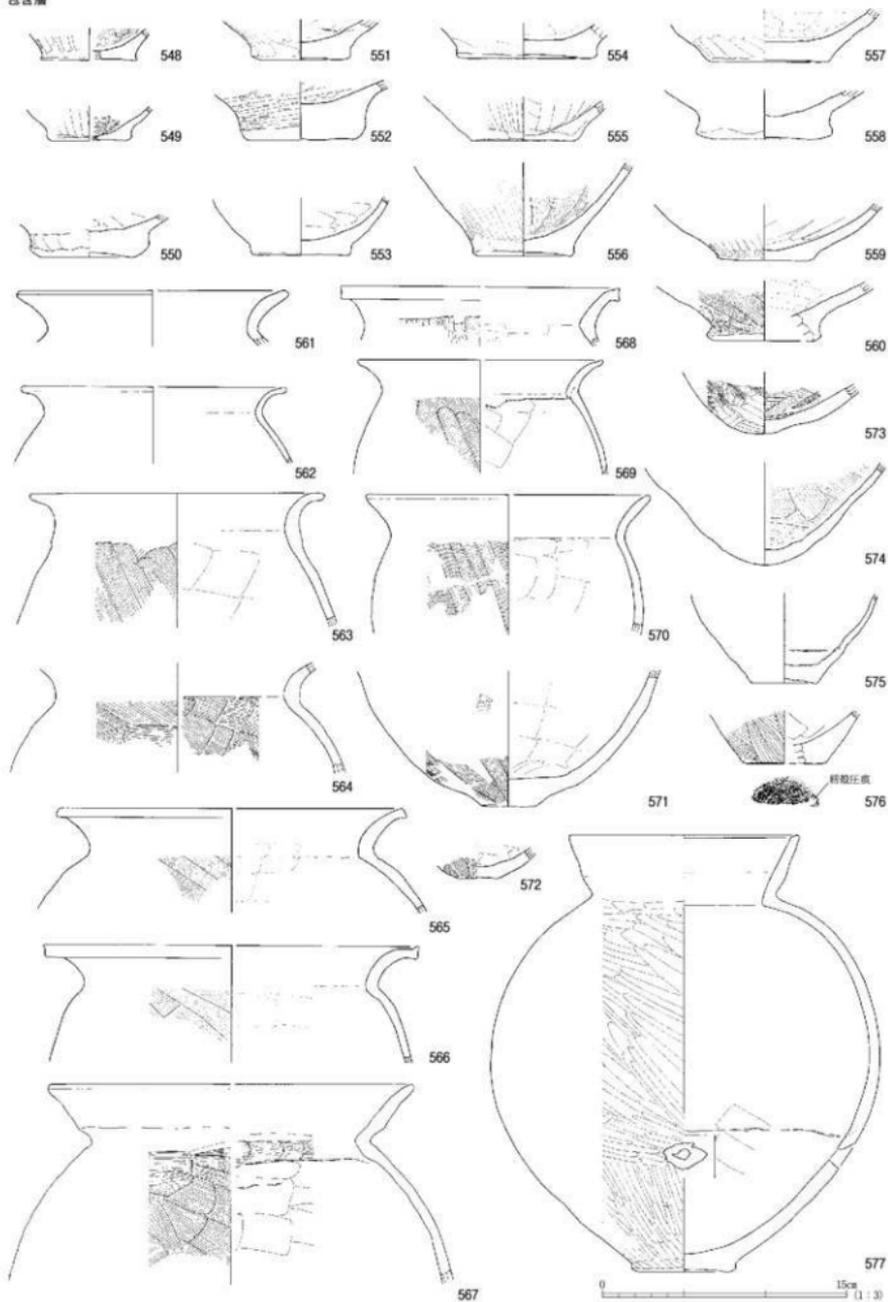




包含層



包含層

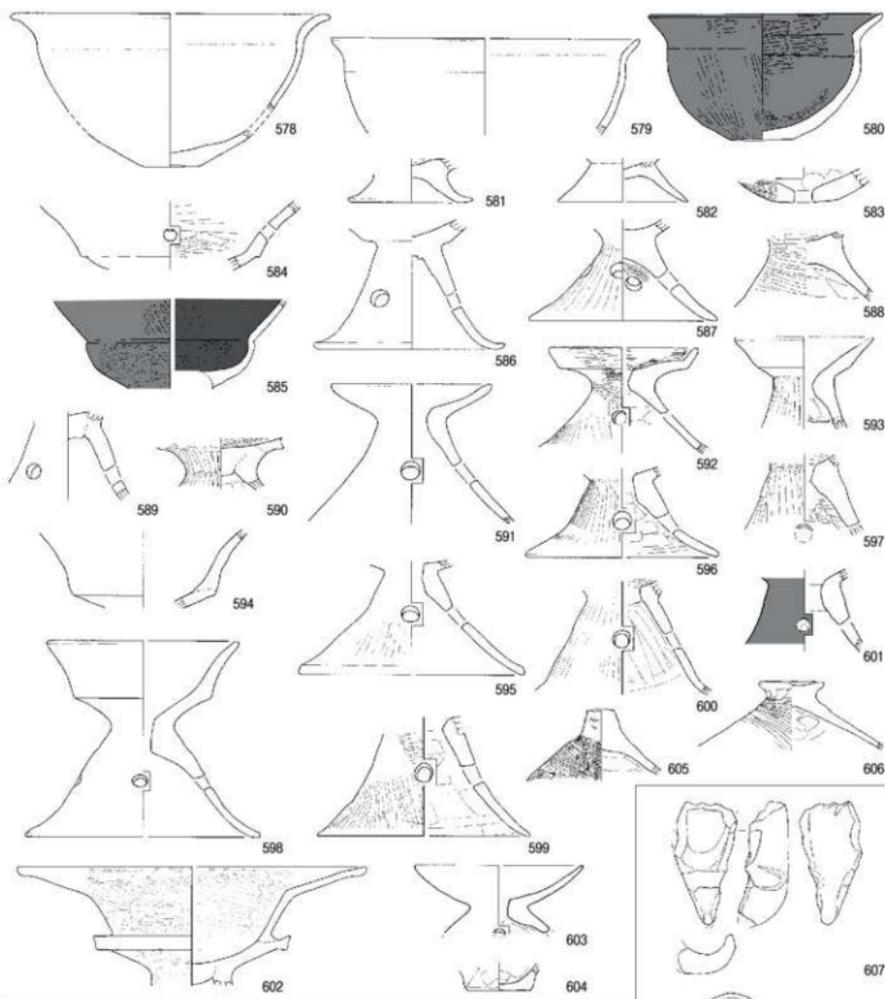


577

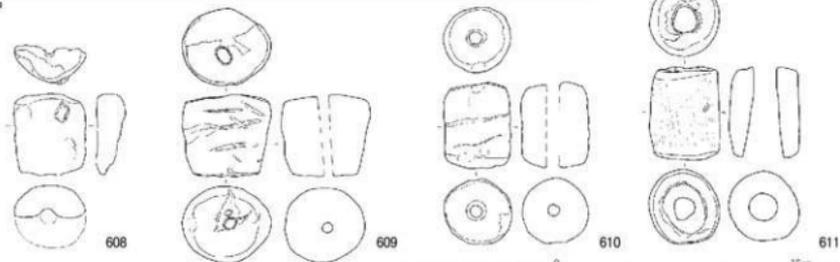
15cm

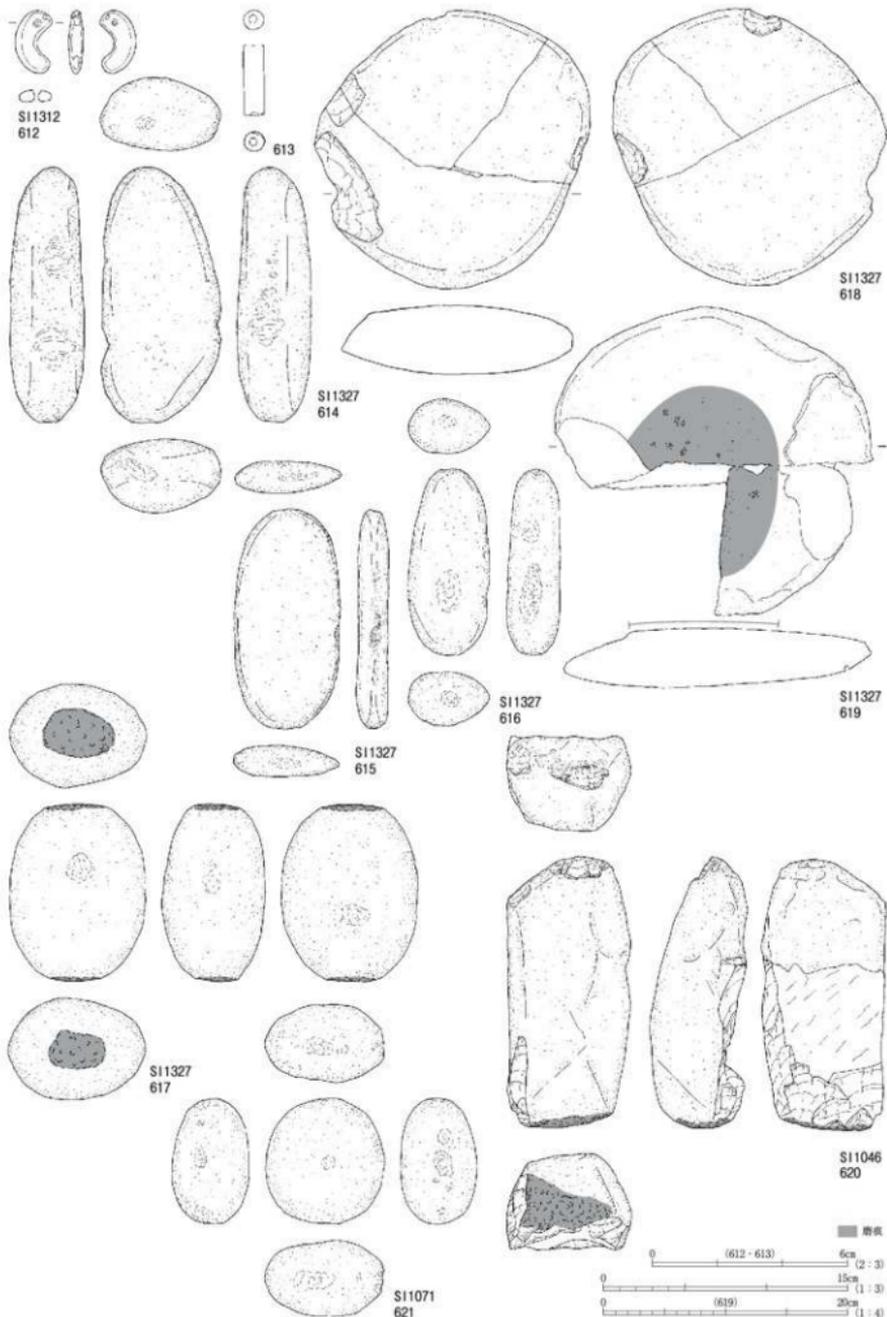
1/3

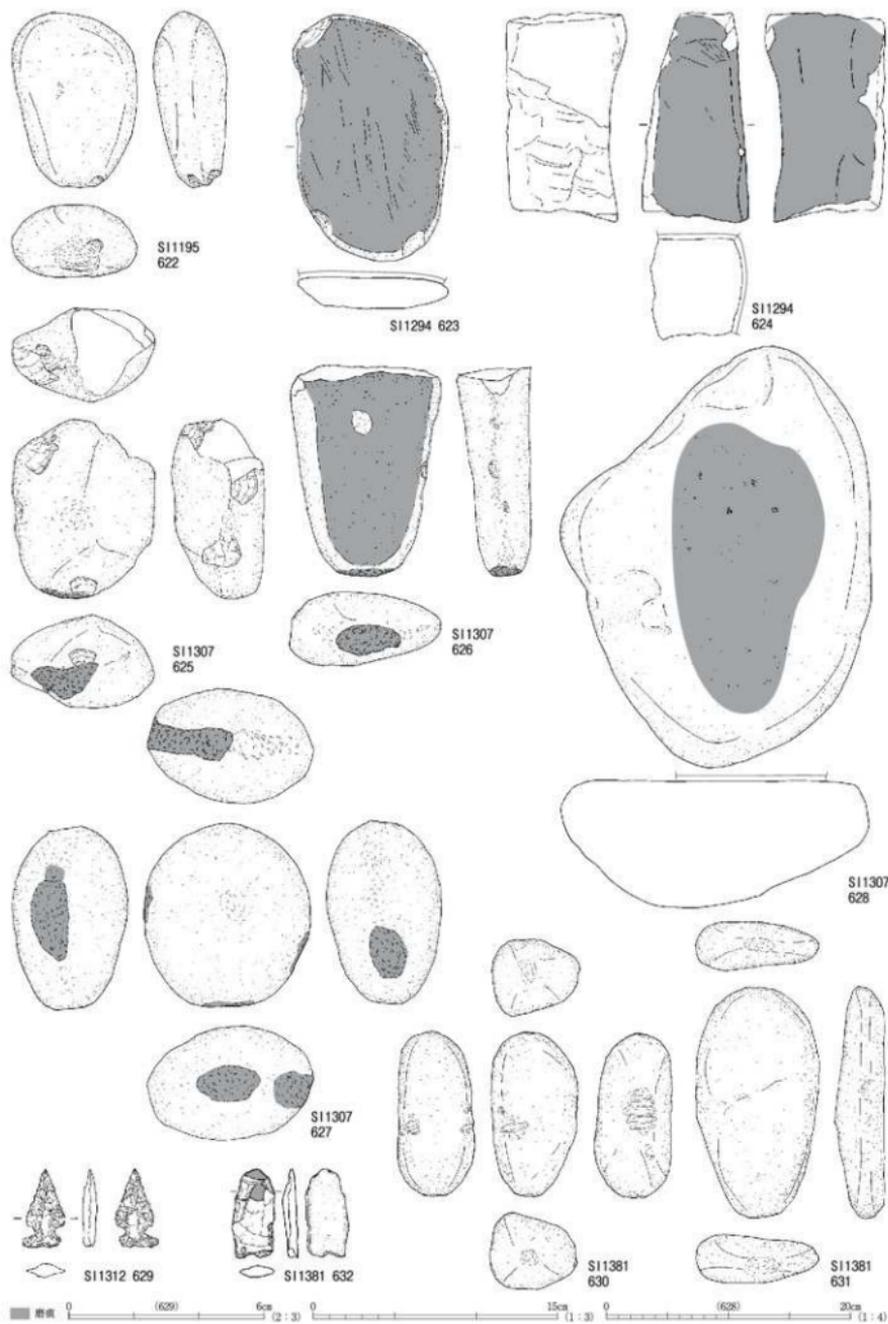
包含層

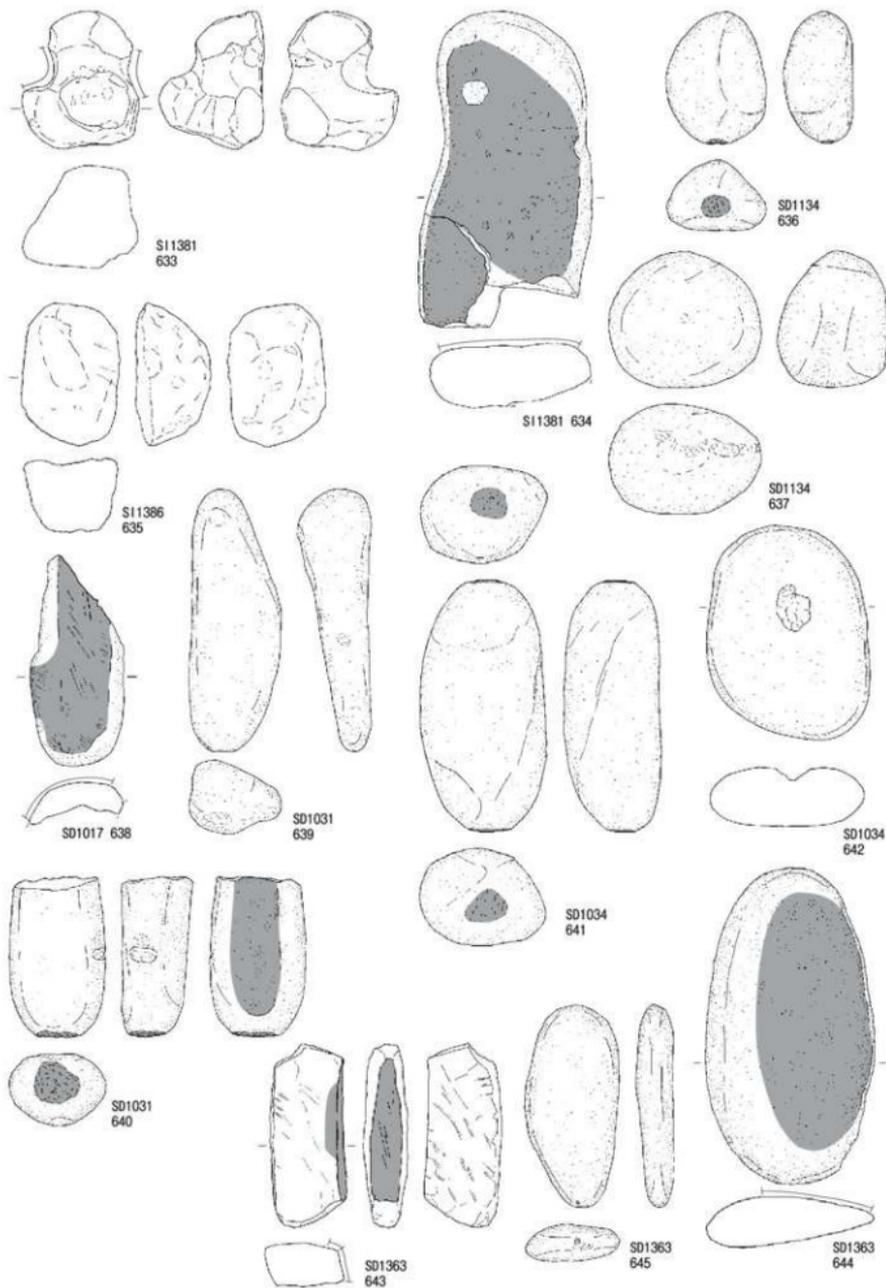


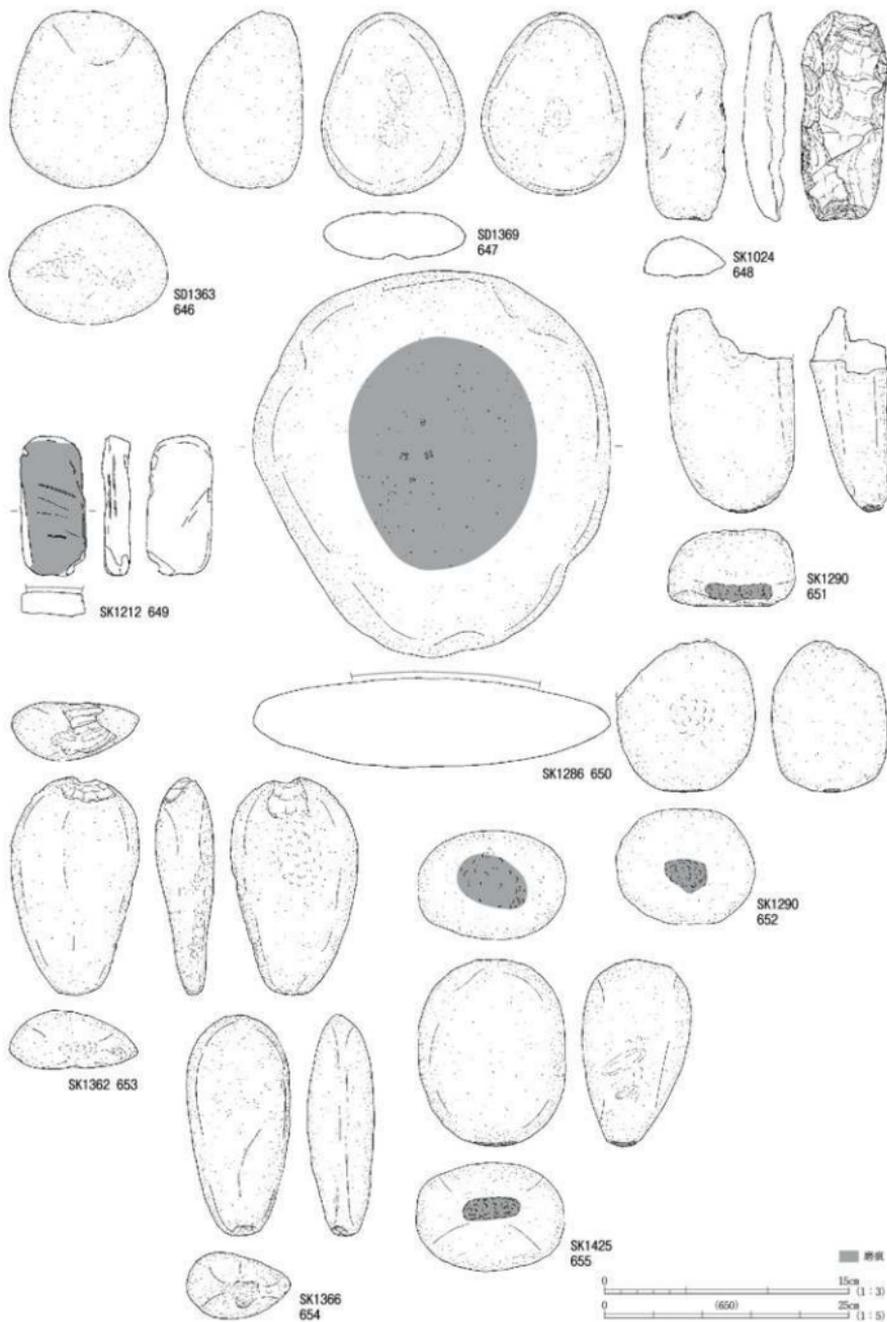
土製品

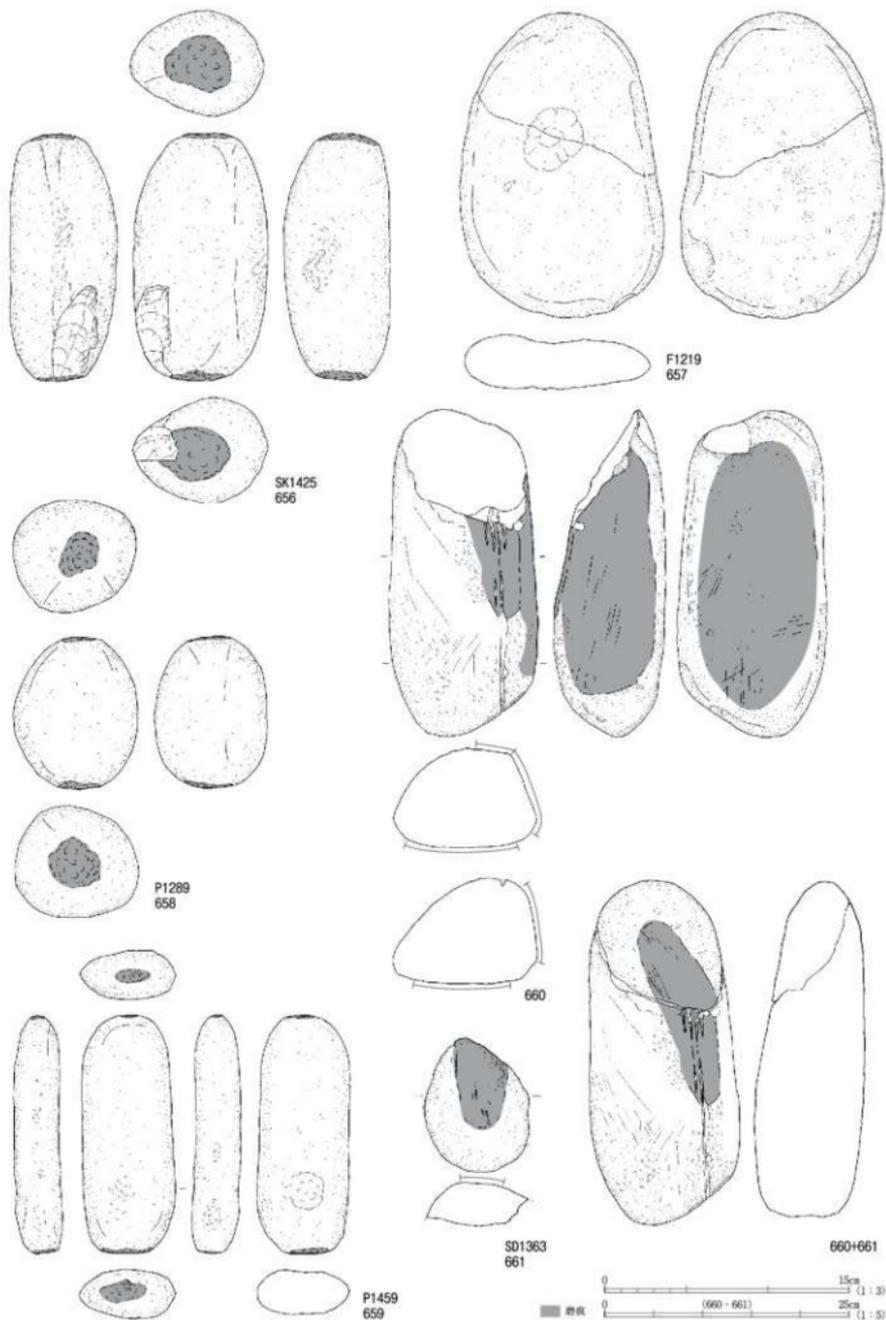


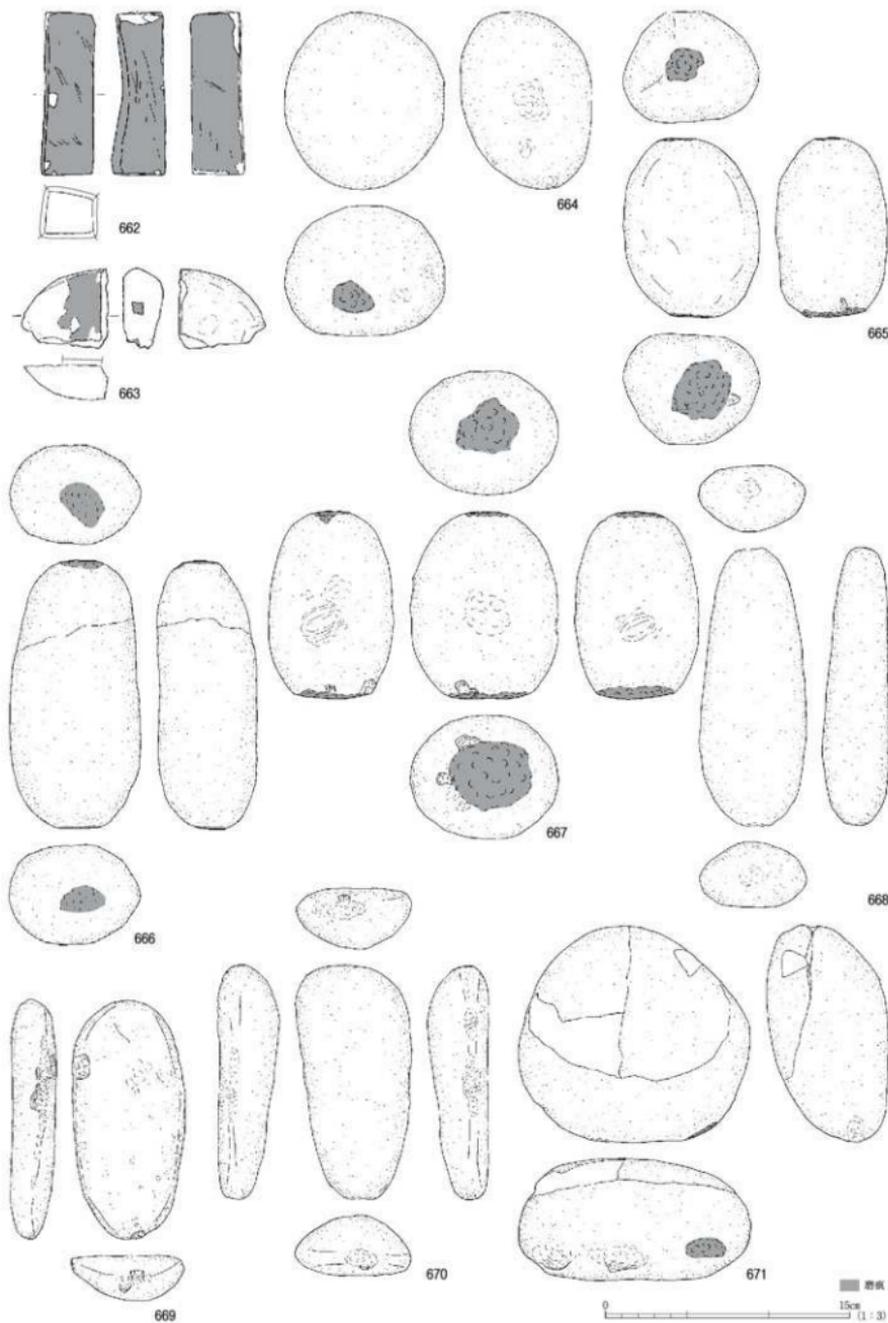


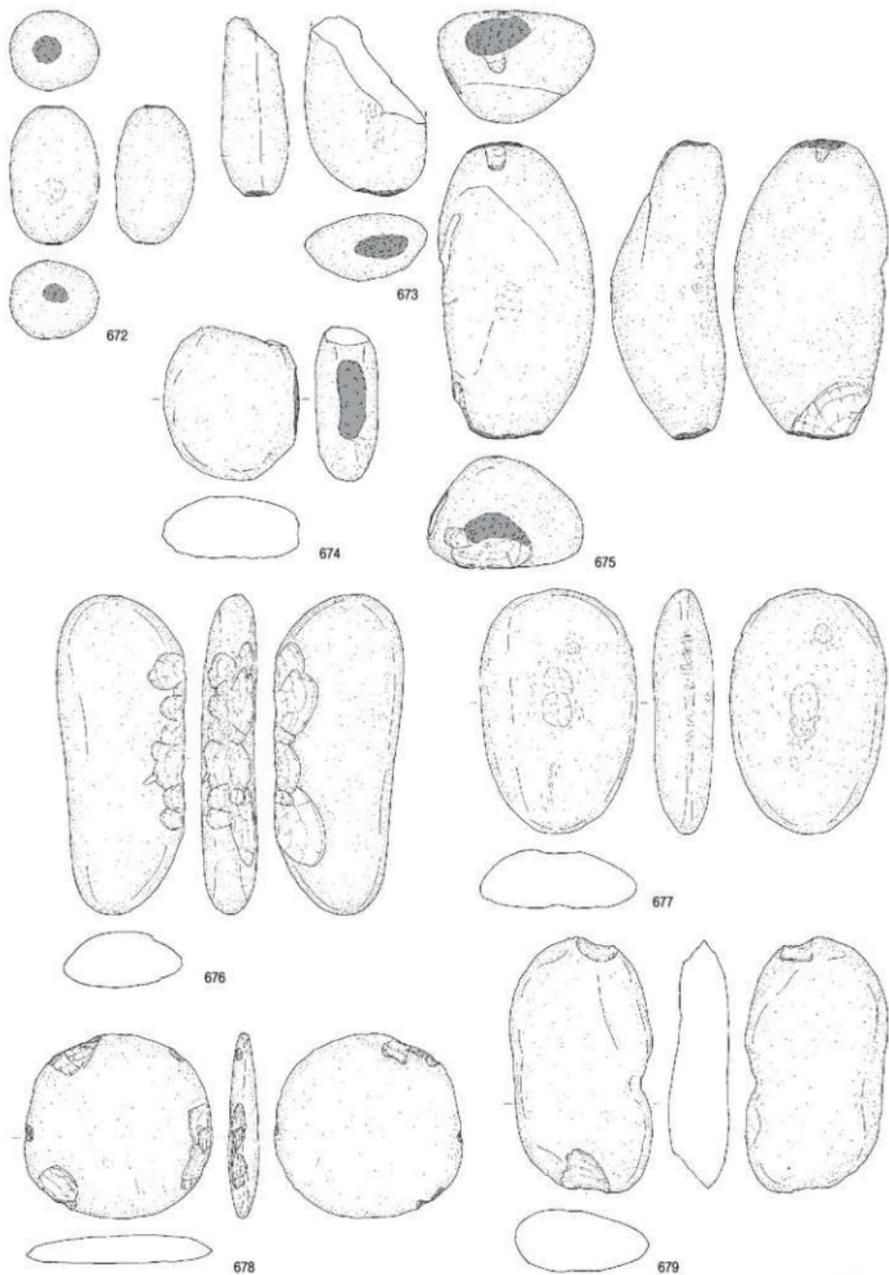














遺跡全景（中世面 北東から）



中世遺構集中部（上空南東から）



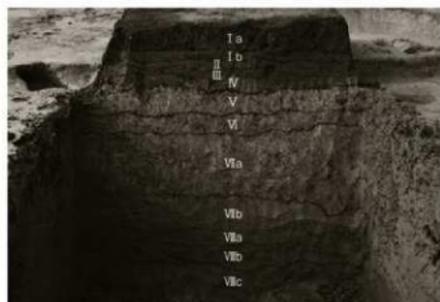
遺跡全景（古墳時代面 南東から）



調査区南側全景（古墳時代面 上空南東から）



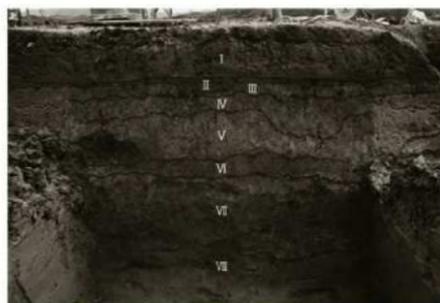
調査区北側全景（古墳時代面 上空南東から）



7・80区 基本層序（南東から）



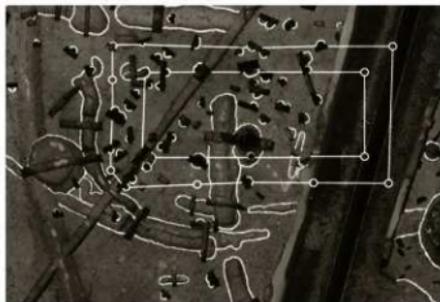
11C・D区 基本層序（北東から）



11E区 基本層序（北西から）



16・170区 基本層序（南東から）



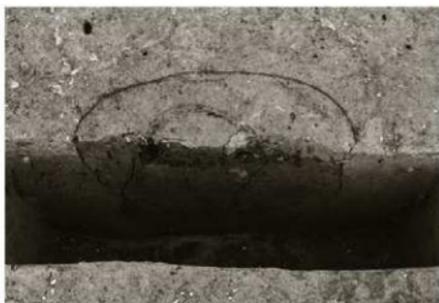
SB1 全景 (上空南東から)



SB1P358 南北セクション (西から)



SB1P373 南北セクション (南東から)



SB1P48 東西セクション (南から)



SB2・3 全景 (東から)



SB2P132 南北セクション (西から)



SB2P400 東西セクション (南から)



SB2P36 南北セクション (東から)



SB3P399 南北セクション (東から)



SB3P33 南北セクション (西から)



SB4 全景 (上空南から)



SB4P51 東西セクション (南東から)



SB4P85 東西セクション (南東から)



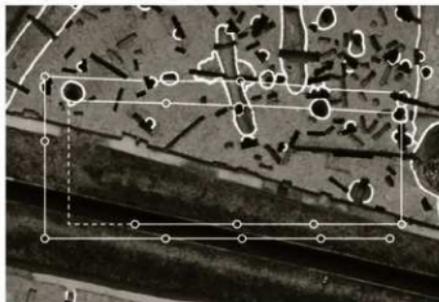
SB5 全景 (南から)



SB5P97 東西セクション (北から)



SB5P98 東西セクション (北から)



SB6 全景 (上空南から)



SB6P331 東西セクション (南から)



SB6P602 東西セクション (北から)



SB6P303 東西セクション (北東から)



SB7 全景 (上空南から)



SB7P117 南北セクション (西から)



SB7P211 東西セクション (北から)



SB7P442 南北セクション (北西から)



SB8-9 全景 (上空南から)



SB8P279 東西セクション (南から)



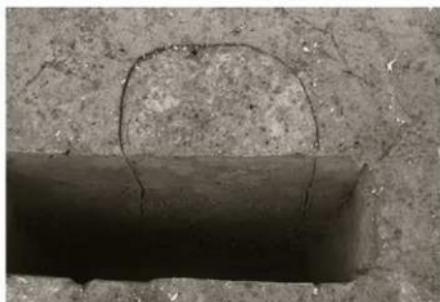
SB8P718 南北セクション (東から)



SB8P717 東西セクション (南から)



SB8P163 東西セクション (北から)



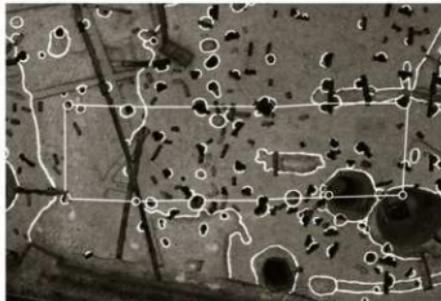
SB8P526 南北セクション (東から)



SB10P419 南北セクション (東から)



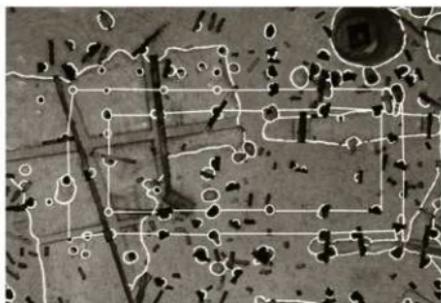
SB10P311 南北セクション (北西から)



SB11 全景 (上空南から)



SB11P198 南北セクション (南東から)



SB12 全景 (上空南から)



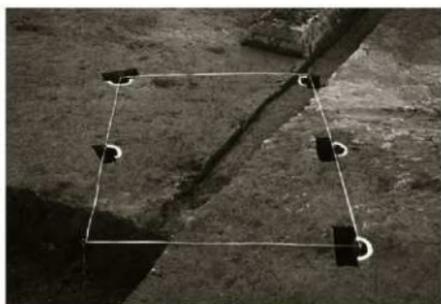
SB12P285 東西セクション (北から)



SB12P286 南北セクション (東から)



SB12P688 東西セクション (南から)



SB13 全景 (東から)



SB13P1 南北セクション (西から)



SB13P3 東西セクション (南から)



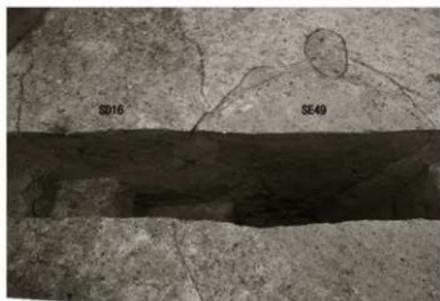
SB14P25 南北セクション (北東から)



SB14P389 南北セクション (南東から)



SB14P398 南北セクション (南東から)



SB16・SE49 南北セクション (東から)



SE49 完掘 (北から)



SE99 南北セクション (西から)



SE99 完掘 (西から)



SE102 東西セクション (南西から)



SE102 遺物 (木椀状木製品) 出土状況 (南から)



SE186 東西セクション (南から)



SE102・186 完掘 (南から)



SE216 南北セクション (東から)



SE216 完掘 (東から)



SE217 東西セクション (南から)



SE217 完掘 (西から)



SE310 東西セクション (南から)



SE310 全景 (北から)



SE310 遺物出土状況 (東から)



SE344 東西セクション (南西から)



SE344 全景 (東から)



SE344 水溜部分 (北から)



SE428 東西セクション (南東から)



SE428 東西セクション下部 (東から)



SE428 木組接合部分 (西から)



SE428 全景 (南から)



SE428 曲物出土状況 (西から)



SE428 漆器検出土状況 (南西から)



SE439 南北セクション (東から)



SE439 完備 (東から)



SE563 東西セクション (北から)



SE563 完備 (西から)



SE589 完掘 (北西から)



SE589 遺物出土状況 (南から)



SE784 南北セクション (東から)



SE784 水漏れ検出状況 (西から)



SK1 東西セクション (南から)



SK1 完掘 (北から)



SK2 東西セクション (南から)



SK2 完掘 (北東から)



SK5 南北セクション (西から)



SK5 完掘 (北西から)



SK17 東西セクション (南から)



SK17 完掘 (南から)



SK19 南北セクション (西から)



SK19 完掘 (西から)



SK41 南北セクション (北西から)



SK41 完掘 (北西から)



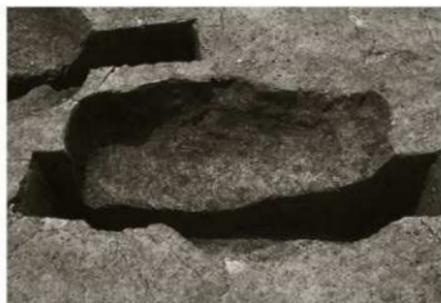
SK45 東西セクション (北東から)



SK45 完掘 (北東から)



SK61 東西セクション (北から)



SK61 完掘 (北から)



SK81 東西セクション (南から)



SK81 完掘 (南から)



SK100 南北セクション (南西から)



SK100 完掘 (西から)



SK101 南北セクション (西から)



SK101 炭化物層検出状況 (南から)



SK101 完掘 (西から)



SK137 南北セクション (西から)



SK137 完掘 (南から)



SK139 南北セクション (東から)



SK139 炭化物層上面遺物出土状況 (東から)



SK139 完掘 (東から)



SK149 南北セクション (南西から)



SK149 完掘 (南西から)



SK187 完掘 (南から)



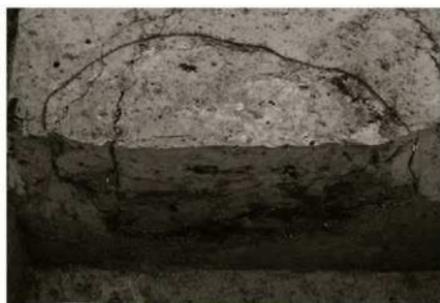
SK193 完掘 (北から)



SK196 南北セクション (西から)



SK225・P226 南北セクション (東から)



SK305 南北セクション (東から)



SK305 完掘 (東から)



SK317 東西セクション (南から)



SK317 完掘 (南から)



SK318 東西セクション (南西から)



SK318 完掘 (南から)



SK321 南北セクション (西から)



SK321 完掘 (北から)



SK379 南北セクション (東から)



SK379 完掘 (西から)



SK429 完掘 (北から)



SK640 東西セクション (南から)



SK815 東西セクション (北から)



SK815 完掘 (北から)



SK837 完掘 (北から)



SK838 東西セクション (北から)



SK863 東西セクション (北から)



SK893 南北セクション (東から)



SD8 南北セクション (西から)



SD8 全景 (東から)



SD12・SD14・SB14P898 東西セクション (北東から)



SD14 南北セクション (東から)



SD15 東西セクション (北から)



SD12・14・15・403 全景 (北から)



SD16 南北セクション (西から)



SD16・8 全景 (西から)



SD87・SB2P264 東西セクション (北から)



SD87・SB3P263 東西セクション (南から)



SD87 全景 (南から)



SD88 南北セクション (東から)



SD76・88 全景 (東から)



SD108 全景 (西から)



SD124 南北セクション (西から)



SD124 全景 (東から)



SD173 南北セクション (西から)



SD173 全景 (東から)



SD183 全景 (東から)



SD210 東西セクション (北から)



SD218 南北セクション (西から)



SD218 全景 (東から)



SD258 全景 (西から)



SD302 全景 (北から)



SD333 全景 (北から)



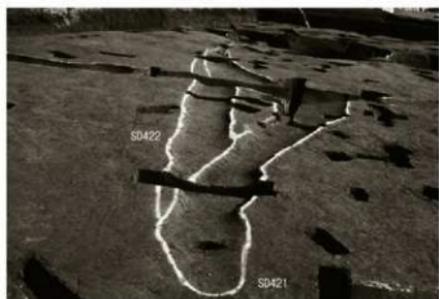
SD337 全景 (南西から)



SD418 全景 (北から)



SD173・421・422 東西セクション (南西から)



SD421・422 全景 (北から)



SD443 全景 (南から)



SD530 東西セクション (南から)



SD530 全景 (南から)



SD609 東西セクション (南から)



SD609 全景 (南から)



SD638 南北セクション (東から)



SD655 南北セクション (東から)



SD672 南北セクション (東から)



SD825 全景 (北から)



SD856 全景 (北から)



SD858 全景 (北から)



SD864 全景 (南から)



SA346 全景 (南東から)



SA346P5 セクション (西から)



SA678P2 東西セクション (南から)



P204 南北セクション (西から)



P251 東西セクション (南から)



P561 南北セクション (北西から)



P847 南北セクション (西から)



P885 東西セクション (南西から)



F94 横出状況 (北東から)



SX315 東西セクション② (北東から)



SX315 全景 (北から)



SX343 全景 (南から)



SX430 全景 (北から)



SX517 南北セクション (東から)



SX517 全景 (南から)



SX1068 南北セクション (南東から)



SX1074 東西セクション (南から)



SX1076・1077 完掘 (西から)



SX1093 東西セクション (南東から)



SX1112 完掘 (東から)



SX1457 南北セクション (北西から)



P1058 遺物出土状況 (南西から)



P1058 東西セクション (東から)



P1289 東西セクション (南から)



P1289 完掘 (南から)



P1459 南北セクション (北西から)



P1459 完掘 (北西から)



SR1 東西セクション (北東から)



SR1 南北セクション (北東から)



SR1 全景 (北東から)



作業風景 (南から)